

StorageTek Enterprise Library Software

メッセージおよびコード

バージョン 7.1



パート番号 : E28870-01
2011 年 12 月

このドキュメントに関するコメントは STP_FEEDBACK_US@ORACLE.COM に送信してください。

ELS7.1 メッセージおよびコード
E28870-01

Oracle は、このマニュアルを改善するためのコメントや提案を歓迎いたします。 STP_FEEDBACK_US@ORACLE.COM にご連絡ください。
タイトル、パート番号、発行日、およびリビジョンを含めてください。

Copyright © 2009, 2011, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（*redundancy*）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIXはX/Open Company, Ltd. からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

まえがき 9

関連ドキュメント 10

ドキュメント、サポート、およびトレーニング 11

追加情報 12

このリリースの新機能 13

リビジョン 03 13

リビジョン 02 14

リビジョン 01 15

リビジョン AA 16

1. メッセージの表記規則 17

メッセージの形式 17

メッセージの説明 18

変数の定義 19

2. HSC、VTCS、および CDRT メッセージ 21

3. SMC メッセージ 565

4. HSC コード 641

HSC リターンコード 642

HSC オペレータコマンドのリターンコード 642

HSC 初期設定または終了のリターンコード 642

HSC マウントまたはマウント解除のリターンコード 643

HSC ユーティリティのリターンコード 644

HSC CAP 処理のリターンコード 646

HSC ボリュームまたはセルのリターンコード 648
HSC 構成のリターンコード 651
HSC LMU サーバーのリターンコード 654
HSC データベースサーバーのリターンコード 658
HSC アドレス空間通信のリターンコード 660
HSC 回復のリターンコード 662
HSC サービスコンポーネントのリターンコード 663
HSC ホスト通信サービスのリターンコード 667
HSC UUI のリターンコード 668
HSC UUI の理由コード 669
HSC 異常終了理由コード 670
HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード 670
HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード 672
HSC ユーティリティーの異常終了理由コード 675
HSC CAP 共通の異常終了理由コード 678
HSC サブシステム割り振りモジュールの異常終了理由コード 679
HSC ボリュームまたはセルの異常終了理由コード 679
HSC 構成制御の異常終了理由コード 681
HSC 初期設定または終了の異常終了理由コード 682
HSC 導入システムコンポーネントの異常終了理由コード 683
HSC TMS またはユーザーインタフェースの異常終了理由コード 684
HSC LMU ドライバの異常終了理由コード 685
HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード 687
HSC WTO サーバーの異常終了理由コード 689
HSC ASCOMM の異常終了理由コード 690
HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード 691
HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード 694
HSC ホスト通信の異常終了理由コード 696
HSC メッセージの経路コードおよび記述子コード 697

- 5. **SMC リターンコードおよび理由コード 721**
 - SMC UUI リターンコードおよび理由コード 721
 - UUI R15 処理コード 721
 - UUI 機能のリターンコード 722
 - UUI 機能の理由コード 722
 - SMC ASCOMM のリターンコード 725
 - SMC 通信コンポーネントのリターンコード 726
- 6. **VTCS コード 729**
 - VTCS リターンコードおよび理由コード 730
 - VTCS 異常終了理由コード 732
 - VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード 734
- 7. **ECAM および VLE UUI のリターンコード 739**
 - ECAM メッセージの完了コードおよびリターンコード 739
 - VLE UUI リターンコード 751

表

表 1-1	変数データの定義	19
表 4-1	HSC オペレータコマンドのリターンコード	642
表 4-2	HSC 初期設定または終了のリターンコード	642
表 4-3	HSC マウントまたはマウント解除のリターンコード	643
表 4-4	HSC ユーティリティのリターンコード	644
表 4-5	AUDIT ユーティリティのリターンコード	645
表 4-6	HSC CAP 処理のリターンコード	646
表 4-7	HSC ボリュームまたはセルのリターンコード – パラメータリストなし	648
表 4-8	HSC ボリュームまたはセルのリターンコード – パラメータリスト付き	649
表 4-9	HSC 構成のリターンコード	651
表 4-10	HSC LMU サーバーのリターンコード	654
表 4-11	HSC データベースサーバーの戻りコード	658
表 4-12	HSC アドレス空間通信のリターンコード	660
表 4-13	HSC アドレス空間通信のファンクションコード	660
表 4-14	回復の戻りコード	662
表 4-15	サービスコンポーネントの戻りコード	663
表 4-16	HSC ホスト通信サービスのリターンコード	667
表 4-17	統合ユーザーインタフェース (UI) のリターンコード	668
表 4-18	統合ユーザーインタフェースの理由コード	669
表 4-19	HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード	670
表 4-20	HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード	672
表 4-21	HSC ユーティリティの異常終了理由コード	675
表 4-22	HSC CAP 共通の異常終了理由コード	678
表 4-23	HSC サブシステム割り振りモジュールの異常終了理由コード	679
表 4-24	HSC ボリュームまたはセルの理由の異常終了コード	679
表 4-25	HSC 構成制御の異常終了理由コード	681

表 4-26	HSC 初期設定または終了の異常終了理由コード 682
表 4-27	HSC 導入システムコンポーネントの異常終了理由コード 683
表 4-28	HSC TMS またはユーザーインタフェースの異常終了理由コード 684
表 4-29	HSC LMU ドライバの異常終了理由コード 685
表 4-30	HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード 687
表 4-31	HSC WTO サーバーの異常終了理由コード 689
表 4-32	HSC ASCOMM の異常終了理由コード 690
表 4-33	HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード 691
表 4-34	HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード 694
表 4-35	HSC ホスト通信の異常終了理由コード 696
表 4-36	HSC メッセージの経路コードと記述子コード 697
表 5-1	UUI R15 処理コード 721
表 5-2	UUI 機能のリターンコード 722
表 5-3	UUI 機能の理由コード 722
表 5-4	SMC ASCOMM のリターンコード 725
表 5-5	SMC 通信コンポーネントのリターンコード 726
表 5-6	SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンのリターンコード 727
表 5-7	SMC CGI ルーチン / HTTP サーバールーチンのリターンコード 728
表 6-1	VTCS 戻りコードおよび理由コード 730
表 6-2	VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード 734
表 7-1	ECAM 完了コード、戻りコードとその説明 739
表 7-2	VLE UUI リターンコード 751

まえがき

Oracle の StorageTek Enterprise Library Software (ELS) は、次の基本ソフトウェアで構成されるソリューションです。

- Oracle StorageTek Storage Management Component (SMC: ストレージ管理コンポーネント)
(StorageTek HTTP Server として知られていた製品を含みます)
- Oracle StorageTek Host Software Component (HSC: ホストソフトウェアコンポーネント)
- Oracle StorageTek Virtual Tape Control Software (VTCS: 仮想テープ制御ソフトウェア)
- Oracle StorageTek Concurrent Disaster Recovery Test (CDRT: 並行障害回復テスト)

また、ELS パッケージとともに次のソフトウェアが提供されます。

- Oracle StorageTek Library Content Manager (LCM)。LCM には、以前 Offsite Vault Feature として知られていた製品の拡張版が含まれます。
- Oracle StorageTek MVS 環境用クライアントシステムコンポーネント (MVS/CSC)
- Oracle StorageTek LibraryStation

このドキュメントでは、ELS の基本ソフトウェア製品 (SMC、HSC、VTCS、および CDRT) によって発行されるメッセージとコードについて説明します。このドキュメントは、ELS の構成および保守を行う記憶管理責任者、システムプログラマ、およびオペレータを対象としています。

関連ドキュメント

StorageTek Enterprise Library Software (ELS)

- *Introducing ELS*
- *ELS のインストール*
- *ELS Syntax Quick Reference*
- *ELS メッセージおよびコード解説書*
- *ELS Programming Reference*
- *ELS Legacy Interfaces Reference*
- *HSC および VTCS の構成*
- *HSC および VTCS の管理*
- *SMC の構成と管理*
- *ELS Disaster Recovery and Offsite Data Management Guide*

StorageTek Library Content Manager (LCM)

- *LCM User's Guide*
- *LCM Messages and Codes*
- *LCM Quick Reference*

StorageTek Client System Component for MVS Environments (MVS/CSC)

- *MVS/CSC Configuration Guide*
- *MVS/CSC Messages and Codes Guide*
- *MVS/CSC Operator's Guide*
- *MVS/CSC Syntax Quick Reference*
- *MVS/CSC System Programmer's Guide*

StorageTek LibraryStation

- *LibraryStation Configuration and Administration Guide*
- *LibraryStation Syntax Quick Reference*

ドキュメント、サポート、およびトレーニング

機能	URL
Oracle ホーム	http://oracle.com
マニュアル	http://oracle.com/technetwork/indexes/documentation/index.html
サポート	http://www.oracle.com/us/support/044752.html
トレーニング	http://www.oracle.com/global/us/education/sun_select_country.html

追加情報

表記上の規則

表記法

このドキュメントの JCL 例の一部は、*斜体*フォントで表記されています。変数は斜体フォントで表記します。これらの変数には、実際に使用する値を入力する必要があります。

コマンド、制御文、パラメータにおいて大文字と小文字が混在している場合、省略形で省略できる文字が小文字で示されています。たとえば、POLicy コマンドを実行する場合は、単に POL と入力できます。

制御文

通常、制御文には、次の構文表記法が使用されます。

- 有効な制御文情報域は、列 1 - 列 72 のみです。列 73 - 80 は無視されます。
- パラメータの区切りには、1 つまたは複数の空白スペースまたはカンマを使用できます。
- パラメータと値の関連は、イコール (=) 記号で示すか、値をカッコで囲み、パラメータの直後に連結させて示します。
- 実際の制御文では、大文字／小文字は区別されません。
- 次行に続く文の場合は、プラス (+) 記号を前行の末尾に加えます。文が続かない場合、制御文は終了します。
- ジョブストリームにコメントを加える場合は、/* および */ で囲みます。コメントは複数行に渡って追加できますが、入れ子にはできません。

PARMLIB メンバー は /*...*/ という注釈を**最初の**制御文に含める必要があります。そうしないと、旧形式であるとみなされます。旧形式の注釈は、列 1 のアスタリスクから始まらなければなりません。

定義データセット (VOLATTR、UNITATTR、および TAPEREQ) の場合、注釈は新しい形式 (/...*/) でなければなりません。

- アスタリスク (*) の注釈は**使用できません**。
- 最初の行には /*...*/ という注釈は**必要ありません**。
- 制御文の最大長は 1024 文字です。

このリリースの新機能

リビジョン 03

HSC/VTCS メッセージ

新規メッセージ:

SLS4170D、SLS7501E

変更されているメッセージ:

SLS0557I、SLS1222I、SLS2501I、SLS4366E、SLS4368I、SLS4424I

SMC のリターンコード

新しいリターンコード:

373, 374

リビジョン 02

HSC/VTCS メッセージ

新規メッセージ:

SLS1785E、SLS4249E、SLS6998I、

変更されているメッセージ:

SLS1410I、SLS1502I、SLS1657I、SLS1666E、SLS2640I、SLS2716I、SLS2916I、
SLS4610I、SLS4633I、SLS4723I、SLS6600E、SLS6946E

SMC メッセージ

新規メッセージ:

SMC0249、SMC0250、SMC0262、SMC5027

変更されているメッセージ:

SMC0024、SMC0178、SMC0237、SMC0245、SMC0248

VLE UII リターンコード

第7章を改訂し、VLE UII リターンコードを追加しました。

リビジョン 01

HSC/VTCS メッセージ

新規メッセージ:

SLS0333I、SLS0334I、SLS2326I、SLS4249E、SLS4619I、SLS4761I、SLS4762I、
SLS4763I、SLS4764I、SLS6601I、SLS6772E、SLS6990E

変更されているメッセージ:

SLS1204I、SLS1205I、SLS4705I、SLS6603I、SLS6631I、SLS6679E、SLS6740I、
SLS6829I、SLS6852I、SLS6860I、SLS6946E

削除されているメッセージ:

SLS7nnn メッセージがすべて削除されています。

SMC メッセージ

新規メッセージ:

SMC0248、SMC0262

変更されているメッセージ:

SMC0212

リビジョン AA

HSC/VTCS メッセージ

新規メッセージ:

SLS0102I、SLS0106I、SLS0129I、SLS0321I、SLS0322I、SLS0323I、SLS0324I、
SLS0325I、SLS0326I、SLS0327I、SLS0328I、SLS0329I、SLS0330I、SLS0331I、
SLS0332I、SLS4806I、SLS4807I、SLS4808I、SLS4809I、SLS4810I、SLS4811I、
SLS4812I、SLS4813I、SLS4814I、SLS6950I、SLS6952I、SLS6966I、SLS6969I、
SLS6972E、SLS6973E、SLS6976I

変更されているメッセージ:

SLS0163I、SLS0229I、SLS0320I、SLS0357I、SLS0358I、SLS1000I、SLS1007I、
SLS1015I、SLS1016I、SLS1039I、SLS1600I、SLS1601I、SLS1628I、SLS2716I、
SLS4239E、SLS6042E、SLS6046E、SLS6644I、SLS6681I、SLS6740I、SLS6765I、
SLS6852I、SLS6862E、SLS6933I、SLS6935E

SMC メッセージ

新規メッセージ:

SMC0229、SMC0300、SMC0301、SMC0302、SMC5001、SMC5002、SMC5003、
SMC5018、SMC5124、SMC5125、SMC5126

変更されているメッセージ:

SMC0116、SMC0117、SMC0128、SMC0133、SMC0138、SMC0140、SMC0141、
SMC0167、SMC0172、SMC0173、SMC0175、SMC0203、SMC0204、SMC0207、
SMC0226

また、SMC ユーティリティプログラムによって生成されるメッセージの番号が付け直されました。

以前のメッセージ SMCU0nnn は SMC5nnn に変更されました。

メッセージの表記規則

ELS メッセージは、管理者やオペレータが次の操作を行う場合に役立つように設計されています。

- ソフトウェアアクティビティを監視してシステム性能を維持する。
- 発生する可能性のあるシステム関連の問題を診断して修正する。

この章では、ELS メッセージで使用する形式、説明、および変数の定義について説明します。

メッセージの形式

ELS メッセージは、次の形式でコンソール上に表示されます。

PPPnnnn *message-type* *message-text*

ここで、

- **PPP** は 3 文字の接頭辞で、メッセージを発行するソフトウェアコンポーネントを識別するために使用されます。
 - SLS 接頭辞は、HSC、VTCS、または CDRT メッセージを識別する。
 - SMC 接頭辞は、SMC メッセージを識別する。
- **nnnn** は、4 文字形式のメッセージ番号です。
- *message-type* は 1 文字で、メッセージタイプを識別するために使用されます。
 - I は、情報メッセージを識別する。
 - E は、結果として発生するアクションを必要とするメッセージを識別する。
 - D は、意思決定を必要とするメッセージを識別する。
 - A は、アクションを必要とするメッセージを識別する。
 - W は、警告メッセージを識別する。

注: *message-type* は、HSC/VTCS メッセージにのみ適用されます。

- *message-text* は、ジョブログまたはシステムログに表示される実際のテキストです。

メッセージの説明

このドキュメントには、メッセージごとに次の情報が記載されています。

メッセージレベル

メッセージレベルは、メッセージのカテゴリを示しています。SMC MSGDEF または MSGJOB オペレータコマンドを用いて、メッセージレベルを指定し、発行対象のメッセージカテゴリを制御できます。

- メッセージレベルは、SMC メッセージにのみ適用されます。
- SMC MSGDEF および MSGJOB コマンドの詳細については、『ELS コマンド、制御文、およびユーティリティーリファレンス』を参照してください。

解説

メッセージについて説明します。

システム動作

メッセージの発行を促すイベントが発生した場合の SMC、HSC、または VTCS の動作について説明します。

ユーザー応答

メッセージに対してユーザーがとる応答について説明します。多くの場合、ユーザー応答は必要ありません。

変数の定義

斜体表記のテキストは、メッセージの発行時に実際の値に置き換えられる変数データを示します。メッセージ固有の変数データには、次の記号が使用されます。

表 1-1 変数データの定義

変数データ	定義
<i>AA</i>	ACSid
<i>AA:LL</i>	LSMid
<i>AA:LL:CC</i>	CAPid
<i>AA:LL:PP:NN</i>	DRIVEid (PP は LSM に関連付けられたパネル番号 [01-10] を示し、NN はパネル上のドライブ番号 [0-19] を示す)
<i>AA : LL:PP:RR:CC</i>	カートリッジ位置 (LSMid、パネル、行、および列)
<i>LL</i>	LSM 番号
<i>n</i> または <i>D</i>	10 進数の値
<i>X</i>	16 進数の値
各種文字 (C、N、K など)	変数情報 (文字データ)
数字 (1、2 など) (文字と組み合わせる)	関連する変数情報 例: コマンド CCCCCCCC1 および CCCCCCCC2
{ }	多肢選択
[]	オプションフィールド (メッセージには表示されない場合がある)

第2章

HSC、VTCS、および CDRT メッセージ

この章では、HSC、VTCS、および CDRT から発行されるメッセージについて説明します。これらのメッセージは「SLS」接頭辞で識別できます。

SLS0000I

command string

説明：このメッセージは、オペレータが入力したコマンド文字列を返すものです。

システム動作：HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答：なし

SLS0001I

Invalid Command CCCCCCCC

説明：有効なサブシステムコマンドではないコマンド (CCCCCCCC) の入力がありました。

システム動作：コマンドは実行されません。

ユーザーの応答：正しいコマンドを入力してください。

SLS0002I

Keyword CCCCCCCC1 must have a value for CCCCCCCC2 command

説明：キーワード CCCCCCCC1 が入力されましたが、CCCCCCCC2 コマンド用の値が指定されていませんでした。

システム動作：コマンドは実行されません。

ユーザーの応答：キーワードの値を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0003I

No value allowed for keyword CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

説明：コマンド CCCCCCCC2 のキーワード CCCCCCCC1 に値が入力されましたが、このキーワードには値を指定できません。

システム動作：コマンドは実行されません。

ユーザーの応答：値なしでコマンドキーワードを再入力してください。

SLS0004I

CCCCCCCC1 mutually exclusive with CCCCCCCC2 for CCCCCCCC3
command

説明: 同時には指定できない2つのパラメータ (CCCCCCCC1、CCCCCCCC2) が CCCCCCCC3 コマンドに入力されました。定位置パラメータは、POSxx の形式 (xx はパラメータ位置) で表示されます。キーワードパラメータについては、パラメータ名が表示されます。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: いずれかのパラメータを削除して、コマンドを再入力してください。

SLS0005I

Parameter error on CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC1 で示される定位置パラメータに、コマンドで無効な構文が含まれています。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しいパラメータで再入力してください。

SLS0006I

Syntax error at parm offset DDDDDDDD for CCCCCCCC1 command
-----CCCCCCCCCCCCC2

説明: CCCCCCCC1 コマンドのパラメータオフセット DDDDDDDD に構文エラーが検出されました。エラーの理由は、CCCCCCCCCCCCC2 に示されます。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 構文エラーなしでコマンドを再入力してください。

SLS0007I

Data Base Status:

CDS DSN Active

Primary Primary DSN Yes|No

Secondary Secondary DSN or (not configured) Yes|No

Standby Standby DSN or (not configured) Yes|No

説明: 構成されてアクティブな HSC データベース名が一覧表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0008I

CCCCCCCC1 name changed from CCCCCCCC2 to CCCCCCCC3

説明: CDS オブジェクト (レコード) 名が変更されました。CCCCCCCC1 は次のいずれかになります。

- ACS
- LSM
- CAP

CCCCCCCC2 は変更前の名前を表しています。

CCCCCCCC3 は変更後の名前を表しています。

システム動作: 要求されるアクションはありません。処理を継続します。

ユーザーの応答: 通知メッセージのため、必要な操作はありません。

SLS0009I

Null is a reserved word and cannot be used

説明: 使用できない予約語「NULL」を使用しようとしています。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: ほかの単語を選択してから、このコマンドを再送信してください。

SLS0010I

Invalid value for CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

説明: 指定パラメータ (CCCCCCCC1) に対して入力されたデータは、CCCCCCCC2 コマンドでは無効です。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

SLS0011I

Mandatory parameter CCCCCCCC1 missing for CCCCCCCC2 command

説明: 必須パラメータ (CCCCCCCC1) が、コマンド (CCCCCCCC2) に入力されませんでした。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 必須パラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS0012I

LIST ID NAME

説明: NAME LIST コマンドからの出力。

システム動作: 要求されるアクションはありません。処理を継続します。

ユーザーの応答: 通知メッセージのため、必要な操作はありません。

SLS0013I

Command CCCCCCCC not implemented

説明: 有効なサブシステムコマンドが入力されましたが、このコマンドはまだ導入されていません。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0014I

Keyword CCCCCC1 specified more than once for the CCCCCC2 command

説明: 指定したコマンドに、キーワード CCCCCC1 が重複しています。このコマンド構文には、キーワードは 1 回しか使用できません。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: コマンドを訂正して、再入力してください。

SLS0015I

Host to Host Broadcast failed for MODIFY command; RC=XXXXXXXX

説明: すべてのオンラインホストにコマンドをブロードキャストしようとした。しかし、ブロードキャストは失敗しました。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: メッセージに出力された戻りコード (XXXXXXXX) を書きとめた後、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0016I

ACS subsystem command rejected; ASCOMM RC=XXXXXXXX

説明: ACS サブシステムコマンドが入力されましたが、HSC のアドレス空間通信のコンポーネントの障害が原因で処理できませんでした。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: メッセージに出力された戻りコード (XXXXXXXX) を書きとめた後、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0017I

MODIFY command failed; LSM lock not available

説明: LSM ロックは、LSM の状態の変更を直列化するために使用されるソフトウェア構成です。LIBGEN には、各 LSM ごとに 1 つの LSM ロックが定義されています。

LSM ロックは、オンライン/オフライン処理中には HSC の「MODify lsm」コマンドによって、HSC サブシステム起動中には構成制御初期設定タスクによって保有されます。

メッセージ SLS0017I は、同じ LSM に対する別の MODify コマンドが処理中である場合に、このホストか、またはシステム内の別のホスト上で出されます。前の MODify コマンドは、アクティブな場合も、LSM が作動可能になるまで待ち状態に置かれている場合もあります。

また、このメッセージは、構成制御初期設定が、システム内の別のホスト上で処理中の場合にも出されることがあります。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 待ち状態にあるコマンドがすべて完了するまで、または HSC サブシステムの初期設定がシステム内のどれか別のホストで完了するまで数秒待ってから、コマンドを再実行してください。

それでも問題が解消されないときは、HSC Display Requestコマンドを出してください。コマンド出力に、「Vary lsm」というタイプの要求と「WAITING」または「TEMP OUT」という状態が示された場合は、LSM にハードウェアの問題が発生している可能性があります。LSM を調べて、それが作動可能状態にあり、HSC と通信を行なっていることを確認してください。

ハードウェアの問題をすぐに訂正できない場合は、HSC コマンドの「MODify lsm OFFline FORCE」を出すことができます。ハードウェアの問題が解消されたら、新たにMODifyコマンドを出して、LSMをオンラインにできます。

MODify lsm OFFline FORCEコマンドに続いて、メッセージSLS0057Iが表示されて、SLSFCONFからのリターンコード 45344534を示すことがあります。このメッセージは、アクティブであった、または待ち状態にあった MODify コマンドの保有する LSM ロックが、MODify FORCE コマンドによって「盗まれた」ために出されたものです。このメッセージは、無視できます。

注 – MODify lsm OFFline FORCEコマンドは、細心の注意を払って使用してください。LSMが強制的にオフラインにされると、そのLSMに対する未解決の要求はすべて除去されてしまうため、LSMをIML する必要が生じることがあります。

SLS0018I

Invalid keyword CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明: 指定のコマンド (CCCCCCCC2) に対して入力されたキーワード (CCCCCCCC1) が、無効であったか、または長さが 9 文字以上でした。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しいキーワードを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0019I

DISPLAY data unavailable; database I/O error

説明: Display コマンドの入力が試みられましたが、情報の収集中に、制御データセットのエラーが起きました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。しかし、場合によっては、若干の情報が表示されることもあります。

ユーザーの応答: 制御データセットのエラーの原因を判別し、それを訂正してから、コマンドを再入力してください。

SLS0020I

CCCCCCCC1 co-requisite CCCCCCCC2 missing for CCCCCCCC3 command

説明: あるパラメータ (CCCCCCCC1) に相互に必要なもう 1 つのパラメータ (CCCCCCCC2) が、CCCCCCCC3 コマンドに入力されていません。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しい相互に必要なパラメータを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0021I

Value for CCCCCCCC1 parameter contained invalid data for CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC2 コマンドのパラメータ (CCCCCCCC1) に無効な値 (例えば、NUMERIC ではなく HEX) が入力されました。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

SLS0022I

Invalid value length for CCCCCCCC1 parameter on the CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC2 コマンドのパラメータ (CCCCCCCC1) に、指定可能な長さを超えた値が入力されました。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

SLS0023I

Invalid {CCCCCCCC} range (CCCCCCC-CCCCCCC) for {CCCCCCCC} command

説明: CCCCCCCCC コマンドに、無効な範囲の入力が試みられました。2 番目の要素が最初の要素よりも大きくないか、または CAP 範囲の場合、PCAP が指定されました。

システム動作: コマンドが実行されない場合も、無効な部分が無視されて、コマンドが実行される場合もあります。

ユーザーの応答: 2 番目の要素を最初の要素よりも大きくするか、CAP 範囲であれば、いずれの CAPid も PCAP を指定していないような、有効な値を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0024I

EJECT volser volser ignored; volume is {SELECTED|ERRANT|NOT FOUND|NOT IN ACS|IN OFFLINE LSM|INVALID}

説明: Eject コマンドが SELECTED、ERRANT、NOT FOUND、NOT IN ACS、IN OFFLINE LSM または INVALID であったボリュームに対して入力され、回復できませんでした。

SELECTED	イジェクトが行われたときにボリュームが使用中であったことを示します。例えば、ボリュームがマウントされていた場合などです。ボリュームが間違っって選択されている場合は、UNSELECT ユーティリティを実行してから、コマンドを再入力してください。
ERRANT	エラーが起こったときに、ボリュームがある場所から別の場所への移動中であつたことを示します。ボリュームの場所はわかりません。ボリュームがエラントとなった場合、(1) セル位置に対してAUDITを実行する、(2) CAP および以前の MVSSYSLOG/SCP CONSLOG をチェックして、ボリュームがエラントになった理由を判別する、(3) View コマンドによって、取られた処理に関連するさまざまな場所を調べるなどのほかの処理をする必要があります。
NOT FOUND	ボリュームがどのLSM 内にもないことを示します。ほかのライブラリ外の保管場所を調べてください。
NOT in ACS	ボリュームが、指定されたCAPと同じACSにないことを示します。適切なACS 内のCAPを指定して、Ejectコマンドを入力してください。ボリュームの位置は、Display Volumeコマンドを使用して判別してください。
OFFLINE LSM	ボリュームが、オフラインのLSM 内にあることを示します。
INVALID	ボリュームシリアル番号またはメディアラベルが無効です。イジェクトは続行されます。

システム動作: INVALID のボリュームはイジェクトされます。ほかの場合は、ボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの応答: ボリューム状態によって、次の処置を行なってください。

SELECTED	ボリュームの選択が解除されるまで待ってから、コマンドを再入力してください。
ERRANT	エラント回復を呼び出してボリュームを探し、コマンドを再入力してください。
NOT FOUND	応答する必要はありません。
NOT in ACS	ボリュームを含むACSを判別し、正しいCAPidを指定して、Ejectコマンドを再入力してください。
OFFLINE	LSMをオンラインしてから、コマンドを再入力してください。
INVALID	応答する必要はありません。

SLS0025I

Command CCCCCCCC not allowed from console

説明: HSC システムへ発行されたコマンドは有効なコンソールコマンドではありませんが、ユーティリティからは実行できます。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: HSC と VTCS コマンドに有効な環境を調べるには、Display CMD CCCCCCCC を使用してください。コンソールから使用できないコマンドを実行するには、SLUADMIN ユーティリティを実行してください。

SLS0028I

Volume *volser* {ENTER|EJECT} error; {ACS IN PATH OFFLINE| LSM IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID| CARTRIDGE MADE ERRANT}

説明: ボリューム *volser* に、コマンド ENTER または EJECT のエラーが発生しました。理由は、CAP IN PATH OFFLINE、LSM IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH INVALID または CARTRIDGE MADE ERRANT 状態のいずれかです。

システム動作: コマンドは続けられますが、ボリューム *volser* に対しては作動しません。

ユーザーの応答: エラーの原因を訂正してください。

SLS0029I

CAP preference value for CAPid AA:LL:CC = D

説明: CAPPref コマンドの実行が完了しました。優先順位の値は、表示のとおりに設定されています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0030I

Message ID DDDD Help Info:

説明: Display Msg コマンドが入力されました。制御行 (最初の行) に続いて表示されるデータは、Display Msg コマンドに入力されたメッセージ ID に関する情報です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0031D

CCCCCCCC command in progress; to continue termination reply DRAIN, else reply WAIT

説明: オペレータコマンド終了処理において、CAP を使用しているアクティブなタスクが 1 つ以上あることがわかりました。これらのタスクは直前の SLS2628E メッセージで識別されています。DRAIN を応答して HSC にこれらすべてのタスクに対して即時に DRAIN を実行させるか、WAIT を応答して、タスクが通常どおり終了するまで待機できます。

WAITを応答すると、このメッセージが、アクティブなタスクを記述するSLS2628Eメッセージと一緒に3分以内に再表示されます。DRAINを応答すると、HSCは、各タスクに対してDRAIN コマンドを入力したように処理を行います。アクティブなタスクを記述するSLS2628Eメッセージは3分ごとに表示されますが、SLS0031Dメッセージは発行されません。

EjectはCAPごとに現在の処理中のテープを処理した後で停止します。CAPがオープンされ、カートリッジがイジェクトされてクローズされるとタスクが終了します。ENTERは、CAP 内のすべてのカートリッジの処理を完了してから停止します。

システム動作: タスクは、DRAIN または WAIT が応答されるのを待ちます。

ユーザーの応答: Display Status コマンドを発行して、未解決な処理を判別します。「DRAIN」または「WAIT」を応答してください。

SLS0032I

Operator Command Termination in progress

説明: オペレータコマンド終了処理は、コマンドが終了するのを待ってから、続けられます。

システム動作: 終了処理は、オペレータコマンドが終了するまで待ちます。

ユーザーの応答: また、Display Status コマンドを発行して、未解決な処理を判別してください。

SLS0033A

Enter password for EJECT command

説明: Eject コマンドを入力しましたが、「EJECTPAS=」パラメーターが HSC LIBGEN の SLILIBRY マクロで指定されていました。処理を続けるには、パスワードを入力する必要があります。

システム動作: コマンドは応答を待ちます。パスワードが確認されると、コマンドは続行されます。

ユーザーの応答: 正しいパスワードを入力してください。

SLS0034I

Password not accepted; CCCCCCCC command rejected

説明: コマンドは、無効なパスワードが入力されたため拒否されました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しいパスワードを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0035A

ENTER scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明: ENTER コマンドが、CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENTER はスケジュールされました。このメッセージは強調表示され、CAP 上で進行中の Eject が割り込まれて ENTER が行われるまで、画面に表示され続けます。

システム動作: 次の Eject のあとで CAP のロックを解除して、ユーザーがカートリッジを挿入できるようにします。

ユーザーの応答: CAP がイジェクトのために次にオープンされたとき、CAP の最初のスロットに必要なカートリッジを入れてください。

SLS0036I

{ENTER|EJECT} ended on CAPid AA:LL:CC

説明: このコマンドが、CAPid AA:LL:CC の制御を解放しました。

システム動作: CAP は、ほかの操作のために使用可能にされます。

ユーザーの応答: なし

SLS0037I

CAPid AA:LL:CC has been allocated to the {ENTER|EJECT} command

説明: 指定された CAPid AA:LL:CC が、ENter または Eject のいずれかのコマンドに割り振られました。

システム動作: 表示された操作を実行するために、CAP が割り振られました。

ユーザーの応答: なし

SLS0038I

Message ID DDDD No help available

説明: Display Msg コマンドが入力されましたが、このメッセージ番号にはヘルプテキストが用意されていません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0040I

{ENTER|EJECT|MODIFY|RELEASE} command rejected; CAPid AA:LL:CC is busy

説明: HSC が、特定の CAPid (AA:LL:CC) に対して、ENter、Eject、MODify、または RElease コマンドを実行しようとしたましたが、CAP は使用中でした。

システム動作: Eject、ENter、MODify、または RElease コマンドは拒否されます。

指定されたコマンドがEject、ENter、またはMODifyの場合、別の処理でCAPが動的に使用されています。CAPが使用可能になった場合または異なるCAPidを指定する場合は、コマンドを再入力します。

指定されたコマンドがREleaseの場合は、別のREleaseコマンドがアクティブになっているか、別の処理がCAPを解放しています。

SLS0041I

Command CCCCCC Help Info:

説明: Display CMd が入力されました。制御行 (最初の行) に続いて表示されるデータは、指定のコマンド (CCCCCC) に関する情報です

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0042I

{ENTER|EJECT} volser failed; LMU/LSM error (XXXX)

説明: ボリューム *volser* の ENter または Eject が失敗しました。次の LMU/LSM エラーが考えられます。

6510 – 転送用のバススルーポートがありません
6511 – LMUがオフラインになっています
6512 – LMUとの通信が失われました
6514 – LSMのハードウェアエラーです
6515 – LMUのハードウェアエラーです
6528 – LMUサーバーが停止しています
6592 – LSMがオフラインになっています
65FF – 要求が除去されました

システム動作: 進行中の処理 (ENter、Eject) は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラーになる場合があります。

ユーザーの応答: エラーの原因を判別してそれを訂正し、コマンドを再実行してください。

SLS0045I

CCCCCCCC command ignored; subsystem is shutting down

説明: コマンド CCCCCCCC は、サブシステムの終了処理が進行中であるため実行されませんでした。

システム動作: このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: HSC が再び操作可能になるまで待つて、コマンドを再入力してください。

SLS0046I

RECOVER CCCCCCCC ignored; recovery already active for specified host

説明: RECover コマンドが、現在別のホストによって回復中のホストに対して入力されました。

システム動作: RECover コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0047I

ONLINE or OFFLINE required on {VARY|MODIFY} command

説明: Vary または MODify コマンドが入力されましたが、ONline か OFFline かが指定されていません。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: ONline か OFFline を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0048I

```
Vary {ACS AA|station C...C} {ONLINE|OFFLINE} failed; command
timed out
```

説明: すべてのステーションの Vary Station コマンドまたは Vary ACS がタイムアウトとなり、完了しませんでした。ハードウェアエラーまたは通信エラーの可能性あります。

システム動作: Vary コマンドは失敗しました。

ユーザーの応答: ハードウェア (LMU) との通信の問題を訂正して、コマンドを再実行してください。

SLS0049I

```
CCCCCCCCC1 set to CCCCCCCC2
```

説明: コマンドに指定された機能が、示された値に設定されています。CCCCCCCCC1 は、コマンドに入力された機能を示します。CCCCCCCCC2 は、コマンドに入力された値です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0050I

```
Invalid {DEVICE XXXX|UNIT XXXX|STATION XXXX|LSMid AA:LL|
ACSid AA|CAPid AA:LL:CC|DISPLAY TYPE CCCCCCCC|HOSTid CCCCCCCC}
for
{ACS|CAPREF|CLEAN|DISMOUNT|DISPLAY|DRAIN|LSM|MODIFY|MOUNT|MNTD
| RECOVER|RELEASE|SENDER|VARY} command
```

説明: 入力されたコマンドに、無効な ID が含まれています。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 正しい ID を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0053I

```
{MODIFY|VARY|ENABLE|DISABLE|JOURNAL} rejected; {LSMid AA:LL|ACS
AA|Station C...C|DATA SET DSNNAME|EVERY CDS COPY|ABEND OPTION|
CONTINUE OPTION}is already {ONLINE|OFFLINE|ENABLED|DISABLED|ON}
```

説明: MODIfy、Vary、Enable、Disable または Journal 要求が、すでに ONline、OFFline、Enabled、Disabled または ON になっている LSMid、ACS、STATION、CDs または OPTion に対して出されました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0054I

CC..CC1 CC..CC2 now CC..CC3

説明: このメッセージは、ACS、LSM、ステーション、または CAP の接続 / 切断、オンライン / オフライン、またはスタンバイ状態を示します。

CC..CC1	ACS、LSM、STATION、またはCAP
CC..CC2	ACSid、LSMid、ステーション番号、またはCAPid
CC..CC3	CONNECTEDは、示されたACSに対して、少なくとも1つのステーションがオンラインになっていることを示します。 DISCONNECTEDは、示されたACSに対して、ステーションが1つもオンラインになっていないことを示します。 ONLINEは、LMUへの伝送作業にステーションを使用できるということ、またはLSMにHSCのための作業を実行できるよう要求できるということ、あるいは、CAPが現在 ENterまたはEject 処理に使用できるということを意味します。 STANDBYは、ステーションがデュアル LMU 構成のスレーブLMUに接続されていることを意味します。 OFFLINEは、ステーションまたはLSMを実働作業に使用できないことを意味します。

システム動作: オペレータコマンドは、指定のコンポーネントに、示された状態となるようにさせました。

ユーザーの応答: なし

SLS0055I

{ENTER|MODIFY|EJECT|DISPLAY LSM} rejected; ACSid AA is not CONNECTED

説明: オフラインの ACS (AA) に対してコマンドの入力を試みました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: Vary コマンドを出して ACS をオンラインにしてから、コマンドを再入力してください。

SLS0056I

{ENTER|SEnTER|EJECT} rejected; {ACSid AA}|{LSMid AA:LL}|{CAPid AA:LL:CC}|{TLsM AA:LL} is {OFFLINE|INVALID|UNAVAILABLE|NOT EJECTING|RELEASING}

説明: ENter、SEnTer、または Eject コマンドは、要求された操作を完了しませんでした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答:

- ACSid、LSMid、またはCAPidがオフラインであるというメッセージが表示される場合は、要素をオンラインに変更してからコマンドを再入力します。
- ACSid、LSMid、または CAPid が無効であるというメッセージが表示される場合は、正しい識別子を指定してコマンドを再入力します。
- ACSid、LSMid、または CAPid が使用不可であるというメッセージが表示される場合は、CAP がドレインされていることを確認してから ENter または Eject コマンドを再入力します。

- CAPid はイジェクト処理を行っていないというメッセージが表示される場合は、ENter コマンドを発行することで ACS にカートリッジを入れることができます。
- CAPid が解放されているというメッセージが表示される場合は、RELease コマンドが完了するのを待ってから Enter、SENter、または Eject コマンドを再発行します。

SLS0057I

Unknown RC XXXXXXXX from {SLSFCONF SLSFATHS SLSFLSMV LMURQST MRQST CAPRQST}

説明: アクティブな HSC コンポーネントが、下位のコンポーネントからリターンコードを受け取りましたが、それをメッセージに変換できませんでした。

システム動作: 要求は拒否されます。

ユーザーの応答: リターンコードについての詳細は、該当する ELS ガイドを参照してください。

SLS0059I

Cleaning {HAS BEEN|WAS NOT} scheduled for drive DDD

説明: DDD に対して、CLean コマンドが入力されました。クリーニングがスケジューリングされていない場合、メッセージ SLS0069I も表示されて、クリーニング要求が失敗した理由を示します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0060I

Error parsing CCCCCCCC command; SLSSPARS RC=XXXXXXXX

説明: 構文エラーではない解析リターンコードは、このように報告されます。

RC = 4	解析プログラムに渡された文字列の長さはゼロでした。
RC = 12	解析プログラムに渡されたパラメータリストに無効な形式がありました。
RC = 16	解析プログラムに渡された解析テーブルに無効な形式がありました。

システム動作: コマンドは実行されません。内部理由コードによって、さらにメッセージが生成されるはずです。

ユーザーの応答: コマンドを再実行してください。それでも失敗する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0061I

Structure CCCCCCCC1 not allocated; CCCCCCCC2 command rejected

説明: 指定された構造 (CCCCCCCC1) に対して、アドレス可能でなければならないコマンド (CCCCCCCC2) の入力を試みました。構造 (データ域) ポインターはゼロになっていたため、アクセスは不可能でした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しい構造名を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0062I

Invalid structure or equate name CCCCCCCC1;CCCCCCCC2 command rejected

説明: 特定のデータ域へのアクセスを必要とするコマンド (CCCCCCCC2) の入力を試みましたが、そのデータ域名 (CCCCCCCC1) を記号テーブル内で検出できませんでした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しい構造名またはそれに等しい名前を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS0063I

LIST {CCCCCCCC|XXXXXXXX} accepted

説明: LIST コマンドが、指定のアドレスまたはデータ域に入力されました。

システム動作: コマンドによって、示されたアドレスまたは構造名にあるデータがリスト表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0068I

Current TRACE Status:
component_name {Traced|NOT Traced}

説明: TRace コマンドが正常に完了しました。ACS サブシステムコンポーネントとそのトレース状況のリストが続けて表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0069I

Host to Host Broadcast failed: CCCCCCCC

説明: LMU サーバーのホストからホストへのブロードキャスト要求が、Clean drive コマンドによって出されましたが、この要求は失敗しました。CCCCCCCC は、障害の性質を説明するテキストです。

システム動作: 障害が回復可能なものである場合、メッセージ SLS0059I が出されて、要求されたデバイスに対してクリーニングがスケジューリングされなかったことを示します。そして、Clean コマンドの処理は続けられます。障害が回復不能なものである場合、Clean コマンドは、理由コード 0018 を出して異常終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS0070I

{ENTER|EJECT} rejected; CAPid AA:LL:CC recovery failed, RC
XXXXXXXX

説明: ENter または Eject コマンドのいずれかの入力を試みましたが、コマンドは拒否されました。これは、指定の CAP (AA:LL:CC) の回復が必要であるが、回復に失敗して戻りコード XXXXXXXX を返したためです。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: RElease CAPid コマンドを使用して、CAP を回復してください。解放後、ENter コマンドを使用して CAP をオープンし、カートリッジがあるかどうかを確認してください。カートリッジがあればそれを CAP から取り出し、前のコマンド (ENter|Eject) を再入力してください。

SLS0071I

Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明: コンポーネント CCCCCCCC から予期しない戻りコード XXXXXXXX が返されました。

システム動作: 要求は実行されません。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0072I

EJECT failed; unable to recover errant volume volser

説明: Eject 処理中、エラントボリュームを回復できませんでした。

システム動作: ボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの応答: MVS SYSLOG/SCP CONSLOG を調べて、エラント状況の原因を見つけてください。ホーム位置および宛先位置を見るには、**View** コマンドを使用してください。必要に応じて **AUDIt** または **UNSELECT** ユーティリティ (あるいはその両方) を実行して、ボリュームを回復してください。

SLS0073I

Length LLLL is greater than the 4096 byte limit

説明: 4096 バイトの制限以上にダンプしようとしてしました。LLLL は、無効な長さです。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: 有効な長さを指定して、**LIST** コマンドを再発行してください。

SLS0076I

SLS - software failure - XXXXXXXX volser

説明: HSC がソフトウェアエラーを検出しました。指定のエラーが発生しました。

XXXXXXXXに3桁の16進数が表示される場合は、システムの異常終了コードです。

XXXXXXXXに8桁の16進数が表示される場合は、そのコードはHSC 異常終了理由コードです。

volserが表示される場合、これには処理中のボリュームシリアル番号が入ります。?が表示される場合、volser は不明ということです。

システム動作: ERDS エントリが作成され、ダンプが生成されます。影響を受けるボリュームの処理は停止します。

ユーザーの応答: ダンプを保存します。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0077I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Volume is selected

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたましたが、そのボリュームはすでに選択されています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。

システム動作: マウント解除は実行されません。

ユーザーの応答: ボリュームをマウントしたホストからライブラリに DISMount を発行するか、またはホスト間回復を実行して、その回復を行ったホストからライブラリに DISMount を発行してください。

SLS0078I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Volume is errant

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN から、ボリューム *volser* をマウント解除しようとしたますが、エラーが発生しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。ボリューム *volser* は見つかりませんでした。

システム動作: マウント解除は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS0080I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume
at AA:LL:PP:RR:CC

説明: XXXX または AA:LL:PP:NN 上にマウントすべきボリューム *volser* が AA:LL:PP:RR:CC (LSMid: パネル番号:行番号:列番号) に見つかりました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。

システム動作: マウントが続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0081I

Volume *volser* found mounted on {drive XXXX|driveid
AA:LL:PP:NN} - attempting dismount

説明: 別のボリュームをマウントしようとしたときに、ボリューム *volser* がトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントされていることを HSC が検出しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。ドライブ上のボリュームに読み取り不能なラベルがある場合、*volser* は ? マークとして表示されます。

システム動作: マウントが続行されます。HSC は、マウントされているボリュームをマウント解除しようとしています。

ユーザーの応答: なし

SLS0082I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LSMid
AA:LL is in manual mode; manual mount is required

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、指定した LSM AA:LL は手動モードになっています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。手動でのマウントが必要です。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームを手動でマウントしてください。

SLS0083I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - ACS AA
is disconnected; library mount is required

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、指定した ACS AA は切断されています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: ACS に接続されたホストから、ライブラリの Mount コマンドを入力してください。

SLS0085I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - ACS
AA is disconnected; library dismount command is required

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたが、ACS AA が切断されています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: ACS に接続されたホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力してください。

SLS0086I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
LSMid AA:LL is in manual mode; manual dismount is required

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたが、指定した LSM AA:LL は手動モードになっています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示します。手動でのマウント解除が必要です。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームを手動でマウント解除して、LSM から出庫してください。

SLS0087I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Volume is not on drive

説明: HSC がトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたますが、ドライブが空であるか別のカートリッジがマウントされているかのいずれかです。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: 現在ドライブにマウントされているボリュームがある場合、Display DRives コマンドを発行して、ボリュームを判別してください。現在マウントされているボリュームをマウント解除する必要がある場合、HSC DISMount コマンドを発行します。

SLS0088D

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Intervention required; Mount or Ignore (M/I)

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたますが、オペレータの介入が必要です (例えば、このドライブに対して IEC512I I/O ERR 表示 の場合)。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント処理は、オペレータが M または I のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

M	マウントを続行する場合。
I	マウントを無視する場合。HSCは、マウントを保留のままにします。

SLS0089E

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Unable to allocate cell in ACS AA

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたますが、ACS AA に空のセルがありませんでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: セルを解放して (Eject を指定して)、DISMount コマンドを再入力してください。

SLS0090I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Unable to insert volume in the database

説明: 制御データセットにボリュームを登録できなかったために、指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除できませんでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: 制御データセットに重複がないことを確認してから、DISMount コマンドを再入力してください。

SLS0091I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Complete

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からの *volser* のマウント解除が完了しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。このメッセージが表示されても、必ずしもマウント解除が成功したとは限りません。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0092I

Swap of *volser* to {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
LSMid AA:LL is in manual mode; manual mount is required

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をスワップしようとしたましたが、LSM AA:LL は手動モードになっています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。手動でのマウントが必要です。

システム動作: スワップは失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームを手動でスワップしてください。

SLS0093I

Swap of *volser* to {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
ACS AA is disconnected; library dismount command is required

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をスワップしようとしたましたが、ACS AA が切断されています。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。このため、ライブラリの DISMount コマンドが必要です。

システム動作: スワップは失敗します。

ユーザーの応答: スワップを実行するには、ACS に接続されたホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力してください。

SLS0094E

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
DRIVEid is AA:LL:PP:NN

説明:

システム動作: DISMount コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: トランスポートから手動でボリュームをマウント解除し、LSM からそのボリュームを取り除いてください。

SLS0096I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
volume not dismounted

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたましたが、エラーが発生しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、DISMount コマンドを再入力してください。

SLS0098A

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - No non-zero priority CAPs in ACS AA; reply C to cancel wait

説明: ACS AA にゼロ以外の優先順位を持つ CAP がないときに、XXXX または AA:LL:PP:NN のボリューム *volser* の永続的または一時的入力とマウントが行われました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント処理は、オペレータが「C」と応答するか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAPPref コマンドを使用して CAP を使用可能にするか、アクティブな CAP を DRAin してください。マウント処理が必要ない場合は、「C」と応答してください。

SLS0099I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume at AA:LL:PP:RR:CC

説明: XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除されているボリューム *volser* が、現在 AA:LL:PP:RR:CC にあります。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0101I

CCCCCCCC invalid reply

説明: CCCCCCCC は、WTOR への無効な応答です。

システム動作: WTOR が再び表示されます。

ユーザーの応答: 有効な値で応答してください。

SLS0102I

Error parsing XML command input for CCCCCCCC command

説明: システムにより受信したコマンドは、XML 形式 (先頭にある XML の開始文字「小なり記号」により判断される) でしたが、その XML を解析しようとしたときにエラーが発生しました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力に整形形式でない XML がないか調査し、コマンド形式を修正します。

SLS0103E

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Drive unload error

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除するときに、ドライブのアンロードエラーがありました。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: エラーを訂正してから、指定のトランスポートと VOLSER に対して、ライブラリーの DISMount コマンドを入力してください。

SLS0104D

Dismount of {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - cartridge has no volser; reply U,volser or I to Use or Ignore

説明: HSC がマウント解除に対するボリュームシリアル番号を判別しようとしたのですが、ところが、次のいずれかが真でした。1) カートリッジに外部ラベルがない、2) 外部ラベルが読み取り不能、3) 外部ラベルに有効なボリュームシリアル番号がない、4) 直前の SLS0104D メッセージに対して入力されたボリュームシリアル番号が無効、5) 直前の SLS0104D メッセージに対して入力されたボリュームシリアル番号がすでにライブラリ内にある

システム動作: ディスマウントは、オペレータが有効なボリュームシリアル番号の「U, volser」または「I」のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

U,volser (Use)

使用するボリュームシリアル番号「volser」を指示してください。指定された volser は、有効な文字のみを含み、ライブラリに存在していない必要があります。

I (Ignore)

マウント解除要求を無視する場合。

SLS0105A

Dismount of {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - drive is loaded; reply I to cancel wait

説明: マウント解除に対するボリュームシリアル番号を判別しようとしたのですが、カートリッジがトランスポートにロードされていました。

システム動作: マウント解除は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: マウント解除を無視する場合は、「I」と応答してください。ボリュームがドライブにあり、しかもどのプロセッサのジョブにも割り振られていないことが分かっている場合、そのボリュームをドライブからアンロードしてください。(MVS でドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを発行します。ドライブを VM でアンロードするには、ドライブを仮想計算機に ATTACH し、そのあとで DETACH します) ドライブが使用中の場合は、ジョブがドライブ上のボリュームに対する処理を終了するまで待ってください。誤動作のためにドライブをアンロードできない場合、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアお客様サービスに連絡して、このメッセージには「I」と応答してください。

SLS0106I

Unrecognized XML tag for CCCCCCCC command: TTT...TTT

説明: コマンドで定義されていない XML タグを含んでいる XML コマンドを受信しました。

システム動作: 認識されていないタグは無視され、コマンドは正常に処理されます。

ユーザーの応答: XML タグが正しく符号化されない場合は、タグを修正してコマンドを再送信してください。

リリースやサーバーの互換性がないことが原因で XML タグが処理されなかった場合は、なにもする必要はありません。

SLS0107D

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
drive has loaded cartridge; reply Dismount, Retry or Ignore
(D/R/I)

説明: ボリュームをマウント解除する要求が出されましたが、ボリュームが巻き戻しおよびアンロードされていません。

システム動作: マウント解除は、オペレータが「D」(マウント解除)、「R」(再試行)、または「I」(無視)のいずれかを応答するか、ドライブがボリュームを巻き戻してアンロードされるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 巻き戻してアンロードが終了するまで待つか、または次のいずれかで応答してください。

D	ボリュームを巻き戻してアンロードする場合。
R	強制的に巻き戻ししないで、マウント解除を再実行する場合。
I	要求を無視する場合。

注 - 「D」と応答すると、トランスポートに対する介入を必要とするメッセージが出されて、そのトランスポートが使用中であればジョブが異常終了する可能性があります。MVSでは、このトランスポートに UNLOAD コマンドを出す必要があります。それがオンラインになっている場合、UNLOAD コマンドは、デバイスの割り振りが解除されるまで、そのアンロードを延期します。VMでは、デバイスがテープ管理仮想計算機 (VMTAPE など) に ATTACH されている場合は、「D」と応答してください。デバイスがどの仮想計算機にも ATTACH されていない場合は、デバイスを仮想計算機に一度 ATTACH してから DETACH することにより、テープをアンロードする必要があります。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、ATTACH は失敗します。

「R」と応答すると、ボリュームを巻き戻しせずにディスマウント要求が再発行されます。

「I」と応答すると、マウントされたカートリッジをトランスポートに入れたままの状態にできます。MVSでは、システムがマウントされたカートリッジを使用する場合、そのトランスポートが、マウント要求なしに割り振られます。トランスポートが別のカートリッジに必要な場合は、マウント解除要求の後で新しいマウント要求が出されます。VMでは、デバイスがテープ管理システム以外の仮想計算機に ATTACH されている場合、そのデバイスは、DETACH されるときにアンロードされます。

SLS0108D

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - External label is unreadable; reply Mount, Bypass, or Ignore (M/B/I)

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、外部ラベルを読み取れませんでした。

システム動作: マウント処理は、オペレータが Mount、Bypass、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

M	ボリュームをマウントする場合。外部ラベルチェックは、このマウント処理中、一時的にバイパスされます。
B	ボリュームをマウント解除する場合。ここでは、読み取り不能な外部ラベルを持つことを示すマークが永続的に付けられます。
I	要求を無視する場合。必要であれば、Ejectコマンドを出して、ボリュームをイジェクトできます。

SLS0109D

Swap of XXXX1 to XXXX2 - Volume volser is in the library; reply Eject, Dismount, or Ignore (E/D/I)

説明: ライブラリの外部にあるトランSPORTにボリュームをスワップしようとした。

システム動作: スワップは、オペレータが Eject、Dismount、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

Eject 「E」	ボリュームをイジェクトする場合。
Dismount (D)	ボリュームをマウント解除して、ライブラリ内に保存する場合。
Ignore 「I」	要求を無視する場合。

SLS0110I

Eject of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Unable to eject, volume errant

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、エラーによってボリュームがエラントになりました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: ボリュームがエラントになった理由を判別して、適切な訂正処置をとってください。

SLS0112E

Swap of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LMU error
XXXXXXXX ACS AA

説明: XXXX または AA:LL:PP:NN からのボリューム *volser* のスワップ中に LMU エラー XXXXXXXX が受け取られました。

システム動作: スワップは失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームに対して、ライブラリの DISMount および Mount command を入力してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0113D

Mount of volser1 on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - OCR
volser mismatch (volser2); Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)

説明: ボリューム *volser1* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたますが、LMU が (*volser2*) という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN は DRIVEid を示します。

システム動作: マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

R	マウントを再試行する場合。
E	ボリュームをイジェクトする場合。ボリューム <i>volser1</i> は、制御データセットから削除されます。また、 <i>volser2</i> が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
I	マウントを無視する場合。

SLS0114D

Enter of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - volser
invalid; reply E,volser or I to Enter a different volume, or
Ignore

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* の入力を試みましたが、このボリュームシリアル番号は受け付けられませんでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN は DRIVEid を示します。

システム動作: マウントは、オペレータが「E,volser」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

E,volser	異なるボリュームシリアル番号を入力する場合。
I	マウントを無視する場合。

SLS0115I

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Overridden by a dismount request

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、そのマウントは、マウント解除要求によって無効にされました (同じトランスポートに対して、マウント要求とマウント解除要求が出されていました)。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: Mount コマンドも DISMount コマンドも実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0116I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Newly unreadable volser; Ejecting

説明: *volser* のマウント解除中に、LMU が、以前読み取り可能であった外部ラベルが現在読み取り不能であることを示しました。

システム動作: ボリュームは、ライブラリからイジェクトされます。

ユーザーの応答: なし

SLS0117E

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LMU
error XXXXXXXX ACS AA

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたが、LMU エラーの XXXXXXXX が起こりました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームに対して、ライブラリの DISMount コマンドを入力してください。それでもすぐにこの問題が再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0118D

Enter of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; bad CAPid
AA:LL:CC; reply "T,capid","U", or "I" - Try another/Use
any/Ignore

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN に入力しようとしたが、不良な CAPid (AA:LL:CC) が指定されていました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのいずれかです。

システム動作: ENter は、オペレータが T,capid、U、または I を応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

T,capid (Try another CAP)	ボリュームの入力を進める場合。ここで CAPid は、使用する CAP を示します。
U (Use any CAP)	サブシステムに CAP を選択させる場合。
I (Ignore)	ボリュームの入力を無視する場合。

SLS0119D

Enter of volume on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - volume already in database; reply "M,volser", or "I" to Mount or Ignore

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN に入力しようとしたが、*volser* がすでに制御データセット内にありました。

システム動作: ENter は、オペレータが「M,volser」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

M,volser (Mount)	ボリュームの入力を進める場合は、制御データセット内にないボリュームシリアル番号を指定してください。
I (Ignore)	ボリュームの入力を無視する場合。

SLS0120E

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、ACS AA に対して LMU エラーの XXXXXXXX が起こりました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウントは失敗します。ボリュームがそのセルにない場合、そのボリュームはエラントになります。

ユーザーの応答: 問題を訂正して、ライブラリの Mount をそのボリュームに対して入力してください。

SLS0121I

Invalid library {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}

説明: オペレータコマンドにより、ボリュームのマウントまたはマウント解除を試みたときに、無効なライブラリトランスポートが指定されていました。

システム動作: マウントまたはマウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: 有効なトランスポートを指定して、コマンドを再発行してください。

SLS0122D

Enter of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - no cell
space available in ACS AA; Retry or Ignore (R/I)

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* を入力しようとしたが、この ACS に使用可能なセルスペースがありません。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: ENter は、オペレータが Retry または Ignore を応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

R	ボリュームの入力を進める場合は、「R」と答える前に、ボリュームのいくつかをイジェクトしてください。
I	ボリュームの入力を無視する場合。

SLS0123I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Suppressed; mount was not initiated

説明: *volser* のマウント解除は、それに先行するマウントが抑止されていて、ボリュームがトランスポートに配置されていなかったために、抑止されていました。

システム動作: マウント解除は実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0124I

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Complete

説明: マウント要求に応じて、ボリューム *volser* は、指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントされました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0125D

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not in cell AA:LL:PP:RR:CC; Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)

説明: ボリューム *volser* をマウントしようとしたますが、セル AA:LL:PP:RR:CC にボリュームが見つかりませんでした。

システム動作: マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

R	マウントを再試行する場合。
E	見つかったボリュームを制御データセットから削除する場合。ボリュームがACSの外部にあって、入力処理を行う必要がある場合は、Ejectと応答してください。それから、HSC オペレータコマンドを使用して、ボリュームを入力およびマウントしてください。
I	マウントを無視して、ボリュームを制御データセットから削除しない場合。

SLS0127I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたとき、ドライブまたはホーム位置のいずれかのスキャンが必要とされました。しかし、LMU が、移動エラーの発生を示したか、あるいはドライブと通信できませんでした。

システム動作: マウント解除は実行されません。

ユーザーの応答: 必要であれば、コマンドを再入力してください。

SLS0128A

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Waiting for volume; reply "I" to cancel wait

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたますが、ボリュームが使用中でした。

システム動作: マウントは、ボリュームが使用可能になるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: マウントを無視する場合は、「I」と答えてください。

SLS0129I

XML input not supported for CCC...CCC command

説明: XML の開始文字で始まるコマンド入力は、XML 入力をサポートしないコマンド CCC...CCC では受け取れませんでした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 標準のテキスト構文でコマンドを入力します。

SLS0130I

{Drive XXXX|Driveid AA:LL:PP:NN} found full while attempting mount of volser

説明: 指定されたトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、トランスポートがいっぱいでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: システムは、トランスポート上のカートリッジをマウント解除して、マウントを再試行します。マウント解除に失敗すると、マウントは中止されるか、または SLS0105A が発行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0131I

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたとき、ドライブまたはホーム位置のいずれかのスキャンが必要とされました。しかし、LMU が、移動エラーの発生を示したか、あるいはドライブと通信できませんでした。

システム動作: マウントは実行されません。

ユーザーの応答: 必要であれば、コマンドを再入力してください。

SLS0132I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Suppressed; prior dismount queued or active

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたましたが、そのドライブに対する前のマウント解除がアクティブかまたは待ち状態にあるため、マウント解除は抑止されました。

システム動作: マウント解除は実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0133I

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Mount active; attempting suppression

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたましたが、そのドライブにあるボリューム *volser* に対して、マウント要求がすでにアクティブでした

システム動作: システムは、マウントを抑止しようとします。マウントの抑止が正常に終了すると、マウント解除も抑止されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0134D

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume and drive are in different ACSs; Eject, Retry, or Ignore (E,R,I)

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、異なる ACS 内にあるボリュームが必要とされました。

システム動作: マウントは、オペレータが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

E	必要なボリュームをイジェクトする場合。
R	マウントを再試行する場合。
I	マウントを無視する場合。

SLS0136D

Eject of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - bad CAPid AA:LL:CC; reply "T,capid", "U", or "I"; Try another/Use any/Ignore

説明: ボリューム *volser* をイジェクトして、トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたが、不良な CAPid が指定されました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのいずれかです。

システム動作: イジェクトは、オペレータが T,capid、U、または I を応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

T,capid (Try another CAP)	イジェクトを進める場合。ここで CAPid は、使用する CAP を示します。
U (Use any CAP)	サブシステムに CAP を選択させる場合。
I (Ignore)	マウント解除要求を無視する場合。

SLS0137E

Eject of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からイジェクトしようとしたが、LMU エラー (XXXXXXX) が発生しました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: イジェクトは失敗します。

ユーザーの応答: ボリュームに対してライブラリの DISMOUNT コマンドを入力して、Eject コマンドを再試行してください。それでもすぐに問題が再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0138D

Eject of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - No non-zero priority CAPs in ACS AA; reply C to cancel wait

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたましたが、ゼロ以外の優先順位を持つ使用可能な CAP がありませんでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除は、オペレータが C と応答するか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAPPref コマンドを入力するか、またはアクティブな CAP を DRAin して CAP を使用可能にしてください。イジェクト処理が必要ない場合は、C と応答してください。

SLS0140I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Suppressed

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、マウント解除によって抑止されました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウントは実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0141I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Suppressed; prior scratch request active or queued

説明: スクラッチ要求に対してボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、それに先行する非特定の要求が、そのドライブで待ち状態かアクティブでした。

システム動作: 2 番目のマウント要求は実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0142I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Unable to recover volume - XX

説明: エラントボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、それを見つけれませんでした。XX は、次のように、ボリュームを見つけれなかった理由を示します。

04 - 回復でボリュームを見つけれませんでした

08 - 制御データセットのエラーが起きました

0C - 回復が異常終了しました

10 - LMUエラーが起きました

システム動作: マウント処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS0143I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Cancelled due to operator request

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、オペレータ要求によって取り消されました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS0144I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Overriding a mount scratch request

説明: *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたとき、システムは、そのドライブに対するマウント SCRATCH 要求を検出し、それを無効にしました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: SCRATCH のマウントは実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0145I

Mount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Mount
scratch active; attempting suppression

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、そのドライブに対するマウント SCRATCH 要求がアクティブ状態にありました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: システムは、SCRATCH のマウントを抑止しようとします。

ユーザーの応答: なし

SLS0147I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} suppressed
- prior mount request queued

説明: 指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、そのボリュームへの先行するマウント要求が、そのドライブで待ち状態になっていました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: 2 番目のマウント要求は実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0148I

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Cancelled by overdue response handler

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、未完了応答ハンドラが、要求に時間がかかり過ぎていると判断して、その要求を無効にする許可をオペレータから得ました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント要求は取り消されました。

ユーザーの応答: 必要であれば、マウント要求を再入力してください。

SLS0149I

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Cancelled by overdue response handler

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からマウント解除しようとしたましたが、未完了応答ハンドラが、要求に時間がかかり過ぎていると判断して、その要求を無効にする許可をオペレータから得ました。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント解除要求は取り消されます。

ユーザーの応答: 必要であれば、マウント解除要求を再入力してください。

SLS0150I

Missing or invalid SLSIN DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティープログラムが、必要なユーティリティー制御ステートメントファイル (DD 名 SLSIN) を、正しく OPEN できませんでした。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: 80 バイトのカードイメージ制御文を含む SLSIN データセットを供給して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信してください。

SLS0151I

Value in JCL PARM field P P P P P P P P is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリテীগジョブが PARM = パラメータを指定してサブミットされ、キーワード P P P P P P P P に無効な値が指定されました。有効なキーワードとその値は、次のとおりです。

MIXED、NOHDR、LINECNT=*nn*、DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}、および
XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD}

ここで、*nn* は 10 から 99 までの値です。NOHDR と LINECNT は、いずれか一方しか指定できません。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: JCL PARM フィールドの値を訂正するか、PARM 値をすべて削除してから、ジョブを再送信してください。

SLS0152I

SLUCON__ must be authorized when specifying "LIBONLY" parameter

説明: 表示された SLUCONDB ユーティリティーは、「LIBONLY」実行時パラメータが指定された場合、APF 許可モードで実行される必要があります。

システム動作: ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティーが存在するライブラリが APF 許可を受けていることを確認して、ジョブを再送信してください。

SLS0153I

Conflicting utility is currently active on the system -- try again later

説明: もう1つの SLUADMIN ユーティリティージョブがシステム上でアクティブであり、この SLUADMIN ユーティリティージョブで要求されたユーティリティーの機能と対立するユーティリティー機能を実行していました。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: もう1つの SLUADMIN ユーティリティージョブが終了してから、この SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0154A

A CCCCCCCCCCCCCC library utility active during termination; waiting for completion

説明: HSC サービスレベルの一方または両方を終了させようとしたましたが、CCCCCCCCCCCCC SLUADMIN ユーティリティージョブが、システムでアクティブなライブラリソフトウェアを必要としています。

システム動作: 終了処理は、ユーティリティー機能が終了するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 現状に基づいて次のいずれかの処置を実行してください。

- SLUADMINユーティリティージョブが完了するまで待ち、そのあとで、ライブラリソフトウェアの終了処理が行われます。
- SLUADMINユーティリティージョブがキャンセルされ、ライブラリの終了処理が続けられます。
- ライブラリソフトウェアを取り消し、異常終了します。

SLS0155I

Condition code for utility function is DD

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブ内で単一の制御文によって表されるユーティリティー機能が完了し、指定された条件コードが返されました。次の条件コードがあります。

0	ユーティリティー機能は正常に完了しました。
4	エラーが検出されましたが、ユーティリティー機能は完了しました。
8	エラーが検出され、ユーティリティー機能は取り消されました。
12	エラーが検出されて、ユーティリティープログラム (すべてのユーティリティー機能)が取り消されました。

システム動作: ユーティリティー機能は、リターンコードに示されたとおりに終了します。

ユーザーの応答: 条件コードがゼロ (0) ではない場合は、そのほかのユーティリティーメッセージ (複数の場合もあります) を参照して、エラーの真の原因を解決し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信する必要があるかどうかを判断してください。

SLS0156I

No qualifying SMF records found

説明: SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーが、すべての SMF レコードを読み取りましたが、指定の日付および時刻のレコードがありませんでした。

システム動作: アクティビティーレポートユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 与えられた SMF データ (DD 名 SLSSMF) または必要なレポート期間 (制御ステートメント上の BEGIN パラメータと END パラメータ)、あるいはその両方をチェックし、エラーを修正してから、この SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0157I

Host Software Component not active

説明: ライブラリソフトウェアを必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能を実行しようとしたが、そのライブラリソフトウェアはアクティブではありませんでした。

システム動作: ユーティリティー機能は実行されません。

ユーザーの応答: ホストライブラリソフトウェアを起動し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0158I

Conflicting audit in progress on this Host

説明: 別の SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが監査中のライブラリーコンポーネントに SLUADMIN AUDIT ユーティリティーを実行しようとしたか、「アクティブ」な AUDIT ユーティリティー (パラメータ APPLY(YES)) を「レポートのみ」の AUDIT ユーティリティー (パラメーターAPPLY(NO)) と同時に実行しようとしています。

システム動作: 要求されたユーティリティー機能は実行されません。

ユーザーの応答: もう 1 つの AUDIT ユーティリティージョブが終了するまで待って、この SLUADMIN AUDIT ジョブを再送信してください。あるいは、この AUDIT 制御ステートメントのパラメータを、もう 1 つの AUDIT ユーティリティーと対立しないように変更してください。

SLS0159I

Conflicting audit in progress within the LSM

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、現在の AUDIT ユーティリティー、INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティー (MVS)、または ENTER ユーティリティー (VM) の LSM と同じ LSM 内で処理されています。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーか、一連の並行 AUDIT ユーティリティーが完了するまで待ってから、この SLUADMIN ユーティリティーを再送信してください。

SLS0160I

All DD journals are successfully sorted

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティからのチェックポイントメッセージで、DD (アクティブジャーナルの数) ファイルからのすべてのジャーナルレコードが、正常にソートされたことを示すものです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0161I

Control database is successfully copied from the backup copy

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティからのチェックポイントメッセージで、制御データセットが、バックアップデータセットの制御データセットと正しく置き換えられたことを示すものです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0162I

PPPPPPPP parameter value VVVVVVVV invalid

説明: 示された VOLRpt パラメータ値が、無効なパラメータ値で指定されました。

システム動作: VOLRPT ユーティリティは、リターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: ボリュームレポート (VOLRpt) 制御文上の示されたパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0163I

Volume volser not in library

説明: 固有のボリュームシリアル番号 (*volser*) が要求された機能に与えられます。しかし、要求されたボリュームがライブラリ内で見つからないため、ボリュームシリアルは処理できませんでした。このメッセージは、固有のボリュームシリアル番号が指定されず内部機能呼び出しがボリュームが要求したときにも、表示されることがあります。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: その機能に指定したボリュームシリアル番号を見直して、必要ならば、要求を再送信してください。

SLS0164I

Volume volser already defined in library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ライブラリスクラッチプールに、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を追加しようとしたましたが、ボリュームはすでにスクラッチとして定義されていました。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーでは、スクラッチ 更新ユーティリティは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再送信できます。

SLS0165I

Control database is successfully restored by applying sorted journals

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティからのチェックポイントメッセージであり、バックアップで置き換えられた制御データセットが、すべてのアクティブジャーナルファイルからのレコードで更新されたことを示します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0166I

Volume *volser* not defined in library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ライブラリスクラッチプールから指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を除去しようとしたましたが、そのボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティは取り消されませんが、ユーザーは、指定のボリュームシリアル番号をチェックし、それを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再送信できます。

SLS0167I

Volume *volser* successfully added to library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティにより、ライブラリスクラッチプールに指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が追加されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0168I

Volume *volser* successfully deleted from library scratch pool

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティにより、ライブラリスクラッチプールから、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) が削除されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0169I

Secondary is successfully copied from the restored control database

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティからのチェックポイントメッセージで、制御データセットのセカンダリコピーが、回復した制御データセットの内容と正しく置き換えられたことを示すものです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0170I

Volume volser in use; unavailable for processing

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、ユーティリティ固有の処理を、特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して試みましたが、そのボリュームは、別の処理によって現在選択されているか、すでに使用されているかのいずれかで、スクラッチできませんでした。ユーティリティの処理は実行できません。

システム動作: 処理は続けられますが、このボリュームは無視されます。

ユーザーの応答: これはエラーとはみなされませんが、ユーザーは、競合する処理 / ジョブがこのボリュームを解放してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信できます。

SLS0171I

CAPid AA:LL:CC is invalid

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の CAPid (AA:LL:CC) をユーティリティ制御文に指定しましたが、この CAPid は無効でした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: CAPid の指定を変更して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0172I

CAP could not be successfully allocated

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の CAP (ユーティリティ制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別の処理で使用されていたために割り振ることができなかったか、または、ゼロ以外の優先順位を持つ予約されていない CAP が、CAP の要求された ACS 内にありませんでした。

システム動作: ユーティリティは、CAP 操作を行わずに終了します。

ユーザーの応答: 異なる CAPid を指定するか、またはその特定の CAP を使用する処理が完了するまで待つから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。CAP が指定されていない場合は、ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先順位をゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0173I

Missing or invalid SLSTAPE DD statement

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、SLSTAPE DD 文を見つけられなかったか、または SLSTAPE DD 文がトランスポートを正しく参照しなかったかのいずれかです。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: JCL に、有効なライブラリトランスポートを表わす SLSTAPE DD ステートメントが含まれていることを確認してください。また、特定の CAP が必要な場合は、SLSTAPE DD 文で表わされたライブラリトランスポートと同じ ACS 内に、その CAP があることも確認してください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0174I

Volume *volser* successfully ejected from library

説明: カートリッジのイジェクトに關与する SLUADMIN ユーティリティ機能が、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を、カートリッジアクセスポート (CAP) に正しく移動させました。

システム動作: カートリッジは、制御データセットからイジェクトされます。

ユーザーの応答: なし (オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知されます。また、CAP がいっぱいの場合、あるいは SLUADMIN ユーティリティ機能が完了した場合には、CAP を空にする必要があります)

SLS0175I

Missing or invalid SLSCNTL DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは RESTORE ユーティリティが、SLSCNTL DD 文で表わされた制御データセットを、正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ユーティリティ機能のための制御データセットを正しく参照する SLSCNTL DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0176I

Missing or invalid SLSBKUP DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは RESTORE ユーティリティが、SLSBKUP DD 文で参照されたバックアップデータセットを、正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ユーティリティ機能のためのバックアップデータセットを正しく参照する SLSBKUP DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0177I

Missing or invalid SLSJRNnn DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティが、SLSJRNnn 文 (*nn* = 01 - 32) で参照されたジャーナルを、正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN BACKUP ユーティリティのための、すべてのアクティブジャーナルファイルを正しく参照する SLSJRNnn 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0178I

APPLY(YES) specified or defaulted, but journaling not active

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティが、ジャーナルレコードが復元された制御データセットに対して適用されることを意味する APPLY(YES) パラメータを指定するか、または暗黙指定した状態で送信されましたが、ジャーナル処理が、ライブラリソフトウェアに対して有効になっていませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 制御データセットを、参照されたバックアップデータセット (SLSBKUP DD 文) の状態に実際に復元しなければならない場合は、RESTORE ユーティリティの制御文に APPLY(NO) を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0179I

I/O error reading backup file specified by SLSBKUP DD statement

説明: CDS バックアップデータセットで I/O エラーが起きました。

システム動作: ユーティリティは終了します。CDS は影響を受けません。

ユーザーの応答: 別のバックアップデータセットを設定し直して、CDS BACKUP ユーティリティを再実行してください。

SLS0180I

I/O error processing control database

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能の処理中に、制御データセット I/O エラーが起きました。

システム動作: ユーティリティは、要求された機能を完了せずに終了します。

ユーザーの応答: I/O エラーの原因を判別してください。制御データセットの問題を解決したら、ユーティリティを再送信してください。

SLS0181I

I/O error reading journal specified by SLSJRNnn DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは RESTORE ユーティリティの実行中に、SLSJRNnn 文で定義されたジャーナルファイルを読み取るときに、入出力エラーが起きました (BACKUP の場合は nn = 01 - 32、RESTORE の場合は 01 - 99)。

システム動作: ユーティリティは、機能を果たさないまま終了します。

ユーザーの応答: ローカル回復手順を参照してください。

- BACKUPでジャーナルI/Oエラーがある場合は、SLICREATを使用して、新しい(リセットされた) ジャーナルファイルを作成してください。
- RESTOREでジャーナルI/Oエラーがある場合は、ジャーナルファイルの別のコピーがあるかどうかを調べて、そのコピーを使用してください。
- コピーがない場合は、復元を不完全なまま終わるか、ライブラリ全体の監査を行うかを選択してください。

SLS0182I

I/O error writing journal specified by SLSJRNnn DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは OFFLOAD ユーティリティ実行中に、SLSJRNnn 文で定義されたジャーナルファイルを書き込むときに、入出力エラーが起きました (OFFLoad の場合は nn = 01 - 02、BACKup の場合は 01 - 32)。

システム動作: ユーティリティは、ジャーナルファイルをリセットしないで終了します。

ユーザーの応答: OFFLOAD ユーティリティで I/O エラーがあった場合は、ただちにバックアップを作成してください。バックアップでジャーナル I/O エラーがある場合は、SLICREAT を使用して、ジャーナルファイルを作成 (リセット) してください。

SLS0184I

DD1 hosts defined, but only DD2 SLSJRNnn DD statements supplied

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティが、定義されたホストの数 DD1 から、SLSJRNnn 文の数が不足していると判断しました。DD2 は、存在する SLSJRNnn 文の数を表しています。ライブラリに接続された各ホストには、2 つのジャーナルファイルがなければなりません。(BACKup の場合は = 01 - 32、RESTore の場合は 01 - 99)。

システム動作: RESTORE ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: ライブラリに接続された各ホストに 2 つの SLSJRNnn 文を与えて、SLUADMIN RESTORE ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0186E

MISSING OR INVALID SYSPRINT DD STATEMENT

説明: ユーティリティで、必要な SYSPRINT DD を正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 必要な SYSPRINT DD 文を与えて、ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0191I

Journal specified by SLSJRNnn DD statement successfully reset

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティまたは OFFLOAD ユーティリティによって出されたチェックポイントメッセージで、SLSJRNnn (OFFLoad の場合は、nn = 01 - 02、BACKup の場合は 01 - 32) DD 文で定義されるジャーナルファイルが正しくリセットされたことを示しています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0194I

I/O error writing to control database specified by SLSCNTL DD statement

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティの実行中、バックアップのコピー中、または制御データセット (DD 名 SLSCNTL) へのジャーナルの適用中に、I/O エラーが起きました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 制御データセットを再作成し、SLSCNTL DD 文にその新しいデータセットを指定してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0195I

I/O error reading from data set specified by SLSDELTA DD statement

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティの実行中、一時作業ファイル (DD 名 SLSDELTA) 上のソートされたジャーナルレコードの読み取り時に、I/O エラーが起きました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLSDELTA DD 文で定義された、ソート済み一時ジャーナルレコードファイルを再割り振りしてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0196I

LSM LL is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能制御文上の「LSM」パラメータを介して得られた LSMid (LL) が無効です。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: ライブラリの構成をチェックし、「LSM」パラメータを指定し直してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0197I

LSMid AA:LL is offline

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、特定の LSMid (AA:LL) への機能経路を必要としましたが、その LSM は、ユーティリティの実行されたホストに対してオフラインであるか割り振られていないことがわかりました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: LSM をこのホストに対してオンラインにして (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。LSM が割り振られていない場合は、LSM をユーティリティの制御ステートメントから削除し、SLUADMIN のユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0198I

Panel index DD is invalid

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティで、AUDIt 制御文の PANel パラメータに指定されたパネル索引 (DD) が無効でした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: PANel パラメータのパネル索引を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0199I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is in control database at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、制御データセット位置と異なるライブラリ位置にある、ボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを見つけました (最初のセルはカメラによって確認された位置で、2 番目のセルは制御データセット位置です)。監査が「アクティブ」であった場合 (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、または省略されていた場合)、データセットは更新されています。

システム動作: APPLy パラメータに従って、AUDIT ユーティリティは、制御データセット内のボリュームの位置を変更します。

ユーザーの応答: なし

SLS0200I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is not in control database

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、制御データセット内に存在しない、ボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを、指定位置 (AA:LL:PP:RR:CC) に見つけました。監査が「アクティブ」である場合 (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのボリュームは制御データセットに加えられます。

システム動作: APPLy パラメータの指定に従って、ボリュームは制御データセットに加えられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0201I

Cartridge in cell AA:LL:PP:RR:CC has an unreadable or illegal external label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不能なカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) に検出しました。監査が「アクティブ」である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのカートリッジはイジェクトされます。

システム動作: APPLY(YES) が指定されている場合、カートリッジは、ライブラリから物理的にイジェクトされます。

ユーザーの応答: APPLY(YES) が指定されている場合、カートリッジを CAP から取り出し、そのボリュームシリアル番号を確認してから再び挿入してください。APPLY(NO) が指定されている場合は、元のボリュームに対するエラント回復を呼び出して、そのカートリッジを論理的にイジェクト (制御データセットから削除) しなければならない場合もあります。エラント回復は、そのボリュームに対して Mount コマンドまたは Eject コマンドを発行することによって、呼び出すことができます。

SLS0202I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is a duplicate with volume in cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能において、指定のボリュームシリアル番号 (volser) を持つ複数のライブラリカートリッジが検出されました。最初の位置 (AA:LL:PP:RR:CC) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。監査が「アクティブ」である場合 (制御文に APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合) 重複したボリュームはイジェクトされます。

システム動作: 監査がアクティブである場合、重複したボリュームは、ライブラリから物理的にイジェクトされます。

ユーザーの応答: ライブラリ内にあるべきボリュームがどちらかによって、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトし、もう一方のボリュームを再入力しなければならない場合があります。

SLS0203I

ACS AA is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能において、ユーティリティ制御ステートメン上の ACS パラメータの指定が無効でした。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: ACS を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0204I

ACS AA is disconnected

説明: LUADMIN ユーティリティ機能が、ACS (AA) への機能経路を必要としましたが、その ACS はユーティリティの実行されたホストから切断されていました。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: このホストに ACS を接続して (Vary コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0205I

Missing or invalid SLSINIT DD statement

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、必要なプロトタイプ初期設定制御文ファイル (DD 名 SLSINIT) を正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: ボリュームシリアル番号に対する 6 文字の置換えフィールド (「*****」) を含む、80 バイトのカードイメージ制御文レコードを持つ SLSINIT DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0206I

Missing or invalid initialization control statement (CCCCCCCC DD statement)

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティで、必要な初期設定制御文ファイル (DD 名は CCCCCCCC、IEHINITT では SYSIN) を正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: 初期設定カートリッジ制御文 (省略時 DD 名は SYSIN) の CNTLDD パラメータで指定された DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0207I

Invalid SLSINIT prototype initialization control statement

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) が、SLSINIT ファイルに、無効なプロトタイプ初期設定制御文を見つけました。ファイルが空 (カードイメージレコードを含まない) か、または 7 つ以上のカードイメージレコードがあるか、あるいは 6 文字のボリュームシリアル番号置換えフィールド (「*****」) がないかのいずれかです。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: ボリュームシリアル番号に対する 6 文字の置換えフィールド (「*****」) と、80 バイトのカードイメージ制御文レコードを持つ SLSINIT DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0208I

OPTION parameter value invalid; must be SCRatch or EJEct

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、カートリッジ初期設定 (INITialize) 制御文の OPTion パラメータに無効な値を見つけました。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: カートリッジ初期設定制御文の OPTion パラメータを指定しなおすか、または除去してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0209I

Initialize cartridge program CCCCCCCC not found

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、初期設定カートリッジ制御文の PROGRAM パラメータに指定されているか、または省略時解釈値として取られる IEHINITT に指定されている初期設定プログラム (CCCCCCCC) をロードしようとしてしました。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: PROGRAM パラメータの初期設定プログラムの指定をチェックし、それが SLUADMIN のリンクリストからアクセス可能であることを確認してください。

SLS0210I

Library scratch list deletion completed successfully

説明: これは、REPLaceall 制御文を持つ SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージです。現在のスクラッチリストから、すべてのスクラッチボリュームが削除されたことを示します。

システム動作: 通常の処理が続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0211I

Volume volser successfully entered into library

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) が、外部ラベル (*volser*) を持つカートリッジをライブラリーに挿入しました。MVS INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティは、初期設定プログラムを呼び出す前にこのメッセージを出します。

システム動作: カートリッジはライブラリーに挿入されています。

ユーザーの応答: なし

SLS0212I

Missing or invalid SLSSMF or SLSPARM DD statement

説明: SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティが、必要な SMF コードファイル (DD 名 SLSSMF または SLSPARM) を正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLSSMF または SLSSMF DD 文を与えてから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0213I

Volume volser not located by Audit

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査されたライブラリ要素内に、ボリュームシリアル番号 (volser) を見つけれませんでした。制御データセットには、監査されたライブラリ要素内に位置を持つそのボリュームが含まれています。監査が「アクティブ」である (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている) 場合、そのボリュームはデータベースから削除されます。

システム動作: APPLY(YES) が指定されていれば、ボリュームは論理的にイジェクト (制御データセットから削除) されます。

ユーザーの応答: ボリュームがライブラリにあると思われる場合は、LSM 全体、または LSM の ACS を含むように、監査の対象となるライブラリ項目を増やしてください。ACS 内にもそのボリュームが見つからない場合は、SMF データと MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べ、ボリュームがイジェクトされたか、あるいは手動でライブラリーにマウントされた後に取り出されたのかを判別してください。

SLS0214I

'APPLY' parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能に、YES または NO 以外の値が APPLY パラメータとして指定されました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティ制御文の APPLY パラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0215I

An error occurred in the initialize cartridge program CCCCCCCC

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、カートリッジ初期設定プログラム (CCCCCCCC) を呼び出して、ゼロ以外の戻りコードを受け取りました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: カートリッジ初期設定プログラムからのエラーメッセージをチェックして、原因を解決してください。次にカートリッジをイジェクトして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0216I

Invalid date and/or time specified on SLSIN control statement

説明: SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティが、ACTIVITIES 制御文の BEGIN または END パラメータの日付または時刻、あるいはその両方の形式が間違っていることを見つけました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ACTIVITIES 制御文の BEGIN または END パラメータ (あるいはその両方) を指定し直してください。日付の場合は、「MM/DD/YY」または「YYYYMMDD」(01 ≤ MM ≤ 12, 01 ≤ DD ≤ 31)、時刻の場合は「HH:MM:SS」(00 ≤ HH ≤ 23, 00 ≤ MM, SS ≤ 59) という形式で指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0217I

BEGIN date and/or time is the same or later than END date and/or time

説明: SLUADMIN ACTIVITIES ユーティリティが、BEGIN パラメータの日付 / 時刻が、ACTivities 制御文の END パラメータと同じか、それよりも後であることを見つけました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ACTivities 制御文の BEGIN または END、あるいはその両方のパラメータを指定し直して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0218I

Invalid date specified in PARM parameter of JCL statement

説明: SLUCONDB ユーティリティの PARM フィールドに指定された日付が無効です。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 日付の値を訂正して、SLUCONDB ユーティリティを再送信してください。

SLS0219I

MISSING OR INVALID SLSTMS DD STATEMENT

説明: SLUCONDB SLUCONDB ユーティリティプログラムが、必要なユーティリティ制御文ファイル名 (DD 名 SLSTMS) を正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 処理するテーブル管理システムデータベースを含む SLSTMS データセットを指定して、SLUCONDB ユーティリティを再送信してください。

SLS0220I

Invalid command

説明: SLUADMIN ユーティリティが、SLSIN 制御文に、認知できないコマンドを見つけました。

システム動作: このコマンド文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のコマンドを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0221I

CCCCCCCC1 parameter mutually exclusive with CCCCCCCC2 parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティが同時には指定できない 2 つのパラメータ (CCCCCCCC1 と CCCCCCCC2) が指定されている SLSIN 制御文を見つけた。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 参照されたパラメータのいずれかを除去することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0222I

CCCCCCCC1 parameter requires corequisite parameter CCCCCCCC2

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、パラメータ (CCCCCCCC2) の指定を必要とするパラメーター (CCCCCCCC1) を持つ SLSIN 制御文を見つけましたが、パラメータが制御文にありませんでした。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 必要なパラメータを与えることにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。このエラーは、無効な連結と関連していることがあります。

要求された欠落パラメータは、使用できる唯一のパラメータと限らないことに注意してください。パラメータによっては、相互に必要なパラメータが要件を満たすことがあり、メッセージでは一方のパラメータだけを表示していることがあります。

SLS0223I

Parameter CCCCCCCC is an unknown parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、コマンドに対して許可されていないパラメーター (CCCCCCCC) または 9 文字以上のパラメータが指定されている SLSIN 制御ステートメントを見つけました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 無効なパラメータを除去するか、または有効なパラメータのスペルを訂正することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0224I

CCCCCCCC parameter has a value with a length error

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、許可された値よりも長い、または短い値のパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を見つけました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0225I

CCCCCCCC parameter requires a value

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値のないパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を見つけましたが、このパラメータには値が必要です。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文上のこのパラメータに値を与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0226I

Value not allowed with CCCCCCCC parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値のあるパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を見つけましたが、このパラメータには値を指定できません。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のこのパラメータから値を除去して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0227I

Parameter CCCCCCCC has an illegal value

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、不当な値を含むパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 文を見つけました。リストが許可されていない箇所にリストがあるか、値のタイプ (すなわち、16 進値、数字、英字) が許可されているものと異なるかのいずれかです。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のこのパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0228I

CCCCCCCC parameter has too many values

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値リストの項目の数が多すぎるパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を見つけました。たとえば、PANeI パラメータに指定可能なパネル索引の数は最大 20 個です。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のこのパラメータの値リストを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0229I

PANEL parameter not allowed with LSM value list parameter

説明: コマンドまたはユーティリティーが、値リスト (複数の LSM 番号) を持つ PANeI パラメータおよび LSM パラメータ付きの制御文を検出しました。パネルも指定されていれば、LSM は 1 つのみ許可されます。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: パラメータを訂正して、コマンドを再送信します。

SLS0230I

Parameter ALL or ACS required

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、2 つのパラメータ (ALL または ACS) のいずれかが必要な制御文を見つけました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文にいずれかのパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0231I

Audit phase 1 (Registration) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査の登録フェーズを完了したことを示しています。要求された監査は有効で、そのほかのどのライブラリユーティリティとも対立しないことが確認されました。カートリッジアクセスポート (CAP) は、エラーのあった ACS 用に予約されています。

システム動作: 監査処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0232I

Audit phase 2 (Volumes Check) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査のボリューム検査フェーズを完了したことを示しています。制御データセット内のすべてのボリュームレコードは読み取られ、監査済みライブラリ要素内のボリュームの項目が監査済みボリュームテーブルに作成されました。最後のアクティブ監査が完了すると、見つからなかったボリュームはすべて、制御データセットから削除されます。

システム動作: 監査処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0233I

Audit phase 3 (Cell Scan) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査のセル操作フェーズが完了したことを示しています。監査されるべきライブラリ要素は、LSM カメラによってすべてスキャンされました。「アクティブ」監査の場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、制御データセットは、これらの要素の実際の内容を反映するように更新されています。また、重複するラベルや読み取り不能なラベルを持つカートリッジは、すべてイジェクトされました。

システム動作: 監査処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0234I

Audit phase 4 (Finish) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージで、監査の最終フェーズが完了したことを示しています。この監査で予約されたすべてのカートリッジアクセスポート (CAP) が解放されました。これが最後の「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、監査済みボリュームテーブルがスキャンされ、監査で見つけられなかったボリュームはすべて、制御データセットから削除されました。

システム動作: Final} 開始の場合、監査処理は続けられます。そうでない場合、処理は終了し、終了リターンコードメッセージ (SLS0155I) が出力されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0235I

Audited volume volser is errant (lost)

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査済みライブラリ要素内のボリュームに対して、「エラント」(失われた)とマークされたボリュームレコードを制御データセット内に検出しました。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、そのボリュームがセルスキャンフェーズで見つければ、ボリュームレコードは更新されます。

システム動作: APPLY(YES) が指定されていて、ボリュームが LSM セルスキャンフェーズ中に見つければ、ボリュームは、エラントセットから取り除かれます。

ユーザーの応答: ボリュームが見つからなかった場合は、そのボリュームを表示して、その最後の位置を判別してください。最後の位置を調べるには、VIEW コマンドを使用します。それでもライブラリ内にボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがイジェクトされたか、または手動でマウントされた後に ACS から取り出されたのかを判別してください。監査の範囲を拡大してください。

SLS0236I

Audited volume volser has a cell index mismatch

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、監査済みライブラリ要素内にホーム位置があるボリュームレコードを制御データセットに検出しました。しかし、その位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を何も反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。

システム動作: 制御データセットのセル索引部分は、APPLY(YES) が指定されていれば更新されます。

ユーザーの応答: APPLY(NO) が指定されている場合、監査された時または実際にセル内にあるボリュームがイジェクトされた時、あるいは、その LSM 外に移動させられた時にのみ解消される、セル索引の不一致が起こります。(ACS または LSM パラメータを指定して) 範囲を限定したボリュームレポートを実行すれば、セル索引の不一致が表示できます。

SLS0237I

Audited volume volser is errant (lost) and has a cell index mismatch

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、エラント (失われた) とマークされたボリュームレコードを制御データセットに検出しましたが、そのホーム位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、または省略されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を何も反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームのレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。また、ボリュームが、監査のセルスキャンフェーズで見つかった場合、制御データセットは更新されて、ボリュームは非エラント状態になります。

システム動作: セル索引は、アクティブ監査であれば更新されます。LSM セルスキャン中にボリュームが見つかって、それがアクティブ監査であれば、ボリュームのエラント状態は解消されます。

ユーザーの応答: ボリュームが見つからない場合は、監査の範囲を拡大してみてください。それでもボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがいつイジェクトされたか、または手動でマウントされたかを判断してください。

SLS0238I

Audit scan for LSMid AA:LL, panel DD has completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージであり、指定の LSMid (AA:LL) とパネル (DD) の物理セルスキャンが完了したことを示しています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0239I

Audit scan for panels in LSMid AA:LL has terminated

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージであり、指定の LSMid の物理セルスキャンが正常に完了したか、あるいは SLSPRINT 出力の別のメッセージに示されたエラーが原因で未完了で終了したことを示しています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0240I

Control data set configuration does not match the hardware configuration

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、制御データセット構成と、物理セルスキャンで検出されたハードウェア構成との間に相違を見つけました。

システム動作: AUDIT ユーティリティは取り消されます。

ユーザーの応答: LIBGEN によって制御データセットの構成を変更するか、または CSE に LMU に保管された ACS 構成を変更させてください。

SLS0241I

Invalid utility control statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、ユーティリティー制御文の継続やそのほかの一般的な構文エラー (かつこの不一致など) を見つけたか、あるいは連結された制御文が 32767 文字の最大長を超えました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 構文エラーを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0242I

Required parameter CCCCCCCC is missing

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、必要なパラメータ (CCCCCCCC) の欠落している制御文を見つけました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 欠落しているパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0243I

LMU or LSM failure during operation in LSMid AA:LL, RC=XXXXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、自身の要求した LMU または LSM 操作からエラー応答を受け取りました。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 障害の起こったおよその時刻を記録して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。修理 / 調節処理の実行後、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0244I

Scratch Redistribution completed successfully for ACS AA

説明: SLUADMIN SCREDIST ユーティリティーが、指定の ACS (AA) でのスクラッチボリュームの分配 (導入時に定義された許容範囲内での) を完了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0245I

Specified ACS has fewer than two LSMs online; Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN SCREDIST ユーティリティーが、スクラッチ分配中の ACS 内に、オンライン LSM が 1 つしかないと判別しました。スクラッチ再分配は、この構成ではスクラッチボリュームを再分配できません。

システム動作: 再分配処理は、スクラッチカートリッジを移動させないままで終了します。

ユーザーの応答: 指定の ACS 内に複数の LSM が存在する場合は、少なくとも 2 つの LSM をオンラインにしてから (MODIFY コマンドを参照)、SCREDIST ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0246I

No scratch volumes exist; Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN SCREDIST ユーティリティーが、スクラッチ分配処理中の ACS 内に、スクラッチボリュームがないと判別しました。

システム動作: ユーティリティーは、スクラッチカートリッジを移動させないまま終了します。

ユーザーの応答: スクラッチ更新ユーティリティーを使用して、ACS にスクラッチボリュームを定義してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0247I

Offline LSM in path for ejecting volume volser

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、カートリッジをイジェクトしようとしたが、カートリッジがオフライン LSM 内にあるか、またはオフライン LSM を通過しなければなりません。

システム動作: ユーティリティーの処理は、カートリッジをイジェクトしないまま続けられます。

ユーザーの応答: すべての LSM がオンラインになってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0248I

CAP is in offline LSM (LSMid AA:LL); eject utility terminating

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーがカートリッジをイジェクトしようとしたが、カートリッジがイジェクトされる CAP が、オフライン LSM 内にありました。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: すべての LSM がオンラインになってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0249I

Invalid scratch pool specified in PARM parameter of JCL statement

説明: 指定されたスクラッチプールが、SLUADMIN ユーティリティーに認識可能なものではありません。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: スクラッチプールに AL、SL、NL、または NSL を指定して、ユーティリティーを再送信してください。

SLS0250D

Unnamed Cartridge in CAP cell AA:LL:CC:RR:C; reply "V,volser"
or "Eject"

説明: 光学ラベルのないカートリッジが、CAP セル AA:LL:CC:RR:C に見つかりました。ここで、RR は CAP の行を、C は CAP の列を示します。オペレータは、そのカートリッジのボリュームシリアル番号を提供するように要求されています。カートリッジは、このボリュームシリアル番号によって「認識」されます。

システム動作: カートリッジの挿入処理は、オペレータが照会に応答するまで待ち状態になります。ボリュームシリアル番号が、別のライブラリカートリッジの重複でなければ、カートリッジはライブラリに挿入されています。

無効な応答を入力すると、メッセージ SLS0926I が出されます。そのあと、メッセージ SLS0250D がもう一度出されます。

ユーザーの応答: これには、次のいずれかを応答してください。

V,volser	ここで volser は、問題のカートリッジに割り当てるボリュームシリアル番号です。
Eject	カートリッジをイジェクトする場合。

SLS0251E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:C is a duplicate and cannot be entered

説明: 重複カートリッジ volser が、CAP セル AA:LL:CC:RR:C に見つかりました。ここで、RR は CAP の行を、C は CAP の列を示します。重複カートリッジは、ライブラリに挿入できません。

システム動作: カートリッジの挿入処理は、カートリッジの見つかった CAP セル内にそれを残したまま、その CAP 内の次のカートリッジに進みます。

ユーザーの応答: CAP から重複カートリッジを取り出してください。カートリッジを挿入する必要がある場合は、同じボリュームシリアル番号の別のカートリッジをイジェクトして、カートリッジの挿入を再実行してください。

SLS0252I

Cartridge volser entered into LSMid AA:LL

説明: ボリュームシリアル番号 volser がライブラリに入力されました。その位置は、指定の ACS および LSM 内にあります。

システム動作: カートリッジは、挿入されてそのボリュームシリアル番号が光学的に確認されてから、新しい位置に移動できます。

ユーザーの応答: なし

SLS0253I

Keyword CCCCCCCC cannot be specified more than once

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、キーワード CCCCCCCC の重複がある SLSIN 制御文を検出しました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文を訂正し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0254I

Cartridge volser ejected to CAP cell AA:LL:CC:RR:C

説明: ボリュームシリアル番号 *volser* がイジェクトされ、指定の CAP 内にあります。

システム動作: カートリッジは、イジェクトされ、そのボリュームシリアル番号は、制御データセットから削除されます。

ユーザーの応答: カートリッジを手動で CAP から取り出してください。

SLS0255E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:C has an invalid volser and cannot be entered

説明: ボリュームシリアル番号 *volser* に無効な文字が含まれているため、ACS で受け付けられません。

システム動作: カートリッジ CAP に残されるため、CAP のオープン時に取り出す必要があります。

ユーザーの応答: CAP からカートリッジを除去してください。

SLS0256I

Scheduled Enter (SEnTER) cancelled

説明: SEnTER コマンドが、イジェクト処理中の CAP に対して入力されましたが、カートリッジが挿入されなかったため、EJECT は、カートリッジを挿入させないで完了します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: オペレータは、必要なカートリッジを挿入するために、CAP 上で ENter を開始できます。

SLS0257I

{ENTER|EJECT|END|BEGIN} failed; CAPid AA:LL:CC; DDDD1-DDDD2, CCC...CCC

説明: ENTER、EJECT、END または BEGIN が、指定の CAPid (AA:LL:CC) 上で LMU エラーのために失敗しました。DDDD1 は LMU の戻りコードであり、そのあとの DDDD2 は LMU エラーのカテゴリーとコードを示します。CCC...CCC は 32 バイトのエラー記述です。

LMU リターンコードには、次のものが考えられます。

- 6500 – ソースが無効です
- 6501 – ソースが空です
- 6502 – ソースのボリュームシリアル番号が一致しません
- 6503 – ソースのボリュームシリアル番号が読み取り不能です
- 6504 – 予期しないボリュームシリアル番号がソースにあります
- 6505 – ターゲットが無効です
- 6506 – ターゲットがいっぱいです
- 6507 – ソース/ターゲットが同じACS内にありません
- 6508 – ソース/ターゲットが同じLSM内にありません
- 6509 – ソース/ターゲットが同じタイプではありません
- 6510 – LSM接続使用経路が使用不能です
- 6511 – LMUがオンラインになっていません
- 6512 – LMUとの通信に失敗しました
- 6513 – 未完了応答ハンドラによって終了しました
- 6514 – LSMのハードウェアエラーです

6515 - LMUエラーです
6516 - CAPが保守モードにあります
6517 - CAPのドアが開いています
6518 - エンター要求が保留になっています
6519 - イジェクト要求が保留になっています
6520 - CAPカタログが保留になっています
6521 - ドライブのロードエラーです
6522 - ドライブのアンロードエラーです
6524 - CAPはこのホストにすでに予約されています
6525 - CAPが別のホストに予約されています
6526 - CAPがこのホストに予約されていません
6527 - CAPとの間の移動が保留になっています
6528 - LMUが停止しています
6529 - 無効なオプションフラグが指定されました
6530 - オプションコードが無効です
6532 - ボリュームシリアル番号が予想に反して読み取り可能です
6541 - LMUリスナーの接続に失敗しました
6542 - LMUタイマーの接続に失敗しました
6543 - LMUステーションドライバの接続に失敗しました
6544 - LMUステーションシミュレーターの接続に失敗しました
6545 - LMUシミュレーターの接続に失敗しました
6546 - LMUワーカーの接続に失敗しました
6548 - LVTにHCTアドレスが見つかりませんでした
6549 - オフライン要求がすでに進行中です
6550 - ステーションがオフラインになっていません
6551 - ステーションがオンラインになっていません
6552 - LMUが存在しません
6553 - ステーションが存在しません
6554 - ソース/ターゲットが同じパネル内にありません
6555 - ステーションがオフラインになっています
6558 - 機能が無効です
6568 - ブロードキャストメッセージがありません
6574 - ボリュームシリアル番号に無効な文字があります
6575 - メッセージに無効な文字があります
6578 - ステーションをオンラインに変更する際の通し番号がありません
6579 - ステーションをオンラインに変更する際のタイムアウトです
6582 - ボリューム動作が完了しました
6584 - ブロードキャストIDが無効です
6586 - ドライブがアクティブかまたは巻き戻されていません
6587 - 特殊使用カートリッジのドライブのロードに失敗しました
6590 - ステーションを割り振れません
6591 - ステーションのオープンに失敗しました
6592 - LSMがオフラインになっています
6593 - ホスト経路グループ設定が失敗しました
6595 - エンター操作が終了しました
6596 - 関連する要求に対するエンターを取り消すことができません
6598 - LMUから受け取られた応答が無効です
65A0 - LSMがオンラインになっています
65A1 - LSMがオンライン保留になっています
65A2 - LSMがオフライン保留になっています
65A3 - LSMが作動不能です
65A4 - LSMがオフラインになっていません
65A5 - LSMが保守モードにあります
65A6 - LMUのI/Oエラーです

65A7 - 取り消し要求が無効です
65A8 - 要求が取り消されました
65A9 - 取り消されるべき要求がアクティブではありません
65AA - もはや要求の取り消しができません
65AC - メディアが一致しません
65AD - メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
65AE - 非互換のメディアまたはドライブです
65AF - CAPマガジンが欠落しています
65FF - 要求が除去されました

システム動作: 進行中の処理 (ENTER、EJECT、END、または BEGIN) は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラントになる場合があります。このメッセージが表示されると、続いて SDUMP または SVC ダンプが出力される場合があります。

ユーザーの応答: 問題の解決を試みてください。不可能な場合はダンプと MSP SYSLOG および SCP CONSLOG のコピーを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0258I

Request allowed selection of CAPid AA:LL:CC

説明: ENTER 要求または EJECT 要求は、システムによって選択された CAP (AA:LL:CC) 省略時解釈値として使用します。このメッセージは、要求に対してシステムの選択した CAP を示すものです。

システム動作: 要求されたカートリッジは、メッセージに示された CAP を介して挿入またはイジェクトされます。

ユーザーの応答: なし

SLS0261A

Open CAPid AA:LL:CC for entering when unlocked

説明: CAP 処理で、CAP AA:LL:CC を介してカートリッジの挿入が行われようとしています。LSM 表示ライトが点灯しているとき、CAP のドアはロック解除されており、オペレータは、ドアを開けてカートリッジを挿入できます。CAP は AA:LL:CC で示されます。ここで AA は ACSid を、LL は LSMid を、また CC は LSM 内の特定の CAP 番号を示します。

システム動作: システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。このとき、CAP の確認と CAP 内に見つかったカートリッジの挿入が行われます。

ユーザーの応答: CAP のドアを開けて、CAP 内に挿入すべきカートリッジを入れてから、CAP ドアを閉めてください。

SLS0262I

Volume volser made errant

説明: ボリュームの現在位置を確認できませんでした。

システム動作: ボリュームはエラントになります。

ユーザーの応答: なし

SLS0263D

No storage space available for enter; reply Retry or Abort
(R,A)

説明: 次のいずれかの状況のために入力要求が完了しません。

- TLSMパラメータがENterコマンドで指定されましたが、要求されたLSM内に十分な格納スペースがないか、またはオフラインかオフライン保留になっています。
- 要求されたACS内に十分な格納スペースがないか、またはACS内のすべてのLSMがオフラインかオフライン保留です。

監査が進行中の場合、新しいセルの割り振りは一時的に停止されます。

システム動作: カートリッジは、ユーザーが応答するまで、CAP 内に残ります。

ユーザーの応答: 必要な格納スペースを解放してから要求を再実行するか、要求を中止してからカートリッジを CAP から取り出してください。

LSM がオフライン保留の場合は、入力処理を中止して LSM をオフラインにしてください。カートリッジの挿入が必要な場合は、LSMを一時的にオンラインにして、再度挿入を試行してください。

SLS0265A

More than one cartridge in CAPid AA:LL:CC; expected only
cartridge volser

説明: トランスポート挿入処理は、挿入とマウントの対象となるカートリッジを一度に1つしか受け付けません。CAP には、LSM がスキャンしたときに、複数のカートリッジがありました。

システム動作: トランスポート挿入は、CAP 内にすべてのカートリッジを残して、ドアのロックを解除し、指定されたカートリッジ以外のものすべてを取り出せるようにします。

ユーザーの応答: CAP ドアを開けて、volser 以外のカートリッジすべてを取り出してから、CAP のドアを閉めてください。

SLS0266I

Invalid function code (XX) passed in parm list

説明: CAP エラーハンドラプログラム、SLSCASET に、無効な機能コード (XX) が渡されました。有効なファンクションコードは次のとおりです。

- 01 - ENTER
- 02 - EJECT
- 03 - END
- 04 - BEGIN

システム動作: このメッセージは、ユーザー異常終了 U1096, RC=262 の前に表示されます。

ユーザーの応答: SDUMP と MVSSYSLOG/SCP CONSLOG のコピーを保存しておいてください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0267A

CAP processing {ejecting|terminating}; empty CAPid AA:LL:CC

説明: CAP のイジェクト処理で、除去する CAP にカートリッジがロードされたか、CAP の挿入処理で CAP からライブラリにボリュームを入力できませんでした。オペレータは CAP のドアを開けて、示された CAP からカートリッジを取り出せます。

システム動作: システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。このとき、ロボットは CAP が空であるかどうかを確認します。CAP が空であることをシステムが確認した後、CAP 処理が終了していない場合、エンター処理またはイジェクト処理が続行します。CAP 内にカートリッジが残されている場合は、再びこのメッセージが出されます。

ユーザーの応答: CAP のドアを開けて、すべてのカートリッジを取り出してから、CAP のドアを閉めてください。CAP エンター処理を続行するには、CAP が空であることをシステムが確認するまで待機し、CAP ドアのロックを解除してからカートリッジを CAP に挿入します。

SLS0268I

UNSELECT failed for volser, RC=XXXX; volume is still selected

説明: Eject 要求を出したときに、ソース位置が空であることがわかり、オペレータはその操作を無視するよう要求しました。ボリューム (*volser*) の選択を解除しようとしたが、戻りコード (XXXX) により、この要求は失敗しました。

システム動作: ボリュームは選択されたままになります。ボリュームが完全にイジェクトされなかったため、この制御データセット項目はそのまま存在します。

ユーザーの応答: リターンコードに従って、適切な一連の処理を判別してください。

SLS0269I

CAP termination found CAPid AA:LL:CC still active; will attempt Drain

説明: HSC が終了しようとしています。CAP 処理で、このホストに対してアクティブな CAP が検出されたため、その CAP 処理は停止しつつあります。

システム動作: システムは内部終了 CAP を呼び出して、CAP 内にあるすべてのカートリッジをイジェクトさせます。

ユーザーの応答: オペレータ処理を要求するメッセージが表示されるまで待ってください。

SLS0270I

Attempt to enter duplicate volume volser rejected

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) で、すでにライブラリ内にあるボリューム (*volser*) を入力しようとした。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティジョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの応答: 特定のボリュームを入力する必要がある場合は、カートリッジのラベルを変更してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0271I

Specified CAPid is not within ACS of Audit

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、指定の ACS 内での監査において、特定の CAPid を要求しましたが、その CAP は、監査が行われる ACS 以外の ACS 内にありました。

システム動作: 監査処理は終了します。

ユーザーの応答: AUDIT ユーティリティ制御文をチェックしてください。指定の ACS が、実際に監査の実行されるべき要素を含む ACS であるかどうかを確認してください。それであれば、その ACS 内の CAPid を参照するように CAP パラメータを変更するか、あるいは CAP パラメータを指定しないで、ユーティリティが使用可能な最も優先順位の高い CAP を選択できるようにしてください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0272I

Volume volser is not in same ACS as CAP

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティが、イジェクト用に選択された CAP がある ACS ではない ACS 内のカートリッジのボリュームシリアル番号を指定しました。

システム動作: ボリュームはイジェクトされません。ユーティリティは、指定された次のボリュームに処理を進めます。

ユーザーの応答: 要求されたボリュームシリアル番号のある ACS の CAP を指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0273I

Attempt to enter unlabeled cartridge rejected

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) が、ラベルのないカートリッジをライブラリに挿入しようという試みを見つけました。このとき、オペレータは挿入処理を中止しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティジョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの応答: 特定のカートリッジを挿入する必要がある場合は、カートリッジに外部ボリュームラベルを付けるか、またはオペレータに対して、オペレータメッセージに受け付け可能なボリュームシリアル番号を応答するよう指示してください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0274I

Attempt to enter cartridge with invalid label volser rejected

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティ (MVS) または ENTER ユーティリティ (VM) が、無効なボリュームシリアル番号またはメディアラベルを持つカートリッジを挿入しようとする試みを見つけました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティジョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの応答: 特定のボリュームを入力する必要がある場合は、受け付け可能な外部ラベルをカートリッジのラベルをカートリッジに付け直してから、ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0276I

HSC server task abend; completion code XXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、HSC アドレス空間で実行される関連サーバータスクの ABEND によって、終了しました。完了コード (XXXXXX) は、異常終了コードを示します。ABEND コードは、システムアベンドの場合、最初 3 桁の 16 進数として、ユーザーアベンドの場合は最後 3 桁の 16 進数として示されます。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。また、「UTILITIES ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連するサーバータスクの異常終了に対する SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管して、問題の診断の助けにしてください。

SLS0277I

All journals are logically empty

説明: 指定のジャーナルに、最後のバックアップ以降に書き込まれた差分がありませんでした。このため、これらは復元処理中に制御データセットに適用されませんでした。この事態は、バックアップのあとでただちに復元が実行されたときに起こるもので、ジャーナルを制御データベースに適用する必要がないことを示しているだけです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0278I

LSM server subtask servicing LSMid AA:LL abended

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、HSC アドレス空間内の LSM サーバーサブタスクの異常終了を検出し、監査を終了しました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。また、「AUDIT LSM SERVER ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連するサーバータスクの異常終了に対する SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管して、問題の診断の助けにしてください。

SLS0279I

An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、制御データセット内に割り振られたセルを検出しました。ユーティリティが VOLRpt の場合は、セルにボリュームが割り当てられていません。ユーティリティが AUDIt の場合、物理セルスキャンでセルが空であることが見つかりました

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このメッセージが、APPLY(YES) の指定された監査から出された場合、セルは解放されます。そうでない場合は、APPLY(YES) を指定して、当該セルを含むパネルに監査を実行して、セルを解放してください。

SLS0280I

Journaling is not active; journal offload is not performed

説明: SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、導入システムの HSC ジャーナルに対して実行されました。しかし、制御データセットは、この導入システムに対してジャーナル処理が LIBGEN オプションとして選択されていないことを示しています。

システム動作: ジャーナルオフロードは実行できません。

ユーザーの応答: BACKUP ユーティリティを参照して、通常の BACKUP ユーティリティを実行するかどうか、あるいは SET ユーティリティを実行して回復技法を変更するかどうかを決めてください。

SLS0281I

Missing or invalid SLSOFFdd DD statement

説明: SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、SLSOFFdd DD 文 (dd = 01 - 02) で表されるオフロードファイルを正しく開けませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: オフロードファイルを正しく参照する、正しい SLSOFFdd DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再サブミットしてください。

SLS0282I

Journal at DDname SLSJRNnn1 successfully off-loaded to data set defined by SLSOFFnn2 DD statement

説明: これは、SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティによって出されるチェックポイントメッセージで、ジャーナルファイルが、指定されたオフロードファイルに正しくオフロードされたことを示しています (nn1 = 01 - 02; nn2 = 01 - 02)。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0283I

Offload of journal at DDname SLSJRNnn failed

説明: SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティが、ジャーナルファイルの内容を、オフロードデータセットに正しくコピーできませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 先行するメッセージでエラーの原因を調べて、その説明とそのため
の処理を参照してください。

SLS0284I

SLSOFF02 DD statement specified, but no corresponding SLSJRN02 DD statement

説明: SLUADMIN OFFLOAD ユーティリティに対してオフロードファイルが指定されましたが、対応するジャーナルファイルを見つけられませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ジョブの JCL に、対応するオフロードおよびジャーナルファイル DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0286I

DDDDD volumes have been selected for scratching

説明: 数字は、スクラッチ用に選択されたボリュームの総数を表しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0287I

VOLSER parameter has a range value error

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、範囲形式の値を含む VOLser パラメータを持つ SLSIN 制御文を検出しましたが、その範囲が正しくありませんでした。低い値の長さ高い値の長さが等しくなかったか、低い値と高い値の非同値部分が同じではなかったか、または低い範囲の可変値部分が高い範囲の可変値部分と同じか大きかったかのいずれかです。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 制御文の VOLser パラメータの範囲値を訂正して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信してください。

SLS0288I

User not authorized to use this utility function

説明: 許可ライブラリから実行される必要のある SLUADMIN ユーティリティー機能が、非許可ライブラリから呼び出されたことを検出しました。非許可ユーザーが SLUADMIN ユーティリティー機能を使用しようとしたか、あるいはユーティリティーソフトウェアが間違って導入されているかのいずれかです。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: システムプログラミング要員に問い合わせ、StorageTek の自動ライブラリーユーティリティー機能を使用する場合の要件を明確にする必要があります。また、システムプログラミング要員は、許可ライブラリに、ライブラリーソフトウェアが正しく導入されていることを確認する必要があります。

SLS0289I

SORT failure; refer to the sort message data set or job log

説明: SORT プログラムを必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、SORT からのエラーリターンコードを検出しました。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 分類メッセージデータセット (SYSOUT DD) またはジョブログ (SYSOUT DD がいない場合) 内の SORT からのメッセージを参照して問題を解決し、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信してください。

SLS0290I

Subsystem is active on this host; restore terminated

説明: RESTORE ユーティリティーが、復元操作を実行中のホスト上で、HSC ソフトウェアサブシステムがアクティブであることを検出しました。復元操作を行う場合、サブシステムが実行されてはなりません。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: サブシステムを停止させて、RESTORE ユーティリティーを再実行してください。

SLS0291I

Volume volser is currently errant; unavailable for processing

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、ユーティリティ固有の処理を、特定のボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して実行しようとしたましたが、その時点でボリュームはエラント状態にあった (失われていた) ため、ユーティリティ処理は実行できませんでした。

システム動作: ユーティリティは、引き続き次のボリュームシリアル番号に処理を進めます。

ユーザーの応答: これは、エラーとは見なされませんが、ユーザーは、次の HSC サブシステム初期設定が実行されてから、またはボリュームのエラント回復が完了してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信できます。

SLS0292I

Scratch Redistribution failed - target LSM AA:LL has no available cells

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、SCREdist (スクラッチ再分配) を実行しようとしたますが、指定の LSM スクラッチボリュームの移動先として使用可能なセルがありませんでした。スクラッチ再分配を行うためには、各ターゲット LSM に、少なくとも 1 つの空きセルがなければなりません。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 指定の LSM 内のセルを解放してユーティリティジョブを再送信するか、または、少なくとも 1 つの空きセルを持つ LSM に、再分配の範囲を縮小してください。

SLS0293I

SLSTAPE DD statement does not identify a library transport

説明: SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、ライブラリトランスポートと対応しない SLSTAPE DD 文を検出しました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: JCL を変更して、SLSTAPE DD 文が、有効なライブラリトランスポートを識別するようにしてください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0294I

SLSTAPE DD statement identifies a library transport in a different ACS than the specified CAPid

説明: 特定の CAP を要求している SLUADMIN INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティが、指定の CAPid とは異なる ACS 内のライブラリトランスポートを割り当てている SLSTAPE DD 文を検出しました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: JCL を変更して、SLSTAPE DD 文が、指定の CAP と同じ ACS 内の特定のライブラリトランスポートを識別するようにするか、あるいは、INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティの制御文の CAP パラメータを変更してください。そして、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0295I

Scratch Redistribution failed; too many LSMids specified

説明: LIBGEN に定義されているよりも多くの LSMid が、SCREDIST ユーティリティへのパラメータとして使用されています。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: LSMid の数を正しく指定して、ユーティリティを再送信してください。

SLS0296I

Scratch Redistribution prematurely ended; even distribution may not have occurred

説明: SCREDIST ユーティリティの終了以前に、特定の LSM 内にあるスクラッチボリュームの数が、予期された値よりも多いことがわかりました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 指定の ACS 内にある LSM 全体のスクラッチボリュームの分布を評価して、十分に行き渡っているかどうかを判断してください。十分な場合は、何も行う必要はありません。不十分な場合は、ボリュームの分布が、予期されたとおりではない理由を判断してください (LSM あたりのスクラッチボリュームの平均数とスクラッチ許容レベルとの和または差)。処理を完了させる必要があれば、ユーティリティを再送信してください。

SLS0297I

VOLSER parameter not present with SCRATCH or UNSCRATCH option

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、スクラッチまたはアンスクラッチすべきボリュームを識別するために必要な VOLser パラメータを持たない、SCRATCH または UNSCRATCH 制御文を検出しました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SCRATCH または UNSCRATCH 制御文に VOLser パラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0298I

Missing or invalid SLSSOUT DD statement

説明: ユーティリティ機能が、選択されたトランザクションを入れるために必要な出力ファイルを見つけられませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLSSOUT DD 文を与えて、ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0299I

Unexpected return code; RC=XXXXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティが、予期しないリターンコードを HSC アドレス空間構成要素から受け取りました。

システム動作: ユーティリティの処理は続けられ、最終条件コードの 4 が返されました。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0320I

No value for tag *T...T* within header *H...H* for command *C...C*

説明: ヘッダー XML タグ処理中に、データタグを検出しましたが、値が設定されていませんでした。ヘッダータグが指定されている場合、データタグには値が必要です。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力コマンドの構文を訂正し、要求を再送信してください。

SLS0321I

Tag *H...H* missing required element preceding tag *T...T* for command *C...C*

説明: ヘッダー XML タグ処理中に、データタグが検出されましたが、ヘッダータグでは有効でないか、正しい位置にはありませんでした。

ライブラリ位置タグ (acs、lsm、cap など) は、グループタグ内で論理的な順番になっている必要があります。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力コマンドの構文を訂正し、要求を再送信してください。

SLS0322I

Both primary tag *T...T* and synonym *T...T* specified for command *C...C*

説明: 同義語と見なされる 2 つの XML タグが、両方とも同一のコマンド上で指定されていました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力コマンドの構文を訂正し、要求を再送信してください。

SLS0323I

Illogical XML table setup between keywords *K...K* and *K...K* for command *C...C*

説明: これは内部エラーです。コマンドの解析テーブルに、2 つの異なるキーワードに対して同じ XML タグがありました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: これは内部エラーです。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0324I

Illogical XML table setup for keyword *K...K* for command *C...C*

説明: これは内部エラーです。コマンドの解析テーブルに、同一のキーワードで同じ XML タグが 2 回指定されていました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: これは内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0325I

Header tag *H...H* contains unrecognized data tag *T...T* for command *C...C*

説明: ヘッダー XML タグの処理中に、有効でない (32 文字を超えるタグなど) データタグが検出されたか、下位のデータタグの処理後にデータタグが検出されました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力コマンドの構文を訂正し、要求を再送信してください。

SLS0326I

No compatible virtual scratch volumes found [in subpool *S...S*]

説明: 仮想スクラッチボリュームを選択しようとしたますが、互換性のあるボリュームが見つかりませんでした。要求でサブプールが指定されていた場合、指定されたサブプールには使用できるボリュームがありませんでした。

システム動作: スクラッチボリュームが選択されていません。

ユーザーの応答: 可能ならば、要求に別のサブプールを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためにスクラッチ要求を送信してください。

SLS0327I

No compatible scratch volumes found in ACS AA [for media *M...M*] [for rectech *R...R*] [in subpool *S...S*]

説明: スクラッチボリュームを選択しようとしたとき、必須である ACS で互換性があるボリュームが見つかりませんでした。メディア、サブプール、rectech が指定されていた場合、これらの基準を満たすボリュームがありませんでした。

システム動作: スクラッチボリュームが選択されていません。

ユーザーの応答: 可能ならば、要求に別のサブプールまたはメディアを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためにスクラッチ要求を送信してください。

SLS0328I

No scratch volumes found [for media *M...M*] [for rectech *R...R*] [in subpool *S...S*]

説明: スクラッチボリュームを選択しようとしたますが、ライブラリスクラッチボリュームが見つかりませんでした。メディア、記録技法またはサブプールが指定されていた場合、これらの基準を満たすボリュームがありませんでした。

システム動作: スクラッチボリュームが選択されていません。

ユーザーの応答: 可能ならば、要求に別のサブプールまたはメディアを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためにスクラッチ要求を送信してください。

SLS0329I

Volume *volser1* media is incompatible with first volume *volser2*

説明: 複数のボリュームとドライブ情報の両方を指定した QUery VOLUME_INFO 要求に、指定した最初のボリュームとそれ以降のボリューム間で互換性のないメディアがありました。

システム動作: 選択されたドライブに対するメディアと記録技法は、最初のボリュームによります。同じドライブにボリュームを 2 つマウントしようとする、2 つ目のマウント要求は失敗します。

ユーザーの応答: 入力を訂正して要求を再送信してください。

SLS0330I

Parameter *P...P* value *V...V* is incompatible with parameter
P2...P2 volser2

説明: パラメータ *P...P* の値 *V...V* は、パラメータ *P2...P2* の存在と互換性がありません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力を訂正して要求を再送信してください。

SLS0331I

Either parameter *P...P* or parameter *P2...P2* is required for
for command *C...C volser2*

説明: 指定されたパラメータ 2 つのうち 1 つを必要とするコマンド *C...C* が入力されました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 入力を訂正して要求を再送信してください。

SLS0332I

No compatible drives for request *volser2*

説明: 特定ボリュームまたはスクラッチボリュームのいずれかに対する照会コマンドが受け取られました。ボリュームのメディアおよび場所、またはスクラッチポリシーに基づき判断すると、その要求に互換性があるドライブは見つかりませんでした。

システム動作: ドライブ情報が返されません。

ユーザーの応答: 可能ならば、リクエストを変更し再送信してください。

SLS0333I

No virtual volumes in subpool

説明: 仮想スクラッチボリュームのクエリーが受信されました。要求時に、仮想ボリュームが 1 つも含まれていないサブプールを指定したか、あるいは VOLPARM が有効になっているシステムでサブプールを指定しなかったが、DEFAULTPOOL 内に仮想ボリュームが存在していません。

システム動作: 要求から警告が返されます。

ユーザーの応答: スクラッチを選択したりスクラッチマウントを試みたりする前に、サブプール内で仮想ボリュームが使用可能になっていることを確認してください。

SLS0334I

No valid media, model or rectech specified

説明: クエリーコマンドの送信時にメディア、モデル、rectech の各パラメータのある組み合わせが指定されましたが、これらのパラメータの有効な値が一切見つかりませんでした。

システム動作: 要求からエラーが返されます。

ユーザーの応答: 指定したメディア、モデル、または rectech パラメータを修正し、要求を再送信してください。

SLS0350I

Invalid TMS specified in PARM parameter of JCL

説明: スクラッチ更新機能の SLUCONDB ユーティリティの PARM フィールドに指定された名前が、TMS または TLMS のいずれでもありません。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 値を訂正して、スクラッチ更新機能の SLUCONDB ユーティリティを再送信してください。

SLS0351I

Scratch cartridges are within scratch tolerance level -
Scratch Redistribution completed successfully

説明: SCREDIST ユーティリティ機能が正しく完了して、処理に関与する LSM には、スクラッチ許容レベル内の数のスクラッチカートリッジが含まれています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0352I

Audit unable to physically scan cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能で、指定のセル (AA:LL:PP:RR:CC) の物理スキャンを実行できませんでした。監査が「アクティブ」な場合 (制御文に APPLY(YES) が指定、または省略時指定されている場合)、そのセルに対する訂正処理は何も行われません。

システム動作: この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: セルの内容および制御データセットの条件によっては、示されたセルを含むライブラリ要素に対して、2 度目の監査を実行しなければならない場合があります。

SLS0353I

Audit unable to eject volume volser at cell AA:LL:PP:RR:CC
which is a duplicate with volume in cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能において、指定のボリュームシリアル番号 (volser) を持つ複数のライブラリカートリッジが検出されました。最初の位置 (AAL:PP:RR:CC) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。重複カートリッジをイジェクトしようとしたますが、監査は LMU エラーのために、重複ボリュームを正しくイジェクトできませんでした。

システム動作: この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。ライブラリ内にあるべきボリュームがどれかによって、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトしてから、重複カートリッジの方を再度挿入しなければならない場合があります。

SLS0354I

Audit unable to eject cartridge at cell AA:LL:PP:RR:CC which has an unreadable or illegal external label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不能なカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) に検出しました。そのカートリッジをイジェクトしようとしたましたが、監査に LMU エラーがあったため、カートリッジを正常にイジェクトできませんでした。

システム動作: この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。カートリッジを見つけて、ラベルを調べる必要があります。ラベルが破壊されている場合は、ラベルを付け直してライブラリに再挿入するか、その元の位置に戻してから、そのセル位置を含むライブラリ要素に対して、もう一度監査を実行しなければなりません。

SLS0355I

ROW parameter not allowed with PANEL value list parameter

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ROW パラメータと、値リスト (複数の Panel id) を含む PANEL パラメータが指定されている制御文を検出しました。PANEL パラメータが与えられている場合、AUDIT 制御文には、1 つの LSM しか指定できません。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0356I

COLUMN parameter not allowed with ROW value list parameter

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、COLUMN パラメータと、値リスト (複数の ROW id) を含む ROW パラメータが指定されている制御文を検出しました。COLUMN パラメータが与えられている場合、AUDIT 制御文には、1 つの ROW しか指定できません。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0357I

Row index XX is invalid

説明: コマンドまたはユーティリティ制御文で指定された行番号 (XX) は、LSM タイプには無効です。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: ROW パラメータを指定し直して、要求を再送信してください。

SLS0358I

Column index XX is invalid

説明: コマンドまたはユーティリティー制御文で指定された列番号 (XX) は、LSM タイプには無効です。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: COLumn パラメータを指定し直して、要求を再送信してください。

SLS0360E

{EJECT|AUDIT} Utility unable to reserve CAPid AA:LL:CC;
utility waiting

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の CAP (ユーティリティー制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別の処理で使用されていたために割り振ることができなかったか、または、ゼロ以外の優先順位を持つ予約されていない CAP が、CAP の要求された ACS 内にありませんでした。

システム動作: ユーティリティーは、ゼロ以外の優先順位を持つ CAP が使用可能になるか、または CAP が使用可能になるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 異なる CAPid を指定するか、またはその特定の CAP を使用する処理が完了するまで待つってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。ユーティリティーは、継続的に CAP を獲得しようとします。CAP が指定されていない場合は、ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先順位をゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0361I

Duplicate CAPid AA:LL:CC specified; duplicate is ignored

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、ユーティリティー制御文に、同じ CAPid (AA:LL:CC) を複数回指定しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティージョブは続けられますが、以前に指定された CAPid が重複して指定された場合、それらは無視されます。

ユーザーの応答: ユーティリティー制御文上にある重複の CAPid 指定を除去してください。

SLS0363I

Invalid specification of MIXED in PARM field of JCL statement

説明: レポートの見出しおよびメッセージを Mixed モードにするために PARM フィールドに指定された名前が無効です。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: Mixed を正しく指定して、SCRAtch 更新変換プログラムを再送信してください。

SLS0365I

An audit of LSM AA:LL, panel PP is recommended

説明: SCREDIST ユーティリティーの実行中、制御データセット位置と、ライブラリー内の物理的位置の間に違いがありました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 少なくとも指定のパネルに対する監査を実行して、不一致を訂正してください。

SLS0366I

Volume volser not found in location (AA:LL:PP:RR:CC) specified in Control Data Set

説明: ボリュームとその位置の検証処理中に、ボリュームが、制御データセットで指定されている場所になことがわかりました。

システム動作: この操作中、ボリュームの移動は行われませんでした。

ユーザーの応答: 問題のあるボリュームを見つけてください。必要に応じて、このボリュームのあったパネルに対する監査を行なってください。

SLS0367I

External label on volume volser is unreadable

説明: SCREDIST ユーティリティーの実行中、メッセージに示されたボリュームのラベルを読み取れませんでした。

システム動作: この操作中、ボリュームの移動は行われませんでした。制御データセットには、この状態を反映するマークが付けられました。

ユーザーの応答: メッセージに示されたボリュームをライブラリからイジェクトし、その外部ラベルを調べて、ラベルが読み取り不能であった理由を判別してください。この状態が、いくつかのボリュームで起こっている場合は、StorageTek の CSE にその状態を報告してください。

SLS0368I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is empty - found during Scratch Redistribution

説明: SCREDIST ユーティリティーの実行中、問題のセルが空であることがわかりました。この状態が見つかったときに、制御データセットは、そのセルにスクラッチボリュームがあることを示しており、それを移動させようとしていました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: メッセージテキスト内に表示されたセルを監査して、この状態を解消してください。

SLS0369I

Volume volser is a cleaning cartridge; labelling ignored

説明: INITIALIZE (カートリッジ初期設定) ユーティリティの実行中、クリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号に一致するボリュームシリアル番号を持つカートリッジが挿入されました。このテープは初期設定されませんが、LSM にエンターされます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: クリーニングカートリッジを挿入するつもりであれば、何も行う必要はありません。クリーニングカートリッジを間違えて挿入した場合は、カートリッジをイジェクトできます。

SLS0370I

Volume volser is a cleaning cartridge; cannot be entered into Scratch List

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ボリュームシリアル番号 (volser) を、ライブラリスクラッチプールに追加しようとしたましたが、そのボリュームシリアル番号は、ライブラリクリーニングカートリッジとして定義されているため、スクラッチボリュームとして取り扱うことはできません。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーでは、スクラッチ 更新ユーティリティは取り消されませんが、ユーザーは、ボリュームシリアル番号をチェックしてそれを訂正してから、SLUADMIN SCRATCH 更新ジョブを再送信できます。

SLS0373I

DDname CCCCCCCC failed to open

説明: 指定されたファイルをオープンしようとしたましたが、失敗しました。

システム動作: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行います。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティを再実行してください。

SLS0374I

Cleaning cartridge prefix has been set to CCC

説明: 自動クリーン変換ユーティリティが正常に実行され、自動クリーンカートリッジの接頭辞が CCC に設定されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0375I

Duplicate Data Set names have been found

説明: ユーティリティを実行しようとしたましたが、実行中、複数の DD ステートメントに重複するデータセット名が見つかりました。

システム動作: すべての DD 文のデータセット名を確認します。

ユーザーの応答: 必要な訂正を行なって、ユーティリティを再実行してください。

SLS0376I

Volume volser is now unselected; owning host was CCCCCCCC

説明: UNSELECT ユーティリティが正しく実行されて、指定のボリュームの選択は解除されました。そのボリュームを所有していたホストは、メッセージに示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0377I

Volume volser was not selected

説明: UNSELECT ユーティリティが、指定のボリュームが選択されていなかったことを検出しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0378I

volser not ejected, not found in cell; IGNORED

説明: EJECT 処理中、イジェクトされるべきボリュームが、そのセル内にありませんでした。SLS0698I、SLS0699I、SLS0925D の各メッセージが HSC のコンソールに表示される場合もあります。オペレータは、SLS0925D に対して「I」と応答しました。

システム動作: EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。条件コードの 4 が設定されます。

ユーザーの応答: 必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際は、AUDIT ユーティリティを実行した方がよいでしょう。

SLS0379I

volser not ejected, not found in cell; DELETED FROM CONTROL DATA SET

説明: EJECT 処理中、イジェクトされるべきボリュームが、そのセル内にありませんでした。

システム動作: EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。該当するボリュームレコードは、制御データセットから削除されます。

ユーザーの応答: 必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際は、AUDIT ユーティリティを実行した方がよいでしょう。

SLS0380I

Unable to communicate with CCCCCCCC to unselect volser

説明: UNSELECT ユーティリティが、選択解除要求をメッセージに表示されたホストに送って、メモリー内テーブルのいくつかが更新されたことを確認しようとしたが実行できませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: メッセージに表示されたホストとの通信を再確立するか、またはそのホストから UNSELECT ユーティリティを実行してください。

SLS0381A

```
{AUDIt|EJect|INITialize} Utility unable to reserve a CAP in  
ACS AA; utility waiting
```

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、指定 ACS 内の CAP を割り振れません
でした。これは、すべての CAP がほかの処理によって使用されていたか、あるいは
CAP の必要な ACS 内にゼロ以外の優先順位を持つ、予約されていない CAP がな
かったためです。

システム動作: ユーティリティは、ゼロ以外の優先順位を持つ CAP が使用可能に
なるか、または指定 ACS 内にある優先順位ゼロの CAP がゼロ以外に変更されるまで
待ち状態になります。

ユーザーの応答: ACS 内の CAP の優先順位を表示して、使用可能な CAP の優先
順位をゼロ以外の値に設定してください (**Display** および **CAPPref** ライブラリコマンド
を参照)。ユーティリティは、継続的 CAP を獲得しようとしているため、新しく優
先順位を設定された CAP が選択されます。

SLS0382I

```
SMF input file is not sorted by SMF record type, Date and  
Time; utility terminated
```

説明: HSC ACTIVITIES ユーティリティを実行する要求が出されましたが、SMF
入力データが、SMF レコードタイプ、日付および時間でソートされていませんで
した。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 次のようにソート制御文を指定して、SMF 入力データをソートし
てください。

```
INCLUDE COND=(6,1,BI,EQ,'FF')  
SORT FIELDS=(15,4,CH,A,11,4,PD,A,7,4,BI,A)  
SUM FIELDS=NONE
```

注 – X'FF' は、SMFid のデフォルト 255 です。SMFid は 00 から FF までの範囲であ
り、ユーザーが使用している SMFid に一致するはずです。

SMF データをソートしたら、必要であれば新しくソートされたファイルを指すよう
にアクティビティレポートの JCL を変更し、ジョブを再実行してください。

SLS0383I

```
I/O error CCCCCCCC
```

説明: ユーティリティデータセットの 1 つに入出力エラーが起きました。
CCCCCCCC は、エラーを説明するメッセージです。このメッセージには、ジョブ名、
デバイスアドレス、DD 名、DECB ECB の 16 進ダンプ、および相対ブロック番号が
含まれます。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 問題を訂正して、ユーティリティを再実行してください。

SLS0384I

CCCCCCCC parameter changed from DDDDDDDD to EEEEEEEE

説明: SET ユーティリティによって、パラメータ CCCCCCCC が、DDDDDDDD から EEEEEEEE に正しく変更されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0385I

Hostid CCCCCCCC is active

説明: ユーティリティが、指定ホストがアクティブであることを判別しました。しかし、要求された機能では、対象となるホストは停止していなければなりません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 指定ホストが非アクティブであることを確認してから、ユーティリティを再実行してください。

SLS0386I

HOSTid CCCCCCCC is active

説明: SET ユーティリティが、指定ホストがアクティブであることを判別しました。しかし、要求された機能では、対象となるホストは停止していなければなりません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: アクティブなホスト ID を指定してユーティリティを再実行してください。

SLS0387I

Parameter CCCCCCCC1 would create duplicate values of CCCCCCCC2

説明: SET ユーティリティが、指定パラメータの値が重複することを判別しました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 重複するパラメータを指定しないで、ユーティリティを再実行してください。

SLS0388I

Hostid CCCCCCCC not found.

説明: Hostid CCCCCCCC がデータベースで見つかりませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 有効な CDS ホストとなるように Hostid を訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0389I

Database not formatted for dynamic Host addition.

説明: 新しいホストをデータベースに追加するには、データベースが HSC リリース 2.1.0 以上である必要があります。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 最新のリリースである HSC をインストールして、ユーティリティジョブを再実行してください。

SLS0390I

Database already contains maximum number of Hostids.

説明: データベースにはすでに 16 のホスト ID が含まれています。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: データベースにあるすべてのホストが現在の設定に必要であるかどうかを検証してください。必要であれば、この設定に別のホストを追加することはできません。必要であれば、LIBGEN を再実行し、非アクティブであるホストを削除して、新しいホストを追加してください。

SLS0391I

All host DHBEFLAGS reset in CDS

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティの実行中、プライマリ CDS が再構成されてから、セカンダリコピーにコピーされるまでに、すべてのホストのすべての DHBEFLAGS が空白にリセットされました。これにより、すべてのホストが、残余状況情報なしで通常どおりに開始されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0392I

Option CCC...CCC is invalid

説明: 指定されたオプション (CCC...CCC) が無効です。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: オプションを指定し直して、ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0393I

Cell location parameter contains non-hex value

説明: セル位置パラメータの値が有効な 16 進データではありません。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: セル位置パラメータの値を訂正して、ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS0394I

Audit at ROW or COLUMN level of non-existent cell
AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能で、指定のセル (AA:LL:PP:RR:CC) の ROW または COLUMN レベルの監査を実行できませんでした。これは、指定されたセル位置が、存在しないセルであったためです。

システム動作: 訂正処理は必要ありませんが、ユーザーは、存在しないセル (複数の場合もあります) を除外するように、AUDIT 制御文を変更できます。これは、条件コード 4 のエラーとして処理され、監査ジョブは、続けられます。

ユーザーの応答: 必要ありません。ただし、類似の AUDIT ユーティリティの制御ステートメントは、その監査が ROW または COLUMN レベルの場合には、存在しないセルを除外するように修正変更した方がよいでしょう。

SLS0395I

Panel free-cell count corrected for LSMid AA:LL, panel PP

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、LSM AA:LL 内のパネル PP に対する空きセルカウントが、監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査がパネルレベル以上のレベル (すなわち LSM または ACS など) で実行された場合にのみ出されます。カウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

システム動作: 訂正処理は必要ありません。監査ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0396I

LSM free-cell count corrected for LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、LSM AA:LL 内の空きセルカウントが、監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査が LSM または ACS レベルで実行された場合にのみ出されます。カウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

システム動作: 訂正処理は必要ありません。監査ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0397I

Volume volser not found in library; not ejected

説明: SLUADMIN INIT ユーティリティ機能が、EJECT 処理を、特定ボリュームシリアル番号 (volser) に対して実行しようとしたましたが、そのボリュームシリアル番号がライブラリ内にありませんでした。

システム動作: これは、INIT ジョブが完了する前に、別の CAP を介してボリュームシリアル番号 (volser) がイジェクトされているためです。リターンコード 4 が設定され、残りのほかの EJECT 要求について処理が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0398I

Host CCCCCCCC added to database.

説明: 新しいホスト CCCCCCCC がデータベースに追加されました。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 必要ありません。

SLS0399I

Parameter CCCCCCCC has an invalid syntax

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、閉じかっこの欠落といった、無効な構文を含むパラメータ (CCCCCCCC) のある SLSIN 制御文を検出しました。

システム動作: この制御文は無視されます。

ユーザーの応答: 制御文のパラメータの構文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS0400E

CCC...CCC CONFLICTS WITH CCC...CCC

説明: ログファイルデータセット 1 がログファイルデータセット 2 と同名であったり、新しく指定した名前の中に既存名と対立する名前があるなど、2 つのログファイル名が対立することを SET LOGFILE ユーティリティーが検出しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: SET LOGFILE データセット名を訂正してから、ユーティリティーを再送信してください。

SLS0401I

Disabled logfile [1|2] is queued to be re-enabled

説明: SET LOGFILE ユーティリティーの処理中、その新しいログファイル DSN が、アクティブ位置にある DSN と同一であり、ログファイルに使用不能のフラグが立てられていることが検出されました。形式を検証した後、このログファイル名は待ち行列に置かれてから再有効化されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: この使用不能になったログファイルを再有効化するには、OFFLOAD LOG ユーティリティーを実行してください。

SLS0402E

SET LOGFILE not allowed; OFFLOAD LOG in progress

説明: SET LOGFILE 処理中、ログファイル OFFLOAD が進行中であると CDS が診断しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: OFFLOAD ユーティリティが実行中の場合は、OFFLOAD が完了するまで待ってから、SET LOGFILE ユーティリティを再送信してください。

OFFLOAD ユーティリティが失敗していた場合は、OFFLOAD LOGFILE に RESTART キーワードを付けて実行してから、SET LOGFILE ユーティリティを再送信してください。

今までのログファイルデータを一切残さずにロギングを完全に停止するには、次のコマンドを実行してください。

SET LOGFILE(OFF) IMMED

SLS0403E

SET LOGFILE DSN CCCCCCCC1 is not valid; CCCCCCCC2

説明: SET LOGFILE ユーティリティ処理中、要求した新ログファイル名の検証をこのユーティリティが試み、データセット名 CCCCCCCC1 のファイルに、使用できないエラー CCCCCCCC2 があることが検出されました。

システム動作: SET LOGFILE ユーティリティは、リターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: 表示されたデータセット名のログファイルが存在し、カタログに入っていることを確認し、FMTLOG ユーティリティでフォーマットされていることを確認してください。現在開いているログファイルがある場合は、新ログファイルのブロック番号と、既存ログファイルの番号が一致することを確認してください。

SLS0404I

Volume Serial volser found selected at HSC Termination

説明: HSC の終了中に、ライブラリボリューム (volser) が選択されていることがわかりました。これは、ボリュームがまだ使用中であるか、または HSC 機能がそのボリュームを「所有」しているときに (すなわちそれを選択しているときに) 異常終了して、オペレータがその HSC を停止させたことを示します。

システム動作: HSC の終了によって、そのボリュームの選択は解除されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0405I

LOGFILE [1|2] DSN CCCCCCCC is unchanged

説明: SET LOGFILE ユーティリティ処理中、表示されたログファイルのデータセット名が、この位置にあるアクティブなログファイルと同一であることが検出されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0406W

WARNING: Error on offload logfile restart; log offload flag is reset

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが、失敗した OFFLOAD を再起動しようとしたが、オフロード実行中のログファイルが、現在アクティブになっているログファイル名と一致しませんでした。また、オフロードされたログファイルが使用不能になっているため、再起動も失敗しました。

システム動作: 「オフロード中」の表示がリセットされます。

ユーザーの応答: 失敗したオフロードは実行中のため、そのログファイルはオフロードできません。前のオフロードで新しいログファイルを設定していた場合は、正常に処理を完了できます。それ以外の場合は、アクティブなログファイルが現在システム上にありません。新しいログファイル名を設定するか、使用不能なログファイルを再アクティブ化するには、SET LOGFILE ユーティリティーを使用してください。

SLS0410I

Free-Cell count error detected for LSM AA:LL, Panel PP

説明: LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、パネル PP に関するエラーがありました。HSC は、この LSM 内の別のパネルに空きセルを割り振ろうとします。

システム動作: すぐに処理が行われることはありません。ただし、LSM AA:LL 内のパネル PP に対して監査をスケジューリングし、CDS エラーを訂正する必要があります。

ユーザーの応答: なし

SLS0411I

Free-Cell count error detected for LSM AA:LL

説明: LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、エラーがありました。LSM 空きセルのカウントはゼロではないのに、いずれのパネル空きセルマップにも使用可能な空きセルがありませんでした。HSC は、LSM 空きセルのカウントをゼロにします。

システム動作: すぐに処理が行われることはありません。しかし、LSM AA:LL の監査をスケジューリングして、CDS セル割り振り情報を確認する必要があります。

ユーザーの応答: なし

SLS0451I

No matching HOSTid

説明: LVT にあるホスト識別子が、LCT にあるホスト識別子のいずれとも一致しません。構成初期設定は完了しませんでした。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: おそらく LIBGEN エラーか、または LIBGEN の行われていないホスト上で HSC を実行しようとしたかのいずれかです。LIBGEN マクロの入力をチェックして、エラーが見つかったら、LIBGEN を再実行して制御データセットを再生成してください。

SLS0452I

Attach failed for module SLSFLSMC

説明: 構成制御初期設定が、SLSFLSMC (LSM 変換機能リスナータスク) ロードモジュールを接続しようとした際に、ATTACH からのエラーリターンコードを受け取りました。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: SLSFLSMC ロードモジュールが、JOBLIB またはリンクリストを介して、HSC にとって使用可能なライブラリにあることを確認してください。

SLS0453I

LMU error XXXXXXXXX varying {ACS AA|station C...C} online

説明: 構成制御機能が、ステーション (デバイスアドレス C...C) または ACS AA をオンラインに変更しようとした際に、LMU ドライバーからエラー (戻りコード = XXXXXXXXX) を受け取りました。

システム動作: 構成制御機能は異常終了します。これにより、そのほかの上位機能も異常終了することもあります。

ユーザーの応答: 同じ時間帯中に起こった、LMU 入力エラーがあるか MVS SYSLOG を調べて、LMU デバイスのエラーかソフトウェアの問題かを判別してください。ソフトウェアの問題と考えられる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0457I

LMU error XXXXXXXXX modifying LSMid AA:LL online

説明: 構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオンラインに変更しようとした際に LMU ドライバーからエラー戻りコード (XXXXXXX) を受け取りました。

システム動作: LSM はオフラインのままにされます。

ユーザーの応答: LMU がホストとの通信を行っており、かつオンラインで LSM が作動可能であることを確認してから、コマンドを再実行してください。

SLS0458I

LMU error XXXXXXXXX modifying LSMid AA:LL offline

説明: 構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオフラインに変更しようとした際、おそらく、FORCE オプションを指定したオペレータコマンド MODify lsm OFFline を出した後に、LMU ドライバーからエラー戻りコード (XXXXXXX) を受け取りました。

システム動作: 変更要求は中止されます。LSM は以前の状態のままです。

ユーザーの応答: LMU がホストとの通信を行っており、かつオンラインで LSM が作動可能であることを確認してから、コマンドを再実行してください。これがうまくいかない場合は、LMU ステーションをオフラインに変更して、コマンドを再実行してください。

SL50459E

LSM AA:LL not selected - Lock held by host CCCCCCCC

説明: HSC は LSM AA:LL をオンラインにしようとした (初期設定中、または「MODify LSM AA:LL ONline」オペレータコマンドにより)。ホスト CCCCCCCC で実行中の HSC がそのレコードをロックしているため、CDS の LSM レコードを排他的に制御できませんでした。

システム動作: LSM はオンラインになっても、一部の構成検証はスキップされます。特に、テープドライブのタイプは認証されないことがあり、デフォルトタイプに割り振られます。これにより、割り振りや RTD の使用に悪影響が及ぶ場合があります。この状況を改善するには、オペレータの介入が必要です。

ユーザーの応答: まず、HSC ホスト CCCCCCCC がアクティブかどうかを確認します。その時点で HSC が初期設定中の場合には、問題は一時的なものです。正常な状態に戻すには、LSM AA:LL をオフラインに変更してからオンラインに戻してください。

MODify LSM AA:LL OFFline

MODify LSM AA:LL ONline

HSC ホスト CCCCCCCC がアクティブではないか、または LSM をオフラインに変更しようとして失敗した場合は、LSM を強制的にオフラインにしてからオンラインに戻してください。

MODify LSM AA:LL OFFline FORCE

MODify LSM AA:LL ONline

LSM がオンラインに戻ったら、Display Drives コマンドを発行して、すべてのドライブが検出され構成されていることを確認できます。

SL50460I

LSM AA:LL mismatch: LMU value T - CDS value T

説明: 構成制御検査機能が、LMU に定義された LSM 構成定義と、LSM AA:LL の制御データセットにある構成との間に不一致を検出しました。それぞれの T は、次のいずれかの値と置き換えられます。

X - LSM が 4410 または 9310 として定義されています

3 - LSM が 9360 として定義されています

6 - LSM が 9740 として定義されています

7 - LSM が SL8500 として定義されています

8 - LSM が SL3000 として定義されています

。 - LSM は定義されていません

システム動作: 構成制御検査機能は、すべての不一致を報告するための処理を続けます。HSC は起動したままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままです。

ユーザーの応答: 2 つのステータス行を比較すると、LSM 構成内のどこに相違があるかがわかります。実際の物理構成に基づき、(1) LMU 構成に合わせて LIBGEN パラメータを変更し、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成する、(2) StorageTek CSE に依頼して、LIBGEN パラメータに合わせて LMU 構成を変更する、のいずれかを行ってください。

SLS0500I

Copyright (C) 1991, 2010, Oracle and/or its affiliates.
All rights reserved.

説明: このメッセージは、ホストソフトウェアの初期設定中に出されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0501I

Module CCCCCCCC return code XXXXXXXX

説明: 呼び出されたモジュールが、初期設定または終了リスト処理中に、戻りコード XXXXXXXX とともに完了しました。

システム動作: 初期設定中にエラーがあると、HSC は、ほとんどの場合次のレベルに移ります。いくつかの重大なエラーの場合は、HSC は終了します。終了中にエラーがあると、HSC は終了処理を続けます。

ユーザーの応答: 問題が初期設定時あるいは終了中に常に起こり、リターンコードで問題解決に十分な情報が得られない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0503I

SMF subtype XX is invalid and is ignored

説明: このサブシステムの SUBPARM パラメータに、無効なサブタイプが指定されました。有効な値は、「1」から指定の最大値までの間の値です。

システム動作: この値は無視され、次のサブタイプがある場合はその処理に進みます。

ユーザーの応答: 導入システムで、記録されたサブタイプを変更したい場合は、「SYS1.PARMLIB」の該当する SMFPRMxx メンバーを編集して、SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...))) に正しいサブタイプを指定してください。次に SET SMF コマンドを入力してそれらのサブタイプをシステムに反映させてください。

SLS0504I

Error processing CCCCCCCC1; abend CCCC2 RCXXXXXXXX

説明: モジュール CCCCCCCC1 への呼び出しが、初期設定または終了リスト処理中に、ユーザーまたはシステムの異常終了 (CCCC2) により、理由コード RC XXXXXXXX を返して終了しました。

システム動作: 異常終了のタイプによって、初期設定 / 終了は続けられる場合があります。

ユーザーの応答: SYSLOG およびジョブログ内に、関連するメッセージがあるかどうかを調べてください。問題がシステム異常終了である場合は、『IBM MVS Extended Architecture Message Library: System Codes Manual』を参照してください。問題がユーザー異常終了である場合は、該当する IBM のドキュメントを参照してください。これらのマニュアルを読んでも問題が解決しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0505I

SSCVT CCCC not allocated for HSC subsystem

説明: 初期設定中、HSC サブシステムが、そのサブシステムの呼び出しに対して、SSCVT が作成されていないことを見つけました。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: HSC サブシステムが SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバー内に正しく定義されていて、モジュール SLSBPRESI が、システムリンクリストのライブラリ内にあるようにしてください。

SLS0506I

Modify commands not supported by CCCC HSC subsystem

説明: A MODify (F) コマンドが HSC サブシステムに対して出されましたが、この時点では、モディファイインタフェースはサポートされていません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0507I

HSC preinitialization failure

説明: 初期設定中に、HSC サブシステムが初期設定の前処理のエラーを見つけました。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0508I

Multiple subsystem start not allowed; ACS CCCC
{ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING| RECONFIGURING|INVALID FLAG}
in single mode

説明: 複数の HSC サブシステムを起動するという試みが拒否されました。これは、もう 1 つの HSC サブシステムが、単一モードで実行されているからです。

システム動作: 新しいサブシステムの処理は終了し、現在実行されているサブシステムの処理は続けられます。

ユーザーの応答: 実行するサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止させてください。

SLS0509I

Single mode HSC start rejected; another HSC subsystem is
active

説明: HSC サブシステムを起動するという試みが拒否されました。これは、もう 1 つの HSC サブシステムが実行中であったからです。

システム動作: 新しいサブシステムの処理は終了し、現在実行されているサブシステムの処理は続けられます。

ユーザーの応答: 実行するサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止させてください。

SLS0510I

Multiple SSCVTs exist for HSC subsystem CCCC

説明: サブシステムの初期設定中、サブシステムが、同じ SSCTSNAM フィールドを持つ 2 つの HSC SSCVT を見つけました。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: サブシステム名テーブルは、HSC サブシステムに対して項目を必ず 1 つだけ持つようにしてください。再 IPL を行なって SSCVT チェーンを再作成してください。

SLS0511I

All keywords following error are ignored

説明: EXECParm 文に無効なキーワードが含まれていました。解析は、前のメッセージに表示されたキーワードで停止し、サブシステムは初期設定を続けます。

システム動作: HSC 初期設定は、解析済みの PARM 文字列のみを使用して続けます。

ユーザーの応答: 前のエラーメッセージに示されたエラーを訂正して、サブシステムを再起動してください。

SLS0512E

HSC subsystem CCCC is {ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING|RECONFIGURING|INVALID FLAG}

説明: サブシステムが起動され、CCCC という名前の別の HSC サブシステムが ACTIVE、TERMINATING、INITIALIZING、RECONFIGURING または INVALID FLAG であることがわかりました。

システム動作: 新しいサブシステムの処理は終了します。

ユーザーの応答: オペレータが、エラーのためにメッセージが出されたと判別した場合は、起動パラメータに RESET オプションを指定して、サブシステムを再起動してください。

SLS0518D

WARNING The HSC subsystem is not in key 1-7; results may be unpredictable; reply YES to continue or NO to terminate execution

説明: HSC の保護キーが 1 から 7 以外であることが判明しました。HSC サブシステムが正しく動作するには、そのキーが 1 から 7 になっているべきです。

システム動作: 初期設定処理は応答待ち状態になります。

ユーザーの応答: 「NO」と応答すると、HSC は終了します。「YES」と応答すると、初期設定は続けられますが、HSC は機能が制限されたかたちで実行されます。このため、予期できないイベントがいくつか起こる可能性があります。例えば、HSC が SLS0107D メッセージを異常に多く生成したり、EDL (適格デバイスリスト) が正しく変更されないことがあります。担当のプログラマか、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0519I

HSC subsystem CCCC terminating abnormally

説明: サブシステムが、異常終了またはオペレータの取消し要求により、異常終了しようとしています。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: 終了がオペレータの取消し要求によるものではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0520I

{GTF EID|GTF FID} invalid or not provided, defaulting to XXXX

説明: GTF EID または GTF FID が指定されていなかったか、あるいは、PARMLIB の EXECParm 制御文または HSC 起動手順の EXEC 文のパラメータとして正しく指定されていませんでした。

システム動作: 省略時値の EID または FID である XXXX が使用されます。

ユーザーの応答: 正しい GTF EID または GTF FID を、HSC EXECParm 制御文、あるいは起動プロシージャの EXEC 文のパラメータとして指定してください。次に HSC を起動したときに新しい値が有効になります。

SLS0521I

CCCCCCCC failed to open; no automatic commands issued

説明: HSC の自動コマンドコンポーネントから、SLSSYScc メンバーまたは DD 名を指定するよう要求されています。cc は、メンバーまたは DD 文名の接尾辞を表します。CCCCCCCC は、データセット名とメンバーまたは DD 文名を示します。

システム動作: HSC は、自動コマンドリストなしで開始されます。

ユーザーの応答: 導入先で、サブシステム起動時に自動コマンドを発行する必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc または SLSSYScc DD 文を作成して、起動プロシージャの MEMBER パラメータに接尾部 (cc) を指定してください。

SLS0522I

Allocation of SYS1.PARMLIB(SLSSYScc) failed; no automatic commands issued; RC=XXXX

説明: HSC の自動コマンドコンポーネントが、発行元の SLSSYScc メンバーを指定するよう要求しているか、EXEC パラメータのメンバー名が間違っていて指定されていました。cc は、メンバーまたは DD 文名の接尾辞を表します。XXXX は、動的割り振りエラーの理由コード (S99ERROR) を示します。

システム動作: システムは、自動コマンドリストなしで開始されます。

ユーザーの応答: 導入システムで、サブシステム起動時に自動コマンドを出す必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc を作成して、起動手順の MEMBER パラメータに接尾部を指定するか、または SLSSYScc DD 文を指定してください。

SLS0523I

Volume *volser* found errant during reconfiguration, home location is *AA:LL:PP:RR:CC*

説明: 再構成機能が、古い制御データセットに、*AA:LL:PP:RR:CC* をホーム位置とするエラントボリューム (*volser*) を見つけました。

システム動作: 見つかったエラントボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) エラントとマークされました。

ユーザーの応答: 上記の状況を解消するために、指定セルの監査を、新しい制御データセットで行う必要があります。

SLS0524I

Volume *volser* found selected during reconfiguration, home location is *AA:LL:PP:RR:CC*

説明: 再構成機能が、古い制御データセットに、*AA:LL:PP:RR:CC* をホーム位置とする選択ボリューム (*volser*) を見つけました。

システム動作: 選択ボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) 選択解除済みとマークされます。

ユーザーの応答: ボリューム状況を検証するために、指定セルの監査を、新しい制御データセットで実行してください。さらに、再構成を実行中、別のホストにおいて、ほかの HSC サブシステムがアクティブでないことを確認してください。別のホストで HSC がアクティブであると、新しく作成された制御データセットは破壊される可能性があります。HSC が別のホストでアクティブでない場合は、新しく作成された制御データセットは、正しいものと見なすことができます。

SLS0525I

Reconfiguration completed successfully

説明: 再構成機能が正常に終了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: サブシステムは、新しく作成された制御データセットを使用して起動しなければなりません。次に、VOLRPT ユーティリティー機能を実行し、そのレポートの内容を確認してください。

SLS0527I

Reconfiguration function is currently executing; DO NOT START other HSC subsystems

説明: 再構成機能が現在実行されています。変更や非同期状態が起こるのを防ぐため、同じ CDS を共有するホストでそのほかの HSC サブシステムを稼働させたり、起動しないでください。

システム動作: 再構成処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0529I

An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能の実行中に、割り振り済みのセルが空であることがわかりました。

システム動作: 再構成機能の処理は続けられます。

ユーザーの応答: 再構成機能によってエラーメッセージが出されていなければ、新しいデータセットは、正常であると考えられます。割り振り済みのセルが空である状態を解消するために、HSC ソフトウェアを新しく構成されたデータセット (複数の場合もあります) で起動して、上記のメッセージに示されたセルに対して、監査を実行してください。

SLS0530I

Reconfiguration completed having found the above control data set conditions

説明: 再構成機能が完了しました。しかし、制御データセットの破壊につながる可能性のある状況が、機能の実行中に見つかりました。

システム動作: 再構成機能で出されたほかの出力メッセージを調べて、メッセージの重大度を判別してください。

ユーザーの応答: 新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行い、エラー状況を訂正してください。

SLS0531E

Database mismatch; Volume volser, Cell Index AA:LL:PP:RR:CC, VAR Location AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能が、セル索引位置とボリュームホーム位置を比較して、不一致を見つけました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行い、エラー状況を訂正してください。

SLS0539I

Unknown volume found, review prior SLS0874A Messages; 'Y' to acknowledge

説明: HSC の起動中に、HSC にとって未知のボリュームが見つかり、LSM から手動でマウント解除する必要があることを知らせるメッセージ SLS0874A が発行されました。このメッセージはそのボリュームが削除されないかぎり、HSC の起動のたびに発行されます。このメッセージへの処置は、メッセージを確認したことを示すだけです。LSM にカートリッジを放置しておいても HSC の通常の機能を妨げることはありません。

システム動作: 応答を受け、処理は正常に続けられます。カートリッジは発見された場所に放置されます。

ユーザーの応答: LSM を開き、メッセージ SLS0874A の指示に従って、ライブラリから該当のカートリッジをマウント解除します。このメッセージは、HSC の起動、および HSC サービスレベルが BASE から FULL になるたびに発行されます。

SLS0545I

HSC subsystem CCCC STOP (P) command received

説明: オペレータコマンドの STOP (P) が、指定のサブシステムに対して出されました。

システム動作: サブシステムは終了処理を開始します。

ユーザーの応答: なし

SLS0548I

LMURQST error XXXXXXXX for Read ACS statistics

説明: パフォーマンスモニターが、READ ACS STATISTICS コマンドを出し、メッセージに示されたリターンコードを受け取りました。

システム動作: SMF 統計レコードは書き込まれません。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0551I

{ SMF | COMPRFX | MAJNAME | EJCTPAS |
 { SMF | COMPRFX | MAJNAME | EJCTPAS | HOSTID (CCCCCCCC) |
 >NNLBDRV (CCCCCCCC) | ADJACNT (CCC) } parameter outside valid range

説明: LIBGEN パラメータの SMF、COMPRFX、MAJNAME、EJCTPAS、HOSTID(CCCCCCCC)、NNLBDRV(CCCCCCCC) または ADJACNT(CCC) の値が、有効範囲内にありません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0552I

STATION (XXXX1) | LSM (AA:LL) | SYSLIST (CCCCCCCC1) | STATION (XXXX1) | LSM
 (AA:LL) | SYSLIST (CCCCCCCC1) |
 HOSTDRV (CCCCCCCC2) | HOSTID | PASTHRU (D) | LSMDRV (CCCCCCCC3) |
 ADJACNT (CCCCCCCC4) | DRIVE (DD) | DRVELST (CCCCCCCC5) |
 ADDRESS (XXXX2) | ACSDRV (CCCCCCCC6) parameter not found

説明: 必要な LIBGEN パラメータ

STATION(XXXX1)、LSM(AA:LL)、SYSLIST(CCCCCCCC1)、
 HOSTDRV(CCCCCCCC2)、HOSTID、PASTHRU(D)、LSMDRV(CCCCCCCC3)、
 ADJACNT(CCCCCCCC4)、DRIVE(DD)、
 DRVELST(CCCCCCCC5)、ADDRESS(XXXX2)、または ACSDRV(CCCCCCCC6)
 が指定されませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0553I

```
{ACSDRV=(CCCCCCCC1)|ADDRESS|LSMDRV=(CCCCCCCC2)|PASTHRU=(D)|
DRIVE=(CCCCCCCC3)|TYPE/WINDOW|
WINDOW=(D)|TYPE=(CCC4)|DELDISP|SCRLABL|
TCHNIQE|DOOR=(CCC5)|VSMONLY=CCCCCCC6|
FUTRACS=(DD,DD)|
FUTRLSM=(8500,CCC7)}
parameter invalid value
```

説明: LIBGEN パラメータに指定した値は無効です。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0554I

```
TOO MANY {ACSDRV|LSM|LSM=(CCCCCCCC1)|ADDRESS|
ADDRESS=(XXXX1)|HOSTID(CCCCCCCC2)|NNLBDRV|
LSMDRV|DRIVE|PASTHRU|'PASTHRU=(D)''|
'ADJACNT=(CCCCCCCC3)''|SYSLIST|
DRIVE=(CCCCCCCC4)|'DRVELST=(CCCCCCCC5)''|
HOSTID|ADDRESS(XXXX2)|WINDOW=(D)|SYSLIST(CCCCCCCC6)} values
specified
```

説明: 指定されている値が多すぎます。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS0555I

Too many CCCCCCCC macros specified

説明: LIBGEN に指定されている CCCCCCCC マクロの数が多すぎます。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0556I

CCCCCCCC macro missing or out of sequence

説明: CCCCCCCC が LIBGEN に指定されていないか、または指定された順序が間違っています。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0557I

Database successfully initialized; total cartridge capacity:
DDDDDDDDDDDD

説明: 制御データセットおよびジャーナル、あるいはその両方が正しく初期設定されました。DDDDDDDDDDDD は、データベースのカートリッジ容量の合計を示します。

SL3000 または SL8500 の LIBGEN を行う際の DDDDDDDDDDDDD は、ライブラリの実際の容量ではありません。LSM をオンラインに変更したあとで、D ACS または D LSM オペレータコマンドを使って実際の容量を表示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0558I

CLNPRFX operand must be three volser characters, valid values
are (A-Z, 0-9, AND \$#@)

説明: CLNPRFX オペランドが、A-Z、0-9、\$、#、または @ で構成された 3 文字ではありません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS0559I

DRIVE PANEL numbers must be in ascending order

説明: DRIVE PANEL 番号が、昇順で指定されていません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS0560E

CCCCCCCC errors encountered

説明: CCCCCCCC 機能にエラーがありました。

システム動作: ユーティリティは終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0562I

CCCCCCCC - Installation verified

説明: 導入システムが CCCCCCCC によって検査されました。ここで、CCCCCCCC は、実行されていた IVP を示します。

システム動作: ユーティリティは終了して、リターンコード 00 が返されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0563E

Host SID CCCCCCCC, UNITNAME CCCCCCCC is not in EDT or has no supported tape devices

説明: ユーティリティ (ホスト SID CCCCCCCC で実行されている) が、SLILIBRY マクロの NNLBDRV パラメータ、または SLIACS マクロの ACSDRV パラメータのいずれかに指定されたデバイス名がこのホストの EDT になかったか、あるいはデバイス名は存在したけれどもサポートされているテープデバイスが含まれていなかったことを判別しました。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行してデバイス名を変更する。
- SET ユーティリティを使用する。
- ホストに EDTGEN を実行して、デバイス名を追加する。

SLS0564E

Host SID CCCCCCCC was not defined in LIBGEN

説明: ユーティリティ (ホスト SID CCCCCCCC で実行されている) が、ホスト SID CCCCCCCC が LIBGEN に定義されていなかったことを判別しました。

システム動作: 処理は終了します。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して SLILBRY マクロの HOSTID パラメータに CCCCCCCC を指定する。
- SET ユーティリティを使用する。
- LIBGEN に定義されているホストでジョブを実行する。

SLS0565E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a supported tape device

説明: ホスト ID (CCCCCCCC) は、デバイス番号 XXXX が SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに指定されているサポート対象のテープデバイスではないことを判別しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して、SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除する。
- SET ユーティリティを使用する。
- HCD を使用してユニットをサポート対象のテープデバイスとして定義する。

SLS0566E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a 3278

説明: ホスト ID (CCCCCCCC) は、デバイス番号 XXXX が SLISTATN マクロの ADDRESS パラメータに指定されている 3278 ではないことを判別しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかの処理を実行してください。

- LIBGEN を再実行して、SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除する。
- SET ユーティリティーを使用する。
- HCD を実行してデバイス番号を 3278 にする。

SLS0567E

Unable to allocate drive XXXX1; SVC 99 = XXXX2, XXXX3

説明: ユーティリティーが、デバイス番号 XXXX1 を割り振れませんでした。XXXX2 は情報理由コードで、XXXX3 はエラー理由コードです。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 動的割り振り障害の理由を解決して、ジョブを再送信してください。

SLS0568I

Message DDDD does not exist

説明: LIBGEN マクロが、メッセージ DDDD を出すよう要求しました。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 14 が設定されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0569E

Invalid LIBGEN load module specified

説明: LIBGEN ロードモジュールに対して出されたロードマクロが失敗しました。

システム動作: 処理は終了します。

ユーザーの応答: LIBGEN ロードモジュールを使用できるようにしてください。

SLS0570I

MACRO CCCCCCCC ALREADY SPECIFIED

説明: メッセージに表示された LIBGEN マクロはすでに発行されています。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: ラベルを訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0571I

Number of values for {STATION|HOSTDRV} parameter must equal
number of hosts

説明: メッセージに表示された LIBGEN パラメータには、SLILIBRY マクロの HOSTID パラメータに指定されたホスト識別子の数と等しい数の値を指定しなければなりません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0572I

Number of values for {PASTHRU|DRIVE} parameter must equal
number of values for {ADJACNT|DRVELST} parameter

説明: メッセージに表示された LIBGEN パラメータには、ADJACNT パラメータに指定された数と等しい数の値を指定しなければなりません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0573E

Parameter list is missing or invalid

説明: ユーティリティの実行中、このユーティリティに指定されたパラメータが欠落しているか、または無効であることがわかりました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 一連のパラメータを指定してください。

SLS0574E

CCCCCCCC program not permitted to do Dynamic Allocation

説明: このユーティリティは、導入システム検証ルーチン (IEFDB401) によって、動的割り振りの実行を許可されていません。

システム動作: 処理は停止します。

ユーザーの応答: 動的割り振りを実効する許可をプログラムに与えて、ジョブを再送信してください。

SLS0575E

CCCCCCCC DD statement missing

説明: メッセージに表示された DD 文が見つかりませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: メッセージに表示された DD 文を定義して、ジョブを再送信してください。

SLS0576E

Unable to load LIBGEN module CCCCCCCC (XXXX1 - XXXX2)

説明: ロードモジュール CCCCCCCC をロードできませんでした。XXXX1 - XXXX2 はシステムから出される異常終了コードと理由コードです。

システム動作: 処理は停止します。

ユーザーの応答: CCCCCCCC を含むライブラリが STEPLIB に指定されていることを確認してから、ジョブを再サブミットしてください。

SLS0577I

Panel number 10 must be specified as the last operand for the DRIVE= parameter

説明: SLILSM マクロの DRIVE= パラメータには、ドライブパネルとしてパネル 10 を指定する必要があります。このパネルが DRIVE= オペランドから欠落しているか、または DRIVE= パラメータの最後のオペランドとして指定されていません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS0578E

Invalid ACSid

説明: SLIEXERS プログラムの EXEC 文の PARM= パラメータに指定された ACSid が無効、または範囲外です。

システム動作: 処理は停止します。

ユーザーの応答: 正しい ACSid を指定して、ジョブを再送信してください。

SLS0579I

Number of CCCCCCCC values specified is less than the number of hosts

説明: CCCCCCCC に指定されたマクロパラメータは、SLILIBRY HOSTID パラメータに指定されたホストの数と同数のオペランドを持つ必要があります。あるホストについてオペランドを意図的に省略する場合は、代わりにコンマを使用する必要があります。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 04 に設定されます。

ユーザーの応答: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS0580I

The RESERVE= parameter has been discontinued and is ignored; it should be removed

説明: RESERVE= パラメータは、初期の保守サイクルで除去されたため、現在では使用されていません。

システム動作: LIBGEN のアセンブリは通常どおりに続行し、結果の LIBGEN モジュールは影響を受けません。

ユーザーの応答: 適当なときに、SLIRCVRY マクロから RESERVE= パラメータを除去してください。LIBGEN のアセンブリを再実行する必要はありません。

SLS0581I

SLIPTPCK - PASTHRU parameter #N of *BBB* does not have a corresponding ADJACENT parameter specified

説明: *BBB* というラベルの、SLILSM マクロに定義された「N」番目の PASTHRU パラメーターに、適合する ADJACNT パラメータエントリがありません。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: パススルーポートが定義されている LSM に対応する ADJACNT パラメータエントリを追加してください。LIBGEN アセンブリを再実行してください。

SLS0582I

SLIPTPCK - *AAA* is adjacent to *BBB*, but *BBB* is not adjacent to *AAA*

説明: LSM *AAA* は、LSM *BBB* の SLILSM マクロ内に、隣接するものとして定義されていますが、*BBB* は、LSM *AAA* の SLILSM マクロ内では、隣接するものとして定義されていません。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: *AAA* の SLILSM マクロの ADJACNT パラメータに、LSM *BBB* のエントリを設定してください。LIBGEN アセンブリを再実行してください。

SLS0583I

SLIPTPCK - ADJACENT parameter N (*VVV*) of *AAA* does not have a corresponding PASTHRU parameter specified

説明: *AAA* というラベルの、SLILSM マクロの ADJACNT キーワードにある「N」番目のパラメーターには、値として *VVV* が定義されていますが、これには、対応する PASTHRU パラメータがありません。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: LSM *AAA* の「N」番目の ADJACNT パラメータに対応する PASTHRU パラメータ項目を追加してください。LIBGEN アセンブリを再実行してください。

SLS0584I

SLIPTPCK - PASTHRU parameter N of *AAA* and PASTHRU parameter O of *BBB* are both defined as type *TTT*

説明: LSM *AAA* の N および LSM *BBB* の O という対応する PASTHRU パラメータは、いずれも同じ PTP タイプの *TTT* (MASTER または SLAVE) に定義されています。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: 対立している PASTHRU パラメータの一方を、反対のタイプに変更してください。

SLS0585I

SLILSM - SLILSM macro labeled CCCCCC has a DRIVE/PASTHRU
PORT/WINDOW assigned to number NN

説明: CCCCCC というラベルの付いたマクロに、ドライブ、パススルーポート、またはウィンドウに割り当てられているのと同じパネル番号があります。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: PASTHRU、DRIVE、または WINDOW パラメータを変更して、パネル番号を訂正してください。

SLS0586I

SLISTATN address DDDD will not be used by HSC

説明: SLISTATN マクロはステーションアドレスを 0 に定義しました。HSC は、アドレスが 0 のステーションを「偽」ステーションであると見なし、それを使用しません。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 8 に設定されます。

ユーザーの応答: そのステーションが使用される場合は、アドレスを 0 以外に変更してください。

SLS0587I

PASTHRU parameter required when defining an ACS with multiple
LSMS

説明: SLIACS マクロは複数の LSM を定義しました。SLILSM マクロは、PASTHRU パラメータをコーディングし、隣接する LSM の間のパススルーポートを定義する必要があります。

システム動作: LIBGEN アセンブリは続けられ、アセンブリリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの応答: SLILSM マクロで PASTHRU パラメータをコーディングし、隣接する LSM の間のパススルーポートを定義してください。

SLS0600I

Volume *volser*; AA:LL:PP:RR:CC, {Selected|Unselected},
{Scratch|Nonscratch}<, Mounted>

説明: Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームのホームセルは、AA:LL:PP:RR:CC です。ここで、AA は ACS id、LL は LSM id、PP は 10 進数のパネル番号、RR は 10 進数の行番号を、そして CC は 10 進数の列番号を示します。表示には、ボリュームが現在選択されているかどうかを示します。ボリュームのスクラッチ状況も表示されます。「マウント」メッセージは、ボリュームがドライブにマウントされた場合にのみ表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0601I

Volume *volser* - detail:

```
Home cell:          AA:LL:PP:RR:CC
Scratch:            {YES|NO}
Selected:           {YES|NO}
<Mounted:           {drive DDDD|driveid AA:LL:PP:NN}>
<Owning host:       CCCCCCCC>
External label:     {YES|NO}
<Label readable:    {YES|NO}>
Inserted:           YYYY-MM-DD  HH:MM:SS
Last selected:      YYYY-MM-DD  HH:MM:SS
Select count:       DDDD
Media type:         MMMMMMMM
Rectech:            RRRRRRRR
Media Label:        LLLLLLLL
Media Match:        {YES|NO|VOLATTR Only|Label Only|Undefined}
Warranty Life:      {NNN%|UNKNOWN}
<Not eligible for SCRATCH>
```

説明: DEtail オペランドを指定した Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームに関する使用可能な情報すべてが、複数行の WTO に表示されます。

「home cell」行の、AA は ACS id、LL は LSM id、PP は 10 進数のパネル番号、RR は 10 進数の行番号を、そして CC は 10 進数の列番号を示します。

「Mounted」行は、ボリュームがマウントされている場合にのみ表示されます。Drive DDDD|driveid AA:LL:PP:NN は、ボリュームのマウント先ドライブを示します。

「Owning host」(CCCCCCCC) 行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。

「Label readable」行は、ボリュームに外部ラベルがある場合にのみ表示されます。

「Inserted」と「Last Selected」の行はそれぞれ、ボリュームがライブラリに入力された日時と、最後に選択された日時を示します。日付は、YYYY-MM-DD 形式です。

MMMMMMMMMMと RRRRRRRRRは、メディアタイプとボリュームの記録技法です。LLLLLLLLは、外部ラベルのメディアタイプが読み取り可能かどうかを示します。表示されたメディア値がLMUから読み取られたものでない場合、値N/A(該当しません)が表示されます。

Media Matchの値は、ボリュームのメディアタイプがどのように判別されたかを示します。

YES	LMUはメディアラベルを読み取りました。そのボリュームにはVOLATTRまたはVOLPARMが定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致します。
NO	LMUはメディアラベルを読み取りました。そのボリュームにはVOLATTRまたはVOLPARMが定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致していません。
VOLATTR Only	ボリュームの VOLATTR または VOLPARM は存在しますが、LMU はメディアタイプを判別できませんでした。これは、ライブラリ外にあるボリュームに対して VOLATTR または VOLPARM が定義されているときに生じることがあります。
Label Only	LMU はメディアタイプを判別しましたが、そのボリュームに対する VOLATTR または VOLPARM は存在しません。
Undefined	LMU はメディアタイプを判別しませんでした。そのボリュームに対する VOLATTR または VOLPARM は存在しません。

「No」、「Label Only」、または「Undefined」の値は、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。ライブラリ内のボリュームの場合の「VOLATTR Only」の値も、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。いずれの状況でも、DISPLAY SCRATCHコマンドで無効なスクラッチカウントが生じることがあります。

「Not usable」は、クリーニングカートリッジまたは診断カートリッジをマウントしようとする、許可されていない要求を示します。

「Warranty Life」は、ボリュームをマウント解除したときに表示される、% 単位の比率で、LMU 互換性レベルが 21 以上のテープライブラリに使用されます。サポートされていないライブラリにあるボリュームや、MWL サポート適用以降にマウント解除されていないボリュームに対しては、「Unknown」が表示されます。

ボリュームが VSM MVC の場合は、「Not eligible for SCRATCH」が表示されます。また、ボリュームをスクラッチできないことを示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0602I

```
Volume volser - errant:
Scratch:                {YES|NO}
Selected:               {YES|NO}
<Owning Host:          CCCCCCCC>

Last known locations:
Home:                   CELL AA:LL:PP:RR:CC
Source:                 {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
Destination:           {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
<Lost in:              LSM AA:LL>
```

説明: Display Volume コマンドが、ボリューム *volser* に対して出されました。このボリュームが、エラントであることがわかりました。このボリュームの最後にわかっている位置が、メッセージに示されます。ボリューム位置行の、AA は ACSid、LL は LSMid、PP は 10 進数のパネル番号、RR は 10 進数の行番号、CC は 10 進数の列番号を、NN は 10 進数のドライブ番号を、そして XXXX はデバイスアドレスを示します。「owning host」行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。「Lost in」行は、LSM 内でボリュームが失われた場合にのみ表示されます。

システム動作: ボリュームは、エラント回復処理が行われるか、またはライブラリから論理的にイジェクトされるまでは、エラント状態のままです。

ユーザーの応答: ボリュームに対して、エラント回復機能を呼び出してください。エラント回復を呼び出すには、ボリュームをマウントしたり、LSM をオンラインに変更する方法があります。

SLS0603I

```
Volume(s) volser1<-volser2> not in ACS
```

説明: Display Volume コマンドで要求された 1 つまたは複数のボリュームが、ACS 内に見つかりませんでした。コマンドにボリューム範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合は、この一連のボリュームに対して、1 つのメッセージが表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0604I

Invalid volser range (volser1-volser2) for CCCCCCCC command,
CC=XX

システム動作: CCCCCCCC コマンドにボリュームの範囲 (volser1-volser2) が指定されましたが、その範囲が構文的に無効でした。XX は、構文エラーの性質を示す条件コードで、次のものがあります。

08	VOLOSERの増加時にオーバーフローが発生しました。結果、その数字が、そのボリュームシリアル番号の増分よりも大きくなりました。
12	指定された範囲内のボリュームシリアル番号の1つに、増やせない部分があります。
16	指定された範囲内のボリュームシリアル番号の1つに、無効文字があります。
20	範囲を示す 2つのボリュームシリアル番号のうち、2番目のボリュームシリアル番号が最初のボリュームシリアル番号以下です。
24	範囲を示す 2つのボリュームシリアル番号の増分可能部分に、互換性がありません。
28	volser 名が英字の場合は、比較対象となる volser が必要です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: VOLSER の範囲を指定して、CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

SLS0605I

Volser range (volser1-volser2) for CCCCCCCC command exceeds
NNN volumes

説明: CCCCCCCC コマンドにボリュームの範囲 (volser1-volser2) が指定されましたが指定の範囲には NNN を超えるボリュームが含まれています。CCCCCCCC コマンドのボリューム範囲内にあるボリュームの数は、最大 NNN に限られています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: NNN 次のボリュームを含む範囲を指定して複数の CCCCCCCC コマンドを入力するか、あるいは、volser の範囲に限界のない関連バッチユーティリティを実行してください。

SLS0607I

Invalid CCCCCCCC1 option - CCCCCCCC2

説明: 指定のコマンドのキーワードに無効なオプションが指定されました。CCCCCCCC1 は、入力されたキーワードを示しています。CCCCCCCC2 は、CCCCCCCC1 キーワードのオプションを示しています。

システム動作: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: 該当する ELS ガイドを参照するか、HSC「Display CMd」コマンドを発行して、指定のコマンドキーワードでサポートされているオプションを判別してください。

SLS0609I

Invalid {OPTION} CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 value - DDDDDDDDD1; value must be within range DDDDDDDDD2-DDDDDDDD3

説明: OPTion コマンドのオプションに数値が指定されました。しかし、この指定の値は、このオプションで使用する最小値を下回るか、またはこのオプションで使用する最大値を上回ります。CCCCCCCC1 は、OPTion コマンドに入力された機能を示します。CCCCCCCC2 は、OPTion コマンドに入力されたオプションを示します。DDDDDDDD1 は、OPTion コマンドに入力された値です。DDDDDDDD2 はこのオプションで使用する最小値を、DDDDDDDD3 はこのオプションで使用する最大値を示します。

システム動作: OPTion コマンド処理は終了します。

ユーザーの応答: 該当する ELS ガイドを参照するか、HSC 「Display CMd OPTion」コマンドを発行して、指定の関数でサポートされている値を判別してください。

SLS0612I

The CCCCCCCC1 command is at a command Service Level unknown to the HSC

説明: オペレータコマンドが入力されましたが、HSC はそのコマンドのサービスレベルを認知しませんでした。CCCCCCCC1 は、入力されたオペレータコマンドを示します。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: これは、HSC の内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0613I

The CCCCCCCC1 command cannot be processed at the current HSC Service Level

説明: オペレータコマンドが入力されましたが、HSC は、そのコマンドを実行できるサービスレベルにありませんでした。CCCCCCCC1 は、入力されたオペレータコマンドを示します。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: HSC を適切なサービスレベルに変更した後で、CCCCCCCC1 コマンドを再入力してください。

SLS0651I

Allocation of station device XXXX failed - XX1, XX2

説明: メッセージに表示されたステーションの割り振り中に、エラーが起きました。XX1 には SVC 99 のエラーコードが、XX2 には情報コードが含まれます。

システム動作: ステーションは、オンラインに変更されません。

ユーザーの応答: 問題を解決して、Vary Station コマンドを再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0652I

Open of station device XXXX failed

説明: メッセージで表示されたステーションのオープン中に、エラーが起きました。

システム動作: ステーションは、オンラインに変更されません。

ユーザーの応答: 問題を解決して、Vary Station コマンドを再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0653I

SHPG of station C...C failed -CCCCCCCC

説明: 指定のステーションに対するホスト経路グループの設定 (SHPG) が失敗しました。

システム動作: ステーションはオフラインにマークされています。

ユーザーの応答: LMU 接続と状況を確認してください。HSC のすべての初期設定が完了していることを確認した後、ステーションまたは ACS をオンラインに変更してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0655I

ACS AA station C...C communicating

説明: 指定のステーションが通信を開始しました。

システム動作: LMU 待機中のすべての要求は、再実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0657E

ACS AA station C...C not communicating

説明: ステーションは、ACS AA との通信に使用できません。

システム動作: すべての要求が、ほかのステーション (ある場合) に経路指定されません。

ユーザーの応答: 問題を診断して解決してください。3270 ステーションに入出力エラーメッセージが生成された場合は、ステーションをオフラインに変更する必要があります。

SLS0658I

A Configuration or Capacity Changed Request was received from ACS NN

説明: ライブラリが、任意の Configuration または Capacity Changed メッセージを LMU または ACS NN に発行しました。これは、ライブラリハードウェアの構成が変更され、NCO 構成を更新する必要があることを表しています。

システム動作: NCO 構成の更新は、自動的に開始されます。NCO が SLS4458E メッセージを受信しようとする場合は、現在の NCO 操作が完了した時点で開始しなおすことがあります。

ユーザーの応答: SLS4458E メッセージを受け取り、現在の NCO アクティビティが完了したのに NCO が要求側 ACS に更新を開始しない場合は、MODIFY CONFIG UPDATE ACS(NN) オペレーターコマンドを実行する必要があります。

SLS0660I

ERR BCST - CCCCCCCC

説明: 無効な通知が受け取られました。このメッセージはブロードキャストを示すものです。

システム動作: 処理は続行されます。このブロードキャストは無視されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0661E

ACS AA not communicating

説明: ACS AA との通信に使用できるステーションが、いずれも応答しません。

システム動作: すべての要求が、LMU ハードウェアエラー (6515) とともに戻されます。

ユーザーの応答: Vary コマンドを使用してステーションをオフラインにしてから、オンラインに変更してください。ステーションがオンラインにならない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SL50662I

LMU Response error - AA,XXXX,XX,DD

説明: エラー状態の応答が受け取られました。

AAは、ブロックの送信先、または送信元であるACSのACSidを示します。

XXXXは、使用されているステーションデバイス番号を表します。

XXは、次のエラーコードのいずれかを示します。

04	複数の応答タイプが無効です
08	通し番号が数値ではありません
0C	応答は予期されていませんでした
10	応答が無効です (理由コードを参照)
14	応答タイプが数値ではありません
18	エラー応答が受け取られました
20	ブロードキャストタイプが未知のものです
28	ブロードキャストが無効です (理由コードを参照)

DDは、次の理由コードのいずれかを示します。

00	N/A
01	応答コードが無効です
02	応答サイズが無効です
03	ホスト IDが無効です
04	スレーブ ID が無効です
05	無効な LSM 変更状況が見つかりました
06	パススルーポートカウントが無効です
08	応答の長さが無効です - 短すぎます
09	応答の長さが無効です - 均等に分割できません
0A	月が無効です
0B	日が無効です
0C	時間が無効です
0D	分が無効です
0E	秒が無効です
0F	アームの使用率が無効です

10	バススルーカウントが無効です
11	応答の長さが無効です – 長すぎます
12	LRQ の応答が欠落しています
13	LSMが無効です
14	ドライブパネルが無効です
15	ドライブ行が無効です
17	ソフト障害の回復カウントが無効です
80	構成状況が無効です
81	マスター LSM が無効です
82	マスターパネルが無効です
83	スレーブ LSM が無効です
84	スレーブパネルが無効です
90	LSM カウントが無効です

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SL50663I

LMU Block error - AA,XXXX,XX,DDD

説明: エラーのあるブロックが受信されたか、または送信されました。
 AAは、ブロックの送信先、または送信元であるACSのACSidを示します。
 XXXXは、使用されているステーションデバイス番号を表します。
 XXは、次のエラーコードのいずれかを示します。

1C	非ブロック化エラーです。LMU が不良なブロックを送信しました。
24	ACK エラーです。LMU または HSC が不良なブロックを送信しました。

DDDD は、次の理由コードのいずれかを示します。

1	有効なブロック標識が受け取られませんでした
2	伝送の始まりが見つかりません
3	伝送の終わりが見つかりません
4	トランザクションの始まりが見つかりません
5	トランザクションの終わりが見つかりません
6	インタフェースがどのホストに対してもグループ化されていません
7	ホスト IDが不当です
8	ホスト経路グループ設定オプションが不当です
9	インタフェースがほかのホストに連結しています
10	ホスト IDが所有ホストと一致しません
11	ブロック見出しに非数値データがあります
12	スタンバイ LMUは、要求のブロックを受け付けられません
13	切り替えはすでにアクティブです
50	不正なブロックシーケンスNo. が予期しない ACK で見つかりました
51	スタンバイ LMUからの要求ブロックのACKが不当です
52	スタンバイ LMUからの要求ブロックのACKが不当です
124	LMUからのACKのブロック長が数値ではありません
136	不正なブロックシーケンスNo. が LMU からの ACK で見つかりました

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および PM2 ACS 非ブロック化レポートを、StorageTek ソフトウェアサポートに送ってください。

SLS0664I

ACS AA Busy; station C...C offline pending

説明: Vary OFFline が、指定のステーションまたは ACS に対して発行されました。ステーション C...C は、LMU でオンラインにされている最後のステーションであり、LMU に対してアクティブな作業がありました。

システム動作: LMU に対するアクティブな作業が完了するまで、要求は待ち状態になります。

ユーザーの応答: なし

SLS0665E

ACS AA Degraded; LSM AA:LL, Condition D, FSC XXXX

説明: パフォーマンス低下の原因となった障害の起こった ACS AA から、メッセージが受け取られました。ACS は通常どおりに機能し続けます。

LL は LSM を示します。「FF」の場合、障害のあったデバイスは LMU です。

D は条件コードです。「1」は、デバイスの作動不能を示します。「2」は、パフォーマンスの低下を示します。

XXXX は次のような障害徴候コード (FSC) を示します指定するエラーコードの障害徴候コードディクショナリーを参照してください。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。このときに FSC (XXXX) をあわせて連絡してください。

SLS0666A

LSM AA:LL access door has been opened

説明: 指定された LSM アクセスドアが開いていました。

システム動作: この LSM に関与するすべての要求は、ドアが閉められて作動可能な状態になるか、LSM がオフラインに強制変更されるまで、待ち状態に置かれます。

ユーザーの応答: LSM ドアを閉め、LSM をオフラインに強制変更して、手動モードにしてください。

SLS0667I

LSM AA:LL access door has been closed

説明: 指定された LSM のアクセスドアが閉められていました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0668I

LSM AA:LL CCC...CCC

説明: LSM が、メッセージの可変テキスト部分に示されるように、正常にオンラインまたはオフラインに変更されました。

次にCCC...CCCのテキストとその説明を示します。

Is Offline; Temp Outage Queue has been purged.

LSMはすでにオフラインになっており、MODify lsm ONlineは一時停止待ち行列上にありませんでした。

Ready; Temp Outage Queue Will Be Re-Driven.

MODify lsm ONlineコマンド、LSM 作動可能イベント、またはLMU 作動可能イベントのいずれかが正常に処理されて、一時停止待ち行列上の保留要求はすべて、待機要求待ち行列に再び入れられます。

システム動作: システムは、メッセージのテキストに示されたように、一時停止待ち行列を処理します。

ユーザーの応答: なし

SLS0669A

LSM AA:LL not ready (C)

説明: 特定の LSM が作動不能です。C は LSM が作動不能である理由を示します。理由には次のものがあります。

0 - 応答はLSMが作動不能であることを示しています

1 - 構成の不一致です

2 - 初期設定が失敗しました

3 - 通信が失われました

4 - 機構に障害があります

5 - LSMが初期化を行えません-CAPのドアが開いています

6 - LSMが初期化を行えません-プレイグラウンドを空にする必要があります

7 - LSMの容量の不一致があります

8 - キードアが開いています

システム動作: LSM に関与する要求はすべて、LSM が作動可能になるか、または LSM がオフラインに強制変更されるまで、待ち状態に置かれます。

ユーザーの応答: LSM を作動可能にしてください。これが不可能な場合は、LSM をオフラインに強制変更して、手動モードにしてください。

SLS0670I

Modify of LSM AA:LL pending (DDDDDDDD)

説明: LSM に対する変更処理がアクティブであるときに、さらに MODify lsm 要求が出されました。保留待ち行列は現在 DDDDDDDD の段階にあります。

システム動作: 変更処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答: なし

SLS0671I

Vary of ACS {AA/AA station C...C} pending (DDDDDDDD)

説明: ACS に対する別の Vary 処理がアクティブであるときに、さらに Vary Station 要求または ACS 要求が出されました。Vary 処理保留待ち行列は現在 DDDDDDDD の段階にあります。

システム動作: Vary 処理は、待ち行列の一番上に達するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: なし

SLS0672E

LSM AA:LL {Drive XXXX|Driveid AA:LL:PP:NN} - needs cleaning

説明: 指定のドライブに、クリーニングカートリッジを挿入する必要があります。トランスポートは、デバイスアドレス (XXXX) か、ドライブがホストに定義されていない場合はドライブ id (ドライブ AA:LL:PP:NN の ACS、LSM、パネル、および番号) で識別されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: トランスポートにクリーニングカートリッジをマウントします。

注 – HSCの自動クリーニング機能は使用不能に設定されています。このメッセージが発行されないようにするには、HSC MNTD AUtocln(ON)コマンドで自動クリーニング機能を使用可能にしてください。

SLS0673I

LSM AA:LL pending offline

説明: MODify lsm OFFline 要求が指定の LSM に出されましたが、その LSM は使用中でした。要求 (Mount 要求、DISMount 要求など) がアクティブであるか、または CAP が予約されていたのかのいずれかです。

システム動作: オフライン要求は待ち状態になります。使用中ではなくなった時点で、MODify lsm OFFline 要求は完了します。必要であれば、FORCE オプションを指定して MODify lsm OFFline を発行し、アクティビティに関係なく、LSM をオフラインにしてください。

ユーザーの応答: なし

SLS0674I

ACS AA Station C...C driver cannot run without ESTAE

説明: ステーションが、ESTAE 環境の確立に 3 回失敗しました。通常、回復可能エラーは、再試行ルーチンをスケジューリングする ESTAE ルーチンなしには回復できません。ステーションの動作が停止している場合は、HSC の停止 / 再起動をスケジューリングしてください。

AAはACS番号を指定します。

C...Cは、ステーションアドレスを指定します。

システム動作: 処理は HSC については続行されますが、ステーションは非アクティブなままになります。

ユーザーの応答: この問題は、ACS をオフラインに変更したり、オンラインに戻すと、解決する場合があります。

SLS0675E

LSM AA:LL CCC...CCC

説明: LSM の障害または部分的障害が、メッセージの可変テキスト部分に示されるように検出されました。

次にCCC...CCCのテキストとその説明を示します。

Try MODIFY Again; Config Request Failed.

上記の場合、SLSLCLSMが、データベースから LSMの現在の状況を入手するのに3 回失敗しました。データベースが、LSMは自動モードにあることを示している場合でも、LSMは依然論理的にはオフラインになっています。

Try MODIFY Again; Read LSM Status Failed.

上記の場合、SLSLCLSMが、LSMから LMUの現在の状況を入手するのに3 回失敗しました。データベースが、LSMは自動モードにあることを示している場合でも、LSMは依然論理的にはオフラインになっています。

Try Modify Again When LSM Is Ready.

上記の場合、SLSLCLSMが、LSMが作動不能であることを検出し、現在の状態では、LSMを論理的にオンラインにすることはできません。データベースが、LSMは自動モードにあることを示している場合でも、LSMは依然論理的にはオフラインになっています。

Try MODIFY Again; Modify LSM Online Failed.

上記の場合、SLSLCLSMが、LSMが作動可能であることを検出しながら、LSMをオンラインに変更するのに3 回失敗しました。データベースが、LSMは自動モードにあることを示している場合でも、LSMは依然論理的にはオフラインになっています。

Is Online, But CAP Query Failed.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、LSMのすべてのCAP レコードに対する構成照会に失敗しました。CAPの予約/解放処理を行うことはできません。

Is Online, But Failed To Re-Reserve CAP CC.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、CAP CCはアクティブです。LMUはこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSMは、このホストにCAP CCを再予約するのに3 回失敗しました。

Is Online, But Failed To Lock CAP CC.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、CAP CCはアクティブです。LMUはこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSMは、CAP CCをロックするのに3 回失敗しました。

Is Online, But Failed To Unlock CAP CC.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、CAP CCはアクティブです。LMUはこのホストがそれを所有しているとみなし、SLSLCLSMは、CAP CCをロック解除するのに3 回失敗しました。

Is Online, But Failed To Release CAP CC.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、CAP CCはアクティブではありません。LMUはこのホストがCAP CCを所有しているとみなし、SLSLCLSMは、それを解放するのに3 回失敗しました。

Is Online, But Carts.In Motion Not Resolved.

上記の場合、LSMは現在オンラインになっていますが、SLSLCLSMは、転送中セットの読み取りに3回失敗しました。このLSMで失われたカートリッジが残っている可能性があります。

システム動作: システムはすぐには処理を行いませんが、ホームセルに見つからなかったカートリッジには、後で自動的にエラント回復が呼び出されます。

ユーザーの応答: メッセージテキストの可変部分によって異なります。

次にCCC...CCCのテキストとその説明を示します。

Try MODIFY Again ...

この場合は、LSM ドアを開けてから閉めるか、またはMODify lsm ONlineを実行してください。これに失敗するか、すでに失敗している、あるいはLSMロック不能というメッセージが出された場合は、ハードウェアが作動していることを前提として、MODify lsm OFFline(おそらくFORCE)と MODify lsm ONlineを実行する必要があります。

Is Online, But ...

LSMはオンラインになっていますが、CAPが正しく再初期設定されなかったか、転送中セットを読み取れなかったかのいずれかです。エラント回復により、回復されなかったボリュームが自動的に見つけられます。これは、ただちにスケジューリングする必要はありませんが、オペレータは、エラーなしで、最終的にLSMをオフラインにしてからもう一度オンラインにする必要があります。

SLS0676I

Can't process requests; LMU server is terminating

説明: LMU サーバーが、要求の処理に使用できません。タイミングによっては、LMU への要求を待ち行列に入れようとするタスクもあり得ますが、これらの要求は受け付けられません。

システム動作: 終了処理が続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS0677I

LMU I/O Error *XXXX*, *XX1*, *XX2*, *XX3*, *XX4*, *XX5*

説明: LMU への出入力中に、入出力エラーが起きました。

XXXX	ステーションデバイス番号
XX1	発行された CCW
XX2	デバイス状況
XX3	チャネル状況
XX4	センスバイト0
XX5	センスバイト1

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 必要であれば、StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。

SLS0678I

LMU Attention Error *DDD*, *SS*

説明: デバイス *DDD* が、LMU アテンション割り込み処理中に、チャネルまたはデバイス状況 *SS* を戻しました。

システム動作: 状況がアテンション標識を含む場合は、そのアテンションは処理されます。

ユーザーの応答: デバイスの問題が起きている可能性があります。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0679E

Restart HSC sometime; an LMU server subtask has abended

説明: 重要ではない資源が異常終了しました。HSC の再起動を適宜スケジューリングしてください。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 問題を起こしているステーションをいったんオフラインに変更してから、再びオンラインに変更してください。問題が続く場合は、当該異常終了を Oracle Microsystems に報告し、都合のよいときに HSC を再起動するようスケジュールしてください。

SLS0680I

ABEND XXX1, CCC1, XXX2, XXX3, CCC2

説明: LMU サーバータスクが異常終了しました。

XXX1	異常終了コード
CCC1	異常終了した CSECT の名前
XXX2	異常終了した CSECT の開始アドレス
XXX3	異常終了した TCB のアドレス
CCC2	異常終了した RB のアドレスで異常終了した PRB 名

システム動作: 障害のあったタスクを終了させます。

ユーザーの応答: このメッセージは、LMU サーバー内で起こった異常終了について生成されます。別の HSC メッセージ内に、この XXX1 異常終了の重大度が示されます。

SLS0681I

ORH interval expired: ACS AA, SEQNO BBCCC, CCC1,
CCCCCCCCCCCCCCCC

説明: 要求の応答待ち時間間隔の期限が切れました。

AA	ACSid
BB	host-id
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、通し番号が欠落しています。 <ul style="list-style-type: none"> • ACT - アクティブ要求待ち行列 • WTG - 待機要求待ち行列 • TMP - 一時停止待ち行列
CCCCCCCCCCCCCCCC	EBCDIC 形式のLMU 要求データ

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0683I

ORH aborted request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求は、未完了応答ハンドラによって異常終了しました。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列

システム動作: HSC は、選択されたボリュームを解放して、エラントボリュームにします。

ユーザーの応答: オペレータは、必要であれば指定変更コマンドを入力できます。

SLS0684I

ORH interval extended: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求の応答待ち時間間隔は、未完了応答ハンドラによって延長されました。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列

システム動作: HSC は、LMU にさらに時間を与えて、この要求の処理を終了できるようにします。

ユーザーの応答: なし

SLS0685I

ORH completed request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 未完了応答ハンドラによって、要求は完了したものととしてマークされました。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列

システム動作: HSC は、要求を完了したものととしてマークします。

ユーザーの応答: なし

SLS0686I

ORH redrive request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 未完了応答ハンドラによって、要求が再び作動させられました。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列

システム動作: 要求が再び一時停止待ち行列上に置かれた場合、必要なステーション経路、LMU、または LSM が作動不能であることを意味しています。

ユーザーの応答: 適切な処理を行なって、必要なステーション (LMU または LSM) を作動可能にしてください。

SLS0687I

Invalid reply <CCCCCCCC>

説明: 文字列が、HSC によって認識されませんでした。

CCCCCCCCは、認識されなかった文字列を示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0688I

Invalid broadcast message received - XX (ignored)

説明: 無効なブロードキャストメッセージが受け取られました。

XXは、ブロードキャストメッセージの無効な部分を説明するものです。

04 - 無効なタイプが受け取られました。

08 - 無効な番号が受け取られました。

0C - 無効なACSが受け取られました。

10 - 無効なACSが受け取られました。

14 - 無効なドライブ番号が受け取られました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0689I

ORH request not on queue: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求が、もはや示された待ち行列上にありません。SLS0682D が未応答の状態で、未完了応答が受け取られました。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	アクティブ要求待ち行列にない場合は、要求通し番号が欠落しています。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0690E

ORH: no stations ready for redrive: ACS AA

説明: オペレータが、メッセージ SLS0682D に対して「REDRIVE」と応答しました。POST のために使用可能なステーションドライブが探されましたが、HSC は、どのステーションも作動不能であると判別しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オペレータは、ステーションの状況を調べる必要があります。HSC は、LMU との通信のために、作動可能なステーションを 1 つ必要とします。

SLS0691I

Invalid UCB for station XXXX

説明: OPEN で無効なデバイスタイプが与えられました。SMS が導入されているシステムでは、ACS ルーチンが OPEN 要求を間違えて変更した可能性があります。

システム動作: ステーションは、オンラインに変更されません。

ユーザーの応答: ACS ルーチンが、デバイス優先スキームからステーション用デバイスを除外したところを確認してください。ACS ルーチンが存在しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0692I

Physical audit in progress for LSM AA:LL

説明: 実行中の物理的監査が LSM に対して検出されました。これは、LSM の準備が整ったとき、または Display LSM コマンドが発行されたときに発生します。

システム動作: LSM の物理的な監査が完了すると、SLS0693I メッセージが表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0693I

Physical audit has completed for LSM AA:LL

説明: LSM に対する物理的監査が完了しました。

システム動作: システムの処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0695I

CAPid AA:LL:CC CAP reserve overridden by the CLI/SLC

説明: 指定された CAP 用の CAP 予約は、サイトの管理者によって CLI または SLConsole を介して取り消されます。

システム動作: この CAP に対するアクティビティは、終了します。

ユーザーの応答: CAP が再び利用可能になった場合は、新しい要求に対して利用できます。

SLS0696I

CAPid AA:LL:CC CAP door opened

説明: 指定の CAP が開かれました。

システム動作: ENter または Eject は待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP を空にするか、カートリッジを挿入してから閉めてください。

SLS0697I

CAPid AA:LL:CC CAP door closed

説明: 指定の CAP が閉じられました。

システム動作: ENter または Eject は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS0698I

Req ACS AA SEQ DD/DD REQ CC CCCCCCCCCC Basic info.

```

LSM LL CCCCCC          A suffix
VOL volser SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX
TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX      B C D E suffix
LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC
                                K suffix
VOL volser                  M suffix
TXT CCCCC....(X53)....CCCCC P suffix
HST DD CCCCCC              Q suffix
LSM LL                      R S ZG suffix
SEQ DD/DDD                  V W suffix
LSM LL CAP CC               ZA ZB ZC ZD ZE suffix
LSM LL PNL PP               ZH suffix

```

説明：このメッセージは、正常に処理されなかった要求を表示するものです。LMU は、この要求を完了できませんでした。関連する SLS0699I メッセージが、障害の理由を含むエラー応答を記述しています。すべてのタイプの要求に対して、基本情報が示されます。要求のタイプによっては、接尾部が付加されて表示されるものもあります。また、接尾部がないものもあります。

AA	ACSid
DD/DDD	ホスト ID/要求通し番号
CC	要求コード (下の表を参照)
CCCCCCCCCC	要求する機能の記述 (下の表を参照)

要求コード	要求機能
A	Vary LSM
B	Mount
C	Dismount
D	Swap
E	Move
K	Catalog
L	Read Configuration (構成読み取り)
M	Read Volser Status
N	ACS Statistics (ACS統計)
P	Host-to-Host Broadcast (ホスト間ブロードキャスト)
Q	Quiesce Host
R	Read Transition Cartridge (移動カートリッジの読み取り)

S	LSM Status (LSM 状況)
T	LMU Status (LMU 状況)
V	Query Request Status
W	Cancel Request (キャンセル要求)
X	View Request (表示要求)
ZA	CAP Reserve (CAP 予約)
ZB	CAP Release (CAP 解放)
ZC	CAP Unlock (CAP ロック解除)
ZD	CAP Lock (CAP ロック)
ZE	CAP Status
ZG	LSM PTP Status (LSM PTP 状況)
ZH	LSM Transport Status by Panel (パネルによる LSM トランスポート状況)
-	Unknown Req (未知の要求)

タイプ A 接尾部 (LSM 変更) :

“LSM LL CCCCCC”

LL	LSM番号 (10 進数)
CCCCCC	ONline/OFFline/FORCE

タイプ B、C、D、E 接尾部 (マウント、マウント解除、スワップ、移動) :

“VOL *volser* SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX

TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX”

<i>volser</i>	ボリュームシリアル番号
LL/PP:RR:CC	ソース/ターゲット LSM 番号 (10 進)/パネル/CAP ID:行:列
CCC	CAP/CEL/DRV/RDO
CAP	CAP セル
CEL	通常の格納セル
DRV	書き込み可能ドライブ
RDO	読み取り専用ドライブ
XXXX	ドライブチャネル/デバイスアドレス (DRV/RDO のみ)

タイプ K 接尾部 (カタログ/セルスキャン):

"LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC"

LL	LSM番号 (10 進数)
PP:RR:CC	開始/終了パネル:行:列
CCC	CAP/CEL/DGN/DRV/PNL
CAP	CAP スキャン
CEL	Cell スキャン
DGN	診断セル
DRV	ドライブスキャン
PNL	パネル全体のスキャン

タイプ M 接尾部 (VOLSER状況の読み取り):

"VOL volser"

volser	ボリュームシリアル番号
--------	-------------

タイプ P (ホスト間の通知):

"TXT CCCCCC.....(x53).....CCCCCC"

CCC...CCC	最大 53 文字の通知メッセージ
-----------	------------------

タイプ Q 接尾部 (ホスト静止):

"HST DD CCCCCCCC"

DD	HOSTid
CCCCCCCC	通常/指定変更

タイプ R、S、ZG 接尾部 (移動カートリッジ読み取り、LSM状況、LSM PTP状況):

"LSM LL"

LL	LSM番号 (10 進数)
----	---------------

タイプ V、W 接尾部 (要求状況照会、取消し):

"SEQ DD/DDD"

DD/DDD	ホスト ID/要求通し番号
--------	---------------

タイプ ZA、ZB、ZC、ZD、ZE 接尾部 (CAP 予約、解放、ロック、ロック解除、CAP 状況) :

"LSM LL CAP CC"

LL	LSM 番号
CC	CAP 番号

タイプ ZH 接尾部 (パネルによる LSM トランスポート状況) :

"LSM LL PNL PP"

LL	LSM 番号 (10 進数)
PP	パネル番号 (10 進数)

システム動作: SLS0699I エラー応答を参照して、要求を自動的に再実行させるタイプのエラーがあるかどうかを調べます。それ以外の場合は、処理が HSC によって自動的に行われることはありません。

ユーザーの応答: 対応は、障害のタイプによって異なります。続いて表示される同じ ACS、ホスト ID、および要求通し番号を持つメッセージ SLS0699I を参照して、このエラーからの回復を行うために必要なタイプを判別してください。

SLS0699I

Response ACS AA SEQ DD/DDD ERR DD/DD CCC...(x28)...CCC
 CCCCCCCCCCCC

LSM LL Cartridge Status Suffix
 CCC DD/D Manual Recovery Suffix

説明：このメッセージは、以前に出されたメッセージ SLS0698I に示されている要求の完了を妨げるエラーについて説明するものです。すべてのタイプのエラーに対して、基本情報が示されます。「カートリッジ状況」接尾部は、障害にあったカートリッジ移動要求に対して付加されます。「手動回復」接尾部は、カートリッジが LSM の機構内でスタックした場合に付加されます。

基本情報 (すべてのエラータイプに対するもの)：

AA	ACSid
DD/DDD	ホスト ID/要求通し番号
DD/DD	エラーカテゴリ/エラーコード (下記を参照)
CCC...(x28)..CCC	エラー記述テキスト (下記を参照)

エラー	エラーの説明文
01/xx - 無効パラメータエラーコード	
01/01	プライマリ LSM が無効です
01/02	セカンダリ LSM が無効です
01/05	オプションまたは修飾子が定義されていません
01/06	LSMが無効です
01/07	パネルが無効です
01/08	行が無効です
01/09	列が無効です
01/10	ドライブが無効です
01/11	CAP 行が無効です
01/12	CAP 列が無効です
01/13	セルアドレスが無効です
01/14	ラベル修飾子が無効です
01/15	ソース修飾子が無効です

01/16	ソースタイプが不当です
01/17	宛先タイプが不当です
01/18	カタログセル範囲が不当です
01/19	VOLSER の文字が不当です
01/20	要求コードが無効です
01/21	トランザクション長が無効です
01/22	ホスト IDが無効です
01/23	要求の文字が不当です
01/24	ホスト ID が一致しません
01/25	通し番号が重複しています
01/26	予期しない要求またはメッセージ応答です
01/27	取り消し要求が不正です
02/xx - 構成エラーコード	
02/01	LSM が LMU 構成の中にありません
02/02	ドライブが存在しません
03/xx - CAP 操作手順エラーコード	
03/01	CAP が予約されていません
03/02	CAP がすでに予約されています
03/03	CAP が ENTER モードにあります
03/04	CAP が EJECT モードにあります
03/05	CAP 移動がアクティブです
03/06	CAP ドアが開いています
03/07	CAP カタログが進行中です
03/08	REL 要求による ENTER 中止ができません
03/09	CAP を解放できません、ドアが開いています (ドアは完全に閉まらない場合もあります)
03/10	ENTER を取り消すことができません
03/11	CAP マガジンがありません

04/xx — 一般手順エラーコード	
04/01	LSM が作動不能です
04/02	LSM が保守モードにあります
04/03	LSM がオフライン保留中です
04/04	LSM がオフラインになっています
04/05	ドライブがいっぱいです
04/06	接続しようとした LSM が利用不能です
04/07	複数の LSM 要求が保守モードにあります
04/08	経路が拒否されました、完全な PTP デッドロックです
04/10	カートリッジ Volser が回復不良です
04/11	要求が最大数を超えました
04/12	静止ホストがすでにアクティブです
04/13	静止ホストが指定変更されました
04/14	最大のボリュームシリアル番号読み取り要求がアクティブです
04/15	要求の取り消しが保留になっています
04/16	取り消し要求によって取り消されました
04/19	VOLSER が予測に反し読み取り可能状態になります
04/20	VOLSER の読み取り不良です
04/21	VOLSER が一致していません
04/22	セルがいっぱいです
04/23	セルが空です
04/24	ドライブが空です
04/25	ドライブがアクティブです
04/26	ドライブが巻き戻されていません
04/27	カートリッジがマウントされていません
04/28	メディアが一致していません
04/29	メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
04/30	メディア/ドライブに不整合が存在します

05/xx – LMU ハードウェアエラーコード	
05/01	拒否されました。ノードに LSM がありません
05/02	拒否されました。LSM ID が不正です
05/03	拒否されました。LSM が通信していません
05/04	拒否されました。伝送エラーです
05/05	拒否されました。応答がありません
05/06	拒否されました。LAN が稼働していません
05/07	拒否されました。バッファが不足しています
05/08	バッファがオーバーフローしています
05/09	拒否されました。コマンドに対し応答がありません
05/10	拒否されました。LSM が強制的にオフラインにされました
05/11	CAP ロック解除がすでにアクティブです
06/xx – LMU 論理エラーコード	
06/01	定義されていない割り振り要求です
06/02	修飾バイト0が不正です
06/03	修飾バイト1が不正です
06/04	修飾バイト2が不正です
06/05	LSM がオンラインになっています
06/06	オフライン保留が指定変更されました
06/10	LMU 構成の未知のパネルタイプがあります
06/11	LMU 論理問題が検出されました
06/12	パススルーポートセルがいっぱいです
06/13	パススルーポートセルが空です
06/15	動的タスクがメールボックスがいっぱいになったことを検出しました
06/16	割り振り保留のタイムアウトです
06/17	LSM コマンド保留のタイムアウトです
06/20	経路が論理的に使用できません

07/xx – LSM ロボットエラーコード	
07/01	アームの誤動作です
07/02	ハンドの誤動作です
07/03	パススルーポートの誤動作です
07/04	パススルーポートが存在しません
07/05	CAP の誤動作です
07/06	たどりつく方法がありません
07/07	要求された要素の誤動作です
07/08	ロボット動作が失敗しました
07/09	Put が不正です
07/10	Get が不正です
07/11	リーチリトラクションが不正です
07/12	リーチエクステンションが不正です
07/13	パススルーポート位置のエラーです
07/14	作動可能なハンドがありません
07/15	ドライブがカートリッジを見つけられませんでした
07/16	移動先の特定に失敗しました
07/17	リーチが危険な位置にあります
07/18	セル再統合が失敗しました
08/xx – LSM ハードウェアエラーコード	
08/01	LSM が応答しません
08/04	CAP ロック解除スイッチの過負荷です
08/05	ロック解除が失敗しました
08/06	ロックが失敗しました
08/07	ドライブが通信を行なっていません
08/08	テープデバイスインタフェースの障害です
08/09	メモリーへのイメージのコピーが失敗しました

09/xx - LSM 論理エラーコード	
09/01	Get 応答での LSM が間違っています
09/02	応答パケットタイプがありません
09/03	応答のタスク ID が間違っています
09/04	応答の機能 ID が間違っています
09/05	応答のセルアドレスが間違っています
09/06	LSMがオフラインになっています
09/07	セル位置が不正です
09/08	未知の終了状況です
09/09	LSM が無効な応答を返しました
09/10	CAP メッセージが非論理的です
09/16	終了ステータスがFailure
09/17	終了状況が使用中を示しています
09/18	コマンドが不正です
09/19	コマンドのパラメータが不正です
09/20	アドレスタイプが不正です
09/21	パネル、行、または列が不正です
09/22	アームは現在予約されています
09/23	CAP は現在予約されています
09/24	ポート1は現在予約されています
09/25	ポート2は現在予約されています
09/26	プレイグラウンドは現在予約されています
09/43	LSM がオンラインになっています
09/44	LSM が保守モードにあります
09/45	LSMがオフラインになっています
09/46	LSM アクセスドアが開いています
09/47	LSM が初期設定されていません
09/50	セル位置が存在していません
09/51	ハンドがいっぱいです
09/52	ハンドが空です

09/53	ドライブがいっぱいです
09/55	ドアはすでにロック解除されています
09/56	アイドルモードではロック解除できません
09/57	ドアが開いています
09/58	ドアはすでにロック解除されています
09/60	すでにアイドルモードにあります
09/61	すでに EJECT モードにあります
09/62	すでに ENTER モードにあります
09/63	ENTER モードではイジェクトできません
09/64	EJECT モードではエンターできません
09/65	アイドルモードではドアをロックできません
09/70	ドライブパネルではありません
09/71	指定のアドレスに使用可能なドライブがありません
09/72	ドライブコマンドの指定が無効です
09/75	アクティブなままデータを渡しています
09/76	巻き戻しできません
09/77	アンロードできません
09/78	ドライブは書き込み保護を処理できません
09/79	ドライブは現在予約されています
10/xx - ドライブエラーコード	
10/01	ドライブが通信を行っていません
10/02	ドライブが作動していません
10/03	ドライブへの要求が保留になっています
10/04	ドライブが割り振られています
10/05	ライブがカートリッジをロードしました
10/10	ドライブがカートリッジをロードできません
10/11	ロード/アンロードが進行中です
10/12	特殊使用カートリッジでのロード障害です

カートリッジ状況接尾部 (カートリッジ移動要求の場合):

"CCCCCCCCCCCC LSM LL"

CCCCCCCCCCCC	カートリッジ状況記述子:
Cart Not Mvd	カートリッジは移動されませんでした
Recovered In	カートリッジは回復されています
Retd To Src	カートリッジはソースに戻されました
Stuck In Mch	カートリッジが機構内に置かれています
Unk End Stat	未知のカートリッジ終了状況です
LL	カートリッジが現在ある LSM ID です

手動回復接尾部 (機構的な障害のあと):

CCC DD/D	デバイス内でカートリッジがスタックしている場所:
HND D	ロボットハンド (0/1)
PTP DD	パススルーポートパネル (01-11)
DRV DD/D	パネル (01-11)、ドライブ (0/3)

システム動作: HSC によって、自動的に処理が行われることはありません。

注 - 04/01エラーで終了する要求は一時停止待ち行列に入れられ、影響を受けたLSMが再び作動可能になったときに、自動的に再実行されます。04/11または10/03 エラーで終了する要求は、待機要求待ち行列に入れられ、10 秒後に再実行されます。これらの要求は、最終的に別のエラーで終了しないかぎり、SLS0698Iおよび SLS0699Iメッセージでは報告されません。

ユーザーの応答: 起こったエラーのタイプによって異なります。

- エラーがCAPのドアが開いていることによるものである場合は、そのCAP ドアを確実に閉めてラッチしてください
- SWitch ACS の発行後、03/01 エラーが CAP に対して検出された場合は、Enter または Eject 処理中に Library Controller を切り替えるための CAP 手動回復の手順について、ELS 資料の『HSC および VTCS の管理』を参照してください。
- SWitch ACS の発行後、07/05 エラーが CAP に対して検出された場合は、CAP が自動モードのとき Library Controller を切り替えるための CAP 手動回復の手順について、ELS 資料の『HSC および VTCS の管理』を参照してください。
- パラメータエラーがあった場合は、適切なパラメータを変更して、要求を再実行してください。
- タイミングの問題があった場合は、問題のデバイスが使用可能になってから、要求を再実行してください。

- ハードウェアの問題が示された場合は、障害のあった要求を再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。
- HSCまたはLMUのソフトウェアの問題が示された場合は、障害のあった要求を再実行してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0702I

DDname CCCCCCCC failed to open

説明: 指定のファイルをオープンしようとしたが、失敗しました。

システム動作: オープンしようとするファイルのデータセット名の妥当性を検査します。

ユーザーの応答: ACS サブシステムを再起動してみてください。それでもエラーが起こる場合は、システムプログラマに相談して援助を求めてください。さらにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0704E

Unable to acquire any ITT blocks; all are owned by host
CCCCCCCC

説明: プライマリ制御データセットの探索によって、ITT ブロックの大半が、指定のホストに所有されていることがわかりました。

システム動作: ITT ブロックを解放するよう、リストされたホストを起動しようとしています。

ユーザーの応答: HSC サブシステムを再起動させてください。

SLS0707I

VARINUSE flag off

説明: ACS 制御データセットのボリュームレコードを更新しようとしたが、使用中のフラグが設定されていませんでした。

システム動作: この試みは中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0708I

VARVOL mismatch

説明: ボリュームレコードの書き込みを試みましたが、そのレコード内のボリュームシリアル番号が、パラメータリスト内のボリュームシリアル番号と一致しませんでした。

システム動作: この試みは中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0712I

DCH invalid

説明: 制御データセットの更新を試みましたが、エラーが起こりました。

システム動作: 更新処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0713I

VAR area overflow

説明: 制御データセットへのボリュームの追加を試みましたが、エラーが起きました。

システム動作: ボリュームの追加処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0714I

DCHFOLL invalid

説明: 次の待ち行列項目を見つけようとしたときに、エラーが起きました。

システム動作: 制御データセット要求は中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0715I

Database {switch|expand} complete

説明: CDS コピーの追加、削除、名前の変更、再配置などの作業 (switch)、または CDS の拡張作業 (expand) が完了しました。マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、このメッセージが出力されます。

システム動作: CDS 切り替えまたは拡張作業が、すべての HSC アクティブホスト上で完了します。

ユーザーの応答: 切り替えがエラーによって起こる場合は、エラーを訂正してから、CDS Enable オペレータコマンドを入力して、データセットを HSC から使用可能となるように戻します。また、切り替えまたは拡張作業は、オペレータコマンドを使用して意図的に行うこともできます。

SLS0719I

Attach for Insert/Delete User Exit 06 Server failed, RC=XX

説明: 挿入 / 削除ユーザー出口サーバールーチン (SLSDXIT6) が接続されようとした。XX は ATTACH マクロからの戻りコードを示します。

システム動作: ユーザー出口 06 コードは使用できません。

ユーザーの応答: 接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。出口ルーチンをアクティブ化するには、HSC を再起動する必要があります。問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0720I

Insert/Delete server routine - CCC...CCC

説明: 挿入 / 削除ユーザー出口 06 サーバールーチン (SLSDXIT6) の ESTAE が、異常終了のため呼び出されました。CCC...CCC は、30 バイトのフィールドで、次のいずれかが含まれます。

SLSDXIT6 EXIT SERVER ABEND

- SLSDXIT6 挿入/削除サーバーで異常終了が検出されました。

ABEND WITHOUT SDWA

- SLSDXIT6 挿入/削除ユーザー出口サーバータスクで異常終了が検出されましたが、システムが、SDWA を持つ ESTAE ルーチンを提供しませんでした。

システム動作: ユーザー出口 06 は使用不能になります。

ユーザーの応答: すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0721I

Insert/Delete User Exit 06 DISABLED, "Invalid Function" Return Code

説明: 挿入 / 削除ユーザー出口は、ユーザー出口 06 コードが、HSC 出口サーバータスクによってユーザー出口に無効な入り口タイプ (ファンクションコード) が渡されたことを示すリターンコードを返したため、使用不能になりました。

システム動作: ユーザー出口 06 は使用不能になります。

ユーザーの応答: ユーザー出口 06 のユーザー作成コードを調べて、リターンコードの 16 進値 FF がコーディングエラーでないことを確認してください。そうである場合は、ユーザー出口 06 を修正して動的に再ロードしてください。コーディングエラーが存在しない場合は、すべての情報を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

注 – ユーザー出口 06 の動的ロード/再ロードは、HSC JCL デッキに「SLSUEXIT」DD カードが含まれている場合にのみ可能です。

SLS0723I

ESTAE creation failed in SLSDXIT6

説明: 挿入 / 削除ユーザー出口サーバールーチン (SLSDXIT6) が、ESTAE を確立しようとしたますが、ESTAE の作成は失敗しました。異常終了への入口レジスター 2 には、ESTAE リターンコードが含まれます

システム動作: ユーザー出口 06 は使用不能になります。

ユーザーの応答: レジスター 2 のリターンコードをチェックして MVS ESTAE マクロからのリターンコードを調べ、エラーがあればそれを訂正してください。問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0724I

Invalid entry type passed to user exit SLSUX06

説明: これは内部エラーです。挿入 / 削除ユーザー出口サーバルーチン (SLSDXIT6) が、SLSUX06 に無効な機能入りロタイプを渡しました。異常終了への入口のレジスター 2 には、無効なコードが含まれます。

システム動作: ユーザー出口 06 は使用不能になります。

ユーザーの応答: すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0725E

Too many errant volumes in ACS AA

説明: ACS AA に含まれるエラントボリュームが多すぎます。エラントボリュームの数を減らさないと、ボリュームを追加できません。

システム動作: エラント情報セットへの追加は行われません。

ユーザーの応答: LSM を OFFline/ONline に変更するか、あるいはボリュームレポートにリストされたエラントボリュームを Mount または EJECT して、エラントボリューム回復を呼び出してください。ボリュームが見つからない場合は、それらをライブラリから論理的にイジェクトしてください。

SLS0726I

Invalid ACSid in DESAD

説明: エラント情報レコードを追加するための計算で、使用中の ACSid が無効であることがわかりました。

システム動作: エラント情報セットの追加は中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0730I

Permanent error attempting to write database

説明: HSC が CDS へのハートビートレコードの書き込みを行おうとして、永続 I/O エラーが起きました。

システム動作: HSC は異常終了します。

ユーザーの応答: コンソールログをチェックして、I/O エラーの原因を判別してください。エラーが見つからず訂正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0738D

Confirm RECOVER for host CCCCCCCC, reply YES or NO

説明: RECOVER ホスト ID FORCE がオペレータによって要求されました。

システム動作: このメッセージは、RECOVER ホスト ID が要求されたことの確認を求めています。

ユーザーの応答: ホスト CCCCCCCC が本当にダウンしているか判別してください。

本当にダウンしている場合は、回復を行うにはYESと応答してください。

注 – アクティブホストの回復を行うと、制御データセットを破壊する場合があります。

回復を取り消すには、NOと応答してください。

次のメッセージが表示されます。

SLS0851I Cross Host Recovery not needed for host CCCCCCCC.

これは、障害を起こしたホストのために回復する資源はないことを示しています。適切な回復フラグが設定され、障害を起こしたホストは、再起動されるまで制御データセットの更新はできません。

SLS0745I

Duplicate volume volser found in database is being deleted

説明: VOLSER *volser* のボリュームレコードがハッシュシャッフル中に重複作成されました。

システム動作: 重複するボリュームレコードは自動的に削除されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0746I

Stray footprint volser found in database is being erased

説明: VOLSER *volser* のボリュームレコードは、ハッシュ圧縮のために移動されます。重複は見つかりませんでした。

システム動作: フットプリントは自動的に消去されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0747I

Unexpected empty VAR block

説明: ボリューム削除中に、深刻な論理エラーが起きました。

システム動作: 異常終了コードの 1096 と理由コードの 747 を出します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0750I

SLSWMRT INTERFACE ERROR; PLIST=XXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXX2,
REASON=XX

説明: サブシステムメッセージ書き出しルーチンで、インタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。

XXXXXXXX1は、メッセージ書き出しルーチンに与えられたパラメータリストのアドレスを示します。

XXXXXXXX2は、レジスタ保管域のアドレスで、メッセージ書き出しルーチンのエントリポイントにおけるレジスタ内容を含みます。

XXは、次のような特定のエラー理由コードを示します。

- 01 - 制御ブロックの頭字語が無効です
- 02 - 処理要求タイプが無効です
- 03 - 応答域アドレスが無効です
- 04 - 応答ECBアドレスが無効です
- 05 - 応答長が無効です
- 06 - 未知のメッセージIDです
- 07 - MLWTOのラベルテキストが与えられていません

システム動作: メッセージ要求は中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0751I

SLSWMRT MLWTO ERROR; PLIST=XXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXX2, R15=XX

説明: 複数行の出力を要求しているときに、WTO からゼロ以外のリターンコードを受け取りました。これは内部エラーです。

XXXXXXXX1は、メッセージ書き出しルーチンに与えられたパラメータリストのアドレスを示します。

XXXXXXXX2は、レジスタ保管域のアドレスで、メッセージ書き出しルーチンのエントリポイントにおけるレジスタ内容を含みます。

XX は、WTOからの戻りコードです。

システム動作: メッセージ要求は中止されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0752I

SLSWMRT Unknown message SLSNNNN from module CCCCCCCC

説明: メッセージNNNNを出すよう要求されましたが、このメッセージは、SLSWMRTに指定されたメッセージテーブル内にありませんでした。

システム動作: ダンプが取られ、処理は続けられます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0760I

```
{DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} BDAM parm error; Unit XXXX;  
Vol volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD
```

説明: メッセージテキスト内に表示された制御データセット、またはジャーナルに対する READ または WRITE 中に、入出力エラーが起きました。処理は正しく完了しませんでした。制御データセットがオンラインでアクセス可能な状態にあるかどうかを確認してください。

システム動作: サブシステムが ABEND を発行します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0761E

```
{DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} Permanent error; Unit XXX; Vol  
volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD
```

説明: メッセージテキスト内に表示された制御データセットまたはジャーナルファイルに対し、I/O エラーが起きました。

システム動作: 制御データセットまたはジャーナルの切り替えが、自動的に行われます。

ユーザーの応答: 各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

SLS0762E

```
DATABASE {READ|WRITE|INVALID DATA} error RC= XX
```

説明: 制御データセットファイルの 1 つに対する READ または WRITE 処理中に、I/O エラーが起きました。制御データセットファイルの 1 つが正常に READ 処理された可能性もありますが、データブロックは誤っていると判別されました。RC は、DECB 完了コードフィールド (DECCC2) の 2 番目のバイトにある、I/O 操作からの 16 進数のリターンコードを示します。このファイルに対する、I/O 操作は完了しませんでした。

システム動作: 制御データセットの切り替えが自動的に行われ、SDUMP が作成されますが、HSC の処理は続けられます。このメッセージのあとには、エラーが発生した制御データセットを示す別のメッセージが続きます。データブロックが誤りと判別された場合、SDUMP は取られません。SLS0761E が生成され、データベースの切り替えが呼び出されます。

ユーザーの応答: 不良制御データセットを回復する場合は、各導入システムでの障害回復手順に従ってください。SDUMP を保存してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0764I

```
Switching journals; either backup the database or offload the  
journal(s)
```

説明: 2 つのジャーナルのうち現在のものがいっぱいであるため、もう一方のジャーナルが、新しい現在のジャーナルになりつつあります。ジャーナルが使用不能の場合、BACKUP または OFFLOAD ユーティリティが実行されるまでは、記録は中断されます。BACKUP または OFFLOAD ユーティリティを実行すると、ジャーナルデータセットはリセットされて、トランザクション記録が自動的に使用可能になります。

システム動作: ジャーナル切り替えが行われます。

ユーザーの応答: 制御データセットのバックアップを作成するか、またはいっぱいになったジャーナルをオフロードしてください。

SLS0765E

Journal DSname CCCCCCCC is DDD% full

説明: 現在アクティブなジャーナルの使用率が DDD% です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 現在使用中のジャーナルファイルは、いっぱいになろうとしています。代替ジャーナルがいっぱいになった場合、制御データセットのバックアップを作成するか、またはジャーナルをオフロードしてください。

SLS0766E

Cannot switch journals; both journals have now had I/O errors

説明: 現在のジャーナルに I/O エラーがありましたが、もう一方のジャーナルにも入出力エラーがあるため、ジャーナルの切り替えを行うことができませんでした。

システム動作: 異常終了コードの 1096 と理由コードの 733 を出します。

ユーザーの応答: 各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

SLS0767E

Cannot switch journals; journal DSname CCCCCCCC has not been reset

説明: 両方のジャーナルがいっぱいです。ジャーナル処理を続けられません。

システム動作: PARMLIB で JRNDEF FULL=Abend が指定されていた場合、HSC は異常終了 1096、理由コード 736 を発行します。JRNDEF FULL=Continue が指定されていた場合、ジャーナル処理が中断されます。HSC は、ジャーナル処理を行わずに通常通り処理を続けます。

ユーザーの応答: 異常終了コードを受け取ったら、制御データセットのバックアップを前よりも頻繁に行ってください。Continue が指定されている場合は、すべてのデータセットのバックアップを実行してください。ジャーナル処理は自動的に続けられます。

SLS0768E

Error follows journal switch

説明: ジャーナル切り替えの直後にジャーナル処理の I/O エラーが起きました。

システム動作: 異常終了コードの 1096 と理由コードの 735 を出します。

ユーザーの応答: 各導入システムでの障害回復手順に従ってください。

SLS0769I

Neither journal has been reset; you must backup the database to reset them

説明: HSC 初期設定時に、ジャーナル初期設定ルーチンが、いずれのジャーナルもいっぱいであることを判別しました。

システム動作: FULL=ABEND が JRNDEF に指定されていると、HSC は終了します。FULL=CONTINUE が JRNDEF に指定されていると、HSC はジャーナル処理が使用不能のまま続行します。

ユーザーの応答: HSC BACKup ユーティリティを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。HSC サブシステムを再起動させてください。

SLS0770I

One journal is full; you must backup the database to reset the journals

説明: HSC 初期設定時に、ジャーナル初期設定ルーチンが、ジャーナルの 1 つがいっぱいであることを判別しました。

システム動作: HSC の初期設定は、もう一方のジャーナルを使用して続けられます。

ユーザーの応答: HSC BACKup ユーティリティを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。

SLS0805I

{LET|EET|EOM} Subsystem Exit Not Used; RC=XXXXXXXX

説明: HSC サブシステム初期設定中、アドレス空間通信コンポーネント (ASCOMM) が、サブシステム機能ルーチンを、指定の SSREQ サブシステム出口 / ブロードキャストに導入できませんでした。

LET - タスクの遅い終了、ファンクションコード 4

EOM - メモリーの不足、ファンクションコード 8

EET - タスクの早い終了、ファンクションコード 50

XXXXXXXX = 12 - サブシステムの機能コードスロットの数がゼロでした。8 - サブシステムに定義された機能コードスロットは、すべて使用されています。

システム動作: ASCOMM は初期設定されますが、回復機能、{LET|EET|EOM} のいくつかが使用不能になります。

ユーザーの応答: 各導入システムのプログラミングスタッフに問題を報告してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0810I

XXXXXXXXX1 Abend CCCCCCCC, XXXXXXXXX2, XXXXXXXXX3

説明: アドレス空間通信 (ASCOMM) コンポーネントが異常終了を検出しました。

XXXXXXXXX1	ABEND 完了コード
CCCCCCCC	モジュール名
XXXXXXXXX2	エラー時の PSW の下半分
XXXXXXXXX3	エラー時の現行 TCB

システム動作: ASCOMM 要求は終了します。

ユーザーの応答: StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。この ABEND に関連する SDUMP が取られている場合もあります。ダンプがある場合は、問題の診断を行うための、このダンプのコピーを保管しておいてください。

SLS0850I

Host CCCCCCCC is active

説明: ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストはアクティブであると識別されました。

システム動作: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの応答: 当該ホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。ホストが非アクティブな場合にかぎり、RECOVER ホストコマンドに FORCE オプションを指定してもう一度実行してください。

注意 – FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定する前に、指定したホストが実際に非アクティブであることを確認してください。

アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上のHSCを再起動する必要があります。テープアクティビティが行われたとき、またはそのホスト上で HSC が再起動されたときに異常終了の原因となるので、回復されたホスト上では、データベースアクティビティは禁止されています。

SLS0851I

Cross host recovery not required for host CCCCCCCC

説明: ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストで進行中の作業がありませんでした。

システム動作: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0852I

Cross host recovery in progress for host CCCCCCCC

説明: 指定されたホストで、ホスト間回復が実行中です。

システム動作: ホスト間回復が実行中です。

ユーザーの応答: なし

SLS0853I

Cross host recovery complete for host CCCCCCCC

説明: ホスト間回復が、指定されたホストで完了しました。

システム動作: ホスト間回復が完了しました。

ユーザーの応答: なし

SLS0854D

Volume volser not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)

説明: 回復処理において、指定されたボリュームが、ライブラリ内に存在しないことがわかりました。ボリュームをデータベースから論理的に削除するかどうかを決めなければなりません。

システム動作: 回復処理は、オペレータが Delete または Ignore を応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

D	この応答により、ボリュームはCDSから削除されます。ボリュームがライブラリ内にないことが確実な場合、これが最善の応答です。 注意: ボリュームがまだライブラリにある場合、欠落したボリュームを見つけるには、AUDIT または手動介入が必要なことがあります。 ほかの処置メッセージが出されることもあり、その場合、指定ボリュームを論理的に削除した結果としてオペレータの応答が必要になります。
I	この応答では、ボリュームに対する要求は無視されます。ボリュームの位置が不確実な場合、これが最善の応答です。このメッセージは、ボリュームが見つからなければ再表示されます。さしあたってジョブは、ボリュームが見つけれマウントされるまで待ち状態になります。

SLS0855I

Volume volser not found; AUDIT or MANUAL intervention may be needed

説明: 回復処理において、指定されたボリュームが、ライブラリ内に存在しないことがわかりました。ボリュームはエラント状態で CDS に残ります。ボリュームを見つけるには、AUDIT または手動介入をお勧めしています。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: ボリュームを見つける際には、AUDIT ユーティリティー機能を実行してください。AUDIT でボリュームが見つからない場合は、CDS から削除されている可能性があります。

SLS0856D

No available CAP in ACS AA for LSM LL; Retry or Cancel (R/C)

説明: 回復処理において、ボリュームをイジェクトするために CAP が必要となりましたが、選択できる CAP がありませんでした。CAP はオフライン LSM にあるか、優先順位がゼロであるか、またはすべて割り振られているかのいずれかです。

システム動作: 回復処理は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP を使用可能にできる場合、CAP を DRAIN する、LSM をオンライン状態に変更する、または CAPPREF コマンドを使用して CAP にゼロ以外の優先順位を与えるなどの処理を行い、そのあとで「R」と応答してください。

- どのCAPも使用可能にできない場合は、「C」と応答してください。
- 初期設定中にこの状態が発生して、CAPを使用可能にできない場合は、「C」と応答してください。
- サブシステムが初期設定を完了したら、CAPを使用可能にして、LSMをオフラインに変更してからオンラインにしてください。

SLS0857I

Invalid reply C

説明: メッセージに対する応答が無効でした。

システム動作: 応答を必要としていた元のメッセージが、再表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0858I

Invalid HOSTid CCCCCCCC

説明: 指定したホストにホスト間回復が要求されましたが、そのホストが同一のホストであるか、あるいはライブラリソフトウェアに定義されていないホストです。

システム動作: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの応答: 正しいホスト ID を指定してコマンドを再実行してください

SLS0860D

Non-OCR volume volser not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)?

説明: 回復処理において、非 OCR ラベルの付いたボリューム (*volser*) が、ライブラリー内に存在しないことがわかりました。ボリュームをデータベースから削除するかどうかを決定しなければなりません。

システム動作: 回復処理は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: ボリュームをデータベースから削除する場合は「D」、それ以外の場合は「I」と応答してください。回復処理を再び呼び出したときに、ボリュームがまだ見つかっていないと、このメッセージが再表示される可能性があります。

SLS0863I

Subtask attach failure; RC=XXXXXXXX; Subsystem not started

説明: サブシステムの開始時に、タスクの ATTACH が失敗して、メッセージテキスト内に表示のリターンコードが返されました。

システム動作: サブシステムは終了します。

ユーザーの応答: システムプログラマに通知してください。

SLS0864I

Errant recovery of volser - Unable to scan {drive
XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; it is loaded

説明: エラントボリューム *volser* の位置を調査中、ドライブにカートリッジがロードされていることがわかりました。

システム動作: ボリュームのエラント回復処理は終了します。

ユーザーの応答: ドライブからカートリッジをアンロードしてから、エラント回復を再実行してください。MVS において、ドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM 環境においてドライブをアンロードするには、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

SLS0865I

Attached task failure; RC=XXXX

説明: 回復処理中、指定された機能の実行を受け持つタスクが正常に終了せず、メッセージテキスト内に表示のリターンコードが返されました。

システム動作: システムダンプが取られます。そのほかの回復処理は続けられます。

ユーザーの応答: システムプログラマに通知してください。問題の診断を行うときのためにこのダンプのコピーを保管しておいてください。

SLS0866I

Host recovery already in progress for HOSTid CCCCCCCC

説明: RECover host コマンドが指定のホストに対して出されたとき、そのホストに対するホスト回復処理がすでに行われていました。

システム動作: 2 番目の RECover host コマンドは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS0867E

Attempting to locate errant volume volser

説明: HSC は位置が不明確となったボリュームをエラントボリュームとして認識しました。この原因は多数考えられます。例えば、LSM がオフラインに変更された、HSC がキャンセルされた、あるいは LMU または LSM でエラーが起こったなどです。HSC は現在、このボリュームの位置を調査中であり、このメッセージが出されました。

システム動作: 処理は続行されます。このメッセージは、探索処理が完了すると、消滅 (DOM) します。

HSC は、ACS 内にそのボリュームがないことを確認すると、メッセージを出して、ボリュームを制御データセットから削除できるようにします。

注 – メッセージは、HSC がボリュームのあると思われる位置をスキャンできない場合には、出されません。例えば、ボリュームがオフライン LSM 内またはカートリッジがロードされたドライブ上にあると考えられ、そのボリュームがほかのどこにも見つからなかった場合は、メッセージは出されません。

ユーザーの応答: なし

SLS0868I

LMU error XXXXXXXXX ACS AA

説明: HSC が ACS AA への要求を出す際にエラー XXXXXXXXX が発生しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS0869D

Errant recovery of volser - {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}
is loaded; reply Retry, Ignore, or Dismount (R/I/D)

説明: ボリューム *volser* の回復処理中、ドライブ XXXX またはドライブ IDAA:LL:PP:NN にカートリッジがロードされていることがわかりました。これは、外部ラベルがロボット視認制御機構によって読み取れないことを示しています。

システム動作: 回復処理はオペレータが応答するまで、待ち状態になります。

ユーザーの応答: 巻き戻しおよびアンロードの処理をドライブが終了している場合、「R」と応答してマウント解除を再実行してください。

- ボリュームがドライブにあり、しかもどのプロセッサのジョブにも割り振られていないことが分かっている場合、「D」と応答してそのボリュームを強制的にマウント解除してください。
- ドライブが使用中の場合は、このメッセージには「I」と応答し、ジョブがドライブ上のボリュームに対する処理を終了するまで待ってください。
- 誤動作のためにドライブをアンロードできない場合、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアお客様サービスに連絡して、このメッセージには「I」と応答してください。

注 – ボリュームがドライブ上に存在しない場合は、「I」と応答してください。HSC はボリュームに対する現在のエラント回復の試みを中止し、エラントのまま残します。この応答は持続的効果を持ちません。このメッセージは、ドライブがロードされ、ボリュームがそのドライブ上にあるかぎり、以後にエラント回復を行おうとすると再び出されます。

SLS0870I

Errant recovery of volser - an audit of the locations
associated with the volume may be required

説明: エラントボリューム *volser* の位置を調査するためにエラント位置をスキャンしましたが、ボリュームの位置を特定できませんでした。エラント回復ルーチンが、2つの位置に同じ OCR 可読ボリュームシリアル番号を見つけたか、または、両方の位置に読み取り不能なボリュームシリアル番号があったかのいずれかです。

システム動作: ボリュームのエラント回復処理は終了します。

ユーザーの応答: そのボリュームに関連するエラント位置の監査を、都合を見てスケジューリングしてください。位置は、Display Volume コマンドを出すことによって判別できます。

SLS0871I

Errant recovery of volser - unable to scan (D)

説明: エラントボリューム *volser* を見つけようとしたましたが、エラント回復ルーチンは、位置のスキャンを実行できませんでした。

Dは次の理由コードを示します。

7	ドライブが通信を行なっていません。LMUがドライブと通信できませんでした。
8	移動が正しく行われませんでした。LMUは、ある位置に移動しようとしてエラーを受け取りました。

システム動作: ボリュームのエラント回復処理は終了します。

ユーザーの応答: Display Volume コマンドを出すと、エラントボリュームの位置が表示されます。StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。

SLS0873I

Errant recovery of volser - Volume at {cell
AA:LL:PP:RR:CC|drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}

説明: エラント回復ルーチンが、指定された位置にボリュームを見つけました。

システム動作: ボリュームが、そのホーム位置にない場合、エラント回復ルーチンは、そのボリュームをホーム位置に移動させようとします。

ユーザーの応答: なし

SLS0874A

Manually remove cart XXXXXX from ACS AA LSM LL

説明: HSC の起動中に、プレイグラウンド、ロボットハンド、またはパススルーポートにおいて、ACS AA LSM LL でカートリッジ XXXXXX が見つかりました。HSC は、回復モードになり、カートリッジの処理を試行します。ただし、この場合、HSC にはこのカートリッジのボリュームレコードがありません。HSC は、そのままそのカートリッジを放置します。カートリッジは LSM から手動で取り出すことができ、HSC 5.0 もしくはそれ以降のバージョンの場合は INTRANS パラメータで AUDIT ユーティリティを実行することもできます。これらのカートリッジは、通常はプレイグラウンドにあります。

システム動作: 処理は通常どおりに続行されます。カートリッジは発見された場所に放置されます。

ユーザーの応答: LSM を開き、ライブラリから該当のカートリッジを取り出すか、INTRANS パラメータで AUDIT ユーティリティを実行します。LSM からカートリッジがマウント解除されない場合は、このメッセージが、HSC の起動、および HSC サービスレベルが BASE から FULL になるたびに発行されます。

SLS0898I

Recovery of volser1 - found volser2 in cell AA:LL:PP:RR:CC;
new cell assigned for volser1

説明: 回復処理中、*volser1* のホームセルに *volser2* が見つかりました。

システム動作: *Volser1* に新しいホームセルが割り当てられます。

ユーザーの応答: ホームセルロケーションの監査 AA:LL:PP:RR:CC は、*volser2* を見つけて CDS にエンターします。

SLS0899I

Recovery of *volser* - cell AA:LL:PP:RR:CC requires auditing

説明: 指定されたボリュームの回復時にエラーが発生しました。ボリュームの移動先のセルにほかのカートリッジが入っています。

システム動作: 回復を行うには、ほかのセルを選択して移動を再試行します。

ユーザーの応答: メッセージテキストに表示されたセルを監査します。

SLS0901D

Mount of *volser1* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - *volser* readable (*volser2*); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: ボリューム *volser1* をマウントしようとしたとき、LMU が、*volser2* という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。最初このボリュームは、外部ラベルを持たないものとして、制御データセットに登録されていました。

システム動作: マウント処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答:

- マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。
- ボリュームをバイパスラベル処理とマークしてから、マウントを再実行する場合は、「B」と応答してください。
- ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
- マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

SLS0902D

Dismount of *volser1* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - *volser* readable (*volser2*); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: *volser1* をマウント解除しようとしたとき、LMU は *volser2* という異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号を見つけました。最初、このボリュームは外部ラベルを持たないものとして制御データセットに登録されていました。

システム動作: マウント解除処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答: マウント解除を再実行する場合は、「R」と応答してください。

- ボリュームをバイパスラベル処理とマークしてから、マウント解除を再実行する場合は、「B」と応答してください。
- ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
- マウント解除を無視する場合は、「I」と応答してください。

SLS0904I

Swap of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: *volser* のスワップ処理中にドライブのスキャンを要求されましたが、LMU が、移動エラーの発生を示したか、またはそのドライブと通信を行うことができませんでした。

システム動作: スワップは実行されません。

ユーザーの応答: ドライブ XXXX または driveid AA:LL:PP:NN (「スワップ元」ドライブ) に DISMount コマンドを入力して、スワップ処理のデスマウント部分を再実行してください。次に、Mount コマンドを入力して、「スワップ先」ドライブにボリューム *volser* をマウントしてください。

SLS0905D

No cartridges to clean {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} ACS AA; Reply "I", "T,capid,volser", or "R" (Ignore, Temp Enter or Retry)

説明: ACS AA にあるドライブと互換性のあるクリーニングカートリッジがありませんでした。

注 – トランスポートのタイプごとに、異なるメディアタイプのクリーニングカートリッジが必要になります。例えば、水平記録方式トランスポート (4480、4490、および 9490) には Standard クリーニングカートリッジが必要で、RedWood トランスポートには DD3D クリーニングカートリッジが必要です。

システム動作: マウントが応答を待ちます。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

I	マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングのスケジュールがされません。
T,capid,volser	特定のCAPの特定のクリーニングカートリッジを一時的に指定して、ドライブをクリーニングします(注: 一時的に指定するクリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号は、クリーニング接頭辞から入力し始める必要はありません)。
R	クリーナーの検索を再試行します (新しくクリーニングカートリッジを挿入した場合に選択します)。

警告 – 自動クリーニングを行うには、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジを挿入する必要があります。

SLS0906E

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Unable to mount

説明: このホストの HSC がボリュームをマウントできませんでした。これ以外にも、問題の原因を示すメッセージが出されます。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: この ACS に接続されたすべてのシステムのエラーメッセージをチェックしてください。問題を訂正してから、マウント要求を再発行してください。

SLS0907I

Mount of volser1 on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Overriding mount volser2 request

説明: *volser1* をマウントしようとしたのですが、ボリューム *volser2* に対するマウント要求が待ち状態になっていることがわかりました。

システム動作: *volser2* のマウントは実行されません。*volser1* のマウントが実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0908I

Mount of volser1 on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Mount of volser2 active; attempting suppression

説明: *volser1* をマウント処理中に、*volser2* に対するマウント要求がアクティブになっていることがわかりました。

システム動作: システムは、スクラッチマウントを抑止しようとします。抑止が成功するかどうかに関係なく、*volser1* のマウントは実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS0909D

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - LSM AA:LL in manual mode; reply Delete or Ignore (D/I)

説明: 手動モード LSM にあるボリュームに対するマウント解除要求が受け取られました。

システム動作: ディスマウント処理は、オペレータが「D」または「I」と応答する、LSM をオンラインに変更する、あるいは「MNTD Dismount Auto」コマンドを出すまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: ボリュームを手動でマウント解除する場合は、「D」と応答してください。それ以外の場合は「I」と応答してください。

- 「D」の場合、ボリュームは制御データセットから除去されます。ENTER 処理が実行可能となるまでの間、ライブラリからそのボリュームを除去してください。
- 「I」の場合、ボリュームは制御データセットから除去されません。
- LSM がオンラインに変更された場合、マウント解除処理は続けられます。

SLS0910I

```
{Mount|Dismount} of volser {on|from} driveid AA:LL:PP:NN -  
Request terminated
```

説明: テープのマウント要求またはマウント解除要求が受け取られました。要求は終了中であり、そのほかのメッセージは出されませんでした。ほかの未解決のメッセージや、ボリュームをロックしている操作がないかどうかを確認してください。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0911D

```
Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Manual  
volume at AA:LL:PP:RR:CC; reply Delete or Ignore (D/I)
```

説明: マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

システム動作: マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。マウント処理は、オペレータが「D」または「I」と応答するか、あるいは LSM をオンラインに変更するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: ボリュームを手作業でマウントする場合は、位置 AA:LL:PP:RR:CC からボリュームを除去してください。ボリュームが手元にある場合は、「D」と応答して、それを制御データセットから削除してください。マウント解除した場合、入力処理が実行可能となるまでの間、ライブラリーからそのボリュームを除去してください。

- 要求を無視する場合は、「I」と応答してください。
- LSMをオンラインにすると、マウント処理は通常どおりに進められます。

SLS0912I

```
Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -  
Drive is loaded; mount request is being aborted
```

説明: マウント処理で、ドライブにボリュームがマウントされていることがわかったために、マウント解除要求が出されました。マウント解除処理では、ドライブにカートリッジがロードされていて、マウント解除すべきボリュームとマウントすべきボリュームが一致することがわかりました。

システム動作: マウント解除要求は取り消されます。マウント要求も中止されます。

ユーザーの応答: ボリュームをマウント解除する必要がある、ドライブが使用中でない場合は、ドライブからボリュームをアンロードして、マウント要求を再び出してください。MVS において、ドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM 環境においてドライブをアンロードするには、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

SLS0913I

Robotics request active for {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
unable to mount

説明: 上記のドライブに対するロボット要求が、別のシステムによってアクティブになっていました。1つのドライブに対して2つのマウント要求が出されており、このシステムからのマウント要求は、もう一方のシステムからのマウント要求が最初に処理されていることを判別しました。

システム動作: このシステムからのマウント要求は取り消されます。

ユーザーの応答: マウントを必要とするジョブをキャンセルして、再送信する必要があります。これはHSCが、ほかのシステムにより同じドライブでマウント処理が進行中であることを判別したためです。このシステムによるマウント要求は、再発行されません。

SLS0923I

{Drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} has been cleaned using volser

説明: ドライブのクリーニングが、メッセージテキスト内に表示のボリュームシリアル番号によって自動的に行われました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS0925D

Eject of volser - Volume not in cell AA:LL:PP:RR:CC; Reply
(Logically) Delete or Ignore (D,I)

説明: イジェクト操作で、制御データセット内のボリューム位置がわかりましたが、その位置は空でした。

システム動作: オペレータは、制御データセットの項目を削除 (D) するか、要求を無視 (I) するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「D」と答えると、制御データセットの内容が更新されて、ボリュームはライブラリーにないものと見なされます。

「I」と答えると、操作は終了します。

SLS0926I

C invalid reply

説明: オペレータからの応答が、WTORで提供されるオプションと一致しません。オペレータからの応答Cは無効です。

システム動作: WTORが再び出されて、オペレータにもう一度応答を求めます。

ユーザーの応答: 正しいオプションを応答してください。

注 - Cは1 バイトの長さにはできません。

SLS0927A

Wrong cartridge entered; expected volser1 and found volser2

説明: オペレータは、一時入力に対して、特定ボリュームシリアル番号 (*volser1*) を入力するよう要求されていました。しかし、CAP には間違ったボリュームシリアル番号 (*volser2*) がありました。

システム動作: CAP ドアはロック解除されて、オペレータがアクセスできるようになります。

ユーザーの応答: CAP ドアを開けて、間違ったカートリッジ (*volser2*) を取り出し、正しいもの (*volser1*) と置き換えてから、CAP ドアを閉めてください

SLS0928A

ENTER processing interrupted; empty CAPid AA:LL:CC

説明: エンター処理が中断されました。カートリッジが CAP に残っています。CAPid AA:LL:CC は、空にする必要があります。

システム動作: システムは、CAP が空であることを確認したオペレータが CAP のドアを開閉するまで処理を保留します。CAP 内にカートリッジが残されている場合は、再びこのメッセージが出されます。CAP を空にすると、挿入処理は続けられます。

ユーザーの応答: CAP ドアを開けて、そこにあるカートリッジをすべて取り出してください。

SLS0929I

{Enter|Eject} of volser - CCC...CCC; run a utility audit
against cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: ENter 操作が、空であるべきセルが空でなかったことを検出しました。あるいは、Eject 操作が失敗し、CAP コンポーネントがボリュームをエラントステータスに変更できませんでした。*volser* は、入力されたボリュームのボリュームシリアル番号です。CCC...CCC は 32 バイトのエラー記述です。

システム動作: 挿入 / イジェクト操作は終了します。

ユーザーの応答: 報告されたセル位置に対して監査を実行して、CDS を正しい状態にしてください。

SLS0931I

LSM AA:LL is {NOT READY|OFFLINE PENDING|OFFLINE}

説明: 指定された LSM は、オフライン、オフライン保留、または作動不能のいずれかです。

システム動作: 要求の処理中に、オンラインにも作動可能にもなっていない LSM が見つかりました。

ユーザーの応答: 指定された LSM を、オンライン作動可能にしてください。

SLS0934D

EJECT of volser, Drive not rewound; reply Dismount, Retry or Ignore (D,R,I)

説明: ドライブからのイジェクト操作で、ドライブが巻き戻しもアンロードもされていないことがわかりました。

システム動作: オペレータは、操作の再試行「R」するか、カートリッジをマウント解除「D」するか、または要求を無視「I」するよう要求されます。

ユーザーの応答: MVS においては、MVS Unload コマンドを使用してボリュームをアンロードしてください。VM においては、仮想計算機にドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

- 「R」と応答すると、巻き戻しオプションなしでのイジェクトが再実行されます。
- 「D」と応答すると、巻き戻しオプションとともに操作が再実行されます。
- 「I」と応答すると、ボリュームは条件付でエラントになり、操作は終了します。

SLS0935D

EJECT of volser - volser not readable; reply Bypass label checking or Ignore (B,I)

説明: ボリュームに対してイジェクト操作が要求されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

システム動作: オペレータは、要求をバイパス「B」するか、または無視「I」するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「B」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにイジェクトが再実行されます。

「I」と応答すると、ボリュームは条件付でエラントになり、操作は終了します。

SLS0936D

EJECT of volser - SOURCE VOLSER DOES NOT MATCH DB; reply Ejector Ignore (E,I)

説明: イジェクト操作が行われましたが、制御データセットで指定された位置にあるボリュームシリアル番号が、要求されたボリュームシリアル番号と一致しませんでした。

システム動作: オペレータは、イジェクト「E」するか、または要求を無視「I」するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「E」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにイジェクトが再実行されます。

「I」と応答すると、ボリュームが無条件でエラントになり、操作は終了します。

SLS0937D

ENTER of volser - Source volser not readable; reply Bypass
label checking or Eject (B,E)

説明: あるボリュームに対して入力が要求されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

システム動作: オペレータは、要求をバイパス「B」するか、またはボリュームをイジェクト「E」するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「B」と応答すると、バイパスラベルチェックとともにエンターが再実行されます。「E」と応答すると、ボリュームはバイパスラベル処理でイジェクトされます。

SLS1000I

ACS AA status: CCCCCCCCC1

Compatibility levels: HSC=DD1,LMU=DD2

(Partition ID=DDD3)

(Waiting Queue elements DDDDDDDDD4)

(Active Queue elements DDDDDDDDD5)

(Temporary Outage Queue elements DDDDDDDDD6)

Dual LMU CCC2 Configured

Redundant Electronics Configured

(Master Is C3; Standby Is CCCCC4)

Station DDDD7 CCCCCCCC5

Scratch Volumes available DDDDDDDDD8

Free Cells available DDDDDDDDD9

RE Connection Summary

----- Detail Addition -----

Lib	LC	Mode	Status	IP Addr/Host Name
-----	----	------	--------	-------------------

C7	C8	CCCCC9	CCCCCCC10	DDD.DDD.DDD2/CCCCCCC11
----	----	--------	-----------	------------------------

説明: Display Acs コマンドの出力として出されます。パーティション ID の値が 0 より大きい場合、パーティション分割済みの ACS を表します。待ち行列カウントは、ゼロではない場合にのみ表示されます。マスター / スタンバイ LMU の行は、デュアル LMU がアクティブな場合にのみ表示されます。

Redundant Electronics の行は、Redundant Electronics が 1 つ以上のライブラリでアクティブである場合のみ、表示されます。定義された各ステーションごとに 1 行ずつ表示されます。ACS が切断されているか割り当てられていない場合、Free Cell カウントは不明となります。

Display ACS の ACSid が発行されている場合、Redundant Electronics では、Library Summary の行は詳細追加の一部として ACS 構成を反映するために表示されます。

変数:

AA ACSid: 「00」 - 「FF」

CCCCCCCCC1 ACS が利用可能かどうか:

CONNECTED 少なくとも 1 つのステーションがオンラインになっています

DISCONNECT 現在オンラインになっているステーションは存在しません

UNALLOCATED ACS プレースホルダーを示します

DD1 HSC 互換性レベル

10 は HSC 2.0 を意味します

11 はマルチメディア用の HSC 2.0.1 サポートを意味します

12 は HSC 2.1 以上を意味します

13 は HSC 6.0 以上を意味します

20 は 6.1 以上を意味します

	21 は 6.1 以上を意味します
	22 は 6.1 以上を意味します
	23 は 6.1 以上を意味します
DD2	LMU 互換性レベル
	00 は LMU i が接続されていないことを意味します
	05 は拡張 CAP をサポートする LMU 3.2 u- ソフトウェアを意味します
	06 は 4430 マルチメディアをサポートする LMU 3.8 u- ソフトウェアを意味します
	10 は Wolfcreek をサポートする LMU 1.0 u- ソフトウェアを意味します
	11 は 93xx マルチメディアをサポートする LMU 1.1 u- ソフトウェアを意味します
	12 は 9840 および 97xx をサポートする LMU 1.5+ u- ソフトウェアを意味します
	13 は SL8500 のベースサポートを意味します
	20 は SL8500 のベースおよびパーティション分割サポートを意味します
	21 は SL8500 と SL3000 のサポートを意味します
	22 は SL8500 と SL3000 のサポートを意味します
	23 は SL8500 と SL3000 の RE サポートを意味します
DD3	パーティション ID: 「000」 - 「999」
DDDDDDDD4	待機要求待ち行列の要素数
DDDDDDDD5	アクティブ要求待ち行列の要素数
DDDDDDDD6	一時停止待ち行列の要素数
CCC2	デュアル LMU の構成: 「Is」または「Not」
C3	マスター LMU の指示文字: 「A」または「B」
CCCCC4	スタンバイ LMU の状況: 「ready」または「not ready」 「ready」の場合、自動的に切り替えられる「STANDBY」ステーションがあるはずです。
DDDD7	ステーションデバイス番号。
DDD.DDD.DDD1	ステーション IP アドレス
CCCCCCCC5	ステーションホスト名
CCCCCCCC6	ステーションステータス:
ONLINE	マスター LMU へのパスが有効
OFFLINE	ACS へのパスが無効
STANDBY	スタンバイ LMU へのパスが有効
PENDING ONLINE	パスをオンラインに変更中
PENDING OFFLINE	パスをオフラインに変更中
PENDING FORCE	パスを強制的にオフラインに変更中
NOT READY	ネットワーク接続 LMU が初期化されていない
NETWORK RECONNECT	ネットワーク回復アクティブ
TCP/IP CON ERR	ネットワーク回復失敗
UNKNOWN	ステーション状況または空きセルカウント
DDDDDDDD8	使用可能なスラッチボリュームの数
DDDDDDDD9	使用可能な空きセルの数

RE 接続の要約用:

C7	ライブラリ ID: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」
C8	ライブラリコントローラ ID: 「A」 または 「B」
CCCCCCC9	ライブラリコントローラモード: 「active」 または 「standby」
CCCCCCC10	ステータス: ステーションステータス CCCCCCCC6 と同じ
DDD.DDD.DDD2	ライブラリコントローラ IP アドレス
CCCCCCC11	ライブラリコントローラホスト名

注 – HSCで使用可能な機能は、互換性レベル行に指定されている最小番号で示されることに注意してください。

システム動作: システムの処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS1001I

ENTER not scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明: SENter コマンドが、CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENter はスケジュールされませんでした。EJect コマンドは中断されません。「NOT ACCEPTED」の理由としては、次のことが考えられます。

- CAP がこのホストから割り振られていない。
- CAP がイジェクトされていない。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1002I

ACS AA: Switch already active

説明: 指定の ACS に対して、SWitch コマンドがすでに入力されていました。

AAはACSidです。

システム動作: この SWitch コマンドは終了しますが、以前の SWitch コマンドの処理は続けられます。

ユーザーの応答: 以前に SWitch コマンドが入力されている場合は、処置は不要です。そうでない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートにこの事態を連絡してください。

SLS1003I

Switch failed, {ACSid|LIBid} is required

説明: 構成内に複数の ACS があるため、ACSid を指定する必要があります。または、ACS に複数のライブラリがあるため、LIBid を指定する必要があります。

システム動作: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答:

- ACSid が必要な場合。

SWitch コマンドを ACS パラメータと ACSid 値とともに再入力します。例: SW ACS 00。

- LIBid が必要な場合。

SWitch コマンドを ACS パラメータ、ACSid 値、LIB パラメータおよび LIBid 値とともに再入力します。例: SW ACS 00 LIB 1。

SLS1004I

ACS AA cannot switch; CCCCCC1 CCCCCC2 C3

説明:

- LMU 互換性レベルが 22 以下の場合。

指定のACSがデュアル LMU ACSであるのに、現在このACSのスタンバイ LMUにHSCを接続しているスタンバイステーションがありません。

- Redundant Electronics (compat 23+) の場合。

指定の ACS が Redundant Electronics をインストール済みであっても、以下の理由が、切り替わらなかった原因である可能性があります。

1. HSC に接続するスタンバイネットワーク接続がない。
2. Redundant Electronics のライセンスがない。
3. スタンバイコントローラが通信していない。

CCCCCCC1	切り替えられない理由。 <ul style="list-style-type: none">• スタンバイ接続がない• RE がライセンスされていない• スタンバイが通信していない
CCCCCCC2	「LIBID」またはブランクの場合
C3	ライブラリ ID: 「1」 - 「9」または「A」 - 「Z」または空白

システム動作: システムの処理は続けられます。

???????:

- LMU 互換性レベルが 22 以下の場合。

スタンバイ LMUに対してステーションをオンラインに変更してから、SWitchコマンドを再入力してください。

- Redundant Electronics (compat 23+) の場合。

スタンバイ接続の接続、Redundant Electronics のインストールおよびライセンス入手、またはスタンバイライブラリコントローラの修復を行ってください。

SLS1005I

ACS AA cannot switch; ACS disconnected or not Dual LMU

説明: 指定の ACS がデュアル LMU ACS でないか、またはこの ACS へのステーションがすべてオフラインであるために、スタンバイ LMU で使用できるステーションがありません。

システム動作: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS1007I

ACS AA: Initiating switch via CCCCCC1 C2 CCC3 CCCCC4 C5

説明: SWitch コマンドパラメータの妥当性検査が行われて、アクティブなライブラリコントローラに通知を行うスタンバイライブラリコントローラに SWitch コマンドを送るために、使用可能なスタンバイステーションまたはライブラリ ID が選択されました。

AA	ACSid: 「00」 - 「FF」
CCCCC1	「Station」 または 「LIBID」
C2	LIBid: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」 または ブランク
CCC3	「for」 または ブランク
CCCC4	「LIBID」 または ブランク
C5	LIBid: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」 または ブランク

システム動作: 選択されたスタンバイステーションドライバまたはライブラリコントローラは、切り替え処理を開始するよう通知を受けました。

ユーザーの応答: なし

SLS1010I

CCCCCCCC1 value list not allowed with CCCCCCCC2 value list on CCCCCCCC3 command

説明: 値リスト (複数の値がカンマまたはダッシュで区切られた) を持つ CCCCCCCC1 パラメータと、値リストを持つ CCCCCCCC2 パラメータを指定した CCCCCCCC3 コマンドが入力されました。CCCCCCCC2 パラメータが値リストとともに与えられる場合、コマンドでは、CCCCCCCC1 の値 1 つしか識別できません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: コマンドのパラメータを訂正して、コマンドを再入力してください。

SLS1011I

The range specified on the CCCCCC1 parameter of the CCCCCC2 command is invalid or not allowed

説明: オペレータコマンドである範囲のセルが指定されましたが、指定の範囲に 100 を超えるボリュームが含まれるか、あるいはこのパラメータで範囲を使用できません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 100 以下のボリューム範囲を指定して複数のコマンドを入力するか、該当するバッチ HSC ユーティリティー (セル範囲に制限がない) を実行するか、または無効な範囲を削除してください。

SLS1012I

The value list specified for the CCCCCC1 parameter of the CCCCCC2 command exceeds the maximum number of list items

説明: コマンドまたはユーティリティー機能がリスト項目の最大数を超える値リストを指定した CCCCCC2 コマンドの CCCCCC1 パラメータとともに入力されました。

システム動作: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 項目の数が最大数以下になるように値リストを指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

SLS1014I

SCRATCH SUBPOOL SUMMARY:

ACS (AA)

LSM (LL) SUBPOOL (CCCCCCCCCCCCC1) SCRATCH

COUNT=DDDDDDDD1

SUBPOOL (CCCCCCCCCCCCC2) SCRATCH

COUNT=DDDDDDDD2

LSM (LL) SUBPOOL (CCCCCCCCCCCCC3) SCRATCH

COUNT=DDDDDDDD3 SUBPOOL (CCCCCCCCCCCCC4) SCRATCH

COUNT=DDDDDDDD4

TOTAL SCRATCH=DDDDDDDD

説明: Display SCRatch コマンドが正常に終了しました。アクティブサブプールで利用できるスクラッチボリュームの数が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1015I

ACS AA LSM LL:CC...CC1|DD..DD1 invalid for CC...CC2 parameter
on CC...CC3 command

説明: 指定のコマンドに入力されたデータが無効です。

AA	ACSid (10 進数)
LL	LSMid (10 進数)
CC...CC1 DD...DD1	コマンドで入力したデータが誤りです。
CC...CC2	コマンドで指定したオプションが誤りです。
CC...CC3	コマンドの構文規則に違反するコマンド名です。

システム動作: VView 時間が無効な場合に、省略時値を使用してコマンドを続行する以外、システムはそれ以上の処理を行いません。

ユーザーの応答: 正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1016I

ACS AA LSM LL: CCCCCCCC1 rejected, CCC...CCC2 CCC...CCC3

説明: テキスト内に表示された状態が原因で、指定したコマンドは拒否されました。

AA	ACSid (10 進数)
LL	LSMid (10 進数)
CCCCCCCC1	コマンドの名前 (VView など)
CCC...CCC2	オブジェクトの名前 (ACS、ACS ID、ADDRESS、CAP 列、CAP 行、セル列、セル行、COLUMN、接続するLSM、HOST、HSC、LMU、LSM、LSM ID、PANEL、PLAYGRND、PTP 列、ROW、XLSM)またはLMU 要求リターンコード (論理エラー条件の場合)
CCC...CCC3	オブジェクトの状態 (存在しない、下位レベルのマイクロソフトウェア、切断されている、無効である、オフラインである、シャットダウンしている、見つからない、指定されていない、指定パラメータが無効、別のパラメータと同じ)または論理エラー

システム動作: このコマンドは拒否されます。システムはそれ以上の処理を行いません。

ユーザーの応答: 原因となった状況の解消後、コマンドを再実行できます。

SLS1018D

ACS AA LSM LL; holding camera <N> for <time> seconds on
<component> <location>

AA ACSid (hexadecimal 00-FF)

LL LSMid (hexadecimal 00-FF)

<N> camera number (decimal 0-1)

<time> 5-120 as entered in the VView command
or defaulted from the OPTion Viewtime
command

<component> CAPid, CEl1, HOSTis & Drive,
Playgrnd, or PTP as entered
on the VView command

<location> address (ROW RR COL CC,
PP:RR:CC, XXX, CC, or LL:CC) as
specified on the VView command

説明: VView コマンドが正常に終了しました。カメラは要求された位置に保持されています。

システム動作: カメラは、要求された時間間隔の間、所定の位置に保持され、そのあと、ロボットは解放されてほかの作業に使用されます。このイベントをログに記録するために、レコードを任意選択で SMF データセットに書き込むことができます。

ユーザーの応答: ACS、LSM、およびカメラ識別子によって示されたモニターを見て、検査中の要素の状況を調べてから、未決の WTOR に (任意の) 応答をして、ほかの作業を行うためにハンドを解放してください。WTOR に応答しない場合、指定または省略時の時間間隔が経過すると、ハンドは自動的に解放されます。

SLS1025I

Volser range (#-#) exceeds 300 volumes

説明: 指定の範囲には 300 を超えるボリュームが含まれています。
指定できるのは、最大 300 ボリュームまでです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: この範囲のサイズを減らしてください。

SLS1026I

CCCCCCCC of EXIT successful

説明: CCCCCCCC は機能を示します。ロード機能では、要求された出口ルーチンが正常にロードされたことを意味します。出口ルーチンが使用可能な場合、その出口ルーチンが呼び出されると新しいモジュールも呼び出されます。使用可能化機能では、出口ルーチンの最新モジュールが正常に使用可能になったことを示します。出口ルーチンが呼び出されると、このモジュールが使用されます。使用禁止機能では、出口ルーチンの最新モジュールが、正常に使用不能になったことを示します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1027I

CCC...CCC1 of EXIT failed, CCC...CCC2

説明: CCC...CCC1 は要求された機能を示します。ロード機能では、要求された出口ルーチンが正常にロードできなかったことを意味します。使用可能化機能では、最新の出口ルーチンが正常に使用可能にできなかったことを示します。使用禁止機能では、最新の出口ルーチンが、正常に使用不能にできなかったことを示します。

CCC...CCC2は、エラーメッセージの理由を示します。

理由の説明

- all user exits are inactive--すべてのユーザー出口が非アクティブです。
- user exit number invalid--ユーザー出口の番号は UX01 - UX99 形式でなければなりません。
- module not found--ロードモジュールがロードライブラリにありません。
- load error occurred--ロード時の HSC 内部エラーです。再実行してください。
- function is invalid--「LOAD」、「ENABLE」、「DISABLE」のいずれでもありません。
- exit status invalid--「ACTIVE」、「DISABLE」のいずれでもありません。
- load error occurred--ロック時の HSC の内部エラーです。再実行してください。
- program error occurred--プログラムの HSC 内部エラーです。再実行してください。
- exit is not dynamic--出口ルーチンは動的ではないので、再ロードできません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: ロード機能の場合は、要求されたモジュールが、HSC 起動手順の SLSUEXIT DD 文で記述されたロードモジュールライブラリ内、または STEPLIB データセット連結内にあるかどうかを確認してください。使用可能化機能の場合は、モジュールが正常にロードされていて使用不能な状態にあるかどうかを確認してください。使用禁止機能の場合は、モジュールが正常にロードされていて使用可能な状態にあるかどうかを確認してください。

SLS1028I

User exit status:

```
EXIT STATUS LOAD-TIMESTAMP MODNAME SEQ # STATUS-CHANGED
ccc1 ccccccc2 ccccccccccc3 ccccccc4 nnnnn ccccccccccc5
-
-
-
QUERY of EXIT successful
```

説明: UEXIT QUERY コマンドが入力されました。要求されたユーザー出口の状況が表示されます。次のような形式で、要求された各出口ルーチンにつき 1 行ずつ情報が表示されます。

ccc1	ユーザー出口識別子	
cccccc2	ユーザー出口の状況を表します。次のうちのいずれかです。	
	ACTIVE	出口ルーチンはロードされてアクティブです。
	INACTIVE	出口ルーチンはロードされていません。
	DISABLED	出口ルーチンはロードされましたが、使用不能状況のままロードされたか、または使用不能にされています。
	ABENDED	出口ルーチンはロードされましたが、異常終了のため非アクティブ化されました。
	PENDING	出口ルーチンはロードされましたが、UEXIT DISABLE コマンドが出されました。使用不能化コマンドは完了していません。
cccccccccc3	ユーザー出口がロードされた日時を表します。値はyyyy-mm-dd hh:mm:ssまたはNEVER LOADEDになります。	
cccccc4	該当出口ルーチン用にロードされているモジュールの名前を示します。ただし、出口ルーチンがロードされていない場合はN/Aと示されます。	
nnnnn	該当出口ルーチンがロードされた回数です。ただし、出口ルーチンがロードされていない場合、NONEと示されます。	
cccccccccc5	ユーザー出口が最後に変更された日時を示します。出口ルーチンがロードされていない場合、値はyyyy-mm-dd hh:mm:ssまたはNEVER CHANGEDになります。	

システム動作: ユーザー出口の状況に関する情報が表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1030I

HSC service level {BASE|FULL} active

説明: コマンド Display SRVlev は正常に終了しました。HSC は指示されたサービスレベルを実行しています。

このメッセージは、BASEまたはFULLサービスレベルに対し、Display SRVlevコマンドが終了すると表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1031I

SUBpool(CCCCCCCCCCCCCC) not found; operator command ended

説明: 任意選択パラメータ SUBpool を指定してオペレータコマンドを入力しましたが、要求されたサブプールが HSC に定義されていませんでした。

システム動作: オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

ユーザーの応答: SUBpool 名の妥当性検査を行い、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1032I

No match found for ACSid AA; operator command ended

説明: 表示された ACSid に対してオペレータコマンドの入力を試みましたが、その ACSid に一致するものが見つかりませんでした。

システム動作: オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

ユーザーの応答: 正しい ACSid を入力して、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1033I

No match found for LSMid AA:LL; operator command ended

説明: 表示された LSMid に対してオペレータコマンドの入力を試みましたが、入力された LSMid が見つかりませんでした。

システム動作: オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

ユーザーの応答: LSMid を修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1034I

No subpool data found for SUBpool XXXXXX

説明: Display SCRatch コマンドが、ACSid、LSMid、またはSUBpool などの任意選択パラメータを指定して入力されましたが、指定のデータに一致するものが見つかりませんでした。XXXXXX はSUBpool 名です。

システム動作: 情報は表示されません。

ユーザーの応答: 適切な入力パラメータを修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1035I

CCCCCC of EXIT failed; user exit index is not valid

説明: CCCCCC は UEXIT コマンドの機能の 1 つを示します。この機能には、ロード、使用可能化、使用禁止、または照会があります。UEXIT コマンドに渡された出口番号が、現在の既存の出口番号内にありませんでした。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: 正しいユーザー出口番号を与えてください。

SLS1037I

THRESHOLD VALUE SUMMARY:

ACS AA Threshold DDDDDD LSM LL Threshold DDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
.
.
.
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD

説明: Warn コマンドは、正常に終了しました。限界値とは、Warn コマンドによって設定された値のことをいいます。

システム動作: システムはそれ以上の処理は行わず、通常の操作が続けられます。

ユーザーの応答: ユーザーの処置は必要ありません。

SLS1038I

Scratch Subpooling not in effect; Operator command terminated

説明: スクラッチサブプールを特定して扱うオペレータコマンドの入力を試みましたが、スクラッチサブプール処理が実施されていませんでした。

システム動作: オペレータコマンドは、要求された機能を実行しないで終了します。

ユーザーの応答: スクラッチサブプール処理がアクティブな場合にのみ、このコマンドを入力してください。

SLS1039I

Invalid Subpool name S...S specified in C...C

説明: コマンド C...C が発行されましたが、指定したサブプール名が無効でした。サブプール名それ自体が無効であるか、要求したホストにより無効になった可能性があります。

システム動作: コマンドは、要求された機能を実行せずに終了されました。

ユーザーの応答: 有効なサブプール名を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS1040I

CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 confirmed

説明: このメッセージは、CCCCCCCC1 の値が CCCCCCCC2 であることを示します。

例えば、HSCの起動時に呼び出された、各種のオプションを設定するコマンドに、HOSTid キーワードが与えられている場合があります。HOSTidがある場合、これはコマンドの実行に先立って確認されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1041I

A keyword must be provided for the CCCCCCCC command

説明: コマンド CCCCCCCC がキーワードなしで入力されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 正しいキーワードを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS1042I

CCCCCCCC ACS List:

ACSID(s): (AA,AA,AA-AA)

説明: このメッセージが、CCCCCCCC キーワード ACS リストの設定を表示します。ここで、AA は ACS 識別子を示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1050I

CCCCCCCC information is not available; subsystem is not at the proper service level

説明: サブシステムが正しいサービス (機能) レベルにないため、Display コマンドは、CCCCCCCC の情報を獲得できませんでした。このメッセージは、HSC が完全に初期化される前、またはサービスレベルが SRVlev コマンドによって変更されたときに表示される場合があります。Display SRVlev は、現在の HSC のサービスレベルを表示させるために使用できます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: サブシステムが正しいレベルにあるときに、Display 要求を再入力してください。

SLS1051I

CCCCCCCC1 command not executed; HSC is at service level CCCC2

説明: サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) で示された正しいサービスレベルになかったため、CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

SLS1052I

CCCCCCCC1 command not executed; HSC service level CCCC2 change in progress

説明: サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) に対する変更を現在処理しているため、CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

SLS1053E

CCCCCCCC1 command not executed; VSM not active

説明: 仮想記憶マネージャー (VSM) の仮想テープ制御システム (VTCS) サポートがこのシステムで実行中でないため、CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: VTCS がアクティブであるときに、要求を再入力してください。

SLS1071D

RELEASE CAP AA:LL:CC requested; reply N to cancel, or Y to continue

説明: RELease CAP コマンドが入力されました。このメッセージに「Y」と答える場合は、システムが CAP を使用していないことを確認してください。CAP の解放を取り消す場合は、「N」と答えてください。

システム動作: 「Y」と応答すると、CAP の解放処理が続けられます。「N」と応答すると、CAP は解放されません。

ユーザーの応答: 「Y」または「N」と応答してください。

SLS1072I

CAP AA:LL:CC released

説明: RELease CAP コマンドが正常に終了しました。CAP AA:LL:CC は解放されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1074I

HSC CCCCCCCCCCCCCCCCC1 options:
CCCCCCCC2 - CCCCCCCCC3 (for downlevel SMC)

説明: このメッセージは、コンポーネントに関連するオプション設定コマンドの 1 つに対するすべてのキーワードの設定を表示します。個々のキーワードの設定に「(for downlevel SMC)」というテキストが続く場合、そのオプションは下位レベル SMC クライアントからの要求を処理する場合にのみ有効であることを示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1075D

Dismount of volser from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -
Error on Tape; Ignore or Eject (I/E)

説明: エラー (メッセージ IEC512I など) によって、ボリューム *volser* がマウント解除されました。

システム動作: オペレータは、テープボリューム上のエラーを無視 (I) するか、またはライブラリからそのテープボリュームをイジェクト (E) するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「I」と応答すると、ボリュームは通常どおりにマウント解除されます。「E」と応答すると、ボリュームはマウント解除され、ライブラリからイジェクトされます。いずれの場合も、オペレータはシステムログを見て、テープエラーを説明するメッセージ (IEC512I、IEC502E など) がないかどうかを調べる必要があります。このメッセージは、ジョブの実行を進める方法を決定する上で重要な場合があります。

SLS1153I

CCCCCCCC1 parameter list not allowed with parameter CCCCCCCC2
value list, on CCCCCCCC3 function

説明: CCCCCCCC3 機能が処理され、CCCCCCCC1 パラメータと、値リスト (複数の値をカンマまたはダッシュで区切ったもの) を持つ CCCCCCCC2 パラメータが検出されました。CCCCCCCC2 パラメータが値リストとともに与えられても、この機能では、CCCCCCCC1 の値を 1 つしか識別できません。

システム動作: リストされた機能のユーティリティ制御文は拒否されます。

ユーザーの応答: リストされた機能のユーティリティ制御文上のパラメータを訂正して、コマンドを再実行してください。

SLS1155I

DDDD volume(s) moved to LSM AA:LL

説明: DDDD 本のボリュームが、MOVE 機能によって、LSM AA:LL に移動されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1156I

DDDD volume(s) moved

説明: DDDD 本のボリュームが、MOVE 機能中に移動されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1157I

DDDD volume(s) not moved

説明: MOVE 機能によって移動されなかったボリュームは DDDD 本です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1158I

SCRATCH misspelled on ENTER utility control statement

説明: SLUADMIN ENTER ユーティリティの実行が試みられましたが、ENTER 制御ステートメントに指定された SCRATCH オプションの綴りが間違っています。

システム動作: 要求されたユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: 制御文に必要な訂正を行い、ユーティリティを再送信してください。

SLS1159I

SUBpool (CCCCCCCCCCCC) is invalid - not known to system

説明: EJECT ユーティリティがサブプール (CCCCCCCCCCCC) からスクラッチボリュームをイジェクトしようとしたましたが、このサブプールはシステムに定義されていません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: スクラッチボリュームをイジェクトするための別のサブプールを選択してください。

SLS1160I

HSC Address Space Communications is not active

説明: SCREDIST ユーティリティが ASCOMM タスクを起動できませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1161I

Invalid keyword detected on PARM input

説明: SLUADMIN ユーティリティジョブが、無効なキーワードを含む PARM= パラメータを指定して送信されました。有効なキーワードとその値は、次のとおりです。

MIXED、NOHDR、LINECNT=*nn*、DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}、および
XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD}

ここで、*nn* は 10 から 99 までの値です。NOHDR と LINECNT は、いずれか一方しか指定できません。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: JCL PARM フィールドの値を訂正し、ジョブを再送信してください。

SLS1162I

Parm values LINECNT and NOHDR are mutually exclusive

説明: SLUADMIN ユーティリティジョブが、NOHDR と LINECNT の両方を含む PARM= 値を指定して送信されました。この 2 つのパラメータを同時に指定することはできません。

システム動作: ユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの応答: NOHDR か LINECNT のいずれか一方を指定し、SLUADMIN ジョブを再送信してください。

SLS1163I

Invalid LINECNT on PARM input

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブが、LINECNT に無効な値を含む PARM= 値を指定して送信されました。LINECNT の値は 10 から 99 までです。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: JCL PARM の LINECNT の値を訂正し、ジョブを再送信してください。

SLS1177I

The CDS specified on the CDS keyword is inactive

説明: CDS キーワードが、エラーの原因となったデータセットを指定しています。これ以外に示されているはずのユーティリティーメッセージを参照してください。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: CDS に入出力エラーがあった場合は、そのほかの CDS があればそのバックアップを作成し、できるだけ早く CDS を復元してください。

SLS1180I

The block count between the primary and secondary control data sets do not match

説明: BACKUP ユーティリティーのデータセット妥当性検査で、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間に、ブロック数の不一致が見つかりました。

システム動作: CDS パラメータがセカンダリを示している場合、ユーティリティーは終了します。そうでない場合、ユーティリティーは、プライマリデータセットを使用して続けられます。

ユーザーの応答: 正しいデータセットが使用されていることを確認してください。データセットが正しいければ、エラーは、2つのデータセットの間で、相対位置アドレス指定が矛盾していることを示しています。データセットを分析して、ブロックカウントが同じであるかどうか確認してください。この状態を解決するためには、データセットを復元しなければならない場合があります。その場合、セカンダリ CDS をバックアップするために、SLSCNTL にセカンダリ、SLSCNTL2 にプライマリを指定してください。これにより、セカンダリ制御データセットのバックアップ中、プライマリ制御データセットに対して正しく予約が行われます。

SLS1181I

Open failed for SLSCNTL

説明: 指定されたファイルをオープンしようとしたましたが、失敗しました。

システム動作: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行います。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS1182I

Open failed for SLSLIBGN

説明: 指定されたファイルをオープンしようとしたますが、失敗しました。

システム動作: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切な処理を行います。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティを再実行してください。

SLS1183E

Wrong format CDS

説明: LISTCDS が、V1.0.4 以前の CDS を見つけました。

システム動作: ユーティリティは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再送信してください。

SLS1184I

Read error on CDS

説明: SLSCNTL DD 文によって示されたファイルを読み取ろうとしたますが、失敗しました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティを再実行してください。

SLS1185I

LSM has no drives or passthru ports

説明: SLSCNTL によって示された HSC CDS に、ドライブまたはパススルーポートの指示がありません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SLSCNTL DD カードが正しい CDS を指定しているかどうか確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1186I

LIBGEN record CCCCCCCCCC

説明: レコード (CCCCCCCC) が、LIBGEN (データベースデコンパイル) ユーティリティの SLSPRINT ファイルに複製されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1187I

```
Possible invalid CDS - (CCC...CCC)
  where (CCC...CCC) is:
  No host count found
  No TCHNIQUE specified
  Unknown panel type
```

説明: SLUDBMAP が、SLSCNTL DD 文によって示された HSC CDS の問題を検出しました。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: SLSCNTL DD カードが正しい CDS を指定しているかどうか確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1190E

```
Maximum CCCCCC discrepancy count reached
```

説明: BACKup 分析ルーチンで、矛盾カウントが CCCCCC の最大値に達したことが検出されました。CCCCCC は、SCRATCH、SELECT、AUDIT のいずれかになります。これらの各矛盾タイプの限界値は次のとおりです。

```
AUDIT    = 96,000
SELECT   = 10,000
SCRATCH  = 10,000
```

システム動作: ユーティリティーは、矛盾の保管および矛盾タイプの出力を中止します。このタイプに関するそれ以前の矛盾はすべてそのまま保管され、REStore 処理のために出力されます。

ユーザーの応答:

- 矛盾タイプが AUDIT である場合は、REStore のあとで、完全な AUDIT を実行する必要があります。
- 矛盾タイプが SCRATCH である場合は、REStore のあとで、SCRATCH ユーティリティーを実行する必要があります。
- 矛盾タイプが SELECT である場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1191E

(...ERROR TEXT...)

説明: LISTCDS が問題を検出しました。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

- Premature end of file (ファイルの終わりに到達するにはまだ早すぎます)
- No DPV record found (DPV レコードが何も見つかりません)
- Invalid record in CDS (CDS のレコードが無効です)
- OBTAIN failed on CDS (CDS で OBTAIN に失敗しました)
- No VOLSERS in PARM (PARM に VOLSER が 1 つもありません)
- No VOLSERS matched CDS (CDS と一致する VOLSER が 1 つもありません)
- Invalid count (カウントが無効です)
- SLSCNTL DD not present (SLSCNTL DD がありません)
- Track calculation error (トラック計算エラーです)
- Parameter syntax error (パラメータの構文エラーです)
- Too many record types in CDS (CDS のレコードタイプが多すぎます)
- Range not allowed (範囲が許容範囲外です)
- List max exceeded (リストの最大限度を超えました)
- DVAR max of 1000 exceeded (DVAR の最大値 1000 を超えました)

システム動作: ユーティリティは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再送信してください。「Too many record types in CDS」のメッセージが表示された場合は、内部エラーの可能性があり、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1192I

CCCCCCCC1 parameter CCCCCCCC2 invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティが、入力パラメータ CCCCCCCC1 に結合された有効なキーワード CCCCCCCC2 を認知しませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 正しい入力キーワードとパラメータを与えて、SLUADMIN ユーティリティジョブを送信してください。

SLS1193I

Recovery techniques do not match

説明: DPV 回復技法フラグが、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間で一致しませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: 与えられたデータセットが正しいものであることを確認してください。誤ったデータセットであった場合は、正しいものを使用して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。正しいデータセットを使用している場合は、SET ユーティリティを実行して技法を再設定するか、または RESTore を実行して、DPV フラグを訂正する必要があります。

SLS1194I

A CCCC mismatch occurred in block XXXX1 at offset XXXX2

説明: 制御データセットのプライマリコピーとセカンダリコピーの不一致が検出されました。このエラーメッセージは、両方のブロックのビットが一致しない場合に出されます。これは、いずれかのデータセットが不良であることを示すものではなく、ブロックの分析が行われることを示すものです。CCCC はブロック名です。XXXX1 は、エラーのあったブロックの番号を示す 16 進数です。XXXX2 は、最初にエラーのあったブロックのオフセットを示す 16 進数です。

システム動作: ブロックは分析されます。

ユーザーの応答: この情報は、メッセージに示されたブロックでの問題を診断するために使用できます。

SLS1195I

Unable to dynamically allocate the CDS, CCC...CCC

説明: 説明: CDS にアクセスを必要とするユーティリティーの実行を試みましたが、CDS DD 文が 1 つも指定されていません。このユーティリティーから、HSC サブシステムにアクセスして、アクティブな CDS ファイルを調べることができません。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: CDS ファイルの動的割り振りを妨げる問題を訂正するか、CDS に DD ステートメントを指定してください。

SLS1196E

Number of CDS statements does not match TCHNIQE parameter
{NONE|SHADOW|JOURNAL|BOTH}

説明: SET TCHNIQE ユーティリティー機能を実行して、示された値に回復方法を設定しましたが、入力された CDS DD 文の数と新しい値が一致しませんでした。

- SHADOW および BOTH の方法には、SLSCNTL および SLSCNTL2 DD ステートメントを指定する必要があります。
- STANDBY および ALL の方法には、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY DD 文を指定する必要があります。

システム動作: ユーティリティー機能は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: 正しい CDS DD 文を指定し、このユーティリティーを再実行してください。

SLS1197I

CCCCCCCC is indicated but the DD statement is not present

説明: これは警告メッセージであり、回復技法がセカンダリデータセットまたはスタンバイデータセットを指示していることを示しています。しかし、必要な DD 文のどれかが存在しません。正しいセカンダリ DD 文は、SLSSHDW、SLSCNTL2、および DBASESHD です。正しいスタンバイ DD 文は SLSSTBY です。

システム動作: ユーティリティーは続行されます。

ユーザーの応答: 必要に応じて DD 文を定義し、SLUADMIN BACKUP ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1198I

The CCCCCCCC control data set DD statement is invalid or not present

説明: 制御データセットの DD 文が無効であることがわかりました。正しい DD 文名は、プライマリ制御データセットの場合は SLSCNTL または DBASEPRM、セカンダリ制御データセットの場合は SLSSHDW、SLSCNTL2、または DBASESHD です。

システム動作: これがプライマリ制御データセットであれば、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて DD 文を定義し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS1199I

The Backup being restored is from DDDDDDDD at HH:MM:SS

説明: RESTORE ユーティリティで、復元中のバックアップが、日付 DDDDDDDD、時刻 HH:MM:SS に取られたものであることがわかりました。DDDDDDDD のフォーマットは、BACKUP ユーティリティの DATE=4YR|2YR パラメータによって変わります。DATE=4YR (省略時値) の場合は、日付は YYYYMMDD のフォーマットになります。また、DATE=2YR の場合は、日付は MM/DD/YY のフォーマットになります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: これが必要なバックアップでない場合は、正しいバックアップを使用して、SLUADMIN RESTORE ユーティリティを再送信してください。

SLS1200I

Invalid eyecatcher EBCDIC(CCCC) HEX(XXXX) found in CCCCCCCC

説明: 無効なブロック目印が見つかりました。このメッセージは、EBCDIC の CCCC 値と EBCDIC 形式 16 進値 XXXX の両方を示して、CCCCCCCC DD 文によって示されたデータセットの実際の 4 バイトフィールドを見られるようにしています。

システム動作: この条件が見つかったデータセットは、非アクティブにされます。ほかの制御データセットを使用できない場合、ユーティリティは終了します。これが BACKUP ユーティリティであり、CDS パラメータが、非アクティブになったデータセットに指定されている場合、処理は終了します。そうでない場合、他に制御データセットがあればそれに対して処理が続けられます。

ユーザーの応答: 正しい制御データセットが指定されていることを確認してください。指定のデータセットをスキャン探索して、問題のあるブロックを見つけてください。このデータセットが正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1201I

SLUDRTLTM could not find the VMF control record

説明: SLUDRTLTM が TLMS VMF 制御レコードを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

システム動作: SLUCONDB は、TLMS VMF の処理をそれ以上試みません。

ユーザーの応答: SLUDRTLTM のアセンブルに使用した TLMS ソースライブラリのバージョンが、TLMS VMF と同じであることを確認してください。例えば、TLMS 5.4 VMF を使用している場合、SLUDRTLTM はアセンブルステップの SYSLIB 連結時に、TLMS 5.4 を使用してアセンブルする必要があります。

SLS1202I

Utility incomplete, make corrections and rerun

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、ほかの SLSxxxx メッセージに示されたエラーのために、完了しませんでした。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 訂正を行なって、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1203I

Missing or invalid CCCCCCCC DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーが必要な CCCCCCCC DD 文を見つけられなかったか、または与えられた情報 (デバイスタイプやデータセットなど) が無効でした。または、VOLRPT を実行して HSC からデータセットを参照した場合は、HSC が非アクティブであったか、HSC が VOLRPT と同じリリースレベルにありませんでした。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 正しい DD 文を与えて、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1204I

I/O error reading the CCCCCCCC data set

説明: CCCCCCCC DD 文によって示されたデータセットからの読み込み中に I/O エラーが起きました。

システム動作: エラーのデータセットが CDS データセットである場合、そのデータセットは非アクティブに変更され、使用可能な制御データセットがほかに存在していなければユーティリティーが終了します。エラーのデータセットが CDS データセットでない場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: 正しい CCCCCCCC データセットを示して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

SLS1205I

I/O error writing the CCCCCCCC data set

説明: CCCCCCCC DD 文によって示されたデータセットへの書き込み中に I/O エラーが起きました。

システム動作: エラーのデータセットが CDS データセットである場合、そのデータセットは非アクティブに変更され、使用可能な制御データセットがほかに存在していなければユーティリティーが終了します。エラーのデータセットが CDS データセットでない場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: 正しい CCCCCCCC データセットを示して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再サブミットしてください。

SLS1207I

Not enough space in the CCCCCC data set

説明: SLUADMIN ユーティリティーは、十分なスペースがなかったために、CCCCCCCC データセットに対する処理を続けられませんでした。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: 必要な量のスペースを与えてから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1208I

The CCCCCCCC1 data set was made inactive; processing will continue on the CCCCCCCC2 data set

説明: BACKUP ユーティリティーで、CCCCCCCC DD 文によって示された制御データセットの1つが非アクティブになったために、もう一方のデータセットでBACKUP が続けられたことがわかりました。CCCCCCCC1 データセットのエラー発生以前に検出されたデータの矛盾は、すべて保管されます。セル情報を収集して、DSEL (選択解除)、DSCR (スクラッチ解除)、DAUD (監査) のブロックを生成するために、CCCCCCCC2 でも比較が実行されます。

システム動作: ユーティリティーの処理は、2つのデータセットのかわりに、1つのデータセットで続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS1209I

All Control data set copies found inactive; CCCCCCCC terminated

説明: SLUADMIN ユーティリティーで、制御データセットのすべてのコピーが非アクティブになったことがわかりました。入出力エラーまたはブロックエラーが発生しました。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: エラーの原因を示す、もう1つの SLSxxxx メッセージを調べてください。

SLS1210I

Processing has started for the CCCC block

説明: BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの分析を開始しました。

システム動作: 詳しいブロック解析が行われます。

ユーザーの応答: なし

SLS1211I

Processing complete for the CCCC block

説明: BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの分析を完了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1212I

CCCCCCCC1 has been verified for the CCCCCCCC2 utility

説明: SLUADMIN ユーティリティー CCCCCCCC2 の情報 CCCCCCCC1 が検査されました。CCCCCCCC1 の例としては JCL があります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1213I

Discrepancy blocks have been generated

説明: バックアップ中、少なくとも 1 つの矛盾するブロックが生成されました。ボリュームシリアル番号かセル位置が無効であることがわかりました。ブロックは、SLSBKUP データセットに置かれ、復元での処理 (AUDIt、UNSELECT、UNSCRATCH) を実行できます。

システム動作: 矛盾するブロックは、SLSBKUP データセットに出力されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1214I

No discrepancy blocks were generated

説明: バックアップ中、矛盾するブロックは生成されませんでした。ユーティリティーは、ボリュームシリアル番号またはセルの矛盾を検出しませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1215I

CCCCCCCC1 was successfully copied to CCCCCCCC2

説明: CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 で指定されたデータセットに正しくコピーされました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1216I

CCCCCCCC was selected as the control data set to output

説明: CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットが、SLSBKUP データセットへの出力用に選択されました。これは、最新と考えられるデータセットに基づいて、BACKUP ユーティリティーのキーワード CDS(プライマリまたはセカンダリ)、または BACKUP ユーティリティープログラムのいずれかによって行われます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1217I

CCCCCCCC data set was not on DASD

説明: CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットは、直接アクセス記憶デバイス上にないことがわかりました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 直接アクセスデバイスに CCCCCCCC データセットを置いて、ユーティリティを再起動させてください。

SLS1218I

DHBEFLAGS may not have been reset in a CDS

説明: DHBE ホストアクティブフラグが、以前のエラー条件が原因でリセットされていません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 以前のエラーのレポートをチェックして、そこに示されたメッセージに従った処理を行なってください。

SLS1219I

CCCCCCCC1 data set was successfully restored from CCCCCCCC2

説明: CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 で指定されたデータセットから復元されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1220I

The HSC is not at the proper service level

説明: 指定のユーティリティを実行しようとしたましたが、HSC がこのユーティリティを実行するための適切なレベルにありませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: HSC を正しいサービスレベルに設定し、ユーティリティを再実行してください。

SLS1221I

No scratch volumes available for subpool CCCCCCCCCCCCCC

説明: EJECT ユーティリティがサブプール (CCCCCCCCCCCCCCCC) からスクラッチボリュームをイジェクトしようとしたましたが、このサブプールには使用できるスクラッチボリュームがありませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: スクラッチボリュームをイジェクトすべき別のサブプールを選択するか、または SCRATCH ユーティリティを実行してボリュームをスクラッチにしてください。

SLS1222I

COMMAND CCCCCCCC REQUIRES {HSC ACTIVE|HSC LEVEL BASE|HSC LEVEL FULL|VTCS ACTIVE}

説明: 指定のコマンドまたはユーティリティーを実行しようとしたますが、HSC または VTCS が必要なサービスレベルにありませんでした。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: HSC を適切なサービスレベルにまで上げるか、VTCS をアクティブにする必要があればアクティブにし、コマンドまたはユーティリティーを再実行してください。

SLS1223I

HSCLEVEL set to CCC for Host CCCCCCCC

説明: ホスト (CCCCCCCC) の CDS ホストアクティブフラグおよび HSC レベルフラグは、ホストが非アクティブであることを示すように設定されました。

システム動作: 指定のホストが実際にアクティブである場合以外は、何も行われません。この場合、実行中のホストにより、「ホストアクティブ」表示フラグと HSC レベル状況フラグが再びオンにされます。

ユーザーの応答: なし

SLS1224I

Cells AA:LL:PP:RR:CC- AA:LL:PP:RR:CC found empty or invalid

説明: 問題のセル (複数の場合もあります) が、空であるか、またはボリュームを保持できるセルでないことがわかりました。過去の監査と比較して、妥当性を確認してください。

システム動作: ボリュームはエラントになります。

ユーザーの応答: 必要に応じて指示されたセルを監査し、正しいかどうかを確認してください。

SLS1225I

Request cancelled or subsystem terminating

説明: ユーティリティーコマンドが試みられましたが、UI CANCEL コマンド経由で取り消されたか、HSC サブシステムが終了処理中であったため、コマンドが完了しませんでした。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: HSC サブシステムがアクティブであることを確認し、要求を再送信してください。

SLS1227I

RESTORE is required before running SET TCHNIQE

説明: SLUADMIN ユーティリティー (SET TCHNIQE) は、制御データセット回復 TCHNIQE を SET しようとしたますが、RESTore が稼働していないことを知らされました。SET TCHNIQE を実行する前に、BACKup と RESTore を稼働させなければなりません。

システム動作: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの応答: CDS コピーを RESTore 後、SLUADMIN ユーティリティー (SET TCHNIQE) ジョブを再送信します。

SLS1228I

Unable to select HSC subsystem; all HSC subsystems are MULT

説明: SLUADMIN ユーティリティまたは UII 要求が HSC サブシステムを選択しようとしたが、使用可能な HSC サブシステムのすべてが MULT モードで起動されていたため、サブシステムを選択できませんでした。

システム動作: ユーティリティが終了するか、または UII コマンドが実行されません。

ユーザーの応答: メッセージが SLUADMIN ユーティリティからのものであれば、このユーティリティを再送信し、EXEC 文に SSYS=xxxx パラメータを指定してください (xxxx = 目的の HSC サブシステムのサブシステム名を示します)。

メッセージが UII ユーティリティからのものであれば、正しいインタフェースパラメータが指定されていません。StorageTek ソフトウェアサポートにご連絡ください。

SLS1250D

ENTER of volume volser encountered missing duplicate volser;
(Logically) Delete, or Ignore (D,I)?

説明: ENTER 操作中、制御データセット内に重複ボリュームが見つかりましたが、そのボリュームをライブラリ内で物理的に見つけられませんでした。

システム動作: オペレータは、制御データセットのボリューム項目を削除 (D) するか、入力要求を無視 (I) するよう要求されます。

ユーザーの応答: 「D」と応答すると、制御データセットからボリューム項目が削除されるため、カートリッジを挿入できます。「I」と応答すると、新しいボリュームの入力処理は終了します。

SLS1251E

CAPid AA:LL:CC (CCCCCCCC1): CCCCCCCC2

説明: 指定の要求元 (CCCCCCCC1) が、CAP がオープンまたはロック解除されるときに、文字列 CCCCCCCC2 を表示するよう要求しました。

システム動作: なしこのメッセージは、CAP のドアを閉めると強調表示が解除されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1252I

EJECT of volser - Volume deleted from the CDS

説明: オペレータが、メッセージ SLS0925D に「I」と応答しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1253I

CCC...CCC rejected - CCC...CCC is CCC...CCC

説明: CAP 操作に失敗しました。次の SLS1253I メッセージが表示される可能性があります。

- ENTER|EJECT rejected - ACSid AA is invalid
- ENTER|EJECT rejected - ACSid AA is not connected
- ENTER|EJECT rejected - CAP AA:LL:CC is busy
- ENTER rejected - CAP AA:LL:CC is unavailable
- ENTER|EJECT rejected - LSMid AA:LL is invalid
- ENTER|EJECT rejected - LSMid AA:LL is offline
- ENTER of *volser* rejected - LSMid AA:LL is full
- ENTER of *volser* rejected - Operation is aborted by operator
- EJECT of *volser* rejected - Volume is busy
- EJECT of volume *volser* rejected - CAP AA:LL:CC is not in the same ACS as the volume

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1254I

{ENTER|EJECT} rejected; non-zero return code XXXXXXXX

説明: CAP 処理から、予期しないリターンコードが返されました。

システム動作: 要求は拒否されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1255I

Option DUPOFL set to ON, enter of dup volser allowed, scan of dup volser cell returned LMU RC - XXXX

説明: *volser* を ENter した際、制御データセットが *volser* の重複と思われるものをライブラリ内に検出しました。ハードウェアに問題があり、*volser* がある場所のセルに何があるかを制御データセットが物理的に検証するのを妨げています。LMU RC が、物理的に *volser* を参照できないようにしているハードウェア問題を定義しています。

システム動作: OPTION DUPOFL 設定を ON にすることで、重複 *volser* を処理できるようになりました。重複 *volser* は、制御データセットから論理的に削除されました。ENter 処理中に重複が見つかった *volser* は、ライブラリに入力されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1300D

CAPid AA:LL:CC allocated to AUDIT Utility; KEEP or RELEASE the CAP? (K or R)

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能に割り振られているカートリッジアクセスポート (CAP) は、解放されて、CAP の使用を必要とする別の機能に割り振れます。この CAP を解放した場合、ユーティリティ機能はしばらくした後その CAP の再割り振りを試みます。

システム動作: ユーティリティは、有効な応答が与えられるまで最大で 5 分間処理を保留します。

ユーザーの応答: CAP を解放する場合は、「R」と応答してください。そのあとで CAP を空にして、ドアを閉めてください。監査が再開されます。

ユーティリティの実行中、CAP を割り振られた状態にしておく場合は、「K」と応答してください。

5分以内に応答しないと、省略時の応答である「K」が想定されます。

SLS1301I

Invalid reply C

説明: メッセージに対する応答が無効でした。

システム動作: 応答を必要としていた元のメッセージが、再表示されます。

ユーザーの応答: もう一度メッセージが出されたら、有効な応答を行ってください。

SLS1302I

Unable to allocate CAPid AA:LL:CC, RC=XXXXXXXX

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、ユーティリティ制御文に指定された CAP を割り振れませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: メッセージに示された CAP エラーリターンコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS1303I

Unable to allocate CAP in ACSid AA, RC=XXXXXXXX

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティ機能が、指定の ACS 内の CAP を割り振れませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: メッセージに示された CAP エラーリターンコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS1310I

Invalid LIBONLY specified in PARM parameter of JCL

説明: SLUCONDB ユーティリティプログラムが、呼び出し元の JCL で誤って指定されている LIBONLY 定位置パラメータを検出しました。

システム動作: パラメータにエラーがあることが表示され、ユーティリティはリターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの応答: パラメータを正しく指定し直してください。

SLS1311I

Program interface error encountered while processing volume
volser; RC=XXXXXXXX

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、HSC プログラムインタフェースによってボリュームをスクラッチ状況に設定しているときに、エラーが起きました。

システム動作: メッセージにボリュームとリターンコードが示されます。ユーティリティーは、リターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの応答: このメッセージから出力されたほかのエラーメッセージを参照してエラーの原因を判別し、エラーを訂正してから、ジョブを再送信してください。

SLS1312I

DDDDDDDD volumes successfully scratched

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、メッセージに表示された本数のボリュームを、スクラッチ状況に正しく設定しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1313I

No valid parameters specified for the CCCCCCCC utility

説明: CCCCCCCC で示されたユーティリティーには、少なくとも 1 つの有効なキーワードかパラメータが必要です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 適切なキーワードを与えて、ユーティリティーを再送信してください。

SLS1314I

CDS CCCCCCCCCC was not provided in the JCL

説明: CDS データセット名 (CCCCCCCCC) が見つかりましたが、このデータセット名はユーティリティー JCL に与えられていません。

システム動作: ユーティリティーは終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: 適切な CDS DD 文をユーティリティー JCL に追加してください。

SLS1315I

DDDDDDDD was selected as the CCCCCCCC control data set

説明: ユーティリティー機能は、DHB ブロックまたは JCL から、データセット DDDDDDDD が CCCCCCCC CDS であると検出しました。

システム動作: ユーティリティーは続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1316I

Standby control data set not used during analysis

説明: ユーティリティ機能により、BACKUP OPT(Analyze) の実行中にスタンバイ DD 文が与えられたことがわかりました。

システム動作: ユーティリティはスタンバイデータセットの使用を中止します。

ユーザーの応答: なし

SLS1317I

No DES record found for errant volume *volser*

説明: AUDIT 処理中、ボリューム *volser* がエラントであることを示す VAR レコードが見つかりました。しかし、該当するエラントボリュームに対する DES レコードが、CDS 内で見つかりませんでした。SLUADMIN AUDIT レポートにこのメッセージが表示される場合は、メッセージ SLS0180I が同時に表示されます。

システム動作: ユーティリティは、要求された機能を完了せずに終了します。

ユーザーの応答: このメッセージは、CDS での重大な論理的問題を示すもので、データベースの破壊が起こったことを示していると考えられます。すべてのコンソールログ (SYSLOG) を保管し、CDS のバックアップコピーを問題の資料として提供できるように用意してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1318I

Volume *volser* now has a readable label

説明: AUDIT 処理中、ボリューム *volser* に読み取り不能外部ラベルが付いていることを示す VAR レコードが見つかりました。しかし、実際にそのボリュームをスキャンしたら、OCR ラベルは読み取り可能であって VAR 内のボリュームシリアル番号と一致することが示されました。

システム動作: ユーティリティは、ボリュームに読み取り可能な外部ラベルが付いていることを示すよう CDS を更新します。

ユーザーの応答: なし

SLS1321I

Invalid parameter found at end of PARM parameter of JCL

説明: SLUCONDB ユーティリティプログラムが、JCL の起動で指定された有効なパラメータのあとに追加の文字を検出しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: PARM パラメータを正しく指定しなおしてください。そのあと、ユーティリティを再度実行してください。

SLS1401I

User exit 03 overridden by VOLPARM definitions

説明: ユーザー出口 03 定義が SET VOLPARM ユーティリティの定義で指定変更されました。TYPE(SCRATCH) POOLPARM が 1 つも SET VOLPARM ユーティリティに含まれていない場合は、SCRATCH POOL は何も定義されません。

システム動作: SET VOLPARM ユーティリティの定義がアクティブになります。

ユーザーの応答: なし

SLS1402I

Actual entries=nn or subpools=nn not equal expected

説明: ユーザーの SLSUX03 ユーザー出口から、ボリュームのサブプールが作成されましたが、初期の SLSUX03 ユーザー出口の定義に準拠していませんでした。

システム動作: なし。サブプールは、実際のサブプール数と項目数で作成されます。

ユーザーの応答: SLSUX03 ユーザー出口を訂正して、サブプールを正しく定義してください。

SLS1403I

Parmlib control statement value CCCCCCCC invalid for SCRPOOL=CCCCCCCC

説明: SCRPOOL 制御文の処理で、指定のエラーが見つかりました。

「value CCCCCCCC」の「CCCCCCCC」に含まれる可能性のあるテキストは、次のとおりです。

RANGE	「RANGE」の使用に問題があることを示しています
RANGE=(111111-222222)	「RANGE」リストに問題があることを示しています
111111	指定のSCRPOOL範囲リストの最初の値
222222	指定のSCRPOOL範囲リストの2番目の値
NAME	「NAME」の使用に問題があることを示しています
LABEL	「LABEL」の使用に問題があることを示しています
HOSTID	「HOSTID」の使用に問題があることを示しています

システム動作: エラーのある SCRPOOL 制御文は処理されず、そのサブプール定義はシステムに置かれません。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、HSC を停止 / 再起動してから、変更を反映させてください。

SLS1404I

Duplicate definition(s) for SCRPOOL CCCCCCCCCCCCCC

説明: すでに定義されているサブプール名に対する SCRPOOL 文が見つかりました。

システム動作: 重複する定義は無視されます。

ユーザーの応答: HSC 起動パラメータまたは SCRPFDEF ファイルから、サブプール CCCCCCCCCCCCCC に対する重複した定義を削除してください。

SLS1405E

Virtual SCRPOOL CCCCCCCC not found in current definitions

説明: 仮想ボリュームの現行のスクラッチカウントを計算中に、VTCS が未知のスクラッチプール名を HSC に返しました。

システム動作: HSC Display SCRatch コマンドでは、未知の仮想スクラッチサブプールを名前が付いたサブプールとしては報告しませんが、サブプールのスクラッチカウントを仮想スクラッチカウントの総数として追加します。

ユーザーの応答: この状態は発生すべきものではなく、ソフトウェアエラーの可能性あります。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1406I

Label Type CCC is already assigned to SUBPOOL CCCCCCCCCCCCCC

説明: HSC の初期設定中に、同じサブプールに複数のラベルタイプが割り当てられていることがわかりました。

システム動作: ユーザーエラーの可能性あります。HSC にサブプールを定義する際、サブプールごとに、ラベルタイプが必ず 1 つだけ指定されるようにします。

ユーザーの応答: HSC ユーザー出口 03、またはスクラッチサブプールを定義する HSC PARMLIB メンバーのいずれかにあるユーザーエラーを訂正してください。

SLS1407I

User SCRATCH subpool definition from CCCCCC initiated

説明: CCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が開始されました。

CCCCCC が「PARMLIB」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義ソースは、「SLSSYSnn」DD カードです。「UEXIT03」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。

システム動作: ユーザー SCRATCH サブプールが定義されます。通常このメッセージに続いて、メッセージ SLS1969I および SLS1408I が表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1408I

User SCRATCH subpool definition from CCCCCC complete

説明: CCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が完了しました。

CCCCCC が「PARMLIB」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義ソースは、「SLSSYS00」DD カードです。「UEXIT03」の場合、ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。

システム動作: なし。通常このメッセージの前に、メッセージ SLS1407I および SLS1969I が表示されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1409I

Subpool CCCCCCCCCCCC has duplicate volser range volser-volser

説明: サブプール (CCCCCCCCCCCC) の定義の中のボリュームシリアル番号の範囲が重複しています。

システム動作: サブプール定義がロードされていません。

ユーザーの応答: サブプール CCCCCCCCCCCC のユーザー出口 03、parmlib SCRPool 定義、または SCRPFDEF スクラッチのサブプール定義に、重複する volser 範囲がないことを確認してください。

SLS1410I

VCAM cleaner error detected for LSM AA:LL

説明: LSM AA:LL のクリーナーカートリッジを記録する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、エラーがありました。カートリッジの低位シリアル番号の方が、高位シリアル番号より大きいです。

システム動作: HSC は、すべてのクリーナボリュームレコードを読み取り、それらと LSM のクリーナデータとの同期を取ります。その後、クリーナ選択処理を再試行します。

ユーザーの応答: なし

SLS1411I

SCRPFDEF cmd(s) disabled by PARMLIB SCRPOOL(s) or USER EXIT03

説明:

1. SCRPOOL コマンド、またはユーザー出口 03 処理によって、HSC STARTUP の間に SCRPFDEF コマンドが無効になっています。
2. SLS1411I メッセージは、HSC STARTUP 処理を行うときに発行され、SCRPFDEF コマンドを使用不能にします。
3. このメッセージは、SCRPFDEF コマンドが使用不能になった後に SCRPFDEF コマンドが要求された場合にも発行されます。

システム動作: SCRPFDEF コマンドがバイパスされます。

ユーザーの応答:

- SCRPFDEF コマンドが正しい HSC PARMLIB および HSC の起動処理を必要とした場合は、次の処理を行なってください。
 - SCRPOOL コマンドを削除する。
 - ユーザー出口 03 処理を除去する。
- SCRPFDEF コマンドが必要とされない場合は、訂正処置は必要ありません。

SLS1450I

CAP cannot be released.LSM AA:LL is not available

説明: HSC が LSM AA:LL と通信できなかったため、その LSM 上の CAP の解放要求が処理されませんでした。

システム動作: CAP は、HSC によっては解放されません。

ユーザーの応答: LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージに対するコンソールログを調べてください。LMU エラーまたはハードウェアエラーが示されている場合があります。おそらく、LSM が非アクティブか、作動不能です。ハードウェアエラーが見つかった場合は修正し、もう一度 CAP を解放してみてください。

SLS1500I

Error copying primary data base to secondary and/or standby data base

説明: セカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットが無効である可能性があります。

システム動作: 再構成処理は停止します。

ユーザーの応答: 導入システムで、IEBGENER のようなユーティリティを使用し、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーできます。

SLS1501I

SYNAD Error Message text

説明: 再構成処理の最後で、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーした際に、SYNAD エラールーチンに制御が渡されました。このメッセージテキストは、SYNAD 処理によって提供されたテキストです。

システム動作: 再構成処理は停止します。

ユーザーの応答: エラーの原因を判別してください。そのあと、導入システムで、IEBGENER のようなユーティリティを使用して、プライマリ制御データセットを、セカンダリまたはスタンバイ、あるいはその両方の制御データセットにコピーできます。

SLS1502I

SMF subparameter CCCCCCCC; no SMF data will be recorded

説明: このサブシステムの SUBPARM パラメータが指定されていないか、または無効です。

システム動作: サブシステムのデフォルトは、SMF 記録なしです。

ユーザーの応答: インストールで SMF 記録を追加する必要がある場合には、「SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...)))」を指定して SET SMF または SETSMF コマンドを入力することができます。

SLS1505I

HSC service level {BASE|FULL} initialization complete

説明: HSC の初期化が表示されているサービスレベルについて終了しました。

このメッセージは、BASEまたはFULLサービスレベルについての初期化が終了すると表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1506I

HSC service level {BASE|FULL} termination in progress

説明: HSC は表示されているサービスレベルの終了処理を開始しました。このメッセージは、BASE または FULL サービスレベルについての終了処理が開始されると表示されます

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1507I

Command starting at line NN has excessive length

説明: HSC が、パラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとした際に、長すぎるコマンドを見つけました。オペレータコマンドの場合、この制限は 126 です。ほかのコマンドの場合、この制限は 32767 です。

システム動作: 処理は続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

SLS1508I

Unknown command CCCCCCCC at line NN

説明: HSC が、パラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとした際に、定義されていないコマンドを見つけました。

システム動作: 処理は続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

SLS1509I

I/O error CCCCCCCC

説明: 入出力エラーが起きました。CCCCCCCC は、エラーを説明するメッセージです。MVS の場合、これは SYNADAF メッセージバッファからの情報です。VM の場合、これには、ジョブ名、デバイスアドレス、DD 名、DECBC ECB の 16 進ダンブ、相対ブロック番号が含まれます。

システム動作: パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。システムは、可能であれば、初期設定を続けます。しかし、CDS 文または JOURNAL 文がない場合、処理を続けることは不可能です。

ユーザーの応答: パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS 文または JOURNAL 文の場合は、エラーを訂正して、HSC を再起動させてください。

SLS1510I

Comment not terminated near line NN

説明: パラメータデータセットの処理中に、*/** で始まった注釈が **/* で終わりませんでした。これは、行 NN の近くで見つかりました。

システム動作: コマンドの */** の後ろの部分は無視されます。エラーのあったコマンドの後続のコマンドは処理されますが、さらにエラーが起こる可能性があります。

ユーザーの応答: 注釈の終わりを示す標識 (**/*) を、パラメータデータセットに加えてください。

SLS1511I

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

説明: HSC が資料として使用するために、パラメータデータセットからハードコピーログに情報を送っています。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1512I

Error occurred processing CCC...CCC

説明: パラメータデータセット (CCC...CCC) の処理中にエラーが起こりました。

システム動作: パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。システムは、可能であれば、初期設定を続けます。しかし、CDS 文または JOURNAL 文がない場合、処理を続けることは不可能です。

ユーザーの応答: パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS 文または JOURNAL 文の場合は、エラーを訂正して、HSC を再起動させてください。

SLS1513I

HSC service level {**BASE**|FULL} termination complete

説明: メッセージに示されたサービスレベルの HSC が終了しました。この終了処理は、オペレータコマンドによって開始された場合は正常です。一方、回復できないソフトウェア障害が原因で HSC そのものによって開始された場合は異常です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1515I

MVS 4.1.0 services are not present

説明: 必要なサービスをサポートしていない (CVTH4410 がオンになっていない) MVS 上で、HSC の MVS 4.1.0 版の初期設定が行われようとしていました。

システム動作: HSC は初期設定を行いません。

ユーザーの応答: 正しいバージョンの HSC を開始してください。

SLS1516I

HSC Version CCCCCCCC

説明: CCCCCCCC には、初期設定中の HSC のバージョンが表示されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1517A

The HSC task name does not match a subsystem name or the SSYS keyword was not provided

説明: 初期設定中、サブシステム名は、起動手順名、または起動プロシージャ内の PARM="SSYS(CCCC)" 定義のいずれかと一致しなければなりません。CCCC は、1 - 4 文字のサブシステム名を示します。

SSYSパラメータが指定されている場合、HSCはSSYSパラメータの値に一致するサブシステム名を探索します。SSYSパラメータが指定されていない場合、HSCは起動手順の名前 (スターテッドタスク名)を使用して探索を行います。

MVS では、サブシステム名は、IEFSSNxx で定義されます。VMの場合、起動手順は HSC 起動用 SLKJCL ファイルです。システムプロファイル (SYSPROF)のLIBSUBSYS パラメータ値がHSC 起動 SLKJCL ファイルのジョブ名と一致するか、またはSSYSパラメータ値がLIBSUBSYSパラメータ値と一致しなければなりません。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: 正しいサブシステム名かジョブ名を与えて、HSC を再起動させてください。

SLS1518I

Pre-initialization complete

説明: INIT パラメータを使用して呼び出された HSC 起動手順が完了しました。

システム動作: INIT パラメータは、ジョブ入力サブシステム (JES) サービスを使用するために、サブシステムを起動させます

ユーザーの応答: なし

SLS1519I

PARMLIB command CCCCCCCC at line MN is not supported in this environment - ignored

説明: HSC がパラメータデータセットからコマンドを読み取っているときに、この環境 (MVS または VM) ではサポートされていないコマンドが見つかりました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1520I

PARMLIB command CCCCCCCC at line nn must be run as a utility -
IGNORED

説明: HSC PARMLIB のコマンド CCCCCCCC は、ユーティリティーとしてのみ有効です。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: HSC と VTCS コマンドに有効な環境を調べるには、Display CMD CCCCCCCC を使用してください。PARMLIB から使用できないコマンドを実行するには、SLUADMIN ユーティリティーを実行してください。

SLS1521I

No TAPEPLEX name found in CDS

説明: HSC 起動中に、TAPEPLEX の名前が設定されていなかったことが見つかりました。

システム動作: なし SMF レコードには、TAPEPLEX 名が含まれないことになります。これは統計レポートに影響を与えることがあります。

ユーザーの応答: SET TAPEPLEX ユーティリティー機能を動作させ、TAPEPLEX 名を適切な値に設定するか、SMC を起動し TAPEPLEX 名を自動的に設定してください。TAPEPLEX 名の設定後、一致しない TAPEPLEX 名から送られてきた SMC コマンドはすべて拒否されます。

SLS1600I

HOST-to-HOST Summary:

```
      Hostid Method MethLim VTAMname LMUpath
[>>] host1 meth1 methlim1 [name1] [acsid1]
      host2 meth2 methlim2 [name2] [acsid2]
      . . . . .
      . . . . .
      . . . . .
      hostn methn methlimn [namen] [acsidn]
```

説明: 定義されている HSC ホスト ID のリストが、対応する現在の方式とその限界値とともに表示されます。「>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。定義されている場合は、VTAMpath 名が表示されます。現在の方式が LMU である場合、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1601I

Host-to-Host Detail:

```
[>>]Hostid=hostid1
Method=meth
Method limit=methlim
[VTAMname=name]
[Active LMU path=acsid]
[LMU path(s) defined:
acsid1 acsid2 acsid3 acsid4
acsid5 acsid6 acsid7 acsid8
. . . .
. . . .
. . . . acsidn ]
```

説明: 定義済みの HSC ホスト ID の現在の設定値が表示されます。「>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。定義されている場合は、VTAMpath 名が表示されます。現在の方式が LMU である場合、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。LMUpath ACSids が定義されている場合は、探索順に ACSids のリストが表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1602I

Method CCCC invalid; no CCCCpath defined

説明: 指定された通信方式に対応する経路が定義されていません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 前もって経路を定義してある通信方式を指定するか、または必要な経路を定義して、コマンドを再実行してください。

SLS1603I

Cannot delete all CCCC path definitions while current method is CCCC

説明: 現在アクティブな通信方式に対する経路定義のすべてを削除することはできません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 現在の通信方式に非アクティブである経路定義を指定してコマンドを再実行するか、または新しい通信方式を指定するコマンドを入力してください。

SLS1604I

Cannot {delete|modify} active CCCC path definition

説明: 現在アクティブな経路定義を削除、または変更することはできません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 経路を非アクティブ化する、経路を変更する、通信方式を変更する、のいずれかを行った後、コマンドを再入力してください。

SLS1605I

No matching CCCC path definition to delete

説明: DEL パラメータで指定された経路定義は現在存在しません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しい経路定義を指定して、コマンドを再実行してください。

SLS1606I

Too many CCCC path definitions specified

説明: 経路定義の数が、許可されている最大数を超過しました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 使用しない定義や不要な定義を削除してから、任意の正しい経路定義を指定して、コマンドを再実行してください。

SLS1607I

MONITOR STATUS:

CCCCCCCC1 - CCCCCCCC2

説明: このメッセージは、Display MONitor コマンドに対して出されます。CCCCCCCC1 はコンソールを示し、CCCCCCCC2 は現在のモニタータイプを示しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1608I

Undefined CCCCCCCC specified: XXXXXXXX

説明: パラメータ値 (CCCCCCCC) が前もって定義されていません。XXXXXXX は、指定されたものを示します。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1609I

No valid parameters specified for CCCCCCCC command

説明: CCCCCCCC コマンドの入を試みましたが、有効なパラメータが指定されていませんでした。直前のメッセージに、エラーの説明がされています。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 有効なパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1610I

Method CCCC is higher than limit defined for host CCCCCCCC

説明: 通信方式 (CCCC) が、通信方式の階層内において、ホスト (CCCCCCCC) に定義された上限よりも上位にあります。このホストは、コマンドを実行しているホストか、コマンドによって指定されたホストのいずれかです。

システム動作: コマンドは完了しますが、可能な場合、通信方式は指定のホストに設定された方式の上限になります。結果として、通信方式は指定した通信方式には変わりません。

ユーザーの応答: なし必要であれば、ホストの通信方式の上限を変更してから、コマンドを再実行してください。

SLS1611I

Invalid RETRY function - CCCCCCCC

説明: RETry コマンドに指定された機能 (CCCCCCCC) が無効です。

システム動作: RETry コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: 該当する ELS ガイドを参照するか、または HSC Display CMd RETry コマンドを発行して、現在サポートされている RETry 機能を判別してください。

SLS1613I

Data set CCCCCC1 {ENABLED|DISABLED}

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CDs Enable コマンドまたは CDs Disable コマンドが出され、処理が完了しました。

システム動作: HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1614I

Auto Enable {ENABLED|DISABLED}

説明: Auto Enable コマンドが出され、有効または無効のいずれかになります。

システム動作: HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1615I

Journal {ABEND|Continue} option enabled

説明: Journal FULL=Abend コマンドまたは Continue コマンドが出され、正常に終了しました。

システム動作: HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1616I

Disable request rejected; last active CDS cannot be disabled

説明: 使用禁止要求が、アクティブな最後の CDS に対して出されました。

システム動作: 要求は失敗します。処理は許可されません。HSC は、アクティブな CDS のコピーを少なくとも 1 つは備えていなければなりません。さもなければ、HSC は停止してしまいます。

ユーザーの応答: オペレータコマンド HSC Display CDS を出して、すべての CDS コピーの状況を確認してください。

SLS1617E

Request failed; data set CCCCCC1 not known to this host

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CDs Disable 要求が出されましたが、入力されたデータセットが、このホストに認知されていませんでした。

システム動作: HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: 現在 HSC が認識しているデータセットのみが利用不可になります。Display CDS コマンドを使用して、現在の CDS 定義をリストに表示し、CDs Disable コマンドを再発行してください。

SLS1619I

{ENABLE|DISABLE|EXPAND} request failed

説明: CDs Enable、Disable、または EXpand 要求の処理中にエラーが起きました。

システム動作: HSC は通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: 要求に関係するほかの HSC エラーメッセージを確認してください。

SLS1620I

Enable request validation for data set CCCCCC1 failed; CCCCCC2

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CCCCCC は次のいずれかになります。

- Allocation failed
- Deallocation failed
- Data set must be allocated
- Open failed
- Close failed
- Read failed
- Not a valid CDS
- Data set is in error
- Invalid flag

Enable CCCCCC1 に対し、システムは、与えられたデータセット名の妥当性を検査するために、そのデータセットの割り振り、オープン、読み取り、検証を行います。そのあと、データセットのクローズと割り振り解除を試みます。これらのテストに成功すると、CDS の使用許可と切り替えの一方または両方が行われます。これらのテストに失敗した場合、このメッセージには、失敗したテストが示されます。

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: それまでに出力された MVS コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS エラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1621I

To enable a new CDS data set, only one CDS copy can be inactive; currently multiple copies inactive

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセットをアクティブにする試行は、CDS のコピーが 2 つ以上アクティブでないため、失敗しました。

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: Display CDS コマンドを使用して、現在の CDS データセット定義を表示します。CDs Enable コマンドで既知の CDS コピーの 1 つをアクティブにし、次に最初の CDs Enable コマンドを再発行して新しい CDS データセットをアクティブにしてください。

SLS1622I

Down-level host CCC1 found active during attempt to CCCCCCCC2

説明: HSC 5.0 の機能で CDs コマンドの発行を試行しましたが、ホスト CCC1 でダウンレベルの HSC システムがアクティブであることを検出しました。CCCCCCCC2 は、次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

Enable new CDS data set
Expand CDS

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: ホスト CCC1 でダウンレベルの HSC (およびほかのホストのダウンレベルの HSC) を停止し、CDs コマンドを再発行してください。

SLS1623I

CDS CCCC...CCCC inactive; all CDS copies must be enabled to expand CDS

説明: CDs EXpand コマンドで CDS の拡張を試行しましたが、CDS のコピーであるデータセット CCCC...CCCC がアクティブでないことが検出されました。CDS の拡張には、すべての CDS コピーがアクティブ (使用可能) である必要があります。

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: CDs Enable コマンドを使用して CDS CCCC...CCCC をアクティブにします。次に CDs EXpand コマンドを再発行してください。

SLS1624I

Attempt to CCCCCCCC failed; could not read DHB

説明: CDs コマンドで HSC 5.0 機能の実行を試行しましたが、アクティブな CDS DHB レコードの読み取り中に失敗しました。CCCCCCCC は、次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

Enable new CDS data set
Expand CDS

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: それまでに出力された IBM コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS 読み取りエラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1625I

CCCC..CCC1 obsolete; use CCCC..CCC2

説明: 要求された機能 CCCC..CCC1 はもうサポートされていません。指定された代替の CCCC..CCC2. 以下に示すのは、要求された機能とその代替機能との対応表です。

LOad SLSDDQR	Display CDS
LOad SLSLDQR	Display Requests
LOad SLSMDQR	Display DRives

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1626I

CCCCCCCC Parms installed from data set DDDDDDDD

説明: LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、SCRDEF、LKEYDEF、VOLDEF、または MVCDEF のいずれかのコマンドに応答し、HSC は上記のデータセットに含まれたパラメータ文を正常にロードしました。このメッセージが出された後、ロードされたパラメータは HSC によってただちに使用されます。

CCCCCCCC	インストールされるパラメータのタイプ (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRDEF、UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF)
DDDDDDDD	データセット名

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1627I

CCCCCCCC ParmS not installed, Reason code XXXX

説明: LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、VOLDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、または MVCDEF のいずれかのコマンドに対する応答で、HSC は上記のデータセットに含まれたパラメータステートメントを正常にロードしませんでした。

CCCCCCCC	インストールされるパラメータのタイプ (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPFDEF、UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF)
XXXX	16 進数の理由コード

次の理由コードと定義は、パラメータがロードされなかった理由を示します。

- 0008 – 1つ以上の文で構文エラーが発生しました。
- 0009 – 2つの文間で矛盾が検出されました。
- 000A – サポートされていないパラメータが JES3 システムで指定された
- 000C – データセットの読み取りで発生した 入出力エラー。
- 0010 – HSC がデータセットを割り振ることができなかった
- 0014 – HSC がデータセットをオープンできなかった
- 0018 – データセットの処理に使用できるメモリーが不足しています。
- 001C – エラー数が多すぎる

いずれの場合でも、このメッセージの前にメッセージ SLS1628I または SLS0002I が出力され、見つかったエラーの詳細が示されます。

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再試行してください。

SLS1628I

CCCCCCC: Record DDDDDDD ... EEEE

説明: LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、VOLDEF、MVCDEF、LKEYDEF、SLSMERGE、または SCRPDEF コマンドまたは制御文の処理時に、HSC にエラーが起きました。

CCCCCCC	コマンドまたは制御文の種類 (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、VOLDEF、UNITDEF、MVCDEF、LKEYDEF、SLSMERGE、SCRPDEF)
DDDDDDD	ファイル内のレコード番号を示す 10 進数値。
EEEE	複数行からなるこのメッセージの次の行を識別するためのシステム生成番号。

レコード番号により、エラーが発生した文を識別できます。レコード番号がゼロ (0) の場合、データセットの問題、または 2 つ以上のレコードが関係するエラーが発生していることを示します。

このメッセージは2行に分かれたメッセージであり、2行目はエラーの性質を示します。2行目のテキストは次のいずれかです。

- ACS - unknown ACSid

ACSキーワードに指定されたACSidをHSCが認識していません。

- ACSlist - duplicate ACSids

ACSlist キーワードで指定されたACSidのリストは、重複する値を含んでいます。

- ACSlist - maximum number of ACSids exceeded

ACSlist キーワードで指定されるACSidsの数が、許容最大数を超えています。

- ACSlist - unknown ACSid

ACSlist キーワードで指定された1つまたは複数のACSidをHSCが認識していません。

- ARCHAge - Must be between 1 and 999 days

ARCHAgeパラメータの値が限界値を超えています。

- ARCHPol - Number of STORCLAS names exceeds maximum

VTCSのCDS レベルに応じて、ストレージクラス名の数は2つまたは4つに制限されています。

- ARCHPol - STORclas name is invalid

ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。

- CCCCCC value out of range; must be D-DDD

MVCPoolパラメータで指定された値が、許容範囲内にありません。

CCCCCC = MVCFREE、MAXMVC、THRESH、またはSTARTパラメータ
D-DDD = パラメータ値の許容範囲

- ファイルの終わりでコメントが閉じていません。

- 最後の文の終了前に、ファイルの終了が見つかりました。

- CONSRC - invalid specification
ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。
- CONSRC - MIGpol does not specify > 1 STORclas name
MIGpolパラメータも必須です。また、3つ以上の一意の名前を含む必要があります。
- CONSRC - No matching STORclas name on MIGpol parameter
指定されたストレージクラス名がMIGpolパラメータの名前のいずれかと一致している必要があります。
- CONSRC - VSM(ADVMGMT) FEATures not active
- CONTGT - invalid specification
ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。
- CONTGT - VSM(ADVMGMT) FEATures not active
- DELSCR - invalid specification
DELSRC キーワードで指定された値が、NOまたはYESではありません。
- Drives specified in list or range are not the same type of device
- DUPlex - invalid specification
DUPlex キーワードで指定された値が、YESまたはNOではありません。
- Duplicate UNITATTR ADDRESS value encountered
- Error allocating data set; Code XXXX-XXXX
XXXX-XXXX = DYNALLOC エラー/理由コード
- Error opening data set; Completion code XXX-XX
XXX-XX= OPEN 完了コードと理由コード
- Error near column NNN:TTTTTTTT
NNN = エラーが見つかった列番号
TTTTTTTT = エラーテキスト
- CCCCCCCC {parameter | list | range}: TTTTTTTT の近くでエラーが発生しました。
CCCCCCCC = エラーになったパラメータ、リスト、または範囲
TTTTTTTT = エラーテキスト（下記参照）

上記の2つの2行目のメッセージのエラーテキスト（TTTTTTTT）には次のものが含まれます。

- Cleaning Media invalid as media value
- Co-requisite parameter missing
- 値の長さが無効です。
- 無効な値です。
- 必須パラメータが指定されていません。
- 相互に排他的なパラメータが存在しています。
- 定位置エラーです。
- 必須の値が見つかりません。
- 構文エラーです。
- キーワードが不明です。

- 値を入力できない位置に値が入力されました。
- エラーの数が多過ぎるため、ファイル処理が終了しました。
- FUNCTION - Unrecognized value
- データセット読み取りで発生した 入出力エラー : CCCCCCCC
CCCCCCCC = SYNADAF エラーメッセージ。
- IMMEDmig - invalid specification
IMMEDmig キーワードで指定された値がNO、KEEP、またはDELETEではありません。
- メモリーが不足しています。
- LKEYINFO: 提供された情報は無効です。
LKEYINFO文に提供された情報は無効です。
- LMUADDR IP addr invalid; CCCCCCCC
LMUADDR パラメータがIPアドレスのように見えますが、IPv4 と IPv6 のいずれのアドレス形式にも準拠していません。
- LMUADDR unknown hostname; CCCCCCCC
LMUADDR が有効な IP アドレスではなく、有効なホスト名として解決できません。
- LMUADDR no IPv6 support; CCCCCCCC
LMUADDR パラメータが IPv6 アドレスを指定しましたが、ホストでは IPv6 プロトコルをサポートしていません。
- LMUADDR list contains more than maximum allowed items
4つのホスト名またはIP アドレスの最大値は、単一のLMUADDR キーワードに指定されます。
- LMUADDR unable to initialize the EZASMI API
TCP/IP サポートモジュールが使用できず、初期設定するためのソケット通信インタフェースが使用不可です。
- LMUPATH duplicate ACS ID found
ACS IDは、以前のLMUPATH文でも指定されています。
- LMUPATH Invalid ACS ID found
指定されたACS IDはHSCについて定義されていません。
- LMUPDEF: LMUPATH 文を含みません。
LMUPDEFファイルの読み取り中にLMUPATH文を検出できない場合は、このテキストは発行されません。LMUPATH 文がファイルにある場合は、以前の注釈文を見直す必要があります。注釈は、/* で始まり */ で終わる注釈ブロック内になくってはなりません。73-80 列は無視されます。
- MAXCLEAN incompatible with implied/default MEDIA
MEDia キーワードが指定されておらず、しかも暗黙指定または省略時のメディアタイプはSTDでもDD3DでもSTK1UでもSTK2W(MAXcleanと互換性のある唯一のメディアタイプ)でもありません。MAXclean キーワードを除去するか、または互換性のあるメディア値を使用してMEDia キーワードを指定してください。

- MAXCLEAN incompatible with MEDIA(XXXXXXXXX)
XXXXXXXXXは、MEDia キーワードに指定される値です。STD、DD3DおよびSTK2W (あるいは、その同義語または省略語のいずれか) だけが、MAXcleanと互換性のあるメディア値です。
- MAXCLEAN valid only for Cleaning Cartridge Volsers (XXXXXX)
XXXXXXは、クリーニングカートリッジボリュームシリアル番号の形式を表します。その構成は、HSCのクリーナー接頭辞のあとにxxxが続いたものです。
- MAXCLEAN value not within allowable range
MAXclean キーワードが指定されましたが、その値は1-32767の許容範囲内にありません。
- MAXVtvsz exceeds that supported by CDS - DEFAULTED
値は指定されていますが、VTCS システムがその値をサポートするように設定されていません。値はデフォルト値の400に変更されています。
- MAXVtvsz- invalid specification
MAXVtvsz キーワードで指定された値が、400または800ではありません。
- MEDIA - cleaner cartridge media invalid
STORclas文のクリーナーカートリッジのメディアタイプが無効です。
- MEDIA - duplicate types in list
STORclas文で重複メディアタイプが見つかりました。
- MEDIA - too many types in list
STORclas文では、メディアタイプの数は20 以下にする必要があります。
- MGMTCLAS is not valid with this FUNCTION
- MIGpol - Number of STORclas names exceeds maximum
VTCSのCDS レベルに応じて、ストレージクラス名の数は2つまたは4つに制限されています。
- MIGpol - STORclas name is invalid
ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。
- MIGpol - VSM(ADVMMGMT) FEATures not active
- MVCPOOL Names ALL and DEFAULTPOOL not allowed
- MVCPOOL values conflict with those on Record DDDDDDDD
MVCPOOL文は、名前が同じ前のMVCPOOL文とは異なるMVCFREE、MAXMVC、THRESH、またはSTART 値を持つ必要があります。
DDDDDDDD =前のMVCPOOL文のレコード番号
- MVCPOOL/STORCLAS not valid with FUNCTION(SPECIFIC)
- MVCPOOL/STORCLAS/PREVVTSS not valid with FUNCTION(SCRATCH)
- NAME - invalid specification
NAME キーワードで指定された値が、8 文字を超えるか、無効な文字を含んでいます。NAMEで指定された値は、AからZで始まり、AからZ、0から 9、\$、#、@ だけを含むことができます。
- パラメータは JES3 でサポートされていません。

- REPlicat - invalid specification
REPlicat キーワードで指定された値が、NOまたはYESではありません。
- REPlicat(YES) - VSM(ADVMGMT) FEATures not active
- RESTIME - invalid specification
RESTIMEの値は1から 9999の間である必要があります。
- RESTIME - Mutually exclusive with IMMEdMIG(DELETE)
VTVをVTSS 内に常駐させるかどうかは指定できません。また、移行および削除をすぐに実行するかどうかも指定できません。
- RESTIME - VSM(ADVMGMT) FEATures not active
- 文が長すぎます。
- STORclas - Migrate option invalid specification
MIGRATEパラメータに指定した値は無効です。
- STORclas - VSM(ADVMGMT) FEATures not active
- Text indicating that unit, model, media type and rectech are invalid or incompatible
- 文を認識できません。
- Volser specification conflicts with that on Record DDDDDDDD
MVCPOOL文のVOLSER 指定は、名前が異なる前のMVCPOOL文で定義されたVOLSERと部分的に重複します。
DDDDDDDD =前のMVCPOOL文のレコード番号
- VTSSSEL - VSM(ADVMGMT) FEATures not ACTIVE
- VTVPAGE - invalid specification
VTVPAGE キーワードで指定された値が、STANDardまたはLARGEではありません。
- VTVPAGE value not supported by CDS - Ignored
LARGEのパラメータ値がCDSのレベルでサポートされていません。要求は無視され、STANDardの値が使用されます。
- VTVPAGE(STANDard) is invalid with MAXVtvsz > 800 - defaulting to LARGE
MAXVtvsz > 800 の場合、パラメータ値 STANDard は有効ではありません。要求は無視され、LARGE の値が使用されます。
- Wild card(s) not allowed in MVCPOOL
MVCPOOL文では、VOLSER 指定にワイルドカードを使用することができません。

ここに記載していないテキストについての詳細は、メッセージ SLS1973I を参照してください。

システム動作: 表示されたレコード番号がゼロであったり、ファイルで 50 個のエラーが検出されたりしないかぎり、HSC はデータセットの処理を続けます。この 2 つの場合、データセットの処理は終了します。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再発行してください。

SLS1629I

CCCCCCCC: DDDDDDDD does not contain any stmts to process

??:

CCCCCCCC	コマンドまたは制御文のタイプ (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、VOLDEF、UNITDEF)
DDDDDDDD	データセット名

LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、UNITDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、またはVOLDEF のいずれかのコマンドにHSCが応答する際、上記のデータセットの中に適切なタイプの文がありませんでした。各コマンドに対する適切な文は次のとおりです。

- LMUPDEF - LMUPATH
- MGMTDEF - MGMTCLAS
- TREQDEF - TAPEREQ
- VOLDEF - VOLATTR
- UNITDEF - UNITATTR
- SCRPFDEF - SCRPOOL
- LKEYDEF - LKEYINFO

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再試行してください。

SLS1630I

CCCCCCCC parameters are not loaded

説明:

CCCCCCCC	コマンドまたは制御文のタイプ (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPFDEF、LKEYDEF、VOLDEF、UNITDEF)
----------	---

Display LMUPDEF、Display MGMTDEF、Display SCRPFDEF、Display TREQDEF、Display UNITDEF、Display LKEYDEF、Display VOLDEF のいずれかのコマンドにHSC が応答する際、該当するタイプのパラメータがロードされていないことがわかりました。

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1631I

CCCCCCCC parameter status:

??:

CCCCCCCC	コマンドまたは制御文のタイプ (LMUPDEF、MGMTDEF、TREQDEF、SCRPDEF、LKEYDEF、VOLDEF、UNITDEF)
----------	--

Display MGMTDEF、Display TREQDEF、Display UNITDEF、Display LMUPDEF、Display LKEYDEF、Display SCRDEF、Display VOLDEFのいずれかのコマンドに応答し、HSCが要求されたパラメータに関する情報を表示しました。このメッセージは、3-4 行からなるメッセージの最初の行です。続いて次の行が表示されます。

- LOADED FROM DDDDDDDDD

パラメータのロード元のデータセット（適切であればメンバー名を含む）。

- TITLE : CCCCCCCC

パラメータのロード元のデータセットにあるタイトル (OPTIONSステートメントで示されるもの)。パラメータに TITLE が含まれていない場合には、この行は表示されません。

- LOADED ON YYYY-MM-DD AT HH:MM:SS

パラメータがHSCによってロードされた日時。

システム動作: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1632I

MODIFY command cancelled - a non-610 HOST active.

説明: MODIFY CONFIG コマンドが入力されましたが、1 つ以上のホストが HSC610 より下位のレベルにあります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 610 以外のホストを停止させて、MODIFY CONFIG コマンドを再入力してください。

SLS1633I

SCRDEF parameters not installed from DDDDDDDDD

説明: SCRDEF コマンドに対し、HSC が SCRPOOL 文がないことを検出したか、DDDDDDDD というデータセットに不正な SCRPOOL 文が少なくとも 1 つあることを検出しました。

システム動作: HSC は、前の HSC スクラッチサブプールの設定を置き換えません。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再実行してください。

SLS1634I

MODIFY command is cancelled - VTCS DR Test is active.

説明: MODIFY CONFIG コマンドが入力されましたが、VTCS DR Test がアクティブになっています。コマンドは実行されません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: VTCS DR Test が終了するまで待ってから、コマンドを再入力してください。

SLS1635D

To allow RESET to proceed; Reply Y to continue or N to cancel.

説明: CONFIG RESET コマンドを続行できるようにする前に、コマンドが誤って入力されたものでないことを確認するためにメッセージに応答することがオペレータに求められます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 「Y」と応答して RESET コマンドを続行できるようにするか、「N」と応答して RESET オプションを取り消します。

SLS1636D

To allow DELETE ACS to proceed; Reply Y to continue or N to cancel

説明: ACS を削除できるようにする前に、コマンドが誤って入力されたものでないことを確認するためにメッセージに応答することがオペレータに求められます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 「Y」と応答して DELETE ACS コマンドを続行できるようにするか、「N」と応答して取り消します。

SLS1637I

Verify the ACS is CCCCCCCC for the CCCCCCCC ACS command

説明: UPDATE コマンドには ACS がアクティブ (接続中) であることを確認し、DELETE コマンドにはオフライン (切断中) であることを確認してください。

システム動作: F CONFIG UPDATE/DELETE ACSid は拒否されます。

ユーザーの応答: ACS が正しい状態になってから、コマンドを再実行してください。

SLS1650E

ACS AA: Dual LMU {is|is not} configured; Master Is y, Standby is not ready

説明: スタンバイ LMU が作動不能です。これは、オペレータによる切り替え処理の結果の一時的な状況である可能性があります。

y は、マスター LMU ID の「A」か「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システム動作: 処理はマスター LMU を使用して続けられます。

ユーザーの応答: スタンバイ LMU が、オペレータによる切り替え処理が原因で作動不能になった場合は、応答は不要です。

スタンバイ LMU が作動不能である原因が、障害によるものであることが明らかな場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1651I

ACS AA: Dual LMU is configured; Master is y, Standby is ready

説明: このメッセージは、どの LMU がマスター LMU であることを示し、同時にスタンバイ LMU の状況を示すものです。スタンバイ LMU が作動可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行させるためには、少なくとも 1 つのステーションがスタンバイ状況になければなりません。

AAがACSid番号です。

y は、マスター LMU ID の「A」か「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システム動作: 処理はマスター LMU を使用して続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS1652I

ACS AA: Switch aborted, C...C not standby station

説明: ステーション C...C が、SWitch コマンドが出された時点ではスタンバイ状態でしたが、現在はスタンバイステーションではありません。自動切り替えが起こったものと考えられます。

システム動作: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLS1650E または SLS1651I が出力されている場合、応答は不要です。ハードウェアエラーの疑いがある場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1653D

ACS AA: NN {CAP|CAPs} active; confirm switch to standby LMU (Y/N)

説明: このメッセージは、ACS 内でアクティブな CAP の数を示すもので、オペレータが切り替え処理を終了できるようにする。

NNは、ACS 内でアクティブなCAPの数を示します。

システム動作: HSC は、切り替えを進めるか (Y)、または SWitch コマンド処理を終了させるか (N) の応答待ち状態になります。

ユーザーの応答: すべての CAP ドアが確実に閉まっていることを確認してから、このメッセージに対して「Y」と応答するか、または「N」と答えて切り替えを中止してください。

SLS1654I

ACS AA: Switch terminated due to operator response

説明: このメッセージは、オペレータの応答によって切り替え処理が取り消されたことを確認するためのものです。

システム動作: SWitch コマンド処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS1655I

ACS AA, Station C...C: Switch uncertain, standby LMU CCCCCC
error

説明: HSC が、スタンバイ LMU に SWitch コマンドを送りましたが、エラーのために、有効な応答が得られませんでした。

CCCCCCは次のいずれかになります。

TIMEOUT, ACK-1, ACK-2, RESPONSE, READ-1, READ-2, NOISE, or EDIT-1

システム動作: 切り替えは起こる場合も、起こらない場合もあります。

ユーザーの応答: 1 分間待ってください。メッセージ SLS1650E または SLS1651I が出力されなかった場合は、SWitch コマンドを再実行してください。このエラーについては、StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。

SLS1656E

ACS AA: Switch initiated, expect notification in 20 seconds

説明: マスター LMU によって、SWitch コマンドが受け付けられました。

システム動作: マスター LMU は再 IPL を実行し、スタンバイ LMU はマスター LMU を引き継ぎます。

ユーザーの応答: SLS1650E または SLS1651I が 20 秒以内に出力された場合は、応答は不要です。SLS1650E または SLS1651I が出力されなかった場合は、問題があります。SWitch コマンドを再実行してください。コマンドの実行に失敗した場合は、マスター LMU の再 IPL を手動で実行することによって、切り替えを行うことができます。障害については、StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。

SLS1657I

ACS AA: Switch rejected, CCC...CCC

説明: スタンバイ LMU が、マスター LMU に再 IPL の実行を指示しましたが、エラーのために通信に失敗しました。

CCC...CCCは、次のいずれのかの理由を示します。

- Not "Dual LMU" — 「デュアル LMU」ではありません。
- Not standby Station — スタンバイステーションではありません。
- LAN link down — LAN リンクが停止しています。
- NAK from Master LMU — マスター LMU からの NAK です。
- SWITCH already active — SWITCH がすでにアクティブになっています。
- Master did not respond — マスターが応答しません。
- Both active and standby connections required - アクティブ接続とスタンバイ接続の両方が必要です。
- Unknown error — 未知のエラーです。

システム動作: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: SLS1650E、SLS1651I、SLS1666E、または SLS1667I が発行済みの場合、応答は不要となります。そうでない場合は、SWitch コマンドを再実行してから、StorageTek ハードウェアサポートに障害について報告してください。切り替えを生成するには、マスター LMU の IPL を手動で行うか、RE ライブラリの SL コンソールを使って切り替えます。

SLS1658E

ACS AA: CCCCCC station C...C connected to LMU y as ZZZZZZ

説明: 論理的な矛盾が検出されました。

CCCCCC	ステーションの状況。接続側 LMU の状況によって「オンライン」か「スタンバイ」のいずれかになる
C...C	ステーションアドレス
y	LMU ID — 「A」または「B」のいずれか
ZZZZZZ	LMU 状況 (マスターまたはスタンバイ)

システム動作: HSC は処理を続けようとします。

ユーザーの応答: ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更した後、オンラインに戻してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1659E

ACS AA: CCCCCC station C...C MMM...MMM

説明: 論理的な矛盾が検出されました。

CCCCCC ステーションの状況。接続側 LMU の状況によって「オンライン」か「スタンバイ」のいずれかになる C...C ステーションアドレス MMM...MMM 次のいずれか

- not a Dual LMU station — デュアル LMU ステーションではありません
- invalid Dual LMU ident — デュアル LMU ID が無効です

システム動作: HSC は処理を続けようとします。

ユーザーの応答: ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更した後、オンラインに戻してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1660E

ACS AA: Master LMU W level XX, Standby LMU Y level ZZ

説明: LMU マイクロコードの矛盾が検出されました。

マスター LMU とスタンバイ LMU のマイクロコードが異なります。

W	マスター LMU ID – 「A」 または 「B」 のいずれか
XX	マスター LMU の互換性レベル
Y	スタンバイ LMU ID – 「A」 または 「B」 のいずれか
ZZ	スタンバイ LMU の互換性レベル

システム動作: HSC の処理は続けられます。

ユーザーの応答: StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。デュアル LMU 構成の両方の LMU に、同じレベルの LMU マイクロコードを導入してください。2 つの LMU 上において HSC を異なる互換性レベルで実行できますが、これは推奨できる手順ではないので訂正してください。すべてのスタンバイ LMU ステーションをオフラインに変更することで、このメッセージの表示を回避できることもありますが、その場合は自動切り替えに支障がでます。

SLS1661I

ACS AA, Station XXXX: LMU driver has been restarted

説明: ACS AA とステーション XXXX の LMU ドライバーが、異常終了のあとで再起動されました。直前のメッセージ SLS0680I が、異常終了について説明しています。

システム動作: ステーションドライバは、LMU に要求を送り、また、応答を受け取ります。

ユーザーの応答: すぐに処置を行う必要はありませんが、LMU ドライバの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1662I

LMU driver monitor task has been restarted

説明: LMU ドライバモニタータスクが、異常終了のあとで再起動されました。直前のメッセージ SLS0680I が、異常終了について説明しています。

システム動作: ステーションドライバのモニタータスクは、LMU ドライバタスクの起動、モニター、再起動を再び担当します。

ユーザーの応答: すぐに処置を行う必要はありませんが、LMU ドライバモニタータスクの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1663I

ACS AA, Station C...C: Driver has abended

説明: ACS (AA) およびステーション (XXXX) の LMU ドライバが、異常終了しましたが、再起動されていません。SLS0680I が異常終了について説明しています。

システム動作: モニタータスクは、モニタータスクが異常終了して、オペレーティングシステムによりモニタータスクの再起動が禁止されている場合を除いて、LMU ドライバを再起動させます。

ユーザーの応答: すぐに処置を行う必要はありませんが、LMU ドライバの異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1664A

ACS AA is disconnected

説明: HSC が、現在 ACS (AA) に対して LMU ドライバが作動していないことを判別しました。HSC は、現在の構成では、カートリッジ動作要求を自動化できません。

システム動作: HSC は、およそ 5 分ごとにこのメッセージを出力し、状況が解決されなくても約 30 秒後にそれを消します。これは、ACS が切断されていることを注意する定期的なメッセージです。

ユーザーの応答: 影響のある ACS へのマウントとマウント解除を HSC で自動化する必要がある場合、オペレータは次のいずれかを行うべきです。(1) あるステーションをオンラインに変更する、(2) デュアル LMU の切り替えを強制的に行ってスタンバイステーションをアクティブにする、または (3) HSC を再起動する。

SLSL665E

ACS AA, Station XXXX: Driver CCC...CCC

説明: ACS AA、ステーション XXXX で次のいずれかの条件 (CCC...CCC) が発生しました。

attach failed

連続 3 回の接続を試みましたが、ドライバタスクを確立できませんでした。

inoperable, maximum attach attempts failed

このドライバを接続しようとする試みが合計 33 回行われましたが、すべて失敗しました。

システム動作:

attach failed

あるステーションについて、最初にこのメッセージが出されると、SLSLDMON は異常終了してダンプが取られます。そのあとで、接続の制限回数に達するまで、ドライバの接続が繰り返し試行されます。同一のステーションについて、このメッセージが続けて出力されても、2 回目以降はダンプは取られません。

inoperable, maximum attach attempts failed

SLSLDMON は、このドライバの接続をそれ以上試みません。このステーションを再び使用可能にするには、HSC を再起動する必要があります。

ユーザーの応答:

attach failed

すぐに処置を行う必要はありませんが、LMU ドライバの異常終了、およびそのあとの SLSLDMON 異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

inoperable, maximum attached attempts failed

StorageTek ソフトウェアサポートに報告し、適切な時点で、HSC の再起動をスケジュールリングしてください。

SLS1666E

ACS AA: RE LIBID C1 {is/is not} configured; Active y {is|not} ready, Standby not ready

説明: スタンバイライブラリ (C1) のライブラリコントローラ (LC) が作動不能です。これは、オペレータによる切り替え処理による一時的な状況である可能性があります。

AA	ACSid: 「00」 - 「FF」
C1	ライブラリ ID: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」
y	アクティブ LC ID 「A」 または 「B」、LC エラーにより 「0」 であることもあります。

システム動作: 処理はアクティブ LC を使用して続けられます。

ユーザーの応答: スタンバイ LC が、オペレータによる切り替え処理が原因で作動不能になった場合は、応答は不要です。

スタンバイ LC が作動不能である原因が、障害によるものであることが明らかな場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1667I

ACS AA: RE LIBID C1 is configured; Active is y, Standby is ready

説明: このメッセージは、あるライブラリ ID で、どのライブラリコントローラ (LC) がアクティブ LC になっているかと、スタンバイ LC のステータスを示します。スタンバイ が作動可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行させるためには、少なくとも 1 つのポート (2A または 2B) がスタンバイ状況になければなりません。

AA	ACSid: 「00」 - 「FF」
C1	ライブラリ ID: 「1」 - 「9」 または 「A」 - 「Z」
y	アクティブ LC ID 「A」 または 「B」、LC エラーにより 「0」 であることもあります。

システム動作: 処理はアクティブ LC で続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS1700I

DHB eyecatcher bad in CCC...CCC

説明: DHB レコード (CDS のブロック 0) が妥当性検査のために渡されましたが、プログラムが、目印の「DHB」を見つけられませんでした。

システム動作: この CDS のコピーは使用不能になります。これが最後の CDS コピーである場合、HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: 入力された CDS を調べて、正しいものを使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。さらに、それらが損傷したり、上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、損傷もない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1702I

Self correcting out-of-sync CDS block blk-id

説明: プライマリ CDS コピーとセカンダリ CDS コピーとを比較したときに、破損した CDS ブロック (blk-id) が見つかりました。

システム動作: 不良コピーが正しいコピーに置き換えられます。

ユーザーの応答: なし

SLS1703I

CCC...CCC is being copied to CCC...CCC

説明: CDS データセットに対し、既存 CDS からレコードをコピーすることによる、使用許可処理を実行中です。これは、このホストに CDS Enable コマンドが出されたか、別のホストによって使用可能にされた新しい CDS をこのホストが認知したことの結果として起こりました。このメッセージに続き、コピーが終了すると SLS1704I が出力されます。さらに、マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、メッセージ SLS0715I が出力されます。

システム動作: CDS のリザーブはこの時点で保持され、コピーが完了すると解放されます。HSC のアクティビティは、すべてのホストと新しい CDS 構成との同期がとれるまで、待ち状態になります。

注 – 約20秒後にすべてのホストの同期がとれなかった場合、構成はコピー以前の状態に戻ります。つまり、使用可能にされたCDSが使用不可になり、使用不可にされたCDSが再び使用可能になります。

ユーザーの応答: なし

SLS1704I

CDS copy complete for CCC...CCC

説明: メッセージ SLS1704I の前には、メッセージ SLS1703I が必ず出力されます。メッセージに示された CDS に対して CDS 同期化処理が行われ、完了しました。新しく使用可能になった CDS データセットのデータは、アクティブであった CDS から再生されています。

システム動作: HSC は、新しく割り振られた CDS を使用して、通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの応答: なし

SLS1705E

All Control Data Set allocations failed, HSC cannot initialize

説明: PARMLIB CDSDEF (これが Reconfig の場合は RECDEF) 項目に指定されたすべてのデータセットの動的割り振りに失敗しました。

システム動作: HSC は、少なくとも 1 つの CDS コピーがないと、初期設定を行うことができません。

ユーザーの応答: このエラーは、PARMLIB 項目が存在しないか無効なために発生した可能性があります。MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べ、さらにメッセージ SLS1706E が存在すれば、そこから動的割り振り失敗の原因を判別してください。問題を解決して、HSC を再起動してください。

SLS1706E

Allocation failed for CCC...CCC on volume volser, reason code XXXX, information code XXXX

説明: ボリューム (volser) にあるデータセット (CCC...CCC) の動的割り振りに失敗しました。ボリュームが指定されなかった場合は、空白またはアスタリスクになります。

システム動作: 初期設定は続けられますが、データセットの割り振りは行われません。これが CDs Enable コマンドからである場合、HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

SVC99 (動的割り振り) から理由コードと情報コードが返されます。最も一般的な理由コードの 1 つは 17xx であり、指定の CDS が見つからなかったことを示します。詳細についてと、理由コードの定義については、IBM SVC99 動的割り振りの資料を参照してください。

理由コードが 17xx 以外のとき、エラーの原因をより具体的に示す手がかりが情報コードに含まれていることがあります。次のキーを使用して、エラーがあるパラメータを判別してください。

鍵	フィールド
01	DDname
02	Dsn
04	Status
07	Unconditional Unallocation
10	Volser
15	Unit
55	Return DDname

ユーザーの応答: 表示されたエラーメッセージから、動的割り振り失敗の原因を判別してください。PARMLIB または JCL の問題を解決してから、HSC を再起動させてください。これが CDs Enable コマンドからである場合、DSn パラメータの指定を訂正するか、カタログから外されたデータセットの NEWVol および可能性のある NEWUnit パラメータを指定してください。

SLS1708I

CCCCCCCC failed - RC=XXXXXXXX

説明: CDS のコピーを **Enable** または **Disable** にするコマンドの実行に失敗しました。あるいは、異常終了したプログラムのモジュール名とリターンコードが表示されます。したがって、CCCCCCCC は、**Enable**、**Disable**、モジュール名のいずれかになります。

システム動作: メッセージに **Enable** または **Disable** が示された場合は、処理は何も行われません。モジュール名が示された場合は、HSC は異常終了します。

ユーザーの応答: リターンコードからトラブルの原因を判別してください。問題を解決して、HSC を再実行してください。

SLS1709I

Attach failed for CCCCCCCC, RC=XX

説明: データベースサーバーを接続しようとしたが、失敗しました。

XXは、MVS SPLのSystem Macrosに記載されているATTACHマクロからの戻りコードを示します。

システム動作: CDS のための入出力ルーチンは使用できません。したがって、HSC の初期設定はできません。

ユーザーの応答: 接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。HSC は再起動しなければなりません。

問題を解決できない場合は、すべての情報を保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1710E

Database switch failed

説明: CDS 回復中、代替コピーを使用可能にできませんでした。これは、動的割り振り、オープン、またはコピーのエラーによるものと考えられます。

システム動作: 使用可能なプライマリコピーがあれば、処理は続けられます。

ユーザーの応答: 代替 CDS コピーの使用可否、オープンの失敗またはコピーでの入出力エラーの理由を判断してください。問題が解決できるものであれば、CDs **Enable** コマンドを出して、代替コピーを再びオンラインにしてください。

SLS1711I

Database services unavailable

説明: 重大な内部エラーが起こり、HSC CDS のサービスが続けられなくなりました。

システム動作: HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: StorageTek のソフトウェアサポートまたはハードウェアサポートに連絡してください。問題の診断に役立てるため、ダンプを保管しておいてください。

SLS1712I

Hostid CCCCCCCC not found in CCC...CCC

説明: ホスト識別子 (CCCCCCCC) が、参照中の制御データセットのコピーに定義されているどのホスト識別子とも一致しません。ユーザーが間違った CDS の間違ったコピーを使用して実行しようとしているか、あるいは CDS が損傷しているか破壊されています。

システム動作: これが最後の CDS コピーである場合、HSC の処理は終了します。

ユーザーの応答: 入力された CDS を調べて、正しいものを使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。さらに、それらが損傷したり、上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、損傷もない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1713I

CDS CCC...CCC disabled

説明: CDS CCC...CCC が使用できなくなりました。

システム動作: HSC から CDS が割り振り解除されます。

ユーザーの応答: システムログを見て、CDS が使用できなくなった理由を示すメッセージがないか調べてください。

SLS1715I

CCCCCCCC initializing on: CCC...CCC1 CCC...CCC2 CCC...CCC3

説明: このホストは、メッセージに示された CDS のコピーを使用して初期設定されました。CCCCCCCC は HOSTid を示します。CCC...CCC1、CCC...CCC2、CCC...CCC3 は、CDS データセット名を示します。起動時にこのホストが初期設定に使用するコピーは、過去の HSC セッションのエラーまたはほかのホストのエラーによって、決まることがあります。HSC は、PARMLIB に示されたデータセットの一部しか使用しない場合があります。また、それらの順序は必ずしも同じであるとは限りません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1717I

Standby CDS CCC...CCC disabled due to "DISABLE" parameter in the CDSDEF PARMLIB command

説明: ユーザーが、システムにスタンバイ CDS (DSN3) を定義するとき、CDSDEF ステートメントに DISABLE を指定しました。

システム動作: その CDS コピーが有効な CDS であることを確認するために、それを読み取ろうとします。そのあと、そのコピーは非アクティブになり、割り振り解除されます。

ユーザーの応答: この CDS が必要な場合、CDS 切り替え時、あるいはプライマリ CDS かセカンダリーのいずれかが使用できなくなったときに、HSC がこの CDS を自動的に使用することはありません。したがって、オペレータコマンド CDS Enable を使用して手動で使用可能にする必要があります。

SLS1718I

CDS CCC...CCC disabled, not in use by other hosts

説明: メッセージに示されたコピーがほかのアクティブホストから使用されていなかったため、CDS の破壊と不一致を防ぐため、使用不能にされました。

システム動作: CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

ユーザーの応答: この CDS コピーを使用した場合は、オペレータコマンド CDs Enable を使用してオンラインにしてください。

SLS1719I

CDS CCC...CCC disabling due to operator command

説明: CDS CCC...CCC は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

システム動作: CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

ユーザーの応答: この CDS コピーを使用した場合は、オペレータコマンド CDs Enable を使用してオンラインにしてください。

SLS1720E

Database {switch|expand} not adopted by active host CCCCCCCC

説明: CDS 切り替えまたは拡張作業が正常に行われた後で、一定の時間が経過しても、ほかのアクティブホストがこの CDS を認知できませんでした。

システム動作: メッセージを出したホストは操作を続けます。このホストは、さらに制約された CDS 構成に戻る場合があります。

ユーザーの応答: 別のホストで HSC が突然終了した場合、それ以外のホストにはアクティブであるように見える場合があります。そのホストが終了したかどうかを確認してください。もし終了していれば、それを再起動するか、または SLUADMIN (SET HSCLEVEL) を実行してリセットしてください。複数のホストに CDsEnable または Disable コマンド、または EXpand コマンドが同時に入力された場合、このメッセージが、表示されるはずのない 1 つ以上のホストに表示されることがあります。そのような場合、Display CDS コマンドを使用して CDS 構成を検査してください。構成が正しい場合、それ以上処理は必要ありません。複数のホストからコマンドが入力されたとき、すべてのホストがアクティブであるか、または CDS 構成が正しくない場合、内部の問題があります。MVS の場合は、オペレータコマンド MVS DUMP を出してそのホストを再起動してください。VM の場合は、オペレータコマンド CP VMDUMP コマンドを出してそのホストの仮想計算機を再起動してください。問題判別の材料としてダンプ、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG、LOGREC または EREP データを収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1721I

CDS CCC...CCC disabled, not in use at prior HSC termination

説明: CDS CCC...CCC は、HSC が最後に終了したときに使用されていなかったため、初期設定時に使用不能になりました。

システム動作: CDS は使用不能になり、この HSC から割り振り解除されます。

ユーザーの応答: この CDS コピーを使用するには、CDs Enable コマンドを使用してオンラインにしてください。

SLS1722I

CDS CCC...CCC enabled, in use by other hosts

説明: CCDS CCC...CCC がこのホストからは使用不能であり、ほかのホストに対してアクティブになっていることがわかりました。これは、ほかのホストから、オペレータコマンド CDS Enable が出されたために起こったものです。CDS データセットは、このホストからすでに使用できるようになっています。

システム動作: CDS は、このメッセージが表示されたホストからも自動的に使用可能になります。

ユーザーの応答: なし

SLS1723I

SVARSRV service detects invalid VALUEL XXXX

説明: PARMLIB 項目の解析中、内部ルーチンに無効な長さが渡されました。

システム動作: HSC の初期設定は失敗します。

ユーザーの応答: MVS SYSLOG または SCP CONSLOG のコピーと、HSC PARMLIB 項目のコピーを保存してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1724I

CCCCCCCC1 is invalid on the CCCCCCCC2 statement

説明: PARMLIB 項目の解析中、PARMLIB 文 (CCCCCCCC2) で無効なコマンド (CCCCCCCC1) が見つかりました。

システム動作: HSC の初期設定は失敗します。

ユーザーの応答: メッセージに示された文で問題のあった項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

SLS1725I

Command parsed with no keywords

説明: PARMLIB 項目の解析中、キーワードを含まないコマンドが見つかりました。

システム動作: HSC の初期設定は失敗します。

ユーザーの応答: PARMLIB コマンドの項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

SLS1727I

Invalid data set type (X) for dynamic allocation

説明: PARMLIB 項目の解析中、キーワードを含まないコマンドが見つかりました。

システム動作: HSC の初期設定は失敗します。

ユーザーの応答: PARMLIB コマンドの項目を訂正して、HSC を再起動させてください。

SLS1729E

The last copy of the CDS is in error; the HSC cannot continue

説明: エラーのため、最後に残った CDS コピーが失われました。

システム動作: HSC の処理は続けられません。

ユーザーの応答: 直前のメッセージを見て、CDS が失われた理由を調べてください。それらの問題を解決して、HSC を再起動してください。問題を解決できない場合は、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG か HSC ジョブログ、またはその両方のコピーを入手してください。また再起動を試みる前に IEBGENER で、そのジョブが使用した各 CDS のコピーをダンプして、現在の状態を保存してください。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1730I

Invalid return code from SLSDCOPY

説明: 内部エラーです。スタンバイ CDS への切り替え中、SLSDCOPY が未知のリターンコードを返しました。

システム動作: コピー操作は終了します。CDS の正常なコピーが少なくとも 1 つあれば、HSC の処理は続けられます。正常なコピーが 1 つもない場合、HSC は終了します。

ユーザーの応答: HSC を再起動させてみてください。HSC がまだほかのホストで実行されていれば、再起動できるはずです。再起動できない場合、CDS のすべてのコピーが無効であると判断された可能性があります。今までに取られたシステムダンプとともに、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG と HSC ジョブログの一方または両方、さらにすべての CDS のコピーを入手し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1731I

Host-to-Host Communications registration failed, RC=XXXX

説明: ホスト間通信の登録に失敗しました。リターンコードは、通信コンポーネントから渡されています。

システム動作: マルチホスト環境における、このホストとほかのアクティブホストとの間の通信は、CDS を介して行われます。

ユーザーの応答: リターンコードを調べて指示に従ってください。問題を解決できない場合は、それまでに取られたシステムダンプとともに、MVS SYSLOG または SCP CONSLOG の現在のコピーと HSC ジョブログの一方または両方を入手し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1733E

Hostid required for JRNDEF PARMLIB entry

説明: PARMLIB で見つかった JRNDEF 文に、HOSTID パラメータがありませんでした。

システム動作: システムはジャーナルファイルを所有するホスト、さらにジャーナル処理が要求されたことを知らないため、起動しません。

ユーザーの応答: HOSTID パラメータを、正しいホストの JRNDEF 文に追加してください。

SLS1735I

No journal files available

説明: HSC が、このホストで有効な最後のジャーナルファイルを失いました。

システム動作: JRNDEF 文の FULL パラメータに Abend (省略時値) が設定されている場合、ジャーナルタスクと HSC は異常終了します。FULL パラメータに Continue が設定されている場合、ジャーナルタスクは異常終了しますが、HSC はジャーナルなしで続けられます。

ユーザーの応答: この時点で有効なジャーナルファイルはどのホストにもありません。また、オフロードされたジャーナルファイルもすべて無効です。HSC システムのバックアップをすぐに取りする必要があります。また、「使用可能なファイルがない」理由を調べてください。ファイルがいっぱいになったため使用できなくなったのであれば、バックアップによりファイルはリセットされ、ジャーナル処理は自動的に続けられます。ファイルでの入出力エラーが原因であれば、そのファイルの割り振りをし直し、HSC を再起動してください。HSC が再び使用可能になったら、すぐにバックアップを作成してください。理由を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1737E

None of the Control Data Set copies is a valid primary CDS;
processing terminated

説明: HSC 初期設定時に、サブシステムが CDSDEF パラメータで指定されたすべての CDS データセットを開いて読み取ろうとしました。ユーティリティ初期設定時に、ユーティリティが JCL で指定されたすべての CDS データセットを開いて読み取ろうとしました。プライマリまたはセカンダリ CDS は、前回使われてから復元されていない場合は、最良の CDS コピーではありません。したがって、有効なプライマリ CDS とすることはできません。

システム動作:

- このメッセージが HSC サブシステムから発行されたものである場合は、サブシステムが終了します。
- このメッセージがユーティリティから発行されたものである場合は、リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: CDSDEF PARMLIB 制御文またはユーティリティ JCL を調べ、不正なデータセット名が指定されていないかどうか確認してください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップしてください。次に HSC RESTORE ユーティリティを実行して、すべての CDS コピーを同期化してください。バックアップと復元を行ってから HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータにおける CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

BACKUP と RESTORE のあとに HSC ユーティリティを実行する際、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY データセット名が正しい順序で指定されていることを確認してください。

SLS1738E

The CDS copies appear to belong to separate library environments; processing terminated

説明: DHB の CDS データセット情報によると、CDSDEF パラメータまたはユーティリティー JCL で指定されたデータセットが、単一のライブラリ環境に属していないように見えます。この理由としては、次のものがあります。

- CDS コピーが別々のライブラリ環境に属しているように見える、またはリモートリンクが失われてから別々のホストで複数の HSC を実行させた結果そうなった。この場合、リンクの回復後に、別々の制御データセットを組み合わせる手順が取られていません。
- シャドウ通し番号が最上位になっている CDS コピーが、有効なプライマリ CDS コピーではなかった。これは、再構成後に取られた、以前のスタンバイ CDS コピーである可能性があります。

システム動作:

- このメッセージが HSC サブシステムから発行されたものである場合は、初期設定が終了します。
- このメッセージがユーティリティーから発行されたものである場合は、リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: CDSDEF PARMLIB 制御文またはユーティリティー JCL を調べ、不正なデータセット名が指定されていないかどうか確認してください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティーを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップしてください。次に HSC RESTORE ユーティリティーを実行して、すべての CDS コピーを同期化してください。バックアップと復元を行ってから HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータにおける CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

BACKUP と RESTORE のあとに HSC ユーティリティーを実行する際、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY データセット名が正しい順序で指定されていることを確認してください。

SLS1739E

The number of CDS copies specified does not match the recovery technique of {NONE|SHADOW|STANDBY}

説明: CDS または HSC サブシステムを更新しようとしたユーティリティーを CDS とともに実行中ですが、CDS が HSC サブシステムから正常に初期設定できませんでした。プライマリとして指定した CDS に回復方法を指定しましたが、指定とは別の CDS コピー数が指定されています。

たとえば、回復方法に STANDBY が指定されていても 3 つ未満の CDS データセットが指定されていたり、回復方法に NONE が指定されていても 1 つ以上の CDS コピーが指定されています。報告される回復方法には、ジャーナル処理が記載されないように指定されている場合は、記載されません。

システム動作:

- このメッセージが HSC サブシステムから発行されたものである場合は、サブシステムが終了します。
- このメッセージがユーティリティーから発行されたものである場合は、ユーティリティーは終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: メッセージに記載された回復方法を確認して、目的通りの方法かどうかを判別してください。回復方法を変更するには、HSC SET TECHNIQUE ユーティリティーコマンドを実行し、SET から指定されたものではなく、元の方法と同じ CDS DD 番号を指定してください。

このユーティリティーを実行するには、どのホストの HSC もアクティブであってはなりません。ユーティリティーを実行してから、CDS コピー数を増やす場合は、どのオペレーティングシステムからでも、プライマリ CDS のコピーを作成できます。

メッセージに指定された回復方法が目的通りの方法であった場合は、サブシステムを初期設定できるよう、CDSDEF コマンドの CDS コピー数に所定の数を指定するか、ユーティリティーを実行できるようにユーティリティー JCL の CDS コピー数に所定の数を指定してください。

SLS1780A

Log data sets are full - run OFFLOAD LOGFILE

説明: ログファイルのデータブロックに空きがないため、ロギングシステムがログレコードを書き込めません。

システム動作: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行するまで、メッセージが発行されたそのホストでのロギングは停止されます。

注 - データブロックがロギングサービスから割り振られるように、レコードはほかのホストからも書き込み続けることができます。ほかのホストが書き込み続けられる期間は、ロギング処理の速度と、書き込まれるロギングレコードのサイズによって異なります。

ユーザーの応答: できるだけ早く OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行してください。

SLS1781E

Log file utilization exceeds nn percent

説明: ログファイルに割り振られたブロック数が、報告された % を超えました。使用率の警告は 70% から始まり、事前に設定した % の間隔に達すると再度警告されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: ログファイルがいっぱいにならないようにするには、できるだけ早く OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行してください。

SLS1782I

Logging {initialized|terminated} on data set CCCCCC1

説明: ログデータセット (CCCCCCC1) が、初期設定されている (割り振られて開かれている) か、終了しました (閉じられて割り振り解除されました)。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SL\$1783W

Log data set CCCCCC1 DISABLED; CCCCCC2

説明: ログデータセット CCCCCC1 が、CCCCC2 に示された理由により使用不能になりました。使用不能になったログファイルは閉じられ、割り振りが解除されます。

理由別の詳細:

- **ALLOCATION FAILURE: LOG FILE MIGRATED**

割り振り処理中、データセットがマイグレーションされていることがわかりました。

- **ALLOCATION FAILURE**

マイグレーション以外の理由で、データセットの割り振りが失敗しました。

- **COULD NOT OPEN DATA SET**

データセットの OPEN に失敗しました。ファイルが FMTLOG でフォーマットされていない、DSORG が正しくない、またはブロックサイズに不整合が生じているなどの理由が考えられます。

- **DATA SET NOT IN INITIALIZED STATE**

初期設定されていないログファイルを、ロギングがアクティブではない構成に入れようとしてしました。または、初期設定されていないログファイルを既存の構成に追加しようとしてしました。新しいログデータセットを追加するには、FMTLOG ユーティリティでフォーマットしておく必要があります。

- **PERMANENT I/O ERROR**

永続的な入出力エラーが起きました。このデータセットは使用不能であり、FMTLOG ユーティリティで割り振りしなおして再フォーマットする必要があります。

- **DATA SET BLOCK INFO CONFLICTS WITH CDS**

ログファイルの初期設定中、このログファイルが初期設定状態になく、そのブロック情報が CDS のブロック情報と一致しませんでした。

- **SIZE CONFLICT WITH OTHER LOG DATA SET**

1 つ以上の初期設定済みログファイルを構成に追加しようとしてしましたが、2 つのログファイルのサイズが合いません。両方のログファイルが初期設定済み状態の場合は、両方が使用不能になります。片方がアクティブな状態でもう一方を追加した場合は、新しい方のファイルだけが使用不能になります。

- **ABEND IN THE LOG FILE I/O ROUTINE**

ログファイル入出力ルーチンに異常終了が発生しました。異常終了の原因を調べるには、Oracle ソフトウェアサポートに連絡してください。

システム動作: データセットへの記録が中断されます。定義されているログファイルが 1 つしかない場合、または両方のログファイルが使用不能な場合は、ロギングを使用できなくなります。

ユーザーの応答:

- アクティブなログファイルが 2 つあり、片方が使用不能な場合は、次の手順によって使用不能なファイルを再び使用可能にできます。
1. ファイルを削除し、割り振りしなおします。ブロック番号がアクティブなファイルと同じになるようにしてください。
 2. FMTLOG ユーティリティを実行し、新しいファイルをフォーマットします。

3. SET LOGFILE ユーティリティを実行し、新しいファイルを再び使用可能にします。
4. OFFLOAD LOGFILE ユーティリティを実行し、現行の既存ログファイルをオフロードにして、新しい方のファイルを再び使用可能にします。

- 現在アクティブなログファイルがまったくない場合は、次の手順によりロギングを再起動できます。
1. 今のところロギング機能が停止しているため、できる限り早く CDS をバックアップすることをお勧めしています。
 2. ログファイルを削除して、割り振りしなおします。
 3. FMTLOG ユーティリティを実行し、新しいファイルをフォーマットします。
 4. SET LOGFILE ユーティリティを実行して、新しいファイルをすぐに使用可能にします。

SLS1784E

Log monitor task has terminated abnormally; logging now inactive

説明: ログ監視タスクで、異常終了が発生しました。ロギングを実行できません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 異常終了の原因を調べるには、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。HSC サブシステムを停止して再起動し、ロギングを再起動してください。

SLS1785E

LOG DATA SET CCCCCCCC IS DISABLED

説明: このログデータセット (CCCCCCCC) は CDS に定義済みですが、無効状態になっています。

システム動作: このログデータセットは使用されません。定義されているログファイルが 1 つしかない場合、または両方のログファイルが使用不能な場合は、ロギングを使用できなくなります。

ユーザーの応答: メッセージ SLS1783E の「ユーザーの応答」を参照してください。

SLS1790I

Log data set DDDDDDDD selected by the OFFLOAD LOGFILE utility

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティが、データセット DDDDDDDD を入力ファイルとして選択しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1791I

OFFLOAD LOGFILE utility successfully offloaded NNNN records

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが正常に終了しました。オフロード数は、NNNN です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1792I

TTTTTTTT log file DSN has been set to DDDDDDDD

説明: PRIMARY または SECONDARY (TTTTTTTT) ログファイルのデータセット名が、DDDDDDDD に設定されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1793W

No data available for OFFLOAD LOGFILE utility - RRRRRRRR

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが、オフロードできるデータがないことを判別しました。RRRRRRRR に、理由が示されています。

システム動作: SLUADMIN リターンコードは 4 です。

ユーザーの応答: なし

SLS1794E

Error during OFFLOAD LOGFILE utility - RRRRRRRR

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが、オフロード予定のすべてのデータをオフロードせずに終了しました。RRRRRRRR に、具体的なエラーが示されています。

システム動作: SLUADMIN リターンコードは 8 です。

ユーザーの応答: ログファイル内のデータは、オフロードできる状態のまま残っています。可能であればこの問題を解決して、ユーティリティーを再実行してください。

問題を解決できない場合は、SET LOGFILE ユーティリティーを実行して新しいログファイルを有効にし、別の OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行し (このエラーは無視してください)、続いて CDS をすぐにバックアップしてください。

SLS1795E

Previous OFFLOAD LOGFILE has not completed

説明: SLUADMIN が、別の OFFLOAD LOGFILE が進行中であることを検出したか、正常に完了できませんでした。CDS に対して実行できる OFFLOAD LOGFILE は、常に 1 つだけです。

システム動作: このユーティリティーのリターンコードは 8 です。

ユーザーの応答: 前のオフロードが異常終了していた場合は、OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーの制御文に RESTART キーワードを使用して、オフロードを再起動してください。それ以外の場合は、アクティブなオフロードが完了するまでお待ちください。

SLS1796E

Improper use of the RESTART keyword

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティの制御文に RESTART キーワードが指定されましたが、CDS にオフロード失敗が表示されていません。

システム動作: リターンコード 4 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティの制御文から RESTART キーワードを削除し、このジョブを再送信してください。

SLS1797I

No qualifying MVCs found for ACTMVCGN utility

説明: ACTMVCGN ユーティリティが、アクティブな MVC が見つからないことを検出しました。

システム動作: SLUADMIN からのリターンコードは 4 です。

ユーザーの応答: なし

SLS1825I

Volume volser is not in the library

説明: ボリュームがライブラリにありませんでした。

システム動作: ボリュームは処理されません。

ユーザーの応答: なし

SLS1900I

Invalid reply: CCCCCCCC

説明: WTOR に対する応答が無効でした。

システム動作: HSC は WTOR を再表示します。

ユーザーの応答: 有効な値で応答してください。

SLS1901I

A communications path switched from CCCC to CCCC; {initiated by|with} CCCCCCCC

説明: このホストの HSC が、通信方式の切り替えを実行しました。メッセージに「initiated by」が含まれている場合、切り替えはホスト (CCCCCCCC) によって開始され、このホストが切り替えを行なって応答したことを示します。「initiated by」が含まれていない場合、このホストの障害が起こったため、もう一方のホストに対して切り替えを実行するよう通知が行われたことを示します。直前の方式と現在の方式が表示されます。

システム動作: 通信方式の切り替えがこのホストのエラーによって起こった場合、使用可能な次に低いレベルの通信方式が探索されます。切り替えが別のホストによって開始された場合は、そのホストによって指定された新しい通信方式が使用されます。

ユーザーの応答: このホスト (または開始ホスト) でのエラーによって切り替えが起こった場合は、その原因となる問題を見つけて解決してください。必要であれば、COMMPATH コマンドを使用して以前の通信方式に戻してください。

SLS1902D

Specified communications method is VTAM and VTAM is not active; reply RETRY or NOVTAM

説明: 通信方式として VTAM が指定されていますが、HSC が VTAM ACB をオープンしようとしたとき、VTAM がアクティブではありませんでした。

システム動作: VTAM がアクティブになるまで、使用可能な次に低いレベルの通信方式が使用されます。

ユーザーの応答: 「RETRY」と応答して、HSC にもう一度 VTAM ACB をオープンさせてください。VTAM がアクティブであれば、VTAM 方式の切り替えが起こります。VTAM がアクティブになるまで HSC を待機させない場合は、「NOVTAM」と応答し、すでに選択されている通信方式を使用して処理を続けてください。

SLS1903I

Communications method switch not initiated; host CCCCCCCC specified unacceptable parm: CCCC

説明: ホスト CCCCCCCC の HSC が通信方式の切り替えを要求しましたが、パラメータ CCCC は、このホストでは受け付けられませんでした。

システム動作: 要求は無視されます。

ユーザーの応答: 方式の切り替えが要求されているため、要求元のホストにエラーメッセージが出されていないか調べ、それに従って対応しなければならない場合があります。対応が必要な場合は、このホストと要求元ホストの定義を、COMMPATH コマンドを使用して変更してください。

SLS1904E

Communications error: function XXXXXXXX1 XXXXXXXX2 [XXXXXXXXX3]

説明: HSC ホスト間通信コンポーネントが、メッセージに表示された機能の処理エラーを検出しました。XXXXXXXX1 と XXXXXXXX2 はそれぞれプライマリおよびセカンダリのエラーコードを示します。さらにエラー情報がある場合は、XXXXXXXXX3 で示されます。考えられる機能の値とエラーコードには次のものが含まれます。

可能な関数値	プライマリエラーコード (XXXXXXXX1)	セカンダリエラーコード (XXXXXXXX2)	その他の情報 (XXXXXXXXX3)
VTAM ALLOC	1 または 2	3	5
VTAM CLOSE	1	4	N/A
VTAM CNOS	1	3	5
VTAM DEALLOC	1 または 2	3	5
VTAM OPEN	1	4	N/A
VTAM OPRCNT	2	3	5
VTAM PREPRCV	2	3	5
VTAM RCVFMH5	1 または 2	3	5

VTAM RECEIVE	2	3	5
Issue VTAM RECEIVE	1	3	5
VTAM RECEIVE complete	1	3	5
VTAM RECEIVE WHATRCV	1	3	6
VTAM REJECT	1 または 2	3	5
VTAM RESETRCV	2	3	5
VTAM SEND	2	3	5
VTAM SEND FLUSH	1	3	5
VTAM SETLOGON	1	3	N/A

注 – エラーコードを示すためにこのリストで使用している番号 (1-6) の定義についての詳細は、この後の「値の定義」の項を参照してください。

プライマリおよびセカンダリエラーコードの値の定義を加え、そのほかのエラー情報には次のものが含まれます。

プライマリエラーコード (XXXXXXXX1)の値の定義:

1	R15からのプライマリリターンコード (VTAM 要求の場合)
2	R0からの回復処理リターンコード (VTAM SYNADと LERAD 出口ルーチンの場合)

セカンダリエラーコード (XXXXXXXX2)の値の定義:

3	RPLRTNCD フィールドからの値をもった2 バイトと、RPL 内の RPLFDB2 フィールドからの値をもった2 バイト
4	ACB 内のACBERFLG フィールドからの値

そのほかの情報 (XXXXXXXX3)の値の定義:

5	RPL6RCPRフィールドからの値をもった2 バイトと、RPL 拡張子内の RPL6RCSC フィールドからの値をもった2 バイト
6	RPL 拡張内のRPL6WHAT フィールドからのWHATRCVマスクの値

プライマリ (XXXXXXXX1)およびセカンダリ (XXXXXXXX2) エラーコードに加え、そのほかの情報 (XXXXXXXX3)が、適宜表示されます。このコードは4 バイトで構成され、8 文字で表示されます。次に例を示します。

SLS1904E Communications error: VTAM ALLOC 00000000 0000000B 00040000

VTAMコード定義は、該当するVTAMのマニュアルに説明されています。

システム動作: 処理を続けようとしします。エラーの重大度によっては、後の実行に影響が及ぶ場合があります。

ユーザーの応答: 問題を診断して解決してください。エラーによって通信方式の切り替えが起こった場合は、上位の COMM レベルに戻る (COMMPATH コマンドを使用する) 必要があるかどうか判断してください。

SLS1905I

Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明: コンポーネントの 1 つから予期しないリターンコードが返されました。

システム動作: システムの操作は続けられ、そのコンポーネントに要求された機能はバイパスされます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1906I

Invalid message data:

CCCCCCCC
ZZZZZZZZZZ
NNNNNNNNNN

説明: ほかのホストに送信中の通信メッセージに、無効な文字がありました。CCCCCCCC は、メッセージデータの EBCDIC 表現を示します。ZZZZZZZZZZ と NNNNNNNNNN は、それぞれメッセージデータのゾーン部と数値部を示します。

システム動作: システム操作は続けられ、通信メッセージは無視されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS1907I

CDS output message queue count for host HHHH is CCCCCC

説明: CCCCCC メッセージが、ホスト HHHH の CDS 出力メッセージの待ち行列にありました。

システム動作: ホスト HHHH の HSC がアクティブな場合は、メッセージが最終的に処理されます。ホスト HHHH の HSC がアクティブでない場合は、メッセージが処理されずに蓄積されていきます。

ユーザーの応答: ホスト HHHH の HSC がアクティブでなく VTCS がインストールされている場合は、HSC COMMPATH METHod パラメータを、LMU または VTAM のいずれかに設定することをお勧めしています。ホスト HHHH がアクティブでない場合は、RECOVER コマンドを使用して待ち行列のメッセージを削除できます。注意: このコマンドを使用する前に、RECOVER コマンドを参照しておいてください。

SLS1950I

Volume volser moved from location AA:LL:PP:RR:CC to location AA:LL:PP:RR:CC

説明: ボリューム volser が、位置 AA:LL:PP:RR:CC に移動されました。

システム動作: ボリュームは要求どおりに移動されました。

ユーザーの応答: なし

SLS1951I

Volume volser not in ACS AA

説明: コマンドまたはユーティリティで要求されたボリューム *volser* は、AA がブランクの場合に CDS で見つからなかったか、または AA が表示された場合にターゲット ACS で見つかりませんでした。

システム動作: このボリュームに対して、コマンドまたはユーティリティの機能は実行されません。

ユーザーの応答: Flsm および TLsm を MOVE 文に指定する場合、それらが同じ ACS 機構内にあることを確認してください。あるいは、Display Volume を使用してそれが存在するかどうか、またどこに存在するかを判別できます。

SLS1952I

```
{MOVE} Rejected; Conflicting audit in progress on {ACS|LSM}
{ACSid|LSMid}
```

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティによって監査中のライブラリボリュームに対して、コマンドまたはユーティリティの機能を実行しようとした。

システム動作: 要求されたコマンドまたはユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: AUDIT ユーティリティジョブが終了するまで待つ、この要求を再入力してください。

SLS1953I

I/O error processing control database

説明: コマンドまたはユーティリティ機能の処理中に、制御データセットの I/O エラーが起きました。

システム動作: コマンドまたはユーティリティは、要求された機能が完了しないうちに終了します。

ユーザーの応答: I/O エラーの原因を判別してください。制御データセットの問題が解決してから、要求を再入力してください。

SLS1954I

```
{MOVE} rejected; {ACS|LSM} {ACSid|LSMid} is
{OFFLINE|INVALID|NOT CONNECTED}
```

説明: コマンドを完了させるために必要な指定のシステムコンポーネントが使用できないため、コマンドが拒否されました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: ACS が接続されていて、LSM がメッセージに示されたとおりオンライン (使用可能) であることを確認してから、コマンドを再入力してください。ACSid または LSMid が間違っている場合は、正しい ACSid または LSMid を指定して、コマンドを再入力してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1955I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is not a valid CELLid

説明: コマンドまたはユーティリティーで要求されたセル (AA:LL:PP:RR:CC) が、格納セルの無効な場所にあることがわかりました。

システム動作: このセルに対して、コマンドまたはユーティリティーの機能は実行されません。

ユーザーの応答: 正しい位置を判別して、この機能を再実行してください。

SLS1956I

Unable to select volume during CCCCCC of volume volser

説明: CCCCCC コマンドの処理中、ボリューム (volser) がすでに使用中であったため、これを選択して操作を完了させられませんでした。

システム動作: CCCCCC コマンドの処理は、要求されたコマンドの有効範囲内にある次のボリュームに対して続けられます。

ユーザーの応答: ボリュームが使用されていないときに、CCCCCC コマンドを個別に入力してください。

SLS1957I

MOVE rejected; no target LSMs are connected, online, or valid

説明: 指定の LSM にボリュームを移動させようとしたましたが、拒否されました。このコマンドが実行されたホストに接続されている LSM、オンラインの LSM、有効な LSM がありませんでした。

システム動作: オペレータコマンドは終了します。

ユーザーの応答: このホストに 1 つ以上の LSM を接続して (Vary コマンドおよび MODify コマンドを参照)、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1958I

No free cells found in specified PANEL or LSM(s) to continue the MOVE function

説明: MOVE コマンドが出されましたが、指定のパネルまたは LSM に空のセルがありませんでした。

システム動作: MOVE 機能は、空のセルがないために終了します。

ユーザーの応答: ボリュームの移動先の LSM からボリュームをイジェクトしてセルを空にするか、あるいはその LSM 内の別のパネルまたは別の LSM を指定して MOVE コマンドを再入力してください。

SLS1959I

Volume in cell location AA:LL:PP:RR:CC does not physically match specified Volser volser

説明: ボリュームとその位置の検証処理中、制御データセットで指定された位置にボリュームがありませんでした。

システム動作: ボリュームは、この操作中に移動されず、エラントボリュームになります。

ユーザーの応答: 問題のあるボリュームを見つけてください。必要に応じて、このボリュームのあったパネルに対する監査を行なってください。

SLS1960I

External label on volume volser is unreadable

説明: コマンドの実行中、ボリューム (*volser*) のラベルが読み取り不能になりました。

システム動作: この操作中、ボリュームの移動は行われませんでした。制御データセットには、この状態を反映するマークが付けられます。

ユーザーの応答: メッセージに示されたボリュームをライブラリからイジェクトし、その外部ラベルを調べて、ラベルを読み取ることができない理由を判断してください。この状態がいくつかのボリュームで見られる場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1961I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is empty - found during CCCCCC

説明: CCCCCC コマンドの実行中、問題のセルが空であることがわかりました。

システム動作: ボリュームはエラントになります。

ユーザーの応答: 次のいずれかの処理を実行してください。

- メッセージに示されたセル (AA:LL:PP:RR:CC)を監査する
- ボリュームをマウントまたはイジェクトしてエラント回復を呼び出し、論理イジェクトが起こるようにする

SLS1962I

CCCCCC of volser at AA:LL:PP:RR:CC failed; LMU/LSM error (XXXX)

説明: ボリューム *volser* またはセル AA:LL:PP:RR:CC に対するコマンド CCCCCC の実行に失敗しました。XXXX は、LMU/LSM エラーを示します。次の LMU/LSM エラーが考えられます。

6510 - 転送用のパススルーポートがありません
6511 - LMUがオフラインになっています
6512 - LMUとの通信が失われました
6514 - LSMのハードウェアエラーです
6515 - LMUのハードウェアエラーです
6528 - LMUサーバーが停止しています
6592 - LSMがオフラインになっています
65FF - 要求が除去されました

システム動作: 進行中の処理は完了しません。カートリッジは、障害の発生した地点によっては、エラントになる場合があります。

ユーザーの応答: Display Volume コマンドを使用して、ボリュームの状況と位置を調べてください。ボリュームがエラントボリュームになった場合は、次のいずれかの処理を行ってください。

- メッセージに示されたセル (AA:LL:PP:RR:CC)を監査する
- ボリュームをマウントまたはイジェクトしてエラント回復を呼び出し、論理イジェクトが起こるようにする

SLS1963I

Unexpected RC received in module CCCCCCCC1 while processing
CCCCCCC2 (XXXXXXXX)

説明: モジュール CCCCCCCC1 が、CCCCCCC2 機能の実行中に予期しない戻りコード (XXXXXXXX) を返しました。機能が正常に行われたかどうかは不明です。

システム動作: 進行中であった処理の状態は不明であり、SNAP ダンプが取られています。

ユーザーの応答: SNAP ダンプを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1964I

TPANEL specified for MOVE of volser conflicts with source
location panel

説明: MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティー機能が、ソースボリュームのあるソースパネルと同じパネルを宛先に指定して要求されました。同じパネル内への移動はできません。

システム動作: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は行われません。

ユーザーの応答: ソースパネル以外の TPanel を指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

SLS1965I

AT HH:MM:SS CCCCCCCC REQUESTED DDDDDDDD volser EEEEEEEE

説明: MONITOR コマンドへの応答として、ジョブ CCCCCCCC が、プログラムインタフェースまたは VM TMI 呼び出し介して、ボリュームシリアル番号 (volser) に対する動作を要求したことを示します。

HH:MM:SS	要求が出された時刻を示します。単一の要求 (Eject など) が複数のボリュームを指定した場合は、その要求についての各メッセージに同じ時刻が表示されます。
DDDDDDDD	動作のタイプを示します。有効な値は、Mount、DISMount、MOVE、Eject です。
EEEEEEEE	関連する位置を示します。これは、CAPid (Eject)、LSMid (MOVE 先)、ドライブのデバイス番号 (Mount、DISMount) のいずれかになります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS1966I

CCCCCCCC task failed, attempting to restart

説明: タスク (CCCCCCCC) が初期化できなかったか、不正な順序で正常終了または異常終了しました。タスクを再起動させるために、タスクを消去した後にもう一度生成が試みられます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1967I

CCCCCCCC task restarted successfully

説明: 以前に失敗したタスクが消去された後に再生成され、正常に初期設定されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS1968E

CCCCCCCC task could not be restarted

説明: タスクの消去 / 再生成に失敗しました。このタスクに対する再生成が最大回数まで試みられましたが、タスクを再起動できませんでした。HSC は、このタスクの機能を再設定するため、すぐに停止、再起動されなければなりません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: HSC を再起動して、再起動できないタスクの機能を回復してください。

SLS1969I

User Exit CC module CCCCCCCC RRRRRRRR

説明: HSC のユーザー出口サービスが、次のいずれかの状態で応答しました。

RRRRRRRR = **ABENDED and DISABLED**の場合、ユーザー出口ルーチンCCのモジュールCCCCCCCCにエラーが発生したことを示します。

RRRRRRRR = **INACTIVE**の場合、ユーザー出口ルーチンCCのモジュールCCCCCCCCが非アクティブになったことを示します。

RRRRRRRR = **NOT DISABLED**

の場合、ユーザー出口ルーチン CC の処理中に異常終了が発生したことを示します。

システム動作: 表示された状態が「INACTIVE」であれば、システムはこれを要求された処理とみなし、ユーザー出口モジュールの実行を行いません。

状態が「ABENDED and DISABLED」の場合、ユーザー出口ルーチンに処理エラーがあったため、ユーザー出口ルーチンの実行は行われなくなります。

状態が「NOT DISABLED」の場合、このユーザー出口ルーチンの処理中に異常終了が起こったことを示しますが、その異常終了はユーザー出口ルーチン そのものの境界外で発生しています。この場合、出口ルーチンは使用不能になりません。ただし、異常終了については調べる必要があります。

ユーザーの応答: 表示された状態が「INACTIVE」であれば、これが要求された処理であり、それ以上の処理はありません。

表示された状態が「ABENDED and DISABLED」または「NOT DISABLED」の場合は、システムプログラマにただちに報告してください。

SLS1970I

OPEN Error on User Exit Module Library: CCCCCCCC

説明: 初期設定において、システムが CCCCCCCC DD JCL カードで指定されたユーザー出口モジュールのライブラリをオープンしようとしたとき、エラーが起きました。

システム動作: システムは、指定のユーザー出口モジュールライブラリのかわりに、JOBLIB または STEPLIB から省略時のユーザー出口モジュールライブラリをロードしようとします。ユーザー出口ルーチンの動的ロード / 再ロードは、オープンエラーのために実行できません。

ユーザーの応答: システムプログラマにただちに報告してください。ユーザー出口モジュールライブラリ名の綴りを訂正するか、オープンエラーの原因を解決してください。あるいは、その両方を行なってください。

SLS1971I

HSC User Exit Service Error: User Exit CC Now INACTIVE

説明: 内部保守または検査プログラムが、ユーザー出口テーブルの重大な構造エラーを検出しました。

システム動作: システムは、問題のあるユーザー出口 CC の状態を「非アクティブ」に変更し、次回の動的ロードの際にこのデータ構造エラーを訂正するための処理を行います。

ユーザーの応答: オペレータコマンド UEXIT を使用し、ユーザー出口 CC を動的に再ロードしてください。それでも問題が起こる場合は、システムプログラマにただちに報告してください。

注 – ユーザー出口モジュールの動的ロード/再ロードは、「SLSUEXIT」DD 手順文が HSC JCL に含まれている場合にしか実行できません。

SLS1972D

ATTACH/Initialization of CCCCCCCC is OVERDUE; Retry or Cancel (R,C)

説明: HSC は、要求されたモジュール CCCCCCCC を ATTACH して初期設定しようとしていますが、予期した以上の時間がかかっています。ATTACH または初期設定処理は数分かかりますが、最終的に HSC の起動処理は異常終了することがあります。

システム動作: 処理は続行します。応答は必須ではありません。このメッセージは、以下に説明があると通りのさまざまなユーザー応答オプションを選んで入力できるようにするために出されます。

ユーザーの応答: ユーザーが使用できる応答は次のとおりです。

R	Retry (再試行)は、ATTACHおよび初期設定のタイマーを再開します。
C	Cancel (キャンセル)は、強制的にHSCを異常終了し、システムダンプをとり、HSC 起動処理をキャンセルします。
処理を行わない場合	HSCは、CCCCCCCCがATTACH されて初期化されるまでさらに数分間待ち状態になります。それが正常に完了した場合、HSCは処理を続行します。正常に完了しなかった場合、HSCの起動処理はABENDを発行した後、シャットダウン処理を開始します。

SLS1973I

(...error text...)

説明: 指定の値が無効であるか、または、要求でのモデル、デバイス、記録技法情報の間に不整合が存在します。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

RECTECH is incompatible with UNIT

RECTechパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

MODEL is incompatible with UNIT

MODELパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

MEDIA is incompatible with UNIT

MEDIAパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および RECTECH 値と不整合です。

UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および MODEL 値と不整合です。

MEDIA is incompatible with RECTECH

MEDIAパラメータに指定された値が、RECTECHパラメータに指定された値と不整合です。

MEDIA is incompatible with MODEL

MEDIAパラメータに指定された値が、MODELパラメータに指定された値と不整合です。

UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH

RECTECHパラメータに指定された値が、ドライブおよびMEDIAパラメータと不整合です。

MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA

MODEL パラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIA パラメータと不整合です。

MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH

MEDIAパラメータに指定された値が、ドライブおよびRECTECHパラメータと不整合です。

MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL

MEDIAパラメータに指定された値が、ドライブおよびMODELパラメータと不整合です。

MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible

MEDIA、RECTECH、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible

MEDIA、MODEL、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

MEDIA is invalid

MEDIAパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

RECTECH is invalid

RECTECHパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MODEL is invalid

MODELパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MEDIA and RECTECH are invalid

MEDIAおよびRECTECHパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MEDIA and MODEL are invalid

MEDIAおよびMODELパラメータに指定された値が、未知のものか、または誤っています。

UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed

MVS UCB の装置タイプは、LMU のデバイスタイプと互換性がないものであることを示しました。HSC はこの操作で UCB デバイスタイプを仮定します。3480 は 18TRACK であると仮定され、3490/3490E は 36ATRACK であると仮定され、3590 は STK1R であると仮定されます。

UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed

デバイスのUNITATTRは、UCBまたはLMUが指示するものと一致しません。HSC は、UCB/LMUの指示どおりのタイプのデバイスを使用します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再送信してください。

SLs2008I

CAP Status (CAP 状況):

CAP ID	Size	Hostid	Priority	Mode	Status
CCCC1	CCCC2	CCCC3	DD	CCCC4	CCCC5 CCCC5

説明: これは、Display Cap コマンドに対する応答で、1 つまたは複数の CAP の状況を示しています。各 CAP の情報が 1 行に表示されます。ホストに CAP が接続されていない場合、上記のメッセージのかわりに、「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPs available」というメッセージが表示されます。

CCCC1	CAPid (AA:LL:CC)
CCCC2	CAPサイズ。次のいずれかになります。 21-CELL: 標準の 4410 CAP 20-CELL: WolfCreek CAP 30-CELL: WolfCreek オプション CAP 40-CELL: 拡張 CAP PCAP: 優先 CAP (拡張/Wolfcreek) 14-CELL: 9740 14 セル CAP 10-CELL: 10 個のセルマガジン付き 9740 CAP 9740-TYPE: 9740 CAP (HSC がセルの数を認識していない場合) 26-CELL: 2 個の 13 セルマガジン付き SL3000 CAP 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP
PPP	CAPを所有するパーティションのPARTid。CAPがアクティブである場合にだけ表示されます。
CCCC3	CAPを所有するホストのホスト ID。CAPがアクティブである場合にだけ表示されます。
DD	CAPの優先順位。
CCCC4	CAPのモード。次のいずれかになります。 Entering: テープのエンターに使用中。 Ejecting: テープのイジェクトに使用中。 Draining: ドレイン中。 Cleaning: CAP はクリーニングを必要としています Idle: CAP がアイドル状態です。 予約:CAP は、別のパーティションに予約されています。 Unknown: エラーが発生しました。CAPのタイプが不明。
CCCC5	CAPの状況。次のいずれかになります。 Manual: CAP が手動モードです。 Online: CAP がオンラインになっています Offline: CAP がオフラインになっています。 Active: タスクを実行中。 Recovery: エラーが発生しました。回復が必要。 Automatic: CAP が自動モードです Unknown: エラーが発生しました。CAPの状況が不明。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2009I

EJECT|ENTER|VIEW rejected; unexpected RC XXXX from
FIGMNGR|SLSCGREC

説明: 構成管理 (FIGMNGR) サービスからの予期しないリターンコードが検出されたか、CAP サービスが CAP レコード (SLSCGREC) の探索中にエラーを検出したため、Eject、ENter、View のうち、メッセージに示されたコマンドが拒否されました。

XXXX	呼び出し先サービスのリターンコード。
FIGMNGR SLSCGREC	リターンコードを示した呼び出し先サービス。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2011I

The VIEW command is not supported for this library type

説明: SL8500 ライブラリ内のセルに対する VIEW を実行しようとしたますが、このライブラリにライトまたはカメラがないため失敗しました。

システム動作: VIEW コマンドは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS2012I

DRAIN command rejected; CAP AA:LL:CC is OFFLINE

説明: 指定された CAP はオンラインでないため、ドレインを行うことができません。この CAP はオンラインでないために、エンターおよびイジェクトを行うことができません。結果として、ドレインを行う必要がありません。

AA:LL:CC は CAPid です。

システム動作: DRAIN 要求は拒否されます。

ユーザーの応答: 正しい CAPid を指定してコマンドをもう一度出してください。

SLS2013I

EJECT rejected; No SCRATCH volumes in ACSid AA or parser error, invalid CAPid length detected|CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype |internal error

説明: Eject コマンドが ACSidAA でスクラッチボリュームを見つけられませんでした。または、指定された CAPid の形式が AA:LL または AA:LL:CC の形式ではありませんでした。「EJECT rejected」、「CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype」、「internal error」はいずれも HSC エラーです。これらについては、StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

AA	EjectコマンドのAA:LL:CCの部分のAAに指定されたACSid。
AA:LL:CC	Ejectコマンドで指定されたCAPid。

システム動作: Eject コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2014I

LSM AA:LL Status :

LSM Type : DDDD1

{Pending	}	- {Not Ready	}	- {Automatic }
Maint Mode		Ready		Manual
Offline				
Online				

CAP ID	Size	Hostid	Priority	Mode	Status
CCCC1	CCCC2	CCCC3	DD2	CCCC4	CCCC5
					CCCC5

[AUDIT in progress.]

Scratch volumes available...DDDD

Free cells available.....DDDD

Panel PP frozen - DDD1 total cells, DDD2 free cells

説明: これは、Display Lsm コマンドに対する応答で、1つまたは複数の LSM の状況を示しています。Lsm の指定時に *lsm-list* を使用しなかった場合、ライブラリ内のすべての LSM について、それぞれ 1 行の状況要約が表示されます。

表示される LSM 状況情報は、次のとおりです。

- Online/Offline/Pending Offline/Maintenance Mode Status
- Ready/Not Ready status
- Automatic/Manual Mode status
- Not configured status
- FREEZE status

表示されるLSM タイプは、次のとおりです。

- 4410 Standard LSM
- 3000 StorageTek Library 3000
- 8500 Oracle StorageTek Library 8500
- 9310 PowderHorn
- 9360 WolfCreek
- 9740 TimberWolf

Displayコマンドの形式によって、次の情報が含まれます。

- CAPの状況:CAP id、サイズ、ホスト ID、優先順位、モード、状況が示されます。これは、Display Capコマンドに対する応答で、1つまたは複数のCAPの状況を示しています。各 CAPの情報が1行に表示されます。ホストにCAPが接続されていない場合、上記のメッセージのかわりに、「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPS available」というメッセージが表示されます。

DDDD1	LSM タイプ。次のいずれかになります。 4410 Standard LSM 3000 Oracle StorageTek Library 3000 8500 Oracle StorageTek Library 8500 9310 PowderHorn 9360 WolfCreek 9740 TimberWolf
CCCC1	CAPid (AA:LL:CC)
CCCC2	CAPサイズ。次のいずれかになります。 21-CELL: 標準の CAP 20-CELL: WolfCreek CAP 30-CELL: WolfCreek オプション CAP 40-CELL: 拡張 CAP PCAP: 優先 CAP (拡張/Wolfcreek) 10-CELL: 10 個のセルマガジン付き 9740 CAP 14-CELL: 9740 14 セル CAP 26-CELL: 2 つの 13 セルマガジン付き SL3000 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP 9740-TYPE: 9740 CAP (HSC がセルの数を認識していない場合) 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP
CCCC3	CAPを所有するホストのホスト ID。CAPがアクティブである場合にだけ表示されます。

DD2	CAPの優先順位。
CCCC4	CAPのモード。次のいずれかになります。 Entering: テープのエンターに使用中。 Ejecting: テープのイジェクトに使用中。 Draining: ドレイン中。 Cleaning: CAP はクリーニングを必要としています。 Idle: CAP がアイドル状態です。 Unknown: エラーが発生しました。CAPのタイプが不明。
CCCC5	CAPの状況。次のいずれかになります。 Manual: CAP が手動モードです。 Online: CAP がオンラインになっています。 Offline: CAP がオフラインになっています。 Active: タスクを実行中 Recovery: エラーが発生しました。回復が必要。 Automatic: CAP が自動モードです。 Unknown: エラーが発生しました。CAPの状況が不明。

- 監査が進行中の場合は、それを表示。
- 各 LSMで利用できるスクラッチボリュームおよび空の格納セルの数。
- パネル上のセルの合計数 (DDD1)と空のセルの数 (DDD2)を示す、各凍結パネルを表示。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL82033I

```
{ENTER|EJECT} command rejected; LSMid AA:LL does not control a CAP
```

説明: Eject コマンドまたは ENter コマンドに対し LSMid が指定されましたが、この LSM は CAP を制御しません。

システム動作: Eject コマンドまたは ENter コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 適格 CAP の状況を調べる場合は、Display Cap コマンドを出してください。適格 CAP を制御する LSMid を指定するコマンドをもう一度出してください。

SL82034I

```
MODIFY LSMid AA:LL offline command rejected; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCCCC
```

説明: まだアクティブな CAP が少なくとも 1 つあるときに、CAP を制御できる最後の SL8500 LSM をオフラインに更新しようとしてしました。

システム動作: MODify lsm OFFline コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: LSM のすべての CAP が非アクティブになっていることを確認してください。または、アクティブな CAP を制御できる別の LSM に変更してください。ハードウェアエラーのためにそれ以上 CAP 処理を続けられない場合、FORCE キーワードを使用して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

SLS2038I

```
DRAin command rejected; ENter|EJect command not active on  
CAPid AA:LL:CC.
```

説明: 指定された CAP は現在、エンターまたはイジェクト処理を実行していません。あるいは、ENter または EJect コマンドが、DRAin コマンドが入力されたホストで処理中ではありません。

AA:LL:CC. は CAPid です。

システム動作: DRAin 要求は拒否されます。

ユーザーの応答: ENter または EJect がアクティブなホストからコマンドをもう一度出してください。

SLS2039I

```
{ENTER|EJECT} command rejected; no CAPs on {ACS AA|LSMid  
AA:LL} are eligible for selection
```

説明: ENter コマンドまたは EJect コマンドに特定の CAPid が含まれていませんでした。選択可能な CAP がありません。

CAPが選択可能であるためには、そのCAPの優先値が0 以外であり、状態がオンラインであり、かつアイドルでなくてはならず、かつ RECOVERY Modeであってはなりません。さらにENterコマンドの場合、CAPは自動モードであってはなりません。

システム動作: EJect コマンドまたは ENter コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: CAP の状況を調べる場合は、Display Cap コマンドを出してください。

- CAPの優先値を0 以外に設定する場合は、CAPPrefコマンドを使用します
- CAPコマンドをオンラインにする場合は、MODifyコマンドを使用します。
- CAPを自動モードから手動モードに変更する場合は、CAPPrefコマンドを使用します。
- CAPがRECOVERY モードである場合は、回復処理が終わるまで待ちます。

択可能なCAPが用意できたら、コマンドをもう一度出してください。あるいは、特定のCAPidを指定してコマンドを出せば、選択処理は不要です。

SLS2043I

```
Scratch warning thresholds have been set to DDDD for ACS  
acsid/LSM lsmid {SUBPOOL subpool} {MEDIA media RECTECH  
rectech}
```

説明: このメッセージは、スクラッチ警告限界値が、Warn コマンドによって調整されたことを示します。DDDD はしきい値、acsid または lsmid はしきい値が設定された ACS または LSM です。subpool はしきい値の適用先となるサブプールです。media はしきい値の適用先となるメディアタイプです。rectech はしきい値の適用先となる記録方式です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS2050I

CCCCCCCC command RRRRRRRR; reconfiguration is active

説明: コマンド CCCCCCCC を処理中に、動的再構成が検出されました。フィールド RRRRRRRR に、「not executed」または「terminated」が記載されている場合は、再構成がアクティブになっているかぎり、そのコマンドは実行できません。RRRRRRRR に「delayed」が記載されている場合は、動的再構成が完了するまで、このコマンドは延期されます。

システム動作: メッセージのテキストに応じて、コマンドは拒否、終了、延期のいずれかになります。コマンドが延期されている場合は、動的再構成が完了次第、このコマンドが実行されます。

ユーザーの応答: コマンドが拒否または終了された場合は、再構成が終わり次第、コマンドを再入力してください。

SLS2075I

Manually mounted volume volser from cell location
AA:LL:PP:RR:CC deleted from the CDS

説明: オフラインの LSM に手動でマウントされたボリューム *volser* が、手動でマウント解除されました。このボリュームはライブラリによって制御されなくなり、制御データセット (CDS) から削除されました。

システム動作: ボリュームが CDS から削除され、処理が続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS2080I

Unable to mark volume volser errant - volume is not selected

説明: マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、選択された状況でないため、完了していません。

システム動作: ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

ユーザーの応答: ボリュームが選択されない理由を確認して、適切な処理を行なってください。

SLS2081I

Unable to mark volume volser errant - VAT not owned by caller

説明: マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、VAT は呼び出し者の所有にないため、完了していません。

システム動作: ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

ユーザーの応答: カートリッジをマウントしたシステムと同じシステムから DISMOUNT 要求を発行してください。

SLS2082I

Unable to mark volume *volser* errant - VAR not owned by caller

説明: マウント解除中に、指定のボリュームのエラントをマークする試行が実行されましたが、VAR は呼び出し者の所有にないため、完了していません。

システム動作: ボリュームはマウント解除されず、エラントはマークされていません。

ユーザーの応答: カートリッジをマウントしたシステムと同じシステムから DISMOUNT 要求を発行してください。

SLS2102D

Dismount of *volser* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not in CDS; reply I, A, R or E to Ignore, Add, Retry or Eject

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたましたが、指定のボリュームが制御データセットにありません。

システム動作: マウント解除は、オペレータが I、A、R、または E のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

Ignore 「I」	マウント解除要求を無視する場合。
Add 「A」	ボリュームをCDSに追加し、そしてカートリッジを新しいホームセルにマウント解除する場合。
Retry 「R」	制御データセットの検索を再試行する場合。
Eject 「E」	カートリッジをイジェクトする場合。

SLS2108D

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - External media type unreadable; reply Retry/Bypass/Eject/Ignore (R,B,E,I)

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたましたが、外部メディアタイプを読み取れませんでした。

システム動作: マウント処理は、オペレータが Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

R	マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。
B	マウントを再実行し、メディアタイプをバイパスする場合、「B」と応答してください。
E	ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム <i>volser</i> は、制御データセットから削除されます。
I	マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

SLS2114D

Enter of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - volser cannot be used; reply E,volser to enter cartridge or I to Ignore

説明: ドライブ XXXX またはドライブ ID AA:LL:PP:NN にマウントするボリューム *volser* を入力しようとしたますが、そのボリュームは、トランスポートとの互換性がないか、メディアが読み取れないか、または別の処理用を選択されています。

システム動作: マウントは、オペレータが「E,volser」、または「I」と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

E,volser	別のボリュームシリアル番号を入力する場合、またはエラー条件を解決してから同じボリュームを入力する場合。
I	マウントを無視する場合。

SLS2119I

Allocation record mismatch

説明: プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットとの間で、DALM ブロックの不一致が検出されました。これは警告メッセージであり、制御データセットの一方に、正しいレコード割り振りが含まれていないことを示しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 制御データセットが、バックアップすべき正しいデータセットであることを確認してください。そうでなければ、正しいデータセットを使用して、BACKUP ユーティリティを再送信してください。

SLS2124I

Manual Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Complete

説明: 手作業によるマウント要求 SLS2911D が出されたため、あるいは MVS において、マウントされたボリュームがトランスポート上で検出されたため、ボリューム *volser* はトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN 上にオペレータによってマウントされた、と想定されました。

システム動作: 正常に処理は続行されます。このボリュームは CDS 内に保持されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2126D

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not in library; reply "I", "R", "T", "P", "T,capid" or "P,capid"

説明: ボリューム *volser* を指定のトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、ボリューム *volser* がライブラリにありませんでした。XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ id を示します。

システム動作: マウント処理は、オペレータが応答するか、該当するボリュームが入力されるまで、待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

I	マウントを無視する場合。
R	マウントを再試行する場合。
T	ボリュームを一時的に入力する必要がある場合。HSCは、ドライブが存在するACS 内でゼロ以外のCAPPrefを使用してCAPを割り振ろうとします。HSCはPCAPを選択しません。
P	ボリュームを永続的に入力する必要がある場合。HSCは、ドライブが存在するACS 内でゼロ以外のCAPPrefを使用してCAPを割り振ろうとします。HSCはPCAPを選択しません。
T,capid	ボリュームを一時的に入力する必要がある場合。HSCは指定のCAPidを使用します。
P,capid	ボリュームを永続的に入力する必要がある場合。HSCは指定のCAPidを使用します。

注 -

- CAPid を使用しないで「T」または「P」を入力すると、HSC はPCAP を選びません。PCAP を使用してカートリッジを挿入して MOUNT を実行する場合、「T,capid」または「P,capid」と入力しなければなりません。
- テープ管理システムを備えていない導入先では、必ずこのメッセージに응答してください(I、R、T、P、T,capid、またはP,capid)。응答しないと、ボリュームの入力後にジョブがスクラッチを要求したとき、カートリッジが選択されて上書きされることがあります。

SLS2149I

XXXX of YYYYYYYY volumes in this report meet or exceed 100% of their warranty life, total volumes: ZZZZZZZZ

説明: メディア保証期間 (MWL) の比率は、LMU 互換性レベル 21 以上のテープライブラリでボリュームマウント解除時に取得されます。このレポートで要求されたボリュームのうち、ボリュームの XXXX が保証期間の 100% かそれ以上となっています。YYYYYYY は、このレポートのボリューム番号で、既知の MWL 値があります。ZZZZZZZZ は、このレポートに表示されているボリュームの総数を表しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS2150I

Volume(s) *volser*<-*volser*> not in library

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能に要求された 1 つ以上のボリュームが、ライブラリーに定義されていませんでした。ユーティリティーコマンドにボリュームの範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合、この一連のボリュームについて、1 つのメッセージが表示されます。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2151I

"SUMMARY(SUBPOOL)" specified and scratch subpool definitions not available

説明: VOLRPT ユーティリティー文にキーワード「SUMMARY (SUBPOOL)」が指定されましたが、SLSSCRPL DD 文、アクセス可能な SLSUX03 モジュール、または SET VOLPARM 定義のいずれにも、利用できるスクラッチサブプール定義がありません。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。スクラッチサブプールの合計が生成されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2152I

CCCCCCC1 keyword for CCCCCC2 not supported in the CCCCCC3 environment

説明: CCCCCC2 ユーティリティー制御文内で見つかった CCCCCC1 キーワードは、特定の CCCCCC3 環境ではサポートされません。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 制御文からキーワードを除去してから CCCCCC3 環境でユーティリティーを実行し直すか、または互換性のある環境でユーティリティーを実行してください。

SLS2153I

Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has MEDIA-Type mismatch with database

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に見つけました。ただし、制御データセットでのそのカートリッジの MEDIA タイプ指定は、LMU 視認制御機構の結果と一致していません。

制御文での APPLY(YES)の指定によるか、または省略時値によって AUDIT がアクティブになっている場合、そのボリュームのメディアタイプ指定は、LMU での結果に一致するよう変更されます。制御文に APPLY(NO)を指定して AUDIT がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出し、制御データセットは更新されません。

システム動作: APPLY パラメータの指定によっては、制御データセット内のボリュームの MEDIA タイプ指定を変更できます。

ユーザーの応答: なし

SLS2154I

"SUMMARY" must specify either "TOTAl", "SUBpool", or both

説明: VOLRPT ユーティリティに対してキーワード「SUMMary」が指定されましたが、値が指定されていないか、指定されている値が無効です。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: VOLRPT ユーティリティに対して「TOTAl」、「SUBpool」、または「TOTAl,SUBpool」のいずれかを指定して、ジョブを再サブミットしてください。

SLS2155I

CCCCCCCC1 parameter CCCCCCCC2 already specified

説明: キーワード CCCCCCCC2 に対するパラメータ CCCCCCCC1 はすでに指定されています。

システム動作: リターンコード 4 が設定され、ユーティリティは続行します。

ユーザーの応答: 必要ありません。このメッセージは警告だけが目的です。

SLS2156I

No more SCRATCH volumes in ACS AA

説明: EJECT ユーティリティが、イジェクト対象のスクラッチテープの数を指定して実行されました。HSC は、ACS (AA) 内の利用可能なすべてのスクラッチテープをイジェクトしましたが、要求されたテープの数に達しませんでした。

システム動作: EJECT ユーティリティは、リターンコード 4 で終了します。

ユーザーの応答: 異なる ACS に対して、スクラッチテープのイジェクトを実行してください。

SLS2157I

Unable to obtain storage for volume table

説明: 要求されたボリュームを格納するテーブルを取得するための十分な記憶域がありません。このメッセージは、VM 環境だけに適用されます。

システム動作: VOLRPT ユーティリティは、リターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: 仮想計算機のサイズを大きくするか (4 メガバイト以上を推奨)、要求するデータの量を少なくしてください。

SLS2158I

SLSVA DD missing, data reported may be incorrect

説明: 報告されるボリュームシリアル番号がメディアタイプと記録技法を混合したものであるとき、SLSVA DD が必要です。すべてのボリュームシリアル番号が同じメディアおよび記録技法を持っている場合、このメッセージを無視してかまいません。混合されたメディアタイプが含まれる場合、VOLATTR 文の入ったファイルに SLSVA DD を入れなければなりません。検出されるはずの SLSVA データセットが HSC から検出されなかった場合は、HSC が非アクティブであったか、VOLRPT を実行する SLUADMIN プログラムと同じリリースレベルに HSC がありませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。報告されたデータは誤っている可能性があります。

ユーザーの応答: SLSVA DD を VOLATTR 文に指定するか、SET VOLPARM ユーティリティからボリューム属性を設定してください。

SLS2159I

CCCCCCC of volume volser - Access denied

説明: ボリュームにアクセスしようとしたますが、ユーザー出口 14 によって拒否されました。

システム動作: ユーティリティーは、ボリュームを処理しないで続行します。CCCCCCC ユーティリティーで戻りコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2160I

volser not ejected, MEDIA MISCOMPARE

説明: イジェクト処理時、イジェクトしたいボリュームにおいて、CDS 内のメディア情報と LMU から返されるメディア情報との間に不一致があることが見つかりました。SLS0698I、SLS0699I の各メッセージが HSC のコンソールに表示される場合があります。

システム動作: EJECT 処理は、カートリッジをイジェクトしないで続けられます。条件コードの 4 が設定されます。

ユーザーの応答: AUDIT ユーティリティーを実行し、メディアの不一致を訂正してください。

SLS2169I

CCCCCCCC1 (CCCCCCCC2) must have CCCCCCCC3

説明: DD 文 CCCCCCCC1 によって定義されたデータセット CCCCCCCC2 には、必要な DCB 属性 CCCCCCCC3 が設定されていません。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: DD または FILEDEF 文で適切な DCB 属性を指定し、ユーティリティーを再実行してください。

SLS2182I

Input CDS from CCCCCCCC CDS level RRRRRRRR is inconsistent with utility maintenance level

説明: リリースレベル RRRRRRRR の入力 CDS は、ユーティリティー保守レベルでは使用できません。CCCCCCCC はデータセット名です。

システム動作: プログラムは終了します。

ユーザーの応答: 現在の CDS と互換性がある HSC のリリースレベルに対するロードライブラリーを使用して、ユーティリティージョブの再送信を行なってください。

SLS2184I

DATABASE ERROR: CCCCCCCCCC1 ON CCCCCCCC2 CDS, RECORD DDDDDDD2
1 OF BLOCK DDDDDDD2 IN SUBFILE SSSS

説明: 制御データセット CCCCCCCC2 上でデータベースエラーが発生しました。CCCCCCCCCCCC1 に、このエラーの情報が示されます。DDDDDD2 は、エラーが発生した相対ブロック番号を表し、DDDDDD1 は、そのブロック内のレコード番号を表しています。(DDDDDD1 には、CDS のレコードタイプによっては、ブロック内の実際のレコード数よりも大きい数が記載されていることがあります)。SSSS は、エラー内のブロックとレコードを記載したサブファイルを表しています。

エラーが 70787078 (長さ不一致) の場合、このエラーの原因には次が考えられます。
1) 可変長 CDS レコードのレコード長が正しくなく、(CDS レコードのディレクトリエントリに定義されている通りに) 許可されている最小長を満たしていない、
2) 可変長 CDS レコードのレコード長が正しくなく、許可されている最大長を超えている、
3) ディレクトリエントリ長が正しくなく、CDS レコード長を満たしていない。

エラーが 70847084 (サブファイルが見つからない) の場合は、ユーティリティの制御文のいずれかのパラメータが範囲外の可能性があります。このエラーの原因となる範囲外の状態例には、1 つの LSM しかないライブラリーに LSM(00:06) を指定した場合などが挙げられます。これ以外の状態の場合は、CCCCCCCC2 制御データセットに、CDS 整合性エラーがある可能性があります。

システム動作: ユーティリティは、リターンコード 8 で正常終了します。

ユーザーの応答: 問題が無効なパラメータの場合は、パラメータを訂正して、必要なユーティリティを再実行してください。長さの不一致とディレクトリエントリ長が正しくない問題の場合は、Directory Rebuild ユーティリティを実行して、長さを訂正してから必要なユーティリティを再実行してください。これ以外のエラー理由の場合は、現行と同じように診断用の CDS のコピーを作成しておいてから、その CDS を修復し、必要なユーティリティを再実行してください。それでもエラーが検出される場合は、適切な情報を準備し、お客様サポートに連絡してください。

SLS2189I

WARNING: CAP CCCCCC1 unexpectedly released during CCCCCC2
CCCCC3 processing

説明: CAP CCCCCC1 は解放されましたが、CCCCC2 ユーティリティの CCCCCC3 処理ではそれが割り振られるものとみなしていました。

システム動作: 8 の戻りコードが設定され、CCCCC3 処理に応じてユーティリティの処理は続行または終了します。

ユーザーの応答: 可能であれば、ユーザーは、割り振られる CAP が早まって解放されないようにしてからユーティリティを再実行すべきです。

SLS2195I

XXXXXXXXX command rejected; CAPid AA:LL:CC is in AUTOMATIC mode

説明: 特定の CAPid でユーティリティが実行されました。この CAP は現在自動モードのために利用することはできません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 異なる CAP を指定してユーティリティを再実行するか、該当する CAP を自動モードにしてください。

SLS2197I

CAPid AA:LL:CC is offline

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が特定の CAPid (AA:LL:CC) への機能経路を必要としましたが、その CAP はユーティリティが実行されたホストに対してオフラインです。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: CAP をこのホストに対してオンラインにし (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS2198I

HSC Subsystem maintenance level is not correct for this utility

説明: このユーティリティに対する HSC サブシステム保守レベルが正しくありません。SLUADMIN ユーティリティ機能では、HSC サブシステムとユーティリティモジュールが特定のリリースか、PUT レベルでなければなりません。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: HSC とユーティリティロードライブラリが同じライブラリ連結であることを確認してください。現在実行中の HSC に対応するライブラリを選択する必要があります。正しいロードライブラリに変更した後、ジョブを再送信してください。

SLS2200I

Warning: Volume volser Media-type compare failed between VOLATTR and cartridge label

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能は、指定のボリュームシリアル番号 (volser) の付いたライブラリカートリッジを検出しました。ロボットは、ボリュームラベルが、VOLATTR 制御文の MEDia タイプ指定に一致しないメディアタイプであることを検出しました。

システム動作: なし。これは、警告 / 通知メッセージにすぎません。

ユーザーの応答: VOLATTR MEDia タイプ指定またはボリュームのメディアタイプラベルが正しいかどうかを調べて確認してください。

SL\$2201I

(...error text...)

説明: 指定の値が無効であるか、または、要求でのモデル、デバイス、記録技法情報の間に不整合が存在します。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

RECTECH is incompatible with UNIT

RECTECHパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

MODEL is incompatible with UNIT

MODELパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

MEDIA is incompatible with UNIT

MEDIAパラメータに指定された値が、デバイスに指定されたドライブと不整合です。

UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および RECTECH 値と不整合です。

UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL

デバイスに指定されたドライブが、MEDIA 値および MODEL 値と不整合です。

MEDIA is incompatible with RECTECH

MEDIAパラメータに指定された値が、RECTECHパラメータに指定された値と不整合です。

MEDIA is incompatible with MODEL

MEDIAパラメータに指定された値が、MODELパラメータに指定された値と不整合です。

RECTECH is incompatible with both UNIT and MEDIA

RECTECHパラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIAパラメータと不整合です。

MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA

MODELパラメータに指定された値が、ドライブおよび MEDIAパラメータと不整合です。

MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH

MEDIAパラメータに指定された値が、ドライブおよび RECTECHパラメータと不整合です。

MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL

MEDIAパラメータに指定された値が、ドライブおよび MODELパラメータと不整合です。

MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible

MEDIA, RECTECH、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible

MEDIA, MODEL、およびドライブパラメータに指定された値が、相互に不整合です。

MEDIA is invalid

MEDIAパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

RECTECH is invalid

RECTECHパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MODEL is invalid

MODEL パラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MEDIA and RECTECH are invalid

MEDIAおよび RECTECHパラメータに指定された値は、未知のものか、または誤っています。

MEDIA and MODEL are invalid

MEDIAおよび MODELパラメータに指定された値が、未知のものか、または誤っています。

UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed

MVS UCB のデバイスタイプは、LMU のデバイスタイプと互換性がないものであることを示しました。HSCは、当該操作のUCBのデバイスタイプであるとみなします。

UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed

デバイスのUNITATTRは、UCBまたはLMUが指示するものと一致しません。HSCは、UCB/LMUの指示どおりのタイプのデバイスを使用します。

システム動作: ユーティリティは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: エラーメッセージに記述された状況を訂正してから、ジョブを再送信してください。

SLS2202I

No scratch volumes (MEDIA/RECTECH); Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN ユーティリティは、指定された MEDia または RECtech (あるいはその両方) の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS 内にないと判断しました。

システム動作: ユーティリティは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: SCRATCH ユーティリティを使用して、ACS にスクラッチボリュームを定義してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS2203I

Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* has unreadable MEDIA label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを指定位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) で見つけましたが、そのカートリッジには、読み取り不能な外部メディアラベルが付いています。

制御文での APPLy (YES) の指定によるか、または省略時値によって監査がアクティブになっている場合、その事実を反映するよう、制御データセット内のボリュームエントリは更新されます。制御文に APPLy(NO) を指定して監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出し、制御データセットは更新されません。

システム動作: APPLy パラメータの指定に応じて、制御データセット内のボリュームエントリは更新されます。

ユーザーの応答: メディアラベルが読み取り不能な理由を判別してください。

SLS2204I

Volume *volser* in cell *AA:LL:PP:RR:CC* is not in control database.
MEDIA label unreadable

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、制御データセット内に存在しない、ボリュームシリアル番号 (*volser*) を持つライブラリカートリッジを、指定位置 (*AA:LL:PP:RR:CC*) に見つけました。しかし、カートリッジの外部メディアラベルは読み取り不能です。

制御文に APPLy (YES) が指定されて監査がアクティブになっている場合、カートリッジはイジェクトされます。制御文に APPLy(NO) が指定されて監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを出します。

システム動作: APPLy パラメータの指定によっては、ボリュームはライブラリからイジェクトされることがあります。

ユーザーの応答: カートリッジを調べて、外部メディアラベルが読み取り不能である理由を判別してください。

SLS2205I

No more SCRATCH volumes (MEDIA/RECTECH) in ACS *AA*

説明: SLUADMIN ユーティリティは、指定された MEDia および RECtech (あるいはそのいずれか) の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS *AA* 内にないことを判別しました。

システム動作: ユーティリティは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: このユーティリティ処理を継続したい場合、SCRATCH ユーティリティを使用して、正しい MEDia および RECtech の基準を使用してスクラッチボリュームを ACS に定義してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください

SLS2206I

Error ejecting Volume volser with unreadable MEDIA in cell
AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーは、セル AA:LL:PP:RR:CC にあるボリューム (volser) をイジェクトできません。このボリュームは、制御データセット内になく、しかも読み取り不能なメディア外部ラベルの付いているものです。そのカートリッジをイジェクトしようとしたますが、監査に LMU エラーがあったため、カートリッジをイジェクトできませんでした。

システム動作: この事態は、条件コード 4 のエラーとして処理されます。AUDIt ジョブは続けられます。

ユーザーの応答: エラーがなくなる場合は、担当の StorageTek ソフトウェア CSE に連絡してください。Eject コマンドでテープを除去する必要がある可能性があります。

SLS2207I

BALTOL parameter value invalid

説明: BALtol パラメータが、指定のタイプではないか、値の範囲内にありません。

システム動作: ユーティリティーは、それ以上処理を行わないで終了します。

ユーザーの応答: BALtol パラメータに指定できる値は 1-999 です。BALtol パラメータの値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2208E

VERIFY parameter invalid

説明: VERIFY パラメータが無効なプログラムで指定されています。

システム動作: JOB はリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: VERIFY パラメータを削除するか、CA1 テープ初期設定のプログラム名を TMSTPNIT に変えてください。

SLS2250I

Attempting cleanup of CAP AA:LL:CC

説明: CAPid AA:LL:CC に対して終了処理が試みられています。

システム動作: CAP はスキャンされます。

ユーザーの応答: なし

SLS2251A

CAP ejecting; please empty cartridges out of CAP AA:LL:CC

説明: CAP に対する処理を行おうとした際、選択された CAP でボリュームが見つかりました。処理を続けるためには、ボリュームを取り出す必要があります

システム動作: CAP の処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、CAP ドアを閉めてください。

SLS2252A

CAP processing terminating; please empty cartridges out of CAP
AA:LL:CC

説明: ライブラリサブシステムがシャットダウンしようとしています、CAP が使用中です。

システム動作: 終了処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、ドアを閉めてください。

SLS2253I

LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: HSC が ACS AA に対して要求を出す際、エラー XXXXXXXX が発生しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2254A

Empty CAP AA:LL:CC and close door

説明: CAP 処理の開始時または終了時に CAP にカートリッジが入っていることが検出されましたが、そのカートリッジは取り出さなければなりません。

システム動作: 処理は待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP ドアを開いてカートリッジを取り出し、ドアを閉めてください。

SLS2255I

Module CCCCCCCC ABEND XXXXXX, RC=XXXXXXXX; ZZ dump taken

説明: CAP を構成するソフトウェアが異常終了しました。CCCCCCCC は異常終了したモジュール、XXXXXX はシステムまたはユーザーの異常終了コード、CCCCCCCC は理由コードを示します。また ZZ は、ダンプが取られていない場合は「NO」、ダンプが取られている場合は空白になります。

システム動作: アプリケーションのエラー処理ルーチンが問題の解決を試みます。

ユーザーの応答: ダンプが取られた場合はそれを保管し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2256I

Automatic CAP Service {Available|Unavailable}

説明: 自動 CAP サービスをサポートする CAP コンポーネント機能を実行しようとしてしました。自動 CAP サービスは、ACS が接続されていない場合でも有効にできます。「Unavailable」と示されている場合、このサービスは機能しません。したがって、「automatic」状態の CAP は、自動エンターを処理しません。

システム動作: HSC は機能し続けますが、自動 CAP サービスは行いません。

ユーザーの応答: 自動 CAP サービスが Available の場合は、処置を行う必要はありません。

自動 CAP サービスが Unavailable の場合は、CAP を手動モードにして処理を続けられます。問題の原因を特定し、可能であれば訂正してください。ダンプが出力された場合はそれを保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

自動 CAP サービスを再アクティブ化するためには、HSC を停止して再起動します。

SL52257I

Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; unable to make CAP
AA:LL:CC CCCCCC3

説明: CAP AA:LL:CC 上での操作 CCCCCC2 に失敗したため、CAP を CCCCCC3 (MANual または AUTO) 状態に置くことができませんでした。CCCCCC1 は、操作 CCCCCC2 からの戻りコードです。

システム動作: 指定された CAP は、CCCCCC3 状態になりません。実行は続けられます。

ユーザーの応答: リターンコードの原因を特定して可能であれば訂正した後、コマンドを再試行してください。

SL52259A

CAP AA:LL:CC unlocked; Magazine(s) installed improperly or CAP not closed completely

説明: CAP AA:LL:CC 内にマガジンがないか、マガジンが正しく取り付けられていないか、または CAP が完全に閉じられていないかのいずれかです。CAP には、少なくとも 1 つのマガジンが入っていなければなりません。また、SL8500 CAP の場合を除き、そのマガジンは、CAP の一番下の位置になければなりません。

システム動作: システムは、オペレータが CAP ドアをいったん開いて閉じるまで、待ち状態になります。CAP ドアが閉じられると、CAP をもう一度スキャンして、マガジンが正しく取り付けられているかどうか確認します。問題が解決していない場合は、このメッセージがもう一度発行されます。

ユーザーの応答: CAP にマガジンが入っていない場合、少なくとも 1 つのマガジンを挿入してください。SL8500 CAP の場合、マガジンは、上、中、下のいずれの位置にも配置できます。そのほかの CAP 場合、CAP の一番下から挿入してください。マガジンの下に空のスロットがある場合は、そのマガジンを移動してマガジンの下に空のスロットが残らないようにします。CAP ドアを閉じます。

注 – 上部の右隅に「N」という記号のないマガジンは、WolfCreek LSMには認識されません。これらのマガジンの1つがWolfCreek CAPの一番下のスロットに取り付けられている場合は、このメッセージが発行されます。これらのマガジンの1つがWolfCreek CAPに取り付けられていても、それが一番下のスロットでなければ、このメッセージは発行されません。ただし、そのマガジンよりも下に取り付けられているマガジンしか使用されません。

SL52260I

Auto CAP Enter of volser failed; {LSM PATH OFFLINE|ACS OFFLINE|CARTRIDGE MADE ERRANT|CAP OFFLINE|CAP ID INVALID}

説明: 次のいずれかの理由で、ボリューム *volser* が入力されませんでした。

- LSM 経路、ACS、LSM、CAPのいずれかがオフラインだった
- CAPidが無効か、カートリッジがエラーだった

システム動作: システムの操作は続けられます。ボリューム *volser* は CAP 内に残ります。

ユーザーの応答: LSM 経路、ACS、LSM、CAP をオンラインにして、操作を再試行してください。

SLS2261I

Auto CAP Enter - unexpected Return Code XXXXXXXX

説明: 自動 CAP エンター処理で、予期しない戻りコード XXXXXXXX を受け取りました。

システム動作: 自動 CAP エンター操作は完了しません。ただし、システムの操作は続けられます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2262I

Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; CAP AA:LL:CC is unlocked

説明: 指定された操作 (CCCCCC2) で、CAP AA:LL:CC のロックに失敗しました。戻りコードは CCCCCC1 です。

システム動作: 指定された CAP はこのホストからロックされず、CDS で手動モードに設定されたままです。実行は続けられます。

ユーザーの応答: 必要に応じて、CAP ドアをいったん開いて閉じてください。

SLS2263I

CAP AA:LL:CC in {AUTO|MANUAL} mode

説明: CAP AA:LL:CC が、メッセージに示されたモード (AUTO または MANual) に変わりました。示されたモードが AUTO (自動) の場合、CAP はロック解除され、カートリッジを挿入できます。示されたモードが MANual (手動) の場合、カートリッジを挿入するためには、ENter コマンドを出して CAP のロックを解除する必要があります。

システム動作: CAP は、モードがマニュアルのときはロックされています。自動モードのときはロックされていません。

ユーザーの応答: なし

SLS2264E

Auto CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

説明: HSC レベル 2 での終了処理中、自動モードの CAP AA:LL:CC がアクティブのままでした。

システム動作: HSC レベル 2 の終了処理は、CAP AA:LL:CC がアクティブでなくなるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合は、このメッセージの前に表示された、CAP 内のカートリッジを取り出すことを要求する各メッセージに対して、適切な処置をとってください。

SLS2266E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:CC has an invalid media label and cannot be entered

説明: カートリッジ (volser) が CAP セル AA:LL:CC:RR:CC で見つかりましたが、読み取り不能な光学式メディアラベルが付いているため、エンターできません。

システム動作: カートリッジの挿入処理は、カートリッジの見つかった CAP セル内にそれを残したまま、その CAP 内の次のカートリッジに進みます。

ユーザーの応答: CAP からカートリッジを除去してください。カートリッジを挿入しなれない場合は、メディアラベルを修正してください。

SLS2267I

Eject of volser into PCAP - media type changed from MM1 to MM2

説明: ボリューム (volser) を PCAP にイジェクトしようとしたましたが、メディアが不一致であったため失敗しました。

メディアの不一致エラーが起きるのは、検証される HSC 提供のメディアタイプ (MM1) が、視認制御機構 (MM2) が読み取るメディアタイプと一致しない場合です。LMU は、メディアの不一致エラーとして、その不一致を HSC に報告します。メディアの不一致エラーが起きるのは、HSC がメディア検証を実行するよう LMU に要求した場合だけです。

システム動作: 制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、視認制御機構が読み取るメディアタイプに変更されます。イジェクトは自動的に再試行されます。

このメッセージは、メディアの検証が機能しているときにのみ出され、イジェクトが自動的に再試行されるときにメディアの検証が行われます。再びメディアの不一致が起こった場合は、イジェクトは失敗し、PCAP はリリースされます。

ユーザーの応答: MM1 と MM2 が同じ場合、LMU または視認制御機構にハードウェア問題が存在する可能性があります。自動的な再試行でイジェクトが失敗した場合は、非 PCAP にボリュームをイジェクトしてみてください。再試行でイジェクトできた場合は、処置を行う必要はありません。

SLS2268I

CAP reserved to another host group; unable to make CAP
AA:LL:CC AUTO

説明: ACSLS などの別のホストグループが CAP AA:LL:CC を予約しているため、CAP を AUTO 状態に置くことができませんでした。

システム動作: 指定された CAP は、AUTO 状態になりません。実行は続けられます。

ユーザーの応答: ほかのホストグループが CAP を解放するまで待つか、ほかのホストグループのソフトウェアまたはハードウェア機構を使用して CAP を解放します。

SLS2269E

CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

説明: HSC レベル 2 での終了処理中、CAP AA:LL:CC がアクティブのままです。

システム動作: HSC レベル 2 の終了処理は、CAP AA:LL:CC がアクティブでなくなるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合は、このメッセージの前に表示された、CAP 内のカートリッジを取り出すことを要求する各メッセージに対して、適切な処置をとってください。

SLS2275I

CAP AA:LL:CC: unavailable for CCCCCC1 CCCCCC2

説明: CAPAA:LL:CC は、直前の CCCCCC1 の処理時に予定外に解放されたため、CCCCCC2 処理で使用できません。このメッセージにはメッセージ SLS2189I が付随することがあります。

システム動作: ユーティリティ処理の該当フェーズはバイパスされます。

ユーザーの応答: 可能であれば、ユーザーは、割り振られる CAP が早まって解放されないようにしてからユーティリティを再実行すべきです。

SLS2276I

Drive XXXX is incompatible with media for volume volser

説明: CARTINIT ユーティリティはボリューム *volser* を、指定のトランスポート XXXX にマウントしようとしたましたが、テープメディアとトランスポートは互換性がありません。

システム動作: システムはカートリッジをイジェクトし、次のカートリッジから CARTINIT 処理を継続します。

ユーザーの応答: SLSTAPE DD 文に、初期設定しているメディアに一致するトランスポートを指定してください。

SLS2277I

RECONFIG volume copy started using DDDDDDDD

説明: DDDDDDDD の方法は、RECONFIGuration ボリュームコピーに使用されています。DDDDDDDD は CDS I/O またはデータスペースの可能性があります。データスペースの方法は、パフォーマンスを向上させます。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2278D

Creation of the RECONFIG utility Data Space failed - MMMMMMMM
- CC - RRRRRRRR; reply CDS or Terminate (C/T)

説明: MMMMMMMM は、再構成ユーティリティのデータスペースの作成に失敗した IBM マクロコールです。CC は失敗に関する戻りコードです。RRRRRRRR は失敗に関する理由コードです。リターンコードおよび理由コードについては、適切な IBM の資料を参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV でリターンコードが 08、理由コードが xx0005xx である場合は、データスペースがインストール条件 (IEFUSI exit) に違反しています。これは、HSC が保護キー 1 から 7 で実行されていないことを示しています。HSC 用の保護キーを正しく指定する方法については、SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバー内の MVS プログラムプロパティの表を確認してください。

システム動作: 再構成 (Reconfig) ユーティリティは、ユーザーが CDS 「C」または Terminate 「T」を返すまで待機します。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

C	ボリュームコピーステップを行うCDS I/Oの方法を使用して再構成 (Reconfig)ユーティリティを続行する場合。この場合、ユーティリティの実行時間が長くなります。
T	再構成 (Reconfig) ユーティリティを終了させる場合。

SLS2279E

RECDEF data set is not a newly recreated CDS

説明: 再構成 (Reconfig) ユーティリティが、RECDEF CDS にレコードを検出しました。RECDEF CDS は新しく作成された CDS である必要があります。

システム動作: 再構成 (Reconfig) ユーティリティは、リターンコード 08 で終了します。

ユーザーの応答: SLICREAT ユーティリティを実行して新しい CDS を作成してください。

SLS2280I

Volume VVVVVV selected after SCRATCH command USETOKN

説明: スクラッチコマンドで VVVVVV ボリュームが指定されました。しかし、物理ボリュームの選択日付 / 時刻または VTV の最終使用日付 / 時刻が、スクラッチコマンドで指定されたトークンよりもあとになっています。

システム動作: ボリュームはスクラッチされません。テープ管理システムでこのボリュームがスクラッチステータスのままになっている場合は、後続のスクラッチ同期実行によってこのボリュームのスクラッチが行われます。

ユーザーの応答: なし

SLS2314I

CAP AA:LL:CC released or drained

説明: EJECT ユーティリティーの実行中に、割り当てられた CAP AA:LL:CC の解放またはドレインが行われたことが検出されました。

システム動作: ほかの CAP がアクティブな場合、ユーティリティーの処理が続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS2316I

Volume volser not ejected; CAP(s) released in ACSid AA

説明: EJECT ユーティリティーの実行中に、ACSid AA に割り当てられた CAP の解放またはドレインが行われたことが検出されました。

システム動作: ほかの ACS 内の CAP がアクティブな場合、ユーティリティーの処理が続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS2317I

Unexpected EOF reading journal specified by SLSJRNdd DD statement

説明: RESTORE ユーティリティー処理で、ジャーナルファイル SLSJRNdd を読み取ろうとしたとき、ファイルの終わり条件が検出されました。(dd=01 - 99)

システム動作: ユーティリティーは終了して、リターンコード U1096-0202 が返されます。

ユーザーの応答: 指定のジャーナルファイルが正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。正しくない場合、SLICREAT を使用してジャーナルファイルをフォーマットしてください。

指定のジャーナルファイルが正しくフォーマットされている場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2318I

Volume VVVVVV is a VSM MVC cartridge; Cannot be entered into scratch list

説明: SLUADMIN SCRATCH Update ユーティリティーが、指定されているボリュームシリアル番号 (VVVVVV) をライブラリスクラッチプールに追加しようとした。しかし volser は VSM MVC カートリッジとして定義されているため、volser をスクラッチボリュームとして処理できません。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーによって SCRATCH Update ユーティリティーが取り消されることはありません。ただし、指定されているボリュームシリアル番号を調べて訂正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2319I

Volume VVVVVV already defined in VSM as scratch

説明: SLUADMIN SCRATCH Update ユーティリティが、指定されているボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を VSM スクラッチプールに追加しようとしたが、Volser はすでにスクラッチボリュームとして定義されています。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーによって SCRATCH Update ユーティリティが取り消されることはありません。ただし、指定されているボリュームシリアル番号を調べて訂正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2320I

Volume VVVVVV not defined in VSM as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、VSM スクラッチプールから指定のボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を除去しようとしたが、そのボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーによって SCRATCH Update ユーティリティが取り消されることはありません。ただし、指定されているボリュームシリアル番号を確認してから、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再サブミットすることもできます。

SLS2321I

Volume VVVVVV successfully added to VSM as scratch

説明: SLUADMIN SCRATCH Update ユーティリティによって、指定されているボリュームシリアル番号 (VVVVVV) が VSM スクラッチプールに追加されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2322I

Volume VVVVVV successfully added from VSM scratch pool

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティにより、VSM スクラッチプールから、指定のボリュームシリアル番号 (VVVVVV) が削除されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2323I

Volume volser is not eligible to be scratched: reason

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、ライブラリスクラッチプールに、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) を追加しようとしたましたが、Volser はスクラッチに不適格と設定されていました。

この要求は、次のいずれかの理由で拒否されました。

- MVC として事前に定義されていたため、volser が「DO NOT SCRATCH」状態に設定されている。
- この volser は、POOLPARM 文によって外部プール内にあるものと定義されており、OWNRPLEX 値が、発行側 TapePlex と一致しなかった。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーによって SCRATCH Update ユーティリティが取り消されることはありません。ただし、指定されているボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を調べて訂正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再サブミットすることもできます。

SLS2324I

Volume volser not scratched, DFSMSRMM API Error, FFFFFFFF,
RC=xx, RS=yy

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、特定のボリュームシリアル番号 (*volser*) をスクラッチしようとしたましたが、DFSMSrmm がゼロ以外の戻りコードを戻したため、スクラッチできませんでした。FFFFFFFF は、失敗した RMM 機能です。この機能は、LISTVOLUME または CHANGEVOLUME のいずれかです。戻りコード *xx* および理由コード *yy* の詳細については、DFSMSRMM の資料を参照してください。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティは取り消されません。問題を解決して、この volser に対してスクラッチ更新ユーティリティを再実行してください。

SLS2325I

Volume volser not scratched because it is not a scratch in the
DFSMSrmm database.

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティが、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) をスクラッチしようとしたましたが、ボリュームが DFSMSrmm 制御データセットでスクラッチ状況ではなかったため、スクラッチできませんでした。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: このエラーでは、スクラッチ更新ユーティリティは取り消されません。ボリュームが DFSMSrmm 制御データセットでスクラッチ状況になった後、この volser に対してスクラッチ更新ユーティリティを再実行してください。

SLS2326I

VTV VVVVVV not scratched because of status change

説明: VTCS は、VTV VVVVVV のスクラッチを行おうとした際に、コマンドが最初に発行されたあとでその VTV のステータスが変更されたことを検出しました。

システム動作: VTV のスクラッチは行われませんでした。

ユーザーの応答: なしこのメッセージは警告のためだけに表示されます。要求の検証時刻とスクラッチコマンドの試行時刻との間でかなりの遅延が発生する可能性があるため、別の要求によって VTV レコードが更新されてスクラッチ要求が無効になる可能性も十分にあります。

次の原因により、VTV ステータスが変更されることがあります。その場合、検証実行後、スクラッチ要求の試行前に変更されます。

- VTV がマウントされるが、マウント解除されない。
- VTV が、アプリケーションプログラムによって読み出されるか書き込まれる (したがって、マウント済みかつマウント解除済み)。

SLS2401I

User SCRATCH subpool definition unsuccessful -
CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC2

説明: ユーザー SCRATCH サブプールの定義が失敗しました。その原因は CCCCCCCCCCCCCCCCCC2 で示され、次のいずれかになります。

Bad number of subpools: n

ユーザーが、最大の 255 個を超えるサブプールまたは 0 個のサブプールを定義しようとしてしました。 n は、指定されたサブプールの数です。

Subpool defined out of order: n

サブプールを順番に定義しませんでした。HSC に提供するサブプール番号は、1 から順番に並んでいる必要があります。 n は、順番に定義されていない最初のサブプールの番号です。

Bad number of subpool entries: 0

0 のサブプール範囲を定義しました。

Bad volser range: vvvvv1-vvvvv2

無効なボリュームシリアル番号の範囲でサブプールを定義しました。無効なボリュームシリアル番号の範囲の始めと終わりは vvvvv1 と vvvvv2 で示されます。

Bad label type: X"xx"

無効なラベルタイプでサブプールを定義しました。無効なラベルタイプは 16 進数の xx で示されます。

Subpools already defined

サブプールを 2 回定義しました。1 つの実行では、サブプールは 1 回のみ定義できます。

Expected entry number exceeded

新しいスクラッチサブプールのボリュームシリアル番号範囲を定義しようとしてしましたが、指定したボリュームシリアル番号範囲番号を超過しています。

Expected subpool number exceeded

新しいスクラッチサブプールを定義しようとしてしましたが、指定したサブプール番号を超過しています。

Invalid host list definition: n

ユーザーが VER1 SLSUX03P パラメータリストを使ってホストリストを定義しようとしたが、ホストリストの指定が間違っていました。n は、間違ったホストリスト定義で定義されたサブプールの番号です。

システム動作: サブプールは定義されません。

ユーザーの応答: 無効なサブプールの定義を修正して、HSC に定義の再送信をしてください。これを行うには、HSC をいったん停止させて、また起動させる必要があります (定義が VM テープ管理インタフェースを介して送信されている場合を除きます)。

SLS2402E

```
Scratch Pool Depletion Warning for ACS AA|LSM AA:LL {Subpool  
CCCCCCC1} {Media CCCCCC2}, DDDDDDDDDDD Scratch Volumes  
remaining
```

説明: メディアタイプ CCCCCC2 のスクラッチ警告の限界値または間隔に達しました。指定の ACS (AA) または LSM (AA:LL) には (DDDDDDDDDD) スクラッチボリュームが残っています。サブプールに限界値を指定すると、そのサブプールは CCCCCC1 でも識別されます。

このメッセージは、スクラッチプールが最初のスクラッチ警告レベルに達したときに初めて出されます。このメッセージは、スクラッチプールが空の場合、スクラッチ間隔ごとに繰り返されます (スクラッチ限界値と警告の間隔について詳しくは、コマンド Warn および OPTion Warnmsg を参照してください)。

システム動作: ACS または LSM は、ユーザーが Warn コマンドで指定したスクラッチボリューム数次の状態で稼働しています。すべてのスクラッチボリュームが使用済の場合、HSC は、スクラッチマウント要求を非ライブラリトランスポートに割り振ろうとします。

ユーザーの応答: (スクラッチ更新ユーティリティー機能を実行することによって) ACS または LSM のスクラッチプールに正しいメディアタイプのスクラッチカートリッジを加えるか、またはスクラッチ警告の限界値を低くしてください。

SLS2405E

```
Configuration manager (FIGMGR) Error: Program - CCCCCCCC1,  
Function - CCCCCC2, Level - CCC3, Type - CCCCCC4, RC - XXXX
```

説明: HSC 構成マネージャーが予期しないエラー状態を報告しました。

システム動作: タスクは異常終了し、ダンプが作成されます。

ユーザーの応答: ダンプを保存します。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2412I

Previously unselected volume VVVVVV incurred an error while the record was being CCCCCCCCCCCCCCCCCC

説明: ボリューム VVVVVV に対して、CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 処理よりも前のある時点で UNSELECT ユーティリティが実行されました。

ユーティリティがボリュームを選択解除したときに、エラーを検出した処理ではそのボリュームを選択していません。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC 処理は次のように定義されます。

- Unselected (選択解除)
- Made errant (エラント化)
- Updated (更新)
- Inserted as scratch (スクラッチとしてエンター)
- Deleted (削除)

システム動作: 処理は完了していません。この後に U1096 異常終了が続く場合があります。その場合、戻りコード 4004 の「volume not selected」が示されます。

ユーザーの応答: U1096 異常終了のリターンコード 4004 は、ユーザー処置の影響であり、現在のボリュームの状況には当てはまりません。カートリッジの状況を判別する必要があります。訂正処理が必要な可能性があります。システムログをスキャンし、このメッセージの前にボリュームに対して行われた最後のシステム処理を調べてください。ボリュームを表示し、HSC がどこにカートリッジがあると想定しているかを判別してください。この情報を使用して、View コマンドで考えられるカートリッジの位置を 1 つずつ調べます。View でボリュームがホームセルにないことが示され、Display Volume でホームセル内にあるけれども選択解除されていることが示された場合、主な解決法は 2 通りあります。

第 1 は、View で、システムログメッセージ、または取られた処理に基づいてライブラリ内のボリュームの物理位置が見つけれられた場合です。ボリュームが MVS のトランスポート上にある場合、そのトランスポートに対して Unload コマンドを出さなければなりません。またボリュームがオンラインになっている場合、Unload コマンドは、デバイスがもう割り振られなくなるまでそのデバイスのアンロードを延期します。ボリュームがどのシステムに対してもオンラインになっていない場合、ボリュームシリアル番号を指定しないで HSC DISMount コマンドを出します。VM では、デバイスがテープ管理仮想計算機 (VMTAPE など) に ATTACH されている場合、ボリュームシリアル番号を指定しないで HSC DISMount を出します。デバイスがどの仮想計算機にも ATTACH されていない場合は、デバイスを仮想計算機に一度 ATTACH してから DETACH することにより、テープをアンロードする必要があります。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、ATTACH は失敗します。ボリュームが CAP 内にある場合、HSC ENter コマンドを出してその CAP を割り振ってから、カートリッジを取り出してください。以下に示す処理手順に従って、制御データセットからボリュームリファレンスを論理的に削除してください。ハードウェア障害が原因でアクセス不能な位置にボリュームがある場合は、(PTP、Transport、CAP、LSM)、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。

第 2 は、CAP 処理または手動モードのときに LSM からボリュームが取り出されたため、ライブラリの外部に置かれている場合です。通常、これはセルに対して AUDIt を実行すれば訂正できます。別の方法では、ボリュームに対して HSC Eject コマンドまたは MOUNT コマンドを実行し、そのあとのメッセージにตอบสนองして、制御データセットから「論理」ボリュームリファレンスをイジェクトまたは削除します。

SLS2413I

VOLUME/POOL definitions updated by SET VOLPARM; *DEF commands
ENABLED|DISABLED

説明: ボリュームとプールの定義が、SET VOLPARM ユーティリティーで更新されています。このメッセージは、HSC 初期設定時、および SET VOLPARM ユーティリティーを実行したときに表示されます。

システム動作: 次の VOLUME/POOL 定義が更新されます。

- VOLATTR
- MVC POOL
- SCRATCH POOL

*DEF コマンドは、指定できる (使用可能な) 場合と、指定できない (使用不能な) 場合があります。

ユーザーの応答: なし

SLS2414E

Error reading VOLPARM data; old commands allowed

説明: VOLUME/POOL 定義のデータを読み取り中に、エラーが発生しました。エラーのタイプについては、前のメッセージを参照してください。

システム動作: 次の旧スタイルの VOLUME/POOL 定義コマンドが使用できます。

- VOLPDEF
- MVCDEF
- SCRPDEF

ユーザーの応答: 入出力エラーの原因を調査し、訂正してください。

SLS2415E

Error parsing VOLPARM data; old commands allowed

説明: VOLUME/POOL 定義のデータを解析中に、エラーが発生しました。解析エラーのタイプについては、前のメッセージを参照してください。

システム動作: 次の旧スタイルの VOLUME/POOL 定義コマンドが使用できます。

- VOLPDEF
- MVCDEF
- SCRPDEF

ユーザーの応答: 解析エラーの原因を調査し、訂正してください。SET VOLPARM ユーティリティーの更新内容については、最新メンテナンスを確認してください。

SLS2416I

VOLPARM VOLUME/POOL definitions are not active

説明: VOLPARM VOLUME/POOL の定義が、アクティブになっていません。次の CDSDATA 情報が使用できません。

- CDSDATA TYPE=VOLPOOL
- CDSDATA TYPE=MVCPOOL
- CDSDATA TYPE=SCRPOOL

システム動作: なし

ユーザーの応答: SET VOLPARM ユーティリティを実行して、VOLUME/POOL 定義を有効にしてください。

SLS2450E

Error reading control database - RC = XXXX

説明: 構成制御機能がデータベースサーバーからエラーを示すリターンコードを受け取り、処理を続けられませんでした。

システム動作: 構成制御機能は異常終了します。このエラーにより、トップレベルのほかの機能も異常終了する恐れがあります。

ユーザーの応答: 制御データセットを含んでいるデバイスを検査してください。デバイスが操作可能な場合は、制御データセットの最新のバックアップを準備し、SLUADMIN RESTORE ユーティリティを実行してください。

SLS2459I

Panel Mismatch - LSM AA:LL

```

                        1111111111
Panel Number 01234567890123456789
LMU Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
CDS Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

```

説明: 構成制御検査機能が、LMU のパネルタイプ定義と、LSM AA:LL で見つかったパネルタイプ定義との間に不一致を検出しました。各状況域は 2 行で示されます。最初の行はパネルタイプの上位、2 番目の行はパネルタイプの下位を表現します。上位の「C」および下位の「X」という文字は、次の数字に置き換えられます。

ブランク	パネルなし
	大容量 LSM (4410,9310)
00	PowderHorn ウィンドウパネル
01	セルパネル
02	ドアに隣接するセル (パネル 10)
03	ドアパネル

04	バススルー右パネル (WolfCreekのパネル 2に接続している場合 以外はマスター PTPパネル)
05	バススルースレーブパネル
06	通常のドライブパネル
07	ドアに隣接するドライブ (パネル 10)
08	LCUパネル (パネル 0)
09	クリッパードアパネル (パネル 11)
10	内部セル (パネル 13-18)
11	内部セル (パネル 19)
12	内部ドア (パネル 12)
13	ワイドドライブパネル (20 ドライブ用の構成)
14	ドアに隣接するワイドドライブパネル (20 ドライブ用の構成) (パネル 10) <i>WolfCreek LSMs (9360)</i>
20	パネル 0
21	パネル 2 (スレーブバススルー付き)
22	パネル 0 (マスターバススルー付き)
23	パネル 1 (ドライブなし)
24	パネル 1 (ドライブ付き)
25	パネル 2
26	パネル 2 (マスターバススルー付き)
27	パネル 3
28	パネル 3 (ドライブ付き)
29	パネル 4 (CAP 1 台付き)
30	パネル 4 (CAP 2 台付き)
31	パネル 3 (セルなし)
32	パネル 3 (ドライブ付き、セルなし)
33	パネル 3 (ビューウィンドウ付き)
34	パネル 3 (ドライブホール付き、ドライブなし)
35	パネル 4 (CAP 1 台付き、セルなし)
36	パネル 4 (CAP 2 台付き、セルなし)

37	パネル 4 (CAP 付き、オプションセルなし) 97XX LSMs (9740)
40	9740 パネル (セルなし) (ウィンドウ付きのドア)
41	9740 パネル (4 列のセル付き、パススルーポートなし) (パネル 0 またはセル付きのドア)
45	9740 CAP パネル
46	9740 ドライブ パネル
47	9740 パネル (スレーブパススルー付き) (パネル 0)
48	9740 パネル (マスターパススルーポート付き)(パネル 2)
99	LMU の未知のパネルタイプ

システム動作: 構成制御検査機能は、すべての不一致を報告するための処理を続けます。HSC は起動したままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままです。

ユーザーの応答: 2 つの状況域を比較すれば、LSM パネル構成のどこに相違があるかわかります。実際の物理構成に基づき、(1) LMU 構成に合わせて LIBGEN パラメータを変更し、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成する、(2) StorageTek ソフトウェア CSE に依頼して、LIBGEN パラメータに合わせて LMU 構成を変更する、のいずれかを行なってください。

SLS2460I

Select override occurred for a CCCC record at address HHHHHHHH

説明: CCCC レコードの解放待ちになっていた構成管理プログラムはタイムアウトになりました。更新は行われなかったため、新しい要求は、アドレス HHHHHHHH のレコードにアクセスできませんでした。

システム動作: 処理は続きます。特定のオペレータ介入が必要なことがあります。

ユーザーの応答: HSC アドレス空間のダンプをとり、StorageTek ソフトウェアサポートにご連絡ください。

SLS2463I

Drive record for drive AA:LL:PP:NN not written; key CDS fields have changed

説明: HSC はドライブのレコードに再書き込みしようとしたましたが、ドライブの ID、ユニットアドレス、または削除された状況のいずれかが Set SLIDRIVS コマンドによって変更されました。

システム動作: ドライブのレコードへの再書き込みはバイパスされます。

ユーザーの応答: ホストをリサイクルしてドライブのレコードをリフレッシュしてください。

SL52501I

CCCCCCCC1 task was found to be active during HSC termination;
waiting for completion

説明: HSC のコンポーネントの終了中に、CCCCCCCC1 に示されたタスクがアクティブであり、終了処理を続けるためにはこのタスクを終了する必要があることがわかりました。CCCCCCCC1 には、次のいずれかのタスクが示されます。

- Automatic CAP
- Station Monitor
- Attach Monitor
- Listener
- Server
- VTCS Monitor

システム動作: 終了処理は、メッセージに示されたタスクの処理が終了するか取り消されるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 可能であれば、タスクの処理を完了してください。ユーティリティを実行している場合は、ジョブをキャンセルする必要がある場合もあります。ジョブ名は、Display Status コマンドによって調べられます。アクティブなジョブがエンター処理の場合は、適切な CAP に対してドレインを行ってください。

SL52502I

HSC Initializing with a cold start because the release levels
of the previous and current HSCs are different

説明: HSC の初期化の過程で、前回アクティブであった HSC サブシステムのリリースレベルが、現在の HSC のリリースレベルと違うことが検出されました。内部ワールドスタートが呼び出されて、メモリー内のすべてのデータ構造などが現在の HSC のリリースと互換性があるようにされます。

システム動作: HSC の初期化が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL52526I

Reconfiguration function did not run successfully --
Component= MMMMMMMM, RC= XXXXXXXX

説明: 再構成機能を実行しようとしたが、エラーが発生したため、構成機能を正常に実行させられませんでした。Component は、実行できなかった HSC コンポーネントの名前です。RC は、実行できなかった操作からのリターンコードです。

システム動作: 再構成機能の処理は終了します。

ユーザーの応答: 名前が示されたコンポーネントに対するリターンコードをチェックしてください。適切な解決方法が見つからない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2528I

Reconfiguration function has skipped the copy to the new secondary CDS.

説明: セカンダリ CDS は未定義であったため、新しいプライマリから新しいセカンダリ CDS への複写はスキップされました。

システム動作: 再構成機能は処理を続け、条件コード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: 導入システムで、シャドウコピーを使用する予定の場合、IEBGENER のようなユーティリティを使用して、プライマリ制御データセットをセカンダリまたはスタンバイ (あるいはその両方) の制御データセットにコピーできます。

SLS2550I

LLLLLLLL keyword value must be enclosed in double parentheses.

説明: キーワード LLLLLLLL に対して指定する値は、二重かっこで囲む必要があります。

システム動作: LIBGEN アセンブリは、条件コード 12 で終了します。

ユーザーの応答: 必要な場所にかっこを挿入し、かっこの対応を確認し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS2557I

Door type of DDDD not valid on this LSM type

説明: SLILSM マクロで無効なドアが指定されています。SLILSM マクロで定義された LSM の種類は、DDDD ドアをサポートしません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS2559I

PASSTHRU parameter N of WolfCreek LSM LLLLLLLL1 must be "MASTER" for connection to adjacent MMMM LSM LLLLLLLL2

説明: ラベル LLLLLLLL1 の WolfCreek LSM に指定された N 番目のパススルーパラメーターが「slave」に定義されました。隣接する LSM は、ラベル LLLLLLLL2 の標準 (4410) LSM または Powderhorn (9310) LSM です。PTP を介して WolfCreek LSM を標準 LSM または Powderhorn LSM に接続する場合は、WolfCreek LSM が必ず「master」でなければなりません。

システム動作: LIBGEN アセンブリは、条件コード 12 で終了します。

ユーザーの応答: WolfCreek LSM と、標準または Powderhorn LSM との間のパススルー関係を再定義し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS2580E

Insufficient space was allocated for the control data set; the number of blocks required is DDDDD

説明: データベースの作成中、CDS に割り振られた容量が使用中の LIGEN 定義に対して不十分であると SLICDATA が判断しました。

システム動作: SLICREAT は終了します。

ユーザーの応答: データセットに適切な容量を再割り振りしてください。

SLS2581A

No scratch volumes exist for device address DDDD recording technique RRRRRRRR; enter a scratch volser or I to Ignore

説明: SLIEXERS ユーティリティの実行時に、指定のデバイス (DDDD) の記録技法 (RRRRRRRR) に一致するスクラッチテープは存在しないと判別されました。

システム動作: SLIEXERS は、オペレータの応答を待ちます。

ユーザーの応答: スクラッチテープとして使用できる 6 桁のボリュームシリアル番号を使用するか、または稼働しているデバイス DDDD を無視するために「I」と応答してください。

SLS2582I

The HSC is not at FULL service level

説明: 指定のユーティリティを実行しようとしたましたが、HSC は正しいレベルではありませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: HSC を FULL サービスレベルにしてから、ユーティリティを再実行してください。

SLS2583I

Device address DDDD was Ignored|Verified|Not Available

説明: デバイス DDDD は、スクラッチテープが使用できないので無視されたか、SLIEXERS ユーティリティで検証されたか、または SLIEXERS ユーティリティで使用できませんでした。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2584I

Error locating or attempting to use volser vvvvvv; Please enter another volser

説明: SLIEXERS ユーティリティは、ACS 内で指定のボリュームシリアル番号 (vvvvvv) を見つけられなかったか、またはそのボリュームのメディアタイプがテープドライブに対して有効なものではありませんでした。

システム動作: メッセージ SLS2581A が表示されます。

ユーザーの応答: メッセージ SLS2581A の指示どおりに処置してください。

SLS2585E

Module is not APF authorized

説明: SLIEXERS ユーティリティは、APF 許可のあるライブラリから実行しなければなりません。

システム動作: ユーティリティは処理を停止します。

ユーザーの応答: APF 許可のあるライブラリから SLIEXERS ユーティリティを実行してください。

SLS2586E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is a duplicate

説明: ホスト ID (CCCCCCCC) に関連したすべてのトランスポートが相互比較されました。デバイス番号 XXXX は、当該ホストで重複していることが分かりました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: どの XXXX デバイスが LIBGEN において正しいかを確認してから、次に示す処理の 1 つを実行してください。

- LIBGEN と SLICREAT を使用します。
 - LIBGEN 内にある誤った SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに関連した重複デバイス XXXX を変更または削除してください。
 - 新しい LIBGEN をアセンブルし SLICREAT ユーティリティを実行して、データベースを再作成してください。
- SET SLIDRIVS ユーティリティを使用して、現在のデータベース内の重複装置 XXXX を変更または削除してください。

SLS2587E

Invalid mix of LSM types found in an ACS

説明: PTP 経由で接続できない LSM が、同じ ACS に見つかりました。

システム動作: RC=58305830 で、処理は続行されます。

ユーザーの応答: LIBGEN を設定し直し、無効な LMS タイプを別の ACS に分離します。不正な LSM の混在には、次のようなものがあります。

- SL3000 ライブラリは、1 つの ACS に 1 つの LSM しか設定できません。
- SL8500 は、そのほかの SL8500 の ACS とともに、ACS にしか設定できません。

SLS2610I

CCCCCCCC command rejected; unable to activate CAPid AA:LL:CC;
CAP {recovery|reserve} unsuccessful

説明: 特定の CAP (AAL:CC) に対して、ENter コマンドまたは Eject コマンドを実行しようとしたが、CAP を要求された状態にできませんでした。

システム動作: ENter コマンドまたは Eject コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: コマンドを再入力してください。それでも同じ問題が繰り返し発生し、ソフトウェアの問題が考えられる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2615I

EJECT subtask failure XXXX; EJECT attempting to continue

説明: Eject コマンドの CAP タスクの 1 つが、戻りコード XXXX が示す異常により、終了しました。

システム動作: このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。コマンドの実行を継続できない場合は、イジェクトできなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2616D

REPATH requested by EJECT for CAPid AA:LL:CC; Reply C to
(C)ancel or R to (R)EPATH

説明: AA:LL:CC の CAP タスクが Eject コマンドの実行中に終了し、OPTion Repath が Reply に設定されました。

システム動作: このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。コマンドの実行を継続できない場合は、イジェクトできなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

C	Repathを取り消す場合。イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。
R	Repathを実行する場合。利用できる別のCAPがあれば、このCAPのカートリッジがそのCAPに転送されます。他に利用できるCAPがない場合、イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

SLS2617I

CAPid AA:LL:CC not REPATHed

説明: Eject コマンドの実行中に CAP タスクが終了し、Repath 処理は行われませんでした。Repath が No に設定された、Repath に利用できる CAP がなかった、「Repath option reply」メッセージに対して取消しの応答「C」があった、のいずれかです。

システム動作: イジェクトされなかったカートリッジを示すメッセージが出力されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2618I

{ENTER|EJECT} cannot select CAPid AA:LL:CC; CCCCCCCCCCCC

説明: ENTER コマンドまたは Eject コマンドに使用する CAP を選択できませんでした。CCCCCCCCCCCC は、CAP の状態、または CAPid がバイパスされたことについての説明です。

システム動作: このイジェクト処理に対してほかの CAP がアクティブなままであれば、処理は継続します。それ以外の場合、コマンドは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS2619I

ENTER failed; no free cells in LSM LSMID

説明: ENTER コマンドは、空のセルを含まない LSM を要求しました。

システム動作: ENTER コマンドは終了します。

ユーザーの応答: ボリューム入力先の LSM のセルを空にして ENTER コマンドを再入力するか、空のセルがある別の LSM を選択してください。

SLS2620I

Unexpected return code XXXXXXXX processing {Volume|CAP} list;
EJECT attempting to continue

説明: Eject コマンドの処理中、ボリュームまたは CAP リストを処理しているときに、予期しない戻りコード XXXXXXXX が検出されました。

システム動作: 他に CAP が存在すれば、Eject コマンドの処理を続けようとします。

ユーザーの応答: なし

SLS2621I

EJECT rejected; Number of volumes specified (NNNN), exceeds
EJLimit

説明: 指定されたカートリッジの数が OPTion EJLimit を超えています。

システム動作: Eject コマンドは終了します。

ユーザーの応答: 指定するカートリッジの数を減らすか、OPTion EJLimit の値を大きくしてください。

SLS2622I

{CAPPref} error; {ACS IN PATH OFFLINE|LSM IN PATH OFFLINE|CAP
IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID|CARTRIDGE MADE ERRANT|AEM
PREF VALUE MUST BE 0 or 1}

説明: CAPPref コマンドの実行中、次のいずれかの状態が原因でエラーが発生しました。

- 経路内のACSがオフライン
- 経路内のLSMがオフライン
- 経路内のCAPがオフライン
- 経路内のCAPが無効
- AEM 優先順位の値は、0 または 1 のいずれかでなくてはならない

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を取り除いた後、CAPPref コマンドをもう一度出してください。

SLS2623I

{CAPPref} rejected; AUTO CAP services are not available

説明: AUTO の CAP 機能が使用不能です。おそらく、これより前の異常終了が原因です。CAP を AUTO モードにすることはできません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: AUTO CAP 機能を使用しなければ、HSC は処理を継続できます。

AUTO CAP 機能を再開するためには、HSCをいったん終了した後、再起動する必要があります。AUTO CAP の異常終了によってダンプが出力されている場合はそれを保管して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2624I

CAPPREF rejected; preference value not allowed for CAP
AA:LL:CC

説明: コマンドにより、CAP (AA:LL:CC) に CAP 優先値が与えられようとした
が、この CAP (PCAP など) は、優先権を与えるのに適格ではありません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 指定した CAP が PCAP でないことを確認し、CAPPREF コマンド
をもう一度出してください。あるいは、CAPPREF コマンドを使用して PCAP を自動
モードまたはマニュアルモードに変更する場合は、優先値に 0 を指定してください。

SLS2625I

CCCCCCC1 volser CCCCCC2 CCCCCC3

説明:

CCCCCCC1	「カートリッジ」または「サブプール」を示します。
volser	カートリッジのボリュームシリアル番号、「SCRTCH」の表示、また はサブプール名です。
CCCCCCC2	ボリュームシリアル番号が存在するときは「not EJECTed」、 「SCRTCH」が存在するときは「count depleted」と表示されます。
CCCCCCC3	MEDia キーワードが指定されていて、しかもそれ用のスクラッチが存 在しないときにしか表示されません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: このメッセージは監査記録を残すためのもので、JOBLOG または
SYSLOG を使用することによってカートリッジを見つけ出し、Eject コマンドでイ
ジェクトできます。

SLS2627I

{ENTER|DRAIN} command rejected; CAP AA:LL:CC is in AUTO mode

説明: AUTO モードの CAP に対して ENter コマンドを出すことはできません。ま
た、AUTO CAP がイジェクト中の場合を除き、DRAin コマンドも使用できません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: カートリッジのイジェクト中には、AUTO CAP はロック解除され、
挿入処理に利用できます。したがって、ENter コマンドは必要なく、また使用するこ
ともできません。

AUTO CAP に対してドレインを行うことができるのは、その CAP がカートリッジを
イジェクトしているときだけです。イジェクト中の CAP でドレインを行う場合は、
CAPid の後ろにキーワード Eject を指定してください。

CAP を AUTO モードから MANual モードに変更する場合は、CAPPref コマンドを使用
します。

SLS2628E

CAP AA:LL:CC task found active for the CCCCCCCC command;
awaiting completion of the task

説明: CCCCCCCC コマンドの終了処理中、その CAP (AA:LL:CC) タスクがアクティブであることがわかりました。

システム動作: このタスクが終了するまで、コマンドは完了しません。このメッセージは、タスクが終了するまで 3 分ごとに出力されます。このメッセージのあとに、タスクを DRAIN するか、タスクが完了するまで WAIT するかを選択するための SLS0031D メッセージが表示されます。DRAIN を選択すると、HSC はさらに SLS2628E メッセージを 3 分おきに出して、タスクの進行状況をユーザーに知らせます。

ユーザーの応答: この処理中のコマンドを完了するために必要な処理を行なってください。(該当する CAP を開く、空にする、閉じるなど)。

SLS2629I

CAPid AA:LL:CC REPATHed

説明: Eject コマンドの CAP タスクの 1 つが終了し、Repath が ON または Reply に設定され、ユーザーが Repath に対して「R」と応答しました。

システム動作: この CAP に対応するすべてのボリュームが、ほかの 1 つまたは複数のボリュームに割り当てられています。処理は継続しますが、この状況では正常時よりも多くのパススルーが行われる場合があります。

ユーザーの応答: なし

SLS2630I

CAPPREF command rejected; CAPid AA:LL:CC is already in
{AUTO|MANUAL} mode

説明: CAP を AUTO モードまたは MANual モードに変更しようとしたのですが、この CAP はすでに要求されたモードになっています。

システム動作: CAPPref コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2631I

{CAPPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} rejected; XXX is not a unique
CAPid

説明: コマンドには他と重複しない CAPid が必要ですが、XXX は CAP を一意に識別しません。LSM アクセスドアに拡張 CAP 機能が含まれているか、LSM が WolfCreek の場合は、CAPid を AA:LL:CC と指定する必要があります。LSM アクセスドアに含まれている CAP が 1 つだけの場合は、CAPid を AA:LL:CC、または単に AA:LL と指定できます。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: CAPid を上記のように指定して、コマンドをもう一度出してください。

SLS2632I

CAPPREF for AA:LL:CC rejected; cannot specify AUTO/MANUAL when CAP is busy

説明: CAPPref コマンドに AUTO または MANual を指定するためには、操作対象の CAP に対するドレインが、すべてのシステムで行われなければなりません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 操作対象の CAP のドレインがすべてのシステムで実行されるまで待ち、コマンドをもう一度出してください。AUTO または MANual を指定する必要がない場合は、CAP のドレインが行われる前にコマンドをもう一度出すことができます。

CAPがアクティブでない場合は、Display CapコマンドによってそのCAPの状態を調べてください。そのCAPがアイドル状態であり、回復操作のためにスケジューリングされていることがわかった場合は、CAPPrefコマンドをもう一度出す前に、そのCAPに対してREL ease CAPコマンドを出してください。

SLS2633E

UENT Control Block has no paired SRIB Control Block
(uuuuuuuu;tttttttt;rrrrrrrr)

説明: 一対になった SRIB 制御ブロックを持たない UENT (ユーティリティー入力) 制御ブロックが見つかりました。SRIB は実行したユーティリティーの詳細 (ジョブ名など) を保持するものです。

uuuuuuuu	UENT制御ブロックのアドレス
tttttttt	一対になったSRIB制御ブロックの検出に使用されるUENT トークンです
rrrrrrrr	SRIB 検索ルーチンからのリターンコードです

システム動作: 「Display Status」コマンドが終了します。

ユーザーの応答: 都合のよいところで、HSC を停止し、再起動してください。最初にアドレス空間のダンプを行うと、後の診断に便利です。

SLS2634I

(...error text...)

説明: 一般に、指定の値は無効であるか、または、要求でのボリューム、デバイス、メディア、記録技法の相互間に非互換性があります。有効なエラーテキストメッセージには、SLS1973I のメッセージ説明と次に示す 3 つの説明が含まれます。

Scratch mount invalid for cleaning cart

クリーニングカートリッジをスクラッチボリュームとしてマウントすることはできません。

VOLATTR is incompatible with UNIT and/or MEDIA

要求でのVOLATTR、デバイス、メディア情報の相互間に非互換性が存在します。

VAR is incompatible with UNIT and/or MEDIA

要求でのVAR、デバイス、メディア情報の相互間に非互換間性が存在します。

MEDIA is invalid.

無効なメディアタイプです。

システム動作: 処理は終了します。

ユーザーの応答: パラメータ値を訂正してやり直してください。

SLS2635I

[illegible][illegible]

システム動作：コマンド実行は終了します。

ユーザーの応答: 正しい出口ルーチンがロードされている場合は、HSC ユーザー出口に携わる安全保護管理者または、システムプログラミング担当者に連絡して支援を求めてください。導入先固有の情報は、その導入先の手順に従って詳述されなければなりません。安全保護の方法を修正した後、要求を再発行してください。

SLS2636A

```
Please enter the CCCCCCC command password for
DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
```

[illegible]

システム動作: システムはユーザーの応答を待ちます。誤ったパスワードが入力されると、コマンドは拒否されます。正しいパスワードが入力された場合は、処理を続行します。

ユーザーの応答: 正しいパスワードを入力します。パスワードがわからない場合は、HSC ユーザー出口に携わる安全保護管理者または、システムプログラミング担当者に連絡して支援を求めてください。安全保護の方法を修正した後、要求を再発行してください。

SLS2637I

User Exit SLSUX15 is inoperative; RC = XX

説明: ユーザー出口 15 は、無効な戻りコード XX を戻したため、作動不能です。

システム動作: ユーザー出口が作動不能である間は、オペレータコマンドが、ユーザー出口に送られて処理されることはありません。

ユーザーの応答: HSC ユーザー出口に携わるシステムプログラミング担当者に連絡し、有効なリターンコードを戻すユーザー出口 15 を変更してもらってください。

SLS2638I

Scratch Summary

ACS/LSM SUBPOOL NAME LABEL MEDIA RECTECH COUNT
AA:LL SSSSS XXX MMMMM RRRRR DDDDD

説明: これは、Display SCRatch コマンドからの出力です。この出力は指定したパラメータによって変わります。要約には次のような情報が含まれます。

AA:LL	ACSid:LSMid
SSSSS	サブプール名
XXX	ラベルタイプ
MMMMM	メディアタイプ
RRRRR	メディアの記録技法
DDDDD	スクラッチテープの数

さらに、ACS、LSMおよび、サブプールレベルの合計ライン数、または*Nothing to Display* テキストが表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS2639I

{Display THReshld|Display SCRatch|Warn} command failed; Media type CCCCC is used for cleaning cartridges

説明: クリーナーカートリッジにしか使用できないメディアタイプ CCCCC を使用してスクラッチボリュームに対してコマンドを出しました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 別のメディアタイプを指定してコマンドを再入力してください。

SLS2640I

Display Status コマンド

Display Status command

REQUESTOR	ACTION	ELEMENT	VOLSER	ASSOCIATED-ELEMENT
CCCCCCC1	CCCCCCC2	XXXXXXX1	volser	XXXXXXX3

CAP	queue is CCCCCC3
LMU	queue is CCCCCC3
Utility	queue is CCCCCC3
Mount	queue is CCCCCC3

Total pending mounts:	DDD1
Total pending dismounts:	DDD1
Total pending LMU request:	DDD1
Total Non-UII utilities active:	DDD1
Total UII Requests active:	DDD1
Total CAPs active:	DDD1

NCO conflict count = DDD2

End of Status display

説明: このメッセージは、HSC における未処理要求の状況を示します。

CCCCCCC1	要求発行者。内部または外部の発信元が考えられます。内部からの場合、Operatorはオペレータコマンド、Cleanはマウント/マウント解除による処理を表します。 外部からのユーティリティおよびマウント/マウント解除要求の場合は、システムジョブ名が使用されます。別のHSCホストからのブロードキャストにより開始された処理の場合は、外部の名前が使用されます。外部のプログラム式インタフェース要求の場合は PGMI が使用されます。UIREQ が、UII 要求に使用されます。
CCCCCCC2	実行中の処理。Dismount、Enter、Eject、Modify、Mount、Move、Vary、View などがあります。
XXXXXXX1	物理要素（CAPid、LSMid、ACSid、Station、DRIVEid、ライブラリ）。
volser	ボリュームシリアル番号。
XXXXXXX2	物理要素 XXXXXX1 またはアクションCCCCCCC2に関連する、識別された ACS オブジェクトまたは外部ホスト。
CCCCCCC3	処理状況： READY NOT READY PURGING RECOVERING
DDD1	保留中の要求の合計数。 保留中の要求やアクティブな要求が 1 つも見つからない場合、このセクションは表示されません。
DDD2	複合内で実行されている HSC 機能またはユーティリティ、あるいはその両方の数。この行が表示されるのは、DDD2 がゼロより大きい場合だけです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 複合内でアクティブになっている HSC 機能またはユーティリティー、あるいはその両方が存在していないのに NCO conflict count = DDD2 メッセージ行が表示される場合には、SLS4424E のユーザー応答のセクションを参照し、カウンタのリセット手順を確認してください。

SLS2641I

{ENTER|EJECT} ended; No CAPs were selected

説明: ENter コマンドまたは Eject コマンドの処理を行うためには、少なくとも 1 つの CAP が利用できなければなりません。

システム動作: ENter コマンドまたは Eject コマンドの処理は終了します。

ユーザーの応答: 利用可能な CAPid を少なくとも 1 つ指定して、コマンドをもう一度出してください。

SLS2642I

MODIFY command pending; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCCCC

説明: まだアクティブな CAP がある LSM をオフラインに更新しようとしてしました。

システム動作: MODify lsm OFFline コマンドは、すべての CAP が非アクティブになるまで保留されます。

ユーザーの応答: LSM のすべての CAP が非アクティブになっていることを確認してください。ハードウェアエラーのためにそれ以上 CAP 処理が続けられない場合、FORCE キーワードを使用して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

SLS2643I

MODIFY OFFLINE FORCE for LSM AA:LL rejected; MODIFY OFFLINE must be tried first

説明: FORCE オプションを使用して、LSM をオフラインにしようとしてしました。しかし、その前に、FORCE オプションを使用しないで LSM をオフラインにする試みが行われていません。

システム動作: MODify lsm OFFline FORCE コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: LSM に対して最初に MODify OFFline コマンドを出してください。FORCE オプションを指定した MODify lsm OFFline コマンドは、1) SLS2644I (HSC が LMU と通信できない) または 2) SLS0017I (LSM ロックが利用できない) のいずれかのメッセージを受け取るまで、実行しないでください。LSM がオフラインになっていると、MODify lsm OFFline FORCE コマンドが拒否されないことに気をつけてください。

SLS2644I

MODIFY command for LSM AA:LL failed; cannot communicate with LMU

説明: LSM をオフラインにしようとしてしましたが、HSC が LMU と通信できません。

システム動作: MODify lsm OFFline コマンドは失敗し、LSM の状況は変化しません。

ユーザーの応答: LSM を手動モードにする必要がある場合は、FORCE オプションを指定して、MODify lsm OFFline コマンドを出してください。

SLS2645I

Unable to {DRAIN} {CAP} {AA:LL:CC}; {CAP} is in RECOVER processing

説明: CAP のドレインを行おうとしましたが、その CAP は現在回復処理中です。回復処理が完了するまで、その CAP に対してドレインを行うことはできません。

システム動作: DRAIn コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 回復処理 (CAP のオープン、カートリッジの取出し、CAP のクローズ) を完了した後、DRAIn コマンドをもう一度出してください。

SLS2646I

Communications lost with LMU station XXXX

説明: Vary station コマンドからのリターンコードが、LMU ステーションとの通信が失われたことを示しています。

システム動作: Vary station コマンドは失敗します。

ユーザーの応答: これはおそらくハードウェアエラーです。StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。LMU ステーションを FORCE オプションでオフラインに変更した場合は、このメッセージが出力されるのは正常です。

SLS2647I

{ENTER|EJECT|CAPPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} command failed; LSM AA:LL is not available

説明: LSM AA:LL に対して CAP 関連コマンドを実行しようとしたましたが、その LSM はオンラインになっていません。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージに対するコンソールログを調べてください。LMU エラーまたはハードウェアエラーが示されている場合があります。おそらく、LSM が非アクティブか、作動不能です。検出されたハードウェアエラーを修正し、コマンドをもう一度出してみてください。

SLS2649I

限界値の要約

ACS/LSM SUBPOOL NAME LABEL MEDIA RECTECH COUNT THRESH
AA:LL SSSSS XXX MMMM RRRRR DDDD1 DDDD2

説明: これは、Display THReshld コマンドからの出力です。この出力は指定したパラメータによって変わります。要約には次のような情報が含まれます。

AA:LL	ACSid/LSMid
SSSSS	サブプール名
XXX	ラベルタイプ
MMMMM	メディアタイプ

RRRRR	メディアの記録技法
DDDD1	スクラッチテープの数
DDDD2	スクラッチテープの限界値の数

さらに、ACS、LSMおよび、サブプールレベルの合計ライン数、または*Nothing to Display* テキストが表示されます。

システム動作：なし

ユーザーの応答：なし

SLS2651I

ACS AA: Switch aborted, CCC query error for ID III, return code XXXX

説明：ID (III) の ACS または LSM (CCC) レコードの照会に対し、0 以外の構成戻りコード (XXXX) が返されました。構成リターンコードは次のいずれかです。

4502 - Plistが無効
4504 - データベース読み取り/書き込みエラー
4512 - サブシステムが非アクティブである
4522 - ACSのIDが無効
4524 - LSMのIDが無効
453C - データが無効
453E - データ型がない
4556 - 要求されたFIGMGR動作ではない
4568 - データベースの解放に失敗した
456B - CDS上に予約がない
456C - レコードがない
456D - レコードがすでに選択済み
456E - 出力用領域が不十分
456F - 構成マネージャーエラー

システム動作：SWitch 機能は異常終了します。

ユーザーの応答：オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2654I

ACS AA has no requests queued

説明：Display Requests コマンドにより、ACS の待ち行列に登録されている要求を表示しようとした。ASC AA の待ち行列に登録されている要求はありません。

システム動作：処理は続行されます。

ユーザーの応答：なし

SL\$2656I

ACS AA: CCCCCCCC1 CCC CCCCCCCC2 XX1 XX2 XX3

説明: Display Requests コマンドにより、ACS の待ち行列に登録されている要求を表示しようとした。このメッセージは、1 つの要求の内容を示すものです。

AAはACSidです。

CCCCCCCC1は要求のタイプです。要求には、状況の変更、状況の照会、位置の移動があります。またLMUは、グローバルに認識される必要があるメッセージについてホスト間で通信するときに使用されます。要求のタイプには、次のものがあります。

Vary LSM	Mount
Dismount	View
Swap	Move
Reserve CAP	Release CAP
Enter	Eject
Catalog	Read Config.
Read Volser Status	Read LMU Stats
Targeted Msg.Route	Host to Host Brdcst.
Quiesce Host	Read Trans.Carts
Read LSM Status	Read LMU Status
Query Request Status	Cancel
Catalog	Unlock CAP
CAP Status	

CCCは、要求の通し番号です。

CCCCCCCC2 は要求のステータスを記述します。ACTIVE (LMU に送信済み)、WAITING (LMU への送信待ち)、TEMP OUT (作動不能 LSM に対する要求) のいずれかになります。

XX1は発信元 LSM です。

XX2は宛先 LSMです。このフィールドは、要求によっては示されない場合があります。

XX3は、要求が待機している作動不能 LSMを示します。このフィールドの値が10の場合は意味がありません。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2701E

Invalid journal format

説明: ユーザーエラー。HSC 2.0.0 では、SLICREAT の HSC 2.0.0 またはそれ以降のバージョンの書式を持つジャーナルが必要です。HSC の今回の呼び出し時に使用されたジャーナルの書式は、HSC 2.0.0 より前のバージョンのものであります。

システム動作: HSC の初期設定は終了します。

ユーザーの応答: HSC 2.0.0 ジャーナルデータセットを使用するように起動 JCL を変更するか、SLICREAT ユーティリティーを使用してジャーナルデータセットの書式化をもう一度行ってください。

SLS2702E

Unable to obtain CDS block; no FREE space remaining

説明: ユーザーエラー。HSC データベースサービスが、CDS から空ブロックを取得しようとした。利用できる空ブロックはありません。

システム動作: HSC は終了します。

ユーザーの応答: SLICREAT ユーティリティーを使用して、より大きな CDS を作成してください。

SLS2703E

Journal corruption detected; journaling terminated

説明: HSC は、更新内容を現行ジャーナルに書き込もうとしたとき、無効なジャーナルブロックを検出しました。ジャーナルは無効でなくなります。

システム動作: HSC はジャーナル処理を終了します。「FULL=Abend」が有効な場合、HSC は終了します。

ユーザーの応答: CDS を BACKup し、ジャーナルをリセットして、ジャーナル処理をもう一度使用可能にしてください。関連したダンプを解析できるよう StorageTek ソフトウェアサポートに送ってください。

SLS2716I

Database Information

説明: このメッセージは、特定のデータベース情報またはジャーナル情報を示す、複数行から構成される WTO を出力します。メッセージの一例は、次のとおりです。

```
-SLS2716I Database Information
SYSNNNNN = DDD...DDD1
          PRIVOL = volser1 FLAGS (XX) {ACTIVE|INACTIVE|
                                         HOST-RESERVED|ERROR}

SYSNNNNN = DDD...DDD2
          SECVOL = volser2 FLAGS (XX) {ACTIVE|INACTIVE|
                                         HOST-RESERVED|ERROR}

SYSNNNNN = DDD...DDD3
          SBYVOL = volser3 FLAGS (XX) {ACTIVE|INACTIVE|
                                         HOST-RESERVED|ERROR}

JOURNAL1 = DDD...DDD4
JRNVOL = volser4 - CURRENT    NN % FULL
JOURNAL2 = DDD...DDD5
JRNVOL = volser5 -
JOURNAL RECOVERY = (XX) {ABEND|CONTINUE|DISABLED}
--or--
JOURNALING NOT ACTIVE FOR THIS SUB-SYSTEM
{
RECONFIGURATION IN PROCESS FOR HOST(S)
CCCCCCC6 CCCCCC7 . . . .
| A DISASTER/RECOVERY TEST IS ACTIVE |
THIS IS A DISASTER/RECOVERY CDS
]

CDS LEVEL = 0n0n0n          DATE = creation_d
CREATE     = cccid          TIME = creation_t
VSM CDS LEVEL = 1

-- または --

VTCS RECORDS NOT FOUND IN THIS CDS
[
LAST CDS BACKUP = backup_d backup_t
LAST CDS RESTORE = restore_d restore_t
LAST NCS ON host
      START = ncs_strt_d ncs_strt_t
      END = ncs_end_d ncs_end_t

ENQNAME = qqqqname          - SMFTYPE = DDD
CLEAN PREFIX = cln          - LABTYPE = (XX) {SL|AL|NL|NSL}
RECOVERY = (00) RRRRRRRR - DELETE DISP= (XX,XX) deldisp
THIS HOSTID IS = CCCCCC1 - CDS BLOCK COUNT = nnnnnn
CDS FREE BLOCKS = mmmmmmm

HOSTID---LEVEL---FLAG---DESCRIPTION
CCCCCCC2 n.n.n (XX) {ACTIVE PRIMARY <SECONDARY
                   <STANDBY>> |
CCCCCCC3 -. -. (00) -INACTIVE-}
CCCCCCC4 5.0.0 (F0) ACTIVE PRIMARY SECONDARY STANDBY
. . .
CCCCCCC5 -. -. (00) -INACTIVE-
Database Information End
```

ここで、

DDD...DDDn	(44)	データセット名
volser	(6)	ボリュームシリアル番号
XX	(2)	16 進数のフラグ
BBBBBBB1	(16)	再構成処理がアクティブのとき、表示の最後にあるホストリストに対応するビットマップ。ホストの構成の更新の必要 (1)不要 (0) を示す
qqqqname	(8)	このデータベースの受信時に使用される ENQ 名
DDD	(3)	SMFTYPE
cln	(3)	クリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号 接頭語
RRRRRRRR	(8)	回復特性 {NEITHER JOURNAL SECONDARY BOTH ALL}
deldisp	(10)	削除処理
CCCCCCCn	(8)	ホスト名
nnnnnn	(10)	現在の CDS における 4096 バイトの数
mmmmmm	(10)	現在の CDS における空きブロックの数
0n0n0n	(8)	CDS の HSC レベル (020100など)
n.n.n	(5)	HSC レベル(2.1.0、4.1.0、5.0.0など)
creation_d	(8)	CDS が作成された日付 (yyyymmdd)
creation_t	(8)	CDS が作成された時刻 (hh.mm.ss)
yyyymmdd	(8)	CDS が作成された日付
hh.mm.ss	(8)	CDS が作成された時間
cccid	(8)	SLICREAT プログラムに対して変更する ID
l	(1)	VSM CDS レベル (A、B、C、D、E、または F) または、VTCS がインストールされていないか、構成されていない
backup_d	(8)	CDS の復元時に使用されたバックアップの作成日付 (yyyymmdd)
backup_t	(8)	CDS の復元時に使用されたバックアップの作成時刻 (hh:mm:ss)
restore_d	(8)	CDS が復元された日付 (yyyymmdd)
restore_t	(8)	CDS が復元された時刻 (hh:mm:ss)
ncs_strt_d	(8)	最後に設定の変更を開始した日付 (yyyymmdd)

ncs_strt_t	(8)	最後に設定の変更を開始した時刻 (hh:mm:ss)
ncs_end_d	(8)	最後に設定の変更を終了した日付 (yyyymmdd)
ncs_end_t	(8)	最後に設定の変更を開始した時刻 (hh:mm:ss)

システム動作: なし。これは、通知メッセージです。

ユーザーの応答: なし

SLS2717E

CDS level V1.R1.M1 bb not supported by this HSC maintenance level

説明: この保守レベルまたはリリースレベルの HSC では、このレベルの制御データセットがサポートされていません。

V1.R1.M1 bb = 制御データセット内で見つかったバージョン、リリース、変更レベル

システム動作: サブシステムは終了して、7004 リターンコードが返されます。

ユーザーの応答: この CDS レベルと互換性のある保守レベルのロードライブラリから HSC を起動する必要があります。必要な場合は、HSC ユーティリティを使用して、CDS をより新しい CDS レベルに変換できます。

SLS2740I

CDS Directory recovery operation successful

説明: データベースディレクトリが正しく再構成されました。

システム動作: なし。これは、通知メッセージです。

ユーザーの応答: なし。これは、通知メッセージです。

SLS2741E

Journals specified but not allocated; RC=XXXXXXXX

説明: このメッセージは通常、LIBGEN でジャーナル処理が指定され、起動 PARMLIB で JRNDEF 文が指定されていない場合に出力されます。

またこれは、割り振りエラーでも出力されます。その場合、その前のコンソールメッセージにエラーについての説明があります。

システム動作: HSC は終了します。

ユーザーの応答: エラーの原因が JRNDEF の欠落にある場合、必要な文を PARMLIB に追加してください。原因が割り振り失敗にある場合、その割り振り失敗の原因となった問題を解決してください。

SLS2742E

Unexpected return code NNNN on DB access request in module;
resulting action

説明: リストされたモジュールに指定されたデータベースのアクセス要求から、予期しないリターンコードを受け取りましたデータベースアクセス要求には次のものがあります。

DBOPEN

データベーススレッドをオープンします。

DBCLOSE

データベーススレッドをクローズします。

DBREAD for subfile *subfile-id*

指定のサブファイル内のデータベースレコードを読み取ります。

DBWRITE for subfile *subfile-id*

指定のサブファイル内にデータベースレコードを書き込みます。

DBQSF for subfile *subfile-id*

指定のサブファイルの属性を照会します。

*resulting action*に、処理がどのように続けられるかが説明されます。

システム動作: HSC 処理は、*resulting action* に説明されたとおりに続きます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS2850I

Errant recovery of volser - Volume may be within LSM AA:LL

説明: エラント回復処理で、エラントボリュームを見つけられませんでした。このボリュームは、自動化された操作を実行していない LSM に存在する可能性があります。

システム動作: エラント回復処理は続けられます。

ユーザーの応答: LSM がただちに自動化状態に戻る場合は、このメッセージの後で表示される、該当ボリュームのエラント回復に対するユーザープロンプトのすべてに対して「Ignore」と応答する必要があります。自動操作が復元され、この LSM に対してエラント回復処理が呼び出されたら、ボリュームを回復してください。そうしないと、同じボリュームに対して別のプロンプトが表示されます。LSM を長時間使用不能にする場合は、ボリュームを制御データセットから論理的にイジェクトする前にその場所を特定するため、問題の LSM 内のプレイグラウンド、パススルーポート、ハンドを検査する必要があります。

SLS2901D

Mount of volser1 on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - volser different (volser2); reply Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: ボリューム *volser 1* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたますが、LMU は、別の外部ラベル *volser 2* が付いたボリュームを検出しました。

システム動作: マウント処理は、オペレータが Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかを応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

R	マウントを再実行する場合は、「R」と応答してください。
B	マウントを再試行すること、そして読み取り不能の外部ラベルが付いていることをボリュームにマークする場合、「B」と応答してください。
E	ボリュームをイジェクトする場合は、「E」と応答してください。ボリューム <i>volser</i> は、制御データセットから削除されます。
I	マウント要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

SLS2905D

All cleaners {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} ACS AA over-use; reply "I"gnore, "T,cap,volser"=Temp enter, "R"etry, "U"se over-limit

説明: ACS AA 内のドライブと互換性があるすべてのクリーニングカートリッジが使用超過です。(使用限度の超過、または使用制限の超過、および使用済み)

制限を超えたクリーニングカートリッジの選択回数が、MAXclean (使用限度の回数) を超えました。使用済みクリーニングカートリッジではクリーニング材が使い果たされています。

注: 必要になるクリーニングカートリッジのメディアタイプはトランスポートのタイプごとに異なります。

システム動作: マウントが応答を待ちます。5 分以内に応答がない場合は、省略時の処置である「限度を超えたクリーニングカートリッジ」を使用する選択がされます。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

I	マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングのスケジュールがされません。
T,capid,volser	特定のCAPの特定のクリーニングカートリッジを一時的に指定して、ドライブをクリーニングします(注: 一時的に指定するクリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号は、クリーニング接頭辞から入力し始める必要はありません)。
R	クリーナーの検索を再試行します (新しくクリーニングカートリッジを挿入した場合に選択します)。
U	限度を超えたクリーニングカートリッジを使用します。

警告 – 限度を超えたクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。詳しくは、『HSC システムプログラマーズガイド』の「マウント / ディスマウント機能」の項の「テープトランスポートのクリーニング」を参照してください。

SLS2911D

Mount of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - manual volume at AA:LL:PP:RR:CC; reply Mount or Ignore (M/I)

説明: マニュアル LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

システム動作: マウント処理は、ユーザーが M または I と応答するか、LSM をオンラインにするまで、待ち状態になります。

ユーザーの応答: ユーザーが何も応答しないで LSM をオンラインにすると、マウント処理は正常に行われます。

該当するボリュームを手動でマウントする場合は、「M」と応答してください。トランスポートの表示に従って位置 AA:LL:PP:RR:CC からカートリッジを取り出し、マウントを行なってください。

要求を無視する場合は、「I」と応答してください。

SLS2912I

Dismount of fixed volume *volser*; volume displaced from manual LSM cell AA:LL:PP:RR:CC to cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: MNTD Float がオフに設定されたため、ボリューム *volser* は固定セルにあります。ボリュームをマウントし、そのボリュームをマウント解除するまでに、そのボリュームが割り振られている LSM がオフラインになりました。

システム動作: ボリューム *volser* は、オンラインの自動 LSM に保持されます。

ユーザーの応答: なし

SLS2914I

Display of drives complete

説明: HSC によって制御されたドライブの表示が完了しました。この処理は、Display DRives コマンドによって要求されたものです。

システム動作: Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS2915I

Nothing to display

説明: HSC によって制御されたドライブの表示が完了しました。この処理は、Display DRives コマンドによって要求されたものです。この機能によって検出されたドライブのアクティビティーはありません。

システム動作: Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS2916I

```
Drive XXXX|Driveid AA:LL:PP:NN} < volser CCCCCCCCC >  
or:  
Drive XXXX|Driveid w/Slot AA:LL:PP/SS} < volser CCCCCCCCC >
```

説明: Display Dives コマンドに対して、ドライブのステータスが表示されます。ボリューム *volser* およびステータス (CCCCCCCCC) が次のステータスのいずれかにあてはまる場合に表示されます。(Dismount、Mounting、On drive、UNKNOWN)。

MEDiaまたはRECtechパラメータを指定する場合、表示されるドライブは、この指定に合ったものだけになります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS2918I

```
Found DDD1 {over-use|over-limit|spent} cleaning cartridges in  
ACS AA; searched DD2 LSMs for cleaner compatible with {drive  
XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}
```

説明: HSC は、ドライブと互換性があるクリーニングカートリッジを DD2 個の LSM で検索しているときに、ACS AA 内に限度を超えたクリーニングカートリッジを DDD1 個見つけました (制限を超えたクリーニングカートリッジの選択回数が、適用される MAX clean 値を超えています)。使用済みクリーニングカートリッジが、クリーニング面を消耗しました。超過使用クリーニングカートリッジは、制限を超えているか使用済みのいずれかです。

注 – (検索された DD2 個の LSM 内には、ドライブと互換性のある使用超過、制限を超えた、または使用済みのクリーニングカートリッジが、少なくとも DDD1 個あります。ただし、互換性のあるクリーニングカートリッジがトランスポートをクリーニングするように選択されている場合は、ACS 内にさらに多くの使用超過のクリーニングカートリッジが存在する可能性があります)。

システム動作: ドライブのクリーニング処理が続行されます。

ユーザーの応答: 今すぐに処置をする必要はありません。

警告 – 使用超過のクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2919D

Cleaning cartridge volser select count DDD is greater than
MAXclean; reply "E" to Eject or "K" to Keep cleaner

説明: クリーニングカートリッジ *volser* に選択回数、DDD クリーニングカートリッジが、制限を超えている (使用回数が適用される MAX clean 値を超えている) か、使用済み (クリーニング面が消耗された) です。このメッセージは、クリーニングカートリッジがマウントされた後、クリーニングカートリッジがマウント解除される前に出力されます。

システム動作: クリーニングカートリッジ *volser* のマウント解除は応答を待ちます。5 分以内に応答がない場合は、省略時の処理である「使用限度を超えたクリーニングカートリッジを入れたままにする」が選択されます。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

E	カートリッジをマウント解除したときにクリーニングカートリッジをACSからイジェクトします。
K	カートリッジをマウント解除したときにクリーニングカートリッジをACS内に入れたままにします。

警告 – 使用超過のクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2920I

Cleaning cartridge volser with select count DDD is
{OVER-LIMIT|SPENT}; cartridge kept in ACS AA

説明: 指定されたクリーニングカートリッジには、選択回数 DDD があります。指定されたクリーニングカートリッジには、選択回数 DDD があります。クリーニングカートリッジが、制限を超えている (使用回数が適用される MAX clean 値を超えている) か、使用済み (クリーニング面が消耗された) です。このメッセージは、ACS 内に制限を超えたクリーニングカートリッジまたは使用済みクリーニングカートリッジを入れたままにするように HSC が指示された場合に出ます。このメッセージは、カートリッジをマウント解除する前に出ます

システム動作: HSC は続けてこのカートリッジをマウント解除します。

ユーザーの応答: 今すぐに処置をする必要はありません。

警告 – 使用超過のクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2934I

(...message text...)

説明: 一般に、指定の値は無効であるか、または、要求でのボリューム、デバイス、メディア、記録技法の相互間に非互換性があります。 *message text* は次のいずれかになります。

MOUNT REJECTED - CLEANING CARTRIDGE IS NOT A SCRATCH VOLUME

クリーニングカートリッジを使用して、スクラッチマウント要求を満たすことはできません。

MOUNT REJECTED - VOLATTR MEDIA TYPE FOR SPECIFIED VOLUME IS INCOMPATIBLE WITH UNIT

指定のボリュームの(VOLATTR文で定義された)メディアタイプが、デバイスのメディアタイプと非互換です。

MOUNT REJECTED - VAR MEDIA TYPE FOR SPECIFIED VOLUME IS INCOMPATIBLE WITH UNIT

指定のボリュームの(CDS 内のボリューム属性レコードで定義された)メディアタイプが、デバイスのメディアタイプと非互換です。

システム動作: 指定のボリュームのマウントは拒否され、新たなボリュームを要求する元のアクションメッセージが再び出されます。

ユーザーの応答: アクションメッセージに応答し、デバイスのメディアタイプと互換性のあるボリュームを指定してください。

SLS2962I

Mount of volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - media type changed from MM1 to MM2

説明: ボリューム *volser* をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとした最初の試みは、メディアの不一致エラーで失敗しました。

メディアの不一致エラーが起きるのは、検証されるHSC 提供のメディアタイプ (MM1)が、視認制御機構 (MM2)が読み取るメディアタイプと一致しない場合です。LMUは、メディアの不一致エラーとして、その不一致をHSCに報告します。メディアの不一致エラーが起きるのは、HSCがメディア検証を実行するようLMUに要求した場合だけです。

システム動作: 制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、視認制御機構が読み取るメディアタイプに変更されます。マウントは再試行されますが、メディア検証はバイパスされます。

このメッセージが出されるのは、メディア検証が有効になっているときだけなので、当該マウント要求で再度出されることはありません。そのあと、ほかのメッセージで、マウントが正常に完了したか、またはほかの問題が検出されたかが示されます。

ユーザーの応答: MM1 と MM2 が同じ場合、LMU または視認制御機構にハードウェア問題が存在する可能性があります。そうでない場合、応答は必要ありません。

SLS2964E

{Drive XXXX|Driveid AA:LL:PP:NN} and volume volser are incompatible - request rejected {before|after} the mount was attempted

説明: マウントの試行の前または後に、トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN が許容するメディアおよび記録方式とボリューム *volser* の間に互換性がないことが検出されました。

システム動作: マウントは拒否されます。ジョブはボリュームのマウント待ちになりますが、割り振られたデバイスにカートリッジを物理的にマウントできないため、マウントは不可能です。

ユーザーの応答: ジョブをキャンセルし、JCL、定義文 (VOLATTR、UNITATTR、TAPEREQ)、SMS ルーチンを訂正してから、ジョブを再実行してください。

SLS2972I

Volume volser not CCCCCCCC; No {CAPs|LSMs} were available in ACS AA

説明: ボリューム *volser* は、ACS AA で、すべての CAP または LSM が利用できなかったために、経路指定されなかったか、イジェクトされませんでした。

システム動作: ほかのボリュームの処理が続けられます。

ユーザーの応答: ACS 内のオンラインの LSM または CAP を指定してください。

SLS2973I

Volume volser not CCCCCCCC; Volume not in the library.

説明: ボリューム *volser* はどの LSM 内にもありません。

システム動作: ボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの応答: 必要ありません。

SLS2974I

Audit of LSM AA:LL is recommended

説明: MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティーが、移動元または移動先の位置でエラーを検出しました。このメッセージの前に、このエラーの本質を示すメッセージが出力されているはずです。

システム動作: カートリッジの MOVE は失敗します。

ユーザーの応答: 可能であれば、メッセージに示された LSM の監査を行ってください。該当する LSM の全体監査ができない場合は、少なくともエラーが存在する場所の監査を行ってください。

SLS2976I

```
MOVE incomplete; Volume volser stuck in LSM AA:LL {HAND
N|PANEL NN DRIVE NN|PTP PANEL NN}
```

説明: LSM のハードウェア割り込みのため、ボリュームの MOVE が完了しませんでした。該当するボリュームの位置が表示されます。

システム動作：なし

ユーザーの応答: このボリュームに関する直前の SLS0854D メッセージに対して「Delete」と応答しなかった場合は、Eject コマンドを使用してボリュームを削除できます。SLS0854D を受け取った場合は、「Delete」と応答してください。これにより、CDS からボリュームが削除されます。そのあと、メッセージに示された位置からボリュームを手動で削除し、ENter コマンドを使用して LSM に入力してください。

SLS2977I

Panel index DD is invalid

説明: MOVE 要求のターゲットパネル DD は、LSM で使用できるパネル数を超えています。

システム動作: MOVE 機能は処理を終了します。

ユーザーの応答: LSM の範囲内のパネルインデックスを指定してください。

SLS2978A

Please enter the password for CCCCCCCC processing of volume
volser for DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

説明: CCCCCCCC を処理中に、ユーザー出口 14 がボリューム (volser) へのアクセス権を確かめるためのパスワードを要求しました。

[illegible]

システム動作: システムはユーザーの応答を待ちます。正しくないパスワードが入力された場合は、要求は拒否されます。正しいパスワードが入力された場合は、処理を続行します。

ユーザーの応答: 正しいパスワードを入力します。パスワードがわからない場合は、HSC ユーザー出口に携わる安全保護管理者または、システムプログラミング担当者に連絡して支援を求めてください。安全保護の方法を修正した後、要求を再発行してください。

SLS2979I

User Exit SLSUX14 is inoperative; RC= XX

説明: 無効なリターンコードが戻されたため、ボリュームアクセスユーザー出口 SLSUX14 は作動不能になりました。

システム動作: ユーザー出口 14 は使用不能になります。

ユーザーの応答: 有効なリターンコードを戻すよう、ユーザー出口を訂正してください。

SL\$2980I

Access to volume volser denied for CCCCCCCC processing for
 DDD

説明: ユーザー出口 14 は、CCCCCCCC 処理時にボリューム *volser* のアクセス拒否を戻しました。この処理は、Mount または Eject のいずれかと思われます。
 DDD には、この要求がジョブ名、ユーザー ID、オペレータのいずれに対するものかが示されます。また、ユーザー出口が導入先固有の情報を指定している可能性もあります。

システム動作: Mount または Eject の要求は終了し、機能は先に進めません。

ユーザーの応答: 正しい出口ルーチンがロードされていることを確認してください。
 正しい出口ルーチンがロードされている場合、HSC ユーザー出口に携わる安全保護管理者またはシステムプログラミング担当者に連絡して支援を求めてください。導入先固有の情報は、その導入先の手順に従って詳述されなければなりません。安全保護の方法を修正した後、要求を再発行してください。

SL\$2984D

volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; shortage AA;
 MMMMMMMM; RRRRRRRR; SSSSSSSS; reply I / T,capid,vol / R /
 M,vol

説明: 要求されたメディア、記録技法、サブプールのスクラッチマウントを満足するボリュームが ACS AA 内に見つかりませんでした。

AA	ACS番号。
MMMMMMMM	メディアタイプです。
RRRRRRRR	記録方式です。
SSSSSSSS	サブプール名サブプール名が「SUBPOOL 0」の場合、スクラッチサブプール処理が有効になっていないか、または、スクラッチサブプール処理は有効になっていても、要求でサブプールが指定されていません。

システム動作: マウント処理は、オペレータが「I」、「T,capid, vol」、「R」、または「M,vol」と応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

I (Ignore)	Mount 要求を無視します。HSCは、マウントを保留のままにします。
T,capid,vol (一時入力)	指定のCAPとSUBPoolから一時的に(指定のボリュームを) 入力して、マウント要求を満たします。
R (再試行)	(サブプールスクラッチリストに補充した後)スクラッチ検索を再試行します。
M,vol (マウント)	指定のボリュームをマウントして、要求を満たします。

SLS2985I

```
Mount of volume volser on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} -  
volume changed to write-disabled for  
DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD
```

説明: ボリューム `volser` をドライブにマウントしようとしてしました。そのボリュームを保護するためユーザー出口 14 は仮想サムホイールを書き込み不能に設定するよう要求しました。`DD` には、この要求がジョブ名、ユーザー ID、オペレータのいずれに関するものかが示されます。また、ユーザーが出口ルーチン介して導入先の固有情報を指定している可能性もあります。

システム動作: Mount 処理は続けられますが、ユーザーが書き込み権限を要求した場合、MVS または VM システムは、書き込み可能なボリュームをマウントするよう指示するメッセージを出します。

ユーザーの応答: 読み取り専用モードで当該ボリュームのジョブが続けられる場合は、処置は必要ありません。それ以外の場合、別のボリュームが要求される可能性があります。自分のシフト用の正しい出口ルーチンがロードされていることを確認する必要があります。正しい出口ルーチンがロードされている場合、HSC ユーザー出口を扱う安全保護管理者またはシステムプログラミング担当者に連絡してください。導入先固有の情報は、個々の導入先の手順に従って詳述されていなければなりません。安全保護の方法を修正もしくは適応した後、ジョブを再送信してください。

SLS2986I

Invalid password for DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

説明：無効なパスワードが入力されたため、ボリュームへのアクセス要求は拒否されました。

システム動作: 要求は拒否されます。

ユーザーの応答: 要求を再入力し、正しいパスワードを指定してください。

SLS4000I

Release *AA:LL:CC* rejected; CAP is active on partition *PPP*

説明: RELease コマンドが CAP AA:LL:CC に発行されましたが、CAP はほかのパーティションでアクティブになっています。

システム動作: CAP が解放されていません。

ユーザーの応答: 現在 CAP を使用しているホストの CAP を解放してください。

SLS4001I

CCCCCCCC CAP AA:LL:CC failed. CAP が動作不能です

説明: The CCCCCCCC が、動作不能の CAP を要求しました。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: CAP が動作不能な理由を確認してください。問題が解決されたら、CAP オンラインを修正して失敗した CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

SLS4002I

CCCCCCCC CAP AA:LL:CC failed. CAP が割り振られていません

説明: CCCCCCCC コマンドが、未割り振りの CAP を要求しました。

システム動作: コマンドは終了します。

ユーザーの応答: CAP が未割り振りの理由を確認してください。問題が解決されたら、CAP オンラインを修正して失敗した CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

SLS4068I

Current TRACELKP Status:

TAPEREQ	{Traced NOT Traced}
UNITATTR	{Traced NOT Traced}
VOLATTR	{Traced NOT Traced}
LMUPATH	{Traced NOT Traced}
MVCPPOOL	{Traced NOT Traced}
MGMTCLAS	{Traced NOT Traced}
STORCLAS	{Traced NOT Traced}
LKEYINFO	{Traced NOT Traced}
LOOKFAIL	{Traced NOT Traced}

説明: TRACELKP コマンドが正常に終了しました。LOOKUP テーブルとトレース状況のリストが表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4075I

Spent cleaning cartridge volser did not clean {drive
XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; cartridge {returned to home
cell|left mounted|errant}

説明: クリーニングカートリッジ *volser* が、クリーニング面を消耗（使用済み）したためドライブをクリーニングしませんでした。

システム動作: LMU が、使用済みクリーニングカートリッジをソースに戻します。それができない場合は、ボリュームがエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり HSC がイジェクトを試みます。

ユーザーの応答: 使用済みクリーニングカートリッジは ACS からイジェクトして、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS4076I

```
Special use action by cartridge volser failed on {drive  
XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; cartridge {returned to home  
cell|left mounted|errant}
```

説明: 特殊使用カートリッジは、示されたドライブ上でマウントされましたが、要求したアクションは失敗しました。特殊使用カートリッジは、9840 マイクロコードの更新カートリッジ、および 9840 ダンプ集合カートリッジを含みます。

システム動作: LMU は、特殊使用カートリッジをホームセルに返します。それができない場合は、ボリュームがエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり HSC がイジェクトを試みます。

ユーザーの応答: カートリッジがマウントされたままの状態の場合は、マウント解除します。特殊使用カートリッジをイジェクトします。それが 9840 ダンプ集合カートリッジである場合、収集するダンプがない可能性があります。それが 9840 マイクロコードの更新カートリッジの場合、必要な処置を判断するため StorageTek ソフトウェア CSE に連絡してください。

SLS4077I

```
Cleaning cartridge volser with select count DDD is {over-  
limit|spent}; cartridge ejected from ACS AA
```

説明: 指定されたクリーニングカートリッジには、選択回数 DDD があります。クリーニングカートリッジが、制限を超えている (使用回数が適用される MAX clean 値を超えている) か、使用済み (クリーニング面が消耗された) です。このメッセージは、ACS 内に制限を超えたクリーニングカートリッジまたは使用済みクリーニングカートリッジをイジェクトするように HSC が指示された場合に出ます。このメッセージは、カートリッジをマウント解除およびイジェクトする前に出ます。

システム動作: HSC は続けてカートリッジをマウント解除して、イジェクトします。

ユーザーの応答: CAP を空にするメッセージを受信したときに、カートリッジを取り出します。

SLS4078I

```
Unable to dismount volume volser to home cell AA:LL:PP:RR:CC;  
ejecting volume on drive
```

説明: ボリュームの volser をマウント解除したところ、そのホームセル AA:LL:PP:RR:CC 内に別のボリュームが見つかりました。このメッセージは、ホームセル内に見つかったボリュームが記載された SLS4081E メッセージの前に表示されることがあります。SLS4081E メッセージが表示されない場合は、LSM にハードウェアの問題がある場合があります。

システム動作: ボリューム volser は、ライブラリからイジェクトされます。

ユーザーの応答: このメッセージの前に SLS4081E メッセージが表示された場合は、ホームセルのボリュームを見つけて CDS に挿入するために、ホームセル位置 AA:LL:PP:R:CC を監査する必要がある場合があります。

SLS4081E メッセージが表示されない場合は、ホームセルの位置を監査して、ボリュームがそのセル内にあるかどうかを調べてください。

ボリュームが何も見つからなかった場合は、Oracle CSE に連絡し、必要な措置をご確認ください。

SLS4080D

Requested {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} reserved by host
CCCCCCCC; reply Ignore or Retry (I,R)

説明: HSC が、ドライブのマウントまたはマウント解除の予約を試みます。ほかのホストが、そのドライブを予約しています。

システム動作: HSC は、ホストがドライブを解放するか、またはこのメッセージに応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

I (Ignore)	マウントまたはマウント解除要求を取り消す。
R (再試行)	ドライブの予約を試みる。

HSC RECover *host-id* コマンドを使用して、ドライブの予約をクリアにするためにアクティブでないホストを回復します。

SLS4081E

Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid
AA:LL:PP:NN}; found *volser2* in home cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: *volser1* および *volser2* に同じボリュームシリアル番号がある場合、重複したボリュームがライブラリに存在するか、2つの並行するマウント解除要求が LMU によって処理されています。*volser1* および *volser2* のボリュームシリアル番号が異なる場合、ほかのボリュームが *volser1* のホームセルにあります。

システム動作: *volser1* および *volser2* に、同じボリュームシリアル番号がある場合、ACS 内に重複したボリュームがあるか判断するためにドライブのスキャンが行われます。*volser1* が *volser2* と異なる場合、新しいホームセルが *volser1* 用に獲得されます。

ユーザーの応答: ホームセルロケーションの監査 AA:LL:PP:RR:CC は、*volser2* を見つけて CDS にエンターします。

SLS4082I

Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid
AA:LL:PP:NN}; expected *volser2*; drive found loaded

説明: HSC が、ドライブからボリューム *volser1* のマウント解除を試みましたが、ドライブがロードされました。ドライブの状況情報は、*volser2* がドライブ上でマウントされることを示します。異なる物理ボリューム *volser1* がドライブ上にあるか、内部ボリュームシリアル番号 *volser1* が外部ボリュームシリアル番号 *volser2* に一致しません。

システム動作: HSC の処理は続けられます。

ユーザーの応答: ドライブ上のボリュームをマウント解除する必要がある場合、MVS UNLOAD コマンドを発行した後に HSC DISMount コマンドを発行してください。

SLS4083I

Dismount of cartridge *volser1* from {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; volume location information is incorrect; volume deleted from database

説明: HSC が、ボリューム *volser1* のマウント解除を試みましたが、ボリュームの状況情報はボリュームのエラントを示しますが、HSC はボリュームを見つけることができませんでした。

システム動作: HSC は、ボリュームをデータベースから削除します。

ユーザーの応答: ボリュームがドライブ上で見つからず、ライブラリ内に存在すると考えられる場合、AUDIT ユーティリティを実行します。

SLS4084D

Swap of volume to same {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; reply "S", "C", or "I" to Swap, Clean, or Ignore

説明: スワップ操作が、ボリュームがマウントされたのと同じドライブを指定します。

システム動作: HSC は、このメッセージに応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 次のいずれかで応答してください。

S (Swap)	ボリュームをマウント解除して、同じドライブに再マウントする。
C (Clean)	クリーニングが完了したときに、ボリュームのマウント解除、クリーニングカートリッジのマウント、およびボリュームを再マウントする。
I (Ignore)	マウントまたはマウント解除要求を取り消す。

SLS4085I

Swap of *volser* on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - Volume not on drive

説明: HSC が、ドライブからボリューム *volser* のマウント解除を試みましたが、ドライブが空であるか別のカートリッジがマウントされているかのいずれかです。

システム動作: スワップ操作は失敗します。

ユーザーの応答: スワップ操作が必要な場合は、HSC コマンドを使ってスワップ操作を実行します。まず、HSC DISMount コマンドを発行して、ドライブから現在のボリュームを削除します。そのあと、HSC Mount コマンドを発行して、新しいドライブにボリュームをマウントします。

SLS4086I

{Mount|Dismount} of *volser* {on|from} {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} sent to HSC

説明: マウント解除処理または MVS 以外のマウント処理が待ち行列に入ると、このメッセージが SMC に戻されます。

システム動作: なし HSC は、要求されたマウント解除処理またはマウント処理を実行します。SMC にエラーメッセージが戻されることはありません。

ユーザーの応答: なし

SLS4087I

Dismount request for {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} - found {drive reserved|drive loaded on scan|drive loaded on dismount}; request terminated

説明: メッセージに表示された理由のため、HSC は、SMC から要求されたマウント解除操作を完了できませんでした。

システム動作: マウント解除要求は終了します。ドライブへの次のマウントが SMC から要求された MVS マウントである場合、ドライブがアンロードされるか、ドライブの予約がなくなるまでシステムは処理を保留します。ドライブへの次のマウントが MVS マウントでない場合 (RTD マウントなど)、WTOR メッセージを発行して待機するか、ドライブを強制的にアンロードします。

ユーザーの応答: なし

SLS4088I

Duplicate volser volser in cell AA:LL:PP:RR:CC and on {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN}; ejecting volume on drive

説明: このメッセージは、デスマウント中に、ボリュームのホームセル内とドライブ上の両方に同じボリュームシリアル番号が見つかった場合に表示されます。

システム動作: ドライブのボリュームは、ACS からイジェクトされ、ボリュームシリアル番号が CDS から削除されます。

ユーザーの応答: セルの監査は、CDS にボリュームを再度追加するようにメッセージで示します。

SLS4089E

Mount/Dismount from SMC 6.0 is not supported.

説明: マウントまたはマウント解除要求が、SMC 6.0 から HSC 7.0 以降へ行われました。HSC 7.0 以降では、SMC 6.0 からの要求はサポートされていません。

システム動作: マウント / マウント解除要求は失敗します。

ユーザーの応答: SMC クライアントを SMC 7.0 以降へアップグレードしてください。

SLS4150I

Number of drives per panel cannot be changed with FORHOST

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティ制御文で指定されたドライブの数が、パネルに定義されているドライブの現在の数と一致しません。この SET SLIDRIVS 文には FORHOST パラメータが含まれています。唯一のホストに対するパネルのドライブの数の変更は、サポートされていません。

システム動作: この制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: SET SLIDRIVS 文のドライブの数を修正して実際の数に合わせるか、文から FORHOST パラメータを削除してすべてのホストに対するドライブの数を変更し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLs4151I

HSC Parmlib not accessible, data reported may be incorrect

説明: HSC パラメータライブラリにアクセスできないため、報告されるデータは不完全であるか正しくない可能性があります。パラメータライブラリは SLSSCRPL DD 文で識別されているか、または、このホスト上のアクティブな HSC によってアクセスされています。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。スクラッチサブプールトータルは生成されず、ボリュームに対するスクラッチサブプール ID は報告されません。全体でのクリーニング回数の限度は判断できないため、使用の最大限度を超えたクリーニングカートリッジは報告されません。

ユーザーの応答: SLSSCRPL DD 文を使用するか、正しいパラメータライブラリにアクセスしているアクティブな HSC を持つホストにあるユーティリティを実行して、HSC パラメータライブラリを識別してください。

SLs4152I

Panel must be empty to use SET SLIDRIVS to change cell geometry

説明: 2 つのパネルのセルが同じ形状であるか、変更されるパネルが空である場合のみ、SET SLIDRIVS ユーティリティ制御文を使用して、あるタイプのドライブパネルを別のタイプに変更できます。

システム動作: ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: (1) パネルに定義されているドライブの数を変更してジョブの再送信を行うか、(2) MNTD Float(Off) を設定し、ボリュームを LSM に入力せずに、MOVE または Eject コマンド (または EJECT ユーティリティ) を使用してすべてのボリュームをパネルから除去し、ジョブを再送信します。

SLs4153I

CDS C...C DDNAME DDDDDDDD is inconsistent with the active set; ignored

説明: ユーティリティへの CDS 入力は、選択したプライマリ CDS に基づくアクティブセットに含まれていません。

システム動作: ユーティリティは続行されます。その名前の CDS データセットは、更新されません。

ユーザーの応答: HSC サブシステムに搭載されたユーティリティに付属の JCL を調べ、正しい CDS 名を調べてください。事前に使用不能にしておいた CDS コピーを再び使用可能にするには、HSC サブシステムに、CDS ENABLE コマンドを発行してください。

SLs4154I

SET CDSLVL REGRESS is not allowed; host CCCCCCCC marked as active

説明: HSC がいずれかのホストでアクティブなマークがつけられている間は、SET CDSLVL REGRESS ユーティリティは実行できません。

システム動作: ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: すべてのホストの HSC を停止させるか回復させて、ジョブを再送信してください。

SLS4155I

SET CDSLVL CONVERT requires all active hosts to have coexistence PTFs applied

説明: SET CDSLVL CONVERT ユーティリティを実行するためには、すべてのホストが HSC 2.0.1 を実行しており、HSC 2.1 を共存させるための PTF が適用されている必要があります。

システム動作: ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: すべてのホストを必要な HSC 保守レベルにして、ジョブを再送信します。

SLS4156I

SET CDSLVL REGRESS failed; invalid LSM or panel type found in CDS

説明: SET CDSLVL REGRESS ユーティリティは CDS を以前の CDS レベルに REGRESS させようとしたが、CDS で定義された LSM またはパネルタイプが、以前の CDS レベルではサポートされていません。

例えば、9740 LSM および 20 ドライブのために構成されたドライブパネルは、CDS レベル 2.0.0 ではサポートされていません。したがって、9740 LSM および 20 ドライブパネルを含む 2.1.0 レベルの CDS は、CDS レベル 2.0.0 に REGRESS させることはできません。

システム動作: ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: 以前の CDS レベルでサポートされていないすべての LSM は、CDS を以前のレベルに REGRESS させる前に、ライブラリ構成から削除する必要があります。LIBGEN、SLICREAT、および RECONFIG 処理を使用して、ライブラリ構成から LSM を削除できます。削除を終えた後に、CDS を以前の CDS レベルに REGRESS できます。

SLS4157I

SET SLIDRIVS requires host CCCCCCCC down or LSM AA:LL offline

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティを実行して存在するドライブまたはパネルタイプを変更するには、対象となるすべてのホストがダウンしているか、LSM がオフラインになっている必要があります。

システム動作: ユーティリティ制御文は無視されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: 対象となるすべてのホストをダウンさせるか、LSM をオフラインに変更して、SET SLIDRIVS ユーティリティを再送信してください。

SLS4158I

HOST CCCCCC LSM(AA:LL) PANEL(PP) drive unit addresses changed:

From: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...
XXXX

To: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...
XXXX

Model: NNNN

説明: SET SLIDRIVS コマンドが、ホストのユニットアドレスを変更しました。MODEL は、MODEL が SET SLIDRIVS 制御文に指定されている場合のみ表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4159I

WARNING: REGRESS with HSC 2.1 created CDS

説明: CDS が、HSC 2.1 SLICREAT で作成されました。

システム動作: CDS の REGRESS を続行します。ただし、CDS はいくつかのユーティリティと互換性を持たずに、予期しない結果を引き起こす原因となる可能性があります。

ユーザーの応答: REGRESS された CDS は RECONFIG を介して実行する必要があります。新しい HSC 2.0 CDS を作成し、それらを RECONFIG RECDEF PARMLIB ステートメントで指定し、REGRESS された CDS を CDSDEF PARMLIB 文で指定してください。

SLS4161I

Number of drives is invalid

説明: パネルで定義されたドライブの数が、許容値でないか、LSM タイプに認められている最大数を超過しています

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティ機能が終了します。

ユーザーの応答: エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

SLS4162I

Panel map not found for panel PP in LSM AA:LL panel type TT

説明: 示されたパネルタイプのパネルセルマップがパネルマップテーブル内に見つかりませんでした。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティ機能が終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティが正しいバージョンの HSC ソフトウェアで実行されているか確認してください。エラーが出続ける場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4163I

Insufficient space for CCCCCCCC data set; number of blocks required is DDDDD

説明: 割り振られたスペースが不十分であったため、CCCCCCCC データセットに対する処理を続けられませんでした。

システム動作: プログラムは終了します。

ユーザーの応答: 適切な大きさのスペースを与えて、ジョブを再送信してください。

SLS4164E

CDS error - missing {ACS|LSM} for {LSM AA:LL|DRIVEID
AA:LL:PP:NN|CAP ID AA:LL:CC}

説明: 存在するどの ACS および LSM とも一致しないキーを持つレコードが見つかりました。

システム動作: ユーティリティは、リターンコード 8 を戻して終了します。エラーが SLUDBMAP (LIBGEN) で発生する場合は、ライブラリのエラーがない部分に文が生成されます。

ユーザーの応答: この状況を、StorageTek ソフトウェアサポートにお知らせください。MERGE ユーティリティまたは再構成 (Reconfig) ユーティリティで CDS を再作成する必要がある可能性があります。

SLS4165I

Output of CDS convert may be invalid

説明: 有効なドライブスロット番号が付いていないドライブパネル付き LSM レコードが検出されました。

システム動作: リターンコード 4 が発行され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: この状況を、StorageTek ソフトウェアサポートにお知らせください。MERGE ユーティリティまたは再構成 (Reconfig) ユーティリティで CDS を再作成する必要がある可能性があります。

SLS4166E

Number of ACSs is greater than 100

説明: LIBGEN ユーティリティの実行中に、ACS の合計数が 100 個を超えることが判明しました。

システム動作: リターンコード 4 が発行され、ユーティリティは終了します。99 (16 進では 63) を超える ACS ID では出力が生成されません。

ユーザーの応答: CDS 内で「ブレースホルダー」ACS が定義されているために個数が新しい最大値 100 を超えてしまう場合には、その最大値以下の個数の ACS を含む CDS を新たに作成し、CDS MERGE ユーティリティを実行して既存の CDS から新しい CDS にデータを転送してください。

SLS4167E

ACS AA contains more than 100 LSMs

説明: LIBGEN ユーティリティの実行中に、100 を超える数の LSM が ACS AA に含まれることが判明しました。ACS FUTRACS が表示された場合、それは、FUTRACS パラメータの LSM 部分が大きすぎることを示しています。

システム動作: ユーティリティは完了し、ACS が実際の ACS である場合はリターンコード 8 を発行し、ACS が FUTRACS の場合はリターンコード 4 を発行します。

生成される SLIACS マクロには 16 進の 63 を超える ID を持つ LSM は含まれませんが、それらの SLILSM レコードは生成されます。

ユーザーの応答: 実際の ACS でこのメッセージが表示された場合、LIBGEN ユーティリティの出力を LIBGEN アセンブリ処理の入力として使用することはできません。

現在の構成を調べて未使用の LSM を除去する方法を確認し、修正された構成で新しい CDS を作成します。次に、CDS MERGE ユーティリティを実行して既存の CDS から新しい CDS にデータを転送します。

SLS4168I

FUTRACS would create more than 100 ACSs, resetting to NN

説明: LIBGEN ユーティリティの実行中に、既存の ACS 数と将来の ACS 数を足すとシステムの最大値 100 を超えてしまうことが判明しました。

システム動作: ユーティリティは、100 と ACS の現在数との差に FUTRACS パラメータを設定し、処理を続行します。ほかのエラーが見つからない場合、ユーティリティはリターンコード 4 で終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4169I

FUTRLSM would create more than 100 LSMs, resetting to NN

説明: LIBGEN ユーティリティの実行中に、ACS 内の既存の LSM 数と将来の LSM 数を足すとシステムの最大値 100 を超えてしまうことが判明しました。

システム動作: ユーティリティは、100 と LSM の現在数との差に FUTRLSM パラメータを設定し、処理を続行します。ほかのエラーが見つからない場合、ユーティリティはリターンコード 4 で終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4196I

DDNAME {SLSCNTL|SLSCNTL2|SLSSTBY} is not a valid CDS format, {CCC...CCC}

説明: 指定された DDNAME は、無効な CDS フォーマットのデータセットを参照しています。CCC...CCCC は、エラーを示しています。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティ JCL を修正したあと、ジョブを再発行します。

SLS4170D

Unable to dismount *volser* to home cell AA:LL:PP:NN. Reply A to allocate a new home cell or E to eject

説明: ボリューム *volser* のそのホームセルへのマウント解除が試みられましたが、そのホームセルは別のボリュームによって占有されており、FLOAT OFF が使用中になっていました。

システム動作: マウント解除は A または E の応答があるまで待機します。

ユーザーの応答: A で応答した場合、HSC は別のホームセルをボリューム *volser* に割り当てることができます。E で応答した場合、ボリューム *volser* がイジェクトされます。

SLS4200I

Duplicate vaulted volume VVVVVV found in "FROM" and "TO" CDS

説明: マージ処理中、この Vaulted Volume VVVVVV が「FROM」CDS と「TO」CDS で重複していることがわかりました。

システム動作: ユーティリティは続行されます。マージ処理は、「FROM」CDS から「TO」CDS へ Vaulted Volume 情報をコピーしません。「TO」CDS の存在する既存の Vaulted Volume は影響を受けません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: 重複している Vaulted Volume が意図したとおりに処理されることを確認してください。

SLS4201I

Merge command with REALONLY|VIRTONLY parameter will be replaced by SLSMERGE parameter ALLREAL|ALLVIRT in a future release

説明: MERGE コマンドの REALonly|VIRTonly パラメータは、今後のリリースで ALLREAL|ALLVIRT パラメータに置き換えられる予定です。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: 今後は、MERGE REALonly パラメータの代わりに SLSMERGE ALLREAL パラメータを、MERGE VIRTonly パラメータの代わりに SLSMERGE ALLVIRT パラメータを使用してください。特定のデータ型がマージされないようにするには、NOREAL、NOVIRT、および NOVALT パラメータを使用してください。

SLS4202I

Merge command parameter REALONLY|VIRTONLY has been detected; SLSMERGE NOVIRT/NOREAL and NOVALT parameters have been automatically set

説明: MERGE REALonly|VIRTonly パラメータは、今後のリリースで SLSMERGE ALLREAL|ALLVIRT パラメータに置き換えられます。MERGE REALonly|VIRTonly パラメータをサポートするため、REALonly|VIRTonly パラメータが検出された時点で、SLSMERGE NOREAL|NOVIRT および NOVALT パラメータが設定されます。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: 今後は、SLSMERGE ALLREAL|ALLVIRT|NOREAL|NOVIRT|NOVALT パラメータを、REALonly|VIRTonly パラメータの代わりに使用してください。

SLS4203I

SLSMERGE parameters:

- NOREAL and NOVIRT

or

- NOREAL, NOVIRT, and NOVALT

have been requested which indicates to merge nothing

説明: 要求側 SLSMERGE パラメータ:

- NOREAL および NOVIRT (CDS 内のボールド情報なし)

または

- NOREAL、NOVIRT、およびNOVALT

同じマージジョブ内の上記に、マージ内容がありません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4204E

{ACS AA|LSM AA:LL} on MERGE control statement not found in
{FROM|TO} CDS

説明: MERGE 制御文に、指定された CDS には存在しない ACS または LSM が含まれています。

システム動作: ユーティリティは、検証処理を続行します。マージ処理は行われません。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: 情報を修正し、ユーティリティジョブを再送信してください。TO CDS が SLICREAT ユーティリティで作成された場合には、正しい ACS および LSM の情報を含んでいることを確認してください。

SLS4205E

LSM AA:LL in MERGE TO CDS is not empty

説明: MERGE ユーティリティは、マージ先となる LSM である示された LSM の TO CDS に、1 つ以上のボリュームが含まれていることを検出しました。

システム動作: ユーティリティは、検証処理を続行します。マージ処理は行われません。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: 示された LSM が意図したマージ先であることを確認してください。そうである場合は、マージ処理を続ける前に、すべてのボリュームを Eject または MOVE してください。

SLS4206I

LSM AA:LL in FROM CDS is not same type as LSM AA:LL in TO CDS

説明: CDS のマージ処理におけるマージ元の LSM とマージ先の LSM が同じ LSM タイプではありません。

システム動作: ユーティリティは続行されます。この LSM に対するマージ処理は実行されません。

この LSM が特定の FLSM/TLSM パラメータで要求された場合は、マージ処理は行われず、リターンコード 8 が設定されます。

一致しない LSM が ALL または FACS/TACS パラメータ文内にあり、VALIDate オプションが指定されなかった場合は、ほかの LSM についてマージ処理が行われ、リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: この LSM に対して FLSM/TLSM パラメータが指定された場合は、文を修正してユーティリティの再送信をしてください。この LSM が指定された ACS 内にあるか、ALL グループの一部である場合は、この LSM がマージ処理でバイパスされることを確認してください。

SLS4207I

Panel PP LSM AA:LL in FROM CDS is not same type as LSM AA:LL in TO CDS

説明: パネル PP のパネルタイプが、CDS のマージ処理の FROM と TO で異なります。

システム動作: ユーティリティは続行されます。一致しないパネルのボリュームはマージ処理が行われません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: パネルが TO CDS で正しく指定されているか確認してください。

SLS4208I

LSM AA:LL does not exist in TO CDS

説明: MERGE TO CDS に LSM AA:LL がありません。マージ処理は、ALL オプションまたは FACS/TACS コントロール文を使用して指定されました。

システム動作: ユーティリティは続行されます。指定された LSM からのボリュームはマージ処理が行われません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: この LSM がマージ処理でバイパスされることを確認してください。

SLS4209I

Duplicate volume volser found in FROM CDS; target location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージ処理において、FROM CDS で指定されているマージ対象の LSM のボリューム (volser) が、すでに TO CDS に存在しています。

システム動作: ユーティリティは続行されます。マージ処理で、ボリュームの情報は TO CDS のマージ先の LSM にコピーされません。TO CDS の存在するボリュームは影響を受けません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: 重複しているボリュームが意図したとおりに処理されることを確認してください。マージ処理を行った後、重複したボリュームがあるすべてのマージ先位置で AUDIT ユーティリティ機能を実行して、LSM から重複したボリュームをイジェクトしてください。

SLS4210I

Volume *volser* found errant during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージ機能は、FROM CDS 内に、TO CDS のホーム位置が AA:LL:PP:RR:CC であるエラントのボリューム (*volser*) を検出しました。

システム動作: ユーティリティーは続行されます。VALIDate オプションが指定されなかった場合は、エラントのボリュームは TO CDS にコピーされ、エラントのマークが付きます。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: マージ処理を行った後に、TO CDS の指定されたセルの監査を実行して、エラントの状況をクリアします。

SLS4211I

Volume *volser* found selected during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージ機能は、FROM CDS 内に、TO CDS のホーム位置が AA:LL:PP:RR:CC である選択ボリューム (*volser*) を検出しました。

システム動作: ユーティリティーは続行されます。VALIDate オプションが指定されなかった場合は、エラントのボリュームは TO CDS にコピーされ、選択済みのマークが付きます。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: マージ処理を行った後に、TO CDS の指定されたセルの監査を実行して、ボリュームの位置を検証します。

SLS4212E

FROM CDS name is the same as TO CDS name

説明: FROM CDS にプライマリ、シャドウ、または待機バージョンの TO CDS と同じデータセット名があります。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ジョブステップの FROM CDS として指定されているファイル名を修正してください。

SLS4213I

CDS Merge Phase N (CCCCCCCC) completed

説明: これは、SLUADMIN MERGECDS ユーティリティーのチェックポイントのメッセージで、フェーズ N、機能 CCCCCCCC が完了したことを示します。フェーズは次のとおりです。

フェーズ 1 – 初期化

マージ処理は、正常に TO CDS を予約し、FROM CDS を割り振り、初期化し、予約しました。

フェーズ 2 – パラメータの妥当性検査

マージ処理は、マージされるすべての LSM の妥当性検査をしました。

フェーズ 3 – データスペースの作成

マージ処理は、マージされる CDS 情報のデータスペースを正常に割り振り、取り込みました。

フェーズ 4 – データスペースへの書き込み

マージ処理は、マージされるデータをプライマリ CDS コピーに正常に書き込みました。VALIDate オプションが指定されている場合は、フェーズ 4 はバイパスされます。

フェーズ 5 – 終了処理

マージ処理は、プライマリ CDS をセカンダリバージョン (ある場合は) に正常にコピーし、終了処理を完了しました。

システム動作: フェーズ 1 から 4 まで完了した後、マージ処理は続行します。フェーズ 5 が完了した後、マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4214E

Creation of CDS Merge utility Data Space failed - MMMMMMMM-CC-RRRRRRRR

説明: MMMMMMMM は、MERGE ユーティリティーのデータスペースの作成に失敗した IBM マクロコールです。CC は失敗に関する戻りコードです。RRRRRRRR は失敗に関する理由コードです。リターンコードおよび理由コードについては、適切な IBM の資料を参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV で戻りコードが「08」、理由コードが「xx0005xx」である場合は、データスペースがインストール条件 (IEFUSI 出口) に違反しています。

これは、HSC が保護キー 1 から 7 で実行されていないことを示しています。HSC 用の保護キーを正しく指定する方法については、SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバー内の MVS プログラムプロパティの表を確認してください。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: 失敗の原因を特定し、CDS MERGE ユーティリティー要求を再送信します。

SLS4215E

No DD statement(s) found for FROM CDS.

説明: MERGEcds コマンドに、FROM CDS に対する DD 文が含まれていませんでした。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: FROM CDS を指定する、SLSFCNTL に対する DD 文を提供してください。シャドーまたは待機 (あるいは両方) のコピーが有効である場合は、これらのファイルに対しても DD 文 (SLSFCTL2/SLSFSTBY) を提供してください。CDS MERGE ユーティリティーは現在のプライマリ CDS を判別し、マージ処理のための FROM CDS として使用します。

SLS4216E

Missing or invalid SLSMERGE data set found for MERGEcds

説明: SLSMERGE DD 文がなかったか、データセットが開けなかったか、パラメータが見つからず MERGEcds 文にキーワード「ALL」が指定されていませんでした。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: MERGEcds 文で「ALL」を指定するか、SLUADMIN ジョブに SLSMERGE DD 文を 1 つ以上のパラメーターとともに含めます。

SLS4217E

MERGEcds ALL was specified with a SLSMERGE DD statement

説明: MERGEcds 文に ALL が指定されていますが、SLUADMIN ジョブに SLSMERGE DD 文が見つかりました。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: MERGEcds 文から ALL キーワードを除去するか、SLUADMIN ジョブから MERGEDEF DD 文を除去します。

SLS4218I

CDS Merge complete on CCCC...CCCC

説明: CDS マージ処理は、データセット名 CCCC...CCCC で CDS を正常に更新しました。

システム動作: CDS Merge 処理は続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS4219E

Unable to select a primary CDS for MERGEcds

説明: SLUADMIN への入力として指定されたすべての FROM CDS のコピーに対して、DHB の情報が検査されました。プライマリまたはセカンダリ CDS は、前回使われてから復元されていない場合は、最良の CDS コピーではありません。したがって、有効なプライマリ CDS とすることはできません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ジョブに指定された SLSFCNTL、SLSFCTL2、および SLSFSTBY データセットを検討してください。正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティーを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップし、HSC RESTore ですべての CDS コピーを同期化してください。そして、SLUADMIN ジョブを再起動してください。

SLS4220I

Cleaner prefix XXX on FROM CDS does not match XXX on TO CDS

説明: マージされる 2 つの CDS のクリーナーの接頭辞が一致しません。

システム動作: CDS Merge 処理は続行します。FROM CDS にカートリッジが見つかった場合は、メッセージ SLS4221E にリストされます。

ユーザーの応答: CDS Merge が VALIDate オプションで実行された場合は、FROM LSM からすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

CDSマージ処理がVALIDate オプションで実行されていなかった場合は、マージ処理が完了した後にTO LSMからすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

SLS4221E

Volume VVVVVV in LSM AA:LL merged as non-cleaner

説明: ボリューム VVVVVV の接頭辞は FROM CDS のクリーナー接頭辞とは一致しますが、TO CDS のクリーナー接頭辞とは一致しません。

システム動作: CDS Merge 処理は続行します。ボリュームは TO CDS に追加されますが、クリーニングカートリッジとしては使用されません。

ユーザーの応答: CDS マージ処理が VALIDate オプションで実行された場合は、FROM LSM からボリュームをイジェクトしてください。

CDSマージ処理がVALIDate オプションで実行されていなかった場合は、マージ処理が完了した後にTO LSMからすべてのクリーニングカートリッジをイジェクトしてください。

SLS4222E

Duplicate {FROM|TO} {ACS AA|LSM AA:LL} found on MERGE control statement

説明: MERGE 制御文に、FROM または TO ACS/LSM として、ACSid または LSMid が重複して定義されています。または、FROM/TO マージパラメータの ACSid が、別の FROM/TO LSMid と重複しています。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4223E

Audit in progress on TO LSM AA:LL

説明: CDS マージ処理のターゲットである LSM AA:LL が監査の最中です。

システム動作: VALIDate オプションが指定された場合は、戻りコード「4」が設定され、妥当性検査は続行します。VALIDate オプションが指定されなかった場合は、CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: 監査の終了後に CDS Merge を再送信してください。LSM にボリュームが含まれる場合は、マージ先とすることはできません。

SLS4225E

Unexpected CDS Merge error - Component=MMMMMMMM, RC=XXXXXXXX

説明: CDS Merge 処理中に、予期しないエラーが起きました。MMMMMMMM は失敗した HSC コンポーネントの名前です。XXXXXXXX はこの操作の戻りコードです。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: 名前が示されたコンポーネントに対するリターンコードをチェックしてください。この問題を解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4226I

SLSMERGE input parameter:XXXX...XXXX

説明: 示されたパラメータ文が SLSMERGE データセットから読み込まれました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4227E

VAR|VVOL area overflow during CDS merge

説明: TO CDS には、VAR または VVOL 領域のいずれかにボリュームを追加する空き領域がありません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答:

- VAR 領域に空き領域がないためにオーバーフローが生じる場合は、LIBGEN 処理で TO CDS のサイズを増やしてください。
- VVOL 領域に空き領域がないためにオーバーフローが生じる場合は、LIBGEN 処理と SET VAULTVOL ユーティリティーで TO CDS のサイズを増やしてください。

SLS4230I

CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 parameter not valid

説明: コマンドまたは制御文 CCCCCCCC1 のパラメータ CCCCCCCC2 は無効です。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。生成される報告は正しくない可能性があります。リターンコード 'X'04' が設定されます。

ユーザーの応答: エラーのコマンドまたは制御文を修正して、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4231I

Panel PP on LSM AA:LL CCCCCCCC

説明: LSM AA:LL パネル PP が凍結されたか、凍結解除されたかについての確認メッセージです。

システム動作: セット機能は完了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4232I

Entire LSM AA:LL CCCCCCCC

説明: LSM AA:LL 全体が凍結されたか、凍結解除されたかについての確認メッセージです。すでに要求された状態の場合は、メッセージはすでに凍結されたか凍結解除されたかを示します。

システム動作: セット機能は完了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4233I

Unable to Freeze/Unfreeze an unallocated or non-existent LSM or panel

説明: 未割り振りの LSM、または LSM 内で未割り振りのパネルを凍結、または凍結解除しようとした。

また、存在しない LSM またはパネルを凍結、または凍結解除しようとする、このエラーが表示されることもあります。未割り振りのパネルはバイパスされ、凍結したり凍結解除することはできません。

システム動作: SET 機能は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: なし

SLS4235E

Duplicate (MVC|VTV) volume (VVVVVV) found in FROM CDS

説明: マージ処理において、「マージ先」CDS 内にボリューム (VVVVVV) がすでに存在しています。

システム動作: ユーティリティは続行されます。このマージ処理では、MVC および VTV ボリュームは「マージ先」CDS にコピーされません。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: MVC および VTV の矛盾を訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4236E

VTV/MVC conflicts detected; Virtual volumes not merged

説明: マージ処理において、「マージ元」CDS 上の仮想ボリューム (VTV または MVC) が「マージ先」CDS 上で VTV、MVC または実ボリュームとして存在しています。(VTV/MVC) ボリューム情報のマージは実行されません。

システム動作: ユーティリティは続行されます。このマージ処理では、「マージ先」CDS に MVC および VTV ボリュームがコピーされません。ただし、実ボリュームのマージは実行されます。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: VTV/MVC の矛盾を訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4237E

Duplicate {FROM|TO} VTSS NAME (XXXXXXXX) found on MERGE control statement

説明: MERGE 制御文上で、重複した VTSS 名 (XXXXXXXX) がマージ元 VTSS 名またはマージ先 VTSS 名として指定されています。このマージは、FVTSS/TVTSS 制御文を使用して指定されました。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4238E

VTSS NAME (XXXXXXXX) on MERGE control statement not found in the {FROM|TO} CDS

説明: 「マージ元」CDS または「マージ先」CDS の中に VTSS 名 (XXXXXXXX) がありません。このマージは、FVTSS/TVTSS 制御文を使用して指定されました。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4239E

{MVC|VTV} volume VVVVVV not configured in 'TO' CDS

説明: MERGE CDS 処理の際、「マージ先」CDS でボリューム VVVVVV は構成されていなかったため、コピーできませんでした。MVC または VTV をコピーしないことにより削除するのは、次の 2 つの条件が真のときに許可されます。

- DELVirt パラメータが指定されている、かつ
- 「マージ元」CDS は、空か初期化されていないボリューム VVVVVV を表示している。

VTV は、常駐せず MVC のコピーもないときに空であると見なされます。MVC は、現在の VTV を含まず、かつ以前使用されたことがありドレインが行われた場合は、空であると見なされます。

システム動作: ユーティリティは続行されます。このマージ処理では、MVC または VTV ボリュームは「マージ先」CDS にコピーされません。リターンコード 8 が設定されました。

ユーザーの応答: マージ処理がボリューム VVVVVV を「マージ先」CDS にコピーする場合、ボリューム VVVVVV を MVC または VTV 範囲に (適切に) 含めるように「マージ先」CDS の設定を訂正し、そのマージを返してください。

マージ処理がボリューム VVVVVV を「マージ先」にコピーしないことで削除する場合。

- DELVirt パラメータが設定されていることを確認してください。
- ボリューム VVVVVV が VTV の場合、「マージ元」CDS が VTV VVVVVV を常駐ではなく現在の MVC のコピーを持たないとして表示することを確認してください。VTV VVVVVV がスクラッチの場合、DELETSCR ユーティリティを使用して VTV の常駐および MVC コピーを削除できます。
- ボリューム VVVVVV が MVC である場合、「送り元」CDS が MVC VVVVVV が空である、つまり VTV がないと示すことを確認してください。MVC VVVVVV が以前 VTV を含んでいた場合は、MVC RPT を実行してください。値が「Owner/Comment/Consolidate Time」の列に表示される場合、MVC VVVVVV はドレインを行う必要があります。ドレインが行われると、その列には値が表示されなくなります。

- ボリューム VVVVVV の削除条件が満たされたら、マージを再実行してください。

SLS4240E

MVC volume VVVVVV is a duplicate of a real volume

説明: マージ処理の際、VTV ボリューム VVVVVV が実ボリュームと重複していることが判明しました。

システム動作: ユーティリティは続行されます。このマージ処理では、MVC および VTV が「マージ先」CDS にコピーされません。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: VTV と実ボリュームの矛盾を訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4243E

PARAMETER ALLVIRT specified, but no virtual data defined in "TO"|"FROM" CDS.

説明: ALLVIRT が指定されましたが、「TO」CDS または「FROM」CDS の中に仮想構成データが見つかりませんでした。

システム動作: ユーティリティはフェーズ 2 のあとで終了します。データのマージは行われませんでした。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: パラメータを訂正して、CDS マージを再サブミットしてください。SWSADMIN CONFIG 機能が「マージ先」CDS に対して実行されていることを確認してください。

SLS4244W

PARAMETER "ALL" specified, but no virtual data was defined in the "TO" CDS.No virtual data copied.

説明: "ALL" が指定されましたが、「マージ先」CDS の中に仮想構成データが見つかりませんでした。仮想レコードは一切コピーされません。

システム動作: ユーティリティは「実際の」CDS データのみをコピーしました。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: 必要な場合は、SWSADMIN CONFIG 機能を実行して仮想情報を定義し、CDS マージを再送信して仮想情報をコピーしてください。

SLS4245I

MVC/VTV volume VVVVVV deleted from "TO" CDS during MERGE

説明: MERGECDS 実行時にマージ元の CDS 内において初期化されていないか、または空で、かつ、マージ先の CDS 内において定義されていない VTV または MVC がマージ先 CDS にコピーされなかった場合に発行されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4246E

Migrated VTV VVVVVV found in source CDS but corresponding MVC VVVVVV not defined in target CDS

説明: MERGECDS 実行時においてマイグレーション済 VTV がマージ元 CDS 上に存在するが、マイグレード先 MVC がマージ先 CDS 上に定義されていない場合に出力されます。

システム動作: CDS マージプロセスの実部分は完了しますが、仮想レコードは CDS にコピーされません。リターンコード 8 が戻され、操作が終了します。

ユーザーの応答: 宛先の CDS に MVC を定義するか、VTCS から VTV を削除します。

SLS4247I

CCCCCCC parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能でパラメータに YES または NO 以外の値が指定されました。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティー制御文上のパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信してください。

SLS4248I

Volume VVVVVV location AA:LL:RR:CC; ACS|LSM not found in CDS

説明: VOLRPT 要約の総数を計算しようとしたしましたが、そのボリューム位置にある ACS または LSM が、CDS から作成された ACS または LSM と一致しませんでした。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。生成される報告は正しくない可能性があります。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの応答: ボリュームの位置が間違っていないか、CDS の ACS/LSM レコードが間違っていないか調べてください。

SLS4249E

Parameter "ALL" specified, but the "TO" CDS does not contain any VTV volumes

説明: 「ALL」が指定されましたが、仮想ボリュームが「TO」CDS 内に定義されていません。

システム動作: ユーティリティーはフェーズ 2 のあとで終了します。データのマージは行われませんでした。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: 必要な場合は、SWSADMIN CONFIG 機能を実行して仮想情報を定義し、CDS マージを再送信して仮想情報をコピーしてください。

SLS4251D

Prior RELease AA:LL:CC executing; reply Cancel current command or Force release (C,F)

説明: 直前の RELease コマンドが発行されているか、CAP の解放要求が別のホストまたはユーティリティ ESTAE 用に実行されています。

コマンドは、「C」または「F」と応答するまで待ち状態になります。

- 「C」と応答すると、RELease コマンドはキャンセルされ、直前の解放処理が引き続き実行されます。
- 「F」と応答すると、現行の解放処理はキャンセルされ、省略形の CAP 解放が行われます。

注意 – 注意: 「F」の応答は、CAP を使用不可にすることがあります。

ユーザーの応答: 前の CAP タスクが完了しなかった理由を確認してみてください。未処理の CAP 操作または WTOR などが理由に挙げられます。その場合は、要求された CAP 操作を実行してください。たとえば、CAP からボリュームを削除して、CAP ドアを閉めるか未処理のメッセージに応答します。

未処理のアクションメッセージまたは WTOR が存在しない場合は、解放コマンドが CAP カタログを実行している可能性があることに注意してください。特に LMU が複数の要求を処理している場合は、CAP カタログの処理には数分かかります。この場合、「C」を応答して前の解放処理が完了するまで待ちます。

要求された CAP 操作を実行できない場合(たとえば CAP ドアがロックされているため空にできない場合)は、「F」を応答して現在の解放処理をキャンセルします。そのあと、新しい解放処理が省略形の CAP 解放を実行します。

SLS4252I

RELease AA:LL:CC command is waiting for {the CAP lock|LMU response}

説明: RELease コマンドが発行されてアクティブな CAP タスクの終了を通知しましたが、タスクはいまだに終了していません。

システム動作: コマンドは待機します。

ユーザーの応答: 前の CAP タスクが完了しなかった理由を確認してみてください。未処理の CAP 操作または WTOR などが理由に挙げられます。その場合は、要求された CAP 操作を実行してください。たとえば、CAP からボリュームを削除して、CAP ドアを閉めるか未処理のメッセージに応答します。

未処理の処理メッセージまたは WTOR が存在しない場合は、アクティブな CAP 処理が LMU からの応答を待っている可能性があることに注意してください。LMU が複数の要求を処理している場合は、この応答には数分かかります。

SLS4266A

Cartridge volser in CAP AA:LL:CC has an invalid media label
and cannot be entered

説明: CAP AA:LL:CC で見つかったカートリッジ (*volser*) のメディアラベルが読み込めなかったため、エンターできません。

システム動作: カートリッジエントリは、それが見つかった CAP セルのカートリッジに残され、カートリッジを除去できるように CAP のロックが解除されます。

ユーザーの応答: CAP からカートリッジを除去してください。カートリッジを挿入しなければならない場合は、メディアラベルを修正してください。

SLS4270E

Duplicate {FROM|TO} VAULT name CCCCCCCC found on MERGE control
statement

説明: 重複する FROM|TO ボールト名 CCCCCCCC が、SLSMERGE FVAULT/TVAULT パラメーターカードに指定されました。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4271E

VAULT name CCCCCCCC on SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} parameter NOT
found in the {FROM|TO} CDS

説明: SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} パラメータで指定されたボールト名 CCCCCCCC が、FROM または TO CDS に見つかりません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} パラメータの無効なボールト名を訂正して、CDS Merge を再送信してください。

SLS4272E

An invalid combination of {ALLREAL AND REAL|ALLVIRT AND
VIRTUAL|ALLVALT AND VAULT|ALLREAL AND NOREAL|ALLVIRT AND
NOVIRT|ALLVALT AND NOVALT} SLSMERGE cards coded

説明: SLSMERGE MERGE ALLxxxx パラメータは、SLSMERGE Fxxxx|Txxxx パラメータと同時に指定できません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4273E

ALLVALT|FVAULT parm specified but no vaults were defined in
"FROM" CDS

説明: SLSMERGE ALLVALT|FVAULT パラメータが指定されましたが、「FROM」にボールトが見つかりませんでした。

システム動作: ユーティリティはフェーズ 2 のあとで終了します。データのマージは行われませんでした。戻りコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4274E

Cannot merge into "TO" VAULT CCCCCCCC because it is not empty

説明: 「TO」 ボールト CCCCCCCC の中には、すでにボリュームが保管されています。マージするには、「TO」 ボールトが空でなくてはなりません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4275E

Cannot merge into "TO" VAULT CCCCCCCC because it is set up for fewer slots than "FROM" VAULT CCCCCCCC

説明: 「TO」 ボールト CCCCCCCC が、「FROM」 ボールト CCCCCCCC よりも少ないスロットで設定されています。「FROM」 ボールトのすべてのボリュームを「TO」 ボールトに移行できるようにするには、「TO」 ボールトが「FROM」 ボールトと同数かそれ以上のスロットで作成されている必要があります。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4276E

There is {REAL|VIRTUAL|VAULT} data in "FROM" CDS but merge options selected will not merge this data into "TO" CDS

説明: 選択されたマージオプションは、「FROM」 CDS に見つかった {REAL|VIRTUAL|VAULT} をマージしません。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: 特定のデータをマージしないようにするには、{NOREAL|NOVIRT|NOVALT} SLSMERGE パラメータを使用して、CDS Merge を再送信してください。

SLS4277I

LSM AA:LL in the FROM CDS and LSM AA:LL in the TO CDS are not in the same partition

説明: マージ元とマージ先 LSM が、別々のパーティションに属しています。TO CDS の LSM がこのパーティションに割り振られていない場合は、DISPLAY LSM に、UNALLOCATED が表示されます。

システム動作: ユーティリティーは続行されます。この LSM に対するマージ処理は実行されません。

- このLSMが特定のFLSM/TLSMパラメータで要求された場合は、マージ処理は行われず、リターンコード 8が設定されます。
- LSMがALL または FACS/TACS パラメータ文内にあり、VALIDate オプションが指定されなかった場合は、ほかの LSM についてマージ処理が行われ、リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: この LSM に対して FLSM/TLSM パラメータが指定された場合は、文を修正してユーティリティーの再送信をしてください。この LSM が指定された ACS 内にあるか、ALL グループの一部である場合は、この LSM がマージ処理でバイパスされることを確認してください。

SLS4350I

CDS Merge terminated prematurely; merge complete on {NO CDS copies|PRIMARY CDS copy|ALL CDS copies}

説明: HSC サブシステムのマージ処理は、MERGE ユーティリティーが異常終了したことを検出しました。マージ処理は、示された CDS をすでに更新しています。

システム動作: CDS マージ処理は終了します。

ユーザーの応答: メッセージをチェックしてマージの状態を判断し、次のようにして処理を進めます。

- どのCDSも更新されていない場合は、マージ処理を始めから再起動できます。
- プライマリ CDSのみが更新された場合は、セカンダリコピーは自動的に使用不可にされます。このCDSをプライマリ CDSと同期できるようにできます。
- すべてのCDSのコピーが更新された場合は、マージ処理は終了しており、処理を行う必要はありません。

SLS4351I

Inconsistent copy flag found on DDDDDDDD

説明: ユーティリティー機能は、DD 名 DDDDDDDD の CDS コピーで、矛盾したコピーフラグがオンになっていることを検出しました。

システム動作: 有効な CDS のコピーが存在する場合は、ユーティリティーは続行します。データセット DDDDDDDD は処理されません。

ユーザーの応答: 次のいずれかを行なって、矛盾したコピーを同期させます。

- すべてのCDSのコピーをバックアップから復元します。または
- 矛盾するコピーをHSCに有効にします。これによって矛盾したコピーは強制的に同期されます。

SLS4352I

'DIAGSCAN' parameter value invalid; must be 'ONLY' or 'ALSO'

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーで DIAGScan パラメータに ONLY または ALSO 以外の値が指定されました。

システム動作: AUDit ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティー制御文上の DIAGScan パラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS4353I

No diagnostic cells for LSMid AA:LL, panel DD

説明: DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキャンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティーの機能が要求されました。指定の LSMid (AA:LL) およびパネル (DD) に診断セルがありませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4354I

Diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC is empty

説明: DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキュンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (AA:LL:PP:RR:CC) は空でした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4355I

Cartridge in diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC has an unreadable external label

説明: DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキュンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (AA:LL:PP:RR:CC) には、読み取りできない外部の VOLSER ラベルが付いていました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: そのカートリッジは、LSM が手動モードの間に診断セルに間違って配置された可能性があります。LSM を手動モードに戻すには、LSM に入り、カートリッジを取り出してください。それがデータカートリッジである場合は、VOLSER を判断し、カートリッジにラベルをつけて、LSM がオンラインに戻った後で CAP を通じて再度中に入れてください。

SLS4356I

Volume volser is in diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキュンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。検出された指定の場所の診断セル (AA:LL:PP:RR:CC) には、外部の VOLSER ラベル *volser* が付いていました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: カートリッジが診断カートリッジ (通常、外部ラベルの形式は「DG nnn」で、nnn は 10 進数の数字が入ります) ではない場合は、そのカートリッジは、LSM がマニュアルモードの間に診断セルに間違って配置された可能性があります。LSM を手動モードに戻すには、LSM に入り、カートリッジを取り出し、LSM がオンラインに戻った後で CAP を通じて再度中に入れてください。

SLS4357I

Unable to scan diagnostic cells in LSMid AA:LL (9740)

説明: DIAGScan パラメータが含まれているため、診断セルのスキュンに SLUADMIN AUDIT ユーティリティの機能が要求されました。指定された LSM (AA:LL) は、現在診断セルのスキュンをサポートしていない LSM のタイプ 9740 でした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4358I

No in-transit cartridges in LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されましたが、指定された LSM (AA:LL) には移動中のカートリッジがありませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4359I

Unable to select in-transit volume volser in LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されましたが、指定された LSM (AA:LL) で指定されたライブラリーのボリューム (volser) を選択できませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: ボリュームが選択されているかどうかを確認し、選択されている場合は、SLUADMIN UNSELECT ユーティリティを実行して、ボリュームを空にし、INTRANS パラメータで SLUADMIN AUDIT ユーティリティを再度実行することを検討してください。

SLS4360I

DDname CCCCCCCC allocated to data set name DDD...DD

説明: ユーティリティは、CCCCCCCC で示される DD 名を、データセット名 DDD...DD (54 文字までの文字列。データセットが PDS メンバーである場合はメンバー名も含まれます) に割り振りました。DD 名 CCCCCCCC は次のいずれかになります。SLSCNTL、SLSSCRPL、または SLSVA。この割り振りは、ユーティリティジョブで実行された JCL によって行われたか、またはこのホストシステムでアクティブな HSC によって使用されているデータセットに基づいて動的に割り振られています。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: このメッセージは単に情報を知らせるためのものです。ユーティリティが期待した結果を作成しない場合は、一連の SLS4203I メッセージの内容を調べて、意図したデータセットが実際にジョブに割り振られているかどうかを確認する必要があります。

SLS4361I

Ejected in-transit volume volser from LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で移動中のライブラリボリューム (volser) が検出され、イジェクトされました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: そのボリュームをライブラリに再入力するかどうかを検討してください (注: オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知されます。また、CAP がいっぱいの場合、あるいは SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が完了した場合には、CAP を空にする必要があります)。

SLS4362I

Error ejecting in-transit volume *volser* from LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で移動中のライブラリボリューム (*volser*) が検出され、イジェクトが試行されましたが、失敗しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: イジェクトエラーに関連するほかの HSC メッセージを検証してください。INTRANS パラメータでの SLUADMIN AUDIT ユーティリティの再実行を検討してください。

SLS4363I

Ejected an in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で読み取り不可能な外部ラベルが付いた移動中のカートリッジが検出され、イジェクトされました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: ボリュームにラベルを付けて、ライブラリに再入力するかどうかを検討してください (注: オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知されます。また、CAP がいっぱいの場合、あるいは SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が完了した場合には、CAP を空にする必要があります)。

SLS4364I

Error ejecting in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

説明: INTRANS パラメータが含まれているため、移動中のカートリッジの処理に SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が要求されました。指定の LSM (AA:LL) で読み取り不可能な外部ラベルが付いた移動中のカートリッジが検出され、イジェクトが試行されましたが、失敗しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: イジェクトエラーに関連するほかの HSC メッセージを検証してください。INTRANS パラメータでの SLUADMIN AUDIT ユーティリティの再実行を検討してください。

SLS4365I

Virtual Volume merge bypassed, VTCS has not been activated.

説明: VTV および MVC のエントリを含む「マージ元」CDS を指定したマージ操作が要求されました。このシステムでは VTCS が活動化されていないため、これらの VTV および MVC のエントリは「マージ先」CDS にマージされません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$4366E

(...error text...)

説明: POOLPARM/VOLPARM 制御文の処理中に、エラーが検出されました。エラーは次のいずれかになります。

- SCRATCH pool name DEFAULTPOOL not allowed
- MVCPOOL names ALL and DEFAULTPOOL not allowed
- EXTERNAL pool name DEFAULTPOOL not allowed
- MVCFREE value out of range; must be 0-255
- MAXMVC value out of range; must be 1-98
- THRESH value out of range; must be 4-98
- START value out of range; must be 1-98
- Invalid TYPE for POOLPARM; must be SRATCH, MVCPOOL, CLEAN, or EXTERNAL.
- Suffix for Clean volser must be numeric
- Must be POOLPARM or VOLPARM
- Duplicate SCRATCH pool names not allowed
- Duplicate MVCPOOL pool names not allowed
- Duplicate EXTERNAL pool names not allowed
- INITSCR only valid with MEDIA(VIRTUAL)
- Cleaning Cartridge must match the Cleaning Prefix
- Invalid value for RANGE
- SPVOL ERROR
- Invalid value for MAXCLEAN; must be 0-32767
- MAXCLEAN required for TYPE(CLEAN) pool
- MVCPOOL values conflict with those on Record
- Volser specification conflicts with that on Record
- RECLaim value must be AUTo, DEMand, REPortonly or NONe
- MVCFREE can not be specified with RECLaim(DEMand/NONe)
- MAXMVC can not be specified with RECLaim(REPortonly/NONe)
- START can not be specified with RECLaim(DEMand/REPortonly/NONe)
- THRESH can not be specified with RECLaim(REPortonly/NONe)

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: POOLPARM/VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4367E

NNNNNNNN Keyword Invalid with POOLTYPE PPPPPPPP

説明: POOLPARM/VOLPARM 制御文の処理中、PPPPPPPP POOLTYPE の処理中に、無効なキーワード (NNNNNNNN) が見つかりました。表示されたキーワードは、このプールタイプには無効です。

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: POOLPARM/VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4368I

CDS not updated due to (ERRORS | APPLY(NO) | DR TEST STATUS)

説明: SET VOLPARM ユーティリティ実行中、CDS が次のいずれかの理由のために更新されませんでした。

- ERRORS - POOLPARM/VOLPARM 制御文の処理中に、エラーが発生しました。
- APPLY(NO) - APPLY(NO) が指定されているか、省略時解釈値として取られています。
- DR TEST STATUS - このユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM ステートメントを DR テストホストから適用できるようになっていません。

システム動作: CDS は更新されません。POOLPARM/VOLPARM 定義は、操作可能な HSC システムでは使用可能になっていません。

ユーザーの応答: エラーを訂正するか APPLY(YES) を指定して、CDS に VOLPARM 定義を記述してください。DR テスト CDS を更新するには、本稼働用の CDS に VOLPARM ユーティリティを実行し、DRTEST CREATE を再実行してください。

SLS4369I

CDS updated with VOLPARM definitions

説明: VOLPARM 定義が CDS に書き込まれました。

システム動作: CDS が更新されます。POOLPARM/VOLPARM 定義が、操作可能な HSC システムで使用可能になっています。

ユーザーの応答: なし

SLS4370I

SLUINCT processing on XXXX {STARTED|ENDED}

説明: SLUINCT 操作が要求され、ドライブ XXXX が要求されました。

システム動作: ユーティリティの処理を続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS4371I

SLSPARM statement - NNNNN - CCCCCCCC

説明: 文 (CCCCCCCC) が、VOLPCONV ユーティリティの SPSRINT ファイルに複製されています。SLS4366E が発行された場合、メッセージ内のこのレコード番号がステートメント番号 (NNNNN) に関連付けられます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4372I

VIRTUAL VVVVVV-VVVVVV removed from SCRPOOL/VOLATTR - volume not in VTVVOL configuration

説明: MEDIA/RECTECH(VIRTUAL) 付きのボリュームが、VOLPARM Conversion ユーティリティによって SCRPOOL または VOLATTR 定義あるいはその両方から削除されました。これらのボリュームは、VTCS VTVVOL 構成内にありません。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: VOLPARM Conversion ユーティリティの出力を確認してください。

SLS4373I

VVVVVV-VVVVVV removed from MVCPOOL - volume not in MVCVOL configuration

説明: VOLPARM Conversion ユーティリティによって、MVCPOOL 定義からボリュームが削除されました。これらのボリュームは、VTCS MVCVOL 構成内にありません。

システム動作: ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: VOLPARM Conversion ユーティリティの出力を確認してください。

SLS4374E

DRTEST not valid on VOLPARM in POOLs

説明: POOLPARM 文で定義された POOL 内の VOLPARM 文で使用している間は、DRTEST パラメータは無効です。VOLPARM DRTEST パラメータは、プール以外のセクションでのみ有効です。

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4375E

MEDIA incompatible with TYPE(CLEAN)

説明: VOLPARM 文で指定した MEDIA と POOLPARM TYPE(CLEAN) は、有効なクリーニングメディアタイプではありません。

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4376E

Volumes with the Cleaning Prefix only valid with TYPE(CLEAN)

説明: クリーニング接頭辞が付いたボリュームは、POOLPARM TYPE(CLEAN) ステートメントのあとの VOLPARM 文でのみ有効です。

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4377I

Missing optional CCCCCCCC DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーは、オプションの DD 文を見つけれませんでした。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの応答: ユーティリティーが適切に機能するのに必要な場合は、DD 文を指定してください。または、戻りコード 0 が返るようにするには、CCCCCCCC DD DUMMY を指定してください。

SLS4380I

MEDIA and RECTECH missing on input VOLATTR

説明: 入力 VOLATTR に見つかった VOLPCONV ユーティリティーに、MEDIA も RECTECH も指定されていません。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの応答: MEDIA/RECTECH の指定が正しいかどうか確認してください。

SLS4400I

HSC dynamic reconfiguration initiated

説明: HSC の動的再構成処理が開始されました。

システム動作: 動的再構成処理は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS4401I

{Transport|Drive record|LSM/rail} {AA:LL:PP:NN|AA:LL}
successfully {added to|removed from} current HSC configuration.

説明: 動的再構成により、トランスポート、ドライブレコード、または LSM が追加または削除されました。Transport は、HSC の構成ドライブレコードとライブラリ内のトランスポートの両方が処理されたことを示します。Drive record は、HSC の構成のみが変更されたことを示します（たとえば、構成ドライブレコードを追加するために SLUADMIN が実行されたもののトランスポートは接続されていない場合など）。LSM/rail は、検出された SL8500 構成に基づいて LSM が処理されたことを示します。

システム動作: HSC の構成変更処理は完了するまで続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS4402I

```
CDS {drive|LSM} record {not found|previously removed} for  
existing {transport|LSM/rail; id={AA:LL:PP:NN|AA:LL}}
```

説明: 動的再構成は、対応する構成レコードが CDS 内にない、接続テープトランスポートまたは LSM を SL8500 ライブラリ内で検出しました。ドライブレコードは、SLUADMIN により削除されたか、最初から CDS に存在しませんでした。LSM の場合、FUTRLSM パラメータにより、対応するレコードが LIBGEN 内に確立されていません。

システム動作: 対応するドライブレコードが CDS に存在しない場合、HSC はトランスポートを現在の構成に追加できません。LSM の場合も同様です。WTOR SLS4405D が発行され、オペレータは処理を進めるか中止するかを聞かれます。

ユーザーの応答: SLS4405D メッセージに「N」と応答してから、対象のレコードを CDS に追加し、動的再構成を再起動します。「Y」と応答すると、再構成処理は進められますが、この場合、対象のドライブまたは LSM は現在の構成に追加されません。

SLS4403I

```
CDS {drive|LSM} record found with no matching  
{transport|LSM/rail}; library location = {AA:LL:PP:NN|AA:LL}
```

説明: 動的再構成は、対応するトランスポートまたは LSM が指定された場所にはない、構成レコードを CDS 内で検出しました。これは次のいずれかの理由によります。1) トランスポートがライブラリから削除されたが、ドライブレコードは CDS から削除されなかった、2) ドライブレコードが CDS に追加されたが、トランスポートはライブラリに追加されなかった、3) LSM/ レールが HSC から取り外されている

システム動作: この場合、WTOR SLS4405D が発行され、オペレータは処理を進めるか中止するかを聞かれます。

ユーザーの応答: この不整合が予測されたものでない場合、SLS4405D メッセージに「N」と応答してから、トランスポートをライブラリに接続し、動的再構成を再起動します。LSM の場合、CDS を動的に更新できないため、この不整合の発生は予測されています。「Y」と応答すると、次のことが行われます。1) ドライブレコードの追加、トランスポートの削除のどちらによるものであっても、ドライブレコードを「未構成」としてマークする、2) HSC の構成から LSM を削除する

SLS4404I

```
{Drive {type|unit address|host definition|type and unit  
address}}|{LSM {panel configuration|passthru configuration|panel  
and passthru configuration} successfully modified for  
{transport|LSM/rail} {AA:LL:PP:NN|AA:LL} during dynamic  
reconfig
```

説明: 動的再構成により次のいずれかが正常に変更されました。1) 指定したドライブのタイプ、デバイスアドレス、またはホストの定義、2) 指定した LSM のパネルまたはパススルー構成、あるいはその両方

システム動作: HSC は現在の構成を適切に更新済みです。

ユーザーの応答: なし

SLS4405D

CDS / LMU conflicts exist; allow dynamic reconfig to proceed;
Reply 'Y' or 'N'

説明: 動的再構成は次のいずれかを行いました。1) 対応するドライブレコードの存在しない接続トランスポートを検出した、2) 対応するトランスポートがライブラリに存在しない、CDS の構成ドライブレコードを検出した、3) 対応する SL8500 LSM が存在しない、CDS の LSM レコードを検出した、4) 対応する LSM レコードが CDS に存在しない、SL8500 LSM/ レールを検出した。メッセージ SLS4402I および SLS4403I の先頭には、SL8500 の特定の要素および位置が示されます。

システム動作: 動的再構成は、このメッセージに対する応答を受け取るまで待ち状態になります。60 秒経過しても応答を受け取らなかった場合、動的再構成は中止され、メッセージ SLS4405D はコンソールに表示されなくなります。

ユーザーの応答: 「Y」と応答すると、動的再構成は適格な変更すべてを処理します。ほかの応答をすると、動的再構成は、理由 = オペレータの要求により、中止されます。

SLS4406I

Dynamic reconfiguration processing did not occur, no changes
found or unable to process

説明: 動的再構成処理は、SL8500 ライブラリまたは HSC 内の構成変更が実行されなかったか、またはこれらの変更が処理不能であったと判断しました。次の状況が考えられます。1) 対応するドライブレコードの存在しない新しいトランスポートが検出され、SLS4405D WTOR に対して「Y」と応答された、2) 対応する LSM レコードの存在しない新しい LSM が検出され、SLS4405D WTOR に対して「Y」と応答された、3) 処理対象の SL8500 ベースの要素が見つからない。

システム動作: 動的再構成処理は終了します。

ユーザーの応答: 構成変更が予測されたものでない場合、CDS およびライブラリの両方ですべての変更が実施されていることを確認してください。

SLS4407I

HSC の動的再構成処理が終了しました。再構成の詳細については、直前のメッセージを参照してください。

説明: HSC の動的再構成処理が終了しました。場合によっては、ハードウェア再構成が実行されなかった可能性もあります。メッセージ SLS4505D に対して「N」と応答されました。再構成の詳細については、直前のメッセージを参照してください。

システム動作: 動的再構成処理は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4408I

{LMU|Database|Configuration} request error during dynamic
reconfiguration; rc = nnnn

説明: 動的再構成処理中に、LMU、データベース、または構成の要求がエラー状況を返しました。問題のあるコンポーネントの戻りコード *nnnn* が、メッセージに表示されます。

システム動作: 動的再構成処理は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS4409I

HSC dynamic reconfiguration has aborted; reason = RRRR

説明: 動的再構成は、次のいずれかの理由により、中止されました。

- operator request: メッセージ SLS4405D に対して「N」と応答され、動的再構成が中止されました。
- timeout: メッセージ SLS4405D に対する応答が、制限時間 60 秒以内に返されませんでした。
- ACS を削除できない: 指定した ACS は、削除に不適格です。
- ACS を追加できない: 割り振られていない ACS か、今後の ACS であれば使用できます。
- LMU、データベース、または構成の要求エラー: エラーにより、動的な再構成の続行が妨げられています。
- SCR UPDATE|AUDIT|SCR REDIS|MOVE などのユーティリティーが実行され、動的な再構成の続行が妨げられています。
- unknown: 異常終了などの予期しないエラーが検出されました。Oracle のサポートに連絡してください。

システム動作: 動的再構成処理は終了します。

ユーザーの応答: 上記すべてのエラーについては、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。ただし、次のエラーは除きます。

- オペレータ要求、またはタイムアウト: 応答する必要はありません。
- ACS を削除できない、または追加できない: 考えられる原因と対処法については、メッセージ SLS4423E を確認してください。

SLS4410I

CDS drive record for library location AA:LL:PP:NN marked as unconfigured

説明: 次のいずれかの理由により、動的再構成はドライブレコードを未構成としてマークしました。1) トランSPORTは削除されたが、ドライブレコードを CDS から削除するための SLUADMIN が実行されていない、2) SLUADMIN を使用してドライブレコードが CDS に追加されたが、対応するトランSPORTがライブラリに接続されていない。

システム動作: ドライブレコードは HSC の構成に残りますが、未構成としてマークされ、有効なタイプまたは記録技法は反映されません。これらは、「unconfg」（未構成）という状況とともに表示されます。

ユーザーの応答: トランSPORTが対応するライブラリ位置 ID に接続されるか、SLUADMIN により削除される（不要の場合）まで、ドライブは、未構成状態のままとなります。

SLS4411I

Drive record AA:LL:PP:NN remains unconfigured, no changes made.

説明: 動的再構成は、最後に行った再構成または初期設定のときからドライブが未構成のままであると判断しました。

システム動作: ドライブレコードは処理されません。

ユーザーの応答: なし

SLS4412I

```
HSC deleted volume VVVVVV from CDS for UNALLOCATED {LSMID  
AA:LL | CELL AA:LL:PP:RR:CC}
```

説明: パーティション処理を介して割り当て解除された LSM に残っている CDS で、ボリュームが検出されました。または、要求プロセスの容量から割り振られていないセルの中にボリュームが検出されました。

システム動作: ボリュームは、CDS から削除されます。

ユーザーの応答: ボリュームは、割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられている新しいホスト (またはホストグループ) によって「所有」されます。新しいホストは、HSC の監査を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

SLS4413I

```
HSC failed to delete volume VVVVVV from CDS for UNALLOCATED  
{LSMID AA:LL | CELL AA:LL:PP:RR:CC} RC=RCRCRCRC
```

説明: HSC は CDS からボリュームを削除しようとしたましたが、できませんでした。リターンコードが失敗の理由を識別しますが、最も可能性のある理由は、ボリュームを削除しようとしたときに別の処理でボリュームを使用していたことです。

システム動作: ボリュームは CDS に残り、「アクセス不能」になります。

ユーザーの応答: パーティション処理または要求処理の容量が完了したら、ボリュームは割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられているホストによって「所有」されます。このホストは、HSC の監査を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

SLS4414I

```
Initial configuration for LSM AA:LL, total cells NNNNN, free  
cells NNNNN
```

説明: LSM AA:LL に、初めての Config 検証が実行されました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、初期値が表示されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4415I

```
Configuration change for LSM AA:LL, total cells {UNCHANGED |  
INCREASED | DECREASED} by NNNNN, free cells {UNCHANGED |  
INCREASED | DECREASED} by NNNNN
```

説明: Config 検証を行ったところ、LSM AA:LL の構成が変更されていることがわかりました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、セルカウントの差異が表示されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4416I

Config verification for LSM AA:LL found something unexpected
{for the following panel(s): P1{,P2, ... } }

説明: 指定位置 (AA:LL、p1、p2 など) の構成検証中、カートリッジが予期せぬ場所にあったり、カートリッジがセル内にあるがデータベースのボリュームシリアル番号と一致しないなど、予期せぬ事象が検出されました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: まず、検出された問題を突き止めるために、表示されているパネル位置について、AUDIT ユーティリティに APPLY(NO) を付けて実行してください。ボリュームの特定の情報を調べるには、VOLRPT ユーティリティを実行する必要があります。問題解決の一環として、AUDIT ユーティリティに APPLY(YES) を設定して実行してもかまいません。問題が解決したら、FREEZE OFF を指定して SET ユーティリティを実行する必要がある場合もあります。

- 問題を突き止めて解決するには、APPLY(YES) で CDS に何らかの変更を加える前に、まず AUDIT に APPLY(NO) を設定して実行することをお勧めしています。
- 構成変更中に、パネルは最初「凍結」状況に設定されています。構成変更が完了したときに予期せぬ事象が検出され、パネルと問題が解決された場合は、表示された位置に FREEZE OFF を指定して SET ユーティリティを実行してください。

SLS4417E

Database I/O error (RC=XXXXXXXX) occurred with RECTYPE records during config verification

説明:

- VAR レコード: ボリュームとセル位置状況を確認するために、ボリューム情報を収集したところ、制御データセットエラーが発生しました。ボリューム情報がないと、config 検証中にボリューム位置を確認できません。
- DCX レコード: 位置インデックスのレコードを更新中に、制御データセットエラーが発生しました。この処理は完了しませんでした。

システム動作:

- VAR レコード: 処理が続行されます。
- DCX レコード: Config 検証が終了します。

ユーザーの応答:

- VAR レコード: 制御データセットのエラーの原因を突きとめ、それを修正します。
- DCX レコード: 制御データセットのエラーの原因を突きとめ、それを修正します。MODIFY CONFIG コマンドで、構成を更新してください。

SLS4418E

LMURQST error (RC=XXXXXXXX) occurred during config verification; verification cannot continue

説明: 構成検証中に、エラーコード XXXXXXXX で、LMU への要求が失敗しました。

システム動作: 構成検証が終了します。

ユーザーの応答: LMURQST エラーの原因を特定し、解決してください。MODIFY CONFIG コマンドで、構成を更新してください。

SLS4419I

CAPid AA:LL:CC status changed from (UNALLOCATED|ONLINE|OFFLINE)
to (OFFLINE|UNALLOCATED)

説明: 再構成中、SL8500 または SL3000 ライブラリから、SLC コンソールの CAP 状況が変更されました。

システム動作: HSC 構成が、ライブラリから CAP 変更内容を受け入れ、このメッセージに反映されました。

ユーザーの応答: なし

SLS4420E

Invalid cell status N for cell location AA:LL:PP:RR:CC

説明: 構成検証の処理中、指定した位置に LMU が未知または無効なセル位置の状況を返しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 不正なセル位置の状況コードの原因を究明してください。

SLS4421E

No more invalid cell status messages will be displayed

説明: 不正なセル状況メッセージが、複数表示されています。ハードウェアまたはソフトウェア、あるいはその両方に問題があるかもしれません。コンソールがメッセージで氾濫しないように、これ以上の不正なセル状況メッセージが制限されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 不正なセル位置の状況コードの原因を究明してください。

SLS4422E

SLS4422E An abend occurred during config verification while
CCC...CCC

説明: 構成検証が、異常終了により終了しました。CCC...CCC は、異常終了時点にアクティブ段階にあった処理を表しています。

- 構成レコードの処理中: 事前に定義されていた構成を確認するために、構成レコードが待ち行列に入れられています。
- ボリュームレコードの処理中: ライブラリ内のボリューム位置を確認するために、ボリュームレコードを処理中です。
- ライブラリ構成の取得中: ライブラリ内の各パネルの現行のハードウェア構成を、ライブラリハードウェアから取得中です。
- ライブラリ構成の検証中: 事前に定義された構成を、ライブラリの現行のハードウェア構成と比較中です。
- 検証の最終処理中: 構成検証の最終段階に入り、取得した記憶域などのクリーンアップを行おうとしています。

システム動作: 構成検証が終了します。

ユーザーの応答: 対処は、異常終了時点にアクティブ段階にあった処理によって異なります。まず、異常終了の原因を究明して訂正してください。次に、次に示すように、その段階の処理に合った対処を施してください。

- 構成レコードの処理中: 構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ボリュームレコードの処理中: 構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ライブラリ構成の取得中: 構成は一切更新されていません。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成を検証するか更新してください。
- ライブラリ構成の検証中: 差異が見つかった場合は、構成レコードが更新されている可能性があります。異常終了の原因を究明して訂正してから、MODIFY CONFIG コマンドで構成の検証または更新を完了してください。
- 検証の最終処理中: 構成検証が、構成の更新を完了しました。これ以上処置をする必要はありません。

SLS4423E

{ACS|ACSTYPE} {AA|SL8500|SL3000} cannot be {DELETED|ADDED}

説明: DELETE ACS の場合、次のいずれかの理由で、ACS を削除できません。

- ACS に、SL8500 または SL3000 以外の LSM が含まれている。
- ACS が割り振られておらず、上位の ACS 識別子が付いた割り振り済みの ACS がある。
- その ACS は、その構成内に唯一割り振られた ACS である。

ADD ACSTYPE の場合、次のいずれかの理由で、ACS を追加できません。

- 新しい ACS も未割り振りの ACS もありません。
- 新しい ACS もなく、未割り振りの ACS も新しい ACS から作成されていない。

システム動作: なし。ACS ADD も DELETE も行われません。

ユーザーの応答: FUTRACS が SLILIBRY マクロに指定されていることを確認するために、CDS 構成マクロを見直してください。Display ACS コマンドを実行し、現在の ACS 構成を確認してください。表示内容と LIBGEN SLIACS 文を見直して、コマンドが失敗した理由を究明してください。

SLS4424E

Reconfiguration cannot proceed, utilities or functions are active on host (host name)

説明: ホスト (ホスト名) 上で対象の SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC 機能がアクティブになっています。HSC 複合内の任意のホスト上でこれらのユーティリティーや機能が実行されている状態で、NCO を実行することはできません。対象のユーティリティーおよび機能の一覧を次に示します。

AUDIT DISPLAY LMUPDEF SCRATCH SENTER UNSELECT
CAPPREF DRTEST MODIFY/F SCREDIST SET VIEW
CLEAN EJECT MOUNT SCRPFDEF SWITCH VOLDEF
DISMOUNT ENTER MOVE SCRPOOL UNSCRATCH WARN

システム動作: HOST が NCO をリフレッシュしようとしたときに SET ユーティリティーが実行されていると、ユーティリティーが完了するまで、このメッセージが 5 秒おきに繰り返されます。続いて、NCO REFRESH の処理が続行され、正常に完了するはずです。

NCO 更新を開始する HOST が、ユーティリティーがアクティブな状態であることを検出すると、失敗して NCO 更新が実行されません。

ユーザーの応答: このユーティリティー / 機能をキャンセルするか、完了するまで待つから、必要に応じて Modify Config または Modify Config Update コマンドを再実行してください。

このメッセージが発行されたときにユーティリティーや機能が 1 つも実行されていない場合には、次の手順に従ってください。

- 複合内で HSC の機能またはユーティリティーが実行されていないことを確認します。
- Display Status コマンドを発行し、ユーティリティー/機能のカウンタが 0 より大きいことを確認します。
- カウンタが 0 より大きい場合は、F CONFIG RESET コマンドを発行します。
- CONFIG RESET 機能が完了したら、処理を再開します。

SLS4425E

LMU panel count for LSM AA:LL exceeds maximum panel count allowed in CDS.Reconfiguration cannot proceed.

説明: SL8500 の動的再構成中に、指定した LSM のパネルカウントを付けて LMU が応答しましたが、指定した CDS LSM レコードの最大パネルカウントを超えています。DISPLAY CDS 内の CREATE フィールドが I825061 と同等の場合は、SL8500 の現行 CDS 内の最大パネル数は、LSM あたり 44 パネルです。

システム動作: NCO 更新は実行されません。

ユーザーの応答: I813156 の最小レベルで、新しい CDS を作成する必要があります。新しい CDS を作成したら、I825061 CDS から I813156 CDS までの MERGECDS を完了させてください。

MERGECDS が完了したら、MODIFY CONFIG コマンドがハードウェアの動的再構成を開始します。

SLS4451I

Drive records are inconsistent with the CDS for LSM AA:LL; ACS disconnected

説明: CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードが矛盾していることが検出されました。これはおそらく SET SLIDRIVS ユーティリティによるものです。

システム動作: 影響のある ACS は切断されます。

ユーザーの応答: ホストがリサイクルされるまで、ACS を切断したままにしてください。

SLS4453I

Logically deleted record found on CDS for DRIVEID AA:LL:PP:NN

説明: SET SLIDRIVS によって CDS 内のドライブレコードが削除されました。

システム動作: LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。続くメッセージで、どちらの処理が行われるかが示されます。

ユーザーの応答: ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードをリフレッシュしてください。

SLS4454I

{Unit address|DRIVEID} does not match CDS for HSC {drive
XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティによって CDS ドライブレコードが変更され、HSC メモリー内のコピーと矛盾した状態になりました。

システム動作: LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。続くメッセージで、どちらの処理が行われるかが示されます。

ユーザーの応答: ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードをリフレッシュしてください。

SLS4455E

Unexpected FIGMGR return code NNNN during Configuration processing

説明: 構成処理中に、FIGMGR サービスから予期しないリターンコードを受け取りました。

システム動作: HSC は終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS4456I

Library configuration changes pending on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

システム動作: 構成の変更は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS4457E

Down level host found active when attempting to change library configuration

説明: ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できません。

システム動作: 構成変更は実行されません。

ユーザーの応答: すべてのダウンレベルのホストがアクティブでないことを確認してから、NCO の構成を再開してください。

SLS4458E

Library configuration changes in progress on HHHHHHHH

説明: ホスト HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

システム動作: 構成変更はすでに実行中であるため、改めて実行されません。また、NCO が進行中であるため、一部のユーティリティも実行されません。

ユーザーの応答: NCO の構成が完了するのを待ってから、必要に応じて再開してください。場合によっては、NCO が要求を待ち行列に入れ、NCO が完了したときにその待ち行列を処理します。ただし、NCO が更新する SL3000 ACS のオンライン時間の変更が開始されないことがあります。SL3000 で開始された NCO の表示内容は、その ACS の CAP 状況になるはずですが、HSC ログに、オンラインに変更されたその SL3000 ACS の CAP 状況が表示されていない場合は、次のオペレータコマンドを発行して、ACS を更新してください。

MODIFY CONFIG UPDATE ACS (NN)

これは、NCO REFRESH 中にオンラインに変更し、新しく追加した SL8500 にも適用できます。場合によっては、REFRESH 側ホストが失敗したり、オペレータから CANCEL される場合もあります。

ホスト (HHHHHHHH) が応答中でない場合、RECOVER host コマンド (FORCE オプションを指定) が必要となることがあります。RECOVER HOST コマンドが必要な場合は、MODIFY CONFIG RESET コマンドが必要になる場合もあります。DISPLAY CDS コマンドにより、NCO REFRESH をまだ完了していない HOST の REFRESH ビットマップが表示されます。

SLS4459I

Library configuration changes started

説明: このホストで、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が開始されました。

システム動作: 構成の変更は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS4460I

Library configuration changes complete on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が完了しました。

システム動作: 構成の変更は完了しました。

ユーザーの応答: なし

SLS4461I

Library configuration changes in progress when HSC went down, configuration restarted

説明: HSC が停止したとき、このホストで Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中でした。構成は再開しようとしています。

システム動作: 構成の変更は続けられます。

ユーザーの応答: なし

SLS4462I

Library configuration refresh started

説明: ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が、このホストで同期化中です。

システム動作: 構成変更のリフレッシュが開始されました。

ユーザーの応答: なし

SLS4463I

Library configuration refresh complete

説明: ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が、このホストで同期化されました。

システム動作: 構成変更のリフレッシュは完了しました。

ユーザーの応答: なし

SLS4464E

Library configuration XXXXXXXX aborted on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成 (「UPDATE」または「REFRESH」) が失敗しました。

システム動作: 構成変更は、正常な完了に失敗しました。

ユーザーの応答: 失敗の理由については、前のメッセージを参照してください。不一致を訂正してから、NCO の構成を再実行してください。

SLS4465I

Library configuration flags Reset complete

説明: MODIFY CONFIG RESET コマンドにより要求されたため、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成の CDS フラグがリセットされました。

システム動作: 構成変更のフラグは CDS でリセットされます。

ユーザーの応答: なし

SLS4466I

Library configuration flags not set, Reset not required

説明: Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成の CDS フラグが設定されていないため、MODIFY CONFIG RESET コマンドにより要求されたりセットは不要でした。MODIFY CONFIG RESET コマンドは、再構成を実行しようとしません。再構成を実行するには、MODIFY CONFIG コマンドを発行します。

システム動作: MODIFY CONFIG RESET コマンドは完了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4467E

Down level CDS active, library configuration canceled

説明: ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できません。6.1.0 の CDS が必要です。

システム動作: 構成変更は実行されません。

ユーザーの応答: 6.1.0 CDS でライブラリ生成処理を行い、MERGECDS ユーティリティを実行して NCO を使用可能にします。

SLS4468I

Library configuration util/func counters reset

説明: Near Continuous Operation (NCO) ライブラリ構成ユーティリティおよび機能のカウンタがリセットされました。

システム動作: Modify Config Reset 機能は完了するまで続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4469I

Library configuration initialization complete

説明: ライブラリ構成の HSC 初期化処理がすべての ACS で完了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4500I

YYYY-MM-DD, HH:MM:SS HSC subsystem SSSS active on hostid HHHH

説明: HSC が BASE サービスレベルに初期化された後で、さらに新しい日付けが午前 0 時に始まる際に発行されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4550E

Number of drive addresses is not consistent with previous
SLIDRIVS for this panel

説明: SLIDRIVS マクロのドライブアドレスの数が、同じパネルの前の SLIDRIVS マクロのアドレスの数と一致しません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの応答: 不正な SLIDRIVS マクロのアドレスの数を修正し、LIBGEN のアセンブリを再送信してください。

SLS4551I

The LIBSIZE parameter has been discontinued and is ignored; it
should be removed

説明: LIBSIZE パラメータはすでに使用されていません。

システム動作: LIBGEN のアセンブリは通常どおりに続行し、結果の LIBGEN モジュールは影響を受けません。

ユーザーの応答: 都合のよいときに LIBSIZE パラメータを SLILIBRY マクロから削除します。LIBGEN のアセンブリを再実行する必要はありません。

SLS4552I

The minimum number of 4K blocks required for the CDS is DDDDD

説明: 計算された CDS ブロックの最小数が報告されます。LIBGEN 構成のための CDS の最小サイズを報告させるだけの場合は、CDS DD ステートメントを含めずに SLICREAT を実行できます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: SLICREAT で初期化する前に、計算された値を使用して CDS のコピーを割り振ってください。

SLS4553E

Number of drives on panel PPPPPPPP in LSM LLLLLLLL is invalid;
it should be 4, 8, 10, 12, 16, 20, 24, OR 32

説明: 示されたパネルで定義されたドライブの数が、そのパネルタイプで許容される数と一致しません。

1 つの LSM で許容されるドライブ数 (パネルタイプによって変わる) はそれぞれ、

- 4310 - 4、10、または 20
- 9310 - 4、10、または 20
- 9360 - 4
- 9740 - 4、または 10
- 8500 - 4、8、12、または 16
- 3000 - 4、8、12、16、24、または 32

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを修正し、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS4554E

The LIBGEN load module release level is inconsistent with the SLICREAT release level

説明: 互換性のない HSC リリースの LIBGEN マクロを使用して作成された SLICREAT が、LIBGEN ロードモジュールで実行されました。

システム動作: SLICREAT 処理は終了します。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: SLICREAT ソフトウェアと同じ HSC リリースの MACLIB を使用して、LIBGEN ロードモジュールを再作成してください。

SLS4555E

Missing DD or invalid file allocation for DDname CCCCCCCC

説明: SLICREAT は、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを検出できなかったか、または割り振れませんでした。

システム動作: DD が SLSCNTL であるか、または PARM='STBYONLY' を指定した場合、リターンコード 12 が設定され、SLICREAT 処理が終了します。そのほかの場合はリターンコード 4 が設定され、処理が続行されます。

ユーザーの応答: DD 名が制御データセット (SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY) の場合は、ファイルの割り振りをチェックして、データセットが複数のエクステンツを持たないこと、ブロックサイズが指定されていないか 4096 のブロックサイズが指定されていること、およびデータ編成が DA か PS であることを確認してください。ファイル割り振りを訂正して、すべての予期される DD 文とともに SLICREAT プログラムを戻します。

SLS4556E

Unable to create data set for DDname CCCCCCCC

説明: SLICREAT は、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを作成できませんでした。

システム動作: DD 名が SLSCNTL の場合は、リターンコード 12 が設定され、SLICREAT 処理が終了します。LIBGEN でジャーナル処理が指定されており、ジャーナルファイルが作成できなかった場合は、リターンコード 8 が設定されます。STBYONLY 処理の場合、SLICREAT はリターンコード 12 で終了します。その他のすべての場合はリターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの応答: ジョブからのほかのメッセージがないかチェックして、見つかった問題箇所を訂正し、SLICREAT ジョブを再送信するか、またはデータセットを削除して再定義してから、SLICREAT ジョブを再送信してください。実行記録ファイルのみをフォーマットするには、すべての制御データセット DD 文と、再フォーマットしないジャーナル DD 文を削除して、SLICREAT ジョブを再送信します。

SLS4557I

SLSCNTL DD not found, control data set(s) not formatted

説明: SLICREAT は SLSCNTL DD 文を見つけれませんでした。

システム動作: SLICREAT は制御データセットをフォーマットしません。必要な CDS サイズが計算され、報告されます。ジャーナルデータセットがフォーマットされて、処理が続行します。

STBYONLY 処理の場合、SLICREAT はリターンコード 12 で終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4558E

CDS size could not be calculated

説明: SLICREAT は要求された CDS のサイズを計算できませんでした。

システム動作: SLICREAT 処理はリターンコード 12 で終了します。

ユーザーの応答: SLICREAT によって出たエラーメッセージをすべてチェックし、示された問題を修正してください。

SLS4559I

Additional control data set successfully created

説明: SLICREAT は STBYONLY 要求を正常に処理し、追加の CDS を作成しました。

システム動作: SLICREAT 処理はリターンコード 0 で終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS4560E

A CCCC LSM may not be connected to a CCCC LSM

説明: LIBGEN が、2 種類の LSM が接続されていることを検出しました。9740 LSM は 9740 LSM にのみ接続できます。8500 LSM は 8500 LSM にのみ接続できます。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを起こした SLILSM マクロを修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4561E

Data set specified by CCCCCC1 is an existing or CDS data set;
CCCCC2 data set not formatted

説明: SLICREAT は CCCCCC1 DD 文で指定された既存のデータセットを識別しました。CCCCC2 は、処理されるデータセットが、制御またはジャーナルのいずれのタイプかを示します。制御データセットの場合、SLICREAT は既存のデータセットをフォーマットしません。ジャーナルデータセットの場合、SLICREAT は既存 CDS のデータセットをフォーマットしません。フォーマットされる前に、SLICREAT によっていずれかの出力ファイルにレコードが含まれていることが判別された場合、このメッセージが出されます。SLSJRNnn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

システム動作: DD 文が制御データセットの場合、データセットは 1 つもフォーマットされず、SLICREAT 処理が終了します。DD 文がジャーナルデータセットである場合、制御データセット (指定されている場合) と有効なジャーナルファイルがフォーマットされます。そのほかの場合はリターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの応答: 別のデータセットを割り当てるか、指定のデータセットを削除して再定義してください。

SLS4562D

DDDDDDDD NNNNNNNN is an existing CDS; reply "YES" if the CDS can be overwritten

説明: SLICREAT は、DDDDDDDD DD 文で指定された既存の CDS データセット NNNNNNNN を識別しました。

フォーマットされる前に、SLICREAT によっていずれかの出力ファイルにレコードが含まれていることが判別された場合、このメッセージが出されます。SLSJRNNn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

このメッセージは、VM/HSC のみで出されます。

システム動作: SLICREAT は、オペレータの応答を待ちます。

ユーザーの応答: データセットを上書きできる場合は、「YES」で応答してください。それ以外の応答をすると、SLICREAT 処理が終了します。SLICREAT SYSPRINT 出力メッセージに SLS4561E が記録されます。

SLS4563E

The SMC is required for JES3; Start the SMC and resubmit the utility

説明: SLIVERFY が正しい JES3 マクロオフセットを見つけて HSC ライブラリのデバイスアドレスを実際のシステムデバイスと比較するためには、SMC が必要です。

システム動作: SLIVERFY 処理は終了します。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの応答: SMC を開始して、SLIVERFY ユーティリティーを再送信してください。

SLS4564E

Invalid ACS found; Number of SL8500 LSMs must be divisible by four.

説明: SL8500 LSM を含んだ ACS が見つかりました。この ACS に定義されている LSM 数は、4 で割り切れません。

システム動作: SLICREAT 処理は終了します。

ユーザーの応答: 構成ファイルを訂正してください。LIBGEN と SLICREAT ユーティリティーを再実行してください。

SLS4600E

A non-SL8500 LSM が、FUTRLSM の SLIACS の指定内容と対立しています。

説明: LIBGEN が、SL8500 LSM 以外を含み、SLIACS マクロに FUTRLSM パラメータも指定した ACS を検出しました。FUTRLSM は、SL8500 ACS にしか指定できません。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: FUTRLSM パラメータを削除してエラー内の SLIACS マクロを訂正し、このジョブを再送信してください。

SLS4601E

FUTRLSM count + SLILSM definitions must be a multiple of 4

説明: ある SL8500 ACS について、LIBGEN がその ACS の FUTRLSM パラメータに指定された値が 4 の倍数になっていないことを検出しました。StorageTek では、FUTRLSM パラメータを指定する際に、将来の LSM カウントがその ACS で予定されている LSM の数に等しくなるようにすることをお勧めしています。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを起こした FUTRLSM カウントの指定を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4602I

Drive records are inconsistent with the CDS for LSM AA:LL; LSM will remain offline

説明: LSM をオンラインに変更しようとしたときに、CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードが矛盾していることが検出されました。これはおそらく SET SLIDRVS ユーティリティによるものです。

システム動作: LSM はオフラインのままにされます。

ユーザーの応答: ホストがリサイクルされるまで、LSM をオフラインのままにしてください。

SLS4603E

Number of SL8500 LSMS in an ACS must be a multiple of 4

説明: LIBGEN が、SL8500 ACS に対し、指定した LSM 数が 4 の倍数でないことを検出しました。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを起こした LSM カウントの指定を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4610I

Hardware Exception Status:

説明: このコマンドにより、LMU と、LSM、CAP、ロボットハンド、パススルーポート、およびステーションのそれぞれについてハードウェア状況を LMU に照会します。エラーは、次の形式でレポートされます。

LSM AA:LL エラーメッセージ

または

AA:LL:CC エラーメッセージ

ここで、AAはACS、LLはLSM、そしてCCはCAP 識別子です。次のエラーメッセージがあります。

- CAP が動作不能です。
- CAP Door is Open
- CAP Door is Unlocked
- CAP is Reserved by Host *nn*: ホストを表示するには Display CDS コマンドを使用します。
- Pass Thru Port is Inoperative
- Robot Hand is Inoperative
- Robot Hand needs Maintenance
- LSM is Not Ready
- LSM is Offline
- LSM is Offline Pending
- LSM is in Maint Mode
- LSM Door is Open
- CAP status not Available for this LSM
- LMU Compat 10 or less; not all functions supported: この LMU は、マイクロコードが更新されるまで一部のステータスクエリーに正しく応答できません。この状況は、SLS4610Iの直前にSLS0662I LMU 応答エラーの発行も引き起こします。
- Station *nn* has Inactive Connection: LMU へのハードウェア接続が使用不可能になっています。これは接続が確立されておらず、不要な場合は、正常な設定です。ステーション番号は 16 進数であるため、Station 0A は 10 番目のステーションであり、Station 10 は実際には 16 番目になります。
- Station *nn* Inoperative; Host not responding: ステーション番号は 16 進数であるため、Station 0A は 10 番目であり、Station 10 は実際には 16 番目になります。

次はメッセージの一覧です。

- No CAP problems were detected
- No Pass Thru Port problems were detected
- No Robot Hand problems were detected
- No LSM problems were detected
- No Station problems were detected

これらの結果は、単にLMUがハードウェアエラーを検出しなかったにすぎないことに注意してください。ソフトウェアの設定で何かが間違っているか、LMUが検出できなかった可能性があります。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4611E

VAULT name invalid CCCCCC1 on CCCCCC2 command

説明: 指定パラメータ VAULT 名 (CCCCCCC1) に対して入力されたデータは、CCCCCCC2 コマンドでは無効です。

システム動作: このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 有効な VAULT 名を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS4612E

SLOT NNNNNN for VAULT VVVVVVVV is allocated.

説明: スロットが割り振られていないため、ボールド VVVVVVVV 内の SLOT NNNNNN を空けようとしたが失敗しました。

システム動作: このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

SLS4613E

SLOT NNNNNN is out of range for VAULT VVVVVVVV

説明: SLOT がボールドに設定されているスロット数を越えるため、ボールド VVVVVVVV 内の SLOT NNNNNN を割り振ろうとしたが失敗しました。

システム動作: このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 正しい値を指定してコマンドを再入力してください。

SLS4614E

Volume VVVVVV not found for VVOL CCCCCC

説明: VVOL CCCCCC コマンド実行時、ボリューム VVVVVV が見つかりませんでした。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 有効な VOLSER を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS4615E

Volume VVVVVV duplicate for VVOL ADD

説明: VVOL ADD コマンド実行時、ボリューム VVVVVV に重複が見つかりました。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 有効な VOLSER を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS4616E

VSM records found - must have VIRTUAL|MVC volumes defined

説明: VSM レコードが CDS にありますが、MEDIA(VIRTUAL) および MVC POOL 定義が、SET VOLPARM 定義内になければなりません。

システム動作: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの応答: POOLPARM/VOLPARM 制御文の問題を訂正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4618E

CCCCCCC1 subfile not found in CDS

説明: Vault Volume または Vault レコードの照会で、CDS にサブファイルが見つかりませんでした。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: 見つからなかったサブファイルが何かに応じて、SET VAULTVOL ユーティリティを実行して Vault Volume CDS サブファイルを作成するか、SET VAULT ユーティリティを実行して Vault CDS サブファイルを作成してください。

SLS4619I

SLOT NNNNNNN for VAULT VVVVVVVV was allocated but not used

説明: ボールト監査で、ボールト VVVVVVVV のスロット NNNNNNN が割り当てられたが使用されていないことが判明しました。スロット NNNNNNN が解放されました。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4620D

Drive DDDD rectech RRRRRRRR - volume volser rectech RRRRRRRR;
reply M to mount or E to end mount

説明: オペレータにより MOUNT コマンドがドライブ DDDD の Volume volser に入力されましたが、そのドライブの Rectech (RRRRRRRR) が、そのドライブに指定された Rectech と異なります。そのボリュームのメディアタイプはそのドライブに使用することもできるため、オペレータには、MOUNT コマンドを確定するかどうかのメッセージが表示されます。「M」と応答すると Mount が進められ、「E」と応答するとボリュームをマウントせずに Mount コマンドが終了します。高密度を読み取れないドライブに、高密度で書き込まれているボリュームをマウントできるので、注意が必要です。

システム動作: MOUNT コマンドは、オペレータによる応答があるまで待ち状態になります。

ユーザーの応答: 応答として「M」または「E」を入力します。

SLS4633I

Display Drives Command

```

DRIVE  LOCATION  VOLSER  STATUS  MODEL  MEDIA または
DRIVE  LOC/SLOT  VOLSER  STATUS  MODEL  MEDIA
UUUU   LLLLLLLLL  volser  SSSSSSS  0000   MM...MM
または
DRIVE  LOCATION  MODEL  WORLD WIDE NAME  SERIAL NUMBER
UUUU   LLLLLLLLL  0000   XXXXXXXXXXXXXXXX  NN...NN

```

説明: これは、Display DRives コマンドの DETail または IDEntity オプションに対する応答として表示されるメッセージです。DETail に表示される内容は、LIBGEN エソテリックによって定義されたドライブの状況および関連情報です。IDEntity に表示される内容は、トランスポートの識別に関連する LMU 情報です。表示される内容は次のとおりです。

UUUU	ドライブ ID。4 文字のドライブ ID (ユニットアドレス)。
LLLLLLLLLL	ドライブ位置 AA:LL:PP:NN、またはスロット付きのドライブ位置 AA;LL;PP/SS、または NONLIB (非ライブラリ)。
volser	ボリュームシリアル番号または「?」(HSC が volser を判別できなかった場合)。
SSSSSSSS	ドライブの状況です。ドライブの状況は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • On drive • Dismount • Mounting • Not rdy • Offline • Online • (ブランク)
OOOO	ドライブのモデルです。
MMMMMMMMMMMMMMMM	UNITATTR 文で指定または省略時値とされている、このドライブによってサポートされるメディアタイプです。UNITATTR がいない場合は、サポートされるメディアは、LMU および UCB デバイスのタイプ (またはそのいずれか) によって判別されます。このドライブにマウントされているカートリッジのメディアタイプは反映されません。 注意: ドライブのメディアタイプが判別できない場合は、メディアタイプの欄は空白になります。
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	このトランスポートに割り当てられているワールド・ワイドネーム。
NNNNNNNNNNNNNNNNNN	トランスポートシリアル番号。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4634I

Journal command is invalid when Journaling Technique is not enabled

説明: Journal コマンドが入力されましたが、CDS 実行記録技法は使用可能ではありません。

システム動作: コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: なし

SLS4639I

CCCCCCCC command is no longer supported

説明: CCCCCCCC コマンドは、HSC でサポートされなくなりました。この機能は、HSC 製品から削除されました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: なしメッセージが、HSC PARMLIB 処理の一部として生成された場合、HSC PARMLIB から問題のコマンドを削除してください。

SLS4640I

ALLOC P P P P P P P P is no longer supported. Use SMC commands.

説明: ALLOC パラメータ P P P P P P P P は、HSC でサポートされなくなりました。機能は SMC 製品に移行されています。この機能の制御には SMC コマンドを使用します。

システム動作: コマンドは、パラメータの処理を続行します。サポートされていない ALLOC パラメータは無視されます。

ユーザーの応答: SMC コマンドを使用して、作業を制御してください。

SLS4641I

{ALLOC|MNTD} P P P P P P P P is supported only for downlevel SMC compatibility

説明: 指定された ALLOC または MNTD コマンドのパラメータ P P P P P P P P は、下位レベル SMC クライアントをサポートする場合にのみ、HSC で有効です。

現行レベルの SMC システムがこの HSC とのインタフェースを実行する場合、このオプションを制御するには、SMC の、それぞれに対応する ALLOCDEF または MOUNTDEF コマンドを使用します。

システム動作: コマンドは、パラメータの処理を続行します。指定された ALLOC または MNTD コマンドのパラメータは、下位レベル SMC システムの場合は更新されますが、現行レベルの SMC システムの場合は処理に反映されません。

ユーザーの応答: 現行 SMC システムでオプションを指定して処理を制御するには、SMC の、それぞれに対応する ALLOCDEF または MOUNTDEF コマンドを使用してください。

SLS4642I

{TREQDEF|UNITDEF} is supported only for downlevel SMC compatibility

説明: TREQDEF および UNITDEF コマンドは、下位レベル SMC クライアントをサポートする場合にのみ、HSC で有効です。現行レベルの SMC システムがこの HSC とのインタフェースを実行する場合、SMC の、対応する TREQDEF および UNITATTR コマンドを使用します。

システム動作: コマンドは、処理を続行します。TAPERREQ または UNITDEF 定義は HSC にロードされますが、下位レベル SMC システムが要求する場合にのみ使用されます。

ユーザーの応答: SMC システムに定義をロードするには、SMC の、対応する TREQDEF または UNITATTR コマンドを使用してください。

SLS4643I

{CAPPREF} rejected; AUTO CAP services are not supported on a partitioned ACS

説明: AUTO CAP 機能は、パーティション済み ACS にはサポートされていません。この ACS では、CAP を AUTO モードにすることはできません。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: この ACS では、AUTO CAP 機能を使用しなければ、HSC は処理を継続できます。この ACS で AUTO CAP 機能を使用するには、ACS をパーティションしてはなりません。

SLS4644E

Dismount of VVVVVV from drive XXXX - drive is loaded; issue dismount with FORCE parm

説明: ボリュームをマウント解除する要求が出されましたが、ボリュームが巻き戻しおよびアンロードされていません。

システム動作: マウント解除がキャンセルされます。

ユーザーの応答: FORCE パラメータを付けて、このマウント解除コマンドを再実行してください。

SLS4645E

MOUNT of VVVVVV from drive XXXX - drive is loaded; issue DISMOUNT with FORCE parm

説明: ボリュームをマウントする要求が出されましたが、このドライブに、巻き戻しおよびアンロードされていない別のボリュームが検出されました。

システム動作: マウントがキャンセルされます。

ユーザーの応答: FORCE パラメータを付けてマウント解除コマンドを発行し、このマウント解除コマンドが完了したら、マウントコマンドを再発行してください。

SLS4646I

CCCCCCCC command disabled by SET VOLPARM utility

説明: SET VOLPARM ユーティリティーが実行されました。*DEF コマンドが、使用不可になっています。CCCCCCCC には、次のいずれかを設定できます。

- VOLDEF
- SCRPEDEF
- MVCDEF

システム動作: SET VOLPARM ユーティリティーにより、VOLUME/POOL 定義が設定されます。*DEF コマンドは、無視されます。

ユーザーの応答: なし

SLS4647E

FORCE parameter invalid for virtual drive XXXX

説明: 仮想デバイスには、FORCE パラメータがサポートされていません。

システム動作: マウント解除は処理されません。

ユーザーの応答: FORCE パラメータを付けずに、このマウント解除コマンドを再実行してください。ドライブをアンロードするには、必要に応じて MVS UNLOAD コマンドを発行してください。

SLS4650E

This HSC release does not support Host/LMU Interface compatibility level NN at LMU station XXXX

説明: この HSC リリースは、LMU 端末 XXXX から返された Host/LMU インタフェース互換性レベル NN をサポートしません。

システム動作: LMU はオンラインに変更されません。

ユーザーの応答: Host/LMU 互換性レベルが 13 以上の場合、LMU は StreamLine シリーズのライブラリーをサポートします。ACS を正常にオンラインに変更できるようにする前に、StreamLine シリーズのライブラリーをサポートするレベルにまで、HSC をアップグレードしておく必要があります。それ以外の場合は、StorageTek ハードウェアサポートまでお知らせください。この HSC リリースと互換性がある LMU に LMU マイクロコードレベルをインストールしてください。

SLS4682D

ORH: EXTEND or ABORT? ACS AA, SEQNO BBCCC, CCC1, CCC2, volser

説明: HSC が、応答待機時間間隔を過ぎた要求に対するシステムオペレータの処置を求めています。この要求の前に、メッセージ SLS0681I が出されます。

AA	ACSid
BB	HOSTid
CCC	要求通し番号 (アクティブ要求待ち行列にない場合は欠落)
CCC1	要求が応答を待っている問い合わせ。次のものがあります。 ACT アクティブ要求待ち行列 WTG 待機要求待ち行列 TMP 一時停止待ち行列
CCC2	要求の種類。次のものがあります。 DMT ディスマウント MNT マウント MOV 移動 SWP スワップ
volser	カートリッジのボリュームシリアル番号

システム動作: タスクは、オペレータが応答を入力するのを待ちます。

ユーザーの応答: 次に示す単語の最初の 1 文字以上を応答として入力できます。

EXTEND	HSCは、LMUがこの要求を処理できるように、再び同じ応答待機時間間隔だけ待機します。与えられたLMU 要求に対して始めにSLS4682Dが出る場合は、EXTENDを応答することを推奨します(各 LMU 要求は、一意のSEQNOによって識別されます)。また、デュアル LMU 切り替えが生じる場合もEXTENDを応答することを推奨します。
ABORT	HSCは選択されたボリュームを解放して、オペレータが手作業で指定変更コマンドを入力してカートリッジを移動できるようにします。ABORTはHSC 内部問い合わせからこの要求を除去します。ABORTを応答した場合は、手動で処理する必要が生じることになります。ABORTを応答した場合は、SVCDUMPも生成します。

SLS4700E

Command string SSS...SSS not supported for {UUI|METADATA}

説明: METADATA コマンドの中に文字列 SSS...SSS が入力されましたが、コマンドの動詞またはパラメータが UUI または METADATA インタフェースに有効なものではありません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 有効な UUI または METADATA 要求を再入力してください。

SLS4701E

Command CCCCCCCC not allowed from {CONSOLE|UTILITY|PARMLIB|UI}

説明: ユーティリティーからのみ有効な UI 要求がオペレータコマンドを介して入力されたか、オペレータコマンドからのみ有効な UI 要求がユーティリティーを介して入力された、または UI 以外のコマンドが UI インタフェースから入力されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 要求されたソースから要求を再入力してください。

SLS4702E

Command not valid for {HSC|VTCS} source

説明: VTCS 機能用の UI 要求が SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC コマンドを介して送信されたか、HSC 機能用の UI 要求が SWSADMIN ユーティリティーまたは VT コマンドを介して送信されました。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: 適切なソースから要求を再送信してください。

SLS4703E

XML response format error

説明: XML 出力を特定した UI 要求が入力されました。要求によって生成された XML 出力に異常がありました。

システム動作: 処理を継続しましたが、出力 XML にエラーがあります。

ユーザーの応答: すべての情報を保管し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4704E

UII callback exit not specified

説明: 有効なコールバック出口の種類（テキスト、XML、または CSV）を指定していない UII 要求が送信されました。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: 有効なコールバック出口を指定している UII 要求を再送信してください。

SLS4705I

Completion code XXXX reason code XXXXXXXXX loading module
CCCCCCCC

説明: モジュール CCCCCCCC が必要なユーティリティー要求が入力されましたが、そのモジュールをロードできませんでした。LOAD エラーからリターンコードと理由コードが列挙されます。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: エラーの原因を見直して修正し、要求を再送信してください。

SLS4706E

VSM not active or VTCS load library missing

説明: VTCS 機能用に UII 要求が送信されましたが、VTCS が非アクティブか VTCS 機能のロードモジュールをロードできませんでした。

システム動作: UII 要求は処理されません。

ユーザーの応答: メッセージが SMC Route コマンドに対する応答として表示される場合、要求された「宛先」LIBRARY がローカルかリモートかを確認してください。LIBRARY がローカルの場合は、VTCS リンクライブラリを SMC サブシステムの STEPLIB 連結に追加してください。LIBRARY がリモートの場合は、HSC を実行しているホストにある HTTP サーバーの STEPLIB 連結に VTCS リンクライブラリを追加してください。要求が VTCS サブシステムサービスを必要とする場合は、VTCS がアクティブであることを確認して要求を再送信してください。要求が報告機能用である場合は、VTCS ロードモジュールがアクセス可能なロードライブラリで利用できることを確認してください。

SLS4707E

Inconsistent CSV parameters

説明: CSV コールバック出口を指定した UII 要求が入力されましたが、CSV テンプレートデータはありませんでした。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: UII 要求を修正して、再サブミットしてください。

SLS4708E

CSV tag name format error

説明: 関連する CSV 入力テンプレートを持つ UII 要求が送信されました。次のエラーの 1 つが、CSV 入力テンプレートで検出されました。

- 入力テンプレートの長さが、CSV 入力テンプレートの最大許容長さ（4096）を越えています。
- コロン区切りが 1 つ以上ある CSV 記述子要素が検出されました。
- CSV 記述子要素の下付き文字部分の形式が無効か、下付き文字の値が最大値（255）を越えています。
- 指定されたタグ名の長さがタグ名の最大長さ（32）を越えているか、タグ名が省略されています。
- 下付き文字が、同じ CSV 記述子要素のヘッダータグ（親）とデータタグの両方に指定されました。

システム動作: UII 要求は処理されません。

ユーザーの応答: UII CSV 入力テンプレートの形式を修正し、要求を再送信してください。

SLS4709E

Error processing CCCCCCCC DD; {I/O error|statement exceeds maximum length|statement format error

説明: SLUADMIN ユーティリティまたは SWSADMIN ユーティリティを介して UII 要求が入力され、CCCCCCCC DD 制御文の処理でエラーが検出しました。

システム動作: CCCCCCCC DD からの入力文は、処理されません。

ユーザーの応答: 示された DD の入力文を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4710E

Data set specified by CCCCCC1; CCCCCC2; Data set not formatted

説明: CCCCCC1 を開こうとしましたが、失敗しました。CCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZEは4096である必要があります)
- すでにフォーマット済みのファイルは、フォーマットできません。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4711E

Volume vault CCCCCC1 already exists

説明: ボリュームボールドを定義しようとしたが、すでに存在しています。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4712E

VAULT CCCCCC1 not found

説明: ボールドを削除または変更しようとしたが、存在していません。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4713E

Requested vault slots NNNNNNNN1 is less than current NNNNNNNN2 slots defined

説明: ボールドに定義されている現行スロット数未満の値に、ボールドのスロット数を変更しようとした。ボールドのスロット数は、増やすことのみ可能です。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4714E

Requested vault slots requires NNNN1 blocks in CDS, which is greater than the NNNN2 free blocks available in the CDS

説明: ボールドのサイズを追加したり増やそうとすると、CDS に用意されている以上の空き領域が必要になります。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4715I

ADD|MODIFY|DELETE of vault VVVVVVVV successful

説明: VVVVVVVV の追加、変更、または削除に成功しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4716E

Vaulted volumes already exist

説明: ボールト済みボリュームのレコードはすでに定義されており、定義し直すことができません。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: LIBGEN、SET VAULTVOL、および MERGECDS を実行して、ボールト済みボリュームのレコード数を変更してください。

SLS4717E

Requested vaulted volumes requires NNNNN1 blocks in CDS, which is greater than the NNNNN2 free blocks available in the CDS

説明: ボールトには、CDS に用意されている以上の空き領域が必要になります。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4718I

Vaulted volumes successfully created

説明: ボールト済みボリュームの作成が完了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4719E

Vaulted volumes must be defined before defining a volume vault

説明: ボールト済みボリュームのレコードは、ボリュームボールトを定義する前に、CDS に存在している必要があります。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN SET VAULTVOL ユーティリティーを実行し、ボールト済みボリュームのレコードを作成し、SLUADMIN SET VAULT ユーティリティーを再実行してください。

SLS4720E

Vaulted volser VVVVV1 not found

説明: VOLSER (VVVVV1) が、ボールト済みボリュームのグループ内に見つかりませんでした。

システム動作: UUI コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 有効なボールト済み VOLSER を指定して、UUI コマンドを再発行してください。

SLS4721E

Cannot modify|delete vault VVVVVVVV because it is already deleted

説明: ボールト VVVVVVVV の状況が削除済みのため、変更または削除ができません。

システム動作: UII コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 変更または削除するには、有効なボールトを指定して、UII コマンドを再発行してください。

SLS4722E

Available Vault volume records NNNNNNNN will not satisfy VAULT SLOT request

説明: Vault Slot の要求が、用意されている Vault Volume レコード数を超過しています。

システム動作: UII コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: LIBGEN、SET VAULTVOL、および MERGECDS 処理を指定して、要求している Vault Slot 数を減らすか、CDS の Vault Volume レコード数を増やしてください。

SLS4723I

Volume VVVVVV used after SLUCONDB start or scratch extract time

説明: VVVVVV 物理または仮想ボリュームはスクラッチ選択の候補でしたが、物理ボリュームの選択日付 / 時刻または VTV の最終使用日付 / 時刻が、SLUCONDB 実行の開始日付 / 時刻または SMC または DFSMSrmm からのスクラッチ抽出時刻よりも後になっています。

システム動作: このボリュームはスクラッチ対象として選択されません。テープ管理システムでこのボリュームがスクラッチステータスになっている場合は、後続のスクラッチ同期実行によってこのボリュームのスクラッチが行われます。

ユーザーの応答: なし

SLS4724I

No local SMC TAPEPLEX and no SLSCNTL DD specified

説明: SLUCONDB ユーティリティーが起動されましたが、その出力を受け取る対象がありません。出力を受け取るには、ローカル HSC、SMC TAPEPLEX、または SLSCNTL DD ステートメントのいずれかが必要です。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: JCL に SLSCNTL DD 文を追加するか、SMC TAPEPLEX を使用可能にしながら、クラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4725I

No local SMC TAPEPLEX for LIBONLY

説明: ボリュームをローカルにスクラッチするために UUI インタフェースで、LIBONLY 実行パラメータを指定して SLUCONDB ユーティリティが起動されました。しかし、そのホストには実行しているローカル HSC が存在しません。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: HSC が稼動しているホストでスクラッチ同期ユーティリティを再送信するか、TAPEPLEX= パラメータを使用してください。

SLS4726I

SLSCNTL DD statement not allowed with LIBONLY or TAPEPLEX

説明: LIBONLY or TAPEPLEX= 実行パラメータを指定して、SLUCONDB ユーティリティが起動されました。しかし、JCL にも SLSCNTL DD 文が含まれていました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: JCL から SLSCNTL DD 文を削除し、スクラッチ同期ユーティリティを再送信してください。

SLS4727I

ZARA subsystem name invalid

説明: ZARA サブシステム名を指定した ZARA 実行パラメータを付けて、SLUCONDB ユーティリティが起動されました。しかし、指定したサブシステム名が無効です。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ZARA サブシステム名を訂正して、スクラッチ同期ユーティリティを再送信してください。

SLS4728I

Could not load ZARA API module

説明: ZARA オプションを付けて SLUCONDB ユーティリティが起動されましたが、スクラッチ同期 ZARA インタフェースモジュールをロードできませんでした。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: エラーの原因を究明して、スクラッチ同期ユーティリティを再送信してください。

SLS4729I

Unexpected return code from ZARA

説明: スクラッチ同期のために ZARA にアクセスしたところ、SLUCONDB に予期せぬリターンコードが見つかりました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: エラーの原因を究明して、スクラッチ同期ユーティリティを再送信してください。

SLS4730I

Error initializing UUI

説明: SLUCONDB の実行中、HSC CDS へのアクセスに UUI 機能が使用されましたが、UUI インタフェースを初期設定しようとしてエラーが発生しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SLUCONDB ユーティリティの joblib/steplib 連結が正しいことを確認してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4731I

SMC はアクティブではありません

説明: SLUCONDB の実行中、HSC CDS へのアクセスに UUI 機能が使用されましたが、そのホストにはアクティブな SMC サブシステムがありませんでした。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: そのホストで SMC サブシステムを起動し、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4732I

TAPEPLEX name not recognized by SMC

説明: SLUCONDB の実行中、リモート HSC システムへの動的スクラッチ要求に UUI 機能が使用されましたが、SLUCONDB パラメータに指定された TapePlex 名が SMC に認識されていません。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SLUCONDB JCL PARM の TapePlex 名を訂正して、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4733I

UUI failure: Request=RRRRRR, RC=XXXX, reason code=XXXX

説明: SLUCONDB の実行中、UUI 機能が使用され、このエラーが発生しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: UUI エラーのリストと理由コードの配布 NCSCOMM マクロを見直してください。エラーを訂正して、スクラッチ同期ユーティリティを再送信してください。エラーの理由が判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4734I

ZARA subsystem is down

説明: SLUCONDB の実行中、ZARA サブシステムがアクティブでないことがわかりました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: ZARA サブシステムがアクティブであることを確認し、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4735I

SAF access denied to ZARA API request

説明: SLUCONDB の実行中、ZARA インタフェースモジュールが、ZARA へのアクセス権がないというエラーを受け取りました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SAF ポリシーを変更し、SLUCONDB ジョブが ZARA API にアクセスできるようにしてください。

SLS4736E

Incompatible HSC found active on HOST HHHHHHHH

説明: 初期化中に、互換性のない HSC レベルが示されたホストで実行されていることを HSC が検出しました。最も可能性の高い原因は、共存 PTF を適用せずに前のリリースを実行していたことです。

システム動作: HSC は終了します。

ユーザーの応答: 示されたホストの HSC を終了し、互換性のあるレベルの HSC で再初期化してください。

SLS4737E

CDS directory recovery operation failed

説明: データベースディレクトリを再作成しようとしたましたが、エラーが発生して続行できなくなりました。

システム動作: SVC ダンプが取られた後、HSC またはユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: バックアップから CDS を復元してください。ダンプを保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4738I

CDS CCCC...CCCC disabled; inconsistent copy flag found on

説明: 初期化中、またはデータベースの予約中に、部分的に完了した CDS マージ、コピー、またはそのほかの処理の結果と矛盾する CDS のコピーが見つかりました。

システム動作: 矛盾するコピーは使用不可になります。

ユーザーの応答: この CDS を強制的に有効なコピーと同期できるようにしてください。

SLS4739E

Cannot enable new CDS CCCC...CCCC1; CCCCCCCC2

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC1 をアクティブにする試行は、データセットが不明であるか、CDS コピーとしての利用に適切でないため、失敗しました。CCCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZEは4096である必要があります)
- Invalid DSORG (DSORGはPSである必要があります)
- More than one extent
- Invalid UCB type(データセットはDASDにある必要があります)
- Could not obtain VTOC info

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: 名前を変えた既存の CDS コピーをアクティブ化する場合、データセット名の変更が適切であること、および DSnn パラメータが CDs Enable コマンドで正しく指定されていることを確認してください。新しい CDS コピーを再配置して、理由が「Could not obtain VTOC info」である場合は、DSnn、NEWLoc、NEWVol、および / または NEWUnit パラメータが喪失しているか、正しく指定されていない可能性があります。そのほかの理由についてはすべて、DSnn パラメータがデータセットを正しく指定している場合は、そのデータセットは CDS として使用するには不適切であるため、適切な属性を持つ新しい CDS データセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

SLS4740E

New CDS CCCC...CCCC is of insufficient size; capacity is DDD1 blocks, required capacity is DDD2 blocks

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC をアクティブにする試行は、データセットが十分な大きさでないため、失敗しました。DDD1 の 4096 バイトのブロックのみを持つことができますが、現在の CDS には少なくとも DDD2 ブロックが必要です。

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: より大きな新しい CDS データセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

SLS4741E

BSAM Open failed for new CDS CCCC...CCCC

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC をアクティブにする試行は、初期化中に失敗しました。BSAM Open 操作は失敗しました。

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4742E

BSAM Write failed for new CDS CCCC...CCCC, block DDDD

説明: CDS Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC をアクティブにする試行は、初期化中に失敗しました。BSAM の書き込み作業は、ブロック番号 DDDD の書き込みに失敗しました。

システム動作: HSC は現在の CDS 定義で作業を続行します。

ユーザーの応答: エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。永続的な入出力エラーである場合は、新しい CDS データセットを削除し、再配置して、CDS Enable コマンドを再発行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4743I

CDS EXpand failed, block count not greater than current size.

説明: アクティブな CDS の拡張が試行されましたが、HSC は CDS の現在のサイズに変更はないと判断しました。

システム動作: CDS EXpand は失敗します。

ユーザーの応答: より大きく新しいブロックサイズの CDS を割り振ってください。新しくサイズ変更した CDS に CDS Enable コマンドを発行してから、CDS EXpand コマンドを発行してください。

SLS4744E

Expand of the Secondary CDS has failed.

説明: CDS EXpand でプライマリ CDS の読み取りおよびセカンダリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

システム動作: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの応答: データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4745E

Expand of Primary CDS has failed.

説明: CDS EXpand でプライマリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

システム動作: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの応答: データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4746E

Copies to Primary/Standby CDS have failed.

説明: プライマリ、またはスタンバイのいずれかの CDS へのセカンダリ CDS のコピーでエラーが発生しました。プライマリまたはスタンバイ CDS の状況を断定できません。

システム動作: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの応答: データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4747E

CDS DALM updates encountered an error.

説明: プライマリまたはセカンダリのいずれかの CDS への DALM レコードの更新でエラーが発生しました。DALM レコードの状況を断定できません。

システム動作: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの応答: データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4748I

CDS EXpand has completed successfully.

説明: すべての CDS に、新しいデータベースのサイズが反映されました。

システム動作: HSC CDS は通常の作業に戻ります。

ユーザーの応答: 適切であれば、新しい CDS の名前で HSC の起動パラメータを更新します。

SLS4749I

CDS EXpand has completed unsuccessfully.

説明: CDS EXpand の作業中にエラーが発生しました。

システム動作: HSC はこのメッセージに先立ち、EXpand 関連のメッセージを発行しています。

ユーザーの応答: データベース 入出力エラーについて HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを検証し、表示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4750I

Expanded CDS recognized and adopted

説明: CDS の拡張が確認されました。これは、ほかのホストから、オペレータコマンド CDS EXpand が出されたために起こったものです。サイズが拡張した CDS はこのホストで承認されました。

システム動作: HSC は作業を続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS4761I

Point-in-time copy initiated

説明: ポイントインタイム機能が起動されました。

システム動作: このメッセージは、CDS 内の最終バックアップ日付が更新されたことと、ポイントインタイムコピー機能が呼び出されることを示しています。

ユーザーの応答: 要求の出力を調べ、バックアップが成功した (メッセージ SLS4762I) か失敗した (SLS4763I) か確認してください。バックアップ成功メッセージが受信されない場合は、CDS 内の最終バックアップ日付の復元に成功したことを示す SLS4764I メッセージの存在有無を確認してください。

SLS4762I

Point-in-time copy successful

説明: コピー処理プログラムからのポイントインタイムコピーリターンコードに、コピーが成功したことが示されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4763I

Point-in-time copy failed; backup copy data set invalid

説明: ポイントインタイム機能モジュールからのリターンコードに、コピーが失敗したことが示されていました。バックアップデータセットが作成されていた場合、そのセットは無効になります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 最終バックアップ日付の復元に成功したことを示すメッセージ SLS4764I がユーティリティの出力に含まれているか確認してください。このメッセージが表示されない場合、それは、CDS 内の最終バックアップ日付が正しくないことを示している可能性があります。ユーティリティの出力を確認し、無効なバックアップコピーが作成されていて削除すべきかどうかを判断してください。

SLS4764I

Point-in-time last backup date successfully restored

説明: CDS 内の最終バックアップ日付の更新後にポイントインタイムバックアップ機能が失敗しました。このメッセージは、以前の最終バックアップ日付の復元に成功したことを示しています。

システム動作: バックアップが失敗したのにこのメッセージが発行されなかった場合、CDS 内の最終バックアップ日付が正しくない可能性があります。

ユーザーの応答: 出力を確認し、バックアップの失敗の原因となったエラーを突きとめ、要求を再送信してください。

SLS4806I

XAPI CCC...CCC:

説明: XAPI コマンドが、要求されたテキスト出力とともに入力されました。このメッセージは、コマンド出力の前に出力されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4807I

VTCS not active; VTV status information not available

説明: 仮想ドライブ状況の要求を含む QUERY DRIVE_INFO コマンドが処理されました。しかし、VTCS はアクティブでなかったため、マウントされた VTV 情報は使用できませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS4808I

Volume list for group|drive information contains both real and virtual volumes

説明: QUERY VOLUME_INFO コマンドは、GROUP または DRIVE マウント形式要求とともに処理されました。入力リストは、実ボリュームと仮想ボリュームの組み合わせを含んでいたため、互換性のあるグループまたはドライブのリストを生成できませんでした。

システム動作: GROUP または DRIVE のデータが生成されません。

ユーザーの応答: 入力ボリュームのリストに実ボリュームのみまたは仮想ボリュームのみ含むように訂正して、要求を再送信してください。

SLS4809I

Requested drive count exceeded; drive list truncated

説明: QUERY VOLUME_INFO コマンドは、要求されたドライブの最大数とともに処理されました。選択可能なドライブのリストは戻ってきましたが、要求された最大数を超過したため、一部削除され短くなりました。

システム動作: 返されたドライブの数は要求された最大数と同じです。

ユーザーの応答: なし

SLS4810I

Number of requested volumes exceeds maximum of NNN from console for CCC...CCC command

説明: コマンド CCC...CCC がコンソールから受信されました。要求内のボリューム数は、コンソールから認められた最大数 NNN を超過しました。

システム動作: ボリュームの最大数が表示されます。

ユーザーの応答: 超過したボリュームに対して新しい要求を送信するか、ユーティリティから送信してください。

SLS4811I

Command CCC...CC1 parameter CCCCCC2 not allowed from console

説明: コマンド CCC...CC1 を、コンソールからの要求ではサポートされないパラメータ CCCCCC2 とともにコンソールから受け取りました。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: パラメータなしで送信するか、ユーティリティから要求を送信してください。

SLS4812I

Subpool S...S label type LLL does not match request

説明: QUERY SCR_MNT_INFO 要求上で、要求されたラベルタイプが指定された場合、そのラベルタイプはラベルタイプ LLL (要求されたサブプール S...S に関連している) と一致しませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。要求されたラベルタイプは無視されます。

ユーザーの応答: 可能であれば、不一致を解決して、コマンドを再送信してください。同じラベルとスクラッチサブプールパラメータでマウントしようとする場合、VOLPARM が有効ならば拒否され、有効でないならばスクラッチボリュームが正しいサブプールから選択される可能性があります。

SLS4813I

Unrecognized value CCCCCCCC for media|rectech parameter; value ignored

説明: QUERY SCR_MNT_INFO 要求で、MEDIA または RECTECH パラメータの値が HSC に定義された値のどれとも一致しませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。要求された MEDIA または RECTECH は無視されます。入力値がリストの場合、リスト内の有効な値が要求処理に使用されます。リストでない場合は、要求はパラメータが指定されなかったように処理されます。

ユーザーの応答: 問題の原因が、サーバーでサポートされるメディアや記録技法で互換性がないことがある場合、可能ならばクライアントとサーバーの両方が同じデバイスをサポートするか確認してください。それ以外の場合は、無効な値を訂正しコマンドを再送信してください。

SLS4814I

No compatible values found between MEDIA and [rectech|model]

説明: MEDIA と RECTECH、または MEDIA と MODEL のいずれかが要求に対して指定されましたが、指定された値には矛盾のないタイプが含まれていませんでした。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: 要求を再送信してください。MEDIA、RECTECH、MODEL のいずれか 1 つを指定するか、2 つのパラメータに矛盾がないか確認してください。

SLS4960I

Move "To" panel is frozen

説明: MOVE コマンドまたは MOVE ユーティリティー機能が、凍結パネルへの移動を指定しようとしてしました。

システム動作: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は行われません。

ユーザーの応答: 凍結していない TPANEL を指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。パネルの凍結を解決するには、SET FREEZE(OFF) ユーティリティーを使用して凍結を解除してください。

SLS4970I

SEN QUEUE DISPLAY STATUS

CURRENT REQUESTORS 99999999

REQNAME RRRRRRRR LNRNAME LLLLLLLL TOKEN TTTTTTTT

FLAGS FFFFFFFF

EVENT EEEEEEEE

説明：これは Display SEN Queue コマンドからの出力です。この出力は指定したパラメータによって変わります。パラメータが指定されていない場合、SEN QUEUE 内のすべてのエントリが表示されます。REQname が指定された場合、REQname に一致した要求元だけが表示されます。LNRname が指定された場合、REQname を指定する必要があります。LNRname が指定された場合、REQname および LNRname に一致した要求元およびリスナーが表示されます。

99999999	SEN QUEUEに存在する要求元の数
RRRRRRRR	要求元の名前
LLLLLLL	リスナーの名前
TTTTTTT	要求元トークンの16進数表示
FFFFFFF	SEN QUEUE ENTRYの処理フラグの記述
EEEEEEE	待機されるイベントの記述

システム動作：なし**ユーザーの応答：**なし**SLS4971I**

Significant Event Notification facility not active

説明：SEN Queue エントリについての表示を試みました。しかし、重要イベント通知機能はアクティブではありません。

システム動作：DISPLAY SEN コマンドは拒否されます。

ユーザーの応答：実行している HSC バージョンが正しいか確認します。HSC の正しいバージョンを確実に実行している場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4972I

SEN QUEUE is empty

説明：SEN Queue エントリについての表示を試みました。しかし、SEN QUEUE はエントリを含んでいませんでした。

システム動作：処理は続行されます。

ユーザーの応答：SEN QUEUE へのエントリを追加するためのタスクが確実に実行されているかどうかを確認します。タスクが正しく実行されている場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4973I

REQNAME NNNNNNNN not found

説明: SEN QUEUE にある特定の要求元についての表示を試みました。しかし、指定された要求元は検出できませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 要求元の名前を正しく入力してください。

SLS4974I

LNRNAME NNNNNNNN not found

説明: SEN QUEUE にある特定のリスナーについての表示を試みました。しかし、指定されたリスナーは検出できませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: リスナー名を正しく入力してください。

SLS5010I

CCCCCCCC submitted to VSM system

説明: CCCCCCCC コマンドが VSM システムにサブミットされました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5011I

CCCCCCCC-TTTTTTTT

説明: TTTTTTTT は、VSM システムが CCCCCCCC コマンドに対して戻す応答テキストです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5012I

CCCCCCCC failed - VSM not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、CCCCCCCC コマンドが失敗しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: VSM システムがアクティブでない原因を調べてください。

SL55013I

CCCCCCCC completed (RRRRRRRR)

説明: CCCCCCCC が最終結果コード RRRRRRRR で完了しました。RRRRRRRR の値がゼロ (0) でない場合は、障害の理由を示す 2 行目が表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL55014I

CCCCCCCC requests - MIGRATES=N RECALLS=N RECLAIMS=N

説明: Display 要求への応答として、VSM は N 個のプロセスを表示します。CCCCCCCC はプロセスのタイプ (Active または Queue) です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL55015I

Display RTD

説明: VT DISPLAY RTD 要求への応答として、VSM は RTD の状況を表示します。返された情報には、状況、状況 (ONLINE/OFFLINE/MAINTENANCE)、アクティビティ (マウント済み、リコール中、マイグレーション中、リコール中、マウント中) および MVC ボリューム ID が記載されています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5016I

Display active/queued detail

説明: VT Display DETail 要求への応答として、VSM は各 VSM アクティビティの状況を表示します。状況には、機能、プロセス ID、VTV ID、MVC ID、RTD および関連する VTSS が含まれます。

機能には次のものがあります。

VTV_upd

VTV 状況および CDS の再同期。

MVC_upd

MVC 状況のリセット。

Dismount

VTV のマウント解除。

Sel_scr

PGMI スクラッチ選択。

Recall

MVC からの VTV のリコール。

MVC_inv

MVC のAUDIT。

VTSS_inv

VTSS のAUDIT。

Mount

VTV のマウント。

Migrate

MVC への VTV のマイグレーション。

MVC_chek

MVC の照会。

Drain

MVC からの VTV のドレイン。

Scratch

VTVのスクラッチ。

Transfer

VTSS 間の VTV の転送。

Unscratch

VTVのアンスクラッチ。

Vary@

RTD の変更。

VTV_chek

VTV の照会。

Unload

RTD からの MVC のアンロード。

Audit#

AUDIT ユーティリティーの要求。

Migrate@

マイグレーションコマンドまたはユーティリティー。

Recall@

リコールコマンドまたはユーティリティー。

Reclaim@

リクレイムコマンドまたは自動リクレイム。

Drain@

ドレインコマンド。

Mig_set@

マイグレーション閾値設定コマンド。

Mig_thr@

閾値までのマイグレーション実行コマンド。

Cancel@

取り消しコマンド。

Display@

表示コマンド。

QRY/SET@

照会または設定コマンド。

QUEUED 活動については、待ちの理由が次のように表示されます。

TSK

ほかのホスト上でのロック処理待ち。

VTD

VTD の空き待ち。

MVC

MVC ロック処理待ち。

VTV

VTV ロック処理待ち。

INV

使用可能なAUDIT (目録) タスク待ち。

CMD

コマンドプロセッサタスク待ち。

DSP

メインディスパッチャータスク待ち。

SS

使用可能な VTSS タスク待ち。

RTD

使用可能な RTD タスク待ち。

DRV

空き RTD 待ち。

SCR

スクラッチテープ待ち。

RCM

スペースリクレイムマネージャータスク待ち。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5017I

CCCCCCCC Nothing to display

説明: CCCCCCCC コマンドが完了しました。表示する内容はありません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5018I

Range/List item greater than maximum - First 64 processed

説明: VT Display/VT Vary RTD コマンドの RTD リストの範囲 / リストの RTD の数が、最大値の 64 を超えています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: RTD リストの範囲 / リストの RTD の数を 64 よりも小さくしてからコマンドを再送信してください。

SLS5019I

VT CCCCCCCC command not processed - RRRRRRRR

説明: VT コマンド CCCCCCCC が、次のいずれかの理由 (RRRRRRRR) により処理されませんでした。

- VCI not initialized — VSM システムの通信コンポーネントが初期化されていません。
- Processor not loaded — コマンドプロセッサがロードされていません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 障害の理由を調べ、訂正してください。

SLS5020I

CCCCCCCC Nothing to display

説明: VT コマンド CCCCCCCC が完了しました。表示する内容はありません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5021I

MVC volume VVVVVVVV set to NONSCRATCH

説明: VSM MVC ボリューム VVVVVVVV の状態がスクラッチから非スクラッチに変更されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5022E

VT CCCCCCCC command cannot be processed - VTCS has not initialized.Reply if command is to be cancelled

説明: コマンド CCCCCCCC は、VTCS が初期化されていないため、現時点では処理できません。

システム動作: システムは、VTCS の初期化を待っています。そのあとコマンドが処理されます。コマンド処理の前に HSC/VTCS の終了が要求された場合、コマンドはキャンセルされます。

ユーザーの応答: VTCS の初期化が完了していなかった原因を調査します。コマンドをキャンセルする場合にのみ、このメッセージに対し任意の 1 文字を応答してください。コマンドがキャンセルされたことを確認するためにメッセージ SLS5023I が表示されます。VTCS の初期化完了後にコマンドをシステムに処理させる場合、応答を未決のまま残しておいてください。

SLS5023I

VT CCCCCCCC command cancelled dur to RRR

説明: VTCS コマンド CCCCCCCC に対しメッセージ SLS5022E が表示されました。これは VTCS の初期化が完了していなかったため、コマンドが処理されなかったことを示します。次に挙げる理由のために、そのあと処理されることなくコマンドがキャンセルされました。

- RRR が 'operator request' である場合、VTCS コマンド CCCCCCCC は、メッセージ SLS5022E に応答があったためキャンセルされました。
- RRR が 'HSC/VTCS termination' である場合、HSC または VTCS（あるいはその両方）の終了が検出されたため、VTCS コマンド CCCCCCCC はキャンセルされました。コマンドは処理されずにキャンセルされました。

ユーザーの応答: 必要であれば、VTCS の初期化完了後にコマンドを再発行します。

SLS5024E

Timeout on ECAM I/O to device NNNN

説明: VTCS は、デバイス *nnnn* に対して、ECAM 入出力の完了を待っています。このメッセージは、VTCS タイマーが期限切れになったものの、I/O が完了していないことを示します。

システム動作: VTCS は引き続き入出力の完了を待ちます。

ユーザーの応答: HSC のログおよび SYSLOG で、メッセージ内で特定されたアドレスにエラーが存在しないかどうかを確認してください。問題の VTD アドレスに *IOSnnnn* メッセージが存在する場合は、エラーが単一のパスに限られているかどうかを判断します。単一のパスに限られている場合、問題のあるパスをオフラインにしてください。エラーによってすべてのパスに問題がある場合は、**Vary *nnnn*,OFFLINE,FORCE** コマンドを発行してデバイスのバイパスを試行します。問題が修正されたら、デバイスをオンラインに戻すことができます。エラーが修正され、VTD アドレスが適切にオンラインに戻った場合、HSC/VTCS を再起動する必要はありません。VTSS がオフラインになった場合、**VT Vary VTSS(*nnnnnnnn*) ONline** を発行して VTSS をオンラインにすることができます。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS5075I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDDDD - Complete

説明: マウント要求への応答として、指定された VIRTUAL トランスポート DDDDDD 上にボリューム VVVVVV がマウントされました。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5076I

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD - Complete

説明: 指定された VIRTUAL トランスポート DDDDDD からの VVVVVV のマウント解除が完了しました。このメッセージが表示されても、必ずしもマウント解除が成功したとは限りません。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5077E

MOUNT of VVVVVV on drive DDD - Failed (RC) - VSM is not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、VIRTUAL ドライブ DDD へのボリューム VVVVVV のマウントが失敗しました。RC は HSC/VTCS からの戻りコードです。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: 問題を訂正してから、マウント要求を再発行してください。

SL55078I

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDD - Failed (RC) - VSM is not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、VIRTUAL ドライブ DDDDDD からのボリューム VVVVVV のマウント解除が失敗しました。RC は、HSC/VTCS サポートシステムからの戻りコードです。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: 問題を訂正してから、マウント解除要求を再発行してください。

SL55079E

MOUNT of VVVVVV on DDDD - Failed (RC) - ERRTEXT

説明: VIRTUAL ドライブ DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが失敗しました。失敗の理由はメッセージの ERRTEXT 部に定義されています。RC は HSC/VTCS からの戻りコードです。

以下では、さまざまな理由テキストの説明、システムの処理、およびユーザーの応答について詳しく説明します。メッセージが発行されたコンテキストが分かるように、理由テキストにはエラーの主な原因が示されますが、状況によっては一致しない場合があります。

DRIVE ALREADY HAS A VTV MOUNTED

説明: デバイス dddd に対するボリューム vvvvvv のマウントが要求されました。VTCS は、デバイスに VTV がすでにマウントされていると判断しました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: デバイスにマウントされている VTV を調べてください。マウント解除する必要がある場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード / マウント解除を試行してください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

INTERNAL ERROR OCCURRED RC=rrrrrrrrr

説明: デバイス dddd に対するボリューム vvvvvv のマウントが要求されました。マウント処理時に内部エラー (戻りコード X'rrrrrrrr') が発生しました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

INVALID VIRTUAL SUBPOOL ppppppppp

説明: デバイス dddd に対するスクラッチボリューム vvvvvv のマウントが要求されました。スクラッチボリュームは、TAPERREQ 文などによりサブプール ppppppppp に関連付けられていますが、このサブプールは無効です。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: サブプールの選択方法 (TAPERREQ 文など) を確認してください。pppppppp がサブプールの名前で、そのプールにスクラッチボリュームが存在しているかどうか確認してください。必要な訂正を行なってください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。

- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

INVALID VTD ADDRESS *ssssssss* FOR VTV

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTSS *ssssssss* にあるデバイス (VTD) *dddd* の内部制御ブロックが見つかりませんでした。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

MVC: *mmmmmm* CANCELLED BY OPERATOR

説明: デバイス *dddd* に対するマイグレーション済みボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。リコールとマウントが完了する前に、オペレータが VT CANCEL コマンドなどを実行して要求を取り消しました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

MVC: *mmmmmm* MVC COULD NOT BE MOUNTED

説明: デバイス *dddd* に対するマイグレーション済みボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTCS は MVC *mmmmmm* から VTV のリコールを開始しましたが、MVC をマウントできませんでした。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: 関連するエラーメッセージで MVC のマウントに失敗した理由を調べてください。問題がある場合には、それを訂正してください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

MVC: *mmmmmm* NO ACCESS TO VTSS *ssssssss* TO VERIFY VTV LOCATION

説明: デバイス *dddd* に対するマイグレーション済みボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTV は以前に VTSS *ssssssss* に常駐していました。このホストは VTSS にアクセスできないため、VTV のコピーが存在するかどうか確認できません。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: VTSS *ssssss* がこのホストでアクセス可能であり、オンラインになっているかどうか確認してください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

MVC: mmmmmm No RTDs for requested media and ACS

説明: デバイス *dddd* に対するマイグレーション済みボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。リコール処理中に、要求されたメディアタイプをマウント可能な RTD が ACS 内に存在しないと判断されました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: これは構成の変更が原因の可能性があります。MVC メディアタイプとボリュームの ACS ロケーションを決定するか、VTV にアクセスできるそのほかの MVC がないかどうかを判断します。

- マウントが必要な場合は、MVC を適切なタイプの RTD を持つ ACS に移動してマウントを再試行するか、そのほかの MVC コピーを VTV のリコールに使用できるようにします。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV mount suppressed by subsequent mount/dismount request

説明: デバイス *DDDDDD* のボリューム *VVVVVV* に対してマウントが要求されました。「(MVC:VVVVVV)」がメッセージに表示された場合は、MVC:VVVVVV からの VTV リコールが成功した後に、ここで別の VTV を VTD *DDDDDD* にマウントする必要があることを示しています。

このメッセージに共通したシナリオは次のとおりです。

- a. ジョブ要求 VTV *VVVVVV* を VTD *DDDDDD* にマウント中。
- b. ボリューム *VVVVVV* がマイグレーション中であることを検出し、VTCS が VTD *VVVVVV* のリコール MVC:VVVVVV から開始。
- c. VTV *VVVVVV* を要求するバッチジョブがキャンセルされる。
- d. 2 番目のジョブが別の VTV を要求し、同一の VTD *DDDDDD* を割り当てている。
- e. キャンセルしたジョブから開始した *VVVVVV* のリコールが完了した。
- f. VTCS が、VTV *VVVVVV* のマウントを完了しようとしたしましたが、VTD *DDDDDD* がもはや VTV *VVVVVV* を処理していないことがわかりました。

「(MVC:VVVVVV)」が表示されない場合は、別の SMC クライアントから受け取った要求が、非論理的な順序で HSC/VTCS サーバーに受信されていることを示しています。

このメッセージに共通したシナリオは次のとおりです。

- a. ホスト 1 からのジョブが、VTD *DDDDDD* の VTV *VVVVVV* のマウントを要求している。
- b. ホスト 1 の SMC から HSC/VTCS サーバーへマウント要求が送信されているが、ネットワーク遅延によりすぐに受信されない。
- c. ホスト 1 のジョブがキャンセルされる。(d) マウント解除要求が、ホスト 2 の SMC から HSC/VTCS サーバーへ送信される。
- d. ホスト 2 からのジョブが、VTV のマウントを要求し、VTD *DDDDDD* が割り当てられる。

e. マウント要求がホスト 2 の SMC から HSC/VTCS サーバーへ送信され、ホスト 1 からのマウントおよびマウント解除要求前に受信される。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: 失敗したマウントをやり直す必要がある場合は、再処理してください。失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

NO MVCS AVAILABLE

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTV がデバイス *dddd* を含む VTSS とは異なる VTSS に常駐しているため、VTV の転送が開始されました。この転送は、別の VTSS から VTV をマイグレーションし、デバイス *dddd* のある VTSS にリコールすることにより実行されます。

MVC が使用できないため、ほかの VTSS から VTV をマイグレーションすることができませんでした。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: VTV *vvvvvv* が常駐しているかどうか確認してください。次に、次のいずれかの処理を行なってください。

- その VTSS 内のデバイスを選択するように JCL を変更する。
- マイグレーションで MVC が選択できなかった理由を調査する。問題がある場合には、それを訂正してください。
- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

PROBLEM DECODING VCI REQUEST

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。マウント時に VTCS で内部エラーが発生しました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SUBSYSTEM TERMINATING

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。デバイス *dddd* を含む VTSS のタスクが、VT VARY VTSS(*ssssssss*) OFFLINE コマンドなどのために終了しようとしていた / 終了したため、VTCS はマウントを処理することができませんでした。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: デバイス *dddd* を含む VTSS の状態を調べてください。まだオンラインになっていない場合には、VT VARY VTSS(*ssssssss*) ONLINE を発行してください。VTSS がオンラインになると、VTCS がマウントを処理します。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV CONTENTS SUSPECT

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTV が「隔離」されています。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: メッセージ SLS6657E については、
オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

VTV: *vvvvvv* INACCESSIBLE/BAD VTSS *ssssssss* REFERENCED

説明: VTSS *ssssssss* で、デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。次のいずれかが原因で VTV *vvvvvv* をマウントできませんでした。

- VTSS の状態。VTSS がこのホストからアクセスできないか、オンラインではありませんでした。
- スクラッチマウントの場合にマウントを何度も試行したが失敗した。これは、別の製品が、スクラッチ状態でないために VTV を繰り返し拒否した場合に発生します。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: スクラッチ以外のマウントの場合には、VTSS *ssssssss* がこのホストからアクセス可能で、オンラインになっているかどうか確認してください。問題がある場合には、それを訂正してください。

スクラッチマウントの場合には、スクラッチの定義が VTCS の定義と一致していないために、別の製品がマウントを拒否していないかどうか確認してください。

必要であれば、訂正を行なってください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV: *vvvvvv* ATTEMPTS TO SELECT A SCRATCH VTV HAVE BEEN EXHAUSTED

説明: VTSS *ssssssss* のデバイス *dddd* で、スクラッチマウントが要求されました。内部で指定された VTV 数がスクラッチとして選択された後、適格でないスクラッチであることが判明したため、マウント要求が失敗しました。

メッセージ内に記載されたボリューム *vvvvvv* が、この状態で最後に検出された VTV です。このエラーは、別の製品が繰り返し各 VTV がスクラッチ状況でないと拒否した場合に起こります。または、CDS 内の VTV スクラッチ状況が VTCS 内部スクラッチカウントと同期しない場合に起こります。

システム動作: VTV スクラッチマウント要求は、後で再試行されます。

ユーザーの応答: たとえば、スクラッチ定義が VTCS のものと同期していないなど、別の製品がマウントを拒否していないかどうかを確認してください。

必要であれば、訂正を行なってください。失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV vvvvvv IS STILL MOUNTED

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。VTCS は、前のマウント処理で VTV がまだマウントされていることを識別しました。

システム動作: マウントは失敗しますが、VTCS はドライブのマウントを再試行します。

ユーザーの応答: VTV *vvvvvv* の前のマウントが、現在のマウントと異なるホストで実行されたかどうかを確認してください。異なるホストで実行されている場合には、ホスト間で SYSZVOLS ENQueues が正常に伝達されているかどうかを確認してください。

- 前のマウントが同じホストで実行されている場合には、マウント解除が失敗した理由が他にないかどうか調べてください。問題がある場合には、それを訂正してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

vvvvvv IS NOT A VALID VTV

説明: デバイス *dddd* に対するボリューム *vvvvvv* のマウントが要求されました。

VTCS は、*vvvvvv* が VTCS 構成の中で VTVVOL 文を介して、Virtual として定義されていないと判断しました。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: 仮想デバイス以外の割り振りが仮想デバイス (VTD) *dddd* に実行された原因を調べてください。エソテリック、JCL、TAPEREQ 文、ACS ルーチン、およびユーザー出口での割り振りを調べてください。

必要な訂正を行なってください。

- マウントが必要であれば、ドライブのマウントを再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV: vvvvvv ECAM ERROR CC=ccc RC=rrr

説明: VTV *vvvvvv* が、ECAM エラーのためにマウントできませんでした。ECAM 完了コードは *ccc*、戻りコードは *rrr* です。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: 該当する ELS ガイドを参照してください。失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV: vvvvvv VOLUME ACCESS CONTROL GAVE RC=rrrrrrrrr

説明: VTV *vvvvvv* がスクラッチマウントのために選択されましたが、マウントが次のユーザー出口 14 のために拒否されました。

- Return Code UX14RJCT (拒否) の設定。
- Return Code UX14PWRD (パスワードチェック) の設定と、HSC によるパスワードチェックが失敗しました。

- Return Code UX14RACF/UX14RACL (RACROUTE チェック) の設定と、HSC による RACROUTE チェックにより、要求発行者に VTV *vvvvvv* へのアクセス権がないことが判明しました。
- Return Code UX14RACF/UX14RACL (RACROUTE チェック) の設定と、HSC による RACROUTE チェックにより、要求発行者に VTV *vvvvvv* への読み取り権はあるが、更新権がないことが判明しました。HSC は、要求された VTV *vvvvvv* を書き込み禁止としてマウントします。
- Return Code UX14NWRT (書き込み禁止) の設定。

このメッセージの前に、SLS2978A、SLS2979I、SLS2980I、SLS2985I、SLS2986I のメッセージのうち 1 つ以上が表示されます。

X'rrrrrrrr' は、ユーザー出口 14 を呼び出し、ユーザー出口 14 によって要求される処理を実行した後に、HSC によって VTCS に渡されるリターンコードです。

- X'91309130' は、パスワードまたは RACROUTE チェックが失敗したために、VTV *vvvvvv* がユーザー出口 14 または HSC によって拒否されたことを表します。
- X'91319131' は、VTCS が VTV *vvvvvv* を書き込み禁止としてマウントするように要求されたことを表します。スクラッチマウントに選択された VTV は書き込み可能としてマウントされる必要があるため、VTCS によって拒否されます。

システム動作: システムの処理: マウントが失敗します。

ユーザーの応答: このメッセージの前に、SLS2978A、SLS2979I、SLS2980I、SLS2985I、SLS2986I メッセージのいずれかがあるかどうかを調べてください。VTCS が Return Code X'rrrrrrrr' を受け取った理由を究明し、マウントを要求しているアドレス空間の詳細 (ジョブ名など) が記載された VTV *vvvvvv* にとって、正しい応答だったかどうかを確認してください。

まだマウントする必要がある場合は、必要な変更を加え、再びマウントが失敗しないようにしてから、マウントを再試行してください。

VTV IS IMPORT BLOCKED

説明: VTV *vvvvvv* は、IMPORT 要求の完了を未だに保留しているため、アクセスできません。

システム動作: マウントは失敗します。

ユーザーの応答: IMPORT 処理中に、エラー状況がなかったかどうか判断してください。この状態の原因には、LOGPOL=REQUIRED が指定されているが、IMPORT 時点でロギングがアクティブではなかったことなどが考えられます。この状況は、エラーの原因となった問題をまず訂正してから次の手順を行うことで解消できます。

1. 「Display VTV *vvvvvv*」を発行し、次の行を記述します。

```
Importing:                nnnn (VTD address)
```

2. 「Dismount *vvvvvv* nnnn」を発行します。

VTV のマウントを再試行します。失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS5080E

DISMOUNT of VVVVVV from DDDDDD - Failed (RC) - ERRTEXT

説明: ボリューム VVVVVV を仮想ドライブ DDDDDD からマウント解除することができませんでした。失敗の理由はメッセージの ERRTEXT 部に定義されています。RC は HSC/VTCS からの戻りコードです。

以下では、さまざまな理由テキストの説明、システムの処理、およびユーザーの応答について詳しく説明します。メッセージが発行されたコンテキストが分かるように、理由テキストにはエラーの主な原因が示されますが、状況によっては一致しない場合があります。

VTV VVV IS STILL MOUNTED

説明: ボリューム VVVVVV がデバイス DDDDDD からマウント解除されています。VTV vvv222 がまだデバイスにマウントされています。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: VVVVVV および vvv222 (異なる場合) について、VTV の状態を調べてください。状態がマウント済みになっている場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード / マウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

INTERNAL ERROR OCCURRED RC=RRRRRRRR

説明: 説明: ボリューム VVVVVV がデバイス DDDDDD からマウント解除されています。マウント解除処理時に内部エラー (戻りコード X'RRRRRRRR') が発生しました。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: VTV の状態を調べてください。状態がマウント済みになっている場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード / マウント解除を試行してください。

オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

INACCESSIBLE/BAD VTSS XXXXXXXX REFERENCED

説明: ボリューム VVVVVV がデバイス DDDDDD からマウント解除されています。VTSS XXXXXXXX がこのホストからアクセスできないか、このホストに対してオンラインでないため、VTCS はマウント解除を処理することができません。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: このホストで VTSS XXXXXXXX がアクセス可能であり、オンラインになっているかどうかを確認してください。VTV の状態を調べてください。状態がマウント済みになっている場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード / マウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

NO ACCESS TO VTSS XXXXXXXX TO VERIFY VTV LOCATION

説明: ボリューム VVVVVV がデバイス DDDDDD からマウント解除されています。VTSS XXXXXXXX がこのホストからアクセスできないか、このホストに対してオンラインでないため、VTCS はマウント解除を処理することができません。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: VTSS XXXXXXXX がこのホストでアクセス可能であり、オンラインになっているかどうか確認してください。

VTSS XXXXXXXX がオンラインになったら、VTV の状態を調べてください。状態がマウント済みになっている場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード/マウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTSS XXXXXXXX IS CURRENTLY OFFLINE

説明: ボリューム VVVVVV が、VTSS XXXXXXXX のデバイス DDDDDD からマウント解除されています。VTSS XXXXXXXX がオフラインのため、VTCS はマウント解除を処理できません。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: VTSS XXXXXXXX の状態を調べてください。まだオンラインになっていない場合には、VT VARY VTSS (XXXXXXX) ONLINE を発行してください。

VTSS XXXXXXXX がオンラインになったら、VTV の状態を調べてください。状態がマウント済みになっている場合には、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロード/マウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

PROBLEM DECODING VCI REQUEST

説明: ボリューム VVVVVV がデバイス DDDD からマウント解除されています。マウント解除時に VTCS で内部エラーが発生しました。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

VTV IS IMPORT BLOCKED

説明: VTV VVVVVV は、IMPORT 要求の完了を未だに保留しているため、アクセスできません。

システム動作: マウント解除は失敗します。

ユーザーの応答: IMPORT 処理中に、エラー状況がなかったかどうか判断してください。この状態の原因には、LOGPOL=REQUIRED が指定されているが、IMPORT 時点でロギングがアクティブではなかったことなどが考えられます。この状況は、エラーの原因となった問題をまず訂正してから次の手順を行うことで解消できます。

1. 「Display VTV vvvvvv」を発行し、次の行を記述します。

Importing: nnnn (VTD address)

2. 「Dismount vvvvvv nnnn」を発行します。

失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

CDS LOGGING FAILURE - HSC RC=RRRR

説明: VTCS 構成で LOGPOL=REQUIRED と指定します。これは、特定の更新は CDS への適用前にログに記録する必要があることを示しています。

ボリューム VVVVVV の VTD DDDD からのマウント解除は成功しました。VTCS は、VTV VVVVVV の状況変化をログに記録しようとしたましたが、失敗し RC=RRRR を出力しました。このメッセージ前に出力されるメッセージ SLS6904E は、RC=RRRR の意味を説明するテキストを含んでいます。

システム動作: VTCS は、アップデートのログへの記録に失敗したため CDS をアップデートできません。CDS は、まだ VTD DDDD にマウントされているため、VTV VVVVVV を正しく表示しないことになります。

ユーザーの応答: VTV が次にマウントされマウント解除されると、VTV VVVVVV のマウント状況の誤った表示は自動的に消去されます。

VTV がマウントされていると表示されている間は、マイグレーション、複製、電子エクスポートはできません。

誤ったマウント状況を手動で消去するには:

1. コマンド「Display VTV(vvvvvv)」を発行し、次の行を記述します。
"Mounted: dddd" (VTD address).
2. コマンド「DISMount vvvvvv,dddd」を発行します。

SLS5081I

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD sent to VSM.

説明: マウント解除要求が VSM システムに送信されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5082I

MOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD sent to VSM

説明: マウント要求が VSM システムに送信されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5083I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDD already in progress

説明: マウント要求が VSM システムに送信されました。ただし、重複する要求が現在 VSM によって処理されています。重複する要求とは、同一の仮想デバイス、ボリュームシリアル番号、サブプール、およびマネージメントクラスが指定された要求です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 元の要求が完了するまでお待ちください。

SLS5084I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDD already redriven

説明: マウント要求が VSM システムに送信されました。しかし、重複する再試行要求が、VSM からの最終応答まですでに待ち状態になっています。重複する再試行要求とは、同一の仮想デバイス、ボリュームシリアル番号、サブプール、およびマネージメントクラスが指定された要求です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 元の要求が完了するまでお待ちください。

SLS5626I

CCCCCCCC parms installed from data set DDDDDD

説明: CCCCCCCC = インストールされるパラメータ (VTMVCDef)。

VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC はメッセージテキスト内に示されたデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードしました。このメッセージが発行された時点では、これらのパラメータは HSC によって使用されています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5627I

CCCCCCCC parms not installed, reason code XXXX

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC はメッセージテキスト内に示されたデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードできませんでした。

- CCCCCCCC = インストールされるパラメータのタイプ (VT MVCDef)
- XXXX = 16 進数値の理由コード

次の理由コードと定義は、パラメータがロードされなかった理由を示します。

- 0008 – 1つ以上の文で構文エラーが発生しました。
- 0009 – 2つの文間で矛盾が検出されました。
- 000C – データセットの読み取りで発生した 入出力エラー。
- 0010 – HSCがデータセットを割り振ることができなかった
- 0014 – HSCがデータセットをオープンできなかった
- 0018 – データセットの処理に使用できるメモリーが不足しています。
- 001C – エラーの数 (50) を超えています。

いずれの場合も、発生したエラーの詳細を示す SLS5628I メッセージまたは SLS0002I メッセージがこのメッセージの前に表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再試行してください。

SL5628I

CCCCCCC: record DDDDDDD ... EEEE

説明: VT MVCDef コマンドまたは制御文の実行中に、HSC がエラーを検出しました。

- CCCCCC = コマンドまたは制御文のタイプ (VT MVCDef)。
- DDDDDDD = ファイル内のレコード数を示す 10 進数値。
- EEEE = 複数行からなるこのメッセージの次の行を識別するためのシステム生成番号。

レコード番号により、エラーが発生した文を識別できます。レコード番号がゼロ (0) の場合、データセットの問題、または 2 つ以上のレコードが関係するエラーが発生していることを示します。

このメッセージは 2 行からなるメッセージです。2 行目には、次のようなエラーのタイプが示されます。2 行目のテキストは次のいずれかです。

- Error allocating data set; Code XXXX-XXXX
XXXX-XXXX = DYNALLOC エラーおよび理由コード
- Error opening data set; completion code XXX-XX
XXX-XX = OPEN 完了コードおよび理由コード
- 文が長すぎます。
- ファイルの終わりでコメントが閉じていません。
- I/O error reading data set: CCCCCC
CCCCC = SYNADAF によって生成されたエラーメッセージ
- 文を認識できません。
- パラメータは JES3 でサポートされていません。
- メモリーが不足しています。
- エラーの数が多過ぎるため、ファイル処理が終了しました。
- CCCCCC {parameter | list | range}: TTTTTTT の近くでエラーが発生しました。
 - CCCCCC = エラーが発生したパラメータ、リスト、または範囲
 - TTTTTTT エラーテキスト (下記参照)
- Error near column NNN:TTTTTTT
 - NNN = エラーが検出された列の列番号。
 - TTTTTTT エラーテキスト (下記参照)

前述の 2 行目のメッセージのうち、最後の 2 つのメッセージで表示されるエラーテキストには次のものがあります。

- キーワードが不明です。
- 必須の値が見つかりません。
- 値を入力できない位置に値が入力されました。
- 相互に排他的なパラメータが存在しています。
- 定位置エラーです。
- 構文エラーです。
- 無効な値です。
- 必須パラメータが指定されていません。
- 同時に指定する必要のあるパラメータが指定されていません。
- 値の長さが無効です。

- DD3D は MEDIA の値として無効です。

ここに記載していないテキストについての詳細は、メッセージ SLS1973I を参照してください。

システム動作: 表示されたレコード番号がゼロであったり、ファイルで 50 個のエラーが検出されたりしないかぎり、HSC はデータセットの処理を続けます。この 2 つの場合、データセットの処理は終了します。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再発行してください。

SLS5629I

CCCCCCCC:DDDDDD does not contain any STMTS to process

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC はメッセージテキスト内に示されたデータセットに適したタイプの文を検出できませんでした。コマンドごとの適切な文は MVCPool にあります。

CCCCCCCC	インストールされるパラメータのタイプ (VT MVCDef)
DDDDDD	データセット名

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: パラメータデータセットの問題を訂正してから、コマンドを再実行してください。

SLS5630I

CCCCCCCC parameters are not loaded

説明: VT MVCDef コマンドへの応答時に、HSC はそのタイプのパラメータがロードされていないことを検出しました。CCCCCCCC はインストール対象パラメータのタイプです (VT MVCDef)。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: パラメータをロードできない原因となっているエラーを判別するには、これより前のメッセージを参照してください。

SLS5631I

CCCCCCCC parameter status:

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC は要求されたパラメータに関する情報を表示します。CCCCCCCC = インストールされるパラメータのタイプ (VT MVCDef)。このメッセージは、3-4 行からなるメッセージの最初の行です。続いて次の行が表示されます。

- LOADED FROM DDDDDD パラメータのロード元となったデータセット (必要に応じてメンバー名も含む) が表示されます。
- TITLE: CCCCCCCC パラメータのロード元となったデータセット内にあったタイトル (OPTIONS 文から) が表示されます。パラメータに TITLE が含まれていない場合には、この行は表示されません。
- LOADED ON YYYY-MM-DD AT HH:MM:SS HSC によってパラメータがロードされた日付と時刻が表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL55632I

VTCS {SMF|LOGREC} write failed - RC = RRRR

説明: VTCS システムへの SMF または LOGREC 書き込みが、RRRR 戻りコードで失敗しました。SMF の場合、これが SMFEWTM マクロからのリターンコードです。LOGREC の場合、これが SVC 76 からのリターンコードです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: IBM ドキュメントを参照し、失敗の原因を判断します。

SL55633I

VTCS CCCCCCCC failed - RRRRRRRR

説明: VSM からの機能 CCCCCCCC (FileGet/FileSet) の実行要求が失敗しました。RRRRRRRR は失敗の理由を記述します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 失敗の理由を訂正してください。

SL55634I

VTCS CCCCCCCC failed - LRECL greater than 80/84

説明: VSM からの CCCCCCCC (FileGet/FileSet) 機能の実行要求が失敗しました。読み込みまたは書き込みの対象であったデータセットの LRECL が、このタイプのファイルで許可されている LRECL を超えています。最大許容値は、固定長ファイルの場合は 80、可変長ファイルの場合は 84 です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 失敗の理由を訂正してください。最大許容値は、固定長ファイルの場合は 80、可変長ファイルの場合は 84 です。

SL55650I

VTCS communications interface initialization started

説明: VTCS への通信インタフェースが開始されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL55651I

VTCS communications interface initialization failed

説明: VTCS への通信インタフェースが開始できませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 失敗の原因を調べてください。これより前のメッセージに、VTCS 通信インタフェースのエラーの原因が記述されています。

SL55660I

VCI server controller attach error

説明: 接続エラーのため、VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラーを開始できませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 失敗の原因を調べてください。これより前のメッセージに、VCI サーバーコントローラーの接続エラーの原因が記述されています。

SLS5661I

VCI client controller attach error

説明: 接続エラーのため、VTCS 通信インタフェースのクライアントコントローラーを開始できませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 失敗の原因を調べてください。これより前のメッセージに、VCI クライアントコントローラーの接続エラーの原因が記述されています。

SLS5662I

VCI monitor restarted

説明: VTCS 通信インタフェースのモニタータスクが再起動されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5663I

Shutdown HSC VCI client

説明: HSC のシャットダウンに対応して、HSC VTCS 通信インタフェースのクライアントタスクがシャットダウンされます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5664I

Shutdown HSC VCI server and connected clients

説明: HSC のシャットダウンに対応して、HSC VTCS 通信インタフェースのサーバータスクがシャットダウンされます。接続しているすべてのクライアントに対して、シャットダウンが通知されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5665I

VCI shutdown complete

説明: VTCS 通信インタフェースが終了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5670I

HSC VCI server controller started

説明: VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラーが開始されました。VCI サーバーコントローラーは、クライアントからの要求に対応できる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5671I

HSC VCI server controller restarted

説明: VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラーが再起動されました。
VCI サーバーコントローラーは、クライアントからの要求に対応できる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5672I

Client socket - NNNNNNNN connected

説明: VSM クライアントが、HSC VCI サーバーに接続しました。このクライアントは、ソケット番号 NNNNNNNN に割り当てられます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5673I

HSC VCI client controller started

説明: HSC VTCS 通信インタフェースのクライアントコントローラーが開始されました。HSC は、VSM システムへ要求を発行できる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5674I

HSC client socket - NNNNNNNN connected

説明: HSC クライアントが、VSM サーバーに接続しました。この HSC クライアントは、ソケット番号 NNNNNNNN に割り当てられます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5675I

Client socket - NNNNNNNN I/O task restarted

説明: クライアントのソケット NNNNNNNN の入出力タスクが再起動されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$5676I

Client socket - NNNNNNNN receive task restarted

説明: クライアントのソケット NNNNNNNN の受信タスクが再起動されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5677I

Invalid packet received for socket - NNNNNNNN

説明: 無効なパケットが、クライアントのソケット NNNNNNNN で受信されました。このソケットは、シャットダウンされます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5678I

Cannot QUIM server request handler, error - CCCCCCCC

説明: VCI サーバー要求ハンドラを開始できませんでした。QUIM 機能から戻りコード CCCCCCCC が戻されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5679I

HSC server socket is active

説明: HSC サーバーのソケットがアクティブです。HSC サーバーは、VSM クライアントから VCI 要求を受け付けられる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5680I

SSSS error - VVVVVVVV CCCCCCCC EEEEEEEE on socket - NNNNNNNN

説明: ソケット機能 SSSS に、エラーが発生しました。エラー内容は、表示されている VVVVVVVVV CCCCCCCC EEEEEEEE 値に説明されています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5681I

HSC client request driver restarted

説明: HSC クライアントの要求ドライバが開始されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL5682I

Client user request block not found for SEQNO NNNNNNNN

説明: 通し番号 NNNNNNNN の応答を処理するためのクライアントユーザー要求ブロックが見つかりません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5683I

Client receive task attach failed

説明: クライアント受信タスクが接続に失敗しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: 接続失敗の理由を特定してください。これより前のメッセージに、失敗の原因が示されています。

SLS5684I

Socket - NNNNNNNN is disconnected

説明: ソケット NNNNNNNN が切断されました。このソケットのすべてのアクティビティが終了します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5685I

Server socket is disconnected

説明: HSC VCI サーバーのソケットが切断されました。このソケットのすべてのアクティビティが終了します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS5689I

Invalid hostname specified for HHHH

説明: HSC システムが VSM リリース 1 システムとの接続を試みています。VSMHNAME パラメータがないか、あるいはホスト名 HHHH が無効です。

システム動作: HSC の処理は続行されます。VSM リリース 1 システムへの接続は行われません。

ユーザーの応答: VSM リリース 1 システムに接続する必要がある場合は、VSMHNAME を訂正してください。

SLS5690I

HSC/VTCS connect complete - Ready to process requests

説明: HSC/VTCS 接続が完了しました。HSC/VTCS システムは、要求を処理できる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6001I

Vary online request cancelled by subsequent vary offline for ACS AA

説明: ステーションまたは ACS をオンラインに変更する要求の実行中に、ACS がほかの要求によってオフラインに変更されました。

システム動作: オンラインへの変更要求は実行されません。

ユーザーの応答: ACS またはステーションをオンラインに変更する場合は、要求を再発行してください。

SLS6002I

No stations defined for ACS AA

説明: ACS AA に対してオンラインへの変更要求が発行されましたが、この ACS のステーションが見つかりませんでした。

システム動作: なし ACS は切断されたままとなります。

ユーザーの応答: SET SLISTATN を実行して、ACS のステーションを定義してから、Vary ACS コマンドを再発行してください。

SLS6003I

Vary station not allowed for network attached ACS AA

説明: ネットワーク接続が LMUPATH パラメータを介して ACS AA に定義されたため、ステーション変更コマンドは適用できません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: HSC は、LMU へのネットワーク TCP/IP ソケット通信を自動的に 30 分間再試行します。TCP/IP および LMU が機能していることを確認してください。

SLS6004I

ACS AA forced offline due to configuration mismatch for station C...C

説明: ステーション C...C を介して LMU 接続を確立しようとしたましたが、CDS と LMU 構成定義の間に不一致が検出されました。前に発行されたメッセージに、不一致が発生した場所が説明されています。

システム動作: この ACS のすべてのステーションがオフラインに強制変更されます。

ユーザーの応答: 前のメッセージをチェックして、構成が不一致になった理由を判別してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6005I

Network attach function CCCCCCCC failed for station C...C with errno NNNN

説明: ネットワーク接続機能 CCCCCCCC が失敗しました。

システム動作: HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

ユーザーの応答: 『IBM TCP/IP for MVS Application Programming Interface Guide』を参照して、失敗の原因を判断し、エラーの回復に適切な処理を行なってください。問題を修正すると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6006I

Network attachment failed for station C...C because function CCCCCCCC could not be loaded.

説明: TCP/IP API ロードモジュールがロードできません。

システム動作: ステーションがオフラインに変更されます。

ユーザーの応答: このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。問題が修正されたら、HSC のスターテッドタスクを再利用してください。

SLS6007I

TCP/IP failure for station C...C detected

説明: 非同期選択機能が失敗しました。

システム動作: HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

ユーザーの応答: このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6008I

Network attach function CCCCCCCC failed because station C...C is no longer connected

説明: LMU へのソケット接続が喪失しました。

システム動作: HSC は、このステーションについてネットワークの回復を開始します。

ユーザーの応答: このホストにおいて、TCP/IP が適切に実装、設定、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6009I

No stations were found offline for ACS AA

説明: ACS AA に対して Vary ACS Online が発行されましたが、オフラインにマーク設定されたステーションはありません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6010I

ACS, STation, or station addresses required for Vary command

説明: Vary 要求を発行しようとしたましたが、ACS、STation キーワード、または装置番号のリストが指定されていませんでした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: ACS、Station、またはデバイス番号のリストのいずれかを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS6011I

VARY {ACS AA|STation C...C} OFFline not allowed; CAP is reserved to this host

説明: ACSid または最後のステーションのデバイスアドレスのいずれかを指定して、ACS をオフラインに変更しようとしたましたが、ACS 内の CAP がこのホストに予約されていることが検出されました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: コマンド Display CAP AA を発行して、ACS 内のすべての CAP の状況を表示してください。アクティブな CAP の CAP アクティビティを終了して、コマンドを再発行してください。

SLS6012E

ACS nn: Recovery of network connection to station C...C is now active

説明: HSC TCP/IP インタフェースで、ステーション C...C について、エラーまたはタイムアウト状況が検出されました。ネットワークの回復を開始します。

システム動作: HSC は、自身のソケットとリモートステーションのソケットの間で接続を再度確立しようと 10 秒ごとに 30 分間、試行を継続します。

ユーザーの応答: LMU 環境では、作業中のほかのホストが大きな影響を受けてない場合は、スタンバイのステーションに切り替えることができます。そうでない場合は、LMU またはホストでネットワークの問題を診断して修正します。問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6013I

ACS nn: Recovery of network connection to station C...C successful

説明: HSC はステーション C...C へのネットワーク接続を正常に回復しました。

システム動作: HSC は、回復中に蓄積された LMU 要求を再度実行します。

ユーザーの応答: なし

SLS6014E

ACS nn: Unable to reestablish network connection to station C...C

説明: ステーション C...C へのネットワーク接続を再確立する回復プロセスがタイムアウトになりました。

システム動作: HSC は、それ以上のステーションへの接続の試行を中断しました。ステーションはエラー状態にあると思われます。単一 LMU 環境では、ACS にオフラインがマークされます。デュアル LMU 環境では、ネットワークの回復が両方のステーションでタイムアウトになった場合に、ACS にオフラインがマークされます。

ユーザーの応答: 単一 LMU 環境では、ACS はネットワーク問題が修正されるとオンラインになります。デュアル LMU 環境では、両方のステーションで回復の試行がタイムアウトになると、ACS がオンラインになります。どちらの場合も、すべての保留になっている LMU 要求はページされます。

SLS6015I

VARY ACS AA ONLINE/OFFLINE failed because the ACS is unallocated

説明: HSC が、ACS は UNALLOCATED (割り振られていない) 状態であると判断しました。

システム動作: なし。ACS は、OFFLINE 状態のままです。

ユーザーの応答: ACS 識別子が誤って入力されていた場合は、正しい ACS 識別子を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS6019E

HSC version incompatible with DR test

説明: バージョンまたはリリースレベルが DR テスト環境と対立するため、HSC を起動しようとしたが失敗しました。CDS にアクティブな DR テストがあるか、または CDS 自体が DR テストの CDS になります。

システム動作: HSC の初期設定は終了します。

ユーザーの応答: DR テストに参加できるのは、HSC 5.0 以上のシステムのみです。DR テストを終了するか、またはこのホストで 5.0 以上の HSC を起動してください。

SLS6020I

ASCOMM failure for DRTEST {START|STOP}, RC=XXXXXXXX

説明: DRTEST 要求が、Address Space Communications Service (ASCOMM) を使用して HSC に送信されましたが、戻りコード XXXXXXXX でコンポーネントが失敗しました。

システム動作: DRTEST 要求は失敗します。

ユーザーの応答: ASCOMM 戻りコードを該当する ELS ガイドで調べて、失敗の原因を究明してみてください。このエラーを修復するには、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6021I

DRTEST {START|STOP} error: CCCC...CCCC :

説明: DRTEST 要求が HSC に送信されましたが、要求の実行を妨げているエラー状況が検出されました。CCCC...CCCC には、エラーの原因が説明されています。原因は次のいずれかです。

- 認知されていない DR テスト要求
- DR テスト環境が確立されていません (SLUADMIN ユーティリティを実行してください)
- DR テストサイトから DR テスト要求が許可 (要求) されていません
- DR テストがすでにアクティブです
- DR テストがアクティブではありません
- DR テスト要求が、VTCS がアクティブになるよう要求しています
- 予備以外の DR テスト VTSS がオフラインです
- DR テスト ACS の CAP がアクティブです
- DR テスト ACS の CAP が自動モードです
- 中には、DR テスト状態が適合されていないホストがあります

システム動作: DRTEST 要求は失敗します。

ユーザーの応答: 上記の説明は、ほとんどその名のとおりです。DR テストの START または STOP 要求を発行できるようにする前に、SLUADMIN DRTEST 機能を実行して、本稼動用の CDS を準備しておいてください。DR テスト中は、DR テスト ACS のすべての CAP がアイドル状態で、マニュアルモードになっている必要があります。VTCS が起動し、DR テスト VTSS が本番用サイトにオンラインに変更される状態にしてください。

SLS6022I

DRTEST {START|STOP} successful

説明: DRTEST START または STOP 要求が HSC に送信され、正常に終了しました。

システム動作: HSC の処理は続けられます。DR テストが開始された場合、現在いくつか操作上の制約が実施されます。たとえば、DR テスト ACS の CAP は、手動モードのままにしておくこと、所定の ACS または Stations Online の Move、Enter、Eject、Audit、Scratch Update、Redistribution、Vary、または FLOAT(ON) あるいは EJCTAUTO(ON) の設定を拒否できること、などがあります。DR テストが停止した場合は、上記の操作上の制約なしで通常の本稼動用操作が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6023I

Cannot set {FLOAT(ON)|EJCTAUTO(ON)} for ACS XX, DR test active

説明: MNTD コマンドまたは制御文が、設定 FLOAT(ON) または EJCTAUTO(ON) を指定しましたが、アクティブな DR テストと競合するため、ACS XX に実行できません。

システム動作: HSC の処理は続けられます。DR テストが終了するまで、要求された MNTD オプションは設定できません。

ユーザーの応答: DR テストが終了するまで待機してから、本番用サイトの HSC で MNTD オプションの設定を試行します。DR テストサイトの HSC では、要求された MNTD オプションは設定できません。

SLS6024I

```
{CAPPREF AUTO|ENTER|EJECT|MOVE|SCREDIST|VARY ONLINE} rejected  
for {CAP XX:XX:XX|ACS XX|STATION XXXX}, DR test active
```

説明: CAPPREF、ENTER、EJECT、MOVE、VARY の各コマンド、または EJECT、MOVE、または SCREDIST の各ユーティリティー機能が要求されましたが、アクティブな DR テストと競合するため実行されませんでした。機能が許可されなかった CAP、ACS または STATION が記録されています。

システム動作: HSC の処理は続けられます。DR テストが終了するまで、要求された機能は実行されません。

ユーザーの応答: DR テストが終了するまで待機してから、本番用サイトの HSC で要求された機能を試行します。DR テストサイトの HSC では、要求された機能は実行できません。

SLS6025I

```
{AUDIT|EJECT|MOVE|SCRATCH UPDATE|SCRATCH REDISTRIBUTION}  
Utility not permitted, DR test active
```

説明: HSC SLUADMIN の Audit、Eject、Move、Scratch Update、または Scratch Redistribution ユーティリティー機能が要求されましたが、アクティブな DR テストと競合するため実行できませんでした。

システム動作: ユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの応答: DR テストが終了するまで待機してから、本番用サイトの HSC で SLUADMIN ユーティリティー機能を試行します。DR テストサイトの HSC では、ユーティリティー機能は実行できません。

SLS6026I

```
DR test {started|not started|stopped|not stopped}  
{successfully| unsuccessfully} on {host CCCCCCCC|all hosts}
```

説明: DRTEST 要求が、稼働中の HSC システムに送信されました。このメッセージには、特定のホスト (CCCCCCCC) またはすべてのホスト (制御側 HSC) に DR テスト状況を設定できたか、できなかったかが表示されます。

システム動作: HSC の処理は続けられます。

ユーザーの応答: このメッセージに、DR テストがすべてのホストで正常に開始または停止したことが表示された場合は、DR テストがそのとおりに進みます。DR テストの状況が特定のホストで正常に開始または停止されなかった場合は、そのホストで原因を調べ、そこで HSC の停止 / 再起動を行ってください。この問題を修復できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6027I

```
ENTER rejected; TLSM ACS AA does not equal CAP ACS AA
```

説明: ENter コマンドを処理しようとしたましたが、TLSM パラメータで指定された LSMid が CAP とは別の ACS に存在するため、拒否されました。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: 同じ ACS 内にある CAPid および TLSM LSMid を指定するコマンドを再入力してください。

SLS6028I

No scratch volumes meet eject criteria in ACS AA

説明: SCRTCH パラメータが指定され、Eject コマンドが出されました。ACS AA からの CAP が要求されたか、CAP 識別子は指定されず、コマンドのデフォルトが ACS 00 になりました。ACS AA には、Eject コマンドのパラメータで要求されたスクラッチボリュームは含まれていませんでした。

システム動作: Eject コマンドは続行されます。

ユーザーの応答: ACS AA に含まれるスクラッチボリュームのスクラッチボリュームの基準を指定して、Eject コマンドを再入力します。

SLS6029I

RELEASE AA:LL:CC rejected; host CCCCCCCC is active

説明: 指定されたホスト用に RELease コマンドが発行されましたが、そのホストはアクティブであると識別されました。

システム動作: :CAP が解放されていません。

ユーザーの応答: 当該ホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。

ホストがアクティブな場合は、特定されたホストで RELease コマンドを発行してください。

ホストが非アクティブな場合にかぎり、RECover ホストコマンドに FORCE オプションを指定して実行してください。そのあと、ホストオペランドを指定して RELease コマンドを再発行してください。

注意 – FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定して RECover を発行するにあたっては、指定のホストが非アクティブにあることを確認してください。

アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上の HSC を再起動する必要があります。RECover ホストコマンドの実行時にホストがアクティブな場合は、テープのアクティビティー中またはホストの HSC を再起動するときに予期せぬ異常終了が発生する可能性があります。

SLS6030E

Cannot create new {CDS|JOURNAL} DDNAME CCCC...CCCC1; CCCCCCCC2

説明: DR テストのデータセット CCCC...CCCC1 を SLUADMIN ユーティリティとともに作成しようとしたが、データセットが不明であるか、CDS コピーまたはジャーナルのデータセットとしての利用に適切でないため、失敗しました。CCCCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZEは4096である必要があります)
- Invalid DSORG (DSORGはPSである必要があります)
- More than one extent
- Invalid UCB type(データセットはDASDにある必要があります)
- Could not obtain VTOC info

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: DR テストのデータセットを作成しようとする場合は、SWUNEWx または SLSJRNX DD 文にそのデータセットが正しく指定されていたことを確認してください。理由が「Could not obtain VTOC info」である場合は、DSN= パラメータ (またはカタログ化されていないデータセットの VOL=SER= パラメータ) パラメータが喪失しているか、正しく指定されていない可能性があります。そのほかの理由についてはすべて、DSN= パラメータがデータセットを正しく指定している場合は、そのデータセットは CDS コピーまたはジャーナルのデータセットとして使用するには不適切であるため、適切な属性を持つ新しいデータセットを再配置して、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6031E

New CDS CCCC...CCCC is of insufficient size; capacity is DDD1 blocks, required capacity is DDD2 blocks

説明: DR テストの CDS データセット、CCCC...CCCC を SLUADMIN ユーティリティとともに作成しようとしたが、データセットのサイズが足りなくて失敗しました。DDD1 の 4096 バイトのブロックのみを持つことができますが、DR テストの CDS には少なくとも DDD2 ブロックが必要です。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: さらに大きな CDS データセットを新しく割り当て、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6032E

BSAM OPEN failed for new CDS CCCC...CCCC

説明: SWUADMIN ユーティリティで DR テストの CDS データセット CCCC...CCCC を作成する試行は、初期化中に失敗しました。BSAM Open 操作は失敗しました。

システム動作: SWUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6033E

BSAM WRITE failed for new CDS CCCC...CCCC, block DDDD

説明: SWUADMIN ユーティリティで DR テストの CDS データセット CCCC...CCCC を作成する試行は、初期化中に失敗しました。BSAM の書き込み作業は、ブロック番号 DDDD の書き込みに失敗しました。

システム動作: SWUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。永続的な 入出力エラーである場合は、新しい CDS データセットを削除し、再配置して、SWUADMIN ユーティリティを再実行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6034E

Copy of CDS CCCC...CCC1 to CDS CCCC...CCC2 failed UBSMIO RC=XXXX

説明: DR テストの CDS データセット、CCCC...CCC1 を CDS コピー、CCCC...CCC2 にコピーしようとしたましたが、SLUADMIN ユーティリティが UBSMIO サブルーチン内で戻りコード XXXX で失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: エラーの処理に役立つ可能性がある BSAM からのほかのエラーメッセージを確認してください。永続的な 入出力エラーである場合は、CDS コピーを削除し、再配置して、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6035E

Nonzero return code from UDB macro; function is CCCCCCCC, RC=XXXX

説明: UDB マクロが、CDS に対する CCCCCCCC 機能に発行され、ゼロ以外の戻りコード XXXX を受け取りました。

システム動作: DRTEST 機能は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: このメッセージ SLS6035E の前に、エラー状況の詳細を説明したもう 1 つのメッセージが表示されます。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6036E

RESET not allowed: CCCC....CCCC

説明: SLUADMIN ユーティリティで CDS の CDRT フラグを RESET しようとしたますが、拒否されました。CCCC....CCCC には、エラーの原因が説明されています。原因は次のいずれかです。

- DR テストの CDS がリセットできない
- DR テストがアクティブではない

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: RESET は、SLUADMIN ユーティリティを先に実行しておいてから、本稼動用 CDS ですべての CDRT フラグを削除するのに使用されます。DR テストの CDS には使用されません。DR テストがアクティブの場合、RESET は実行できません。DR テストが終了するまで待ってから、本稼動用 CDS のリセットを試みてください。

SLS6037I

Journal CCCC...CCCC1 formatted

説明: SLUADMIN ユーティリティが、DR テストのジャーナルデータセット、CCCC...CCCC1 をフォーマットしました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6038E

Insufficient number of SLSJRNxx DD statements for number of DR Host IDs

説明: 必要な DR テストのジャーナルデータセットを SLUADMIN ユーティリティで作成しようとしたが、SLUADMIN ユーティリティのジョブの SLSJRNxx DD 文の数が足りなかったため、失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SLUADMIN のジョブステップに定義されている DR ホスト 1 つにつき、2 つのジャーナルデータセットが必要です。最初のホスト ID には SWUJRN00 と SWUJRN01 が、2 番目のホスト ID には SWUJRN02 と SWUJRN03 などが必要です。適切な数のジャーナルデータセットを割り振り、正しい SWUJRNxx DD 文を指定し、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6039E

CAP AA:LL:CC not in MANUAL mode or not IDLE

説明: SLUADMIN ユーティリティで DR テスト環境を作成しようとしたが、本稼動用の HSC 環境内の CAP 状況のために、失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: DR テスト ACS のすべての CAP は、手動モードかつアイドル状態でなくてはなりません。稼動中の HSC システムから、DISPLAY CAP コマンドを実行してください。DR テスト ACS の CAP がアクティブな場合は、制御側の HSC から Enter または Eject の操作を停止してください。DR テスト ACS の CAP が自動モードの場合は、CAPPREF コマンドで CAP を手動モードに設定してください。続いて、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6040I

RELEASE AA:LL:CC rejected; CAP is active on host CCCCCCCC

説明: RELease コマンドが CAP AA:LL:CC に発行されましたが、CAP はホスト CCCCCCCC でアクティブになっています。

システム動作: CAP が解放されていません。

ユーザーの応答: 当該ホストがアクティブであることを、物理的に確認してください。

- ホストがアクティブな場合は、特定されたホストでRELeaseコマンドを発行してください。
- ホストが非アクティブな場合は、ホストオペランドを指定して RELease コマンドを発行してください。

SLS6041E

Addition of HOSTID will exceed HSC maximum of 16

説明: DR テスト環境を作成しようとしたましたが、CDS にすでに定義されている DRTEST 制御文の HOSTID パラメータで指定されているホスト ID 数と、ホスト数が最大の 16 を越えているため失敗しました。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、DRTEST 機能は終了します。

ユーザーの応答: できれば、DR テスト環境に指定した HOSTID 数を減らしてください。本稼動用 HSC 環境のホスト数がすでに最大の 16 の場合は、ELS クライアント / サーバー機能を使用して、必要な HSC ホスト数を減らすことを検討してから、より少ないホスト ID で CDS を再生成し、DRTEST 機能を再実行してください。

SLS6042E

```
{HOSTID CCCCCCCC|DRACS AA|DRVTS CCCCCCCC|STORMNGR CCCCCCCC}not  
found in Data Base
```

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティで作成しようとしたましたが、DRTEST 制御文に指定された次のいずれかが現行 CDS に存在しなかったため失敗しました。

- HOSTID パラメータに指定されているホスト ID CCCCCCCC
- DRACS パラメータに指定されている ACS ID AA
- DRVTS パラメータに指定されている VTSS 名、CCCCCCC。
- STORMNGR パラメータ上で指定されているストレージマネージャー名、CCCCCCC

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: すべての HOSTID ホスト ID は、現行の本稼動用 HSC/VTCS CDS に存在しなくてはなりません。HOSTID ホスト ID が間違っ指定されている場合は、その指定を訂正してから SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。HOSTID ホスト ID が本稼動用 CDS 内に存在しなかった場合は、HSC SLUADMIN SLUSET ユーティリティ機能でそれを追加してください。同様に、ACS ID、VTSS 名および記憶マネージャー ID は本稼働用 HSC CDS 内に存在する必要があります。このうちいずれかが間違っ指定されている場合は、エラーを訂正してください。続いて、SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6043I

Cannot create DRTEST CDS; DR test is active

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティで作成しようとしたましたが、アクティブな DR テストをそのユーティリティが検出したため、失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 現在の DR テストを停止し、DRTEST STOP コマンドを発行してから SLUADMIN ユーティリティを再実行してください。

SLS6044I

DRTEST START/STOP parameter requires HSC to be active on this system

説明: DR テストを SLUADMIN ユーティリティーで開始または停止しようとしたが、HSC が現在このシステムでアクティブでないため、失敗しました。

システム動作: DR テストを開始または停止せずに、SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: HSC (および VTCS) は、DRTEST START または STOP の実行先システム上でアクティブでなくてはなりません。HSC がアクティブの場合は、DR テストの開始と停止に HSC DRTEST コマンドを使用することを検討してください。DR テスト環境を作成して、SLUADMIN ユーティリティーからの 1 操作で DR テストを開始する場合は、そのシステム上の HSC および VTCS が両方とも完全に初期設定済みであることを確認してから、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6045I

RELEASE AA:LL:CC cancelled

説明: DRAIN コマンドまたは 2 つ目の RELease コマンドが同じ CAP に CAP 回復を開始したときに、RELease コマンドが実行されていました。

システム動作: RELease コマンドは取り消されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6046E

{ACS AA|VTSS CCCCCCCC|STORMNGR CCCCCCCC} status
{ON|OFF|SPARE|NOT SPARE} does not match DRTEST CREATE input

説明: DRTEST PRIMEPRD または DRTEST CREATE 機能が事前に実行されていたので、現行 DRTEST CREATE 構成が本稼動用 CDS と一致しないため、DR テスト環境を作成しようとしたが、失敗しました。次のいずれかです。

- 本稼動用 CDS の ACS ID が、DRTEST ON に設定されているが、ACS ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在しない。
- 本稼動用 CDS の ACS ID が、DRTEST OFF に設定されているが、ACS ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在している。
- 本稼動用 CDS の VTSS ID が、DRTEST ON に設定されているが、VTSS ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在しない。
- 本稼動用 CDS の VTSS ID が、DRTEST OFF に設定されているが、VTSS ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在する。
- 本稼動用 CDS の VTSS ID が、DRTEST ON および SPARE に設定されているが、DRTEST CREATE が SPARE を指定していない。
- 本稼動用 CDS の VTSS ID が、DRTEST ON および NOT SPARE に設定されているが、DRTEST CREATE が SPARE を指定した。
- 本稼動用 CDS の STORMNGR ID が、DRTEST ON に設定されているが、STORMNGR ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在しない。
- 本稼動用 CDS の STORMNGR ID が、DRTEST OFF に設定されているが、STORMNGR ID が現行 DRTEST CREATE 内に存在する。

システム動作: DRTEST CREATE は終了します。リターンコードは 8 です。

ユーザーの応答: DRTEST RESET または DRTEST PRIMEPRD 機能のいずれかを実行し、目的の DRTEST 構成が一致するように、本稼動用 CDS DRTEST 状況をリセットしてください。続いて、DRTEST CREATE 機能を再実行してください。

SLS6047E

NOUPDPRD not allowed; PRIMEPRD function was not executed

説明: DR テスト環境を作成しようとしたしましたが、DRTEST CREATE オプションの NOUPDPRD が指定されても、PRIMEPRD 機能が事前に実行されていなかったため、失敗しました。

システム動作: DRTEST CREATE は終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: PRIMEPRD 機能を実行するか、または NOUPDPRD パラメータを削除してください。

SLS6049I

SLSCNTLx specifications do not match SLSNEWx specifications

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたんですが、現行の HSC CDS 構成が、指定された SLSNEWx DD 文のものに一致しないため、失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: DR テスト CDS の CDS コピー数は、現行 HSC CDS のコピー数と同じでなくてはなりません。現行 HSC CDS にシャドウおよびスタンバイコピーがある場合は、SLSNEW1、SLSNEW2、および SLSNEW3 DD 文を SLUADMIN JCL に指定する必要があります。現行 CDS コピー数を判断して、適切な数の SLSNEWx DD 文を指定し、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6050I

MMMMMMM macro failure RC=XXXX, reason code=XXXXXXXXX

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムは、システムマクロ (MMMMMMMMM) を呼び出すエラーを受信しました。戻りコード (XXXX) の内容は R15 です。理由コード (XXXXXXXXX) の内容は R0 です。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: 問題を診断して解決してください。(指定されたマクロについては、該当マニュアルを参照してください)。そのあと、ユーティリティーを再度実行してください。

SLS6051I

Insufficient work area length for CCC entries; increase value in program for max entries

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムによって作成されたデータスペースの作業域の大きさは、抽出された CDS または TMC (CCC) レコード数を収容するのに十分ではありません。データスペースのサイズをフィールド DATSPASZ の値に増やす必要があります。

システム動作: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: フィールド DATSPASZ でデータスペースサイズの値を増やし、SLUCONDB プログラムの組み立てとリンクを行い、ユーティリティーを再実行します。

SLS6052I

No CCC records found to extract

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムは、CDS または TMC (CCC) レコードの抽出を試行しましたが、レコードは抽出されませんでした。

システム動作: ユーティリティーは、リターンコード 4 で終了します。

ユーザーの応答: 結果が正しいかどうかを判断し、そうでなければ問題を特定し、ユーティリティーを再実行します。

SLS6054E

VTCS CCCCCC CDS level is incompatible with utility maintenance level.

説明: CCCCCC CDS は、現在 MERGE ユーティリティーではサポートされていないタイプであることがわかりました。VTCS 関連のマージ処理は、「マージ先」および「マージ元」の CDS の拡張モードフォーマットをサポートします。

システム動作: マージ処理は、VTCS 関連のリソースを「マージ先」CDS に組み込みません。

ユーザーの応答: なし

SLS6055I

Merge unlinking VTV VVVVVV from MVC MMMMMM Maximum supported copies reached.

説明: マージ処理は、「マージ先」および「マージ元」の CDS のマージ処理の間、MVC MMMMMM からの VTV VVVVVV コピーのリンクを切断しています。余分なコピーは、各 MVC からリンクされません。

システム動作: 「マージ先」CDS への書き込み処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6056I

{SCRATCH UPDATE} not allowed, volume invalid/not defined in DRTEST subpool

説明: DR テスト環境に Scratch コマンド機能が必要でしたが、そのボリュームが DRTEST サブプール内に見つかりませんでした。スクラッチ機能は、実行されませんでした。このメッセージは、ボリュームシリアル番号 (VOLSER) がライブラリに定義されていない場合にも、表示されます。

システム動作: ボリュームはスクラッチされません。

ユーザーの応答: DR テスト環境でボリュームスクラッチをマークするには、そのボリュームを POOLPARM ユーティリティーの文で DRTEST パラメータでサブプールに定義しておく必要があります。

SLS6070E

CCCCCCCCC

説明: CDS Record Analyzer ユーティリティーに、エラー状況が発生しました。CCCCCCCCC は次のいずれかになります。

Database initialization failed (データベースの初期設定に失敗しました)

{SLSCNTL|SLSCNTL2|SLSSTBY} BSAM OPEN failed (SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY の BSAM のオープンに失敗しました)

{SLSCNTL|SLSCNTL2|SLSSTBY} BSAM READ failed (SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY の BSAM の読み取りに失敗しました)
CDS subfile read failed for subfile *ssss* (サブファイル *ssss* の CDS サブファイルの読み取りに失敗しました)
CDS subfile access failed for subfile *ssss* (サブファイル *ssss* の CDS サブファイルのアクセスに失敗しました)
CDS optional subfile access failed for *ssss* (*ssss* の CDS オプションのサブファイルのアクセスに失敗しました)
Basic analysis: errors found (基本解析: エラーが検出されました)
Detailed analysis: errors found (詳細解析: エラーが検出されました)
VSM analysis: errors found (VSM 解析: エラーが検出されました)

システム動作: ユーティリティは、発生した状況によって、完了するまで実行されるか、状況コード 4、8、または 12 で早期終了します。

ユーザーの応答: これ以外のメッセージについては、ユーティリティ出力を参照してください。この障害が詳細に説明されています。必要に応じて、変更を加えてこの状況を訂正してから、このユーティリティを再実行してください。

SLS6086I

Hostid CCCCCCCC already defined in the CDS

説明: 新しいホストのホスト ID CCCCCCCC が、データベースの既存のホスト ID と重複しています。

システム動作: ユーティリティの処理は終了します。

ユーザーの応答: 新しいホスト ID を選択して、ユーティリティを再送信します。

SLS6088I

Cartridge *volser* entered into LSMID *acsid:lsmid* on DRTEST host, audit ACS or eject cartridge after DRTEST

説明: カートリッジは、Disaster Recovery (DR) ACS に挿入されてそのボリュームシリアル番号が光学的に確認されてから、新しい位置に移動できます。Disaster Recovery テストの完了後、DR ACS を監査するか、または DRTEST が終わった後にカートリッジをイジェクトしてください。

システム動作: ボリュームシリアル番号 *volser* がライブラリに入力されました。その位置は、指定の ACS および LSM 内にあります。

ユーザーの応答: カートリッジをイジェクトするか、または DRTEST が終わった後に ACS を監査してください。

SLS6089E

STORMNGR CCCCCCCC not connected to any VTSS in the DRVTSS parameter.

説明: SLUADMIN ユーティリティで DR テスト環境を作成しようとしたますが、STORMNGR パラメータ内で指定された記憶マネージャー ID CCCCCCCC が DRTEST 制御文の DRVTSS パラメータ内で指定された VTSS のいずれにも接続できないため、失敗しました。

システム動作: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: STORMNGR パラメータで指定された記憶マネージャー ID を訂正して、SLUADMIN ユーティリティを再度実行してください。

SLS6600E

Communications to TTTTTTTT is down and affecting DDDDDDDD

説明: TapePlex TTTTTTTT との通信時に失敗が検出されました。このため、パスまたはデバイス DDDDDDDD は機能できません。

システム動作: TapePlex への通信がオンラインに戻ったときにそのことを検出できるように、通常の再試行が実行されます。その時点まで、このパスまたはデバイスは使用されません。

ユーザーの応答: 指定された TapePlex までの SMC 経由の通信に問題がある理由を突きとめ、それを修正してください。

SLS6601I

RTD path PPPPPPPP from SSSSSSSS to DDDDDDDD available for use

説明: SSSSSSSS を DDDDDDDD に接続する PPPPPPPP という名前のパスが、要求を処理できるようになりました。このメッセージは、HSC 起動時、パスのオンライン切替後、エラー条件によるパスのリセット後に発行されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6602I

NNNN DATASET(S) FOUND MATCHING pattern.

説明: MVS カタログ検索で、指定されたパターン *pattern* に一致する NNNN データセット名を検出しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: データセット名が正しくない場合は、入力を訂正してもう一度ユーティリティを実行してください。

SLS6603I

ttt VVVVVV information:

説明: 次のコマンドの結果を表示します。

- Query CLINK
- Query CLUSTER
- Query CONFIG
- Query LOCKs
- Query MIGrate
- Query MVC
- Query MVCPool
- Query PATH
- Query REPLicat
- Query STORMNgr
- Query VSCRatch
- Query TASKs
- Query VTD
- Query VTSS
- Query VTV
- SET MIGOPT

メッセージ SLS6603I には、SET MIGOPT コマンドが処理された後、各種 VTSS の属性が表示されます。出力の一例を次に示します。

VTSS HBVTSS16: HAMT = 65 LAMT = 55 MAXMIG = 5 MINMIG = 2

VTSS HBVTSS17: HAMT = 70 LAMT = 60 MAXMIG = 3 MINMIG = 1

VTSS - VTSS 名。この VTSS の各値は、次のとおりです。

HAMT - 自動マイグレーション上限値。

HAMT - 自動マイグレーション下限値。

MAXMIG - 最大マイグレーションタスク数。

MINMIG - 最小マイグレーションタスク数。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6604E

CDS format is not compatible with VTCS V5.0/V5.1

説明: フォーマットが不明またはサポートされていないため、VTCS V5.0/V5.1 で CDS を処理できません。

システム動作: VTCS の処理は終了します。

ユーザーの応答: CDS のフォーマットが次の 1 つであることを確認してください:

- 標準フォーマット (V4/V5.0.V5.1)
- 拡張フォーマット (V5.0.V5.1)

CDS が正しく設定されている場合、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6605I

Initiating swap of MVC VVVVVV from RTD DDDDDD

説明: RTD DDDDDD 上の MVC VVVVVV への書き込み時または読み取り時に、データチェックが検出されました。

システム動作: 現在実行している処理は、別の RTD 上で再試行されます。別のドライブ上でのこの処理の再試行が失敗すると、MVC はエラーとしてマークされ、代替 MVC を使用して処理が試行されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

- MVC が破損しているか、または MVC が原因となっている可能性がある場合には、MVC から VTV を削除するため、VT MVCDRAIN を使用してください。
- 同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6606I

CDS is not configured for VTCS

説明: VTCS コンポーネントがインストールされていて有効になっていますが、CDS で構成情報が見つかりませんでした。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6607I

RC XXXX from SORT - MVC detail report not generated

説明: MVC 詳細レポート処理時にソートを試行したところ、ソートユーティリティーから戻りコード XXXX が戻されました。

システム動作: レポートの詳細部は作成されません。

ユーザーの応答: JOBLOG で、問題に関する詳細な情報を示すメッセージを確認してください。

ソートの実行に必要な DD 文がすべて存在することを確認してください。

SLS6608E

No virtual devices defined for VTSS XXXXXXXX

説明: VTSSXXXXXXXX との通信のために定義されている有効な仮想デバイスがありません。これは、ハードウェアエラーが原因で発生したか、または構成で設定されているデバイスが、正しい VTSS 上の仮想デバイスでなかったことが原因で発生した可能性があります。

システム動作: 処理が続きますが、VTSS はオフラインモードにあるとみなされます。VTSS XXXXXXXX 中の VTV は、アクセス可能な MVC に VTV のコピーがある限りほかの VTSS を通じてアクセス可能です。オフラインモードで VTSS の稼働を続けると、オフライン VTSS 内に VTV の古いコピーか重複したコピーが残ることになります。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、仮想デバイスが検出されない原因が記録されているかどうかを確認してください。

VTCS 構成の内容を調べて確認してください。MVS およびプロセッサの構成を調べて検証してください。このメッセージは通常は SLS6675E メッセージによって処理されます。

追加のユーザーの応答については、SLS6675E を参照してください。問題を訂正してから HSC を再起動してください。VTSS がオフラインモードで稼働している場合、VTSS から古いコピーまたは重複したコピーの VTV を削除するため VTSSAUDIT をスケジューリングしてください。

SLS6609I

Configuring VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX のサーバータスクによって、VTSS 名が設定されていないことが検出されました。

システム動作: VTSS は、CDS に保管されている名前を使用して構成されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6610E

Unable to open DCB for DDDDDD DD

説明: ユーティリティの実行中に、DD DDDDDD に関連付けられているデータセットを開けませんでした。

システム動作: ユーティリティ機能は失敗します。

ユーザーの応答: JOBLOG で、問題に関する詳細な情報を示すメッセージを確認してください。

要求されているユーティリティ機能を実行するために必要な DD ステートメントがすべて存在していることを確認してください。

SLS6611I

NNNNNNNN MVCS contain free space in ACS|MVCPOOL AA|PPPPPPPP

説明: ACS AA またはメッセージテキスト内に示された MVCPOOL PPPPPPPP の中に、NNNNNNNN の空の MVC があります。これらの MVC は、マイグレーション済み VTV を ACS またはメッセージテキスト内に示された MVCPOOL 内に受け入れるために使用できます。この MVC の数には、VTV が格納されている MVC は含まれていません。

システム動作: 空き MVC の数が大幅に少ない場合には、自動スペースリクレイム機能が開始されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6613E

NNNNNNNN requests are stalled awaiting offline RTDs

説明: 使用できる RTD がすべてオフライン、または保守管理状態にあるために、システム内で保留されている要求の数が表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: VT DISPLAY QUEUE DETAIL コマンドを使用して、保留されている要求を確認してください。VT VARY コマンドを使用して、いくつかの適切な RTD をオンラインにしてください。

SLS6614I

Scratch subpool PPPPPPPP contains NNNNNNNN VTVs

説明: スクラッチサブプール PPPPPPPP 内のスクラッチ VTV の数が示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6615I

NNNNNNNN MVCs are candidates for space reclaim in ACS|MVCPOOL AA|PPPPPPPP

説明: スペースリクレイム処理を実行するために十分な削除済みスペースを持つ ACS AA または MVCPOOL PPPPPPPP 内の MVC の数が示されます。

システム動作: この数値が再利用開始限界値を超えると、自動スペースリクレイム処理が開始されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6616I

Automatic space reclaim scheduled for ACS|MCPOOL AA|PPPPPPPP

説明: ACS AA またはメッセージテキスト内に示された MVCPOOL PPPPPPPP 内のスペースリクレイムに適格な MVC の数が、開始限界値を超えました。スペースリクレイム要求がサブミットされました。

リクレイムが ACS にスケジュールされている場合は、ACS AA 内の適格な MVC からリクレイム側スペースに優先順位が与えられます。

リクレイムできる最大 MVC 数に満たない場合は、ほかの ACS の適格な MVC もリクレイムされることがあります。

MVCPool にリクレイムがスケジュールされる場合は、その MVCPool からの MVC のみがリクレイムされます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6617E

VTSS XXXXXXXXX has no compatible devices for accessing MVC
VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXXX からボリューム VVVVVVV にアクセスする必要がある要求があります。しかし、このボリュームへのアクセスをサポートするために必要な、互換性を備えた RTD が VTSS に接続されていません。

システム動作: この要求は失敗しました。

ユーザーの応答: MVC の VOLATTR 定義を検証してください。マルチ VTSS 環境において、VTSS 間に互換性のない RTD デバイスが存在している場合にこの状態が発生することがよくあります。適切な RTD を接続した VTSS を使用するために、JCL を変更しなければならないことがあります。

SLS6618E

VTSS XXXXXXXXX has no devices in ACS AA for accessing MVC
VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXXX からボリューム VVVVVVV にアクセスする必要がある要求があります。VTSS の ACS AA に、このボリュームをサポートする適切な RTD がありません。

システム動作: 別の ACS の RTD が選択されます。

ユーザーの応答: 現在の ACS からボリュームを取り出し、最終的に選択された ACS へこのボリュームを投入するためには、オペレータによる処理が必要です。

マルチ VTSS 環境において、VTSS と複数の ACS 間でのアクセスが制限されている場合に、この状態が発生することがよくあります。手動での介入を防ぐには、JCL を変更して適切な RTD が接続された VTSS を使用する必要があることがあります。

SLS6619E

RTD CCCCCCCC has an unrecognized device type of XXXXXXXX

説明: RTD CCCCCCCC の初期化中に、このデバイスのタイプが XXXXXXXX であることが HSC によって示されました。これは RTD のデバイスタイプとして適切ではありません。

システム動作: RTD は故障しているものとして認識されるため、使用できない状態になります。

ユーザーの応答: 構成を確認してから HSC を再起動してください。

SLS6621E

XXXXXXXXX server task termination detected

説明: サーバー XXXXXXXXX が何らかの理由により異常終了しました。

システム動作: VTCS サブシステムのそのほかの部分はクローズされます。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6623I

VCI response=#

説明: VTCS に、記載されている VCI 要求 (#) への応答が指定されました。VCI とは、VTCS 内で内部的に使用されているプロトコルです。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: VCI 要求 / 応答をお客様に非表示にすべき場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6624I

Invalid command string length for XXXXXXXX utility

説明: XXXXXXXXX ユーティリティのパラメータが欠落しているか、またはパラメータが内部バッファのサイズを超えています。

システム動作: ユーティリティ要求は無視されます。

ユーザーの応答: ユーティリティ要求のパラメータを確認してください。

SLS6625E

RTD DDDDDD reported RRRRRRRR: XXXXXXXX

説明: DDDDDD についてエラーが報告されました。このエラーの原因が RRRRRRRR に示されます。XXXXXXXXX には、RTD から VTSS へ報告されたセンスバイトが示されます。

システム動作: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

特定の MVC で問題が発生する場合には、メディアが何らかの損傷を受けている可能性があります。VT MVCDRAIN EJECT コマンドを使用して、MVC からのデータの回復を試行してください。

SLS6626E

Failed to VARY OFFLINE RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX の共有 RTD DDDDDD をオフラインに切り替える ECAM 要求が失敗しました。この RTD デバイスを別の VTSS へ切り替える操作は完了しませんでした。

システム動作: エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6627E

Failed to VARY ONLINE RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX の RTD DDDDDD をオンラインに切り替える ECAM 要求が失敗しました。別のサブシステムからこの RTD デバイスを切り替える操作が完了しなかったか、またはこの RTD デバイスを初めてオンラインに切り替える時に失敗しました。

システム動作: エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

この RTD がほかのシステムに対してオンラインになっていないことを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6628E

RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX failed to mount MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX に接続している RTD DDDDDD に MVC VVVVVV をマウントする ECAM 要求が失敗しました。

システム動作: エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

この MVC が適切な ACS に常駐していることを確認してください。

- 同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。
- 特定の MVC で問題が再発する場合には、メディアが物理的な損傷を受けていないかどうか確認してください。

SLS6629E

RTD DDDDDDDD on VTSS XXXXXXXX failed to dismount MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX に接続している RTD DDDDDDDD から MVC VVVVVV をマウント解除する ECAM 要求が失敗しました。

システム動作: エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、Sun StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

特定の MVC で問題が再発する場合には、メディアが物理的な損傷を受けていないかどうか確認してください。

SLS6630I

Orphan copy of VTV VVVVVV in offline VTSS XXXXXXXX.

説明: VTSS がオフラインモードで実行されたため、VTSS XXXXXXXX 内に、VTV VVVVVV の古いコピーまたは重複したコピーが作成されました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: VTSS がオンラインモードに戻ると、古いまたは重複した VTV コピーを削除するために、VTSSAUDIT をスケジュールする必要があります。

SLS6631I

VTSS: XXXXXXXX1 VTV: VVVVVV duplicate deleted from XXXXXXXX2

説明: VTSS XXXXXXXX1 上の VTV VVVVVV の状況を調べているときに、VTSS XXXXXXXX2 に VTV VVVVVV の期限切れのバージョンが重複していることが検出されました。

システム動作: VTSS XXXXXXXX2 上の VTV のコピーが削除されます。

ユーザーの応答: このメッセージは通常運用時に発生する可能性があります。それは、VTSS XXXXXXXX2 がオフラインになり、VTSS XXXXXXXX2 がオンラインになっている間に別の VTSS で VTV VVVVVV の余分なコピーが作成された場合です。

たとえば、次のイベントシーケンスでメッセージ SLS6631I が生成されます。

- VTSS XXXXXXXX2 で VTV VVVVVV が作成されます
- VTV VVVVVV がマイグレーションされますが、VTSS XXXXXXXX2 内に残されます。
- VTSS XXXXXXXX2 がオフラインに変更されます。
- VTV VVVVVV が VTSS XXXXXXXX1 内にリコールされます。VTCS は、オフラインになっている VTSS XXXXXXXX2 内の VTV VVVVVV のコピーを削除できません。
- VTSS XXXXXXXX2 がオンラインに変更されます。

それ以外の場合、この問題について調査する必要があります。このメッセージが表示される場合、VTCS が VTSS の内容と同期を取っていない可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTSS の内容を CDS に合わせて再統合するために、AUDIT VTSS ユーティリティーを実行することを検討してください。

問題が再発し、隔離できない場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6632I

VTSS XXXXXXXX server ready; state is SSSSSSSS

説明: VTSS XXXXXXXX のメインサーバーサブタスクが開始され、現在サーバーは稼動可能な状態になっています。次のいずれかの状態になります。

- QUIESING – 静止中
- QUIESCED – 静止状態
- OFFLINE – オフライン
- OFFLINE-P – オフライン保留
- ONLINE – オンライン
- ONLINE-P – オンライン保留
- STARTED – VTSSは初期化され、要求された状態 (オンライン、オフライン、または静止状態) に変更されています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6633I

VTSS XXXXXXXX server task termination detected:

説明: VTSS XXXXXXXX のサーバタスクが何らかの理由で異常終了しました。

システム動作: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6634I

RTD DDDDDD available for use

説明: RTD DDDDDD は現在要求を処理できる状態にあります。このメッセージは、HSC 起動時、RTD オンライン切替後、エラー条件による RTD リセット後に発行されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6635I

Auto migration to MVC VVVVVV completed

説明: 自動マイグレーションによる MVC VVVVVV への VTV のマイグレーションが完了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6636I

Demand migration to MVC VVVVVV terminated

説明: 明示的な VTV マイグレーション要求が完了しました。したがって、MVC VVVVVV の使用も終了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6637I

Recall from MVC VVVVVV completed

説明: 明示的な VTV リコール要求が完了しました。したがって、MVC VVVVVV の使用も終了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6638I

MVC VVVVVV selected for FFFFFFFF VTSS:XXXXXXX STORCL:CLASS

説明: 機能 FFFFFFFF に対する新しいボリュームとして、マイグレーションが、VTSS XXXXXXXX から VVVVVV を選択しました。この機能はマイグレーション、リクレイム出力または統合のいずれかになります。MVC は、ストレージクラス SSSSSSSS の基準で、また選択的に ACS AA から選択されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SL\$6639I

Waiting for host HHHH To complete CONFIG RESET for VTSS
XXXXXXXX

説明: CONFIG ユーティリティーが最後に実行された時、リセットパラメータが指定されました。その結果、ホスト HHHH は、VTSS XXXXXXXX の内部構成を現在クリアしてリセットしています。

システム動作: VTSS サーバーのスタートアップは、指定されたホストが処理を完了するまで延期されます。

ユーザーの応答: ホスト HHHH がアクティブでない、または何らかの障害が発生している場合は、ほかのホストで問題を修正し、HSC の再起動をする必要があります。これにより処理を再起動します。

SL\$6640I

VTV VVVVVV not migrated from VTSS XXXXXXXX because of status change

説明: VTV VVVVVV を VTSS XXXXXXXX から MVC にマイグレーションしようとしたが、コマンドが発行された時点以降に VTV の状況が変化したことが検出されました。

システム動作: VTV のマイグレーションはスキップされます。

ユーザーの応答: このメッセージは警告のためだけに表示されます。コマンド発行時に妥当性検査が実行された時点から、マイグレーションが試行された時点までにかなりの遅れがあるため、別に VTV レコードの更新要求が発行された可能性があります。したがって、マイグレーションを要求した時点での目的は現在では無効になっている可能性があります。

次の原因により、VTV ステータスが変更されることがあります。その場合、検証実行後、マグレーションの試行前に変更されます。

- VTV がスクラッチされる。
- VTV がマウントされるが、マウント解除されない。
- VTV がマグレーションされ、別の VTCS タスクによって VTSS から削除される。
- VTV が、アプリケーションプログラムによって読み出されるか書き込まれる (したがって、マウント済みかつマウント解除済み)。

SL\$6641I

VTV VVVVVV failed migration from VTSS XXXXXXXX because of a busy condition

説明: VTSS XXXXXXXX から MVC への VTV VVVVVV のマイグレーションが実行されたときに、VTSS によって VTV 使用中状態が戻されました。

システム動作: VTV のマイグレーションはスキップされます。

ユーザーの応答: この問題について調査する必要があります。このメッセージが表示される場合、VTSS が VTV に対して何らかの処理をすでに実行している可能性があります。VTCS が VTSS の内容との同期を取れなかったか、あるいはハードウェアエラーが発生している可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。問題が再発し、隔離できない場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6642I

MVC VVVVVV incorrectly mounted on drive DDDDDD

説明: MVC VVVVVV が RTD DDDDDD にマウントされていますが、この MVC は予期されている MVC とは異なります。

システム動作: RTD がアンロードされ、本来要求された MVC が利用できる状態になるまで待機します。

15 分間経過してもマウント状況が不適切な場合には、マウントは時間切れとなり、MVC は LOST としてマークされます。

ユーザーの応答: この問題は、ドライブに残っているボリュームが原因で発生した可能性があります。ドライブに残っているボリュームが原因の場合には、アンロードを実行すれば、予期されていた MVC のマウントが成功します。

本来のマウント要求への応答としてロードされた MVC が正しいのにこのメッセージが表示される場合には、MVC のラベルが誤っていることを示します。この場合、MVC を初期化し直す必要があります。

SLS6643I

MVC VVVVVV mounted on drive DDDDDD

説明: MVC VVVVVV が RTD DDDDDD に正常にマウントされました。MVC VVVVVV は現在使用できる状態になっています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6644I

VTV VVVVVV recalled from MVC:MMMMMM location:PPPP/BBBBBBBB

説明: VTV VVVVVV が MVC MMMMMM から正常にリコールされました。VTV は、パーティション PPPP と MVC 上のブロック BBBBBBBB からなる物理的な場所からリコールされました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6645I

VTSS XXXXXXXX is number1% full of number2 VTVS

説明: VTV のデータは、VTSS XXXXXXXX の number1% に達しています。VTSS には現在、number2 個の VTV が格納されています。

システム動作: このパーセンテージが現在の VTSS 上限値を超えると、自動マイグレーションが開始されます。自動マイグレーションは、このパーセンテージが 97% 以上に達した場合にも開始されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6646E

VTSS VVVVVVVV has requests stalled awaiting CLINKs to XXXXXXXX

説明: VTSS VVVVVVVV に、クラスター XXXXXXXX 内、または電子エクスポート内の、TapePlexXXXXXXXXX へ複製する要求がある。CLINK がオフライン状況にあるため、これらの要求の中には停止するものもあります。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: VT DISPLAY REPLICAT コマンドを使用して、保留されている要求を確認してください。VT VARY コマンドを使用して、いくつかの適切な CLINK をオンラインにしてください。

SLS6647I

Stopping auto migration on VTSS XXXXXXXX

説明: 自動マイグレーション実行中に、VTSS XXXXXXXX が下限値に達しました。

システム動作: 適切な値に達した時点で、この VTSS に対して実行されている自動マイグレーション要求は終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS6648I

VTV VVVVVV failed recall to VTSS XXXXXXXX

説明: VTSSXXXXXXXXX への VTV VVVVVV のリコールで発生したエラーから回復しようとしたますが、回復処理が失敗しました。

システム動作: この VTV はスキップされます。この回復処理の失敗によって、要求を開始できなくなることがあります。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6649I

VTV VVVVVV had data errors on recall

説明: VTV VVVVVV のリコール中に、データチェックが発生しました。リコールは完了しましたが、VTV にはデータが欠落した領域を示す仮想データチェックが含まれています。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

メディアが何らかの損傷を受けている可能性があります。VT MVC DRAIN EJECT コマンドを使用して、MVC からのデータの回復を試行してください。

SLS6650I

VTCS communications interface initialization started

説明: HSC と VTCS との間の通信インタフェースが開始されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6651E

VTCS communications interface initialization failed

説明: HSC と VTCS との間の通信インタフェースが何らかの理由で失敗しました。

システム動作: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6652E

Copy of VTV VVVVVV missing from MVC MMMMMM

説明: 仮想ライブラリ内で MVC MMMMMM の内容を再統合中に、VVVVVV の VTV コピーが喪失していることがわかりました。

システム動作: MVC への処理は異常終了します。

ユーザーの応答: CDS と仮想ライブラリの同期が外れた理由を究明してください。必要に応じて、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CDS の内容を仮想ライブラリの内容に戻すには、MVC の MVC AUDIT を実行してください。

SLS6653I

VTCS main task starting

説明: VTCS での要求を処理するメインタスクが開始しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6654I

VTCS main task waiting for work

説明: VTCS メインタスクは、HSC からの要求を処理できる状態にあります。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6655I

VTCS main task terminating

説明: VTCS メインタスクは、HSC からシャットダウン要求を受信しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6656I

CONFIG error: XXXXXXXX

説明: 構成ユーティリティーの実行中に、構成パラメータのこれまでのステートメントのいずれかでエラーが検出されました。メッセージ XXXXXXXX は、エラーの原因を示します。

システム動作: 以降の構成文は処理されますが、新しい詳細データを使用して CDS が更新されることはありません。

ユーザーの応答: 構成ユーティリティーを再実行する前に、構成を検証して文を変更してください。

SLS6657E

Attempt to mount fenced VTV VVVVVV

説明: VTV VVVVVV のマウント要求が受信されましたが、VTV VVVVVV は分離された状態にあります。VTV の内容は予期できない状態にあるため、マウントを実行することは危険です。

VTV がスクラッチされており、この VTV を使用してスクラッチマウントが正常に実行できた場合には、この VTV を再利用できます。

システム動作: マウント要求は失敗します。

ユーザーの応答: 可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTV のデータを再作成する必要があります。

問題が再発し、隔離できない場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6658E

VTV VVVVVV is being recovered on VTSS XXXXXXXX

説明: VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTSS XXXXXXXX が VTV に対して回復処理を実行しています。

システム動作: VTV に対する処理は後ほど再試行されます。VTV の内容に信頼性がないことが検出された場合、現時点では VTV が分離されている可能性があります。

問題を検出した要求は失敗します。

ユーザーの応答: この問題の原因は、VTSS でこれまでに発生したハードウェアエラーにあります。StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、原因となる問題がログに記録されているかどうか、あるいは報告されているかどうかを確認してください。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

回復処理が完了していることが検出されたら、データの整合性を確認するために VTV の内容を調べる必要があります。

SLS6659I

VTSS XXXXXXXX SIM:MMMM

説明: VTSS XXXXXXXX への ECAM 実行中に、SIM メッセージが保留されているという通知が戻されました。この SIM メッセージのセンス情報は MMMM です。

システム動作: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: この情報を StorageTek ハードウェアサポートへ報告してください。

SLS6660I

RTD server for XXXXXXXX termination detected

説明: RTD XXXXXXXX のサーバタスクが何らかの理由で異常終了しました。

システム動作: この影響を受ける RTD は使用不可能な状態になります。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6661E

All RTD servers terminated - VTCS terminating

説明: VTSS に関する RTD サーバタスクがすべて、何らかの理由で異常終了しました。

システム動作: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6662E

RTD DDDDDD put in maintenance mode because of error

説明: RTD DDDDDD で一般的な障害が発生しました。このデバイスは、操作不能、構成されていない、あるいは不良であると報告されました。このデバイスは停止されました。

システム動作: この RTD 上で現在処理されている要求は、別の RTD 上で再試行されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。エラーの性質に関して何かほかの情報がなければ、どうかを調べてから、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。

SLS6663I

clink/rtd task starting/terminated for device vtssname
deviceid

説明: サーバーのタスクは、次のいずれかに対して起動または終了しました:

- RTD *deviceid*
- CLINK *vtssname deviceid*

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6664I

CDS is not compatible with VTCS

説明: このレベルの VTCS では、CDS のフォーマットが認識されないか、プログラミングサポートがないためにオプション機能をアクティブにできていないため、このレベルの VTCS では CDS を処理できません。

システム動作: VTCS の処理は終了します。VTCS が HSC/VTCS サブシステムの中で起動している場合は、クローズされます。

ユーザーの応答: CDS が最新バージョンの VTCS ライブラリで構成されていることを確認するか、互換性のある CDS を生成する VTCS ライブラリのバージョンであることを確認してください。

さらに、これらのライブラリに正しい保守が行われているかどうかを確認し、HSC/VTCS が正しいバージョンのコードで起動されていることを確認してください。

最後に、別のレベルの VTCS を実行しながら、該当するドキュメントを参照して、省略されていたり間違っていた手順がないか、確認してください。

CDS が正しく設定されている場合、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6665I

VTCS main task normal termination complete

説明: VTCS のメインタスクの終了処理が完了しました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6666E

VTCS main task abnormal termination detected

説明: VTCS のメインタスクが何らかの理由で異常終了しました。

システム動作: VTCS サブシステムのそのほかの部分はクローズされます。

ユーザーの応答: SYSLOG を参照して、異常終了の原因が記録されているかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。

SLS6667I

Request purged:XXXXXXXX {on VTD:DDDDDD} {MVC:MMMMMM}
{VTV:VVVVVV} RRRRRRRR

説明: タイプ XXXXXXXX の要求が失敗しました。この要求は任意指定によって VTD DDDDDD へ送られました。現在処理されている MVC は MMMMMM、現在の VTV は VVVVVV です。RRRRRRRR は、要求が失敗した主要な原因を示します。これは、テキストによる説明の場合と、問題の原因となった内部 HSC リターンコードの場合があります。

このメッセージは要求の異常終了を示す一般的なメッセージです。原因としては、ハードウェアエラー、ソフトウェアエラー、オペレータによる介入、何らかの解決不可能なエラー状況があります。

システム動作: 示されている要求は終了します。

ユーザーの応答: 通常、このメッセージは何らかの障害状態が原因で表示されます。SYSLOG を参照して、エラーの特質に関する情報を示す記録があるかどうかを調べてください。エラーの内容によっては、実行したコマンドやユーティリティーを、前回と同じパラメータまたは異なるパラメータを設定して再度実行する必要があります。ソフトウェアエラーが原因の場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6668I

Configuring RTD DDDDDDD

説明: RTD DDDDDDD のサーバータスクによって、RTD が未構成であることが検出されました。

システム動作: RTD は、CDS に保存されている詳細データに従って構成されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6669I

RTD configuration mismatch DDDDDDD1:DDDDDD2 CCC1:CCC2

説明: RTD DDDDDDD1 のサーバータスクによって、CDS の構成詳細データと VTSS の構成詳細データの間に不一致が検出されました。

RTD DDDDDDD2 には、CCC1 ではなく CCC2 のチャンネルインタフェースの詳細があります。

システム動作: VTSS に保存されている構成を使用して処理が続行されます。

ユーザーの応答: CDS の構成が誤っている場合には、RTD 詳細データをリセットするため、構成ユーティリティーを再実行してください。

VTSS の構成が誤っている場合には、VTSS オペレータパネルを使用して RTD を未構成の状態にリセットし、VT VARY コマンドを使用して RTD をオンラインに切り替えてください。

SLS6670E

RTD DDDDDDDD failed XXXXXX configuration with CC=CCC RC=RRR

説明: RTD DDDDDDDD が未構成であることが検出されたため、CDS の詳細データに従ってこのデバイスの構成が試行されました。要求が完了コード X'CCC'、理由コード X'RRR' で失敗しました。XXXXXX は、エラーを報告したのが VTSS、実際のライブラリのどちらなのかを示します。

システム動作: RTD は損傷状態にあります。

ユーザーの応答: RTD が正しく構成されていることを確認してください。

この RTD がほかのシステムに対してオンラインになっていないことを確認してください。問題を解決できない場合には、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6671E

PPPPPPPP scratch pool empty, Reply R to retry

説明: サブプール PPPPPPPP に仮想スクラッチボリュームがありません。

システム動作: スクラッチレベルは 10 分ごとに再チェックされます。スクラッチボリュームが使用可能になるまで、示されているサブプールのスクラッチマウントは保留となります。

ユーザーの応答: HSC のスクラッチ同期ユーティリティを実行して、TMC の最新のスクラッチボリュームの詳細データが CDS に格納されるようにします。

保留されているスクラッチマウント要求を再試行するため、このプロンプトで「R」と応答します。HSC の SCRPOOL 定義を調べて、この定義で記述されている仮想ボリューム範囲が正しいことを確認してください。CDS に VTV ボリュームの範囲を新たに追加することについて検討してください。

SLS6672E

Invalid utility control statement

説明: SWSADMIN ユーティリティが継続またはほかの一般構文エラー（括弧の不一致など）をユーティリティ制御文上に検出しました。または、連結制御文（SWSADMIN オーバーヘッドの 9 バイトを含む）が 32000 文字の最長文字数制限を超えています。

システム動作: 制御文は無視され、リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、SWSADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS6673I

Configured virtual drive DDDDDD marked nonexistent

説明: VTCS 構成で VTD DDDDDD が定義されていますが、この VTD は VTSS 内に存在しません。構成で定義されているデバイスの数が、VTSS モデルがサポートできるデバイス数よりも多い場合に、この状態が発生することがよくあります。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: VTCS 構成を検証してください。

SLS6674I

Invalid range VVVVV1 - VVVVV2 specified

説明: ユーティリティまたはコマンドに指定された VVVVV1-VVVVV2 というボリューム範囲は、有効なボリューム範囲ではありません。

システム動作: コマンドまたはユーティリティは失敗します。

ユーザーの応答: 誤ったボリューム範囲を訂正してから、コマンドまたはユーティリティを再送信してください。

SLS6675E

VTSS:XXXXXXXX VTD:DDDDDD configuration error RC=RRRRRRRR
subsystem info:ZZZZZ1/ZZZZZ2/ZZZZZ3

説明: VTSS XXXXXXXX に接続されている仮想ドライブ DDDDDD の構成の妥当性検査中に、エラー RRRRRRRR が ECAM 要求に戻されたか、または構成の不一致が検出されました。

このデバイスに接続している VTSS によって、サブシステム名 ZZZZZ1、デバイス ID ZZZZZ2、フレームシリアル番号 ZZZZZ3 が戻されました。

ECAM エラーが発生する場合には、MVS 内の何らかのデバイスまたはハードウェアにより、VTD との通信が妨害されているか、または VTD 以外のデバイスが指定されています。

RRRRRRRR は次のような戻りコードを返します。

- 00000004 - VTSS XXXXXXXX の VTD の構成を検証している VTCS に対し、ECAM が 99999999 以外のシステム名 (ZZZZZ1)、ブランク、または XXXXXXXX を返しました。
- 00000008 - VTSS XXXXXXXX の最初以外の VTD の構成を検証している VTCS に対し、ECAM が ZZZZZ1 の別のサブシステム名を返しました。このような名称の不一致は、最初の VTD でのみ発生してはなりません。
- 0000000C - VTSS XXXXXXXX 内の最初以外の VTD の構成を検証している VTCS に対し、ECAM がフレームのシリアル番号 ZZZZZ3 を返しましたが、最初の VTD のチェックから返されたフレームのシリアル番号と異なります。
- 6A40FF0C — EXCP エラー。不明な理由
- 6A40FF10 — EXCP エラー。インタフェース制御チェック
- 6A40FF14 — EXCP エラー。VTD への共通パスが見つからない
- 6A40FF18 — UCBLOOK エラー
- 6A40FF1C — UCB キャプチャーエラー
- 6A40FE00 — ECAM 要求の形式が無効(VTCXSコードエラー)

システム動作: VTD は損傷状態にあるものとしてマークされるため、この VTD は使用できなくなります。

ユーザーの応答: VTCS 構成の内容を調べて確認してください。

構成の VTD の数と順序が VTSS の VTD の数と順序に一致していることを確認してください。

MVS システムのハードウェア構成を調べて検証してください。VTD アドレスが正しい VTSS を指し示しており、問題のデバイスの CHPID とパスがすべてオンラインになっていて有効であることを確認してください。

MVS がゲストとして稼働している場合には、VM 構成が正しいことを確認してください。また、VTD は、'NOASSIGN' オプション付きの MVS ゲストに接続されており、実デバイスと仮想デバイスのマッピングが正しいことを確認してください。

すべての VTD に対して、このメッセージ (RC=6A40FF0C 付き) にメッセージ SLS6608E が続いて発生し、上記に表示されているどの応答も問題を解決しない場合、これは VTSS ハードウェアおよび/またはマイクロコード問題になります。担当の Oracle お客様エンジニアに VTSS 操作パネルとエラー状態に関するログを点検させてください。DAC 状態 (データ保証チェック) がこのエラーの原因として知られています。DAC が起こったら、お客様エンジニアによる DAC 状態のリセットのあとで、VTSS の AUDIT を実行する必要があります。

SLS6677E

HSC/VTCS subsystem maintenance level is not correct

説明: SWSADMIN 機能または VTCS プログラム式インタフェース (PGMI) 要求では、HSC/VTCS サブシステムおよび SWSADMIN 機能または VTCS PGMI 要求によって使用されるロードライブラリが一定のリリースまたは PUT レベルである必要があります。

システム動作: 機能 / 要求は終了します。

ユーザーの応答: SWSADMIN 機能または VTCS PGMI 要求で、アクティブな HSC/VTCS サブシステムと同一のロードライブラリを使用するようにします。修正後、再び機能 / 要求を実行します。

SLS6678E

Copy of VTV VVVVVV on VTSS XXXXXXXX has become inaccessible

説明: VTSS XXXXXXXX 上の VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTV の内容全体が何らかの理由で読み取り不可能になったことを VTSS が示しました。

システム動作: VTV のほかのコピーを使用して回復処理が試行されます。VTV の内容の妥当性が疑わしい場合には、VTV は分離されます。

ユーザーの応答: この問題の原因は、VTSS でこれまでに発生したハードウェアエラーにあります。StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、原因となる問題がログに記録されているかどうか、あるいは報告されているかどうかを確認してください。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTV の有効なコピーが MVC に存在している場合には、引き続き VTV のデータにアクセスできます。ほかの MVC に VTV のコピーが 1 つ以上存在していない場合には、VTV の内容は失われます。したがって、ほかの手法によってデータを再作成する必要があります。

SLS6679E

Unexpected copy of VTV VVVVVV found on VTSS XXXXXXXX

説明: VTV は存在しないと CDS が示していますが、VTSS XXXXXXXX で VTV VVVVVV のコピーが検出されました。

システム動作: VTSS で検出されたコピーを使用して回復処理が試行されます。

ユーザーの応答: このメッセージは通常運用時に発生する可能性があります (そしてそれはエラーを示すわけではない)、それは、VTSS XXXXXXXX がオフラインになり、VTSS XXXXXXXX がオンラインになっている間に別の VTSS で VTV VVVVVV の余分なコピーが作成された場合です。

たとえば、次のイベントシーケンスでメッセージ SLS6679E が生成されます。

- VTSS XXXXXXXX で VTV VVVVVV が作成されます
- VTV VVVVVV がマイグレーションされますが、VTSS XXXXXXXX 内に残されます。
- VTSS XXXXXXXX がオフラインに変更されます。
- VTV VVVVVV が別の VTSS 内にリコールされます。VTCS は、オフラインになっている VTSS XXXXXXXX 内の VTV VVVVVV のコピーを削除できません。
- VTSS XXXXXXXX がオンラインに変更されます。

それ以外の場合、この問題について調査する必要があります。このメッセージが表示される場合、VTCS が VTSS の内容と同期を取れていない可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTSS の内容を CDS に合わせて再統合するために、AUDIT VTSS ユーティリティーを実行することを検討してください。

問題が再発し、隔離できない場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6680E

Copy of VTV VVVVVV missing from VTSS XXXXXXXX

説明: VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTSS XXXXXXXX 上に存在しているはずのコピーが欠落していることが検出されました。

システム動作: VTV のほかのコピーを使用して回復処理が試行されます。VTV の内容の妥当性が疑わしい場合には、VTV は分離されます。

ユーザーの応答: この問題について調査する必要があります。このメッセージが表示される場合、VTCS が VTSS の内容と同期を取れていない可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTSS の内容を CDS に合わせて再統合するために、VTSS AUDIT ユーティリティーを実行することを検討してください。

ほかの MVC に VTV のコピーが 1 つ以上存在している場合には、引き続き VTV のデータにアクセスできます。ほかの MVC に VTV のコピーが 1 つ以上存在していない場合には、VTV の内容は失われます。したがって、ほかの手法によってデータを再作成する必要があります。

SLS6681I

VTV VVVVVV migrated to MVC:MMMMMM location:PPPP/BBBBBBBB
{STORCL:XXXXXXXX MCMTCL:XXXXXXXX | for Consolidation}

説明: VTV VVVVVV のコピーが MVC MMMMMM へ正常に書き込まれました。
VTV のコピーは、MVC の物理的な場所 PPPP/BBBBBBBB にあります。PPP はパー
ティション番号、BBBBBBBB ブロックを示します。

統合のためのマイグレーションである場合は、"for consolidation" という文字がその
まま表示されます。それ以外の場合は、MVC に関連するストレージクラスと VTV
に関連するマネージメントクラスが表示されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6682I

Space reclaim aborted for MVC: VVVVVV elapsed time of NNN
minutes exceeded

説明: NNN 分のタイムアウト時間を指定して、スペースの強制リクレイムが要求さ
れました。このタイムアウト時間が経過しました。MVC VVVVVV は、スペースの
リクレイムにスケジュールされません。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6683I

Bulk recall of number VTVS issued to MVC VVVVVV

説明: ドレイン処理またはスペースリクレイム処理において、示されている数の VTV
を MVC VVVVVV から削除する要求が生成されました。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6684I

RTD DDDDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED TTTTTT ERROR CC=CCC
RC=RRR

説明: 完了コード CCC、および戻りコード RRR で、RTD DDDDDDDD と VTSS
XXXXXXXX 間の操作で要求が失敗しました。TTTTTT は、失敗した要求のタイプで
す。仮想ライブラリへの操作の UIREQ、またはテープデバイスへの操作の ECAM
のいずれかです。原因としては、ハードウェアエラー、ソフトウェアエラー、オペ
レータによる介入、解決不可能なエラー状況があります。

システム動作: エラーの内容とエラー発生時の処理によっては、RTD が一時的に使用
不可能な状態になることがあります。要求は別の RTD を使用して再試行されます。
可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性
を示す記録があるかどうかを調べてください。同じ RTD 上で問題が再発するよう
であれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek
ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SL56685I

RTD DDDDDD mount of VVVVVV timed out

説明: HSC に対し、MVC VVVVVV を RTD DDDDDD にマウントする要求が出されましたが、この RTD が 15 分間のうちに使用可能な状態になりませんでした。

システム動作: 代替 MVC を使用できる場合には、この代替 MVC を使用して要求が再試行されます。ボリュームがマイグレーションに使用される場合には、新たに選択されたボリュームを使用して要求が再試行されます。

要求を再試行できない場合には、この要求は取り消されます。

この影響を受ける MVC は LOST としてマークされます。この時点以降で MVC のマウントが正常に行われた場合には、MVC の LOST の状態は解消されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されているかどうかを調べてください。

すべての MVC がライブラリに格納されていることを確認してください。ライブラリ内の特定のドライブを使用したマウントが正常に行われない場合には、オフラインの RTD を使用してマウントを実行してください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SL56686I

RTD DDDDDD volume mounted not an MVC

説明: RTD DDDDDD にマウントされたボリュームが有効な MVC ではありません。

システム動作: マイグレーション要求によってマウントが実行された場合には、新しいボリュームが選択されてから要求が再試行されます。

これまでもこの MVC が使用されており、有効であると認識されている場合には、誤ったボリュームがドライブにマウントされているものとして処理されます。要求は再試行されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されているかどうかを調べてください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6687I

RTD DDDDDD new volume VVVVVV is not an MVC

説明: マイグレーション要求への応答として MVC VVVVVV が RTD DDDDDD にマウントされましたが、この MVC は無効な MVC であることが検出されました。

システム動作: 新しいボリュームが選択されてから、マイグレーション要求が再試行されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されているかどうかを調べてください。

MVC が適切に初期化されているかどうかを調べてください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6688E

RTD DDDDDD MVC VVVVVV mounted READONLY

説明: 読み取り専用状態の RTD DDDDDD に MVC VVVVVV がマウントされました。また、マイグレーション要求によってこの MVC に複数の VTV の書き込み操作が試行されました。

システム動作: 新しいボリュームが選択されてから、マイグレーション要求が再試行されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されているかどうかを調べてください。物理メディアが読み取り保護になっていないことを確認してください。同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6689E

FFFFFF found invalid version of VTV VVVVVV on VTSS SSSSSSSS

説明: 機能 FFFFFFF の実行中に、VTSS SSSSSSSS の内容と CDS の照合が失敗しました。

CDS とハードウェアに含まれている VTV のバージョンが異なります。誤った CDS で実行しているか、VTCS 内のソフトウェアの問題が原因の可能性があります。

システム動作: 問題の発生した機能は中止されます。これにより、VTSS に VTV の orphaned コピーが残る場合があります。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

この問題について調査する必要があります。このメッセージが表示される場合、VTCS がハードウェアの内容と同期を取れていない可能性があります。

記載された VTSS と、VTV が影響を受けている MVC の常駐先があれば監査してください。この措置を行わないと、VTV の内容にアクセスできなくなることがあります。

また、関連したり同時期に起こりそうなエラーが他にないか、すべてのシステムから HSC JOBLOG を調べてください。

SLS6690E

RTD DDDDDD position error on VTV VVVVVV MVC MMMMM

説明: RTD DDDDDD に対して MVC MMMMM の VTV VVVVVV の読み取りが試行されました。CDS 内に示された位置ではこの VTV が見つかりませんでした。

システム動作: 代替 MVC を使用できる場合には、この代替 MVC を使用して要求が再試行されます。代替 MVC を使用できない場合には、この要求は取り消されます。

ユーザーの応答: この問題について調査する必要があります。このメッセージは、VTCS が MVC の内容との同期を取れなかったことを示します。

可能であれば、MVC の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてください。

VTSS の内容を CDS に合わせて再統合するために、MVC AUDITユーティリティを実行することを検討してください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6691I

RTD DDDDDD request cancelled

説明: RTD DDDDDD に対して現在実行中であり、処理時間の長い ECAM 要求が取り消されました。

システム動作: RTD 上で現在処理されている要求は取り消されます。

ユーザーの応答: この問題について調査する必要があります。このメッセージは、VTSS でハードウェアエラーが発生したか、またはそのほかのいずれかのホストによってこの RTD に対して何らかの回復処理が実行されていることを示します。

各ホストの SYSLOG で、問題発生時の状況を調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6692E

RTD DDDDDD I/O error on MVC MMMMM labels for VTV VVVVVV

説明: RTD DDDDDD に対して MVC MMMMM の VTV VVVVVV の読み取りが試行されました。テーブラベルの読み取りでデータチェックが発生しました。この VTV コピーへはアクセスできません。

システム動作: 代替 MVC を使用できる場合には、この代替 MVC を使用して要求が再試行されます。代替 MVC を使用できない場合には、この要求は取り消されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

- MVCが破損しているか、または MVC が原因となっている可能性がある場合には、VT MVCRAIN EJECT コマンドを使用して MVC から VTV を削除してください。
- 同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6693I

RTD DDDDDD failed, drive will be retried later

説明: RTD DDDDDD で一般障害が発生しました。しばらくの間ドライブを使用できない状態になります。ドライブはそのあとリセットされます。

システム動作: この RTD 上で現在処理されている要求は、ほかの RTD 上で再試行されます。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。

同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6694E

VTSS XXXXXXXX has too many VTVs

説明: VTSS XXXXXXXX に 100,000 を超える VTV を格納しようとしてしました。

システム動作: 制限値を超える要求は取り消されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。このような状況を防ぐには、前もって自動マイグレーションを開始しておく必要があります。

VT MIGRATE コマンドを使用して、この影響を受ける VTSS 内の使用可能なスペースを開放してください。

SLS6695E

VTSS XXXXXXXX is full

説明: VTSS XXXXXXXX へ VTV をリコールしようとしてしましたが、VTSS のスペースが不足しています。

システム動作: 制限値を超える要求は取り消されます。

ユーザーの応答: SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。このような状況を防ぐには、前もって自動マイグレーションを開始しておく必要があります。

VT MIGRATE コマンドを使用して、この影響を受ける VTSS 内の使用可能なスペースを開放してください。

SLS6696I

Transfer VTV VVVVVV from VTSS XXXXXXXX1 to XXXXXXXX2 via ACS AA

説明: VTV VVVVVV をマウントするマウント要求は VTSS XXXXXXXX2 へ送られました。このボリュームはどの MVC 上にも存在していません。VTV は VTSS XXXXXXXX1 から ACS AA の共通 RTD を介して転送されます。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: これは非常にコストのかかる処理です。できる限りこの処理が実行されないようにしてください。

ジョブの JCL、TAPEREQ 定義、ユーザー出口応答を調べて、仮想マウントが誤った VTSS へ送られた原因を確認してください。

SLS6697I

No compatible drives for transfer of VTV VVVVVV from VTSS
XXXXXXX1 to XXXXXX2

説明: VTV VVVVVV をマウントするマウント要求は VTSS XXXXXX2 へ送られました。このボリュームはどの MVC 上にも存在していません。2 つの VTSS 間での VTV 転送を可能にするために必要な同一タイプの共通 RTD が同一位置にありません。

システム動作: マウント要求は失敗します。

ユーザーの応答: ジョブの JCL、TAPEREQ 定義、ユーザー出口応答を調べて、仮想マウントが誤った VTSS へ送られた原因を確認してください。

SLS6698I

ECAM I/O error on VTD DDDD

説明: VTD アドレスに対して ECAM-T が発行された際に、入出力エラーが発生しました。

システム動作: 可能である場合は、VTCS により、失敗した要求が別の VTD アドレスに対して 1 回再試行されます。再試行でも失敗した場合、この機能の呼出しは失敗します。

ユーザーの応答: このアドレスに対して入出力が行えない原因を調査してください。

SLS6699E

MVS space critical - Please add more MVCS to ACSxx/MVCPPOOL
(poolname) and reply R to retry

説明: 限界 MVC スペースが、ACS xx またはメッセージテキスト内に示された MVCPPOOL (PPPPPPPP) に対して、設定された限界値を下回っています。空き MVC の数については、最新の SLS6611I メッセージを参照してください。

システム動作: 自動スペースリクレームが起動されます。スペースの不足が解消されると、このメッセージは削除されます。

ユーザーの応答: VT RECLAIM コマンドを使用すると、一部の MVC が解放される場合があります。QUERY MVCPPOOL コマンドまたは MVCPLRPT ユーティリティーを使って、ほかの ACS やメッセージテキスト内に示された MVCPPOOL で、フリーの MVC が不足していないかどうかを確認してください。MVCPPOOL 定義を参照するか、または CDS に MVC の新しい範囲を定義する必要があります。MVC を追加した後、このプロンプトに対して R と応答し、マイグレーション要求を再試行してください。

SLS6701I

Auto migration for VTSS XXXXXXXX to target NN% is now active on
host HHHH.

説明: VTSS XXXXXXXX の DBU が上限値を超えているか、上限値に達するまでマイグレーションするオペレータコマンドが発行されたため、現在自動マイグレーションがホスト HHHH 上でアクティブです。このホストは、DBU が下限値 NN% を下回るまで、マイグレーションおよび VTSS からの VTV の削除を行うことで、自動マイグレーションを管理します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6702E

No volumes available for auto migration selection on VTSS
XXXXXXXX

説明: 自動マイグレーション処理において、マイグレーション可能な VTV を検出できませんでしたが、マイグレーション目標に達していません。VTV は、次のいずれかの状況の場合、マイグレーションに不適合です。

- マウント済み
- すでに別のマイグレーションリストにある (たとえば、即時マイグレーション)

システム動作: DBU が自動マイグレーション上限値 (HAMT) より低い場合は、VTCS が自動マイグレーションを終了します。それ以外の場合は、VTCS が自動マイグレーションを一時停止し、何分か待ってから VTV が自動マイグレーションを必要とする評価をやり直します。

ユーザーの応答: 不適合な VTV が見つかった場合は、不適合となっている原因を解決してください。自動マイグレーションを進めるのにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6703I

Host HHHH is performing auto migration to target NN% on VTSS
XXXXXXXX

説明: このメッセージは、別のホスト上でアクティブな自動マイグレーションを示すために、定期的に発行されます。通常、メッセージは約 60 分間隔で生成されます。ただし、チェックを実行するポイントによっては、より短い間隔でメッセージが生成される場合があります。

システム動作: 自動マイグレーションは、ここに記述されているホスト上で続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6704E

Auto migration for VTSS XXXXXXXX stalled because all storage
classes are in error

説明: 自動マイグレーションを行う VTV の選択を試みた時に、すべてのマイグレーション可能ボリュームを、MVC または RTD の問題が原因でエラー状態のフラグが立っているストレージクラスへマイグレーションする必要が生じています。

システム動作: 自動マイグレーションは、一定期間待機してから、VTV リストの再選択を試みます。

ユーザーの応答: 以前に発行された SLS6700E メッセージを確認してください。それらのメッセージには、エラー状態になっているストレージクラスと、それに対応する理由コードが記述されています。記述されている問題を訂正して、必要な場合は、ストレージクラス定義を再ロードしてください。

SLS6705E

Unconfigure failed with CC=CCC RC=RRR for RTD DDDDDD attached to VTSS XXXXXXXX

説明: CONFIG RESET が実行されてから、CDS の内容に従って RTD が構成される前に、VTCS が RTD に対して ECAM Unconfigure を発行しました。

VTSS XXXXXXXX に接続している RTD DDDDDD に対する構成解除が失敗し、完了コード X'CCC'、理由コード X'RRR' が戻されます。VTCS CONFIG が構成解除に使用されていないため、RTD 名が使用できません。この段階では、相対番号 D (0-7) しか使用できません。

システム動作: VTCS の再構成処理は継続しますが、この RTD を後で構成するときにエラーが発生する可能性があります。この場合、RTD は保守モードになります。

ユーザーの応答: RTD が正しく構成されていることを確認してください。問題を解決できない場合には、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6706E

Unconfigure failed with CC=CCC RC=RRRRRR for CLINK D attached to VTSS XXXXXXXX

説明: CONFIG RESET が実行されてから、CDS に従って Clink が構成される前に、VTCS が Clink に対して ECAM Unconfigure を発行しました。

VTSS XXXXXXXX に接続している Clink D に対する構成解除が失敗し、完了コード X'CCC'、理由コード X'RRRRRR' が戻されます。VTCS CONFIG が構成解除に使用されていないため、Clink 名が使用できません。この段階では、相対番号 D (0-7) しか使用できません。

システム動作: VTCS の再構成処理は継続しますが、この Clink を後で構成するときにエラーが発生する可能性があります。この場合、Clink は保守モードになります。

ユーザーの応答: Clink 情報が正しいかどうか確認してください。問題を解決できない場合には、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6707E

XXXXXXXX can only be executed as a TTTTTTT

説明: コマンド / ユーティリティ XXXXXXXX を誤った環境で実行しようとした。ttttttt が正しい環境 (コマンド / ユーティリティ) を示しています。

- メッセージが「XXXXXXXX CAN ONLY BE EXECUTED AS A UTILITY」の場合、ユーティリティ xxxxxxxx を HSC/VTCS オペレータコマンドとして実行しようとしたか、コマンド専用の環境で VTCS プログラムインタフェース (PGMI) を呼び出して実行しようとした。ユーティリティ XXXXXXXXは、SWSADMIN を使用して、またはユーティリティが使用できる VTCS PGMI 環境内でのみ実行できます。
- メッセージが「XXXXXXXX CAN ONLY BE EXECUTED AS A COMMAND」の場合、コマンド XXXXXXXX を SWSADMIN を使用して実行しようとしたか、ユーティリティ専用の環境で VTCS プログラムインタフェース (PGMI) を呼び出して実行しようとした。コマンド XXXXXXXX は、HSC/VTCS オペレータコマンドとして、またはコマンドが使用できる VTCS PGMI 環境内でのみ実行できます。

システム動作: コマンドまたはユーティリティは拒否されます。

ユーザーの応答: 正しい環境でコマンドまたはユーティリティを実行します。

SLS6708E

Data space creation failed.DSPSERV CREATE gave RC=X'CC' RSN=X'RR'

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。

ユーティリティは、CDS をコピー可能なデータスペースを作成しようとしてしましたが、失敗しました。具体的には、DSPSERV CREATE マクロが戻りコード X'cc' と理由コード X'rr' を返しました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 関連する IBM ドキュメントを確認し、失敗の原因を判断します。可能であれば、この問題を修正してユーティリティを再実行します。可能でない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6709E

Failed to obtain accessability to the data space.ALESERV ADD gave RC=X'CC'

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。

ユーティリティは、CDS をコピー可能なデータスペースを正常に作成しましたが、データスペースにアクセスするための ALET の取得に失敗しました。具体的には、ALESERV ADD マクロが戻りコード X'cc' を返しました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 関連する IBM ドキュメントを確認し、失敗の原因を判断します。可能であれば、この問題を修正してユーティリティを再実行します。可能でない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6710E

No selection criteria specified for EXPORT

説明: EXPORT ユーティリティが開始されましたが、エクスポートする VTV または MVC が選択されていません。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: EXPORT 制御カードを訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS6711E

Failed to open DDNAME 'ddname' for manifest

説明: ユーティリティによって、マニフェストファイルの DD 名 ddname のオープンが試みられましたが、この操作は失敗しました。

システム動作: エクスポートまたはインポートユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 上記の失敗の原因として最も可能性が高いのは、DD 名の欠落です。ユーティリティジョブの JCL を修正して、正しい DD 名を記入してください。

SLS6712I

DDNAME 'ddname' will be used for the manifest

説明: DD 名 *ddname* を使用してマニフェストファイルの読み込みまたは書き込みを行います。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6713E

Invalid value *VALUE* specified for option *KEYWORD*

説明: キーワード *KEYWORD* に対して、無効な値または許容不能な値 *VALUE* が指定されました。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 制御カードを適切に訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS6715E

'volser1-volser2' does not represent a valid volser-range

説明: 指定された volser 範囲 *volser1-volser2* は有効な範囲ではありません。*volser1* と *volser2* は次の条件を満たす必要があります。

- *volser1* および *volser2* は、それぞれ有効な volser である必要があります。
- *volser1* および *volser2* は、同じ文字数で構成されている必要があります。
- *volser2* > *volser1* となっている必要があります。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: Volser 範囲を訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS6716E

Unable to update the CDS. Following hosts are active:
H1 (, H2, ..., H16)

説明: CDS への更新アクセスを必要としていたユーティリティが、次の理由により、アクティブでない CDS にアクセスしていたことがわかりました。

- このユーティリティコマンドが、アクティブでない CDS を使用中であることを明示的に記述していた。あるいは、
- このシステムの HSC/VTCS がアクティブではなかった (かつ、このユーティリティコマンドが、アクティブでない CDS を使用中であることを明示的に記述していなかった)。

アクティブでない CDS を進めるには、CDS がどのホストからも使用されていないことが必要です。ただし、この CDS が示しているホスト (H1,..., H16) はアクティブで、この CDS を使用しています。

システム動作: ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: 記載されているすべてのホストの HSC をシャットダウンしてから、このユーティリティを再実行してください。ホストが記載されていても、そのホストの HSC がアクティブでない場合は、HSC は完全に終了していません。この場合、そのホストの HSC を起動してから完全にシャットダウンするか、(ホストをシャットダウンする前に) 別のアクティブなホストからホストを回復します。あるいは、記載されているホストと同じ CDS をそのユーティリティが使用している場合は、このシステムの HSC/VTCS がアクティブであることを確認してから、このユーティリティを再実行してください。

SLS6717I

MVC VVVVVV is in use; EXPORT prohibited

説明: MVC VVVVVV のエクスポートが試みられましたが、この volser はエクスポートの際に使用中でした。

システム動作: この MVC を無視して処理が続行されます。

ユーザーの応答: この MVC が使用中でなくなった後に、エクスポートジョブを再実行してください。

SLS6718I

MVC VVVVVV was selected for EXPORT, but was not found

説明: MVC VVVVVV がエクスポートの対象として選択されましたが、関連するレコードを CDS から読み込めませんでした。

システム動作: この volser は無視されます。

ユーザーの応答: エクスポート制御カードを訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS6719I

All EXPORT data for MVC VVVVVV successfully written to manifest

説明: MVCVVVVVV に関する VTV データおよび MVC データがすべてマニフェストファイルに書き込まれました。この MVC に対する 2 次的処理は完了しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6720E

The manifest CHECKSUM is invalid; IMPORT aborted

説明: 目録に書き込まれている 32 ビットの CRC (巡回冗長検査) チェックサムが、インポートユーティリティーによって計算されたチェックサムと一致しません。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6721I

NNNN {VTV(S) | MVC(S)} selected for IMPORT:

説明: インポートの対象として、NNNN 個の VTV または MVC が選択されました。影響を受ける volser のリストが、次に続く SLS6727I メッセージに記述されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6722I

Incomplete block encountered in MANIFEST-FILE, FIELD NO.NN

説明: マニフェストファイルの読み込み中、フィールド番号 NN を読み込むときに、不完全なブロックが発見されました。その直前のブロックが不完全ブロックです。

システム動作: 直前のブロックが無視されて、マニフェストファイルの読み込みが続行されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6723E

No input source specified; MVCMAINT aborted

説明: 保守の対象とする MVC が指定されていません。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: MVC() または MANIFEST() を使用して制御カードを修正してから、ジョブを再実行してください。

SLS6724E

VTV VVVVVV cannot be imported; An associated MVC was not imported

説明: VTV のコピーが存在する MVC がインポートされなかったため、VTV VVVVVV がインポートされません。

システム動作: VTV VVVVVV が無視されて処理が続行されます。

ユーザーの応答: 該当する MVC がインポートされない原因を特定して、MVC のインポートを妨げている問題を訂正してください。そのあと、ジョブを再実行してください。

SLS6725I

IMMDRAIN(YES) was specified, but ignored; UPDATE=NO

説明: IMMDRAIN(YES) が更新なし (noupdate) と一緒に指定されました。更新なしのため、IMMDRAIN(YES) は無視され、MVC はドレインされません。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6726I

The manifest contains no applicable data; processing aborted

説明: マニフェストファイルが空です。VTV および MVC を 1 つも含んでいません。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS6727I

VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVVVVVVVV
VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV VVVVVV

説明: volser のリストです。これ以前のメッセージに説明が記述されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6728I

NNNN {VTV(s) | MVC(s)} were {NOT | SUCCESSFULLY} imported

説明: NNNN 個の VTV または MVC のインポートに成功しました。または失敗しました。影響を受ける volser のリストが次に続く SLS6727I メッセージに記述されます。

システム動作: 選択された VTV または MVC が無視されて、処理が続行されます。

ユーザーの応答: VTV または MVC のインポートが失敗する原因となっている問題を訂正して、ジョブを再実行してください。

SLS6730I

NNNN item(s) selected for processing

説明: MVCMAINT 処理の対象として、NNNN 個の MVC が選択されました。影響を受ける volser のリストは、後続の SLS6727I メッセージに表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6731I

NNNN { VTV(S) | MVC(S) } WERE { NOT | SUCCESSFULLY } exported

説明: NNNN 個の VTVS または MVC がエクスポートされました。あるいはエクスポートされませんでした。影響を受ける volser のリストが、次に続く SLS6727I メッセージに記述されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6732E

Item VVVVVV not imported; not found in manifest

説明: インポートの対象として、一覧表示されている item タイプの VVVVVV が選択されましたが、マニフェストファイルの中にありませんでした。

システム動作: 一覧表示されているボリュームが無視されて、処理は続行されます。

ユーザーの応答: 制御カードを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6733E

Length (LENGTH) of metadata supplied for TYPE item is incorrect

説明: 指定された項目 (VTV または MVC) に与えられているメタデータの長さが正しくありません。

システム動作: この項目が無視されて、処理が終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6734E

Unable to retrieve record for item VVVVVV

説明: VTV または MVC (item の部分で指定) のレコードを CDS から読み込めませんでした。

システム動作: この項目が無視されて、処理が終了します。

ユーザーの応答: インポートを完了させるには、CDS を再構成してインポートする VTV または MVC の適切な定義を入力してから、そのあと、ジョブを再実行してください。そのあと、ジョブを再実行してください。

SLS6735E

Item VVVVVV was not imported; REASON

説明: 指定された項目 (VTV または MVC) をインポートできませんでした。REASON の部分に理由が記述されます。

システム動作: この項目が無視されて、処理が終了します。

ユーザーの応答: REASON が "volume is mounted" となっている場合は、インポート対象の VTV がマウントされていたためにインポートできなかったことを示しています。インポートを完了させるには、ボリュームをマウント解除してからジョブを再実行してください。

- REASON が "update=no" となっている場合は、インポートは NOUPDATE で実行されていて、試行されたすべての更新がこの方法で報告されています。
- REASON が "duplicate exists" となっていて item が VTV となっている場合は、その VTV がデータを含んでいると思われ、他と重複していると思なされたことを示しています。重複している VTV の更新を強制的に実行するには、REPLACE(ALL) を指定します。
- REASON が "duplicate exists" となっていて item が MVC となっている場合は、その MVC がいくつかの VTV コピーを含んでいて、他と重複していると思なされたことを示しています。MVC をインポートするには、インポート先の CDS 内で、その MVC が空であるか、あるいは初期設定されていないと思なされる必要があります。

SLS6736I

Item VVVVVVVV was successfully imported

説明: VVVVVVVV タイプの item は、正常にインポートされました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6737I

MVC VVVVVV already has READONLY/LOST(ON | OFF); request ignored

説明: MVCMAINT によって MVC の状態を読み取り専用にするように要求されましたが、選択された MVC はすでに読み取り専用になっています。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6738E

{STORAGE/MANAGEMENT} class CLASS was either empty or undefined

説明: 指定したストレージクラスまたはマネージメントクラス CLASS は、どの MVC または VTV も、選択されないようにしました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 必要に応じてクラス名を修正してください。

SLS6739I

Duplicate {STORAGE/MANAGEMENT} class CLASS ignored

説明: CLASS という名前のストレージクラスまたはマネージメントクラスが 1 回以上指定されました。

システム動作: 重複したクラスは無視され、処理は続行されます。

ユーザーの応答: 必要に応じて、制御文を修正してください。

SLS6740I

Syntax error (ignored) on the legacy FEATures VSM statement

説明: 現在は、VSM 拡張管理機能はデフォルトになっています。この機能は、FEATures VSM (ADVMTGMT) 文が正確に指定されていなくても、またその文がなくても、有効です。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 使われなくなったパラメータを削除し、旧式の構文を訂正してください。

SLS6741I

Operation of VTSS XXXXXXXXX initiated from host HHHH

説明: ホスト HHHH は、指定した VTSS 用の変更オペレーションを開始しました。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6742I

Operation (scope) of VTSS XXXXXXXXX complete

説明: 変更操作が指定された VTSS に対して完了しました。その操作がローカルホスト (ローカル) に対してのみ完了したのか、または HSC に定義されているすべてのホスト (グローバル) に対して完了したのかを示します。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6744I

Quiescing VTSS XXXXXXXXX - NMN VTDs still allocated

説明: VTSS が静止中の処理の間、VTCS はすべての VTD が非割り振りになるまで待ちます。そのときまで、割り振られた VTD の数が、その数が変わった時または少なくとも 30 秒ごとに報告されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6745I

VTSS XXXXXXXX now SSSSSSSS on host HHHH

説明: 指定された VTSS は、ホスト HHHH 上で状態を変更しました。

状態	説明
ONLINE	VTSSサーバーは完全に機能しています。
QUIESCED	VTSSサーバーは内部要求のみを処理します。仮想マウントはありません。
OFFLINE	VTSSサーバーは、アクティブではありません。
STARTED	VTSS は初期化を完了しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6746E

VTSS XXXXXXXX has been offline; A VTSS AUDIT is recommended

説明: 指定された VTSS はすでにオフラインになっています。したがって、実際の VTSS の内容が変更され、CDS が更新されていない可能性があります。CDS が VTSS の最新の情報を反映するように VTSS を AUDIT することをお奨めします。VTSS 監査が完了するまで、HSC を起動するたびにこのメッセージが発行され続けます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6748E

Failed to VARY CLINK-ID *CLINKID* online to VTSS *vtssname*

説明: クラスタ VTSS リンク *CLINKID* の初期化で、VTSS *vtssname* をオンラインにできませんでした。最後の SLS6751I メッセージに、この ECAM エラーの詳細が示されます。

システム動作: クラスタ VTSS リンクがオフラインに設定され、複製処理で使用不能になりました。VTCS はリンクの回復を定期的に試行し、リンクをオンラインに変更しようとします。

同期リモートリンクが失敗した場合は、CLINK が非同期に即時変更されます。この試行が成功した場合は、エクスポート CLINK が非同期モードでオンラインであるというメッセージ SLS6759I を VTCS が発行し、これ以降変更しようとせずにこの状況を維持し続けます。この試行が失敗した場合は、リモートリンクがオフラインに設定されます。

ユーザーの応答: ECAM の状態が構成エラーを表している場合には、エラーを訂正して、VTSC を回復してください。

SLS6749I

CLINK *SSSSSSSS*/CC Async Replicated VTV *VVVVVVV* to VTSS *RRRRRRRR*
MgmtCl:*MMMMMMMM*

説明: CLINK デバイス番号 *CC* を使用して、VTCS が VTV *VVVVVVV* を送信側 VTSS *SSSSSSSS* から受信側 XVTSS *RRRRRRRR* へ正常に複製しました。複製を開始したマネージメントクラスは、*MMMMMMMM* です。

システム動作: なしこれは情報メッセージです。

ユーザーの応答: なし

SLS6750E

VTSS *VVVVVVVV* configuration invalid: *RRRRRRRR*

説明:

VVVVVVVV の初期設定中、CLINK 接続が検証中でした。問題 *RRRRRRRR* が見つかり、VTSS の状況またはタイプ、および構成から取得した要求が示されます。

一般的には、VTSS のマイクロコードレベルに、必要とされる機能が完全にサポートされていないことが原因として考えられます。

理由テキストが「RTD/remote CLINK Configuration different」の場合、そのクラスタの VTSS に同一の RTD 構成がないか、その TapePlex にリモート CLINK がないため、CLINK 終端では受信側 VTSS へ複製できません。RTD 定義については、そのクラスタ内の VTSS から、その ACS 内の同ドライブタイプに接続できなくてはなりません。リモート CLINK 定義については、クラスタ内の 1 つの VTSS に TapePlex へのリモートリンクがある場合は、そのクラスタ内のすべての VTSS に同一 TapePlex へのリモートリンクがなくてはなりません。

理由テキストが「No access to VTDs 0-15」の場合、同期複製できないか、エクスポートできません。

システム動作: VTSS はオンラインのままですが、CLINK が完全に機能しません。このため、複製や電子エクスポートが実行できない場合があります。

ユーザーの応答: 構成エラーを訂正してください。VTSS がリセットされ、RESET オプションを指定せずに CONFIG ユーティリティを実行して、再試行されます。

SLS6751I

```
CLINK vtssname/clinkid iftype ifaddr RETURNED ECAM ERROR CC=
ccc RC=rrr
```

説明: VTCS において、VTSS *vtssname* のクラスター VTSS リンク *clinkid* with *iftype* *ifaddr* で ECAM エラーが発生しました。コマンドが終了して、完了コード *ccc* および理由コード *rrr* が返されます。原因には、ハードウェアエラーまたはソフトウェアエラー、あるいは何らかの解決不能な条件が考えられます。

システム動作: エラーの状態によっては、失敗した要求を別の Clink で再試行できる場合があります。

ユーザーの応答: SYSLOG で、エラーの特性について調べてください。

SLS6753I

```
CLINK CLINKID on VTSS XXXXXXXX reported RRRRRRRR: DDDDDD
```

説明: VTCS において、VTSS XXXXXXXX のクラスター VTSS リンク CLINKID で ECAM エラーが発生しました。このエラーの原因が RRRRRRRR に示されます。DDDDDD は、VTSS から戻されたセンスデータです。

システム動作: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。エラーの状態によっては、失敗した要求を別のクラスター VTS リンクで再試行できる場合があります。

ユーザーの応答: SYSLOG で、エラーの特性について調べてください。このエラーが解決できない場合には、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6754I

```
CLINK ssssssss/cc iftype ii failed to dismount VTV vvvvvv
```

説明: VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 *cc* の初期設定中、VTV vvvvvv がマウントされ、マウント解除されようとしていたことがわかりました。マウント解除処理でエラーが発生しました。デバイスの接続先インタフェースは、*iftype ii* です。この前のメッセージ SLS6751I に ECAM エラーコードが示されます。

システム動作: このリンクは、VTV の複製に対して使用不能になります。

ユーザーの応答: なし

SLS6755I

```
Configuring CLINK ssssssss/cc iftype ii
```

説明: VTSS ssssssss に接続されている CLINK デバイス番号 *cc* に構成が必要ながわかりました。受信側 VTSS への接続は、インタフェース *iftype ii* によって行われます。

システム動作: VTCS がリンクの構成に必要な ECAM コマンドを発行します。

ユーザーの応答: なし

SLS6756I

```
CLINK ssssssss/cc iftype ii configuration mismatch nnnnnnn1-  
nnnnnnn2 ii1-ii2
```

説明: VTSS ssssssss に接続されている CLINK デバイス番号 cc と、インタフェース ifaddr ii に構成されているものに、構成上不一致があります。VTCS CDS 構成には、Clink 名の nnnnnnn1 とインタフェースの ii1 がありますが、VTSS が nnnnnnn2 と ii2 の値を返しました。

このメッセージは、通常、VTSS からのバックエンドの接続を追加または変更するために、CONFIG ユーティリティーを実行すると生成されます。

システム動作: VTCS が、VTSS 内に保管された構成を訂正します。

ユーザーの応答: チェックを行い、アクティブになっていた構成情報が正しいことを確認してください。

SLS6757E

```
CLINK ssssssss/cc iftype ii failed initial configuration with  
CC=ccc RC=rrrr
```

説明: VTCS の初期設定中、VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 cc とインタフェース iftype ii が、完了コード X「ccc」および理由コード X「rrr」により設定できませんでした。

システム動作: このリンクは、VTV の複製に対して使用不能になります。

ユーザーの応答: なし

SLS6758I

```
CLINK ssssssss/cc iftype ii failed to replicate/export VTV  
vvvvvv.
```

説明: VTSS ssssssss からの CLINK デバイス番号 cc 経由で、VTV vvvvvv の複製中またはエクスポート中にエラーが発生しました。

このあとのメッセージ SLS6751I に ECAM エラーコードが示されます。

システム動作: VTV は複製処理またはエクスポート処理待ち行列に入れられたままとなり、リンクには回復が必要であることを示すフラグがつけられます。

ユーザーの応答: なし

SLS6759I

```
CLINK ssssssss/cc iftype ii now online to VTSS rrrrrrrrr
```

説明: VTCS は正常に初期設定されて、VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 cc がオンラインになりました。

接続は、iftype ii 経由により、受信側 VTSS rrrrrrrrr へ行われます。CLINK サポートされている非同期または同期複製の機能は、このメッセージに示されています。

システム動作: このリンクは、非同期または同期のいずれかの VTV の複製に使用可能になります。

ユーザーの応答: なし

SLS6760I

RTD DDDDDD reported RRRRRRRR using MVC VVVVVV

説明: 実テープデバイス DDDDDD は、MVC VVVVVV 使用時のエラーを報告しました。エラーは理由のテキスト RRRRRRRR によって示されます。このエラーは、デバイスの故障、メディアエラーまたは例外状態により起こります。

システム動作: このメッセージには、追加のエラーや回復処理を示す 1 つ以上のメッセージが続く場合があります。正確な回復は最初のエラーに依存し、代替デバイスへの交換、代替 MVC の選択、要求の再試行または消去を含む場合があります。

ユーザーの応答: 障害のあるデバイスの修復や障害のあるメディアの交換に必要な処理について、MVS SYSLOG をスキャンしてください。

SLS6761I

MVC VVVVVV contains an invalid MIR - processing may be delayed

説明: MVC VVVVVV は無効なメディア情報領域を報告済みで、代替の MVC は利用できません。無効な MIR 状態は位置決めオペレーションのスピードを遅くし、マイグレーションやリコール時間の延長につながります。

システム動作: オペレーションは潜在的に通常より遅い速度で続けられます。

ユーザーの応答: 確実に成果を得るために、メディアの無効 M I R 状態を修復するための是正措置をとってください。

SLS6762I

MVC MMMMM media type does not support MIR.# request ignored

説明: MVCMAINT は、MVC MMMMMM の MIR ステータスの修正の試行を検出しました。この MVC のメディアタイプでは、MIR がサポートされていません。

システム動作: MVCMAINT は、この MVC に対する MIR の更新の試行を無視します。

ユーザーの応答: MVCMAINT 制御ステートメントを再コーディングして、ジョブを再実行します。

SLS6763E

Inconsistent status for MVC VVVVVV detected on DRAIN/RECLAIM VTVCT
ACT_VTV_CNTS:EXP_VTV_CNTS UPDSQ
ACT_MVC_UPD_SEQ_NUM:EXP_MVC_UPD_SEQ_NUM

説明: MVC VVVVVV は、MVCDRAIN または RECLAIM の終了時に予期しないステータスにありました。実際の VTV カウント ACT_VTV_CNTS と、予期された VTV カウント EXP_VTV_CNTS が示され、実際の MVC 更新連続番号 ACT_MVC_UPD_SEQ_NUM と予期された MVC 更新連続番号 EXP_MVC_UPD_SEQ_NUM も示されます。

システム動作: MVC の MVCDRAIN または RECLAIM は終了します。CDS 中の MVC レコードは更新されず、MVC は DRAIN ステータスのままになります。

ユーザーの応答: この問題は、同じ MVC に対して 2 つのホストで同時に稼働する MVCDRAIN や RECLAIM によって引き起こされる可能性があります。MVC をドレインしてください。これが失敗したら、MVC を AUDIT してください。

SLS6764E

Inconsistent counts for MVC MMMMMM detected on DRAIN/RECLAIM
VTVPR A CNT B DEL C XXXX

説明: MVC MMMMMM には、MVCDRAIN または RECLAIM の終了時に予期しない VTV カウントがありました。処理対象の VTV のカウントは、A です。MVC にマイグレーションすべき VTV のカウントは、B です。削除された VTV のカウントは、C です。XXXX には、問題が検出されたときの MVC の状況について詳細が記載されています。

システム動作: MVC の MVCDRAIN または RECLAIM は終了します。CDS 中の MVC レコードは更新されず、MVC は DRAIN ステータスのままになります。

ユーザーの応答: この問題は、同じ MVC に対して 2 つのホストで同時に稼働する MVCDRAIN や RECLAIM によって引き起こされる可能性があります。MVC をドレインしてください。これが失敗したら、MVC を AUDIT してください。

SLS6765I

DRAIN/RECLAIM for MVC MMMMMM completed logical EOT PPP/BBBBBB
VTV count V deleted VTV count D

説明: MVC MMMMMM は DRAIN または RECLAIM プロセスを正常に完了しました。新しい論理的終了がテープの PPP/BBBBBB に置かれます。PPP はパーティション番号、BBBBBB はブロック ID です。パーティション分割されていないテープでは、PPP はゼロと表示されます。

MVC 用の新しい VTV カウント、V が表示されます。MVC 用の新しい削除された VTV カウント、D が表示されます。

システム動作: MVCDRAIN は DRAIN ステータスから削除され、VSM 処理のために利用可能です。

ユーザーの応答: なし

SLS6766E

The XML responses contain an error

説明: SWSADMIN ステップには、DDname //SLSXML が記載されており、VTCS が XML データをこのファイルに書き込むようになっています。データ項目に生成された XML が、正しい形の <tag> 値 </tag> でなかったことを VTCS が検出しました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: SWSADMIN ステップがキャンセルされた場合または異常終了した場合は、XML データの生成が完了する前に VTCS 処理が終了しているため、このメッセージが大概の原因となります。SWSADMIN ステップがキャンセルされなかった場合または異常終了しなかった場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6767I

TTTTTTTT have been refreshed

説明: TTTTTTTT は、「仮想スクラッチサブプール」です。スクラッチサブプールが SCRPEDEF コマンドで再ロードされたため、VTCS がそのスクラッチサブプールの定義と其中的スクラッチ VTV カウントをリフレッシュしました。

説明: TTTTTTTT は、「MVC プール」です。MVCDEF コマンドを発行した結果、MVC プールキャッシュの定義とそのプール内の MVC のステータスを VTCS がリフレッシュしました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6768I

DFSMSRMM API error, VTV VVVVVV, FFFFFFFF, RC=RRRRRRRR, RS=XXXX

説明: VTCS が、volser VVVVVV に対して DFSMSRMM 機能 FFFFFFFF を試み、戻りコード RRRRRRRR と理由コード XXXX で失敗しました。

システム動作: VTV がマウントされたままになります。

ユーザーの応答: 失敗したリターンコードや理由コードについては DFSMSRMM マニュアルを参照してください。

SLS6769I

DFSMSRMM API error, VTV VVVVVV non scratch in DFSMSRMM

説明: VTCS は、スクラッチとしてマウントする前に、VTV VVVVVV 用の DFSMSRMM にボリューム状態を確認し、ボリュームが DFSMSRMM データベースでスクラッチ状態にないことを発見しました。

システム動作: マウントが続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6770E

Unable to determine DSNames for the CDS

説明: ユーティリティ JCL に指定した CDS の詳細、および HSC が使用した CDS の詳細を設定するために、HSC および VTCS ユーティリティがオペレーティングサービス READJFCB および LOCATE を統合ユーザーインタフェースとともに使用しました。これらの呼び出しのうちいずれかが、正常に終了しませんでした。

システム動作: 操作は失敗し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: SLUADMIN ジョブに指定したユーティリティ JCL を調べ、エラーがあれば訂正してください。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6771E

Unable to allocate the Control Data Set

説明: 実行中の HSC または VTCS ユーティリティが、現在のアクティブ CDS の詳細を設定するための HSC アドレス空間との通信の試行、および動的割り振りに失敗しました。このメッセージが表示される理由は、次のいずれかです。

- HSC がこの要求に応答しなかった。
- CDS の動的割り振りが失敗した。
- HSC が、アクティブな CDS がないことを報告した。
- JCL に指定された CDS と、HSC に対して現在アクティブなその CDS との間に、不一致がある。

システム動作: 操作は失敗し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答:

- HSC がアクティブではなく、JCL に DD 文が含まれていない場合は、JCL 内で CDS に対する DD 文を指定するか、HSC を稼働させます。
- 実行中のユーティリティが CDS への更新アクセスを要求するもの (例えば EXPORT) で、HSC がアクティブ、かつ CDS は JCL 内に指定されている場合、現在 HSC サブシステム内でアクティブな CDS と一致しません。この場合、JCL 内の DD 文を HSC サブシステムと正しく一致させるか、または除去します。問題が解消されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6772E

Path *PPPPPPPP* to device *DDDD* is not supported by the VLE
LLLLLLLL

説明: VTCS 構成内で定義された *PPPPPPPP* という名前のデバイス *DDDD* へのパスは、VLE *LLLLLLLL* のコードレベルではサポートされません。

システム動作: このデバイスへのパスはオフライン / 保守状態に変更されます。これがこのデバイスへの唯一のパスである場合、このデバイスもその状態に変更されます。

ユーザーの応答: VTCS 構成からこのデバイスを削除するか、VLE のコードレベルをアップグレードしてください。

SLS6773I

DFSMSRmm inventory management in progress

説明: DFSMSrmm CHANGEVOL コマンドを使用して DFSMSrmm 管理の仮想テープボリュームのステータスを変更しようとしたところ、リターンコード 12、理由コード 24 を受け取りました。これは、DFSMSrmm BACKUP(AMS) が実行中であり、DFSMSrmm CDS の更新が許可されないことを示します。

システム動作: 仮想 MOUNT 処理については、DFSMSrmm BACKUP(AMS) の実行中に 5 分おきにマウントが再実行されます。SCRATCH 処理については、HSC CDS 内でボリュームが SCRATCH とマークされ、次回マウント時に DFSMSrmm INITIALIZED とマークされます。

ユーザーの応答: ユーザーの応答は必要ありません。このメッセージは、次に DFSMSrmm CHANGEVOL コマンドが正常に実行された際に削除されます。

必要に応じて、DFSMSrmm の BACKUP(DSS) コマンドで CONCURRENT オプションを指定し、バックアップの実行中に更新を実行できるようにすることで、このメッセージを避けることができます。

SLS6774E

MVC VVVVVV; No access to VTSS NNNNNNNN, unable to rename

説明: MVC VVVVVV 用に最後にマウントした VTSS 名を変更しようとしたところ、VTSS NNNNNNNN が MVCMAINT ユーティリティを実行しているホストからアクセスできないことが判明しました。

システム動作: この MVC にリターンコード 8 が設定され、ユーティリティは失敗します。制御文にほかの MVC が指定された場合は、そちらが処理されます。

ユーザーの応答: VTSS NNNNNNNN にアクセスできるホストから、ユーティリティを再実行してください。

SLS6775E

MVC VVVVVV; VTSS name NNNNNNNN does not exist, unable to rename

説明: MVC VVVVVV 用に最後にマウントした VTSS 名を変更しようとしたところ、VTSS 名 NNNNNNNN が、MVCMAINT ユーティリティを実行しているシステムに存在していないことが判明しました。

システム動作: この MVC にリターンコード 8 が設定され、ユーティリティは失敗します。制御文にほかの MVC が指定された場合は、そちらが処理されます。

ユーザーの応答: ユーティリティを再実行して、有効な VTSS 名を指定してください。

SLS6776I

DDname dd_name will be used for the manifest merge input file

説明: DD 名の *dd_name* が、MERGMFST ユーティリティへの入力として MERGEIN パラメータで指定されました。これは、マニフェスト組み合わせ出力ファイルに割り当てられた DD 名です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6777I

DDname dd_name will be used for the manifest merge output file.

説明: DD 名の *dd_name* が、MERGMFST ユーティリティへの出力として MERGEOUT パラメータで指定されました。これは、累積マニフェスト入力ファイルに割り当てられた DD 名です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6778E

The manifest input file contained no data, processing aborted.

説明: MERGMFST ユーティリティ処理において、MERGMFST コマンド文で指定された入力 DD 名に関連した VTV または MVC データが見つかりません。

システム動作: 組み合わせマニフェストユーティリティは、条件コード 8 で終了します。

ユーザーの応答: マニフェスト入力ファイルに正しいファイルが指定されているか確認してください。ファイル名を訂正して、MERGMFST ユーティリティを再送信してください。

SLS6779E

Failed to open DDname *dd_name* for manifest merge output file.

説明: MERGMFST ユーティリティーが、マニフェスト組み合わせ出力ファイルに指定された DD 名 *dd_name* のオープンに失敗しました。

システム動作: MERGMFST ユーティリティーは条件コード 12 で終了し、処理が停止されます。

ユーザーの応答: マニフェスト組み合わせ出力ファイルに使用されている DD 名とファイル名両方の妥当性を確認し、組み合わせ処理を再送信してください。

SLS6780E

VTSS CONFIG error of NNNNNNNN AS VSMN : RRR

説明: メッセージに表示されているように、VTSS NNNNNNNN が VSM2 または VSM3 であることを VTCS が検出しました。この構成は、次のいずれかの理由 RRR により、有効ではありません。

- 「Over 8 RTD/CLINKs」 - 8 を超える RTD/Clink が定義されている。
- 「Over 64 VTD s」 - 64 を超える VTD が定義されている。
- 「RTD odd interface DDDDDDDD」 - RTD DDDDDDDD が、奇数インタフェースに定義されている。
- 「CLINK odd interface TTTTTTTT」 - VTSS NNNNNNNN を VTSS TTTTTTTT に接続している Clink が、奇数インタフェースに定義されている。

システム動作: VTSS の初期化が終了し、HSC 処理が VTSS セットが「アクセス可能でない」状態で継続されます。

ユーザーの応答: 構成パラメータを訂正してから、VTCS CONFIG ユーティリティーを実行して、VTCS 構成を再定義してください。

SLS6781

NNNN VOLSER_TYPE MVCVTV(S) are a result from manifest merge processing

説明: 組み合わせ処理で発生した VTV または MVC の volser の数です。影響を受ける volser のリストは、後続の SLS6727I メッセージに表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6782I

Duplicate manifest file (DD_NAME + NNNN) encountered while processing concatenated input; file skipped.

説明: マニフェスト入力処理で、連結リスト内に重複するファイルが検出されました。同一のタイムスタンプを持つマニフェストファイルが以前に処理されました。*dd_name* + *:mv.nnn.emv* は、DDname の連結内での重複ファイルの相対ファイル位置です。

システム動作: 重複したファイルがスキップされ、処理は続行されます。

ユーザーの応答: マニフェスト入力ファイルの妥当性を確認してください。

SLS6783I

MVC NNNN VTV count is zero; considered drained

説明: 入力ファイルの連結リストの処理中に、マニフェスト入力処理で、VTV カウントが 0 になった MVC の累積イメージが生成されました。この状況では、MVC が論理的にドレインされています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6784I

The warranty on MVC MMMMM has expired

説明: 10,000 回以上マウントされたため、MVC MMMMM の保証期限が切れました。

システム動作: MVC ステータスが保証期限切れを示すよう変更されます。MVC は、ステータスが " 期限切れ (Retired) " に変更されて使用不能になるまで出力用 MVC として選択可能な状態が続きます。

ユーザーの応答: 必要な処理はありませんが、MVC が期限切れになったときのために今後の交換計画を立てておくとい良いでしょう。

SLS6785I

MVC MMMMM has reached end-of-life.Status changed to RETIRED

説明: MVC MMMMM は、11,000 回以上マウントされたため、期限切れになりました。

システム動作: MVC ステータスは " 期限切れ (Retired) " に変更されます。MVC からデータを読み取ることはできますが、この MVC を出力 MVC として選択することはできません。

ユーザーの応答: 必要な処理はありませんが、MVC が空になったときのために今後の交換計画を立てておくとい良いでしょう。

SLS6786E

MVC MMMMM is retired.Warranty status cannot be changed

説明: MVCMAINT MVC(MMMMM) WARRANTY(ON|OFF) を使用して、MVC MMMMM の保証期限切れステータスの変更が試行されました。期限切れ MVC は、保証期限が切れています。したがって、期限切れステータスを保証期限切れステータスに変更することはできません。

システム動作: 操作は失敗し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: なし

SLS6787E

VTV VVVVVV is SIZE1 and resident in VTSS SSSSSSSS.However, the CDS records it as being SIZE2

説明: VTV VVVVVV の処理中に、VTCS は、VTSS SSSSSSSS に VTV がサイズ *size1* で常駐していると判断しました。しかし、これは CDS 内に記録されている情報と矛盾しています。CDS では、VTV が *size2* になっています。*size1* と *size2* はそれぞれ、800MB または 400MB です。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6788I

Invalid MIR reported for MVC MMMMM on RTD RRRRRRRR

説明: RTD RRRRRRRR からの RBL (Read Buffered Log) データから、MVC MMMMM に無効な MIR (Media Information Region) があることがわかります。

システム動作: CDS の MVC レコードが更新されて、MIR が無効であることがわかりました (INVLDMIR フラグがオンになっています)。MVC は、マイグレーションに選択されたままですが、使用を回避されます。リコールの場合、代替 MVC が使用可能ならば VTCS がそちらを選択します。

ユーザーの応答: トランSPORTの操作パネルで利用できるユーティリティーや、MPST で利用できるユーティリティーのいずれかを使用するか、MVC を AUDIT して、MIR を回復してください。MIR が再作成されたら、MVCMAINT MVC(MMMMM) INVLDMIR(OFF) を実行して、無効な MIR フラグをオフにしてください。

SLS6789I

VTCS main task terminating due to internal shutdown request

説明: エラーが発生して VTCS 処理の続行が不可能になったため、VTCS タスクによって VTCS のシャットダウンが開始されました。エラーはこれ以前のメッセージで報告されています。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: これ以前のメッセージから、VTCS のシャットダウンの原因となったエラーを判断してください。メッセージが示す訂正処理を行ってから、HSC/VTCS の停止 / 再起動を行ってください。

SLS6790I

VTV VVVVVV found mounted during processing

説明: ユーティリティー操作の実行中に、特定された VTV VVVVVV がマウント状態でした。

システム動作: リターンコード 4 が設定されます。要求されている機能に基づいて、別の操作が試行される可能性があります。

DRAIN および RECLAIM 操作の場合、ほかの MVC が必要に応じて処理されます。

ユーザーの応答: VTV がマウント状態ではなくなった後、機能を再実行します。

SLS6791I

VTV VVVVVV associated with MVC VVVVVV exceeds two copies for export

説明: MVC VVVVVV に関連付けられた VTV VVVVVV が、4 つのマイグレーションコピーをサポートしていない VTCS システムにエクスポート可能な VTV コピーの最大数を超過しています。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6792I

Attempt to recall 800MB VTV VVVVVV to VTSS XXXXXXXX failed - not supported

説明: 800MB の VTV をサポートしていない VTSS に対して、800MB の VTV がリコールされました。

システム動作: このリコール要求は失敗しました。

ユーザーの応答: 800MB の VTV をサポートしている VTSS にリコールを指示してください。

SLS6793I

Wanring - VTSS XXXXXXXX does not support 800MB VTVS

説明: VTCS は、VTSS XXXXXXXX が 800MB VTV をサポートしていないマイクロコードレベルであることを検出しましたが、VTCS は 800MB VTV をサポートするように構成されています。

システム動作: 処理は続行されますが、800MB の VTV を新規作成することはできません (400MB に制限されます)。

ユーザーの応答: 800MB の VTV を作成する必要がある場合、次のいずれかを行います。

1) マイクロコードレベルをサポートしている VTSS に更新する 2) VTSS をオフラインにして VTCS を再起動する

SLS6794I

CDS type is not recognized

説明: VTCS は、デコンパイル操作に関連付けられた CDS が VTCS でサポートされている操作でないことを検出しました。有効なタイプは基本、拡張、拡張 (VTCS V6 拡張付き) です。

システム動作: デコンパイル処理は終了します。

ユーザーの応答: ターゲット CDS が VTCS 構成処理を使用して正しく設定されていることを確認してください。CDS が正しく設定されている場合、StorageTek ソフトウェアサポートにこの問題を報告してください。

SLS6795W

Unable to delete VTV VVVVVV from VTSS SSSSSSSS

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。インポート中の VTV VVVVVV が、すでに CDS 内に存在しており、VTSS SSSSSSSS に格納されていました。このモードのインポートでは VTSS にアクセスできないため、インポートでは、VTSS から VTV の「古い」コピーを削除できませんでした。

CDSとVTSS間の同期が失われます。メッセージ SLS6797W は、SLS6795W メッセージに報告された各 VTSS の出力です。

システム動作: 処理は続行されます。この VTV には RC=4 が設定されます。

ユーザーの応答: HSC/VTCS が CDS に対して次にアクティブになるとき、VTSS を監査して CDS と VTSS の間の同期を再確立してください。

SLS6796E

Data space action of item VVVVVV failed: RRR

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。

表示された理由 (rrr) により、インポート処理で、CDS のコピー先のデータスペース内の特定の項目 (MVC または VTV、volser VVVVVV) に対して、指定された処理 (読み取りまたは更新) を実行できませんでした。これは、内部処理エラーが発生したことを示します。

理由は次のいずれかです。

- “format conversion failed with RC=X'cc'” – 内部形式の変換が失敗し、戻りコード X'cc' が返されました。
- “format conversion returned volser C'cccc' / X'xxxxxxxxxx'” – 内部形式の変換の戻りコードは RC=0 ですが、誤ったボリュームが返されました。C'cccc' / X'xxxxxxxxxx' は、返された volser を文字列および 16 進形式で表したものです。
- “invalid location (X'pos1',X'pos2',X'pos3',X'pos4')” – データスペース内のアクセス位置は、このタイプのレコード (MVC/VTV) を含む領域の外部であるため、無効です。X'pos1' から X'pos4' は Oracle の内部使用の値です。
- “volser check failed - C'cccc' / X'xxxxxxxxxx'” - データスペース内のボリュームが処理中のボリュームと一致しませんでした。C'cccc' / X'xxxxxxxxxx' は、データスペース内の volser を文字列および 16 進形式で表したものです。
- “record not found” - ボリュームがデータスペース内にありませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。この項目には RC=8 が設定されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6797W

Audit required flag has been set for VTSS SSSSSSSS

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。インポート中の 1 つ以上の VTV がすでに CDS に存在しており、VTSS SSSSSSSS に格納されていました。このモードのインポートでは VTSS にアクセスできないため、インポートでは、VTSS からこれらの VTV の「古い」コピーを削除できませんでした。メッセージ SLS6795W は、各 VTV の出力でした。CDS と VTSS 間の同期が失われます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: HSC/VTCS が CDS に対して次にアクティブになるとき、VTSS を監査して CDS と VTSS の間の同期を再確立してください。

SLS6798E

INACTCDS requires the CDS to be specified in JCL and to be different from the CDS used by HSC

説明: Batch ユーティリティーが INACTCDS を制御文に指定しましたが、アクティブでない CDS が使用されていることを示しています。

INACTCDS には、次の両方が必要です。

- ユーティリティーに使用される CDS が、JCL 内に指定されていること (SLSCNTL、および SLSCNTL2/SLSSTBY、必要に応じて DD 文)。
- CDS を使用中のホストがないこと。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: JCL が、ユーティリティーに使用される CDS を定義し、指定された CDS がホストの HSC から使用中でないことを確認してください。

SLS6799E

IMMDRAIN(YES) is not supported with IMPORT to an inactive CDS

説明: インポート処理で非アクティブな CDS、つまりいずれのホストによっても使用されていない CDS にアクセスしようとしてしました。IMPORT 文が IMMDRAIN(YES) を指定しましたが、Drain を実行するための HSC/VTCS システムがないため、このモードではサポートされていません。

システム動作: ユーティリティーは終了します。

ユーザーの応答: インポートされた MVC を DRAIN する必要がある場合は、この CDS を使用して、このシステムで HSC/VTCS が実行されていることを確認してから、このユーティリティーを再実行してください。インポートされた MVC を DRAIN する必要がない場合は、IMMDRAIN(YES) を削除してから、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6800E

Connection to CF STRUCTURE SSS failed.IXLCONN gave
RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は coupling Facility 構成 sss に接続を試みましたが、IXLCONN マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: 接続の失敗原因を判断するため、関連 IBM マニュアルで IXLCONN の戻りコード X'CCCCCCCC'
および理由コード X'SSSSSSSS' を調べてください。

可能であれば、エラーを修正して HSC/VTCS をリサイクルします。可能でない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6801E

AAAAAA failed against CF structure SSS. IXLLIST gave
RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は Coupling Facility 構成 sss に処理 aaaaaa を試みましたが、IXLLIST マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

各処理に対して発行される IXLLIST マクロの形式は次のとおりです。

Delete : IXLLIST REQUEST=DELETE,xx
Lock obtain : IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=SET,xx
Lock release : IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=RESET,xx
Read : IXLLIST REQUEST=READ,xx
Read Next Lock: IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=READNEXT,xx
Start Monitor : IXLLIST REQUEST=MONITOR_LIST, ACTION=START,xx
Stop Monitor : IXLLIST REQUEST=MONITOR_LIST, ACTION=STOP,xx
Write : IXLLIST REQUEST=WRITE,xx

システム動作: VTCS は異常終了を発行し、続行します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6802E

CF structure SSS is full after formatting MM out of NN entries

説明: VTCS は Coupling Facility 構成 sss に正常に接続し、すべてのデータエントリのフォーマットを試行しましたが、nn データエントリのうち mm データエントリを構造に書き込んだところで、構造がいっぱいになりました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: mm と nn の値を使用して、現在の構造のサイズを増加させる係数を計算します。サイズを増加させて構造を再定義した後、HSC/VTCS をリサイクルします。

SLS6803E

CF structure SSS shows host HHHH as inactive, but the CDS shows it as active

説明: Coupling Facility 構成 sss に正常に接続した後、VTCS は CDS 内でアクティブであると示された各ホストのステータスが構造内で更新されたかどうかを確認します。

ホスト HHHH は CDS 内ではアクティブと示されていますが、構造をアクティブに使用していません。

システム動作: VTCS は起動を延期しますが、すべてのホストのステータスの確認は続けます。

CDS と構造でホスト HHHH のステータスが同じになった際に、このメッセージは削除されます。

ユーザーの応答:

- ホスト HHHH が起動処理中の場合は、必要ありません。構造内でホストのステータスが更新されると、このメッセージは削除されます。
- 'D CDS' コマンドの出力によると、ホスト HHHH がアクティブにもかかわらず、HSC がそのホスト上で間違いなく実行されていない場合は、アクティブなシステムからホスト HHHH を回復します。ホスト HHHH の回復が完了したら、「D CDS」を再発行してホスト HHHH が「assumed dead」としてマークされていることを確認します。VTCS は、CDS でホスト HHHH のステータスを次回チェックする際に、このメッセージを削除します。
- ホスト HHHH が完全にアクティブであるか、ホスト HHHH が回復済みであるにもかかわらず、このメッセージが表示される場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6804E

Correct the reported discrepancies, or reply T to terminate VTCS on host HHHH

説明: (メッセージ SLS6803E に記載された) Coupling Facility 構成 SSS に正常に接続した後、VTCS は CDS 内でアクティブであると示された各ホストのステータスが構造内で更新されたかどうかを確認します。

1 つ以上のホストが CDS 内でアクティブであると示されていますが、構造をアクティブに使用していません。そのような各ホストについてメッセージ SLS6803E で報告され、このメッセージの前に出力されます。

システム動作: VTCS は起動を延期しますが、すべてのホストのステータスの確認を続けます。

CDS と Coupling Facility 構成ですべてのホストのステータスが同じになると、このメッセージは削除され、起動が続行されます。

このメッセージに 'T' で応答すると、VTCS はこのホスト (HHHH) で終了します。

ユーザーの応答: SLS6803E メッセージにリストされた各ホストに対して、メッセージ

SLS6803E のヘルプテキストに記載された処理を行います。

CDS と Coupling Facility 構成のホストのステータスの違いを修正できない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

このメッセージに T と応答すると、CDS と Coupling Facility 構成のホストのステータスにかかわらず、VTCS はこのホスト (HHHH) で停止します。

SLS6805E

NNN host to host messages queued for host HHHH, as the CF structure SSS list is full

説明: ホスト HHHH のメッセージを保持する構造のリストがいっぱいなため、このホストは Coupling Facility 構成 SSS を通じてホスト HHHH にホスト間メッセージを送信できません。現在、ホスト HHHH の NNN メッセージがこのホストのストレージのキューに入っています。

システム動作: VTCS は Coupling Facility 構成リストの確認を続けます。リストがいっぱいでなくなると、VTCS はキューに入ったメッセージをリストに書き込み、このメッセージを削除します。

ユーザーの応答:

- 'D CDS' コマンドの出力によると、ホスト HHHH がアクティブにもかかわらず、HSC がそのホスト上で間違いなく実行されていない場合は、アクティブなシステムからホスト HHHH を回復します。ホスト HHHH の回復が完了したら、「D CDS」を再発行してホスト HHHH が「assumed dead」としてマークされていることを確認します。VTCS は、CDS でホスト HHHH のステータスを次回チェックする際に、このメッセージを削除します。
- ホスト HHHH が完全にアクティブであるか、ホスト HHHH が回復済みであるにもかかわらず、このメッセージが表示される場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6806E

Disconnect from CF structure SSS failed.IXLDISC gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は Coupling Facility 構成からの切断を試みましたが、IXLDISC マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6807I

A rebuild of CF structure SSS has been initiated

説明: VTCS は、現在の結合機能へのアクセス時にエラーを検出したあと、代替結合機能内で結合機能構造体 sss の再構築を開始しました。このエラーについては前述の SLS6801E メッセージで説明しています。

システム動作: VTCS は、すべてのホストが代替の連結機能で構造を再構築している間、現在の連結機能へのアクセスを中断します。すべてのホストで再構築が完了すると、VTCS は代替の連結機能を使用して処理を続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS6808E

Unable to initiate a rebuild of CF structure SSS. There is no alternate CF available

説明: 現在の連結機能へのアクセスエラーを検出したため、VTCS は代替の連結機能で Coupling Facility 構成 sss の再構築を開始しようとしました。エラーはこれ以前のメッセージ SLS6801E で報告されています。

再構築の要求 (マクロ IXLREBLD) に対して、使用可能な代替の連結機能がないという応答が返されました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: 連結機能の問題を修正して HSC/VTCS をリサイクルします。

CFRM ポリシーで、代替の連結機能が使用可能な必要があると示されている場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6809E

Unable to initiate a rebuild of CF structure SSS. IXLREBLD gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: 現在の連結機能へのアクセスエラーを検出したため、VTCS は代替の連結機能で Coupling Facility 構成 sss の再構築を開始しようとしました。エラーはこれ以前のメッセージ SLS6801E で報告されています。

VTCS は、IXLREBLD マクロから許容不能な戻りコード/理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

再構築が、(オペレータコマンドによってではなく) 連結機能のエラーが原因で MVS または VTCS によって開始された場合は、エラーを修正して HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6810I

Rebuild of CF structure SSS has started

説明: オペレータコマンドあるいは MVS または VTCS の検出したエラーによって、Coupling Facility 構成 sss の再構築が開始されました。

システム動作: VTCS は元の構造へのアクセスを中断し、新しい構造でデータの再構築を開始します。

ユーザーの応答: なし

SLS6811E

Unable to participate in the rebuild of CF structure SSS. IXLEERSP gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDQUIESCE) マクロから許容不能な戻りコード/理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取ったため、Coupling Facility 構成 SSS の再構築に参加できません。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまで連絡し、HSC/VTCS を停止 / 再起動してください。

SLS6812E

Unable to complete the rebuild of CF structure SSS.IXLREBLD
gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は (REQUEST=COMPLETE) マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'cccccccc'/X'ssssssss') を受け取ったため、Coupling Facility 構成 sss の再構築が完了したことを MVS に通知できませんでした。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまで連絡し、HSC/VTCS を停止 / 再起動してください。

SLS6813E

Rebuild cleanup failed for CF structure SSS.IXLEERSP gave
RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDCLEANUP) マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取ったため、Coupling Facility 構成 sss の再構築後にクリーンアップを実行したことを MVS に通知できませんでした。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまで連絡し、HSC/VTCS を停止 / 再起動してください。

SLS6814E

The rebuild of CF structure SSS failed

説明: VTCS は、構造の再構築中に、Coupling Facility 構成 SSS でこのホストのストレージに保持されているデータを再構築できませんでした。

システム動作: VTCS は異常終了を発行し、終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまで連絡し、HSC/VTCS を停止 / 再起動してください。

SLS6815I

The rebuild of CF structure SSS is complete

説明: Coupling Facility 構成 SSS の再構築が正常に完了しました。

システム動作: 再構築された構造に対して、VTCS 連結機能処理を続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS6816E

Unable to stop the rebuild of CF structure SSS.IXLEERSP
gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: MVS は、Coupling Facility 構成 sss の再構築を停止するよう VTCS に通知しました。VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDSTOP) マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取ったため、再構築を停止するという応答を MVS に返せませんでした。

システム動作: VTCS は再構築を続行します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6817I

The rebuild of CF structure SSS has been stopped

説明: MVS は、Coupling Facility 構成 sss の再構築を停止するよう VTCS に通知しました。VTCS は正常に再構築を停止しました。

システム動作: 元の構造に対して、VTCS 連結機能処理を続行します。

ユーザーの応答: なし

SLS6818E

The CDS contains an unrecognized feature string (X'HH')

説明: CDS は、この HSC/VTCS システムにインストールされていない PTF によって有効化された機能を使用しています。X'hh' は、サポートされていない機能を表します。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6819I

Disconnecting from CF structure SSS because a rebuild is in progress

説明: VTCS は Coupling Facility 構成 sss に正常に接続しましたが、Coupling Facility 構成は再構築中です。再構築はこのホストが構造に接続する前に開始されたため、このホストは再構築に参加できません。

システム動作: VTCS は連結機能から切断し、後で接続を再実行します。

ユーザーの応答: 再構築の完了後に VTCS が構造に接続される場合は、必要ありません。それ以外の場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6820E

Wrong length message (LLL/'MMM') received from host HHHH via CF structure SSS

説明: VTCS は Coupling Facility 構成 SSS を通じてホスト HHHH からのホスト間メッセージを受け取りましたが、メッセージが期待される長さではありませんでした。LLL と MMM は、長さでメッセージの内容を示します。

システム動作: VTCS はホスト間メッセージを無視します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

特殊な状況:

- Coupling Facility 構成に VTCS ロックデータが保持されている場合 (VTCS 構成で、GLOBAL 文に LOCKSTR=structure-name を指定している場合) は、次の点に注意してください。
 - 連結機能のアクセスを有効にする PTF をすべてのホストに適用する必要があります。
 - PTF が適用されていないホストは、CDS を処理することができません。
- HSC/VTCS アドレス空間で VTCS の起動を行うと、U1096/X'6A24' により異常終了するか、メッセージ SLS6818E が出力されて終了します。
- VTCS ユーティリティは、RC=12 およびメッセージ "SLS6606I CDS IS NOT CONFIGURED FOR VTCS" またはメッセージ SLS6818E とともに終了します。
- VTCS ロックデータが CDS に保持されている場合 (VTCS 構成で、GLOBAL 文に LOCKSTR=structure-name を指定していない場合)、連結機能のアクセスを有効にする PTF は、ホストに適用しなくても、一部またはすべてのホストに適用してもかまいません。

SLS6821I

MGMTclas CCCCCCCC is not defined

説明: マネージメントクラスフィルター CCCCCCCC が ARCHIVE ユーティリティに対して指定されましたが、POLICYDD ファイル内で、またはアクティブな VTCS システムに対してクラスが定義されていません。

システム動作: 現在のユーティリティ要求は終了します。

ユーザーの応答: フィルタークラスの指定を修正するか、VTCS に対して、または POLICYDD ファイル内でクラスを定義します。

SLS6822I

MGMTclas CCCCCCCC does not specify any archive policies

説明: マネージメントクラスフィルター CCCCCCCC が ARCHIVE ユーティリティに対して指定されましたが、クラスにはアーカイブポリシー (ARCHAge および ARCHPol の指定) が含まれていません。

システム動作: 現在のユーティリティ要求は終了します。

ユーザーの応答: フィルタークラスを修正するか、クラスでアーカイブポリシーの指定を行います。

SLS6823E

Unable to access MVC for recall of VTV VVVVVV

説明: VTV VVVVVV をリコールしてマウント要求を満たそうとした際に、VTCS が MVC を正常にマウントしてリコールを実行することができませんでした。プライマリ MVC においてマウントが失敗したか、VTCS が MVC の読み取りに失敗した可能性があります。リコールの試行時に MVC コピーへの RTD アクセスが存在しなかったため、そのほかの MVC コピーが使用できませんでした。

システム動作: リコール / マウントは終了します。

ユーザーの応答: HSC ログを確認し、MVC のマウントまたは読み取りの失敗の原因となったエラーを特定します。VTCS が VTV リコール要求を満たすためにそのほかの MVC コピーにアクセスできなかった理由を特定します。MVC に対するアクセスの問題を修正したら、手動で HSC MOUNT コマンドを発行して要求を再試行します。失敗の理由が不明な場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6824I

Parse error in Management Policy file POLICYdd CCCCCCCC

説明: 管理ポリシーファイルの解析中にエラーが検出されました。このあとのメッセージ SLS6603I に正確なエラーの詳細が示されます。

システム動作: 現在のユーティリティ要求は終了します。

ユーザーの応答: 管理ポリシーファイルの定義を修正して、ユーティリティ要求を再実行します。

SLS6825E

CDS conversion incomplete.Rerun CONFIG

説明: VTCS は、CDS の変換が必要な CONFIG が CDS で開始されたと判断しました。CONFIG は完了しませんでした。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: そのほかの HSC 機能を実行するには、CONFIG を再実行して CDS の変換を完了する必要があります。

SLS6826I

CDS conversion incomplete.CONFIG will complete CDS conversion

説明: VTCS CONFIG は、CDS の変換が必要な 別の CONFIG が CDS で既に開始されていると判断しました。この CONFIG は正常に完了しませんでした。

システム動作: CONFIG によって、CDS の変換が実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6827I

Invalid Archive/Reconcil parameter P P P P P P P P value C C C C C C C C

説明: Archive/Reconcil ユーティリティ文の解析中にエラーが検出されました。パラメータ P P P P P P P P に無効な値 C C C C C C C C が含まれています。

システム動作: 現在のユーティリティ要求は終了します。

ユーザーの応答: パラメータ値を修正して、ユーティリティ要求を再実行します。

SLS6829I

AAAAAAA in management classes not supported by RRRRRR

説明: 1 つまたは複数のマネージメントクラス定義で、属性 AAAAAAA が指定されています。この属性は CDS レベルでサポートされていますが、ハードウェアまたは構成エラーが発生したため、この属性を実装することはできません。

属性 AAAAAAA は、「VTVPAGE(LARGE)」、「MAXVTVSZ > 400MB」、「MAXVTVSZ > 800MB」、「REPLICAT(YES)」、「REPLICAT(YES_SYNC)」、「Multiple replicates and SYNC replicate」のいずれかになります。

RRRRRRR は失敗の理由であり、「hardware」または「configuration」を含みます。

システム動作: デフォルトは、これらのマネージメントクラスで作成されたすべての VTV に適用されます。

ユーザーの応答: 失敗の理由が「hardware」の場合:

一部の機能では、サポートを利用可能にするために、VTSS のマイクロコードに更新する必要があります。そのほかの機能の場合、VTSS のモデルタイプによって制限されている場合があります。

'QUERY CONFIG' コマンドからの出力により VTSS モデルがレポートされ、VTSS で必要な機能がサポートされます。

失敗の理由が「configuration」の場合:

VTCS 構成エラーに、クラスタ内の VTSS 間での RTD デバイスタイプの不一致が含まれています。追加情報を提供する目的で、ほかのエラーメッセージも表示されている可能性があります。

VTCS 構成内で VTSS と CLUSTER の定義を調べ、問題の原因を特定してください。

'QUERY CONFIG' コマンドからの出力により VTSS モデルがレポートされ、VTSS で必要な機能がサポートされます。

SLS6830E

Configuration query of LSM AA:LL (containing RTD DDDD) failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: RTD DDDD を含む LSM AA:LL に関する詳細を取得するために、VTCS により HSC 構成クエリサービスが呼び出されました。クエリーがリターンコード X'RRRRRRRR' で失敗しました。この情報は RTD 割り当てルーチンによって使用されるはずでしたが、VTCS はこの情報がなくても RTD を割り当てることができます。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6831I

Waiting for VTSS NNNNNNNN to complete initialization

説明: VTCS は、HSC/VTCS 起動時の VTSS NNNNNNNN の初期化の完了待ちです。VTSS の初期化は、仮想処理の開始前に完了する必要があります。

システム動作: VTCS は引き続き初期化完了を待ちます。

ユーザーの応答: HSC のログおよび SYSLOG で、VTSS に関連する VTD アドレスにエラーが存在しないかどうかを確認してください。問題の VTD アドレスに IOSnnnn メッセージが存在する場合は、エラーが単一のパスに限られているかどうかを判断します。単一のパスに限られている場合、問題のあるパスをオフラインにしてください。エラーによってすべてのパスに問題がある場合は、Vary nnnn、OFFLINE、FORCE コマンドを発行してデバイスのバイパスを試行します。問題が修正されたら、デバイスをオンラインに戻すことができます。エラーが修正され、VTD アドレスが適切にオンラインに戻った場合、HSC/VTCS を再起動する必要はありません。VTSS がオフラインになった場合、VT Vary VTSS(nnnnnnnn) ONline を発行して VTSS をオンラインにすることができます。エラーを解決できない場合には、StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6832I

Additional copies of VTV VVVVVV retained because of status change

説明: VTV VVVVVV のリコールを実行する際に、そのほかの MVC から VTV のコピーを削除するよう要求されました。コマンドが発行され VTV の状況が変わるため、チェックはこのポイントで失敗します。

システム動作: VTV のコピーが削除されないまま処理が続行されます。これにより、エラーが発生したり再試行が求められる可能性があります。

ユーザーの応答: このメッセージは警告のためだけに表示されます。コマンド発行時に妥当性検査が実行された時点から、削除が試行された時点までにかなりの遅れがあるため、別に VTV レコードの更新要求が発行された可能性があります。したがって、削除を要求した時点での目的は現在では無効になっている可能性があります。

SLS6833I

VTV VVVVVV deleted from MVC mvclist

説明: VTV VVVVVV は VTSS から削除され、mvclist で指定された MVC から論理的に削除されます。

システム動作: VTCS は、次の VTV 処理を続行します。

ユーザーの応答: 特に必要な処理はありません。

SLS6834I

VTV VVVVVV deleted

説明: VTV VVVVVV は、VTSS から削除されました。

システム動作: VTCS は、次の VTV 処理を続行します。

ユーザーの応答: 特に必要な処理はありません。

SLS6835I

VTV VVVVVV excluded - referenced within NNN days

説明: VTV VVVVVV は、NNN 日以内に参照されているため、削除対象として選択されていません。NNN は、NOTREF パラメータを介して提供された猶予期間を表し、この期間中に参照された VTV は削除対象としてみなされません。

システム動作: VTCS は、次の VTV 処理を続行します。

ユーザーの応答: 特に必要な処理はありません。

SLS6836I

Duplicate P P P P P P P P V V V V V V V V ignored

説明: パラメータ P P P P P P P P の値 V V V V V V V V が、DELETSCR コマンド内に 2 度以上指定されています。

1 度以上検出された場合も、処理は 1 度のみです。P P P P P P P P は、スクラッチプールまたは VTSS のいずれかです。

システム動作: VTCS は、指定値の処理を 1 回だけ続行します。

ユーザーの応答: 特に必要な処理はありません。

SLS6837E

Error updating VTV VVVVVV

説明: VTV レコードをデータベースに書き込む際に、予期しない応答を受信しました。

システム動作: VTCS により要求が終了し、リターンコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6838E

Unable to retrieve record for VTV VVVVVV

説明: VTV レコードをデータベースから取得する際に、予期しない応答を受信しました。

システム動作: VTCS により要求が終了し、リターンコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6839E

Error logically deleting VTV VVVVVV from MVC(s)

説明: VTV がマイグレーションされた MVC から VTV VVVVVV を論理的に削除する際に、予期しない応答を受信しました。

システム動作: VTCS により要求が終了し、リターンコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6840I

Scratch pool definitions changed during program execution -
could not locate Scratch pool PPPP

説明: VTCS は、リソース (VTV または MVC のいずれか) が同一または異なるホストで使用される時期を検出し、そのリソースが使用可能になるまで待ってから、要求を再実行します。この待機時間の間にスクラッチプール定義が SCRPFDEF コマンド経由で再ロードされ、タスクが中断されると新しい定義に処理対象の VTV は含まれません。したがって、VTCS は、処理を続行するポイントから再設定できません。関連する VTV については、SLS6841E メッセージを参照してください。

システム動作: VTCS は、次のスクラッチプールからの要求を引き続き処理し、終了時にリターンコード 4 を戻します。

ユーザーの応答: 元のスクラッチプール定義を再ロードするか、SCRPOOL パラメータに既存のスクラッチプールを含めるように修正して、DELETSCR ユーティリティを再実行します。

SLS6841I

Scratch pool for VTV VVVVVV not found

説明: このメッセージは、メッセージ SLS6840I とともに発行され、プログラム実行時に VTCS から削除されたスクラッチプール内の VTV を指定します。メッセージ SLS6840I とともに発行された場合、スクラッチプールは削除されています。メッセージ SLS6840I が発行されない場合は、スクラッチプールは存在しますが、VTV を除外するよう再定義されています。

システム動作: VTCS は、次のスクラッチプールからの要求を引き続き処理し、終了時にリターンコード 4 を戻します。

ユーザーの応答: メッセージ SLS6840I については、メッセージ ヘルプを参照してください。

SLS6842E

Unable to delete VTV VVVVVV from VTSS SSSS

説明: VTSS から VTV を削除する際に、予期しない応答を受信しました。

システム動作: VTCS により要求が終了し、リターンコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6843I

Unable to locate any VTVs in scratch pool PPPP

説明: 名前付きのスクラッチプールが HSC に定義されていないか、スクラッチプールに VTV がありません。

システム動作: VTCS は特定されていないスクラッチプールを無視して、ユーティリティに与えられた残りのスクラッチプールの処理を続行し、リターンコード 4 を戻します。

ユーザーの応答: 特定されていないスクラッチプールを削除または修正し、必要に応じてユーティリティを再送信します。

SLS6844E

Invalid range VVVV1 - VVVV2 specified

説明: ユーティリティに指定された VVVV1-VVVV2 というボリューム範囲は、有効なボリューム範囲ではありません。

システム動作: ユーティリティは失敗し、リターンコード 12 が発生します。

ユーザーの応答: 誤ったボリューム範囲を訂正してから、ユーティリティを再送信してください。

SLS6845E

No valid MVCPools have been defined

説明: 有効な MVC プールが、VT MVCDEF コマンド経由で定義されていません。これは次のいずれかにより発生します。

- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されておらず、オペレータコマンドとして入力されていません。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されているか、オペレータコマンドとして入力されているが、MVC プールがインストールされていません (有効な MVC プールがインストールされていない)。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されたか、オペレータコマンドとして入力されました。MVC プールがインストールされているが、MVC プールで指定されたボリュームが (MVCVOL 文上の) VTCS 構成内の MVC として定義されていません。

システム動作: VTCS の処理は続行されますが、VTV へのマイグレーションができないため、処理に影響が発生する場合があります。

ユーザーの応答:

- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されておらず、オペレータコマンドとして入力されていない場合、1 つ以上の有効な MVC プールを定義して、MVC プール定義をロードするよう VT MVCDEF コマンドを発行します。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されているか、オペレータコマンドとして入力されているが、MVC プールがインストールされていない場合、MVC プールがインストールされていない理由 (例: MVC プールのコマンドまたは定義内の構文エラー) を特定して問題を解決します。
- VT MVCDEF コマンドを発行して、MVC プール定義を再ロードします。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx で指定されているか、オペレータコマンドとして入力されていて、MVC プールがインストールされているが MVC が指定されていない場合、MVC プールで指定されているボリュームが (MVCVOL 文上の) VTCS 構成内の MVC として定義されていることを確認します。VT MVCDEF コマンドを発行して、MVC プール定義を再ロードします。

SLS6846W

No default MVCPOOL (DEFAULTPOOL) has been defined

説明: VT MVCDEF コマンド経由で定義されたすべての MVC プールは、MVC プールという名前になります (形式は MVCPool Volser(VVVVVV) NAME(PPP) ...)。
NAME(PPP) パラメータのない MVC プール (MVCPool Volser(VVVVVV) の形式) には、必ず名前がついています。名前のない MVC プールで指定されている MVC のプールには、VTCS により DEFAULTPOOL という名前が与えられます。

このプールは次のマイグレーション時に使用されます。

- マネージメントクラスが割り当てられていない VTV をマイグレーションする場合 (ストレージクラス名がマイグレーション元の VTSS 名である場合)、または
- MVC プールが指定されていないストレージクラスへのマイグレーションの場合、または
- ストレージクラス !ERROR にマイグレーションする場合 (VTV に未定義のマネージメントクラスがある場合)

DEFAULTPOOL が定義されていない場合は、このようなマイグレーションはすべて失敗します。

必ずしも必要ない場合でも、エラー条件を考慮して DEFAULTPOOL を定義しておく と便利 です。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: ストレージクラスの定義を確認します。

- すべてのストレージクラスで MVC プールが指定されている場合、
DEFAULTPOOL は必要ありませんが、エラー状況を考慮するよう定義されている
場合があります。
- どのストレージクラスでも MVC プールが指定されていない場合は、
DEFAULTPOOL が必要です。

DEFAULTPOOL が必要な場合 (またはエラー状況を考慮する場合)、1 つ以上の MVC プールを NAME(PPP) パラメータなしで MVCPool Volser(VVVVVV) の形式で定義 します。

VT MVCDEF コマンドを発行して、MVC プール定義を再ロードします。

SLS6847W

MVCPOOL PPP contains no volumes that are defined as MVCS

説明: MVC プールで指定されたボリューム PPP が、VTCS 構成 (MVCVOL ステートメント) の MVC として定義されていません。この MVC プールから MVC を要求するすべてのマイグレーションが失敗します。

システム動作: VTCS の処理は続行されますが、MVC プール PPP の定義は無視されます。

ユーザーの応答: MVC プール PPP の定義を修正または削除し、VT MVCDEF コマンドを発行して、MVC プール定義を再ロードします。

これが DEFAULTPOOL でなく、ストレージクラスがこの MVC プールを指定しない場合のみ、この定義は削除されます。

SL56848W

STORCLAS SSS indicates MVCs are to be selected from undefined
MVCPOOL PPP

説明: ストレージクラス SSS は、MVC が MVC プール PPP からの選択対象となっているが、MVC プールが定義されていないことを示しています。

ストレージクラス定義に MVCPool (PPP) パラメータが存在するかしないかにより、ストレージクラスへのマイグレーション時に選択可能な MVC からの MVC プールが示されます。

- ストレージクラス SSS の定義が、形式 STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ... の場合、MVC が MVC Pool PPP から選択されます。
- ストレージクラス SSS の形式が STORclas NAME(SSS) ... (MVCPool(PPP) パラメータはありません) の場合、MVC は MVC Pool DEFAULTPOOL から選択されます。

名前のない MVC Pool (MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式、NAME(PPP) パラメータはありません) に指定されている MVC のプールに対して、VTCS により DEFAULTPOOL と名付けられます。

ストレージクラス SSS へのすべてのマイグレーションまたは、この MVC プールからの MVC の要求は失敗します。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: ストレージクラス SSS によって指定または表示された MVC プールが正しくない場合、MVC プールに MVC プール PPP の定義を追加して、MVC プール定義を再ロードする VT MVCDEF コマンドを発行します。

ストレージクラス SSS の定義によって指定または示されている MVC プールが不正の場合、ストレージクラス SSS の定義を修正して MGMTDEF コマンドを発行し、ストレージクラスの定義を再ロードします。

SLS6849W

There are no MVCs in MVCPOOL PPP with the MEDIA specified on
STORCLAS SSS

説明: ストレージクラス SSS の定義は、そのストレージクラスへのマイグレーション
用に選択された MVC には特定のメディアがあり、MVC プール PPP 内に存在する必
要があることを示しています。

MVC プール PPP は定義されていますが、特定のメディアを持つ MVC は MVC プー
ル PPP 内には存在しません。

ストレージクラス SSS に対するすべてのマイグレーションが失敗します。このメ
ディアは、ストレージクラスの定義で MEDIA(media-value(s)) パラメータによって
指定されています。

ストレージクラスの定義上の MVCPool(PPP) パラメータの有無は、MVC プールが使
用されていることを示しています。

- ストレージクラス SSS の定義が、形式 STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ...
の場合、MVC が MVC Pool PPP から選択されます。
- ストレージクラス SSS の形式が STORclas NAME(SSS) ... (MVCPool(PPP) パラ
メータはありません) の場合、MVC は MVC Pool DEFAULTPOOL から選択され
ます。

名前のない MVC Pool (MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式、'NAME(PPP)' パラ
メータはありません) に指定されている MVC のプールに対して、VTCS により
DEFAULTPOOL と名付けられます。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: ストレージクラス sss により正しいメディアが指定され、正しい
MVC プールが指定または示されている場合、要求されたメディアの MVC を含むよ
うに MVC プール PPP の定義を修正し、VT MVCDEF コマンドを発行して、MVC
プールの定義を再ロードします。

ストレージクラス SSS により不正なメディアが指定されていたり、不正な MVC プー
ルが指定または示されている場合、ストレージクラス SSS の定義を修正し、
MGMTDEF コマンドを発行して、ストレージクラスの定義を再ロードします。

SLS6850E

STORCLAS SSS specifies unknown MEDIA X'NN'

説明: VTCS では、ストレージクラス SSS により指定されたメディアを判別できませ
んでした。X'NN' は、VTCS 内で使用されているコードを示し、このメディアタイプ
を説明しています。

システム動作: VTCS の処理は続行されますが、不明なメディアは無視されます。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SL56851W

There are no RTDs in XXX capable of writing the MEDIA specified on STORCLAS SSS

説明: メッセージ内の XXX が 'ACS aa' の場合、ストレージクラス sss の定義の形式は STORclas NAME(SSS) MEDIA(MMM) ACS(aa) ... ですが、指定されたメディアの書き込みが可能な RTD は ACSaa 内にはありません。

メッセージ内の XXX が 'the configuration' の場合、ストレージクラス sss の定義の形式は STORclas NAME(SSS) MEDIA(MMM) ... ですが (ACS(aa) はありません)、指定されたメディアの書き込みが可能な RTD は構成内にはありません。

ストレージクラス sss に対するすべてのマイグレーションが失敗します。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: ストレージクラス sss の定義で指定されているメディアや ACS を、使用可能な RTD でサポートされているメディアおよび ACS と一致するように修正または削除し、MGMTDEF コマンドを発行して、ストレージクラスの定義を再ロードします。

SL56852I

STORCLAS information:

説明: VT D STORCLAS(SSS) コマンドに対する応答が表示されます。
次のものが出力に表示されます。

- INPLACE YES/NO 仕様または RECLAIM CONFIG 文から継承された仕様。この情報を表示するには、CDS はレベル H である必要があります。
- ストレージクラス SSS の定義によって指定または示されるメディア、ACS、MVCPool およびデバイスタイプ。
- このストレージクラスおよび使用可能なメディアまたはデバイスタイプへのマイグレーション時に必要なメディア、デバイスタイプ間の非互換性。
- VTV は、VTSS からこのストレージクラスへの自動または即時マイグレーションを待機中です。

次のように表示されます。

- 'Summary of storage class SSS:' が出力され、ストレージクラス (SSS) が表示されていることを示します。
- 「INPLACE(YES) set for storage class」は、INPLACE(YES) が STORclas 文で指定されているときに、出力されます。
- 「INPLACE(NO) set for storage class」は、INPLACE(NO) が STORclas 文で指定されているときに、出力されます。
- 「INPLACE not set for storage class, inherits RECLAIM value of YES/NO」は、INPLACE が STORclas 文で指定されず、ストレージクラスが ALP メディア (T10KB または T10KC のサポートではないメディア) を含んでいるときに、出力されます。
- 「INPLACE not set for storage class」は、INPLACE が STORclas 文で指定されず、ストレージクラスが ALP メディアを含んでいないときに、出力されます。
- 「MVCs must be in ACS NN and MVCPOOL PPP and be media type MMM」または「MVCs must be in MVCPOOL PPP and be media type MMM」または「MVCs must be in MVCPOOL PPP」は、このストレージクラスへのマイグレーション時に使用されるため MVC が満たさなければならない基準を示すものです。この基準は、ストレージクラス SSS の定義から派生したものです。

- ストレージクラス SSS によって指定または示されている MVC プール (PPP) が定義されていない場合にのみ、「MVCPool PPP is not defined」と出力されます。
- 「The MVCs in MVCPool PPP are only of media type MMM」は次の場合にのみ出力されます。
 - ストレージクラス SSS でメディアが指定されていない、または
 - MVC プール PPP 内の MVC のメディア (MMM) とこのストレージクラスへのマイグレーション時に必要なメディアとの間に重複がない、または
 - MVC プール PPP に含まれるメディア (MMM) に書き込み可能なデバイスタイプを伴う構成 /ACS AA で使用可能な RTD がない。
- MVC Pool PPP にこのストレージクラスへのマイグレーション時に必要なメディアを持つ MVC が含まれ、それが空き MVC ではない場合にのみ、「MVCPool PPP contains no free MVCs (in any ACS/in ACS NN) (with the specified media)」と出力されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によって ACS が何も指定されなかった場合は、「in any ACS」と出力されます。空き MVC の検索は、ACS 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によって ACS(NN) が指定された場合は、「in ACS NN」と出力されます。空き MVC の検索は、ACS NN 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によってメディアが指定された場合は、「(with the specified media)」と出力されます。

ストレージクラス SSS の部分的にフルの (使用済みの) MVC が使用されるため (指定されているメディアや ACS がある場合)、このメッセージが出力された場合でもストレージクラスへのマイグレーションが成功することがあります。

指定メディアを付けた MVCPool PPP 内のライブラリ外の MVC があれば、そちらも使用できます。

- 「RTDs can be any device type」または「RTDs must be device type DDD」と出力され、このストレージクラスへのマイグレーション時に使用するために RTD に必要なデバイスタイプを示します。

このデバイスタイプは、ストレージクラス SSS により指定または示されたメディアから派生しています。

- VTSS (ACS AA 内) に接続されている RTD がない場合にのみ、「There are no RTDs defined in the configuration/ACS AA」と出力されます。

ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、ACS AA でのみ VTSS に接続されている RTD が確認されます。

ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、すべての ACS で VTSS に接続されている RTD が確認されます。

- 「The RTDs defined in the configuration/ACS AA are only of device type DDD」は、VTSS (ACS AA 内) のいずれかに接続している RTD のデバイスタイプ (DDD) と次のものの間に重複がないときのみ出力されます。
 - このストレージクラスにマイグレーションするときに必要なデバイスタイプ、または
 - MVCPool PPP に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。
- ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、VTSS に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。
- ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、VTSS に接続されているすべての RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS TTT に接続している RTD がない場合にのみ、「VTSS TTT has no RTDs defined (in ACS AA)」と出力されます。
 ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。
 ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、ACS AA でのみ VTSS TTT に接続されている RTD が確認されます。
 ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、すべての ACS で VTSS TTT に接続されている RTD が確認されます。
- VTSS TTT (ACS AA 内) に接続されている RTD のデバイスタイプ(DDD) と、このストレージクラスへのマイグレーション時に必要なデバイスタイプに重複がない場合にのみ、「The RTDs connected to VTSS TTT (in ACS AA) are only of device type DDD」と出力されます。
 ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。
 ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、VTSS TTT に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。
 ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、VTSS TTT に接続されているすべての RTD が確認されます。
- このストレージクラスへのマイグレーション時に必要なデバイスタイプで (ACS AA 内の) VTSS TTT に接続されている RTD があり、オンラインの RTD がない場合にのみ、「VTSS TTT has no suitable RTD online (in ACS AA)」と出力されます。
 RTD は次のものから派生します。
 - このストレージクラスにマイグレーションするときに必要なデバイスタイプ、または
 - MVCPool PPP に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。
 ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。
 ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、VTSS TTT に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。
 ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、VTSS TTT に接続されているすべての RTD が確認されます。
- VTSS からこのストレージクラスへの自動または即時マイグレーションを待機中の VTV がない場合にのみ、「There are no VTVs queued for auto/immediate migration」が出力されます。
- VTSS TTT からこのストレージクラスへのマイグレーションを待機する VTV がある場合にのみ、「There are NN VTVs awaiting auto-migration from VTSS TTT」と出力されます。
 DETail および/または MAXvtv パラメータが指定された場合、VTV volsers が一覧表示されます。
- VTSS TTT からこのストレージクラスへの即時マイグレーションを待機する VTV がある場合にのみ、「There are NN VTVs awaiting immediate migration from VTSS TTT」と出力されます。
 DETail および/または MAXvtv パラメータが指定された場合、VTV volsers が一覧表示されます。

- 現在VTSS *TTT*からこのストレージクラスへの自動マイグレーションを待機するVTVはありませんが、VTSS *TTT* からこのストレージクラスに自動マイグレーションに失敗した VTV がある場合にのみ、「There are NN VTVs that failed auto-migration from VTSS *TTT*」と出力されます。

DETail および/または MAXvtv パラメータが指定された場合、以前失敗した日付、および VTV volsers が一覧表示されます。

- DETail および/または MAXvtv パラメータが、以前の自動マイグレーションが失敗した日付 (dtm) を表示するよう指定した場合に、「There are NN VTVs that failed auto-migration from VTSS *TTT*」の後「(This list was in use when migration failed at dtm)」が出力されます。
- DETail および/または MAXvto パラメータが指定され、VTSS *TTT* からの自動または即時マイグレーション (または以前失敗した自動マイグレーション) を待機する VTV がある場合にのみ、「volsr1, volsr2, volsr3, ... , volsr8」または「volsr1 with MGMTCLAS mgmt1, volsr2 with MGMTCLAS mgmt2」と出力されます。

各 VTV の volser (およびマネージメントクラスがある場合) が表示制限 (MAXvtv(NNNN) または デフォルトの制限で設定) に応じて、一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6853E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: *TTT* -
MVCPOOL *PPP* is not defined

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、ストレージクラスによって指定または表示される MVC プール (*PPP*) が定義されていないため、MVC を選択できませんでした。

このメッセージの後にメッセージ SLS6860I が出力され、ストレージクラス SSS (指定または表示される MVC プールを含む) の定義が表示されます。

ストレージクラス定義の MVC プール (*PPP*) パラメータの存在または不在により、使用する MVC プールを示します。

- ストレージクラス SSS の定義が、形式 STORclas NAME(SSS) MVCPool(*PPP*) ... の場合、MVC が MVC Pool *PPP* から選択されます。
- ストレージクラス SSS の形式が STORclas NAME(SSS) ... (MVCPool(*PPP*) パラメータはありません) の場合、MVC は MVC Pool DEFAULTPOOL から選択されます。

名前のない MVC Pool (MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式、'NAME(*PPP*)' パラメータはありません) に指定されている MVC のプールに対して、VTCS により DEFAULTPOOL と名付けられます。

VTV は、VTSS *TTT* から ACS aa内の MVC (ACS *FF* は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答: ストレージクラス SSS によって指定または表示された MVC プールが正しくない場合、MVC プールに MVC プール *PPP* の定義を追加して、MVC プール定義を再ロードする VT MVCDEF コマンドを発行します。

ストレージクラス SSS の定義によって指定または表示された MVC プールが不適切な場合、定義を訂正して、ストレージクラス定義を再ロードする MGMTDEF コマンドを発行します。

SLS6854E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No MVCs found for specified MEDIA

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、ストレージクラスによって指定または示された MVCPool (PPP) は、ストレージクラスによって指定されたメディアの ACS aa に MVC を含まないので、MVC を選択できませんでした。

ストレージクラスの定義が MVCPool を指定していない場合、DEFAULTPOOL が表示されます。VTCS は、名前の付いていない MVCPool で指定された MVC のプールに DEFAULTPOOL という名前をつけます。

メッセージ SLS6860I の出力後に、ストレージクラス SSS の定義が表示されます。

VTV は、VTSS TTT から ACS aa 内の MVC (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答:

- MVCPool PPP で MVC の数またはメディアを確認します。
- VT QU MVCP NAME(PPP) コマンドを入力して、ACS で MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。
- MVCPool PPP で定義されたすべての MVC が、構成内 (MVCVOL 文) で定義されているかも確認します。MVC は MVCPool および 構成で定義されている場合に使用できます。必要な場合、構成 (MVCVOL 文) を変更します。
- MVCPool PPP で MVC の状況を確認します。要求されたメディアで ACS aa にあり、読み取り専用である MVCPool PPP の MVC がイジェクトまたはデータチェックの状況であることを確認します。

MVC キャッシュ (MVC をマイグレーションに選択するとき、MVC の属性を高速検索する VTCS により維持される記憶域) は、読み取り専用、イジェクトまたはデータチェックの状況にある MVC を記録しません。

必要な場合、読み取り専用またはイジェクト状況の MVC を変更します。

- MVC が最近 MVCPool PPP に追加されている場合、システムセキュリティー製品を確認します。

要求されたメディアで ACS aa にある MVC が、最近 MVCPool PPP に追加されている場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合)、システム セキュリティー製品が MVC に対して書き込み権限があるか確認します。

前述の MVC キャッシュは、システムセキュリティー製品が書き込み権限を拒否する MVC のメディアを記録しません。

必要な場合、システムセキュリティー製品の定義を変更します。

- ストレージクラス SSS の定義を確認します。
 - 特に、指定された MEDIA(MMM) および MVCPool(PPP) パラメータの存在または不在を確認します (MVCPool(PPP) が指定されない場合、MVCpool DEFAULTPOOL が使用されます)。
 - VT Display STORCL(SSS) コマンドを使用して、ストレージクラス定義および MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。
 - ストレージクラス SSS の定義が不適切な場合、定義を訂正して、ストレージクラス定義を再ロードする MGMTDEF コマンドを発行します。

- ストレージクラス定義 SSS が適切な場合、指定した ACS 内で要求されたメディアを使用した MVC を MVCPool PPP にさらに追加して、MVCPool 定義を再ロードする VT MVCDEF コマンドを発行します。

SLS6855E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No MVCs found for specified MEDIA/SC/ACS

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、ストレージクラスによって指定または示された MVCPool (PPP) は、ストレージクラスによって指定されたメディアの MVC を含んではいますが、次の状況により MVC を選択できませんでした。

- ACS AA 内にありません
- ACS aa にあるが、指定したメディアに書き込みができる VTSS TTT に接続した ACS aa にオンライン RTD がありません
- ストレージクラス SSS にマイグレーションを選択できません

ストレージクラス SSS にマイグレーションされた VTV が空 (フリー) または部分的にフル (使用済み) の場合のみ、MVC は、ストレージクラス SSS に対してマイグレーションを選択できます。

異なるストレージクラスに対してマイグレーションされた VTV が部分的にフルの場合、ストレージクラス SSS に対してマイグレーションを選択できません。

ストレージクラスの定義を指定しない場合、MVCPool DEFAULTPOOL が表示されます。VTCS は、名前の付いていない MVCPool で指定された MVC のプールに DEFAULTPOOL という名前をつけます。

メッセージ SLS6860I の出力後に、ストレージクラス SSS の定義が表示されます。

VTV は、VTSS TTT から MVC(s) in ACS AA (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答:

- ACS AA 内の RTD を確認します。
指定したメディアに書き込むことができる ACS aa にオンラインの RTD があることを確認します。必要な場合、適切な RTD をオンラインにします。
- MVCPool PPP で MVC の数またはメディアを確認します。
VT QU MVCP NAME(PPP) コマンドを入力して、ACS で MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。
- MVCPool PPP で MVC の状況を確認します。

要求されたメディアで ACS AA にあり、読み取り専用である MVCPool PPP の MVC がイジェクトまたはデータチェックの状況であることを確認します。

MVC キャッシュ (MVC をマイグレーションに選択するとき、MVC の属性を高速検索する VTCS により維持される記憶域) は、読み取り専用、イジェクトまたはデータチェックの状況にある MVC を記録しません。

必要な場合、読み取り専用またはイジェクト状況の MVC を変更します。

- MVC が最近 MVCPool PPP に追加されている場合、システムセキュリティ製品を確認します。

要求されたメディアで ACS aa にある MVC が、最近 MVCPool PPP に追加されている場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合)、システムセキュリティ製品が MVC に対して書き込み権限があるか確認します。

前述の MVC キャッシュは、システムセキュリティ製品が書き込み権限を拒否する MVC のメディアを記録しません。

必要な場合、システムセキュリティ製品の定義を変更します。

- ストレージクラス SSS の定義を確認します。

指定された MEDIA(MMM) および ACS(AA) および MVCPool(PPP) パラメータの存在または不在を確認します (MVCPool(PPP) が指定されない場合、MVCpool DEFAULTPOOL が使用されます)。

VT Display STORCL(SSS) コマンドを使用して、ストレージクラス定義および MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。

ストレージクラス SSS の定義が不適切な場合、定義を訂正して、ストレージクラス定義を再ロードする MGMTDEF コマンドを発行します。

ストレージクラス SSS の定義が正しい場合、次の操作を実行します。

- 指定されたメディアで、ACS AA にある MVC をさらに MVCPool PPP に追加して、MVCPool 定義を再ロードする VT MVCDEF コマンドを発行します。
- 可能であれば、RECLaim を使用して、指定されたメディアおよび ACS AA 内にある一部の MVC を開放します。

SLS6856E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No usable MVCs found for specified MEDIA/SC/ACS

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、ストレージクラスによって指定または示された MVCPool (PPP) がストレージクラス SSS へのマイグレーションに使用できる ACS aa で指定されたメディアの MVC を含んではいませんが、下記の状況により MVC を選択できませんでした。MVC が使用できない理由は次のとおりです。

- 空き容量がない。
- マイグレーションされている VTV を含める十分な空き領域がない。

ストレージクラスの定義を指定しない場合、MVCPool DEFAULTPOOL が表示されます。VTCS は、名前の付いていない MVCPool で指定された MVC のプールに DEFAULTPOOL という名前をつけます。

メッセージ SLS6860I の出力後に、ストレージクラス SSS の定義が表示されます。

VTV は、VTSS TTT から MVC(s) in ACS AA (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答:

- ACS AA 内の RTD を確認します。

指定したメディアに書き込むことができる ACS aa にオンラインの RTD があることを確認します。必要な場合、適切な RTD をオンラインにします。

- MVCPool PPP で MVC の数またはメディアを確認します。
VT QU MVCP NAME(PPP) コマンドを入力して、ACS で MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。
- MVCPool PPP で MVC の状況を確認します。
要求されたメディアで ACS AA にあり、読み取り専用である MVCPool PPP の MVC がイジェクトまたはデータチェックの状況であることを確認します。
MVC キャッシュ (MVC をマイグレーションに選択するとき、MVC の属性を高速検索する VTCS により維持される記憶域) は、読み取り専用、イジェクトまたはデータチェックの状況にある MVC を記録しません。
必要な場合、読み取り専用またはイジェクト状況の MVC を変更します。
- MVC が最近 MVCPool PPP に追加されている場合、システムセキュリティー製品を確認します。
要求されたメディアで ACS aa にある MVC が、最近 MVCPool PPP に追加されている場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合)、システム セキュリティー製品が MVC に対して書き込み権限があるか確認します。
前述の MVC キャッシュは、システムセキュリティー製品が書き込み権限を拒否する MVC のメディアを記録しません。
必要な場合、システムセキュリティー製品の定義を変更します。
- ストレージクラス SSS の定義を確認します。
指定された MEDIA(MMM) および ACS(AA) および MVCPool(PPP) パラメータの存在または不在を確認します (MVCPool(PPP) が指定されない場合、MVCpool DEFAULTPOOL が使用されます)。
VT Display STORCL(SSS) コマンドを使用して、ストレージクラス定義および MVCPool PPP にある各メディアタイプを表示できます。
ストレージクラス SSS の定義が不適切な場合、定義を訂正して、ストレージクラス定義を再ロードする MGMTDEF コマンドを発行します。
ストレージクラス SSS の定義が正しい場合、次の操作を実行します。
 - 指定されたメディアで、ACS AA にある MVC をさらに MVCPool PPP に追加して、MVCPool 定義を再ロードする VT MVCDEF コマンドを発行します。
 - 可能であれば、RECLaim を使用して、指定されたメディアおよび ACS AA 内にある一部の MVC を開放します。

SLS6857E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No RTDs for requested MEDIA and ACS

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、次の条件に合致する RTD が見つかりませんでした。

- 指定された ACS にある
- VTSS TTT に接続している
- ストレージクラスによって要求されたメディアに書き込むことができる

メッセージ SLS6860I の出力後に、ストレージクラス SSS の定義が表示されます。

VTV は、VTSS TTT から MVC(s) in ACS AA (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答: VTSS TTT に接続する RTD と一致する ストレージクラス SSS の定義で指定されたメディアおよび / または ACS を変更して、ストレージクラス定義を再ロードする MGMTDEF コマンドを発行します。

SLS6858E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - All RTDs for requested MEDIA and ACS are offline

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、次の条件に合致するオンライン RTD が見つかりませんでした。

- 指定された ACS にある
- VTSS TTT に接続している
- ストレージクラスによって要求されたメディアに書き込むことができる

メッセージ SLS6860I の出力後に、ストレージクラス SSS の定義が表示されます。

VTV は、VTSS TTT から MVC(s) in ACS AA (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答: VT VARY RTD(RRRR) ONLINE コマンドを発行して、次のような RTD をオンラインに切り替えます。

- ストレージクラス定義で指定された ACS にあるもの (該当する場合)
- VTSS TTT に接続している
- ストレージクラスによって要求されたメディアに書き込むことができる

SLS6859E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT -
Unknown reason (X'NN')

説明: VTCS がストレージクラス SSS にマイグレーションを試行しましたが、内部エラーの理由 (X'NN') のため選択できませんでした。

VTV は、VTSS TTT から MVC(s) in ACS AA (ACS FF は ACS を示します) にマイグレーションされています。

システム動作: 要求マイグレーションの場合は、マイグレーションが終了します。即時マイグレーションまたは自動マイグレーションの場合は、マイグレーションが再試行されます。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6860I

その他の情報:

説明: マイグレーションする MVC の選択の失敗を示すメッセージ (SLS6853E-SLS6859E) を出力後、失敗が発生した理由の判断に使用できる追加情報を表示します。

次のように出力されます。

- ストレージクラス SSS の定義によって指定または示されるメディア、ACS、MVCPool およびデバイスタイプ。
- このストレージクラスおよび使用可能なメディアまたはデバイスタイプへのマイグレーション時に必要なメディア、デバイスタイプ間の非互換性。
- VTSS TTT からこのストレージクラスへの自動、即時、強制マイグレーションがスケジュールされた次の VTV。

次のように表示されます。

- 「Storage Class: SSS ACS: AA VTSS: TTT」が出力されます。このメッセージは、以前発行された SLS6853E-SLS6859E の情報に関連している場合があります。
- 「Next auto-migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力され、volser (VVVVVV) および VTSS TTT (該当する場合) からの自動マイグレーションにスケジュールされた MGMTCLAS (CCCCCCCC VTV が 1 つの場合) を表示します。
- 「Next immediate migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力され、volser (VVVVVV) および VTSS TTT (該当する場合) からの自動マイグレーションにスケジュールされた MGMTCLAS (CCCCCCCC VTV が 1 つの場合) を表示します。
- 「Next migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力され、volser (VVVVVV) および VTSS TTT (該当する場合) からの要求マイグレーションにスケジュールされた MGMTCLAS (CCCCCCCC VTV が 1 つの場合) を表示します。

注 – VTSS TTT からストレージクラス SSS へのマイグレーションが次に成功するまで、VTCS で次にマイグレーションするものとして「Next (auto/immediate) migration VTV:」の下に一覧表示された以外の VTV を選択できます。

- 「MVCs must be in ACS AA and MVCPOOL PPP and be media type MMM」または「MVCs must be in MVCPOOL PPP and be media type MMM」または「MVCs must be in MVCPOOL PPP」は、ストレージクラスへのマイグレーション時に使用されるため MVC が満たさなければならない基準を示すものです。この基準は、ストレージクラス SSS の定義から派生したものです。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「ACS AA」と出力されます。

「media type MMM」が出力されるのは、ストレージクラス SSS で「MEDIA(MMM)」を指定している場合だけです。

「MVCPOOL PPP」は常に出力されます。ストレージクラス SSS で MVCPool を指定しない場合、DEFAULTPOOL となることを意味します。

- ストレージクラス SSS によって指定または示されている MVC プール (PPP) が定義されていない場合にのみ、「MVCPool PPP is not defined」と出力されます。
- 「RTD can be any device type」または「RTD must be device type DDD」と出力され、このストレージクラスへのマイグレーション時に使用するために RTD に必要なデバイスタイプを示します。

このデバイスタイプは、ストレージクラス SSS により指定または示されたメディアから派生しています。

- 「The MVCs in MVCPool PPP are only of media type MMM」は次の場合に出力されます。
 - ストレージクラス SSS でメディアが指定されていない、または
 - MVC プール PPP 内の MVC のメディア (MMM) とこのストレージクラスへのマイグレーション時に必要なメディアとの間に重複がない、または
 - MVC プール PPP に含まれるメディア (MMM) に書き込み可能なデバイスタイプを伴う構成 / ACS AA で使用可能な RTD がない。
- MVC Pool PPP にこのストレージクラスへのマイグレーション時に必要なメディアを持つ MVC が含まれ、それが空き MVC ではない場合にのみ、「MVCPool PPP contains no free MVCs (in any ACS/in ACS NN) (with the specified media)」と出力されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によって ACS が何も指定されなかった場合は、「in any ACS」と出力されます。空き MVC の検索は、ACS 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によって ACS(NN) が指定された場合は、「in ACS NN」と出力されます。空き MVC の検索は、ACS NN 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス SSS の定義によってメディアが指定された場合は、「(with the specified media)」と出力されます。

ストレージクラス SSS の部分的にフルの (使用済みの) MVC が使用されるため (指定されているメディアや ACS がある場合)、このメッセージが出力された場合でもストレージクラスへのマイグレーションが成功することがあります。

指定メディアを付けた MVCPool PPP 内のライブラリ外の MVC があれば、そちらも使用できます。

- (ACS AA 内の) VTSS TTT に接続している RTD がない場合にのみ、「VTSS TTT has no RTDs defined (in ACS AA)」と出力されます。ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。

ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、ACS AA でのみ VTSS TTT に接続されている RTD が確認されます。

ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、すべての ACS で VTSS TTT に接続されている RTD が確認されます。

- 「The RTDs defined in the configuration/ACS AA are only of device type DDD」は、VTSS (ACS AA 内) のいずれかに接続している RTD のデバイスタイプ (DDD) と次のものの間に重複がないときに出力されます。

- このストレージクラスにマイグレーションするときに必要なデバイスタイプ、または

- MVCPool PPP に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。

ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、VTSS TTT に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、VTSS TTT に接続されているすべての RTD が確認されます。

- 必要なデバイスタイプで VTSS TTT (ACS AA 内) に接続されている RTD があり、オンラインの RTD がない場合にのみ、「VTSS TTT has no suitable RTD online (in ACS AA)」と出力されます。

RTD デバイスタイプは、次のものに必要なデバイスタイプです。

- ストレージクラスへのマイグレーション

- ストレージクラスメディア仕様に一致する MVCPool PPP に含まれるメディアに制限される。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」を指定する場合にのみ、「(in ACS AA)」と出力されます。

ストレージクラス SSS により「ACS(AA)」が指定されている場合、VTSS TTT に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス SSS により ACS が指定されていない場合、VTSS TTT に接続されているすべての RTD が確認されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 元のエラーメッセージ (SLS6853E-SLS6859E) とそのヘルプテキスト、およびこのメッセージによって出力された情報を使用して、MVC がマイグレーションに選択されなかった理由を診断します。

SLS6861E

VTV VVVVVV has VTVPAGE(SIZE1) and resident in VTSS SSSSSSSS,
the CDS indicates VTVPAGE(SIZE2)

説明: VTV VVVVVV の処理中に、VTCS は、VTSS SSSSSSSS に VTV がページサイズ SIZE1 で常駐していると判断しました。しかし、これは CDS 内に記録されている情報と矛盾しています。CDS では、VTV が SIZE2 のページサイズで格納される場所が表示されています。SIZE1 と SIZE2 はそれぞれ、LARGE または STANDARD になります。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6862E

RRR VVVVVV attribute AAAAAAA not supported by output CDS

説明: ボリューム VVVVVV の VTV/MVC レコードに、CDS レベルまたは書き込み先 CDS 構成でサポートされていない属性があります。出力 CDS に書き込めるように許可してしまうと、下位バージョンの VTCS によって互換性の問題が起こる可能性があります。属性 AAAAAAA には、「>32000 VTVs」、「VTVPAGE=LARGE」、「MAXVTVSZ=2000/4000」、または「INPLACE」のいずれかが設定できます。

システム動作: すべての VTV および MVC がチェックされると、処理が異常終了します。

ユーザーの応答: VTCS CONFIG ユーティリティーで CDS レベルをアップグレードしてください。インポートの場合は、報告された VTV と MVC の除外方法に、パラメータを使用したオプションも用意されています。

SLS6863W

VTSSSEL function FFF (RECORD RRR) specifies undefined MVCPOOL PPP

説明: 機能 FFF に対する VTSSSEL ルールにより MVC プール PPP が指定されていますが、MVC プールは定義されていません。このルールは、MGMTDEF データセット内のレコード RRR に指定されています。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: VTSSSEL ルールによって正しい MVC プールが指定されている場合、MVC プール PPP の定義を MVC プールに追加し、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。

VTSSSEL ルールによって不正な MVC プールが指定されている場合、VTSSSEL ルールの定義を修正してから MGMTDEF コマンドを発行し、VTSSSEL ルールを再ロードします。

SLS6864E

Setting the VTCS status to SSSSSSSS failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: CDS 内で VTCS の状態を SSSSSSSS(初期化中は ACTIVE、終了処理中は INACTIVE) に設定しようとしたましたが、この要求は失敗し、戻りコード X'RRRRRRRR' が発生しました。

システム動作: VTCS は終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6865E

The CDS has been updated with feature(s) (X'HH') that are not supported by this version of CONFIG/DECOM

説明: より高いレベルのシステムで CDS が更新され、このバージョンの CONFIG/DECOM ではサポートされていない機能 (X'HH') が追加されています。このバージョンの HSC/VTCS は CDS に対して実行可能です。

システム動作: ユーティリティは、CONFIG に対してリターンコード 12 を戻し、DECOM に対してリターンコード 8 を戻して終了します。

ユーザーの応答: 最新バージョンの CONFIG/DECOM を使用して CDS を処理します。

SLS6867I

RTDs are now available that are capable of writing the MEDIA specified on all storage classes

説明: メッセージ 'SLS6851W There are no RTDs in the configuration/ACS aa capable of writing the media specified on STORCLAS SSS' が 1 つ以上のストレージクラスに対してすでに出力されています。構成または ACS aa で使用可能なデバイスタイプを変更すると、エラーは発生しなくなります。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6868I

CLINK XXXXXXXX/MN exported VTV VVVVVV to remote VTSS RRRRRRRR

説明: このメッセージは、VTV VVVVVV が、VTSS XXXXXXXX 内の MN に設定された CLINK によって、リモート VTSS RRRRRRRR に電子的にエクスポートされたことを確認するためのものです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6869I

Importing VTV VVVVVV from HHHHHHHH MGMTCL:MMMMMMMM

説明: このメッセージは、ホスト HHHHHHHH の MGMTCLAS: MMMMMMMMM から VTV VVVVVV をインポート中であることを確認します

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6870I

Sync export {SUCCESSFUL|FAILED|DROPPED} for VTV VVVVVV from VTSS FFFFFFFF to tapeplex PPPPPPP/TTTTTTTT

説明: VTSS FFFFFFFF から VTSS TTTTTTTT への、VTV VVVVVV の TapePlex PPPPPPP の同期エクスポートの試行に成功、失敗、または破棄されたことが、VTCS により検出されています。同期レプリケーション開始時に破棄された条件が存在し、タイムアウトしたか、失敗と報告されませんでした。

システム動作: 正常に同期エクスポートされた VTV は、これ以上処理されません。試行に失敗したか、破棄された場合、VTCS により、関連する CLINK およびセカンダリ VTD が回復し、失敗した VTV に対して非同期複製の試行が 1 度実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6871I

MGMTclas MMMMMMM, parameter XXXX incorrectly refers to
SSSSSSSS

説明: マネージメントクラス MMMMMMM の定義に、XXXX というパラメータがありますが、間違って SSSSSSS を参照しています。通常、SSSSSS はストレージクラス定義の名前です。このストレージクラス定義が存在していないか、この定義がパラメータ XXXX の文脈では無効である可能性があります。

システム動作: ユーティリティは失敗します。

ユーザーの応答: マネージメントクラスとストレージクラスの定義を確認して、訂正してください。

SLS6874I

TTT

説明: エラーの詳細メッセージ SLS6824I (TTT) が表示された後に、管理ポリシーファイルの定義に出力されます。

システム動作: 現在のユーティリティ要求は終了します。

ユーザーの応答: 管理ポリシーファイルの定義を修正して、ユーティリティ要求を再実行します。

SLS6875E

LISTDEL is not valid with this CDS (level 1)

説明: DECOM LISTDEL キーワードが指定されました。LISTDEL は、CDS のレベルが G 以上の場合のみ有効ですが、この CDS はレベル 1 です。

システム動作: DECOM は終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: LISTDEL キーワードを削除して、DECOM を再実行してください。

SLS6876E

AAA of CDS records for range RRR failed with return code
X'CCCCCCCC'

説明: 内部サービスルーチンが、VTCS が範囲 RRR の CDS レコードを初期設定中または更新中に、戻りコード X'CCCCCCCC' で失敗しました。

AAA が初期設定の場合、範囲 RRR は CDS に正常に追加されないことになります。

AAA が更新の場合、指定されている範囲、または CONFIG 入力に指定されていない範囲にそれぞれ基づいて、範囲 RRR 内の 1 つ以上のレコードが追加または CDS から削除されていません。

システム動作: CONFIG は終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: このエラー (CDS が一杯など) を説明できる、ほかのエラーメッセージの出力を確認してください。関係のある是正措置があれば講じてください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6877E

AAAAA of CDS record NNN DDD subfile SSS failed with Return Code X'CCCCCCCC'

説明: (DDD) サブファイル SSS 間の CDS レコード NNN の読み書き (AAAAA) が失敗して、戻りコード X'CCCCCCCC' が返されました。

システム動作: CONFIG は終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: このエラー (CDS が一杯など) を説明できる、ほかのエラーメッセージの出力を確認してください。関係のある是正措置があれば講じてください。エラーを訂正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6878E

TTT VVVVVV (in range RRR) can not be deleted because BBB

説明: CONFIG が、範囲 RRR 内にある、TTT (MVC/VTV) のタイプを、(BBB) の理由により、ボリューム VVVVVV を CDS から削除できませんでした。

CONFIG は、前の CONFIG 実行時に CDS に定義されていても、この CONFIG の実行に範囲が定義されていなかったため、その範囲内の各ボリュームを削除しようとしてしました。

理由は、次のうちのいずれかになります。

- マウント済み -

MVC または VTV が、それぞれ RTD または VTD にマウントされている。MVC および VTV が使用中のため、削除できない。

- 空である -

MVC に、1 つ以上の VTV が含まれている。あるいは、VTV が一切含まれていないが、VTCS が MVC のクリーンアップ処理を完了していない。

MVC は、使用中でなく空の場合で、かつ VTCS が MVC のクリーンアップ処理を完了していた場合のみ削除できます。

- VTSS に常駐している -

VTV を削除できるのは、使用中でなく、どの VTSS にも常駐していなく、VTV のマイグレーションコピーがなく、VTV が使用中でない場合のみです。

- VTV のマイグレーションコピーがある -

VTV を削除できるのは、使用中でなく、どの VTSS にも常駐していなく、VTV のマイグレーションコピーがなく、VTV が使用中でない場合のみです。

- ボリュームが使用中である -

MVC または VTV が、HSC/VTCS によって使用中 (ロック中) です。VT QU LOCKS には、このボリュームを使用中のシステムが表示されます。

MVC および VTV が使用中のため、削除できない。

システム動作: CONFIG は終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: 削除対象となる範囲が決定するため、CONFIG 入力が正しいことを確認してください。

削除対象となるすべての MVC が、使用中でなく空であることを確認してください。

このメッセージに、MVC が空でないことが表示されたら、MVC を DRAIN してください。

削除対象となるすべての VTV が、使用中でなく、どの VTSS にも常駐しておらず、マイグレーションコピーがないことを確認してください。

削除対象となるすべての MVC および VTV が正しい状態であれば、CONFIG を再実行してください。

SLS6879E

Connection to CF Structure SSS failed.IXLCONN gave RC=
X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS ユーティリティは coupling Facility 構成 SSS に接続を試みましたが、IXLCONN マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システム動作: ユーティリティは終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: 接続の失敗原因を判断するため、関連 IBM マニュアルで IXLCONN の戻りコード X'CCCCCCCC' および理由コード X'SSSSSSSS' を調べてください。可能な場合は、エラーを訂正してからユーティリティを再実行します。可能でない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6880E

Disconnecting from CF Structure SSS because a rebuild is in progress

説明: Coupling Facility 構成 SSS に接続中、または構成内のデータにアクセス中、VTCS ユーティリティがこの構成が再構築中であることを検出しました。

システム動作: このユーティリティは、その処理を完了せずに Coupling Facility から切断し、終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: 再構築が完了したら、このユーティリティを再実行してください。

SLS6881E

AAAAAA failed against CF Structure SSS. IXLLIST gave RC=
X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS ユーティリティは Coupling Facility 構成 SSS に処理 AAAAAA を試みましたが、IXLLIST マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

各処理に対して発行される IXLLIST マクロの形式は次のとおりです。

Lock obtain: IXLLIST REQUEST=LOCK,LOCKOPER=SET,xx

Lock release: IXLLIST REQUEST=LOCK,LOCKOPER=RESET,xx

Read: IXLLIST REQUEST=READ,xx

システム動作: ユーティリティは終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6882I

Disconnect from CF Structure SSS failed.IXLDISC gave RC=CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS ユーティリティは Coupling Facility 構成 SSS からの切断を試みましたが、IXLDISC マクロから許容不能な戻りコード / 理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システム動作: ユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6883E

Coupling Facility Structure SSS can not be accessed from system TTT

説明: TTT が CDS 内のホストとして定義されていないため、システム TTT で実行中の VTCS ユーティリティが、Coupling Facility 構成 SSS にアクセスできませんでした。

システム動作: ユーティリティは終了して、ゼロ以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの応答: システムで、CDS 内のホストとして定義されているこのユーティリティを実行してください。

SLS6884E

TAPEPLEX:TTTTTTTT SMC comms error:RRRRRRR

説明: TapePlexTTTTTTTT にコマンドを実行しているときに、問題が発生しました。RRRRRRR は、問題の性質です。オプションで、このエラーが特定の CLINK に関連している場合は、VTSS 名と CLINK ID がこのメッセージに追加されます。

これが通信エラーによる場合は、UUI リターンコードと理由コードが報告されます。

すべてのコマンドが、応答を生成するはずです。何も受信しない場合は、リターンコードに関係なく、報告されるエラーが「No response from remote system」になります。

システム動作: 問題が特定の CLINK に並んでいる場合は、CLINK がエラー状態になり、通信リンクのリセットが試行されます。状況に応じて、障害の引き金となった操作が再試行されたり中止されることがあります。

ユーザーの応答: エラーの原因を究明し、訂正してください。

SLS6885I

CLINK VVVVVVVV/CC Establishing comms to TAPEPLEX:TTTTTTTT
VTSS:RRRRRRRR

説明: VTSS VVVVVVVV の CLINK CC が、TapePlexTTTTTTTT 内のリモート VTSS RRRRRRRR で、SMC を使用して、通信の確立と検証を行おうとしました。

問題が発生した場合は、次のメッセージで問題が報告されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6886E

TAPEPLEX:TTTTTTTT VTSS:VVVVVVVV returned:EEEEEEEE

説明: エラーメッセージ EEEEEEEE が、TapePlex 内の VTSS VVVVVVVV に出されたコマンドに対し、TapePlex TTTTTTTT から返されました。このコマンドが、あるレベルで実行されましたが、エラーが発生しました。

問題が特定のCLINKに並んでいる場合は、CLINKがエラー状態になり、通信リンクのリセットが試行されます。

システム動作: 状況に応じて、障害の引き金となった操作が再試行されたり中止されることがあります。

ユーザーの応答: エラーの原因を究明し、訂正してください。

SLS6887E

Export of VTV VVVVVV to TAPEPLEX TTTTTTTT rejected: EEEEEEEE

説明: TAPEPLEX TTTTTTTT に対する VTV VVVVVV の電子的エクスポート中、エラーが検出された時点で、VTCS がこのメッセージを発行します。エラーメッセージ EEEEEEEE には、次のような明確な性質が説明されています。

■ 'Access denied by POOLPARM':

TapePlex TTTTTTTT で有効になっている POOLPARM 定義が、VTV VVVVVV の電子エクスポートの拒否の原因となりました。

■ 'Attempt to import older version of the VTV':

TapePlex TTTTTTTT に、VTV VVVVVV のバージョンが記載されており、これが電子エクスポートを試行したこのシステムのバージョンより最新のものです。

■ 'Does not support large page size VTVs':

TapePlex TTTTTTTT がサポートしていない大きいページサイズで、VTV VVVVVV が作成されました。

■ 'Does not support this size VTV':

VTV VVVVVV に、TapePlex TTTTTTTT がサポートしていない最大 VTV サイズ MMMM があります。

■ 'Not allowed to import from this TapePlex':

TapePlex TTTTTTTT が、このTapePlex からのインポートを許可していません。

■ 'Sent to the wrong TapePlex (WWWWWWW)':

電子エクスポート要求が、TapePlex TTTTTTTT ではなく TapePlex WWWWWWWW に送信されました。これは構成エラーを示しています。

■ 'Unsupported VTV attributes':

VTV VVVVVV に、TapePlex TTTTTTTT がサポートしていない属性があります。

■ 'VTV copy cannot be overwritten':

VTV VVVVVV が TapePlex TTTTTTTT の状態 (マウント済みなど) になっており、VTV が上書きされるのを妨げています。

■ 'VTV is import blocked':

先の VTV VVVVVV のインポート処理が、TapePlex TTTTTTTT 内で完了できず、VTV がインポートし直せないままになっています。

- 'VTV is not defined in the CDS':

VTV VVVVVV が、TapePlex TTTTTTTT によって CDS に定義されていません。

システム動作: 電子エクスポートが失敗します。エラーの中には、VTCS が電子エクスポートを再運転しようとするものもあります。

ユーザーの応答: エラーメッセージにしたがって、適切な処理を行なってください。

- 'Access denied by POOLPARM':

TapePlex TTTTTTTT で有効になっている POOLPARM 定義が、正しいことを確認してください。TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートしたすべての VTV が、TapePlex TTTTTTTT にインポートできることを確認してください。

- 'Attempt to import older version of the VTV':

特に必要な処理はありません。

- 'Does not support large page size VTVs':

TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートしたすべての VTV に、TapePlex TTTTTTTT がサポートしている属性があることを確認してください。

- 'Does not support this size VTV':

TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートしたすべての VTV に、TapePlex TTTTTTTT がサポートしている属性があることを確認してください。

- 'Not allowed to import from this TapePlex':

TapePlex TTTTTTTT へ電子エクスポートを試行しないようにこのシステムを変更するか、このシステムからのインポートを許可するように TapePlex TTTTTTTT を変更してください。

- 'Sent to the wrong TapePlex (WWWWWWW)':

TapePlex TTTTTTTT への電子エクスポートが、正しい TapePlex へ送信されるように、システム構成を訂正してください。

- 'Unsupported VTV attributes':

TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートしたすべての VTV に、TapePlex TTTTTTTT がサポートしている属性があることを確認してください。

- 'VTV copy cannot be overwritten':

特に必要な処理はありません。

- 'VTV is import blocked':

コマンド「Query VTV(VVVVVV)」を TapePlex TTTTTTTT に発行して、前のインポートを使用していたデバイス (DDDD) を判別してください。これは、「Importing: DDDD」の行に表示されます。また、このクエリー出力には「Electronic Imported: PPPPPPP」も表示されるはずです。ここで、PPPPPPP はこの TapePlex の名前です。コマンド「DISM VVVVVV,DDDD」を TapePlex TTTTTTTT に発行して、VTV をマウント解除し、今後インポートできるようにしてください。

- 'VTV is not defined in the CDS':

VTV VVVVVV を、TapePlex TTTTTTTT によって CDS に定義すべきかどうかを確認してください。TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートしたすべての VTV が、TapePlex TTTTTTTT によって使用された CDS に定義されていることを確認してください。

SLS6888E

CCCCCCC OF MVC MMMMM FAILED. NN VTV(S) NOT PROCESSED.

説明: コマンド CCCCCC (ドレイン / リクレイム) により MVC MMMMM の処理が開始しましたが、nn VTV の処理は失敗しました。

システム動作: ドレインまたはリクレイムは終了し、条件コード 8 が立ちます。

ユーザーの応答: 障害の原因については、SLS6640I または SLS6790I など、前のメッセージを参照してください。エラーを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6889I

Demand FFFFFFFF to VTSS VVVVVVVV completed error-message

説明: このメッセージは、VTSS VVVVVVVV への強制複製 / エクスポートが正常に完了したことを確認するためのものです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6890I

VTV VVVVVV failed to FFFFFFFF from VTSS VVVVVVVV because of status change

説明: このメッセージは、このアクションが要求されてから VTV の状態が変更されたため、VTSS SSSSSSSS からの VTV VVVVVV に対し要求されたアクション FFFFFFFF を完了できなかったことを確認するためのものです。

システム動作: VTV は、複製もエクスポートもされません。

ユーザーの応答: なし

SLS6891I

STORclas SSSSSSSS, parameter XXXX incorrectly refers to PPPPPPPP

説明: 記憶クラス SSSSSSSS の定義に、XXXX というパラメータがありますが、間違って PPPPPPPP を参照しています。通常、PPPPPPPP は別の TapePlex 名です。

TapePlex 名が、VTCS 構成から欠落している可能性があります。

システム動作: ユーティリティは失敗します。

ユーザーの応答: マネージメントクラスとストレージクラスの定義を確認して、訂正してください。

SL56892W

There are no RTDs in XXX capable of writing the media contained in MVCPool PPP (SC SSS)

説明: ストレージクラス SSS により、MVC が MVCPool PPP から選択されるように指定または示されます。

メッセージ内の XXX が「ACS AA」の場合:

- 記憶クラス sss の定義の形式は、STORclas NAME(SSS) ACS(AA) です。
- MVCPool PPP は定義されていますが、ACS AA 内の RTD により書き込み可能なメディアを持つ MVC は MVCPool PPP 内にはありません。

メッセージ内の XXX が「the configuration」の場合:

- ストレージクラス SSS の定義の形式は、STORclas NAME(SSS) ... です (ACS(AA) パラメータはありません)。
- MVCPool PPP は定義されていますが、構成内の RTD により書き込み可能なメディアを持つ MVC は MVCPool PPP 内にはありません。

STORCLAS 定義上の MVCPOOL(PPP) パラメータの有無は、ストレージクラスへのマイグレーション時に MVCPool がどの MVC から選択されるかを示しています。

ストレージクラス SSS の定義が形式 STORclas NAME(SSS) MVCPOOL(PPP) の場合、MVC は MVCPool PPP から選択されます。

ストレージクラス SSS の定義の形式は STORclas NAME(SSS) ... (MVCPOOL(PPP) パラメータはありません) で、MVC は MVCPool DEFAULTPOOL から選択されます。

名前のない MVCPool (MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式、NAME(PPP) パラメータなし) で指定されている MVC のプールに対して、VTCS により DEFAULTPOOL と名付けられます。

ストレージクラス SSS へのすべてのマイグレーション、またはこの MVC プールからの MVC の要求は失敗します。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: STORCLAS の定義により正しい MVCPool が指定または示されている場合、構成または ACS AA (適宜) で使用可能な RTD によって書き込み可能なメディアの MVC を含むように MVCPool PPP の定義を修正します。VT MVCDEF コマンドを発行して、MVCPool 定義を再ロードします。

STORCLAS の定義により不正な MVCPool が指定または示されている場合、ストレージクラスの定義を修正してから MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードします。

SL\$6893I

DEFAULTPOOL に含まれるメディアの書き込みが可能な RTD が構成内にありません。

説明: 名前の付いていない MVCPool (MVCPool Volser(VVVVVV) の形式、「NAME(PPP)」パラメータなし)。

:DEFAULTPOOL は定義されていますが、構成内の RTD により書き込み可能なメディアを持つ MVC は DEFAULTPOOL 内にはありません。

すべての STORCLAS 定義の形式は STORclas NAME(SSS) MVCPOOL(PPP) のため、DEFAULTPOOL を使用していることを示す STORCLAS 定義はありません。

MGMTCLAS のない VTV または定義されていない MGMTCLAS のある VTV をマイグレーションする場合に DEFAULTPOOL が使用されるため、VTCS により DEFAULTPOOL 内の MVC が確認されています。

この MVCPool に対するすべてのマイグレーションが失敗します。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの応答: MVCPool DEFAULTPOOL にメディアタイプを表示させるために VT QU MVCP NAME(ALL) が発行される場合があります。

RTD のデバイスタイプを表示させるために VT QU CONFIG が発行される場合があります。

MGMTCLAS なしで VTV が作成される場合、またはこのホストで定義されていない MGMTCLAS を持つ VTV が作成される場合 (たとえば、別の MGMTDEF 定義を使用しているほかのホストに作成される場合)、構成内で使用可能な RTD によって書き込み可能なメディアの MVC を含むように DEFAULTPOOL の定義を修正します。VT MVCDEF コマンドを発行して、MVCPool 定義を再ロードします。

SL\$6894I

M rtd-adr,mvcid,SL,,vtssname,calling-module,storclas

説明: このメッセージは、MVC マウント要求を説明します。

<i>rtd-adr</i>	マウント対象のRTDアドレス
<i>MVCid</i>	使用されるVOLSER
<i>vtss-name</i>	この要求のVTSS名
<i>calling-module</i>	マウントを要求しているVTCSモジュール
<i>storclas</i>	この要求のSTORCLAS

システム動作: HSC が、表示された MVC を RTD にマウントするよう指示されました。

ユーザーの応答: なし。これは、通知メッセージです。

SLS6895I

K rtdaddr,mvcid,volser,PVT,vtssname,calling-module

説明：このメッセージは、MVC マウント解除要求を説明します。

rtd-adr	マウント対象のRTDアドレス
MVCid	使用されるVOLSER
vtss-name	この要求のVTSS名
calling-module	マウントを要求しているVTCSモジュール
storclas	この要求のSTORCLAS

システム動作：HSC が、表示された MVC を RTD からマウント解除するよう指示されました。

ユーザーの応答：なし。これは、通知メッセージです。

SLS6896E

Mount of MVC volser on RTD rtdaddr failed.回復を試みるために VTCS 要求または RETRY を終了するには、CANCEL を入力します。

説明：指定されたマウントは失敗します。

システム動作：処理は続行されます。

ユーザーの応答：回復を試みるために VTCS 要求または RETRY を終了するには、CANCEL を入力します。

SLS6897E

Invalid TAPEPLEX name 'NNNN' specified for option 'KKKKKK'

説明：キーワード KKKKKK に指定された名称 NNNN が、TapePlex 名でないか、CDS に有効な TapePlex として追加されていません。

システム動作：ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答：制御カードを適切に訂正して、ジョブを再実行してください。TapePlex 名が正しければ、VTCS 構成を見直してください。

SLS6898W

RTD RRRR device type of TTTTTTTT not verified.LSM AA:LL is offline

説明：収容している LSM がオフラインのため、VTCS が、デバイスタイプ RTD RRRR を検証できませんでした。VTCS はこのデバイスを、LSM が最後にオンラインだったときと同タイプのデバイスとして見なします。このデバイスのタイプが有効な RTD デバイスタイプでない場合は、このメッセージのあとにメッセージ SLS6619E が表示されます。

システム動作：VTCS は、検証されていないデバイスタイプを使用して処理を続けます。

ユーザーの応答：LSM をオンラインに変更してください。デバイスタイプが正しい場合、それ以上処理は必要ありません。そうでない場合は、RTD をオンラインに変更してください。

SLS6899E

Device *DDDD* can not be used as an RTD on this host because it is not defined to HSC

説明: デバイス *DDDD* が、VTCS 構成内の RTD として定義されています。ほかのホストの HSC に定義されていたとしても、このデバイスがこのホストの HSC に定義されていないため、この定義は無効です。

システム動作: VTCS は処理を続けますが、デバイスはこのホストの RTD として使用できません。

ユーザーの応答: デバイス *dddd* を使用するには、HSC LIBGEN と VTCS CONFIG を確認してください。

- この定義が正しければ、処理は必要ありません。
- デバイス *DDDD* が、このホストまたはすべてのホストの HSC LIBGEN から欠落しています。SET SLIDRIVS ユーティリティーを使用して、これを HSC に定義してください。CDS が HSC デバイスを動的に追加できるよう設定した場合は、その手順に従い、VT VARY RTD (*DDDD*) ONLINE を発行してください。そうでない場合は、HSC/VTCS を停止/再起動します。
- デバイス *DDDD* を RTD としてこのホストだけでなくどのホストにも定義すべきでない場合は、VTCS 構成からそれを削除してください。

SLS6900I

SYNCH REPLICATION {SUCCESSFUL|FAILED|DROPPED} FOR VTV *vtvid* FROM VTSS *privtss* TO VTSS *sevtss*

説明: プライマリ VTSS *privtss* からセカンダリ VTSS *sevtss* への、VTV *vtvid* の同期複製の試行に成功、失敗、または破棄されたことが、VTCS により検出されています。同期複製開始時に破棄された条件が存在し、タイムアウトしたか、失敗と報告されませんでした。

システム動作: 正常に同期複製された VTV は、これ以上処理されません。試行に失敗したか、破棄された場合、VTCS により、関連する CLINK およびセカンダリ VTD が回復し、失敗した VTV に対して非同期複製の試行が 1 度実行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6901I

VTV *VVVVVV* rejected; unknown tapeplex name *TTTTTTTT* encountered in manifest file

説明: マニフェストファイル内で、VTV *VVVVVV* に関連付けられた TapePlex 名 *TTTTTTTT* が VTCS 構成に認識されていません。これは、SETOWNER 処理が要求されていたか、インポート中の MVC コピーが TapePlex に格納されていないかのいずれかによるものです。

システム動作: 一覧表示されている VTV が無視されて、処理は続行されます。

ユーザーの応答: 拒否したくない場合は、原因となる TapePlex 名を VTCS 構成に追加してください。

SLS6902W

STORCLAS SSS references invalid tapeplex XXX

説明: 記憶クラス SSS に、TapePlex XXX で VTV のコピーを保管するよう指定されています。ただし、この TapePlex を参照するよう定義されているデバイスがないようです。

システム動作: VTCS 処理は続行されます。問題が解決されるまで、このストレージクラスを参照するすべての VTV が、常駐としてロックされます。

ユーザーの応答: TapePlex XXX を参照する構成にデバイスを追加するか、記憶クラスの定義を訂正してください。

SLS6903E

VTSS NNNNNNNN does not have 32 RTD support

説明: VTSS NNNNNNNN が、32 RTD サポートなしで検出されました。16 を超える RTD/CLink またはチャネルインタフェースアドレス *ci:n* が記載されている、無効な構成が定義されています。*n* は、2 または 3 です。

システム動作: VTSS の初期化が終了し、HSC 処理が VTSS セットが「アクセス可能でない」状態で継続されます。

ユーザーの応答: 構成パラメータを修正し、CONFIG ユーティリティーを再実行して VTCS 構成を再定義します。

SLS6904E

RC CCCCCC1 returned from CDS Logging request. エラー状況が付加されたことを簡単に説明するエラーメッセージ。

説明: VTCS がイベントのロギングを試みましたが、エラーメッセージに記載された理由により、この操作が失敗しました。

システム動作: ロギング操作が失敗し、それに関連する要求がスケジュールし直されるか、失敗します。

ユーザーの応答: 報告されたリターンコードに応じて、適切な処理を行なってください。

7501 - No log files defined.

VTCS のロギングポリシーが、要求に応じて定義されていますが、HSC にロギングが確立しませんでした。HSC 内でロギングを設定する方法については、HSC ドキュメントを参照してください。

7502 - log file(s) are full.

オフロード処理が行われ、ログ機能が再確立されるまで、重要な VTCS イベントにこれ以上のロギングまたは CDS 更新が行えないため、VTCS 機能が低下します。

7503 - Failure during logging operation.

VTCS がイベントをロギングしようとしたところ、内部エラーが発生しました。生成されたリターンコードを引用して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6905E

VTCS batch updates to the CDS are disallowed where VTCS logging is mandatory. Run CONFIG to revert to optional VTCS batch updates to the CDS are disallowed where VTCS logging is mandatory

説明: VTCS が、CDS バッチ更新を行おうとしましたが、VTCS 内のロギングが必須に指定されています。

システム動作: この操作は失敗します。バッチ処理を使用可能にして CDS を更新するには、VTCS 内のロギングをオプションとして指定してください。

ユーザーの応答: 上記に最も考えられる原因は、ロギングが VTCS 内に必須として指定されていることです。VTCS 内のロギングをオプションに戻すには、CONFIG にグローバル変数 LOGPOL=OPTional を付けて実行してください。

SLS6906I

MVCDRAIN has set READONLY(OFF) for MVC mvc

説明: MVCDRAIN specified READONLY(OFF). このメッセージは、この MVC に READONLY(OFF) が設定されていることを確定するためのものです。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6908E

MVC CCCCCC1 unable to turn CCCCCC2 Do Not Scratch indicator.RC=CCCCC3, Reason=CCCCC4

説明: MVC CCCCCC1 を処理中、CONFIG が CCCCCC2 で「Do Not Scratch」表示をオンまたはオフにしようとしたましたが、エラーが発生しました。

システム動作: CONFIG が終了し、戻りコード CCCCCC3 と理由 CCCCCC4 を返します。

ユーザーの応答: 処理対象となる MVC が決定するため、CONFIG 入力正しいことを確認してください。削除対象となるすべての MVC が、使用中でなく空であることを確認してください。削除対象となるすべての MVC が正しい状態であれば、CONFIG を再実行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6909E

Date error - CCCCCC1

説明: VTCS が、日付を別の形式に変換しようとしたましたが、CCCCC1 に記載されたエラーが発生しました。

システム動作: 日付の変換に失敗します。

ユーザーの応答: ユーザー入力が無効なためにこのエラーが発生した場合は、日付を訂正してコマンドを再送信してください。

SLS6910E

CCCCCCC1 error for DDName CCCCCC2

説明: VTCS が、操作 CCCCCC1 を DDName CCCCCC2 に行おうとしましたが、この操作が失敗しました。

システム動作: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの応答: ユーザー JCL が無効なためにこのエラーが発生した場合は、訂正してジョブを再送信してください。

SLS6911E

SWSLOGAN error message - CCCCCC1

説明: ログファイルを解析しようとしたところ、VTCS モジュール SWSLOGAN に、CCCCCCC1 に記載したエラーが発生しました。

システム動作: VTCS が行おうとしていた回復処理が失敗します。

ユーザーの応答: StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6912E

Unknown sub-command CCCCCC1 submitted with LOGUTIL recovery command.

説明: VTCS が、入力データストリームで指定された回復処理を行おうとしましたが、サブコマンド CCCCCC1 が認識されないため、どの処理を行うべきか判断できません。

システム動作: VTCS が行おうとしていた回復処理が失敗します。

ユーザーの応答: サブコマンドを訂正して、ジョブを再送信してください。

SLS6913E

Logging utility #

The stated VTCS logging utility has detected the condition outlined.

説明: VTCS が、ユーティリティーを実行しようとしたのですが、警告またはエラー状態が検出されました。

システム動作: 警告が生成された場合は、処理が続行されます。エラー状態が報告された場合は、そのユーティリティーの処理が失敗します。

ユーザーの応答: ユーザー入力が原因でこのエラーが発生した場合は、訂正してジョブを再送信してください。

SLS6914E

OPEN error for DDName XXXXXXXX

説明: Log ユーティリティーが、指定した DD 名 XXXXXXXX のオープンに失敗しました。

システム動作: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの応答: ユーザー JCL が無効なためにこのエラーが発生した場合は、訂正してジョブを再送信してください。

SLS6915E

`SORT error processing log file`

説明: ログファイル进行处理するために、Log ユーティリティが SORT を呼び出します。SORT から、ゼロ以外のリターンコードが戻されました。

システム動作: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの応答: SORTOUT ファイルに SORT から生成されたエラーメッセージがないか調べ、SLSPRINT ファイルに Log ユーティリティから生成されたエラーメッセージがないか調べてください。

SLS6917E

`Sequence number check error: record NNNNNNNN, last seqno
XXXXXXXXXXXXXXXXXX, next seqno YYYYYYYYYYYYYYYY`

説明: Log Utility SORT 出口の出力フェーズ中、連続していない通し番号順のレコードがあることが検出されました。レコード NNNNNNNN には、通し番号 YYYYYYYYYYYYYYYY がありますが、以前読み取っていた通し番号は XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX でした。これは、Log File の整合性エラーです。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: Log File ユーティリティへの入力を訂正し、連続したセットのログファイルレコードを指定してください。

SLS6918E

`BLKID validation error: record NNNNNNNN, last PPPPP blkid
XXXXXXXX, next start blkid YYYYYYYY`

説明: Log ユーティリティが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。VTV を新規追加する Log File レコード NNNNNNNN を処理中、MVC の VTV の開始ブロック番号 YYYYYYYY が、PPPPP = 「end」のときに、以前の VTV 終了ブロック番号 XXXXXXXX よりも大きくありませんでした。または PPPPP = 「start」のときに、以前の VTV の開始ブロック番号 XXXXXXXX よりも大きくありませんでした。これは、Log File に収集されていない不明なアクティビティがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: なぜ Log File アクティビティが欠落したのか究明してください。

SLS6919E

`Reset EOT to 0 validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMMM
VTV count XXXX, VTV del count YYYY`

説明: Log ユーティリティが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。MVC MMMMMM の EOT blkid を 0 にリセットする Log File レコード NNNNNNNN の処理中、アクティブな VTV カウントと削除された VTV カウントフィールドも 0 でなくてはなりません。

XXXX または YYYY、あるいはその両方が、0 以外であることが判明しました。これは、予想外のデータ検証エラー状況です。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6920E

CCCCCCC1 error for CDS

説明: VTCS が、操作 CCCCCC1 を CDS に対して行おうとしましたが、この操作が失敗しました。

システム動作: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの応答: ユーザー JCL が無効なためにこのエラーが発生した場合は、訂正してジョブを再送信してください。

SLS6921W

CCCCCCC1 transaction sequence number warning: CDS CCCCCC2:
Log files CCCCCC3

説明: VTCS ログユーティリティー CCCCCC1 は、CDS 通し番号 CCCCCC2 が、ジョブに指定されているログファイルに含まれている最初のログレコードの最初のトランザクション通し番号 CCCCCC3 よりも小さいことを検出しました。

ログシステムは、ログ対象の各データイベントに、昇順の通し番号を使用します。この通し番号は、ログトランザクションに書き込まれ、CDS にも書き込まれます。CDS バックアップで保持していた通し番号が、回復処理に示された最初にログしたトランザクションの通し番号よりも前でないか、VTCS 回復処理が検証します。相違があると、ログしたトランザクションが回復処理から除外されていることを意味するため、完全に回復されないことがあります。

システム動作: 処理は続行しますが、不一致を調べてください。ログしたトランザクションデータセットが回復処理から省略された場合は、そのデータセットも含めてジョブを再実行してください。

ユーザーの応答: 必要に応じて不一致を調べ、欠落したログ済みトランザクションデータセットがあればそれを入れて、回復を再実行してください。

SLS6922E

Reset EOT chain error A: record NNNNNNNN, MVC MMMMMM reset
blkid XXXXXXXX, VTV start blkid YYYYYYYY, flags FF

説明: Log ユーティリティーが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。MVC MMMMMM の XXXXXXXX に EOT blkid をリセットする Log File レコード NNNNNNNN を処理中に、VTV と開始 blkid YYYYYYYY に予想外のフラグ FF があることが判明しました。検出されるチェーンエラー状況は、「chain error A」に値 1 または 2 があるという 2 つの可能性がありません。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティーがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティーの理由が Log File がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6923E

Reset EOT BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM
blkid YYYYYYYY, chain end

Reset EOT to BBBBBBBB error A: rec NNNNNNNN, MVC MMMMM DDDDDD
constructs CCCCCCCC, VTV count XXXX,VTV del count YYYY

説明: Log ユーティリティが、MVCにある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。Log File レコード NNNNNNNN を処理中、EOT blkid を MVC MMMMM の BBBBBBBB にリセットしたところ、VTV カウントフィールドを DDDDDD で検証中に、カウント CCCCCCCC が作図されるエラー A が発生しました。

- エラー A が 1 の場合、DDDDDD は「VTV」となるため、VTV が作図するカウントは、リセット VTV カウント XXXX 以下ではなかったことになります。
- エラー A が 2 の場合、DDDDDD は「unlink(リンク切断)」となるため、unlink が作図するカウントは、リセット VTV カウント YYYY 以下ではなかったことになります。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

システム動作: EOT blkid を MVC MMMMM の YYYYYYYY にリセットする Log File レコード NNNNNNNN、最後に存在していた VTV が、チェーンの終端が到達するまで、最後の blkid と一致しなかったことが判明しました。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティの理由が Log File にはない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6924E

BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM reset EOT
blkid XXXXXXXX, start blkid YYYYYYYY

説明: Log ユーティリティが、MVCにある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。VTV を MVC MMMMM に新規追加する Log File レコード NNNNNNNN を処理中、開始 blkid YYYYYYYY が、以前リセットした EOT blkid の XXXXXXXX と等しくなりませんでした。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティの理由が Log File にはない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6925I

XX NNNNNNNN

説明: Log Utility 解析フェーズが完了し、各種レコード / 作図カウント
NNNNNNNN が報告されました。

XX は、可変テキスト
で、次のいずれかになります。

- SORT に読み込まれたレコード
- 日時範囲内に含まれたレコード
- 日時範囲で除外されたレコード
- SLS6925I レコードタイプは、次のように処理されます。
- SLS6925I A - MVC に追加した VTV、40,341
- SLS6925I B - MVC にインポートした VTV、515
- SLS6925I E - EOT を逆方向にリセット、336
- SLS6925I F - MVC の初使用または再利用、237
- SLS6925I G - インポート済み MVC、16
- SLS6925I R - MVC からのリクレイム VTV、17,866
- SLS6925I U - MVC からリンク切断された VTV、20,508
- SLS6925I V - 新バージョンの VTV、19,633
- SLS6925I W - インポート済み VTV、515
- SLS6925I X - VTV の電子エクスポート、196
- スキップされた不要なレコードタイプ
- 処理されたシステム数
- システム HOSTNAME から処理されたレコード
- MVC の数
- VTV の数
- 作成された VTV バージョンの数
- 削除された VTV バージョンの数
- 存在している VTV バージョンの数

上記の HOSTNAME は、HSC Host ID 名です。Log File に見つかったシステム名ごと
に、1 行あります。

システム動作: Log File ユーティリティーが、処理を続行します。

ユーザーの応答: なし。これは情報メッセージです。

SLS6926I

VTSS NNNNNNNN does not support the MVC initialization (Write
New VOL1 Label) feature

説明: MVC 初期設定機能が要求されましたが、VTSS NNNNNNNN は、この機能を
サポートしていないマイクロコードレベルにあります。

システム動作: 処理は続行されますが、この VTSS から MVC の初期設定は行えませ
ん。

ユーザーの応答: MVC 初期設定機能が必要な場合は、VTSS をマイクロコードレベル
をサポートしている VTSS にまでアップグレードして、HSC/VTCS を停止 / 再起動
するか、VTSS をオフライン / オンラインに変更して、この機能を有効にしてくださ
い。

SLS6927E

Add after reset EOT locate BLKID error: record NNNNNNNN, MVC
MMMMMM blkid XXXXXXXX, chain end

説明: Log ユーティリティが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。Log File レコード NNNNNNNN を処理中、XXXXXXXX にリセットした EOT blkid が以前あった MVC MMMMMM に追加したところ、チェーン終端が到達する前に、開始 blkid 以上のレコードが見つかりませんでした。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティの理由が Log File がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6928E

Reset EOT BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM
blkid YYYYYYYY, chain end

説明: Log ユーティリティが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。Log File レコード NNNNNNNN を処理中、EOT blkid を MVC MMMMMM の YYYYYYYY にリセットしたところ、一致する (同数以上の) 開始 blkid が見つかる前に、チェーン終端に到達しました。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティの理由が Log File がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6929E

VTV # contains tapeplex # that is unrecognized to the target
CDS

VTV レコードの TapePlex 名が、ターゲット CDS の VTCS 構成に定義されていません。

説明: ソース CDS 内で、VTCS 構成内のターゲット CDS で認識されていない TapePlex 名が VTV に発生しました。

システム動作: すべての VTV および MVC がチェックされると、処理が異常終了します。

ユーザーの応答: ターゲット VTCS 構成に、TAPEPLEX 文で TapePlex 名を追加し、CONFIG ユーティリティを実行してください。

SLS6930E

Locate VTV connector error E: record NNNNNNNN, MVC MMMMM t/s
XXXXXXXXXXXXXXXX, VTV start bilked YYYYYYYY, FLAGS FF

説明: Log ユーティリティーが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。Log File レコード NNNNNNNN に VTV 開始 blkid YYYYYYYY を付けて処理中、検索 VTV コネクターエラー E が発生し、タイムスタンプ XXXXXXXXXXXXXXXX と MVC MMMMM を一致するのに予想外のフラグ FF が付いていました。エラー E は、内部数値による診断値です。

これは、予想外のデータ検証エラー状況です。恐らく、Log File に収集されていない不明なアクティビティーがいくつかあることを表しています。

システム動作: SORT が断念され、Log File ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: 欠落したアクティビティーの理由が Log File がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6931E

No active VTCS system found.Command: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

説明: MVC Pool Report ユーティリティーは、アクティブな VTCS システムから情報を取得する必要があります。内部コマンド XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX を発行したところ、アクティブな VTCS システムが見つかりませんでした。

システム動作: 現在のユーティリティー要求は終了します。

ユーザーの応答: ユーティリティーの要求の期間、VTCS をアクティブにしてください。

SLS6932E

Inventory syntax error: RRR

説明: このメッセージの前に記載されている INVENTORY ユーティリティーの構文に、次のようなエラー RRR が記載されています。

- The value of CDScheck must be Full, Mvc or None.(CDScheck の値がいっぱい、MVC、または存在しません。)
- The value of STOPleot must be NO or YES.(STOPleot の値が、NO または YES のいずれかでなくてはなりません。)
- The value of TERMerr must be NO or YES.(TERMerr の値が、NO または YES のいずれかでなくてはなりません。)
- STOPleot(YES) can only be specified with CDScheck(Full/Mvc).(CDScheck(Full/Mvc)には、STOPleot(YES) のみ指定できます。)
- TERMerr(YES) can only be specified with CDScheck(Full/Mvc).(CDScheck(Full/Mvc)には、TERMerr(YES) のみ指定できます。)

システム動作: 処理は終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの応答: このユーティリティーを再実行する前に、構文を訂正してください。

SLS6933I

VTV:VVVVVV MVC:MMMMMM Loc:PPP/BBBBBBBB Create:CCC
Migrate:RRR OOO

説明: このメッセージには、MVC の目録を実行中に、MVC MMMMMM に見つかった VTV VVVVVV の詳細が表示されます。詳細は、CDS 内ではなく、MVC MMMMMM に記録されたものです。

- PPPP/BBBBBBBB は、VTV VVVVVV が始まる、位置 MVC mmmmmm を示します。PPPP はパーティション、BBBBBBBB はブロック情報です。
- CCCは、VTV VVVVVVが作成された日時です(判明している場合)。
- RRRは、VTV VVVVVVがMVC MMMMMMにマイグレーションされた日です(判明している場合)。
- OOO は、INVENTORY ユーティリティーが CDScheck(Full/Mvc) を指定した場合のみ出力される、オプションのコメントです。CDSに、VTV VVVVVV の常駐または MVC コピーがあり、このメッセージに説明されたコピーと異なる場合は、メッセージ SLS6934I が出力され、CDS コピーの VTV VVVVVV が記載されません。

VTV VVVVVV のコピーに関して CDS 内に記録されている VTV VVVVVV の詳細についての OOO コメントが、MVC MMMMMM に見つかりました。

- 'CDS VTV is not defined' - VTV VVVVVV が、CDS に定義されていません。
これはエラーです。このCDSを使用中にVTV VVVVVVがMVC MMMMMMにマイグレーションした場合は、この状況が発生すべきではありません。
- 'CDS shows no VTV copy' - VTV VVVVVV のコピーがまったく作成されていないことを示します。
これはエラーです。このCDSを使用中にVTV VVVVVVがMVC MMMMMMにマイグレーションした場合は、この状況が発生すべきではありません。
- 'CDS shows an older VTV' - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーに、VTV VVVVVV のコピーよりも古い (最新でない) 作成日時があることが MVC MMMMMM に検出されました。
これはエラーです。このCDSを使用中にVTV VVVVVVがMVC MMMMMMにマイグレーションした場合は、この状況が発生すべきではありません。
- 'CDS shows a newer VTV' - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーに、VTV VVVVVV のコピーよりも新しい (最新の) 作成日時があることが MVC MMMMMM に検出されました。
これは通常であり、次のように発生します。
 - VTV VVVVVV が、日時 CCC に作成され、ブロック BBB で MVC MMMMMM にマイグレーションされます。
 - 日時 DDD 以降、VTV VVVVVV の別のコピーが作成されます。
 - VTV VVVVVVがMVC MMMMMMに物理的に存在したままでも、VTCSがCDSを更新し、MVC MMMMMM からリンク切断された VTV VVVVVV があることが表示されます。
- 'CDS shows same age VTV' - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーに、VTV VVVVVV のコピーと同じ作成日時があることが MVC MMMMMM に検出されました。ただし CDS は、MVC MMMMMM にある PPPP/BBBBBBBB の位置に、VTV VVVVVV のコピーを表示しません。

これは通常であり、次のように発生します。

- VTV VVVVVVV が、日時 CCC に作成され、ブロック BBB で MVC MMMMMM にマイグレーションされます。
- MVC MMMMMM がドレインされます。
- VTV VVVVVVV が MVC MMMMMM からリコールされ、MVC NNNNNN にマイグレーションされます。
- VTV VVVVVVV が MVC MMMMMM に物理的に存在したままでも、VTCS が CDS を更新し、MVC MMMMMM からリンク切断された VTV VVVVVVV があることが表示されます。
- 'CDS shows matching VTV' - CDS に記録された VTV VVVVVVV のコピーに、VTV VVVVVVV のコピーと同じ作成日時があることが MVC MMMMMM に検出されました。さらに、PPPP/BBBBBBBB の MVC MMMMMM の位置にある この VTV のマイグレーションされたコピーが、CDS によって表示されます。

これは通常であり、VTV VVVVVVV の最新コピーであることを示しています。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: コメント「CDS VTV is not defined」、「CDS shows no VTV copy」、または「CDS shows an older VTV」が出力された場合:

- このケースになった理由を調べてください。
- コメント 'CDS VTV is not defined' が出力され、VTV VVVVVVV を CDS に定義すべき場合は、適切な手順でこれを定義してください。
- CDS が MVC MMMMMM の内容と一致すべき場合は、MVC MMMMMM の監査を行ってください。

それ以外の場合は、処理する必要がありません。

SLS6934I

VTV VVVVVVV: TTT CREATED CCC MIGRATED RRR

説明: このメッセージには、MVC の目録を実行中に、MVC MMMMMM に見つかり、CDS に記録された VTV VVVVVVV の詳細が表示されます。

- TTT は、次のとおりです。
 - 'Not on MVC MMMMMM' - MVC MMMMMM に VTV VVVVVVV のコピーがないことが CDS によって示された場合、または
 - 'MVC MMMMMM block BBB' - MVC MMMMMM のブロック BBB の開始位置に VTV VVVVVVV のコピーがあることが CDS によって示された場合。

TTT の値に関係なく、VTV VVVVVVV のコピーはほかの MVC に存在している可能性があります。

- CCC は、VTV VVVVVVV が作成された日時です (判明している場合)。
- 'Migrated RRR' は、VTV VVVVVVV が MVC MMMMMM にマイグレーションされた日です。MVC MMMMMM に VTV VVVVVVV のコピーがあり、かつ日付が判明していることが CDS によって表示されている場合のみ、出力されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6935E

VTV:VVVVVV MVC:MMMMMM Loc:PPP/BBBBBBBB Create:CCC Migrate:RRR

説明: このメッセージは、次のように、VTV VVVVVV の CDS に記録された詳細を示すものです。

- PPPP/BBBBBBBB は、VTV VVVVVV が始まるパーティションとブロックからなる MVC MMMMMM 上の位置を示します。
- CCCは、VTV VVVVVVが作成された日時です(判明している場合)。
- RRRは、VTV VVVVVVがMVC MMMMMMにマイグレーションされた日です(判明している場合)。

CDS は VTV VVVVVV のコピーが MVC MMMMMM にあることを表していますが、MVC のインベントリを実行中、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV が見つかりませんでした。

システム動作: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーで TERMerr(YES) が指定されていた場合、MVC MMMMMM の処理が終了します。正しいパスワードが入力された場合は、処理を続行します。

ユーザーの応答: CDS が MVC MMMMMM の内容と一致すべき場合は、MVC MMMMMM の監査を行なってください。それ以外の場合は、処理する必要がありません。

SLS6936E

The CDS does not contain VTV VVVVVV, found during inventory processing of MVC MMMMMM

説明: MVC の目録を実行中に、VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に見つかりましたが、VTV が CDS に定義されていません。

システム動作: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーで TERMerr(YES) が指定されていた場合、MVC MMMMMM の処理が終了します。正しいパスワードが入力された場合は、処理を続行します。

ユーザーの応答: VTV VVVVVV を CDS に定義すべき場合は、適切な手順でこれを定義してください。続いて、CDS が MVC MMMMMM の内容と一致すべき場合は、MVC MMMMMM の監査を行なってください。

SLS6937I

Inventory of MVC MMMMMM terminated at block BBB1, VTV VVVVVV.Logical end-of-tape is at block BBB2.

説明: MVC の目録を実行中、MVC MMMMMM のブロック BBB1 に VTV VVVVVV が見つかりました。

ブロック BBB1 は、過去のブロック BBB2 にあり、この MVC の論理的末端 (LEOT) 位置、すなわち次のマイグレーション発生場所になります。MVC MMMMMM がドレインまたはリクレイムされている場合は、リコールした VTV が MVC に物理的に存在したままのため、エラーが表示されません。

INVENTORY ユーティリティーが STOPleot(YES) を指定しました。すなわち、論理的末端 (LEOT) 位置に到達した時点で、この処理が終了します。

システム動作: MVC MMMMMM の処理が終了します。戻りコードが 0 に設定されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6938E

VTV VVVVVV, found during inventory processing of MVC MMMMMM,
is inconsistent with the CDS

説明: MVC の目録を実行中、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV が見つかりました。CDS 内の VTV VVVVVV の詳細が、MVC MMMMMM に見つかった VTV VVVVVV と異なります。これは、この CDS を使用しながら VTV VVVVVV が MVC MMMMMM にマイグレーションされた場合は不可能です。

このメッセージの前に発行されたメッセージ SLS6933I に、MVC MMMMMM に見つかった VTV VVVVVV のコピーの詳細が記載され、相違点がまとめられています。

CDS 内の常駐を表すか、VTV VVVVVV の MVC コピーがある場合は、このメッセージの前に発行されたメッセージ SLS6934I には、CDS 内の VTV VVVVVV の詳細が記載されています。

システム動作: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーで TERMerr(YES) が指定されていた場合、MVC MMMMMM の処理が終了します。正しいパスワードが入力された場合は、処理を続行します。

ユーザーの応答: MVC MMMMMM に見つかった VTV VVVVVV のコピーと、VTV VVVVVV の CDS コピーが、異なる理由を究明してください。CDS が MVC MMMMMM の内容と一致すべき場合は、MVC MMMMMM の監査を行なってください。

SLS6939E

Unable to determine the position of the end of VTV
VVVVVV.Inventory of MVC MMMMMM terminated.

説明: MVC の目録を実行中、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV が見つかりました。

MVC MMMMMM の VTV VVVVVV の MVC 終了位置が判別できなかったため、VTCS は MVC MMMMMM により多くの VTV が存在しているかどうかを判断できませんでした。

システム動作: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6940E

ECAM error CCC/SSS (possible data loss) occurred reading VTV
VVVVVV, during inventory processing of MVC MMMMMM

説明: MVC の目録を実行中、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV が見つかりました。この VTV を読み取り中に、ECAM エラー CCC/SSS が発生し、VTV のこのコピーが欠落しているか破壊されていることが示されました。

システム動作: 処理は続行されます。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの応答: 他に使用可能な VTV のコピーがある場合は、VTVMAINT ユーティリティーで MVC MMMMMM から VTV のリンクを切断して、この VTV コピーを使用できないようにしてください。サポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6941E

ECAM error CCC/SSS occurred reading VTV VVVVVV, during inventory processing of MVC MMMMMM

説明: MVC の目録を実行中、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV が見つかりました。この VTV を読み取り中に、ECAM エラー CCC/SSS が発生しました。

システム動作: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの応答: このエラーに対し、該当する ELS マニュアルに記載されている措置を講じてください。サポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6942I

No VTVs were found on MVC MMMMMM

説明: 目録されていた MVC MMMMMM に、VTV が見つかりませんでした。

システム動作: MVC MMMMMM の処理が終了します。戻りコードが 0 に設定されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6943E

MVC MMMMMM is not empty, request failed.

説明: 要求されたアクションには、MVC MMMMMM を空にする必要があります。MVC が空でないため、この処理は完了できません。

'Display MVC' または MVC レポート出力に、MVC に VTV がないと表示されても、MVC は空ではありません。空にするには、MVC に VTV がないと表示された状態で、かつドレインする必要があります。

システム動作: MVC に対して要求された処理が失敗します。

ユーザーの応答: MVC をドレインしてから、MVC に対して処理を再試行してください。

SLS6944I

NNNN MVC|VTV definitions deleted from|targeted for deletion
from|added to|targeted for addition to configuration

説明: CONFIG または SET VOLPARM を実行中、VTV または MVC あるいはその両方の定義が変更されました。

CONFIG に NOUPDATE が指定されているか、VOLPARM に APPLY(NO) が指定されている場合は、変更対象になりそうな VTV または MVC あるいはその両方の定義がこのメッセージに反映されます。

このメッセージに VTV または MVC あるいはその両方が削除されていると表示されても、データベースから物理的に削除されたわけではありません。むしろ論理的な削除状態が設定され、占有スペースは再使用されません。

このメッセージに、VTV または MVC あるいはその両方が追加されたことが示されている場合は、論理的な削除状態が削除されたか、以前定義されていなかった新しいボリュームが追加されたことが反映されています。

システム動作: NOUPDATE を付けずに CONFIG を実行したり、APPLY(YES) を付けて SET VOLPARM を実行すると、VTV または MVC あるいはその両方の範囲定義が構成内で変更されます。実行しない場合は、構成への更新は一切行われません。

ユーザーの応答: 削除された VTV または MVC 定義の一覧を取得するには、DECOMP に LISTDELR キーワードを付けて実行してください。VTV または MVC 定義が追加されるときに、DECOMP を実行するだけで、定義されているすべての VTV と MVC のレポートが取得されます。

SLS6945E

MVC MMMMMM is mounted, request failed.

説明: 要求されたアクションでは、MVC MMMMMM がマウントされていないことが求められます。MVC がマウントされているため、この処理は完了できません。

システム動作: MVC に対して要求された処理が失敗します。

ユーザーの応答: MVC をマウント解除してから、MVC に対して処理を再試行してください。

SL56946E

Host *HHHHHHH1* (PROCESS ID *IIIII*, A *BBB* TASK) has waited
N minutes for *TTTT* RRRRRR held by Host *HHHHHHH2*

説明: このメッセージは、システム内の別のホストまたはタスクによってロックされているリソースに対して待機しているホスト、プロセス識別子、およびタスクタイプを識別します。

<i>HHHHHHH1</i>	リソースを必要としているホスト名
<i>IIII</i>	待機しているタスクのプロセス ID
<i>BBB</i>	ロックに対して待機しているタスクのタイプ。次のいずれかの値を含みます。 <ul style="list-style-type: none">• Clk - Clink タスク• Cmd - コマンドタスク• Csh - Clink スケジューラタスク• Drv - RTD スケジューラタスク• DSP - メインディスパッチャータスク• Inv - 目的マネージャータスク• MSc - マイグレーションスケジューラタスク• RCM - ドレイン/領域リクレイムマネージャー• RTD - RTD タスク• Scr - スクラッチマネージャータスク• SS - VTSS タスク• unk - 未知のタスク
<i>N</i>	分単位の経過時間
<i>TTTT</i>	ロックされているリソースタイプ。次のいずれかを含みます。 値: <ul style="list-style-type: none">• lock slot• VTD• VTV• MVC• RTD
<i>RRRRRR</i>	ロックされているリソース。次のいずれかを含みます。 <ul style="list-style-type: none">• ロックスロット番号• VTD アドレス• VTV のVOLSER• MVC volser• RTD アドレス
<i>HHHHHHH2</i>	リソースをロックしているホスト名

システム動作: 現在処理中の要求は、後から処理されるように要求されます。要求されているリソースがその時点で依然として使用できない場合は、このエラーメッセージが削除され、新しい経過時間で再発行されます。要求されたリソースのロックが所有していたホストから解放されるまで、この処理が繰り返されます。

ユーザーの応答: 要求されたリソースを現在保持しているホストを調べてください。システム内の各ホストとタスクから現在保持されているロックの詳細を表示するに

は、Display LOCKS コマンドを使用することもできます。保持されているロックの原因となっているアクティビティーが正常に処理されている場合は、何も処理を行わないでください。最終的にはロックが取得され、VTCS によってメッセージ SLS6946E が自動的に削除されます。保持されているロックの原因となっているアクティビティーがスタックしたような場合は、その要求をキャンセルしてみてください。なぜロックされたままか判断できない場合、またはなぜ解放されないか判断できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6948E

No MGMTCLAS statements have been defined or loaded. UUUUUUUU
processing has been abandoned

説明: VTCS ユーティリティー UUUUUUUU を実行しようとしたが、MGMTCLAS ステートメントが何も定義またはロードされていないため失敗しました。このユーティリティーから実行された処理が MGMTCLAS (および関連) ステートメントから判断され、処理が中断されました。

POLICYDD(ddd) がユーティリティーの文に指定されていた場合は、どの MGMTCLAS 文も MGMTDEF ファイルになく、//ddd が指定されます。

POLICYDD(ddd) がユーティリティーの文に指定されていなかった場合:

- HSC/VTCS アドレス空間に、MGMTDEF ファイルが一切ロードされていない。
または
- MGMTCLAS 文が、HSC/VTCS アドレス空間の MGMTDEF コマンドで指定されたファイルに一切ない。

システム動作: 処理がリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: MGMTCLAS 文が、関連する MGMTDEF ファイルにあることを確認してから、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6949I

Initiating swap of MVC VVVVVV from RTD RRRRRRRR to device type
TTTTTTTT

説明: MVC VVVVVV を処理中に、エラーが発生しました。MVC が、RTD RRRRRRRR からデバイスタイプ TTTTTTTT に交換されています。

システム動作: 現在実行している処理は、別の RTD 上で試行されます。交換先のデバイスタイプは、MVCATTR SWAPTO ポリシー定義によって影響を受けています。

ユーザーの応答: エラーの原因を調べる必要があります。SYSLOG で、エラーの特性を示す記録があるかどうかを調べてください。MVC が破損しているか、または MVC が原因となっている可能性がある場合には、MVC からすべての VTV を削除するため、MVCDRAIN を使用してください。同じ RTD 上で問題が再発するようであれば、VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6950I

The CDS contains BBBBB free blocks

説明: CDS には 拡張用に使用できる BBBBB の空ブロックがあります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SLS6951I

VTSS VVVVVVVV does not support global MAXVTVSZ of NNNN - defaulting to DDDD

説明: グローバル MAXVTVSZ パラメータ (NNNN) によって指定されているサイズの VTV が、VTSS VVVVVVVV がこの VTV サイズをサポートしていないマイクロコードレベルにあるため、作成できません。

システム動作: 処理は続行しますが、要求されたサイズの VTV は作成されません。MAXVTVSZ の指定値が、構成 (DDDD) 内ですべての VTSS がサポートしている最大 VTV サイズの省略時値になります。

ユーザーの応答: 要求されているサイズの VTV が必要な場合は、VTSS をマイクロコードレベルをサポートしている VTSS にまでアップグレードして、HSC/VTCS を停止 / 再起動するか、VTSS をオフライン / オンラインに変更して、この機能を有効にしてください。

SLS6952I

Config Warning: XXXXXXXX

説明: 構成ユーティリティー実行中、注意すべき状況が検出されました。メッセージ XXXXXXXX は、警告の原因を示します。

システム動作: エラー条件が検出されなければ、構成文の残りは処理され、CDS が更新されます。Configuration は RC=4 で終了します。

ユーザーの応答: メッセージテキストをレビューして、警告の原因を確認してください。必要な構成後のタスクを行ってください。

SLS6953W

AAA VVVVVV is an invalid volser, it is not defined in the CDS

説明: LOGUTIL ユーティリティーを実行中、エラーが発生しました。Volser VVVVVV が、AAA (VTV または MVC) キーワードに指定されました。VVVVVV が、CDS に定義された有効な AAA (VTV または MVC) のボリュームシリアル番号ではありません。

システム動作: このユーティリティーは、次の volser に続行されます。volser VVVVVV が、処理対象の最後の volser の場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: volser パラメータ値を修正して、ユーティリティーを再実行します。

SLS6954W

MVC VVVVVV contains zero qualifying VTVs

説明: MVC VVVVVV の VTV を回復するために、FOR_LOSTMVC ユーティリティーが要求されました。特定の VTV フィルターを適用した後、適格な VTV がなくなりました。このため、回復は必要ありません。

システム動作: このユーティリティーは、次の MVC に続行されます。volserVVVVVV が、処理対象の最後の MVC の場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: なし。ただし、VTV キーワードが指定されていた場合を除きます。VTV キーワードが指定されていた場合は、それを削除してからユーティリティーを再実行してください。

SLS6955W

VTV v1: MVC m1 was picked as the recovery MVC but contains errors

説明: LOGUTIL ユーティリティーが、VTV v1 を回復するための最有力候補として MVC m1 を選択しました。MVC が、CDS に存在しないか、LOST、BROKE、および DATA CHECK ビットの組み合わせがいくつかオンになっています。RECALL または AUDIT を MVC に試行すると、MVC に問題が生じることがあります。

システム動作: ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの応答: RECALL または AUDIT を実行する前に、MVC で問題を訂正してみてください。RECALL または AUDIT が失敗し、代替の MVC コピーがある場合は、VTV の別の代替の MVC コピーにこの操作を試行してください。

SLS6956E

CCCCCCCC parameter exceeds NNNNNNNN volumes

説明: CCCCCCCC パラメータが、LOGUTIL ユーティリティーに指定されました。パラメータに指定されたボリューム数が、NNNNNNNN (許容最大数) を越えています。

システム動作: ユーティリティーは終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: パラメータを修正して、ユーティリティーを再実行します。

SLS6957I

One or more volsers were duplicated on the CCC parameter

説明: CCC パラメータが、LOGUTIL ユーティリティーに指定されました。少なくとも 1 つの volser が、CCC パラメータに重複していることが判明しました。

システム動作: この重複 volser は、無視されます。

ユーザーの応答: 必要に応じて、パラメータを修正して、ユーティリティーを再実行します。

SLS6958E

Volume MMMMMM is not an MVC

説明: MVC MMMMMM に、AUDIT または INVENTORY が実行されていました。MVC の VTV を検索するため、VTCS が、ECAM 呼び出しを発行しました。ECAM 応答

(RC=5/114、抑止済み) によると、ボリュームが MVC のようにフォーマットされていないようです。

システム動作: このボリュームの処理が、リターンコード 8 で終了します。

■ AUDIT が実行中だった場合:

- VTCS は、CDS が MVC にあるように見えても見つからなかったことについて、VTV を点検しません。この処置は、このような VTV が MVC からリンク切断されないようにするために必要です。
- MVC は、「Being audited/Audit failed」の状態のまま残されます。

■ INVENTORY が実行されており、CDScheck (Full) が指定された場合、CDS が MVC にあるように見えても見つからなかったことについて、VTCS が VTV を点検します。INVENTORY は CDS を更新しないため、これを行っても安全です。

ユーザーの応答:

- 問題が解決されるまで、MVC に書き込みを行うべきではありません。これは、「MVCMAINT MVC(MMMMMM) READONLY(ON)」を実行して、MVC を読み取り専用マークすることで実現できます。

- 回復処置が必要な場合は、MVC に CDS があるように見える VTV を確認するために、「MVC RPT MVC(MMMMMMM) DETail」を実行します。
- 正しいテープがマウントされていることを確認してください。MVC ボリュームではなく、MVC 以外のボリュームがマウントされている状態で、同じ volser に複数のボリュームがないことを確認してください。この場合、AUDIT または INVENTORY を再実行してください。このとき、正しいボリュームがマウントされます。
- 正しいボリュームがマウントされていた場合 (MVCになるはずですが)、または問題を解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6959I

XXXXXXXXX copy of VTV VVVVVV found; recovery is not necessary since the VTV is not in deleted status

説明: VTV VVVVVV の回復が、UNDELETE ユーティリティから要求されました。UNDELETE ユーティリティは、削除状態にある VTV のみを回復します。削除状態にするには、VTV に常駐するコピーやマイグレーションコピーがあつてはなりません。VTV VVVVVV には、XXXXXXXX (常駐やマイグレーション) コピーがあるため、回復が必要ありません。

システム動作: このユーティリティは、次の VTV に続行されます。volserVVVVVV が、処理対象の最後の VTV の場合、ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: なし

SLS6960E

The manifest file contains NN MVC volsters. The maximum number that can be specified is LL.

説明: 処理対象の MVC を指定するのに、マニフェストファイルを使用して、MVCMAINT が実行されました。コマンドの形式は「MVCMAINT MANIFEST(ddname) options」でした。マニフェストファイルには NN 個の MVC volser が含まれています。マニフェストファイルで指定できる MVC volser の最大数は、LL です。

システム動作: どの MVC も処理されません。ユーティリティは終了し、RC=8 を戻します。

ユーザーの応答: マニフェストファイルを使って MVC volser を指定する代わりに、「MVCMAINT MVC(volser(s)) options」という形式の MVCMAINT コマンドを構築します。マニフェストファイルを使って処理されるはずだった MVC volser を確認するには、マニフェストファイルに対して MVC RPT を実行します。

SLS6961E

UUU parameter PPP requires HSC/VTCS active

説明: ユーティリティ UUU を実行しようとしたのですが、パラメータ PPP が指定されており HSC/VTCS がアクティブでないため失敗しました。

システム動作: ユーティリティは、リターンコード 8 を戻して終了します。

ユーザーの応答: このシステムの HSC/VTCS がアクティブであることを確認してから、このユーティリティを再実行してください。

SLS6962I

Requested version of VTV VVVVVV does not exist, recovery is not possible

説明: 要求されたバージョンの VTV VVVVVV を回復できません。回復対象の VTV バージョンは、LOCATE_VTV コマンドの VERSION または DATE/TIME パラメータに指定されています。LOGUTIL 構成にあるこの VTV バージョンには、マイグレーションや電子エクスポートされたコピーが一切見つからなかったため、回復できません。

システム動作: このユーティリティーは、次の VTV に続行されます。volserVVVVVV が、処理対象の最後の VTV の場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: LOGUTIL LOGDD に、正しい CDS ログファイルが含まれていることを必ず確認してください。含まれていない場合は、正しいログファイルを含めて、このユーティリティーを再実行してください。

正しいバージョン番号が VERSION または DATE/TIME パラメータに指定されていたことを必ず確認してください。検出されたすべてのバージョンは、レポート出力に一覧表示されます。間違ったバージョンが指定されていた場合は、正しいバージョン番号を指定した状態で、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6963I

Recovery of version 0 is not permitted, YYYY-MM-DD HH:MM:SS matches version 0 for VTV VVVVVV

説明: バージョン 0 の VTV は、LOCATE_VTV ユーティリティーから回復できません。VTV VVVVVV の回復を要求する LOCATE_VTV ユーティリティーが、DATE=YYYY-MM-DD および TIME=HH:MM:SS を付けて実行されました。これらの値がこの VTV のバージョン 0 と一致しているため、この VTV の回復が許可されません。

システム動作: このユーティリティーは、次の VTV に続行されます。volserVVVVVV が、処理対象の最後の VTV の場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: この VTV のバージョン 0 を回復する必要がある場合は、別のユーティリティーを使用して、データ (AUDIT や UNDELETE など) を回復してください。DATE/TIME パラメータに間違った値が指定されていた場合は、正しい値を指定した状態でこのユーティリティーを再実行してください。

SLS6964W

VTV version VVVVVV CDATE CTIME is newer than version 0.
Ensure correct CDS and log files were used.

説明: VTV VVVVVV の回復を要求する LOCATE_VTV ユーティリティーが実行されました。VTV VVVVVV の 1 つのバージョンが ログファイル内で見つかりました (作成日付は CDATE、作成時刻は CTIME)。このバージョンの VTV は、バージョン 0 よりも新しくなっています。この状況が発生する可能性があるのは、次のいずれかの場合だけです。

- LOGUTIL LOGDD DD 文に指定されたデータセットが、ユーティリティーに使用されている CDS に関連付けられていない。

- CDS コピーが、ログデータセットよりも古いユーティリティから使用されている。

システム動作: このユーティリティは、次の に続行されます。バージョンの VTV VVVVVV に処理を進めます。CDATE CTIME が前回のバージョンの この VTV である場合、ユーティリティは次の VTV に処理を進めます。処理対象の VTV がなくなると、ユーティリティが終了します。

ユーザーの応答: 間違ったデータセット名が CDS やログファイルに指定されていた場合は、データセット名を訂正し、ユーティリティを再実行してください。この VTV バージョンの回復がやはり 必要な場合には、DATE/TIME パラメータに CDATE/CTIME を指定してユーティリティを再実行してください。

SLS6965E

An internal error has occurred during LOGUTIL processing:

VTV VVVVVV, XXXXXXXX

説明: LOGUTIL コマンド処理中に内部エラーが発生しました。処理中の VTV volser および内部記憶アドレスが診断用に表示されます。

システム動作: ログファイルユーティリティは異常終了しました。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6966I

RTD: NNNN placed in OFFLINE/MAINTENANCE mode, XXXXXX does not support partitioning.

説明: RTD NNNN が保守モードに置かれたか、この RTD へのパスがオフラインとなりました。

VTCS 構成はパーティション処理に使用できますが、RTD と VTSS はパーティション処理をサポートしていません。XXXXXX は、「the RTD」または「VTSS: vtssname」です。

システム動作: RTD の構成によっては、示された RTD が保守モードに置かれるか、その RTD へのパスがオフラインになります。

ユーザーの応答: VTCS で有効になったパーティション分割がある構成では、パーティション分割モードをサポート可能な RTD デバイスタ입はすべて、ドライブで動作する正しいマイクロコードを持つ必要があります。

さらに、パーティション分割が VTCS で有効になっている場合、パーティション分割モードをサポート不能な VTSS に接続している、パーティション分割をサポート可能な RTD は保守およびオフラインモードに置かれます。

必要ならば、Oracle/STK サポートに連絡してください。

SLS6967E

CF structure conflict:

```
CF structure SSSSSSSSSSSSSSSS is in use by host(s) using
CDS: dsname
CDS creation date=yyyymmdd time=hh:mm:ss
Last CDS restore date=yyyymmdd time=hh:mm:ss
```

説明: 異なる CDS を使用しているシステムが複数あると、同一の Coupling Facility 構造を使用できません。Coupling Facility 構造 SSSSSSSSSSSSSSSS は、この HSC/VTCS が起動される前に、このホストまたは別のホストで実行中の HSC/VTCS によってすでに初期設定されています。

このメッセージには、HSC/VTCS の初期設定に使用される、CDS の特徴が表示されます。初期設定側 HSC/VTCS に、別の CDS が使用されているため、この HSC/VTCS では、Coupling Facility 構造 SSSSSSSSSSSSSSSS が使用できません。

システム動作: VTCS の初期設定は終了します。

ユーザーの応答: 別の CDS が別の Coupling Facility 構造名を指定するようにしてから、この HSC/VTCS を停止して再起動します。さらにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6968E

MVC, MMMMMM, cannot be mounted on RTD RRRRRRRR because it is mounted on another device.

説明: VTCS は仮想ライブラリ拡張機能内の RTD RRRRRRRR に MVC MMMMMM をマウントしようとしてしました。要求は、MVC が他のデバイス (このシステムに RTD として定義されていたかいないかにかかわらず) にマウントされたため、失敗しました。

システム動作: 要求は、代替 MVC が使用可能であればその MVC とともに再実行されます。そうでない場合、その後に発生したエラーの数によって、VTCS は MVC MMMMMM のマウントを再実行するか、リクエストをキャンセルします。

ユーザーの応答: VTCS では MVC の位置が不明ということが示されました。問題を調査してください。原因が分からない場合は、StorageTek サポートに連絡してください。

SLS6969I

```
RECLAIM MVC MMMMMM unable to free space EOT remains
PPPP/BBBBBBBB VTV count VVV deleted VTV count DDD
```

説明: このメッセージは、パーティション分割されたテープボリュームに対して生成されます。リクレイム処理中、パーティションを MVC に対して解放できませんでした。MMMMMMEOT はリセットされず、PPPP/BBBBBBBB のままになります。ここで、PPPP はパーティション ID、BBBBBBBB はブロック ID です。VTV の数 VVV (VTV の合計数) と DDD (削除された VTV の数) も変更されないままとなります。

システム動作: MVC の使用は変更ありません。これには、VTV カウント同様、MVC の浪費および使用されたスペースが含まれます。

ユーザーの応答: 空きパーティションの数が少ない MVC は、ドレインするべきです。空きパーティションがない MVC はドレインしなくてはなりません。MVC 詳細レポートでは、すべての空きパーティションが一覧表示されます。

SLS6970E

CDS free block calculation failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: CDS 更新時に構成の変更があったため、構成処理により、事前に CDS の空きブロック数を求めるため HCS サービスが呼び出されました。このサービスはリターンコード X'RRRRRRRRR' で失敗しました。

システム動作: CDS では、構成変更によるアップデートは行われません。構成処理は RC=12 で終了します。

ユーザーの応答: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6971E

The configuration changes require MMM free CDS blocks, but the CDS contains only NNN free blocks

説明: VTCS 構成が変更されたため、CONFIG 処理により CDS のアップデートが必要なことが分かりました。これらの変更では、MMM 空き CDS ブロックが必要ですが、CDS には NNN 空きブロックしかありません。

システム動作: CDS では、構成変更によるアップデートは行われません。構成処理は RC=12 で終了します。

ユーザーの応答: 現在の CDS のサイズを変更するか (CDS EXpand を使用)、CDS を新規作成して、少なくとも mmm の空き CDS ブロックを含むように CDS をアップデートしてください。そして、CONFIG ユーティリティに戻ってください。

SLS6972E

VTV V1 cannot be chained to MVC V2. Partition PPPP is not empty

説明: Log ユーティリティが、MVC にある VTV の全体像を作図するために、Log File レコードを使用しています。VTV V1 が MVC V2 にマイグレーションされる場所で、ログファイルレコードが検出されました。VTV V1 は MVC 上の複数のパーティションにまたがっていました。またがっている VTV をパーティションに接続するには、パーティションは空 (VTV なし) である必要があります。Log ユーティリティは、VTV V1 をパーティション PPPP に接続しようとしたましたが、パーティションは空ではありませんでした。

システム動作: ユーティリティは、リターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの応答: Log ファイルのコンテンツには疑わしいところがあります。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6973E

Illegal attempt to CCC the partition map for MVC V1

説明: Log ファイル処理中に、パーティションマップを MVC V1 に対して CCC (作成または解放) することになったレコードを検出しました。パーティションマップを CCC しようとしたましたが、パーティションマップに接続しているアクティブ VTV があったため、失敗しました。

システム動作: ユーティリティは、リターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの応答: Log ファイルのコンテンツには疑わしいところがあります。オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6974I

Fault reported by VTSS:VV Model:MM Serial:NN FSC:FFFF FRU:UUU

説明: VTSS VV でハードウェアの問題が発生しました。モデル番号は MM、シリアル番号は NN です。Fault Symptom Code (FSC) は X'FFFF' であり、Field Replaceable Unit (FRU) の情報は X'UUU' です。FRU の情報が表示されるのは、情報が使用可能な場合だけです。サービス情報メッセージ (SIM) センスバイトは、メッセージ SLS6659I に表示されています。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6975E

VTSS VV cannot generate a MIM request. StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

説明: VTSS VV は、MIM (マシン先導保守) リクエストを正常に生成する可能性のある状態を検出しました。保守ポートが使用できないので VTSS はサービスコールを開始できません。サービス情報メッセージ (SIM) センスバイトはメッセージ SLS6659I に、追加情報はメッセージ SLS6974I に表示されています。

システム動作: 正常に処理は続行されます。

ユーザーの応答: StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

SLS6976I

Mount of VVVVVV; MVC is X format, CDS shows MVC is Y format

説明: 指定された MVC がマウントされたとき、その MVC のパーティション分割形式は、CDS で反映されたものと異なっていることが分かりました。値 X と Y には、「Partitioned」または「Standard」が適宜表示されます。

システム動作: 指定された MVC は、AUDIT 状態に置かれます。

ユーザーの応答: MVC は、MVC 形式と内容は CDS とともに解決されるよう監査する必要があります。必要ならば、Oracle/STK サポートに連絡してください。

SL56982I

VTV VVVVVV with MGMTCLAS MMM cannot be XXXXXXXXXX
synchronously from VTSS SSS

説明: MGMTCLAS MMM の VTV VVVVVV が VTSS SSS 内の VTD にマウントされました。マネージメントクラスまたは関連するストレージクラスに、この VTV に対して次を行うことが指定されています。

- 同期複製 (マネージメントクラスで REP(YES_SYNC) が指定されている)、または
- 同期エクスポート (関連ストレージクラスで TAPEPLEX(TTT) SYNC(YES) が指定されている)。

VTCS はこの要求を受け入れることができません。その理由としては次のものが考えられます。

- VTCS 構成に SYNCHREP=YES が指定されていない。
- VTSS SSS またはターゲット VTSS が同期複製をサポートしていない。
- すべてのターゲット VTSS がオフラインになっている。
- VTSS SSS からターゲット VTSS へのオンラインの CLINK が存在していない。
- VTSS SSS 内の「ECAM のみ」の VTD 上に VTV がマウントされている。これらの VTD は同期処理には使用できません。
- 同期複製要求の場合、VTSS SSS がクラスタの一部になっていない。
- 同期エクスポート要求の場合:
 - ttt が TapePlex の名前でない。
 - ttt が、別の TapePlex ではなくローカル TapePlex の名前である。

システム動作: VTCS は (マウント時に)、要求されたアクション (複製またはエクスポート) の VTV 上での同期実行を要求しません。そうすることが可能な場合、VTCS は VTV のマウント解除後にアクションを同期的に実行します。

ユーザーの応答: 次のすべてが真であることを確認し、必要な修正措置をすべて実行してください。

- VTCS 構成に SYNCHREP=YES が指定されている。コマンド「VT D CONFIG」で SYNCHREP の値が表示されます。
- VTSS SSS とターゲット VTSS が同期複製をサポートしている。コマンド「VT D VTSS DET」で、VTSS に「Sync replicate」サポートが含まれているかどうかが表示されます。
- ターゲット VTSS がオンラインになっている。コマンド「VT QU VTSS」で VTSS のステータスが表示されます。
- VTSS SSS からターゲット VTSS へのオンラインの CLINK が存在している。コマンド「VT D CLINK」で CLINK のステータスが表示されます。
- 同期複製/エクスポートの必要な VTV が、VTSS SSS 内の「ECAM のみ」の VTD にマウントされていない。コマンド「VT D VTD ALL VTSS(SSS)」で、VTSS SSS 内の VTD (「ECAM のみ」の VTD も含む) が表示されます。
- 同期複製要求の場合、VTSS SSS がクラスタの一部になっている。コマンド「VT D CLUSTER」で、VTSS SSS がクラスタの一部になっているかどうかが表示されます。
- 同期エクスポート要求の場合、TTT がローカル TapePlex 以外の TapePlex の名前である。

SLS6983I

MVC VVVVVV has been initialized

説明: MVC VVVVVV が初期化されました。新しい VOL1 ラベルがこの MVC に書き込まれましたが、これは、VOL1 ラベルが含まれておらず、かつこの MVC で INITMVC=YES が有効になっていたからです。

システム動作: HSC の処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SLS6990E

If OPTION is specified, it must have the value UNAVAIL

説明: VTVRPT でオプションパラメータ OPTION が指定されましたが、その際に UNAVAIL 以外の値が指定されました。

システム動作: VTVRPT がリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの応答: OPTION(UNAVAIL) を指定するか OPTION パラメータを削除してから、VTVRPT ユーティリティを再実行してください。

SLS6998I

VTV VVVVVV is being recalled from tapeplex TTTTTTTT

説明: VTCS は、ローカル TapePlex のマウント要求を満たすために、リモート TapePlex TTTTTTTT から VTV をリコールするための Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求を発行しました。リモート TapePlex が VTV をローカル TapePlex に EEXPORT したあと、ローカル TapePlex がそのマウントを完了させます。

システム動作: ローカルシステムが、マウント要求を満たすために CTA 処理を実行します。

ユーザーの応答: なし

SLS7501E

No MVC volumes have been defined

説明: CDS 内に MVC ボリュームが定義されていませんが、RTD は定義されています。

システム動作: VTCS の処理は続行されますが、VTV へのマイグレーションができなため、処理に影響が発生する場合があります。

ユーザーの応答: MVC ボリュームを定義するか、VTCS 構成から RTD を削除します。MVC ボリュームを定義するには、次のいずれかの方法を使用します。

- SET VOLPARM コマンド
- CONFIG MVCVOL 文

MVC ボリュームを定義するか VTCS 構成から RTD を削除すると、メッセージ SLS7501E が自動的に削除されます。

SMC メッセージ

この章では、SMC で発行されるメッセージについて説明します。これらのメッセージは、「SMC」接頭辞で識別されます。

注 – SMC5000 の範囲にあるメッセージは、SMC ユーティリティから発行されます。

SMC0000

{(CCCCCCCC)} command string

レベル: 0

説明: SMC がオペレータコンソールから入力コマンドを受信しました。コンソール名またはユーザー ID (利用可能な場合) とそれに続くコマンド文字列が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0001

SMC subsystem initializing

レベル: 0

説明: SMC の MVS 開始コマンドが入力されており、SMC サブシステムの初期化処理が開始されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0002

CCCCCCCCCCCCCCCC failed; return code=XXXX1, reason code=XXXX2

レベル: 0

説明: MVS 機能またはマクロ CCCCCCCCCCCCCCCCCC が完了し、テキスト内に示される非ゼロ戻り値 XXXX1 および原因コード XXXX2 が戻されています。

システム動作: エラーの種類によっては、開始/終了が継続する場合があります。MVS 機能が *Requested SDUMP* と表示されている場合は、要求された SDUMP が作成されず、TRACE SNAP 処理中に発生したエラーおよび処理が続行します。

ユーザーの応答: SYSLOG またはジョブログで IBM 関連のメッセージを検索し、該当する IBM ドキュメントの解説を参照してください。

SMC0003

SMC subsystem SSSS terminating

レベル: 0

説明: SMC の MVS 停止コマンドが入力されており、SMC サブシステムの終了処理が開始されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0004

MVS release is down-level

レベル: 0

説明: 本バージョンの SMC で必要なサービスをサポートしていない MVS システム上で、SMC の初期化が試行されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: MVS を必要なリリースレベルにアップグレードします。

SMC0005

Invalid command CCCCCCCC [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 未定義のコマンド CCCCCCCC が検出されました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0006

SMC subsystem not dynamic

レベル: 0

説明: IEFSSNxx parmlib メンバーの定位置指定形式により、非動的サブシステムとして SMC が定義されています。SMC は、動的サブシステムとして定義しなければなりません。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: IEFSSNxx parmlib メンバー内で、サブシステム定義のキーワード形式を用いて SMC サブシステムを定義するか、IEFSSNxx parmlib メンバーから SMC を削除します。

SMC0007

SMCCVT incompatible with previous version; defaulting to COLD start

レベル: 4

説明: 初期化中、SMC サブシステムで、旧リリースの同名の SMC サブシステムが互換性がないバージョンであることが検出されました。COLD 開始パラメータは指定されていません。

システム動作: COLD 開始モード (SMC サブシステム CVT が再構築される) で、初期化が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0008

Not running from an authorized linklib; SMC subsystem terminating

レベル:0

説明: SMC サブシステム初期化モジュール SMCBINT が、APF 許可されていないライブラリから実行されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: SMC リンクライブラリが APF によって承認されていることを確認します。

SMC0009

Job JJJJJJJJ JOBnnnn active at termination

レベル:4

説明: SMC サブシステムが MVS 停止 ('P') コマンドを受信しましたが、テープ割り振りまたはメッセージ処理を実行中のジョブ JJJJJJJJ があります。SMC0012 メッセージが既に発行されていますが、1 分間の待機後も、ジョブの割り振りまたはメッセージの処理は完了していません。

システム動作: 終了処理が続行します。このジョブに対する割り振り影響はなく、マウントまたはマウント解除は自動化されません。

ユーザーの応答: なし

SMC0010

Unable to acquire storage for CCCCCCCC; return code=XXXX

レベル:0

説明: 初期化中、指定の動的制御ブロックまたはモジュール CCCCCCCC 用に、SMC サブシステムが十分なストレージを獲得できませんでした。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 利用可能な CSA ストレージが十分あることを確認します。リターンコード XXXX の解説については、該当する IBM ドキュメントを参照してください。

SMC0011

Load failed for module MMMMMMMM

レベル:0

説明: 要求されたモジュール MMMMMMMM を SMC サブシステムにロードできません。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: steplib 連結内のすべての SMC 配布ロードライブラリに、SMC 開始プロシージャがアクセス可能であることを確認します。

SMC0012

Termination waiting for job JJJJJJJJ JOBnnnnn [in allocation/in message handling]

レベル:0

説明: SMC サブシステムが MVS 停止コマンドを受信しましたが、テープ割り振りまたはメッセージ処理を実行中のジョブ JJJJJJJJ があります。

システム動作: SMC は、30 秒間、またはすべてのアクティブな処理が完了するまで待機します。

ユーザーの応答: SMC の終了時に、テープ割り振りまたはメッセージ処理を実行しているジョブが存在しないことを確認します。MVS 割り振りリカバリメッセージに応答します。

SMC0013

TRACE settings:
CCCC....CCCC

レベル:0

説明: TRACE コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0013 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0014

Unmatched [quote|or invalid parenthesis] detected; command ignored [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンド内の文字列を囲んでいる引用符またはカッコが不完全あるいは無効です。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0015

Invalid keyword KKKKKKKK for the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドに指定されているキーワード KKKKKKKK が無効です。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0016

Invalid value VVVVVVVV for keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドで指定されているキーワード KKKKKKKK に無効な値 VVVVVVVV が指定されています。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0017

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command requires a value [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドに指定されているキーワード KKKKKKKK に、値 (ほとんどのキーワードで必須) が指定されていません。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0018

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is not allowed for EEEEEEEE [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドに指定されているキーワード KKKKKKKK は、現在の動作環境 EEEEEEEE では無効です。たとえば、JES2 または JES3 のいずれを実行しているかによって、一部のキーワードまたはキーワードと値の組み合わせが無効になる場合があります。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 指定したキーワードが、使用環境で有効であることを確認します。

SMC0019

Duplicate keyword KKKKKKKK specified for the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドで、同じキーワード KKKKKKKK が 2 回以上指定されています。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0020

Keyword KKKKKKK1 of the CCCCCCCC command is mutually exclusive with keyword KKKKKKK2 [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンドで指定されている複数のキーワードのうちの2つ (KKKKKKK1 および KKKKKKK2) が矛盾しています。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0021

{COLD|WARM} start failure

レベル:0

説明: 初期化中、SMC サブシステムでエラーが検出されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: SYSLOG またはジョブログで、SMC 関連メッセージを検索します。関連メッセージには、SMC0002、SMC0004、SMC0006、SMC0008、SMC0010、または SMC0011 があります (これ以外にもある場合があります)。

SMC0022

Invalid format or missing keywords for the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: コマンド CCCCCCCC のコマンド行のキーワードが、多すぎるか、少なすぎます。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0023

CCCCCCCC command successfully processed [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: SMC により、CCCCCCCC コマンドの検証が正常に終了し、処理されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0024

SSSS subsystem initialization complete; RC=NN

レベル: 0

説明: SMC の初期化処理が最大リターンコード NN で完了しました。このリターンコードは、SMCPARMS または SMCCMDS ファイル処理からのものであるか、自動再同期 (定義済み TapePlex と通信する試み) からのものです。

- SMCBINT MAXRC(NN) プログラムパラメータが指定され、値がその指定された MAXRC を超えており、入力コマンドによってリターンコードが設定された場合、サブシステムが終了します。
- SMCBINT PLEXRC(NN) プログラムパラメータが指定され、値がその指定された PLEXRC を超えており、SMC による定義済み TapePlex との通信試行によってリターンコードが設定された場合、サブシステムが終了します。
- MAXRC、PLEXRC のどちらのパラメータも指定されなかった場合、あるいはコマンド処理または TapePlex 自動再同期のリターンコードが指定された値を超えていない場合、SMC はいつでも通常の処理を開始できます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0025

No {CCCCCCCC|control block} entries to list [(no JES3 tape setup)]

レベル: 0

説明: 次のいずれかが発生しています。

- コマンド CCCCCCCC で LIST キーワードが指定されていますが、指定されたコマンドの SMC キューにエントリが見つかりませんでした。
- LIST コマンドで制御ブロックキーワードが指定されていますが、指定されたタイプの制御ブロックが見つかりませんでした。
- SMC JES3 制御ブロック名に対する LIST コマンドが指定されていますが、SMC は JES3 テープ設定されているシステムで動作していません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0027

Keyword KKKKKKK1 of the CCCCCCCC command requires keyword KKKKKKK2 [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: キーワード KKKKKKK1 が指定されているコマンドに、同時に必要なキーワード KKKKKKK2 が指定されていません。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0028

STOP command received

レベル: 0

説明: SMC が MVS 停止 ('P') コマンドを受信し、SMC サブシステム終了処理の開始準備が整っています。

システム動作: SMC サブシステムが終了処理を開始します。

ユーザーの応答: なし

SMC0029

CCCCCCCC command processing error; [matching entry not found|command line truncated; will be ignored|parameter truncated; command ignored] [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンド処理でエラーが発生しました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: LIST キーワードを用いて、エントリの現在の SMC キューを一覧表示した後、コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、または正しいコマンドを入力します。

SMC0030

TRACE JOBNAME=JJJJJJJJ [STEPNAME=SSSSSSSS]
[PROCSTEP=PPPPPPPP] [SNAPDUMP DDDDDDDD] CCCCCCCC

レベル: 0

説明: TRACE コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0030 メッセージには、ジョブ、ステップおよび PROC ステップと共に、トレース対象として指定されている関連処理が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0031

No SMC start mode specified; defaulting to WARM start

レベル: 4

説明: SMC 初期化中、サブシステムにより、初期化プログラムの実行パラメータに WARM または COLD 開始のいずれの値も指定されていないことが検出されました。

システム動作: WARM 開始モードで初期化が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0032

Number of SMC startup parameters specified exceeds maximum of n

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、実行パラメータ文字列に指定されているパラメータが多すぎることが検出されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 正しい実行パラメータ文字列を指定し、サブシステム初期化開始プロセスを修正します。

SMC0033

SMC startup parameter *PPPPPPPP* may not have a value

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、有効な実行パラメータが検出されましたが、値が許容されない箇所で、キーワードと値の組み合わせが検出されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 正しい実行パラメータ文字列を指定し、サブシステム初期化開始プロセスを修正します。

SMC0034

SMC startup parameter *PPPPPPPP* must have a value

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、有効な実行パラメータが検出されましたが、値が必須入力である箇所で、キーワードと値の組み合わせとして指定されていません。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 正しい実行パラメータ文字列を指定し、サブシステム初期化開始プロセスを修正します。

SMC0035

Error processing SMC startup parameter *PPPPPPPP*; *CCCCCCCCCCCC*

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、実行パラメータ文字列のエラーが検出されました。文字列 *CCCCCCCCCCCC* により、検出されたエラーの種類が示されます。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 正しい実行パラメータ文字列を指定し、サブシステム初期化開始プロセスを修正します。

SMC0036

SMC startup parameter P P P P P P P P successfully processed

レベル: 4

説明: SMC 初期化中、実行パラメータ P P P P P P P P の検証および処理が正常に完了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0037

Invalid SMC startup parameters; subsystem terminating

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、実行パラメータ文字列のエラー処理が検出されました。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: SYSLOG またはジョブログで、SMC 関連メッセージを検索します。関連メッセージには、SMC0032、SMC0033、SMC0034、または SMC0035 があります (これ以外にもある場合があります)。

SMC0038

Another SMC system SSSS is already active

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、システム上で既に稼働中の別の SMC サブシステム SSSS が検出されました。

システム動作: SMC サブシステムの初期化処理が終了します。

ユーザーの応答: 複数の SMC をシステム上で同時に稼働させることはできません。

- SMC SSSS が稼働中であるため、現在の SMC 初期化ができない場合は、SMC SSSS を終了します。
- SMC SSSS が異常終了しており、実際には稼働していない場合は、RESET 実行パラメータを用いて、現在の SMC サブシステムをリスタートします。

SMC0039

Identically named subsystem SSSS is already active

レベル: 0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムで、システム上で既に稼働中の SMC サブシステム SSSS と同名のサブシステムが検出されました。

システム動作: SMC サブシステムの初期化処理が終了します。

ユーザーの応答: サブシステム SMC SSSS が稼働しているかどうかを判断します。稼働している場合は、SMC SSSS を終了します。SMC SSSS が異常終了しており、実際には稼働していない場合は、RESET 実行パラメータを用いて、現在の SMC サブシステムをリスタートします。

SMC0040

SMC subsystem SSSS is already active; RESET specified; startup continuing

レベル: 4

説明: SMC サブシステム SSSS の初期化中、初期化プログラムで、以前の SMC サブシステムが異常終了したことが検出されましたが、この状態を無視するよう、ユーザーによって RESET 実行パラメータが指定されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0041

{Command|Comment} beginning at line nnnn of {SMCCMDS|SMCPARMS} is unterminated

レベル: 4

説明: 入力コマンドファイルで、*nnnn* で始まる行のコマンドまたはコメントに、末尾に継続を表す文字 (+) が入力されていますが、続きが見つかりません。

システム動作: 処理は続行されます。継続文字列を含むコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認します。

SMC0042

Job JJJJJJJJ step SSSSSSSS not allocatable before SMC modification

レベル: 4

説明: ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS を実行中、SMC 割り振りコンポーネントにより、ジョブステップ割り振りに先立ち、割り振り影響の実行が必要であることが検出されました。

システム動作: なしジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの応答: JCL を修正します。

SMC0043

Job JJJJJJJJ step SSSSSSSS not allocatable at MINLVL=nn; actual failing level=nn; failing DD DDDDDDDD

レベル: 4

説明: テープ割り振りを伴うジョブの実行中、SMC 割り振りコンポーネントにより、指定の最小除外レベル (MINLVL) でのジョブの割り振りが不可能であることが検出されました。

システム動作: ジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの応答: JCL を修正するか、あるいは指定されたジョブの MINLVL を、失敗するレベル未満の値に変更してください。

SMC0044

SMC subsystem termination in progress; no allocation influence
for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS を実行中、SMC 割り振りコンポーネントにより、SMC サブシステムが終了していることが検出されました。

システム動作: このジョブに対する割り振り影響はありません。

ユーザーの応答: なし

SMC0045

Conflicting exclusion criteria for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS
DD DDDDDDDD

レベル: 8

説明: メッセージ SMC0045 および SMC0046 は、常に一緒に作成されます。詳細については、メッセージ SMC0046 の説明を参照してください。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0046

CCCCCCCCCCCCCCCC would have excluded all devices; not honored

レベル: 8

説明: SMC 割り振りコンポーネントにより、ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS DD DDDDDDDD に対し、除外条件 CCCCCCCCCCCCCC の適用が試みられましたが、現在の除外レベル EDL にはデバイスが存在しません。SMC0045 および SMC0046 メッセージは、常に一緒に作成されます。

除外条件については、SMC 関連文献のドライブ除外レベルの表を参照してください。

システム動作: なし。すべてのデバイスを除外する条件は無視されます。

ユーザーの応答: 適用できなかった除外条件を確認するために、メッセージを検証します。可能な場合は、割り振りポリシーの指定を変更して、メディアまたは記録方式と互換性のないサブプール名またはエソテリック名の指定など、矛盾するポリシーを除外します。

SMC0047

Esoteric EEEEEEEE contains no known devices; ignored for job
JJJJJJJJ step SSSSSSSS DD DDDDDDDD

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS を実行中、SMC 割り振りコンポーネントで、ユーザーポリシーエソテリック EEEEEEEE (POLICY、TAPEREQ、またはユーザー出口から取得) に対応するテープデバイスが現在の EDL には存在しないことが検出されました。

システム動作: 指定のエソテリックが無視されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0048

Support ending for CCCCCCCC1, change to CCCCCCCC2

レベル: 0

説明: CCCCCCCC1 コマンドまたはキーワードが入力されましたが、コマンドまたはキーワードは次のリリースではサポートされません。CCCCCCCC2 コマンドまたはキーワードにより、同等の機能が提供されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: CCCCCCCC1 コマンドまたはキーワードを CCCCCCCC2 に変更します。

SMC0049

No eligible TAPEPLEX for job JJJJJJJJ

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ の実行中、SMC 割り振りコンポーネントが、正しいリリースレベルの TapePlex を検出できなかったか、有効な TAPEPlex コマンドが処理されませんでした。

システム動作: AALLOCDEF FAILnoinfo が指定されている場合、すべてのデバイスに不適格がマーク付けられます。それ以外の場合、このジョブに対する割り振り影響はありません。

ユーザーの応答:

- TapePlex が MVS SSCVT チェーンまたは TAPEPlex コマンドの LOCSUBsys パラメータを用いて定義されている場合、ホスト上の HSC または MVS/CSC が稼働中かつ正しいレベルにあることを確認します。
- 別のホスト上の TapePlex が TAPEPlex コマンドを用いて定義されている場合、SERVer コマンドによって定義されている遠隔ホスト上の HSC が稼働中かつ正しいレベルにあることを確認します。さらに、遠隔ホスト上で HTTP サーバーが稼働中であることも確認します。

SMC0051

SMC subsystem interface error for job JJJJJJJJ; reason=SSSSSSSS function=CCCCCCCC

レベル: 4

説明: MVS イニシエータアドレス空間内の SMC 処理が、割り振りまたはマウント要求を処理するために SMC サブシステムとの通信を試行しましたが、エラーが発生しました。SSSSSSSS は失敗の理由を示し、CCCCCCCC は試行された機能を示しています。

システム動作: 割り振りまたはマウント要求の処理が終了します。

ユーザーの応答: 関連する SMC サブシステムまたは MVS エラーメッセージを参照して、エラーの原因を究明します。

SMC0052

User exit *nn* {inactive|abended and disabled}

レベル: 8

説明: ジョブの実行中、SMC 割り振りまたはメッセージ処理コンポーネントがユーザー出口 *nn* を開始しましたが、ユーザー出口は、現在アクティブ状態にないか、異常終了したために現在無効になっています。

システム動作: ユーザー出口なしで処理が続行します。

ユーザーの応答: ユーザー出口を修正します。

SMC0053

**** SMC U1099 ABEND AT CCCCCCCC*n* ****

レベル: 0

説明: SMC タスクが、モジュール CCCCCCCC 内の異常終了シーケンス番号 *n* で、異常終了しました。

システム動作: テープ割り振りジョブのアドレス空間で異常終了が発生した場合、ジョブ割り振りに対する SMC サブシステムからの影響はありません。SMC によって開始されたタスクのアドレス空間で異常終了が発生した場合は、SMC サブシステムをリスタートする必要がある場合があります。

ユーザーの応答: SYSLOG またはジョブログで、SMC または IBM 関連メッセージを検索します。関連するログ、ダンプデータセット、および JCL を保存し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SMC0054

MSGJOB LVL=*nn* for {DEFAULT SETTING|JOBNAME=JJJJJJJJ}
[STEPNAME=SSSSSSSS] [PROCSTEP=PPPPPPPP]

レベル: 0

説明: MSGJOB コマンドで LIST キーワードが指定されています。MSGJOB 待ち行列に含まれる一意のジョブ、ジョブステップ、PROC ステップの各エントリがそれぞれ異なる SMC0054 メッセージとして表示されたあと、SMC デフォルトが最後の SMC0054 メッセージとして表示されます。*nn* はメッセージレベルを示しており、その示されたレベル以下のすべてのメッセージが、JES2 ではそのジョブのジョブログ上で、JES3 ではシステムログ上で、それぞれ生成されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0055

```
ALLOCJOB {BYPASSEd|MINLVL=nn}[SEPLVL=MIN|MAX|nn] for {JOBNAME=
JJJJJJJJ}[STEPNAME=SSSSSSSS][PROCSTEP=PPPPPPPP][SNAPDUMP
DDDDDD] PPPPPPPP
```

レベル: 0

説明: ALLOCJOB コマンドで LIST キーワードが指定されています。ALLOCJOB キュー内の各固有ジョブ、ジョブステップおよび PROC ステップエントリが、別の SMC0055 メッセージに表示されます。BYPASSED メッセージは、指定のジョブ、ジョブステップまたは PROC ステップのテープ割り振りには、SMC による影響が実行されないことを示しています。MINLVL=nn は、アフィニティーおよび GDG チェーンの分離が実行される最小除外レベルです。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0056

```
nn Bytes:
AAAAAAAA +0000| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
AAAAAAAA +0010| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
AAAAAAAA +0000| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
```

レベル: 0

説明: SMC LIst コマンドが発行された結果、SMC0056 複数行メッセージに、解釈済みの 16 進数 (xx.xx) と文字 (cc.cc) の形式で、ストレージの nn バイトが表示されます。各行には、ストレージの次の 16 バイト (X'10') が、16 進数のアドレス aaaaaaaa から表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0057

```
No {SMCPARMS|SMCCMDS} DDNAME statement found
```

レベル: 8

説明: SMC 初期化中、SMC 開始手順内に、指定された SMCPARMS DD または SMCCMDS DD が存在しません。

システム動作: 初期化が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0058

```
Error opening {DDNAME {SMCPARMS|SMCCMDS}|DSNAME DDDDDDDD}
```

レベル: 0

説明: READ コマンドが検出されましたが、指定された DDNAME または DSNAME を開くことができません。

システム動作: READ コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: SYSLOG またはジョブログで、IBM 関連メッセージを検索します。詳細については、該当する IBM ドキュメントを参照してください。

SMC0059

Identically named subsystem SSSS is initializing

レベル:0

説明: 初期化中、SMC サブシステム初期化プログラムにより、既に初期化が完了している (ただし完全に稼動してはいない) SMC と同名の SMC サブシステム SSSS が検出されました。

システム動作: 現在初期化中の SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: 複数の SMC をシステム上で同時に稼動させることはできません。以前の SMC サブシステム SSSS が異常終了しており、実際には稼動していない場合は、RESET 実行パラメータを用いて、SMC SSSS をリスタートします。

SMC0060

I/O error reading {DDNAME {SMCPARMS|SMCCMDS}|DSNAME DDDDDDDDD}

レベル:0

説明: SMC によって開始された手順で指定されている SMCPARMS または SMCCMDS データセット、または READ コマンドで指定されているデータセットの読み取り中、SMC が 入出力エラーを受信しました。

システム動作: 当該データセットは処理されません。

ユーザーの応答: エラー原因を究明します。入力データセットが PDS の場合、メンバー名が指定されていることを確認します。

SMC0061

Command beginning at line nnnn of {SMCCMDS|SMCPARMS} is too long; input ignored

レベル:4

説明: 表示されているファイルの nnnn 行から始まる、複数行に渡るコマンドが 1024 文字長を超えています。

システム動作: 処理は続行されます。複数行全体が無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認します。

SMC0062

Command CCCCCCCC [with parameter PPPPPPPP] is not allowed
[{from console|at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS}]

レベル:0

説明: 当該コマンド発行源でサポートされていないコマンドまたはコマンドパラメータが検出されました。たとえば、別の READ コマンドの処理中に検出された READ コマンドはサポートされません。

システム動作: このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 有効なコマンド発行源から、コマンドを発行します。

SMC0063

MSGDEF settings:
CCCC....CCCC

レベル:0

説明: MSGDEF コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0063 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0066

ALLOCDEF settings:
CCCC....CCCC

レベル:0

説明: ALLOCDEF コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0066 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0067

SMSDEF settings:
CCCC...CCCC

レベル:0

説明: SMSDEF コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0067 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0068

Cannot substitute for esoteric EEEEEEEE at MINLVL=n job
JJJJJJJJ step SSSSSSSS DD DDDDDDDD

レベル:8

説明: JES3 でのジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS を実行中、SMC 割り振りコンポーネントで、指定の最小レベル (MINLVL) でのジョブの割り振りが不可能なことが判明しました。

たとえば、デフォルトの最小除外レベル 2 で実行している場合、このメッセージは、特定ボリュームのメディアタイプと互換性のあるドライブのみが含まれているエソテリックを選択できないことを示しています。

システム動作: なし。エソテリック置換は実行されません。互換性のないドライブでボリュームが要求されているため、ジョブは失敗する場合があります。

ユーザーの応答: エソテリック定義の要件については、SMC 関連文献を参照してください。

SMC0069

TREQDEF command already in progress.

レベル: 0

説明: SMC TREQDEF が入力されましたが、TREQDEF コマンドは SMC ですでに処理中です。

システム動作: 2 回目の TREQDEF コマンドは抑止されます。

ユーザーの応答: 最初の TREQDEF コマンドの実行が完了するのを待ってから、新しい TREQDEF コマンドを入力します。

SMC0070

SMC maintenance has been applied; reassemble SMCERSLV

レベル: 0

説明: SMC 保守が適用され、モジュール SMCERSLV に反映されていますが、モジュール SMCERSLV は再アセンブルされていません。

システム動作: SMC は初期化されません。

ユーザーの応答: 正しいレベルの SMC マクロを用いて SMCERSLV を再アセンブルし、SMC をリスタートします。

SMC0071

SMCERSLV JES3 release level LLLLLL1 does not match JES3
release level LLLLLL2

レベル: 0

説明: モジュール SMCERSLV のアセンブルに、異なる JES3 リリースレベル LLLLLL1 が使用されています。アクティブな JES3 リリースレベルは LLLLLL2 です。

システム動作: SMC は初期化されません。

ユーザーの応答: 正しいレベルの SMC マクロを用いて SMCERSLV を再アセンブルし、SMC をリスタートします。

SMC0073

JES3 C/I waiting for SMC to initialize; Start SMC or reply
"GO" to continue

レベル: 0

説明: JES3 により、テープマウントを要求するジョブの JCL のスキャンが開始されていますが、SMC が初期化されていないため、割り振りへの影響はありません。

システム動作: SMC が開始され、オペレータによって "GO" と応答されるまで、JES3 C/I 処理が 1 回分待機します。

ユーザーの応答: SMC による割り振り影響を実行せずに続行するには、SMC を開始するか、"GO" と応答します。

SMC0074

Unsupported virtual label type for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS
DD DDDDDDDD

レベル: 8

説明: ラベルタイプ (NL) がサポートされていないため、DD に対応したすべての仮想デバイスが既に除外されています。仮想ドライブを要求する、これ以降の除外条件は適用されません。メッセージ SMC0046 に、適用されない条件が表示されます。

システム動作: DD が非仮想ドライブに割り振られます。ライブラリ外のドライブが、ライブラリ内のドライブより優先されます。

ユーザーの応答: サポートされているラベルタイプを要求するよう JCL を変更するか、ポリシーを変更して、別のデバイスタイプへの割り振りを指示します。

SMC0075

SEPLVL cannot be less than MINLVL on the CCCCCCCC command [at
line nnnn of SMCCMD\$|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 適用可能な MINLVL より低いレベルの SEPLVL または、適用可能な SEPLVL より高いレベルの MINLVL が指定されているコマンドが検出されました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットで、コマンド MINLVL および SEPLVL の値が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0076

Xtype CCCCCCCC (XX) has inconsistent {device type|location
type|VTSS|ACS} between device XXXX1 and device XXXX2

レベル: 4

説明: JES3 環境で、SMC により異種デバイスを含む XTYPE (CCCCCCCC は JES3 SETNAME 名) が検出されました。この XTYPE を使用すると、メディア、記録方式、または位置に基づき、誤ったデバイスへの割り振りが実行されます。

システム動作: XTYPE 内で最初に検出されたデバイスのデバイス特性に基づき、割り振りが実行されます。

ユーザーの応答: JES3 初期化パラメータの要件については、SMC 関連文献を参照してください。

SMC0077

Subtask CCCCCCCC terminating at retry count n; please stop and
restart SMC subsystem

レベル: 0

説明: 指定された SMC サブシステムのタスクが N 回、異常終了し、リスタートできません。現在動作中のサブシステムには、必要なサービスが提供されていません。

システム動作: 処理は続行されます。ただし、特定の割り振りまたはコマンド機能に影響がある場合があります。

ユーザーの応答: SMC サブシステムを停止し、リスタートします。サブタスク名が SMCOCMD の場合は、MVS CANCEL コマンドを用いて、サブシステムを終了します。

SMC0078

No command prefix defined

レベル:0

説明: SMCPARMS データセットで、CMDDEF コマンドによってコマンドの接頭辞が指定されていません。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: コマンドの接頭辞を指定する場合は、SMCPARMS データセットに CMDDEF コマンドを追加します。コマンドは、SMC の次回初期化時に処理されます。

SMC0079

The command prefix is P P P P P P P P

レベル:0

説明: サブシステムのコマンドプレフィックスが P P P P P P P P に設定されています。

システム動作: プレフィックス P P P P P P P P を有するコマンドが、SMC に受け入れられます。

ユーザーの応答: なし

SMC0080

Command prefix value V V V V V V V V contains invalid character C at line n n n n of SMCPARMS

レベル:0

説明: CMDDEF コマンドのコマンドプレフィックス値 V V V V V V V V に、無効な文字 C が含まれています。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: CMDDEF コマンドの解説に一覧表示されているコマンド接頭辞の有効文字を再確認します。新しい接頭辞値を用いて、SMCPARMS データセットの CMDDEF コマンドを更新します。コマンドは、SMC の次回初期化時に処理されます。

SMC0081

Command prefix not added; [prefix is not unique|CPF system error]

レベル:0

説明: 接頭辞が固有ではないか、システムエラーの発生により、CPF 機能によって、コマンドの接頭辞が拒否されました。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答:

- 接頭辞が固有のものではない場合、MVS DISPLAY OPDATA コマンドを発行し、ほかのサブシステムの接頭辞と比較します。コマンド文字列、コマンド略字、またはコマンドを開始する文字列は、コマンドプレフィックスとして**使用できません**。同じ文字で始まる既存のプレフィックスのサブセットまたはスーパーセットである文字列は、コマンドプレフィックスとして**使用できません**。
- CPF エラーが発生している場合は、SYSLOG で IBM 関連メッセージを検索し、該当する IBM ドキュメントの解説を参照してください。

SMC0082

Command prefix already set

レベル:0

説明: コマンドの接頭辞は、SMC の初期化中に一度だけ指定できます。実行中に変更することはできません。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドの接頭辞を変更するには、SMCPARMS データセットで CMDDEF 文を更新し、SMC をリサイクルします。

SMC0083

Unable to locate {JES3 SETNAME table|JES3 SETUNIT table}

レベル:0

説明: JES3 システムでの SMC サブシステムの初期化中、表示の JES3 制御構造を検出できませんでした。SMC は初期化できません。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: JES3 マクロの現行レベルを用いて、SMCERSLV を再アセンブルします。詳細については、『ELS のインストール』を参照してください。

SMC0084

MMM DD YYYY HH:MM:SS SSSS active on hostid HHHH

レベル:4

説明: 1 日に 1 回 (深夜)、SMC の初期化中、日付 (MMM DD YYYY)、時刻 (HH:MM:SS)、サブシステム名 (SSSS) および MVS ホスト ID (HHHH) が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0085

SMCBPREI: IEFSSI failed RC=XX RS=XXXX

レベル:0

説明: SMC サブシステム初期化前ルーチン (SMCBPREI) でエラーが発生しました。

システム動作:

- リターンコード (RC) が 4 以下の場合、SMC サブシステムは定義されています。
- リターンコード (RC) が 8 以上の場合、SMC サブシステムは定義されていません。

ユーザーの応答: リターンコード (RC) および理由 (RS) を参照し、必要な措置をとります。戻りコードおよび理由については、IBM マニュアル『MVS Programming: Authorized Assembler Service Reference』を参照してください。

SMC0086

SMC SUBSYSTEM TASKS:

A (PCE)	A (TCB)	USE	CT-S	PROGRAM	JOBNAME	JOBID	LAST
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	BB-W	SMCBINT	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	BM-W	SMCBMID	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	QM-W	SMCQMGR	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	J				
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	O -W	SMCOCMD	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	BL-W	SMCBLOG	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
XXXXXXXX	XXXXXXXX	00001	QW-X	SMCQWRK	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
....							
XXXXXXXX	XXXXXXXX	nnnnnn	QW-X	SMCQWRK	JJJJJJJJ	Jnnnnn	TTTTTTT
SMCQWRK executing tasks=nn waiting tasks=nn requests=nn							

レベル: 0

説明: SMC LIST TASK コマンドが発行された結果、SMC0086 複数行メッセージに、各 SMC サブシステムタスクの状態が表示されます。最終行には、現在実行中、待機中の SMCQWRK タスクの番号と、処理された要求数が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0087

EXTVOLESOT esoteric EEEEEEEE not found [at line nnnn of
SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: ALLOCDEF コマンドが発行され、EXTVOLESOT キーワードが EEEEEEEE と指定されていますが、指定されている *esoteric-name* は有効な MVS エンテリックではありません。

システム動作: 指定されている ALLOCDEF コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 有効な MVS エンテリック名を指定し、ALLOCDEF コマンドを再発行します。

SMC0088

Unable to [acquire/release] resource CCCCCCCC; attempt by
JJJJJJJJ XXXXXXXX1 owned by XXXXXXXX2

レベル: 0

説明: 共有 SMC リソースを正常に取得または解放できませんでした。ジョブ JJJJJJJ は、リソースの取得または解放を現在試行しているタスクを示します。別のタスクがリソースを保持しているため、このジョブは成功しません。

システム動作: ジョブ名 JJJJJJJ が正しく処理されない場合があります。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SMC0089

Unable to start subtask CCCCCCCC

レベル:0

説明: 初期化中、表示の SMC サブシステムタスクを正常にアタッチできませんでした。

システム動作: SMC サブシステムが終了します。

ユーザーの応答: SYSLOG または SMC ジョブログで、関連 MVS または SMC メッセージを検索します。

SMC0090

Unable to restart subtask CCCCCCCC

レベル:0

説明: サブシステム処理中、表示の SMC サブシステムタスクが異常終了し、リスタートできませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。ただし、サブシステム処理またはコマンド機能に影響がある場合があります。

ユーザーの応答: SMC サブシステムを停止し、リスタートします。当該サブタスクが SMCOCMD の場合は、MVS CANCEL コマンドを用いて、サブシステムを終了します。

SMC0091

Could not allocate job JJJJJJJJ step SSSSSSSS after applying all exclusion levels; backing up until allocatable

レベル:8

説明: ステップ内のすべての DD に対し、すべての除外条件が適用された場合、このジョブステップに対する割り振りを行うことができません。すなわち、各 DD に固有ドライブを割り振るには、残りのドライブセットでは不足していることを意味します。

システム動作: 残りのすべてのドライブセットをステップ内のすべての DD に割り振られるようになるまで、ステップ内の選択された DD での除外条件が以前の条件に戻されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0092

IDAX Settings:
CCCC....CCCC

レベル:0

説明: IDAX コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0092 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0093

TCPIP SETTINGS:
CCCC....CCCC

TCPIP TCPNAME=CCCCCCCC ADSNAME=CCCCCCCC

レベル:0

説明: TCPIP LIST コマンドが発行された結果、このメッセージに TCPNAME および ADSNAME の現在値が表示されます。デフォルト設定を使用している場合、“default” と表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0094

MOUNTDEF settings:
CCCC....CCCC

レベル:0

説明: MOUNTDEF コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0094 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0095

UX01 function code UX01RPLY not supported

レベル:4

説明: UX01RPLY (WTOR メッセージへの応答) のファンクションコードの戻り値は、SMC でサポートされません。

システム動作: なし。ユーザー出口は無視されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0096

Invalid UX01 function code XX

レベル:4

説明: ユーザー出口 01 によって、XX という無効なファンクションコードが返されました。

システム動作: この UX01 の呼び出しによって戻されたすべてのデータは無視されます。

ユーザーの応答: 有効なファンクションコードのみが返されるよう、UX01 を修正します。

SMC0097

UX01 function code XX not valid for message MMMMMMM

レベル:4

説明: SMC により、メッセージ (マウント、マウント解除、またはスワップ) に対して戻された動作コードが、SMC デフォルトメッセージの動作と一致していないことが検出されました。

システム動作: この UX01 の呼び出しによって戻されたすべてのデータは無視されます。

ユーザーの応答: メッセージに適合したファンクションコードが戻されるよう、UX01 を修正します。

SMC0098

UX01 drive XXXX1 does not match message drive XXXX2, using UX01 drive

レベル:4

説明: UX01 から戻されたデバイスアドレスが、メッセージで指定されているアドレスと一致していません。

システム動作: UX01 から戻されたデバイスアドレスが、メッセージ処理に使用されます。

ユーザーの応答: UX01 が正しく機能していることを確認します。

SMC0099

Drive XXXX not a TAPEPLEX drive

レベル:4

説明: ユーザー出口 01 により、ドライブ XXXX (ライブラリ外または仮想ドライブ) が戻されました。

システム動作: この UX01 の呼び出しによって戻されたすべてのデータは無視されます。

ユーザーの応答: UX01 が正しく機能していることを確認します。

SMC0100

Invalid UX01 drive XXXX

レベル:4

説明: ユーザー出口 01 によって、このシステムでの有効なテープデバイスとして定義されていない XXXX の無効なドライブアドレスが戻されました。

システム動作: この UX01 の呼び出しによって戻されたすべてのデータは無視されます。

ユーザーの応答: UX01 を修正します。

SMC0101

Invalid UX01 or TAPEREQ subpool SSSSSSSSSSSS from TAPEPLEX
PPPPPPPP for job JJJJJJJJ

レベル:4

説明: POLicy、TAPEREQ、またはユーザー出口 01 が、TAPEplex PPPPPPPP によって認識されないサブプール名を指定しました。これには、マウント要求のデバイスが属していました。

システム動作: デフォルトサブプール 0 が使用されます。

ユーザーの応答: POLicy、TAPEREQ、または UX01 を修正し、有効なサブプールを指定します。

SMC0102

Invalid UX01 volser VVVVVV

レベル:4

説明: ユーザー出口 01 によって戻されたボリュームシリアルには、無効な文字が含まれています。

システム動作: この UX01 の呼び出しによって戻されたボリュームシリアルは無視されます。

ユーザーの応答: 有効なボリュームシリアルが戻されるよう、UX01 を修正します。

SMC0103

Unrecoverable mount error on device XXXX volser VVVVVV for JOB
JJJJJJJJ

レベル:0

説明: メッセージ IAT5210 で要求されたマウントに対する IAT5310 メッセージへの応答として、ボリュームマウントエラーが検出されました。

システム動作: SMC は、マウントループを分割し、当該デバイス XXXX へのディスクマウントを発行します。ジョブは MDS VERIFY キューに入っています。

ユーザーの応答: IAT5310 メッセージを参照して、マウントエラー原因を究明し、修正措置をとります。

SMC0104

Default recording technique set for
TAPEPLEX=CCCCCCCC device XXXX

レベル:4

説明: TapePlex CCCCCCCC からの構成照会の応答が、TapePlex に属するデバイスとしてデバイスアドレス XXXX を戻しましたが、デバイスのモデルタイプを判断できませんでした。

システム動作: UCB デバイスタイプに基づいて、デバイスのデフォルトの記録方式が設定されます。処理は続行されます。

ユーザーの応答: SMC を含むすべての NCS 製品に対して、新規デバイスタイプの保守が適用されていることを確認し、正しいモデル情報を指定するデバイスに対して、SMC UNITAttr コマンドを発行します。

SMC0105

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is required

レベル: 0

説明: コマンド CCCCCCCC に、必要なキーワード KKKKKKKK が指定されていません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 必要なキーワードを指定し、コマンドを再発行します。

SMC0106

Mount of volser VVVVVV in TAPEPLEX PPPPPPPP on device XXXX not in library

レベル: 0

説明: SMC MOUNTDEF VOLWATCH オプションが ON になっています。TapePlex PPPPPPPP 内にあるボリュームを、ライブラリ外のドライブにマウントするよう要求されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: マウントを要求しているジョブを取り消すか、マウント要求を満たすため、ボリュームを取り出します。

SMC0107

Swap VVVVVV from XXXX1 to XXXX2

レベル: 4

説明: SMC により DDR スワップ処理がインターセプトされています。XXXX2 は、スワップ対象の元のデバイス、または、XXXX1 の特性により近いデバイスとして SMC によって選択されたデバイスのいずれかです。

システム動作: DDR スワップ処理が続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0108

No compatible drive found for SWAP processing

レベル: 0

説明: SMC により DDR スワップ処理がインターセプトされています。スワップ対象として選択された元のデバイスは、デバイスからのスワップに対する互換性がなく、SMC は互換性のある代替デバイスを検出できません。

システム動作: DDR スワップ処理が続行されます。

ユーザーの応答: 互換性のあるデバイスが存在しない場合、スワップ処理を停止するには、メッセージ IGF500D または IGF509D に対して NO と応答します。互換性のあるデバイスがオフラインになっている場合は、このデバイスをオンラインに切り替え、IGF500D または IGF509D に対して、このデバイス番号を応答します。

SMC0109

The SMC subsystem is running in key *n*; results are unpredictable; reply 'Y' to continue or 'N' to terminate

レベル: 0

説明: SMC の初期化中、SMC が 1 - 7 ではなく、キー *n* で動作していることが検出されました。

システム動作: SMC は、応答を受信するまで待機します。

ユーザーの応答: N と応答すると、SMC が停止します。Y と応答すると、SMC の初期化が継続されますが、予期せぬ結果が起こる場合があります。この障害の原因としては、S0C1 および S0C4 ABEND が考えられます。このメッセージを回避するには、“PPT PGMNAME(SMCBINT),SYST,KEY(*n*)” (*n* は 1 - 7) を用いて、Program Properties Table (PPT) を更新します。

SMC0110

Allow swap of VVVVVV from XXXX1 to XXXX2; Reply 'Y', 'N' or DEVICE

レベル: 0

説明: SMC により DDR スワップ処理がインターセプトされています。SMC は、オペレータによるスワップ許可を待機しています。

システム動作: SMC は処理を続行しますが、オペレータによる応答が入力されるまで、スワップは完了されません。

ユーザーの応答: 選択されたデバイス XXXX2 を用いてスワップを続行するには、Y と応答します。異なるデバイスへのスワップを選択する場合は、該当するデバイスアドレスを応答します。SMC では、新規デバイスアドレスの検証は行われません。スワップを中止するには、N と応答します。デバイス XXXX1 の入出力エラーによってスワップが発生している場合、N と応答すると、ジョブは失敗します。

SMC0111

USERMSG SETTINGS:
CCCC...CCCC

レベル: 0

説明: USERMsg コマンドを用いて追加されたメッセージが一覧表示されます。

システム動作: SMC デフォルトメッセージと USERMsg によって追加されたメッセージは、いずれも、各ライブラリサブシステムのユーザー出口 01 に送信されます。SMC は、ユーザー出口 01 からの戻り値に基づき、USERMsg によって追加されたメッセージを処理します。

ユーザーの応答: なし

SMC0112

Cannot add duplicate message ID *MMMMMMMM* at line *nnnn* of
SMCPARMS

レベル: 0

説明: USERMsg コマンドの発行によって追加された新規メッセージ ID が、SMC によってインターセプトされます。指定されたメッセージ ID *MMMMMMMM* は、SMC に既に定義されているメッセージの複製です。

システム動作: メッセージは追加されません。

ユーザーの応答: なし

SMC0113

```
SERVER=SSSSSSSS CCCCCCCC  
Status={active|never active|inactive|disabled}  
Messages=nnnn  
Retries=nnnn  
Init errors=nnnn  
Errors=nnnn
```

レベル: 0

説明: SERVer コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0113 複数行メッセージには、SMC サブシステムに定義されている各サーバーのサーバー設定と状態が一覧表示されます。

- **STATUS** は、サーバーの状態です。
- **active** は、現在、このサーバーが、指定の TapePlex にアクセスするためのパスとなっていることを示します。
- **never active** は、このパスで、通信が試行がなされたことがないか、試行されても失敗したことを示します。
- **inactive** は、別のサーバーパスがアクティブになっているか、前回の通信に失敗したことを示します。
- **disabled** は、互換性がないことが検出された、FAIL 数の上限に達した、またはオペレータコマンドが実行されたことによって、サーバーが無効化されていることを示します。
- **Messages** には、このサーバーパス上で試行された、論理メッセージ数 (ボリューム検索要求、マウント、ディスマウント) が示されます。
- **Retries** には、メッセージの再試行回数が示されます。
- **Init errors** には、アクティブ化されていないサーバー上の現在のエラー数が示されます。
- **Errors** には、このサーバーの合計エラー数が示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0116

Cannot find TAPEPLEX|STORMNGR P P P P P P P P for SERVER S S S S S S S S [at line n n n n of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: SERVer コマンドで、未定義の TapePlex または STORMNGR 名が指定されています。

システム動作: サーバーの追加または更新は行われません。

ユーザーの応答: TAPEPlex コマンドを指定して TapePlex を定義するか、STORMNGR コマンドを指定して STORMNGR を定義したあと、SERVer コマンドを指定します。

SMC0117

Cannot change TAPEPLEX|STORMNGR name for existing SERVER S S S S S S S S [at line n n n n of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: SERVer コマンドで既存サーバーの NAME と、TapePlex または STORMNGR 名が指定されていますが、既存サーバーの TapePlex または STORMNGR 名が、最初にサーバーを定義したときに設定した名前と一致しませんでした。

システム動作: このコマンドは拒否されます。

ユーザーの応答: TapePlex または STORMNGR 名を省略するか、既存のサーバーと一致する TapePlex または STORMNGR 名に変更するか、またはサーバー名を変更して新しいサーバーを追加します。

SMC0118

No LOCSUBSYS for [LOCENABLE|LOCDISABLE] parameter on TAPEPLEX command [at line n n n n of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル:0

説明: TAPEPlex コマンドで LOCENABLE または LOCDISABLE パラメータが指定されていますが、TapePlex が LOCSUBSYS サブシステム名で定義されていません。

システム動作: これは警告メッセージです。TapePlex を追加または変更しても、LOCENABLE または LOCDISABLE パラメータは無視されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0119

[SERVER|LOCSUBSYS] C C C C C C C C now disabled

レベル:0

説明: FAIL カウントの設定を超える TCP/IP エラーまたはローカルサブシステムの致命的なエラーを検出しました。無効化の理由については、後続の SMC0128 および SMC0129 メッセージを参照してください。

システム動作: なし。関連付けられているライブラリに対してほかのサーバーパスが定義されていない場合、このホストからそのライブラリハードウェアに対してアクセスできなくなります。

ユーザーの応答: TCP/IP ネットワーク、SMC サーバー、ホストオペレーティングシステム、または HSC サブシステムの問題を解決し、SERVer または LOCSUBsys を再び ENABLE にします。

SMC0120

NAME must be specified to add or modify a SERVER [at line nnnn
of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 新しいサーバーを追加する、または既存のサーバーパスを変更する SERVER コマンドが入力されていますが、サーバーパス名が指定されていません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: サーバーパス名を指定して、SERVER コマンドを入力します。

SMC0121

UEXIT nn is now [ENABLED/DISABLED]

レベル: 0

説明: UEXIT nn ENABLE または DISABLE コマンドが入力されたか、または指定したユーザー出口で異常終了が検出されました。指定したユーザー出口は、現在 ENABLED または DISABLED になっています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 異常終了が原因でユーザー出口が自動的に無効化された場合、その出口も再ロードされないかぎり、再有効化できません。

SMC0122

UEXIT=nn
Status={active|disabled|abended}
CCCC...CCCC
Sequence=nn
Loaded=YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Changed=YYYY-MM-DD HH:MM:SS

レベル: 0

説明: UEXIT コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0122 複数行メッセージには、定義されている各ユーザー出口の状態が一覧表示されます。

- nn は、SMC ユーザー出口の番号 (タイプ) です。
- STATUS は、ユーザー出口の状態を示します。
- active は、出口がロード済みでアクティブな状態にあることを示します。
- disabled は、出口はロードされていますが、UEXIT disable キーワードによって非アクティブ化されたことを示します。
- abended は、ユーザー出口が異常終了したことを示します。この出口を再びアクティブ化するには、新規バージョンをロードする必要があります。
- Sequence は、このユーザー出口に対して実行されたロード回数を示します。
- Loaded は、このバージョンのモジュールがいつロードされたかを示します。
- Changed は、このバージョンのモジュールが、いつアクティブ化または非アクティブ化されたかを示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0123

Drive range mismatch between CLIENT(XXXX1-XXXX2) and SERVER (XXXX3-XXXX4)

レベル: 0

説明: DRIVemap コマンドが発行された結果、指定の CLient 範囲の 1 つが、該当する SErver 範囲のフォーマットに一致していません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: CLient パラメータと SErver パラメータのフォーマットとドライブ数が一致していることを確認し、コマンドを再発行します。

SMC0124

ABENDED or INACTIVE UEXIT nn must be reloaded to ENABLE [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 異常終了または戻りコードによって停止しているユーザー出口に対して UEXIT nn ENABLE コマンドが発行されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: LOAD キーワードを指定して UEXit コマンドを入力し、ユーザー出口を再ロードします。

SMC0125

UEXIT nn already [ENABLED/DISABLED] [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: UEXIT nn ENABLE または DISABLE が発行されていますが、ユーザー出口は既に指定した状態になっています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 変更を試行しているユーザー出口番号を確認します。

SMC0126

UEXIT nn not valid for [JES2/JES3] [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: この構成では無効にされているユーザー出口番号に対して UEXIT コマンドが発行されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: ご使用の構成のユーザー出口番号を確認します。

SMC0127

Cannot resolve HOST name *H...H* [at line *nnnn* of
SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SERVer コマンドで HOST キーワードが指定されていますが、指定されている HOST *name* を用いて IP アドレスを解決できません。

システム動作: SERVer コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: 正しい HOST 名を入力するか、または代わりに IPADDRESS キーワードを使用します。

SMC0128

```
TapePlex error:
{Fatal comm error detected|
  Initialization error number nn or {nn|unlimited}}|
  Comm error number nn of {nn|unlimited}
  Comm error limit exceeded}
JOB=JJJJJJJJ IIIIIIII TASK=XXXXXXXXXXXXXXXXX {MSG=XXXXXXXXX}
TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT {SUBSYSTEM=AAAA|SERVER=SSSSSSSS}
REQUEST=FFFF
{Client {IP=NNN.NNN.NNN.NNN} socket=NN port={nnnn|ANY}}
{Server IP=NNNN.NNNN.NNNN.NNNN port=nnnn}
{Bytes out=nnnn in=nnnn}
{Error=EEEE...EEEE}
{Reason=RRRR...RRRR}
{Response from STK HTTP server follows: HHHH...HHHH}
SMC comm RC=nnnn
```

レベル: 4

説明: SMC が TapePlex または STORMNGR との通信を試みたところ、インタフェースまたは通信エラーが発生しました。SMC0128 の複数行メッセージにはまず、エラーに関連するジョブ名、トランザクションタイプ、および TapePlex 名または STORMNGR 名が表示されます。

同じホスト上のクロスメモリーサービスを使用しているとき (つまりサーバーを使用していないとき) にローカルの TapePlex または STORMNGR で通信エラーが生成された場合は、次の行にインタフェースエラーが表示されます。

TCP/IP の使用中にリモート HTTP サーバーまたは関連するリモート HSC TapePlex または STORMNGR で通信エラーが生成された場合、次のいずれかのメッセージ理由行が表示されます。

理由文字列の例を次に示します。

- 特定の TCP/IP 機能エラー (接続、送信、受信など)
- データエラー (不完全または無効なデータ応答)
- 停止中または見つからなかったサブシステム、あるいは互換性のないリリースレベル
- サブシステムの機能エラー
- 許可されていない HTTP サーバー
- HSC ASCOMM エラー

■ インタフェースまたは通信タイムアウト

注 – リモートエラーの種類によっては、次のような HTTP サーバー全体の応答が表示される場合があります。

Response from HTTP server follows:

HTTP 1.0 401 Unauthorized

メッセージに「Comm error limit (*nnn*) exceeded」と示されている場合は、SMC0128 メッセージに続いて SMC0119 メッセージが受信され、SMC によってサーバーパスが無効化されます。

メッセージに「Initialization error」と示されている場合は、指定のサーバーパスに対する正常な通信が確立される前にエラーが発生したことを示しています。このようなエラーは、サーバーパスの累積エラー数には含まれないため、指定のサーバーが SMC によって自動的に無効化されることはありません。

また、「Initialization error」メッセージは、要求ごとに生成されるのではなく、パスが正常にアクティブ化されるまで、5 分間隔で生成されます。

システム動作: 割り振りまたはマウントが処理されていない可能性があります。

ユーザーの応答: 表示されているエラー理由を参照して、問題の原因を究明します。リモートサーバーに対するエラーの場合は、HTTP サーバーが稼動中であることを確認します。

SMC0129

{ERROR|WARNING}: No cartridge transport(s) for XXXX1- [XXXX2]
for {UNITATTR|DRIVEMAP} {ADDRESS|CLIENT}

レベル: 0

説明: UNITATTR または DRIVEMAP コマンドで、デバイス XXXX1 または範囲 XXXX1-XXXX2 が指定されていますが、指定のデバイスは MVS によって定義されているカートリッジトランスポートデバイスではありません。

システム動作:

- メッセージに ERROR と表示されている場合、コマンドは処理されません。
- メッセージに WARNING と表示されている場合は、値が保存され、MVS によって定義されていない RTD デバイスのアドレス変換に使用される場合があります。

ユーザーの応答: コマンドに指定されているデバイスを確認し、誤ったデバイスが指定されている場合は、コマンドを再発行します。

SMC0130

TAPEPLEX PPPPPPPP1 has same LOCSubSYS SSSS as TAPEPLEX
PPPPPPPP2 [at line nnnn of SMCCMDs|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: TAPEPLEX コマンドで別の TapePlex 名 PPPPPPPP1 が指定されていますが、LOCSubSYS 名が既存の TapePlex PPPPPPPP2 と同じです。

システム動作: TAPEPLEX コマンドは実行されません。

ユーザーの応答: エラーを修正した後、LIBRARY コマンドを再発行します。

SMC0131

Cannot use [TAPEPLEX|SUBSYSTEM] CCCCCCCC from user exit or
POLICY; RRRRRRRR

レベル: 4

説明: SMC POLICY での TapePlex 名、またはユーザー出口から戻された TapePlex または SUBSYSTEM が、示された理由 RRRRRRRR が原因で、SMC によって使用されませんでした。

システム動作: ライブラリ所有権を確立するために、ほかの条件が使用されます。このポリシーまたはユーザー出口から戻されたほかのデータは適用されます。

ユーザーの応答: RRRRRRRR によって示された状態を修正します。

SMC0132

Mount retry limit exceeded for volser=VVVVVV device=XXXX from
TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=SSSSSSSS

レベル: 4

説明: SMC マウントまたはマウント TAPEREQ 取得処理で、MVS マウントが待機中であるために再試行が必要であると判断された場合、再試行されるまで待機します。マウントまたはマウントポリシー取得再試行の制限に達すると、SMC0132 メッセージが表示されます。

システム動作: このメッセージが発行された後は、マウント要求処理は続行されません。

ユーザーの応答: HSC マウントの問題の原因を究明します。問題を解決した後、必要に応じて、SMC RESYNChronize REStart コマンドまたは HSC MOUNT コマンドを発行します。

SMC0133

```
TAPEPLEX|STORMNGR=PPPPPPPP  
CCCC...CCCC  
Status={disabled|active|inactive|never active}  
Requests=nnnn  
[SERVER=SSSSSSSS  
Status={disabled|active|inactive|never active}]
```

レベル:0

説明: TAPEplex または STORMNGR コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0133 複数行メッセージには、SMC サブシステムに定義されている各 TapePlex または STORMNGR のパラメータと状態が一覧表示されます。SERVerlist キーワードが指定されている場合は、オプションで、この TapePlex または STORMNGR に関連付けられているすべてのサーバーのサーバー状態を表示することもできます。

TapePlex の **status** は、TapePlex または STORMNGR の状態です。

- **disabled** は、オペレータコマンドによって、TapePlex または STORMNGR が無効化されていることを示します。
- **active** は、この TapePlex または STORMNGR との前の通信が正常に実行されたことを示します。
- **inactive** は、この TapePlex または STORMNGR との通信パスが、以前はアクティブであったものでも、アクティブでなくなっていることを示します。
- **never active** は、この TapePlex または STORMNGR への通信パスが正常に確立されたことがないことを示します。

Requests は、指定された TapePlex または STORMNGR に送信された要求 (構成、ボリューム検索、マウント、マウント解除、およびスワップ) の合計数を示します。

SERVER キーワードが指定されている場合は、この TapePlex または STORMNGR に対して定義されているすべてのサーバーパスと状態も表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0134

```
No UNITATTR in effect for device(s) XXXX1[-XXXX2]
```

レベル:0

説明: デバイスに対して UNITATTR コマンドが入力されていないか、以前に入力された UNITATTR コマンドが TapePlex からの情報によって置き換えられています。

システム動作: UNITATTR OFF パラメータが指定されている場合、デバイスは処理されません。

ユーザーの応答: なし

SMC0135

```
{Mount/dismount message|Client response WTOR message|WTOR  
message issued by server} from TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=  
SSSSSSSS
```


SMC0136

HSC mount or dismount message

レベル: 4

説明: WTORDEST(CLIENT) または ECHOMNTERR(ON) オプションが有効になっています。HSC TapePlex のマウントまたはマウント解除が実行されましたが、正常に完了しませんでした。SMC0135 メッセージは、マウントまたはマウント解除が要求された TapePlex 名およびサーバー名を示しています。SMC0136 は、HSC サーバーのマウントまたはマウント解除メッセージを SMC クライアント上で単にエコーしています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: HSC マウントまたはマウント解除メッセージに示されている問題を解決します。

注 – メッセージ SMC0135 および SMC0136 は、メッセージレベルが 12 以上の場合、WTORDEST または ECHOMNTERR の設定に関わらず、すべてのマウントエラーに対して発行されます。メッセージレベルが 16 以上の場合、すべての HSC マウントおよびディスマウントメッセージに対して発行されます。

SMC0137

HSC mount or dismount WTOR message

レベル: 4

説明: TAPEPlex WTORDEST(CLIENT) が設定された状態で、HSC TapePlex のマウントまたはマウント解除が実行された結果、クライアントによる処理が必要な WTOR が HSC によって発行されました。SMC0135 メッセージは、マウントまたはマウント解除が要求された TapePlex 名およびサーバー名を示しています。

システム動作: 指定されたメッセージ応答が転送され、マウントまたはマウント解除がサーバーに対して再指示されます。

ユーザーの応答: 対応する HSC メッセージについては、メッセージの解説を参照し、指示に従ってください。

注 – メッセージの SMC0137 部分を制限するには、MSGDef コマンドの SMCWtorpfx パラメータを使用します。

SMC0138

XML {input|output} parse error RC=nnn; transaction=TTTTTTTTT
TAPEPLEX|STORMNGR=PPPPPPPP

レベル: 0

説明: XML 解析エラーが発生しました。入力 XML トランザクションが解析できない場合、入力 XML エラーが発生します。トランザクション応答データを XML に変換できない場合、出力 XML エラーが発生します。

システム動作: エラーの種類やサーバーの特性によっては、割り振りまたはマウントが処理されない場合があります。

ユーザーの応答: オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SMC0139

UNITATTR for device XXXX MODEL=MMMMMMMM [TAPEPLEX=PPPPPPPP]

レベル: 0

説明: UNITATTR コマンドで Llst パラメータが指定されています。デバイスに関連付けられているモデルと TapePlex が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

nnnnnnnnn

SMC0140 DFSMS message

レベル: 0

説明: DFSMS ACS ルーチンが DFSMS メッセージを発行しました。nnnnnnnnn は、JCL 文番号を示します。動的割り振りの場合、DDNAME を示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

nnnnnnnnn

SMC0141 UNIT=value VVVVVVVV1 replaced by VVVVVVVV2

レベル: 0

説明: DFSMS ACS ルーチンがエソテリックを変更しました。

- nnnnnnnnn は、JCL 文番号を示します。動的割り振りの場合、DDNAME を示します。
- VVVVVVVV1 は、JCL に存在していたエソテリックを示します。UNIT パラメータが JCL で使用されていなかった場合、NULL-UNIT と示されます。
- VVVVVVVV2 は、DFSMS ACS ルーチンによって指定されたエソテリックを示します。

システム動作: DFSMS ACS ルーチンによって指定された新しいエソテリックが割り振りに使用されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0142

Invalid reply to prior message from TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=SSSSSSSS

レベル: 0

説明: TapePlex PPPPPPPP に対して WTORDEST(CLIENT) オプションが指定され、SMC がサーバー SSSSSSSS を介してマウントまたはディスマウント要求を HSC に送信しました。SMC が要求の再送信を試行していたときに、応答が無効であることを示すメッセージが HSC から戻されました。

システム動作: HSC メッセージが再表示されます。

ユーザーの応答: 表示されたメッセージに対する有効な応答については、メッセージの解説を参照してください。

SMC0143

```
UNITATTR MODEL=MMMMMMM1 cannot override real MODEL MMMMMM2  
for TAPEPLEX=PPPPPPP device=XXXX
```

レベル:0

説明: モデル MMMMMMM1 を指定するデバイス XXXX に対して、UNITATTR が指定されましたが、TapePlex PPPPPPP から構成照会情報が戻されたとき、実際のモデルは MMMMMMM2 です。

システム動作: 構成照会の応答から戻された実際のモデルに基づいて、デバイスの記録方式が設定されます。処理は続行されます。

ユーザーの応答: SMC を含むすべての NCS 製品に対して、新規デバイスタイプの保守が適用されていることを確認し、正しいモデル情報を指定するデバイスに対して、SMC UNITAttr コマンドを発行します。

SMC0144

```
Mount of volser=VVVVVV on device=XXXX; drive is in use; reply  
'C' to cancel mount or 'R' to retry
```

レベル:0

説明: SMC がマウントまたはマウント解除要求を HSC に対して送信した結果、ドライブが使用中であることを示すメッセージが HSC から戻されました。

システム動作: マウントが未処理のままの場合、30 秒ごとにマウントの再処理が自動的に試行されます。マウント保留が解消されるか、またはドライブが利用可能になると、メッセージは DOM されます。

ユーザーの応答: ドライブが利用可能になるのを待機します。または要求を取り消す場合には 'C' と応答し、直ちに再試行する場合には 'R' と応答します。

SMC0145

```
Mount of volser=VVVVVV on device=XXXX; volume is in use; reply  
'C' to cancel mount or 'R' to retry
```

レベル:0

説明: SMC がマウントまたはマウント解除要求を HSC に対して送信した結果、ドライブが使用中であることを示すメッセージが HSC から戻されました。

システム動作: マウントが未処理状態のままか否かが検証されます。マウントが未処理のままの場合、30 秒ごとにマウントの再処理が自動的に試行されます。マウント保留が解消されるか、またはボリュームが利用可能になると、メッセージは DOM されます。

ユーザーの応答: ボリュームが利用可能になるのを待機します。または要求を取り消す場合には 'C' と応答し、直ちに再試行する場合には 'R' と応答します。

SMC0146

All devices marked ineligible for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS
due to volume lookup failure

レベル:4

説明: SMC 割り振りがボリューム情報の取得を試行したときに、ライブラリサーバーで通信の失敗が発生しました。ALLOCDEF オプション FAILNOINFO が指定されています。

システム動作: すべてのデバイスに割り振りの不適格がマーク付けられます。ジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの応答: 通信の失敗の原因を究明し、ジョブを再送信します。

SMC0147

PPPPPPPP1 is incompatible with PPPPPPPP2 on the TAPEREQ
command line nnnn of TREQDEF DSN

レベル:0

説明: TREQDEF コマンドに指定されているデータセットの nnnn 行の PPPPPPPPP1 と PPPPPPPPP2 の間に互換性がありません。

システム動作: TAPEREQ 文の処理が続行され、エラーフラグが追加されます。

ユーザーの応答: エラーを修正した後、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0148

PPPPPPPP on the TAPEREQ command at line nnnn of TREQDEF DSN is
not valid in a JES3 environment

レベル:0

説明: TREQDEF コマンドに指定されているデータセットの nnnn 行の指定のパラメータ PPPPPPPP は、テープセットアップを伴う JES3 環境では使用できません。

システム動作: TAPEREQ 文の処理が続行され、エラーフラグが追加されます。

ユーザーの応答: エラーを修正した後、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0149

TREQDEF specifications not installed, reason code nn

レベル:0

説明: TREQDEF コマンドで指定されているデータセットの TAPEREQ 文がインストールされていません。

08 - TAPEREQ 文の構文エラー

12 - TAPEREQ 構造体が初期化されていません

システム動作: なし

ユーザーの応答: エラーを修正した後、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0150

TREQDEF specifications installed from DDDDDDDD

レベル:0

説明: TREQDEF コマンドで指定されているデータセットの TAPEREQ 文が正常にインストールされていません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0151

TREQDEF status:

Loaded from DDDDDDDD

Title: TTTTTTTT

{Loaded on YYYY-MM-DD at HH:MM:SS/

Not active due to error; process RC=nn}

レベル:0

説明: TREQDEF コマンドで LIST キーワードが指定されています。現在の TAPEREQ 文は、データセット DDDDDDDD からロードされています。OPTION 文に指定されている場合は、タイトル TTTTTTTT が表示されます。エラーが原因で現在有効な TREQDEF ファイルがない場合、「not active due to error」というメッセージが表示されますが、TREQDEF に対して最後に使用されたデータセット名が利用可能であり、TREQDEF RELOAD コマンドで使用できます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0152

TREQDEF DSN command has not been previously issued

レベル:0

説明: TREQDEF DSN コマンドが発行されていないにもかかわらず、TREQDEF LIST または RELOAD コマンドが発行されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: TREQDEF コマンドで DSN キーワードを指定した後、TREQDEF コマンドで LIST または RELOAD キーワードを指定します。

SMC0153

Dynamic allocation failed for DDDDDDDD

レベル:0

説明: READ コマンドで指定されているデータセット名 DDDDDDDD を割り振ることができません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 指定のデータセット名がカタログ化されている MVS データセットであることを確認し、コマンドを再発行します。

SMC0154

UNITATTR model MMMMMMMM ignored for TAPEPLEX device XXXX

レベル:0

説明: デバイス XXXX を指定する UNITATTR コマンドが発行されました。このデバイスは、SMC で認識される TapePlex に対して定義されます。TapePlex からデバイスモデルが取得されます。

システム動作: UNITATTR コマンドは、このデバイスを処理しません。

ユーザーの応答: なし

SMC0155

LOG settings:

CCCC...CCCC

Logging currently {INACTIVE|ACTIVE}

レベル:0

説明: LOG コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0155 複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定と状態が一覧表示されます。

ログ状態が ACTIVE の場合はロギングが開始されていることを示します。

INACTIVE の場合は、EOF に達した時点でロギングが停止されていることを示しています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0156

SMCLOG file is not currently opened

レベル:0

説明: LOG コマンドで STOP キーワードが指定されていますが、ロギングは現在有効ではありません。

システム動作: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0157

SMCLOG file is already opened

レベル:0

説明: LOG コマンドで START キーワードが指定されていますが、ロギングはすでに有効になっています。

システム動作: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0158

No SMCLOG DD; logging cannot be started

レベル: 0

説明: LOG コマンドで START キーワードが指定されていますが、SMC サブシステムの開始 JCL に SMCLOG DD がありません。

システム動作: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの応答: SMC サブシステムの開始 JCL に SMCLOG DD を追加した後、SMC サブシステムをリスタートします。

SMC0159

Logging {started|stopped}

レベル: 0

説明: LOG コマンドで START または STOP キーワードが指定されています。

システム動作: SMC ロギングが開始または停止します。

ユーザーの応答: なし

SMC0160

Invalid range XXXX1-XXXX2 for keyword ADDRESS of the UNITATTR command

レベル: 0

説明: UNITATTR コマンドで、デバイス範囲 XXXX1-XXXX2 (ここで XXXX1 は XXXX2 より大きい) が指定されています。

システム動作: UNITATTR コマンドは、このデバイス範囲を処理しません。

ユーザーの応答: 有効な範囲を指定し、コマンドを再発行します。

SMC0161

Restoring all default settings for the CCC...CCC command

レベル: 0

説明: CCC...CCC コマンドで OFF パラメータが指定されています。SMC サブシステムのすべての SMC 値が、デフォルト値に戻されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0162

CCC...CCC object successfully {added|updated|deleted}

レベル: 0

説明: CCC...CCC コマンドが正常に処理されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0163

DRIVEMAP settings:
CLIENT=XXXX1{-XXXX2} SERVER=XXXX3{-XXXX4}

レベル:0

説明: DRIVEMAP コマンドで LIST キーワードが指定されています。SMC0163 複数行メッセージに、現在アクティブな DRIVEMAP が一覧表示されます。各クライアント / サーバー範囲に 1 行ずつ表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0164

CLIENT range XXXX1{-XXXX2} not found for the OFF keyword of the DRIVEMAP command

レベル:0

説明: DRIVEMAP コマンドで OFF パラメータと CLIENT パラメータが指定されています。CLIENT パラメータに一致する DRIVEMAP 範囲が見つかりません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0165

Keyword {CLIENT/SERVER} range XXXX1{-XXXX2} overlaps with previous DRIVEMAP entry

レベル:0

説明: DRIVEMAP コマンドに指定されているクライアントまたはサーバー範囲が、前回の DRIVEMAP コマンドで指定されている範囲と重複しています。

システム動作: DRIVEMAP コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: DRIVEMAP LIST コマンドを発行し、現在アクティブな DRIVEMAP 範囲を確認します。DRIVEMAP コマンドを修正して、新しい範囲を指定します。あるいは、DRIVEMAP CLIENT(XXXX1-XXXX2) OFF コマンドを用いて、既存の重複範囲を非アクティブ化し、コマンドで固有の範囲を指定し直します。

SMC0166

Excessive READ depth at line nn of DSN DDDDDDDDD

レベル:0

説明: ファイルから READ コマンドが発行されましたが、開いているコマンドファイル数が多すぎるため、読み出しコマンドの深度が超過しています。読み出しコマンドの進捗とは、埋め込み Read コマンドによって、同時に開けるファイル数を定義したものです。

システム動作: READ コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: コマンドファイルを再構成して READ コマンドの深度を低減し、参照されるファイルに再帰ループが含まれないようにします。

SMC0167

```
CCCCCCC summary:
TAPEPLEX|STORMNGR P P P P P P P P is {disabled|inactive|active on
{local subsystem S S S S|server S S S S S S S S}
{All TAPEPLEX|STORMNGR(s) active|
n of n TAPE TAPEPLEX|STORMNGR(s) active|
WARNING: All TAPEPLEX|STORMNGR(s) inactive|
WARNING: No TAPEPLEX|STORMNGR(s) defined|
WARNING: No TAPEPLEX|STORMNGR(s) enabled}
```

レベル:0

説明: CCCCCCCC コマンドが発行され、TapePlex または STORMNGR の再同期が実行されました。複数行 WTO の各行に各 TapePlex が表され、その状態が表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0168

```
WARNING: No TREQDEF command processed
```

レベル:4

説明: 開始時点で、SMCPARMS または SMCCMDS ファイルに TREQDEF コマンドが見つかりません。

システム動作: 割り振りまたはマウント要求に対する TAPEREQ 処理は実行されません。

ユーザーの応答: HSC または MVS/CSC で以前 TREQDEF が指定されていた場合は、SMC に対して TREQDEF コマンドを発行し、SMCCMDS (または SMCPARMS) ファイルに TREQDEF コマンドを追加します。

SMC0169

```
WARNING: {SMCCMDS|SMCPARMS} processing TIMEOUT; startup
continuing
```

レベル:4

説明: SMC サブシステムの起動中、開始コマンドで、指定のコマンドファイルを処理できませんでした。

システム動作: 起動プロセスは続行されますが、処理されない開始コマンドがある可能性があります。

ユーザーの応答: なし

SMC0170

```
{Request timeout|SMC subsystem terminating}; request to  
subsystem SSSS aborted
```

レベル: 4

説明: SMC からサブシステム SSSS に要求が送信されましたが、期限内に応答が得られなかったか、SMC サブシステムが終了しています。

システム動作: SMC は、HSC 応答を待たずに、処理を続行します。要求がタイムアウトしたことが示されている場合は、指定のサブシステムへの SMC サーバーパスが無効になります。

ユーザーの応答: SMC に応答しないサブシステムの状態を確認し、問題を修正します。問題を修正したあと、該当するサーバーパスを有効にします。

SMC0171

```
Allocatability test matrix retries exceeded
```

レベル: 0

説明: 再試行回数に示されているテストマトリックスを用いて、ジョブステップの割り振り可能性を判断できませんでした。

システム動作: 通常は、SMC「バックアウト」除外条件を用いて、ジョブステップが割り振られるまで、処理が続行されます。

JES3 CI エソテリック置換中、利用可能なデバイスの元のリストを復元した後も、割り振り可能性マトリックスを解決できない場合は、異常終了が発生し、エソテリック置換は実行されません。

ユーザーの応答: 可能な場合は、割り振りトレースを ON にして、ジョブを再試行します。トレースとログ出力を保存し、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SMC0172

```
Specified TAPEPLEX|STORMNGR PTTTTTTTT not  
{defined|HSC|active|enabled|valid for UUI}
```

レベル: 0

説明: SMC コマンドで、TAPEPLEX または STORMNGR PTTTTTTTT が指定されています。このコマンドは、TAPEPLEX または STORMNGR が SMC に対して定義されていないか、適格でないため、完了できません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: 有効な TAPEPLEX または STORMNGR を指定するか、TAPEPLEX または STORMNGR の状態を修正して、コマンドを再発行します。

SMC0173

```
Response from TAPEPLEX|STORMNGR PPPPPPPP:  
CCCC...CCCC  
Response RC=nn
```

レベル: 0

説明: SMC Route コマンドで、TAPEPlex または STORMNGR PPPPPPPP が指定されています。SMC0173 メッセージは、TAPEPLEX または STORMNGR 名を表示し、そのあとに指定された TAPEPLEX または STORMNGR からの応答を表示し、メッセージの終わりにコマンドのリターンコードを表示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0174

```
ASCOMM ACK timeout for job=JJJJJJJJ (DS=nnnn-nnnn)
```

レベル: 0

説明: SMC はジョブ JJJJJJJ から の要求に応答しましたが、制限時間内に確認を受信しませんでした。

システム動作: SMC は、確認を待たずに、処理を続行します。

ユーザーの応答: なし

SMC0175

```
Communication initialized on TAPEPLEX|STORMNGR=name {SERVER=  
name}
```

レベル: 4

説明: SMC は、指定の TapePlex または STORMNGR との初回通信を正常に確立しました。選択されている通信パスがリモートサーバーの場合は、そのサーバーも表示されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

注 – このメッセージは、1 つのサーバーから別のサーバーに通信が切り換えられるか、エラーの発生後に通信が再確立される度に生成されます。

SMC0176

```
No active TAPEPLEX(s) for DISPLAY command
```

レベル: 0

説明: DISPLAY コマンドが入力されましたが、どの TapePlex とも通信を確立できません。

システム動作: DISPLAY (または QUERY) VOLUME コマンドが入力された場合、このコマンドは要求を送信する TapePlexes がなくなると終了します。DISPLAY DRIVE コマンドが入力された場合、表示されるドライブ情報に TapePlex 所有権を反映できなくてもこのコマンドは続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0177

```
SMC {DISPLAY|QUERY} VOLUME
Volser TapePlex Location Media Rectech Volume Data
-----
VVVVVV PPPPPPPP {AA:LL} MMMMMMMM RRRRRRRR DDDDDDDD
```

レベル:0

説明: Display Volume コマンドが入力されました。SMC0177 メッセージでは、要求に合致する volser が一覧表示されます。ALLtapeplex パラメータが指定された場合、重複する volser が見つかったときは、それはアスタリスク (*) で始まります。ボリュームに対して表示される記録方式には、そのボリュームのメディアタイプ VOLATTR (ある場合) と密度などのボリュームデータを組み合わせたものが反映されます。たとえば、記録方式が STK1RC のボリュームは、そのボリュームに対して記録方式 STK1RC を指定する VOLATTR を持つ場合と、9840C ドライブでスクラッチとしてマウントされたものとして認識される場合があります。ボリュームに対して表示されるボリュームデータには、ボリューム記録密度など、HSC CDS に保存されているボリュームの既知の特性が反映されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0178

```
SMC {DISPLAY|QUERY} DRIVE
Addr TapePlex Location Model SMC Status MVS Status
-----
CCUU PPPPPPPP AA:LL:PP:DD MMMMMMMM XXXX-VVVVVV SSSSSSSSS
```

レベル:0

説明: DISPLAY DRIVE コマンドが入力されました。SMC0178 メッセージでは、要求に合致するデバイスアドレスが一覧表示されます。

- XXXX は、そのドライブに対する SMC による前回のマウントまたはマウント解除の状態です。
- VVVVVV は、前回マウントまたはディスマウントされたボリュームシリアルです。
- PPPPPPPP は、TapePlex です。

XXXX 値	説明
MNTD	実ボリュームの自動マウントが正常に完了しました。
DISM	マウント解除が HSC TapePlex またはサーバーに送信されました。DISM は、マウント解除が発行されたあと、別のボリュームがそのドライブにマウントされるまで表示されます。
VMNT	仮想ボリュームの自動マウントが VSM に送信されましたが、SMC メッセージ処理コンポーネントによって監視されていません。ボリュームが実際にマウントされたかどうかは、MVS の状態に記録されます。

XXXX 値	説明
PEND	実マウントまたは仮想マウントが SMC メッセージ処理コンポーネントによって監視されており、HSC TapePlex またはサーバーからの最終応答を待機しています。
MNTM	HSC TapePlex またはサーバーから、実ボリュームを手動でマウントする必要があることを示す最終リターンコードが返されました。
FAIL	自動マウントが失敗しました。オペレータの介入が必要です。
CSCM	自動マウントが MVS/CSC に送信されましたが、SMC メッセージ処理コンポーネントによって監視されていません。ボリュームが実際にマウントされたかどうかは、MVS の状態に記録されます。
SWAP	スワップがそのドライブで現在進行しており、SMC スワップマネージャーによって監視されています。
MISS	実ボリュームまたは仮想ボリュームの自動マウントは完了しておらず、現在 SMC マウントモニターコンポーネントによって監視されています。
BYP5	指定されたドライブのマウント/マウント解除を SMC が監視する必要がないことを示すリターンコードが、ユーザー出口 01 で指定されました。
なし	指定されたドライブの SMC の状態を取得できません。

注 - 状態が MNTM、MISS、または FAIL の場合、マウントが引き続き MVS 待機中であるときには、SMC0231 アクションメッセージが発行されます。状態が VMNT の場合、仮想マウントタイムアウト値の超過後に仮想マウントが引き続き待機中になっていると、SMC0231 アクションメッセージが発行されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0179

{TAPEPLEX|ESOTERIC} VVVVVVVV not defined for CCCCCCCC

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドの入力により、TAPEPLEX または ESOTERIC VVVVVVVV が指定されましたが、VVVVVVVV が SMC または MVS に定義されていません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 指定されたコマンドを修正して再入力します。

SMC0180

```
POLICY=CCCCCCCC {scr only|spec only|scr + spec|scr error|
spec error|in error|scr defined|spec defined}
Scratch policy: (displays entered policy values)
Specific policy: (displays entered policy values)
Created on mmm dd yyyy hh:mm:ss
[at line nnn of dsname| from console userid]
Changed on mmm dd yyyy hh:mm:ss
[at line nnn of dsname| from console userid]
```

レベル:0

説明: POLICY LIST コマンドが受信されました。TERse オプションが指定された場合は、各ポリシーの最初の行のみが表示されます。作成または変更されたデータは、DETail オプションが入力された場合にのみ表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0181

```
WARNING: SMS MGMTPOL specified and no POLICY statements
defined
```

レベル:8

説明: ALLOCDef SMS オプションと SMSDef MGMTPol オプションは両方ともオンですが、起動時に POLICY コマンドが処理されませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: DFSMS ACS 管理クラスルーチンで指定したポリシー名に対してポリシー定義を入力します。

SMC0182

```
POLICY CCCCCCCC not defined for TREQDEF statement nnnn
```

レベル:8

説明: TREQDEF データセットの検証中、TAPERREQ 文が、定義された POLICY に一致しないポリシー名 CCCCCCCC を指定しました。

システム動作: TREQDEF 定義が拒否されます。

ユーザーの応答: POLICY コマンドが TREQDEF コマンドの前に処理されるようにするか、TAPERREQ 文を変更して POLICY 名を修正します。

SMC0183

```
POLICY CCCCCCCC not found in any TAPERREQ statement
```

レベル:8

説明: ポリシー検証中、どの TAPERREQ 文でも指定されていないポリシー名 CCCCCCCC が見つかりました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: アクティブでない POLICY 文を削除するか、TAPERREQ 文でポリシー名を指定します。

SMC0184

{Specific|Scratch} POLICY CCCCCCCC marked in error

レベル:0

説明:たとえば、VOLTYPE(SPECIFIC) でスクラッチ SUBPOOL 名を指定するなど、SMC に追加される POLICY にポリシー指定エラーが含まれています。

システム動作:処理は続行されます。POLICY という名前のオブジェクトが作成されます。ただし、エラーのある POLICY オブジェクトはマーク付けされ、指定の POLICY オブジェクトへの参照がそれを検出できます。ただし、そのような場合、戻される POLICY は空で、デフォルトのテープポリシーの属性がその割り振りまたはマウントイベントに適用されることが示されます。

ユーザーの応答:POLICY コマンドを修正し、再発行します。

SMC0185

Non-POLICY TAPEREQ statements detected

レベル:8

説明:1 つまたは複数の TAPEREQ 文によって POLICY キーワードが指定されませんでした。

既存の TAPEREQ 文を POLICY フォーマットに変換することをお勧めしています。

システム動作:なし

ユーザーの応答:TAPEREQ 文を POLICY フォーマットに変換します。

SMC0186

No matching POLICY found for SMS management class CCCCCCCC

レベル:8

説明:SMC 割り振りまたはマウントメッセージ処理中に SMS MGMTPol が指定されているときに、ACS ルーチンから戻された SMS 管理クラスが定義済み POLICY と一致せず、SMSDEF VTVMGMT が OFF です。

システム動作:ポリシー名は無視されます。TAPEREQ をロードする場合、SMC は TAPEREQ を使用してポリシーを検索しようとします。

ユーザーの応答:見つからない POLICY を定義するか、ACS ルーチンを訂正して有効な POLICY 名を指定します。

SMC0187

WARNING: Could not find device XXXX for TAPEPLEX PPPPPPPP specified in UNITATTR

レベル:0

説明:UNITATTR が、デバイス XXXX に対して、TAPEPLEX PPPPPPPP に属するものとして指定されましたが、戻された構成照会に指定されたデバイスが含まれていませんでした。

システム動作:なし UNITATTR は適用されません。サーバーが起動中に構成照会を処理するタイミングによっては、構成照会の応答で一部のデバイスが戻されない可能性があります。

ユーザーの応答:指定されたデバイスが指定された TAPEPLEX に実際に属していることを確認します。

SMC0188

Non-virtual MEDIA or RECTECH is not allowed with MGMTCLAS

レベル: 0

説明: POLICY 文で、MGMTCLAS が非仮想 MEDIA または RECTECH、あるいはその両方とともに指定されましたが、MGMTCLAS は仮想ポリシーに対してのみ指定されるべきです。

システム動作: POLICY は拒否されます。

ユーザーの応答: POLICY 修正し、POLICY コマンドを再発行します。

SMC0189

CCCCCCCC entry EEEEEEE not found for {list|update|delete}

レベル: 0

説明: エントリ EEEEEEE が一覧表示、削除、または更新されるように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されましたが、EEEEEE に一致するエントリが見つかりませんでした。

システム動作: なし

ユーザーの応答: CCCCCCCC コマンドで LIST オプションを指定し、すべての CCCCCCCC エントリを一覧表示します。その後、正しいエントリ名を指定するコマンドを再発行します。

SMC0190

CCCCCCCC 00000000 set to {ON|OFF|XXXXXXXX}

レベル: 0

説明: オプション 00000000 が ON、OFF、または指定された値 XXXXXXXX に設定されるように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。単一の CCCCCCCC コマンドで複数のオプションが指定された場合は、指定されたオプションごとに 1 つずつ、複数の SMC0190 メッセージが発行されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

注 – SMC0190 メッセージは、MSGDef VERBose(ON) が指定された場合にのみ、表示されます。

SMC0191

CCCCCCCC 00000000 set to {ON|OFF|XXXXXXXX} for entry EEEEEEEE

レベル:0

説明: CCCCCCCC エントリ EEEEEEEE に対して、オプション OOOOOOOO が ON、OFF、または指定された値 XXXXXXXX に設定されるように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。単一の CCCCCCCC コマンドで複数のオプションが指定された場合は、指定されたオプションごとに 1 つずつ、複数の SMC0191 メッセージが発行されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

注 – SMC0191 メッセージは、MSGDef VERBose(ON) が指定された場合にのみ、表示されます。

SMC0192

Specific volume lookup failure(s) occurred for job JJJJJJJJ

レベル:4

説明: ジョブ JJJJJJJJ での特定ボリュームに対する割り振り処理中、ボリューム検索が通信エラーを示しました。ALLOCDDef FAILNOINFO オプションが指定されていませんでした。

システム動作: 処理は続行されます。そのボリュームと互換性のないデバイスに割り振りが送信される可能性があります。

ユーザーの応答: 通信エラーの原因を究明し、修正します。

SMC0193

Scratch volume lookup failure(s) occurred for job JJJJJJJJ

レベル:8

説明: ジョブ JJJJJJJJ でのスクラッチボリュームに対する割り振り処理中、ボリューム検索が通信エラーを示しました。ALLOCDDef FAILNOINFO が OFF または SPECIFIC に設定されていました。

システム動作: POLicy、TAPEREQ、ユーザー出口、または DFSMS ACS ルーチンで指定されたポリシーを使用して、割り振りが処理されます。

ユーザーの応答: 通信エラーの原因を究明し、修正します。ポリシー情報がスクラッチボリュームを適切な TapePlex とメディアに割り振るために十分であることを確認します。

SMC0194

```
TAPEPLEX PPPPPPPP from [POLICY|user exit] conflicts with  
ESOTERIC EEEEEEEE from [POLICY/TAPEREQ|user exit] for job  
JJJJJJJJ
```

レベル: 8

説明: SMC POLicy またはユーザー出口によって指定された TapePlex 名が、POLicy/TAPEREQ またはユーザー出口のエソテリック名によって定義された TapePlex 名と異なります。

注 – SMC0194 メッセージは、SMC MSGDef VERBose(ON) が指定された場合にのみ、表示されます。

システム動作: ボリューム情報に対して、どの TapePlex が使用されるべきかが判断されます。判断の基準は、POLicy TapePlex、POLicy エソテリック名または TAPEREQ エソテリック名 (エソテリックのすべてのドライブが単一のライブラリにある場合)、ユーザー出口の TapePlex 名またはサブシステム名、ユーザー出口から戻されるエソテリックによって定義される TapePlex の順です。エソテリック名がポリシーまたはユーザー出口の TapePlex 名と矛盾する場合でも、エソテリック名はドライブ除外プロセスで引き続き使用されます。

ユーザーの応答: 意図したポリシーが指定されるように、適用可能な POLicy、TAPEREQ、およびユーザー出口の値を確認します。

SMC0195

```
READ processing started for {SMC PARMS|SMCCMDS|data set name}
```

レベル: 0

説明: 指定のファイルでコマンドの処理が開始されました。

注 – SMC0195 メッセージは、SMC MSGDef VERBose(ON) が指定された場合にのみ、表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0196

```
READ processing complete; RC=nn  
from {SMCPARMS|SMCCMDS|data set name}
```

レベル: 0

説明: 指定のファイルでコマンドの処理が完了しました。任意のコマンドに対する最高の戻りコードは *nn* です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0197

WARNING: POLICY PPPPPPPP is specified; ignoring {esoteric
subpool|subsystem|TapePlex} from user exit for job JJJJJJJJ

レベル: 8

説明: 割り振りユーザー出口がエソテリック、サブプール、TapePlex、またはサブシステムのデータを戻しましたが、ポリシー PPPPPPPP が有効になっています。

システム動作: このポリシーは情報に対する唯一のソースであるため、ユーザー出口から戻されるデータは無視されます。

ユーザーの応答: 指定のポリシーに、適用されるべきすべてのポリシー情報が含まれていることを確認してください。

SMC0200

ALLOC event ignored

レベル: 8

説明: SMC テープ割り振りサービスを要求した SMC から、READ コマンドが指定されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: ディスクのデータセットに対して READ コマンドを発行します。

SMC0201

{TAPEREQ|CONTROL} statements can only be input using the
TREQDEF command

レベル: 0

説明: TAPEREQ 制御文が、TREQDEF コマンドではなく、SMC READ コマンドを使用して読み取られました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: TAPEREQ 制御文を読み取るために、TREQDEF コマンドを発行します。

SMC0202

Update error not applied because {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY for
entry PPPPPPPP already exists.

レベル: 0

説明: 誤った POLICY 文が入力されました。SCRATCH または SPECIFIC ポリシーがすでに存在するため、更新エラーが適用されませんでした。SCRATCH または SPECIFIC ポリシーが存在しない場合は、POLICY が入力され、エラーとしてフラグが立てられます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: POLICY コマンドを修正し、再発行します。

SMC0203

```
COMMTTEST:
JOB=JJJJJJJJ IIIIIIII TASK=XXXXXXXXXXXXXXXXX {MSG=XXXXXXXXX}
TAPEPLEX|STORMNGR=LLLLLLLLL {SUBSYSTEM=AAAA|SERVER=SSSSSSSS}
REQUEST=FFFF
{Client {IP=NNN.NNN.NNN.NNN} socket=NN port={nnnn|ANY}}
{Server IP=NNNN.NNNN.NNNN.NNNN port=nnnn}
{Bytes out=nnnn in=nnnn}
{Error=EEEE...EEEE}
{Reason=RRRR...RRRR}
{Response from STK HTTP server follows: HHHH...HHHH}
Current LIBPATH status={active|inactive|never active|disabled}
SMC comm RC=nnnn elapsed time=nn.nn
```

レベル:0

説明: COMMtest コマンドが入力された結果、試行された各通信パスに SMC0203 メッセージが表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0204

No eligible COMMPATH(s) found

レベル:0

説明: COMMtest コマンドが入力されましたが、指定された TAPEPlex、STORMNGR、SERVer、およびステータスパラメータにより、このテストに対して適格でない通信パスが選択されました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: COMMtest コマンドを修正し、再発行します。

SMC0205

Disabling bind to PORTRANGE nnnn-nnnn; any ephemeral port will be used

レベル:0

説明: TCPip PORTrange (OFF) コマンドが入力されました。ソケットは固定ポート範囲 nnnn-nnnn に関連付けられなくなりますが、一時的なポートが使用されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0206

No PORTRANGE currently defined

レベル:0

説明: TCPip PORTrange (OFF) コマンドが入力されましたが、現在アクティブな PORTrange はなく無効に指定されています。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0207

Specified SERVER SSSSSSSS not {found|defined for
TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT}

レベル: 0

説明: COMMtest コマンドで、特定の TapePlex または STORMNGR およびサーバーが指定されました。サーバーが SMC に対して定義されていないか、指定された TapePlex または STORMNGR に対して定義されていません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: COMMtest コマンドを修正し、再発行します。

SMC0208

NEW TAPEPLEX=PPPPPPP1 MODEL=MMMMMMM1 for device XXXX
OLD TAPEPLEX=PPPPPPP2 MODEL=MMMMMMM2

レベル: 0

説明: TapePlex PPPPPPP1 からの構成照会の応答が、TapePlex 所有権を TapePlex PPPPPPP2 から変更したか、そのモデルタイプをモデル MMMMMMMM2 から MMMMMMMM1 に変更したデバイス XXXX に対して受信されました。

システム動作: 処理は続行されます。TapePlex 所有権とモデルが新しい値に設定されます。

ユーザーの応答: このメッセージは、同じデバイスアドレスが 2 つ以上の TapePlex に対して定義されていることと、一方の TapePlex から受信された構成情報が、もう一方の TapePlex の構成情報によって置き換えられたことを示している場合がほとんどです。この場合、どちらの TapePlex がこのホスト上のデバイスの所有者であるかを指定する UNITAttr コマンドを、デバイスに対して発行します。

SMC0209

HTTP Server {already started | already stopped} not active for
update

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArT または HTTP STOp コマンドが発行されましたが、HTTP サーバーはすでに適切な状態で運用されているか、調整パラメータを更新できません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0210

HTTP Server commencing startup

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArT コマンドが発行されました。

システム動作: SMC HTTP サーバーの起動を継続します。

ユーザーの応答: なし

SMC0211

HTTP Server startup complete

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArT コマンドが発行され、HTTP サーバーは初期化を完了して、受信クライアント要求を処理する準備ができました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0212

HTTP Server startup failure [;auto restart will be attempted]

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArT コマンドが発行されましたが、SMC HTTP サーバーはエラーのために初期化できませんでした。

システム動作: SMC HTTP サーバーの起動を終了します。TCP/IP がアクティブでないことがサーバー起動の失敗の原因であった場合、SMC は定期的に HTTP サーバーの起動を指定されたポート上で試みます。

ユーザーの応答: 前のメッセージを確認して、SMC HTTP サーバーが初期化できなかった原因を究明します。

SMC0213

HTTP Server commencing shutdown

レベル: 0

説明: SMC HTTP STOp コマンドが発行されました。

システム動作: SMC HTTP サーバーのシャットダウンを継続します。

ユーザーの応答: なし

SMC0214

HTTP Server shutdown complete

レベル: 0

説明: SMC HTTP STOp コマンドが発行され、HTTP サーバーはシャットダウンを完了して、受信クライアント要求の処理を停止します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0215

HTTP Server status:

CCCC...CCCC

レベル: 0

説明: SMC HTTP LIst コマンドが発行されました。

システム動作: SMC HTTP サーバーの状態が表示されます。これは、リスナーのポート番号から始まり、サーバーの各種統計情報が記載されています。

ユーザーの応答: なし

SMC0216

```
HTTP Server accept {error|warning|info}:  
Socket=nn, port=nnnn  
{TCPNAME=TTTTTTTT}{, ADSNAME=AAAAAAA}  
{ERROR=EEEEEEEE}  
(REASON=RRRRRRRR)  
SMC comm RC=nnn
```

レベル: 0、4、または 8 (重要度による)

説明: SMC HTTP リスナーサブタスクで、指定されたソケットおよびポートにソケットエラーが発生しました。メッセージは重要度によって「error」、「warning」、「info」に分けられ、それぞれレベル 0、4、8 のメッセージとして表示されます。

システム動作: 受信クライアント要求は処理されません。要求元の SMC クライアントは要求を再実行しますが、その要求先は SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定によって、同じサーバーまたは別のサーバーになります。

ユーザーの応答: 続いて SMC0212 または SMC0219 メッセージが表示される場合、SMC HTTP サーバーはアクティブでなくなっているため、SMC HTTP START コマンドが必要になります。

SMC0217

```
HTTP Server socket {error|warning|info}:  
Socket=nn {, CGI module=MMMMMMMM}{, from hostid=HHHH)  
{, job=JJJJJJJJ}  
{ERROR=EEEEEEEE}  
(REASON=RRRRRRRR)  
SMC comm RC=nnn
```

レベル: 0、4、または 8

説明: SMC HTTP ソケット入出力サブタスクで、指定の要求元の指定のソケットにエラーが発生しました。メッセージは重要度によって「error」、「warning」、「info」に分けられ、それぞれレベル 0、4、8 のメッセージとして表示されます。

システム動作: 接続されたソケットはシャットダウンされ、入力要求は正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは要求を再実行しますが、その要求先は SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定によって、同じサーバーまたは別のサーバーになります。

ユーザーの応答: なし

SMC0218

```
HTTP Server {listener | socket I/O} subtask started
```

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArt コマンドが発行されたか、回復が試みられ、示された SMC HTTP サーバーサブタスクが起動しています。

システム動作: SMC HTTP サーバーの起動または回復を継続します。

ユーザーの応答: なし

SMC0219

```
HTTP Server {listener | socket I/O} subtask terminated;  
CCCCCCCC
```

レベル: 0

説明: 指定された SMC HTTP サーバーサブタスクは、CCCCCCCC で示された理由によって異常終了しています。

システム動作: SMC HTTP サーバーは、エラーの種類に応じて、終了するか、回復を試みます。

ユーザーの応答: なし

SMC0220

```
FFFFFFFF invocation error:  
Socket=nn {, CGI module=MMMMMMMM}{, from hostid=HHHH)  
{, job=JJJJJJJJ}  
{ERROR=EEEEEEEE}  
SMC comm RC=nnn
```

レベル: 0

説明: CGI モジュール MMMMMMMM で、CGI 関数 FFFFFFFF に回復不可能なエラーが発生しました。この要求は取り消されました。

システム動作: 接続されたソケットはシャットダウンされ、入力要求は正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは要求を再実行しますが、その要求先は SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定によって、同じサーバーまたは別のサーバーになります。

ユーザーの応答: なし

SMC0221

```
CGI module MMMMMMMM inactivated due to abend count (NN)
```

レベル: 0

説明: CGI モジュール MMMMMMMM の異常終了が NN 回目となり、許可されている異常終了回数を超過しました。このモジュールは非アクティブ化されます。

システム動作: 接続されたソケットはシャットダウンされ、入力要求は正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは要求を再実行しますが、その要求先は SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定によって、同じサーバーまたは別のサーバーになります。

ユーザーの応答: なし

SMC0222

```
SIMULATE command results:  
CCCC...CCCC
```

レベル: 0

説明: SMC SIMulate コマンドが発行されました。

システム動作: SMC SMS、POLICY、TAPERREQ、ユーザー出口、およびボリューム検索データが返されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0223

このメッセージの表示形式は、次のどちらかになります。

```
POLICY VALIDATE results:  
CCCC...CCCC  
RC=0|4|8; {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY name reason
```

または:

```
POLICY VALIDATE RC={4|8}; {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY name reason
```

レベル: 0

説明: SMC POLICY VALIDATE コマンドが発行されました。

システム動作: SMC POLICY VALIDATE の結果が表示されます。

- 1 目の表示形式は、Llst キーワードが入力された場合に表示され、POLICY 属性と検証結果が表示されます。
- 2 目の表示形式は、Llst キーワードが入力されなかった場合に表示され、ポリシーオブジェクトごとに 1 行の要約 (4 または 8 の検証リターンコード) が表示されます。

ユーザーの応答: RC=4 または 8 の理由を調べて、警告エラーの原因となっている POLICY または環境の条件を訂正します。

SMC0224

```
POLICY VALIDATE complete; highest RC={0|4|8}
```

レベル: 0

説明: SMC POLICY VALIDATE コマンドが発行されました。

システム動作: このメッセージは、SMC0223 メッセージのあとに発行され、検証されたすべてのポリシーの最高の RC を示します。

ユーザーの応答: なし最高の RC が 0 よりも大きい場合は、前の SMC0223 メッセージを参照してください。

SMC0225

```
Mount for job jobname rejected by the TAPEPLEX tapeplex-name;  
SUBPOOL subpool-name invalid
```

レベル: 0

説明: TAPEPLEX *tapeplex-name* がジョブ *jobname* からのマウントを拒否しました。マウントの拒否理由が表示されます。

システム動作: マウントは処理されません。ジョブは続行できません。

ユーザーの応答: 示されたサブプールは、このジョブの SMC ポリシーで指定されています。ただし、指定された SUBPOOL が HSC サーバーに対して定義されていないか、現在のホストが HSC POOLPARM で指定されているように SUBPOOL へのアクセス権を持っていません。HSC POOLPARM の定義を訂正してこのホストが指定のサブプールにアクセスできるようにするか、SMC ポリシーを訂正してこのホストがアクセスできる有効なサブプール名を要求します。

SMC0226

Path switch from SERVER=SSSSSSSS to PPPPPPPP for
TAPEPLEX | STORMNGR=TTTTTTTT

レベル: 4

説明: SMC が、TapePlex または STORMNGR TTTTTTTT の通信パスを、セカンダリサーバー SSSSSSSS からプライマリサーバー PPPPPPPP に自動的に切り替えました。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0227

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command ignored; RRRRRRRR

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドで、受け付けられなくなったキーワードが指定されました。キーワード KKKKKKKK は、現在のバージョンの製品で廃止されているか、現在の処理環境で受け付けられない可能性があります。

システム動作: キーワード KKKKKKKK と、それに関連付けられた値があれば破棄されますが、コマンドのその他の部分は処理されます。

ユーザーの応答: このキーワードが現在のリリースで廃止されている場合は、今後のリリースでエラーのフラグが立てられ、コマンド全体が無効になる可能性があるため、コマンドからそのキーワードを削除します。

SMC0228

Copyright (C) 1991, 2010, Oracle and/or its affiliates.
All rights reserved.

レベル: 0

説明: このメッセージは、SMC の初期化中に発行されます。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0229

Invalid value VVVVVVVV for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: コマンドに指定されている値 VVVVVVVV が無効です。

システム動作: 処理は続行されます。このコマンドは無視されます。

ユーザーの応答: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認するか、正しいコマンドを入力します。

SMC0230

IEFJFRQ exit smcxJFRQ is inactive.SMC is unable to influence tape allocation

レベル:0

説明: 出口ルーチン smcxJFRQ がそのエラーしきい値に達し、オペレーティングシステムによって非アクティブにされました。

smcxJFRQ の smcx は、SMC に属するサブシステム名に置き換えられます。このルーチンが非アクティブになったときに、IBM のメッセージ CSV430I が発行されました。メッセージ CSV430I とともに、ジョブの SVC ダンプが実行された可能性があります。

ダンプのタイトルは次のようになります。

```
DUMP TITLE=COMPON=SSI,COMPID=5752SC1B6,ISSUER=IEFJSARR,  
MODULE=IEFJRASP,ABEND=aaaa,REASON=rrrrrrrrr
```

システム動作: SMC で、正しいドライブへのテープ割り振りを指示できません。SMC は 1 分ごとに SMC0230 を削除して、出口ルーチンの状態を再確認します。それでも出口ルーチンが非アクティブである場合は、SMC0230 が再発行されます。

ユーザーの応答: 出口が非アクティブになった理由を調べます。出口を表示するには、次の MVS コマンドを使用します。

```
DISPLAY PROG,EXIT,EXITNAME=IEFJFRQ,DIAG
```

出口の状態は、次のどちらかの方法でアクティブにすることができます。

- MVS SETPROG コマンドを使用する。
SETPROG EXIT,MODIFY,EX=IEFJFRQ,MOD=smcxJFRQ,STATE=ACTIVE
- SMC を停止して、再起動する。

失敗したジョブの SVC ダンプとジョブログは保管します。障害の分析については、オラクルソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SMC0231

MTP DDDD: RRRRRRRR

レベル: 0

説明: デバイス DDDD のマウント保留が検出されました。このデバイスの最終 HSC/VTCS メッセージ応答を待機している SMC マウントサブタスクはありません。指定された理由 RRRRRRRR は、最終 HSC/VTCS マウント応答メッセージであるか、SMC VTD マウント監視からのメッセージです。

システム動作:

- 次のメッセージの場合

SMC0231 MTP DDDD: Monitor detected missed mount for {job=JJJJJJJJ,}
volser=VVVVVV

保留中のマウントが SMC VTV マウント監視によって検出され、VTV VVVVVV へのマウントが自動的に再実行されて、最終 HSC/VTCS メッセージ応答を待機しています。

- 次のメッセージの場合

SMC0231 MTP DDDD: SLSnnnn message

保留中のマウント状態は、最終 HSC/VTCS SLSnnnn メッセージによるものです。この場合、VTV マウントは自動的に再実行され、HSC/VTCS 最終応答を待機します。ただし、手動による介入が必要となる可能性があるため、「実」マウントは自動的に再実行されません。

ユーザーの応答: DDDD が VTD ではなく「実」デバイスを表している場合は、理由 RRRRRRRR で示されるエラーを修正し、SMC RESYNChronize コマンドを発行します。

注 -

- 最終 HSC/VTCS マウント応答の SLSnnnn メッセージにデバイスアドレスが表示されることがあります。ドライブホスト機能が使用され、HSC/VTCS サーバーがドライブマッピングの異なる遠隔ホスト上で動作している場合は、理由 RRRRRRRR に示されるデバイスアドレスがローカルデバイス DDDD と一致しないことがあります。
 - SMC0231 メッセージはアクションメッセージであり、デバイス DDDD のマウントが保留状態でなくなるまで DOM されません。
-

SMC0232

Warning: No TAPEPLEX command processed

レベル: 4

説明: SMC サブシステムの初期化が完了しましたが、SMCPARMS または SMCCMDS データセット内に TAPEPLEX コマンドが見つかりませんでした。SMC では、MVS SSVT をスキャンしてローカルの TAPEPLEX を検出しようとします。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: SMC TAPEPLEX コマンドを使用して、ローカルの TAPEPLEX も明示的に定義することを推奨します。

SMC0233

SWAPLIMIT=NNNNNN exceeded; swap processing cancelled

レベル: 0

説明: 現在のジョブステップ volser スワップシリーズでシステムによって開始されたスワップイベントの数が、MOUNTDef SWAPLimit(nn) コマンドで指定した許容最大数を超えています。

システム動作: SMC の拡張スワップ処理は終了します。MOUNTDef SWAPAutoreply(ON) も指定されている場合、このジョブは終了します。

ユーザーの応答: なし

SMC0234

WARNING: using swap to device=CUU1 instead of SMC selected swap to device=CUU2

レベル: 0

説明: オペレータは、SMC SMC0110 拡張スワップメッセージに応答するのではなく、IBM IGF500D または IGF509D メッセージに応答しました。デバイスアドレスが SMC 拡張スワッププロセスで選択されたものと異なります。

システム動作: スワップは続行しますが、デバイスの互換性がないことがあります。

ユーザーの応答: IBM IGF500D または IGF509D メッセージではなく、SMC SMC0110 拡張スワップメッセージに応答して、もっとも互換性のあるデバイスが確実にスワップ対象デバイスとして選択されるようにします。

SMC0235

WARNING: low scratch; TAPEPLEX=TTTTTTTT subpool=SSSSSSSSSSSS
{med=MMMMMMM|med/rt=MMMMMMM/RRRRRRRR}
loc={VSM|ACS=NN|LSM=NN:NN} lbl={AL|NL|SL} vols=NNNN

レベル: 0

説明: 指定の場所にある、指定のメディア、記録方式、およびラベルタイプのサブプール SSSSSSSSSSSS にスクラッチボリュームが nnnnn 個しか残っていません。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: 指定のサブプールにスクラッチボリュームを追加します。

SMC0236

CCCCCCCC command RC exceeds MAXRC=nn at startup

レベル: 0

説明: SMC が MAXRC 起動パラメータを使用して起動され、SMC の初期化中に SMC CCCCCCCC コマンドから MAXRC の指定を超える完了コードが返されました。

システム動作: SMCPARMS および SMCCMDS データセットで指定されたコマンドの残りの部分については、処理が続行されます。ただし、SMC サブシステムの初期化は、SMCPARMS および SMCCMDS の処理が完了した時点で SMC0237 メッセージを表示して終了します。

ユーザーの応答: 指定された CCCCCCCC コマンドを修正して、SMC を再起動します。

注 – SMCPARMS および SMCCMDS データセット内のすべての SMC コマンドは、前の SMC0236 メッセージに関係なく起動時に処理されるため、起動時には複数の SMC0236 メッセージが表示されることがあります。

SMC0237

SMC terminating due to {MAXRC=nn exceeded|PLEXRC=nn exceeded|fatal error} at startup

レベル: 0

説明: SMC の起動時に致命的なエラーが検出されたか、SMC の起動時に MAXRC パラメータが指定され、SMCPARMS または SMCCMDS データセット内のあるコマンド (SMC0236 メッセージで示されたもの) でその指定された MAXRC 値が超過されたか、あるいは起動時にサブシステム自動再同期で指定された PLEXRC 値が超過されました。

システム動作: SMC サブシステムまたは SMCUSIM ユーティリティーが終了します。

ユーザーの応答: コマンドのエラーを示す SMC0236 メッセージ、コマンド文が見つからないことを示す SMC0232 または SMC0241 メッセージ、または起動時の TapePlex のステータスを示す SMC0167 メッセージが SMC ログに含まれていないか確認します。示されたコマンドを修正または挿入するか、必要な TapePlex がアクティブになっていることを確認してから、SMC を再起動するか SMCUSIM 要求を再送信します。

SMC0238

SMC subsystem CCCC not already active; RESET specified; startup continuing

レベル: 0

説明: SMC が RESET 起動パラメータを使用して起動されましたが、SMC が前回正常に停止しているようなので、RESET オプションは必要ありません。

システム動作: SMC サブシステムは初期化を続行します。

ユーザーの応答: RESET 起動パラメータを削除します。RESET 起動パラメータは、オラクルソフトウェアサポートの指示で使用するようにしてください。

SMC0240

CCCCCCCCCCCCCCCC caused all devices to be excluded

レベル: 8

説明: SMC 割り振りコンポーネントにより、ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS DD DDDDDDDD に対し、除外条件 CCCCCCCCCCCCCC が適用されましたが、現在の除外レベル EDL にはデバイスが存在しないため、このジョブは割り振りに失敗しました。

システム動作: 除外条件については、SMC 関連文献のドライブ除外レベルの表を参照してください。詳細については、メッセージ SMC0043 の説明を参照してください。

ユーザーの応答: なし。メッセージ SMC0043 を参照してください。

SMC0241

WARNING: STORMNGR entry SSSSSSSS has no SERVER(s) defined

レベル: 0

説明: SMC の起動処理中に STORMNGR コマンドが入力されました。すべてのコマンドが SMCPARMS および SMCCMDS データセットから処理されたあとで、指定の STORMNGR に、関連する SERVER 通信パスが定義されていません。

システム動作: このメッセージによって SMC の起動時にリターンコード 8 が設定され、SMCBINT プログラムのパラメータ MAXRC(014) が指定されている場合に SMC の初期化が行われない可能性があります。

ユーザーの応答: STORMNGR の定義後に、SMCCMDS または SMCPARMS データセットに SERVER 定義を追加します。

SMC0242

Cannot add STORMNGR CCC...CCC before TAPEPLEX(es)

レベル: 0

説明: STORMNGR コマンドは、TAPEPLEX コマンドのあとに入力する必要があります。

システム動作: 処理は続行されます。

ユーザーの応答: TAPEPLEX コマンドを入力してから、STORMNGR コマンドを入力します。

SMC0243

CCCCCCCC command specifies {TAPEPLEX|STORMNGR} NNNNNNNN; but NNNNNNNN is a {STORMNGR|TAPEPLEX} [at line NNNN of {SMCCMDS|SMCPARMS}]

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドの入力により、示された TapePlex または Sun Storage Manager が指定されました。しかし、名前 NNNNNNNN が記述されたエンティティのタイプではありません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: エンティティタイプを TAPEPLEX から STORMNGR (または STORMNGR から TAPEPLEX) に変更し、コマンドを再発行します。

SMC0244

METADATA command not supported for {non-UII origin|non-XML responses|command CCCC}

レベル: 0

説明: METADATA コマンドが処理されましたが、次のいずれかの理由により、有効ではありません。

- non-UII origin

そのコマンドがオペレータコンソール、あるいは SMCPARMS または SMCCMDS データセットから受信されたことを示します。METADATA コマンドは、UII インタフェース (SMCUUII または SMCUSIM ユーティリティ)、あるいは UII プログラム式インタフェースからのみ許可されています。

- non-XML responses

METADATA コマンドが UII インタフェースから発行されたが、XML 応答が要求されなかったことを示します。METADATA は XML 応答としてのみ有効です。

- command CCCC

指定されたコマンド CCCC で XML 出力が生成されないため、メタデータが使用できないことを示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: METADATA コマンドを修正します。

SMC0245

Code NNNN (X'xxxx'): SSSSSSSSSS
or
Code NNNN (X'xxxx'):
Reason: SSSSSSSS
Explanation: SSSSSSSS

説明: 理由コード NNNN または 16 進の理由コード XXXX を指定した RC 表示コマンドが処理されました。対応する理由が表示されます。DETAIL オプションを指定した場合は、理由コードの説明も表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0246

HTTP Server initapi error:

```
{TCPNAME=TTTTTTTT}{, ADSNAME=AAAAAAA}  
{ERROR=EEEEEEEE}  
{REASON=RRRRRRRR}  
SMC comm RC=nnn
```

レベル: 0

説明: SMC HTTP サーバーの初期化中にエラーが検出されました。エラー (EEEEEEEE) は TCP/IP リターンコード (ERRNO) であり、理由 (RRRRRRRR) は TCP/IP 理由コードです。

システム動作: HTTP サーバーの初期化がリターンコード 8 で終了します。MAXRC(4) が有効な場合は SMC が終了します。

ユーザーの応答: エラーを修正し、SMC HTTP サーバーコンポーネントまたは SMC を再起動します。

SMC0247

Mount failed for write-protected VTV VVVVVV on drive DDDD

レベル: 8

説明: 書き込み保護状態にある VTV を変更しようとしてしました。VTV は、VTCS 7.0 以上を実行している別の TAPEPLEX から Cross TAPEPLEX Replication を介して受信されました。VTV のデータ整合性を維持するために CTR VTV が書き込み保護状態になりました。CTR VTV を変更する試みが、障害回復テストジョブによって行われた可能性があります。

システム動作: ボリュームはマウントされません。

ユーザーの応答: このメッセージの発生は、場合によっては障害回復計画を見直して修正する必要があることを示しています。変更の可能性のある CTR VTV が災害発生時に使用されることになっていた場合、そのような VTV の状態が認識されておらず、障害回復が正常に行われない可能性があります。アプリケーションを実行する前に、既存のボリュームを変更するのではなく新しいボリュームが作成されるようにアプリケーションを変更するか、変更中のデータセットがバックアップから新しい VTV に復元されるようにアプリケーションを変更します。

SMC0248

TCP/IP is inactive; host name XXXXXXXX resolution deferred [at line NNNN of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: HOST パラメータを含む SERVER コマンドの処理時に TCP/IP がアクティブになっていなかったため、SMC はホスト名を解決できませんでした。

システム動作: SERVER コマンドは受け入れられます。TCP/IP がアクティブになると、SMC はホスト名の解決を試みます。解決に失敗した場合は、エラーメッセージが生成され、そのサーバーとの通信は二度と試みられません。解決に成功した場合、SMC はその解決された IP アドレスを使って通信を行います。

ユーザーの応答: TCP/IP を起動し、SMC がサーバーとの通信を行えるようにしてください。

SMC0249

Warning: No available ports condition detected

レベル: 0

説明: このメッセージは、SMC が TCPIP コマンドに定義された PORTRANGE 内での空きポートの検出に失敗したあと、その定義された PORTRANGE が不十分かもしれないことを示すために、定期的に発行されます。

システム動作: システムは、待機とトランザクションの再試行を何度か繰り返します。再試行がどれも成功しなかった場合は、「IP no free ports in PORTRANGE」という理由で SMC0128 メッセージが発行されます。このメッセージが発行されない場合、それは、再試行が成功して空きポートが確保されたことを意味します。

ユーザーの応答: より多くのポートを含む PORTRANGE を指定して TCPIP コマンドを発行してください。状況が変わらない場合は、StorageTek サポートに連絡してください。

SMC0250

MTP DDDD job=JJJJJJJJ volser=VVVVVV since MMM DD HH:MM:SS YYYY

レベル: 0

説明: このメッセージは、MONITOR コマンドの MISSEDMNT パラメータの設定に基づいて発行されます。MISSEDMNT がゼロ以外の値に設定されている場合、保留中でまだ完了していないすべてのマウントについて、指定された間隔でこのメッセージが生成されます。

システム動作: なし SMC マウントモニターは、可能であればマウントの再駆動を試みます。

ユーザーの応答: なし

SMC0260

TAPEPLEX|STORMNGR CCCCCCCC commpath PPPPPPPP inactive; RC=RRRR, EEEEEEEEEEE

レベル: 0

説明: SMC が指定された通信パス PPPPPPPP を使用して TAPEPLEX または STORMNGR に通信できません。PPPPPPPP はサーバー名 (ローカル) です。値 RRRR は 10 進数のリターンコードであり、変換された説明 EEEEEEEEEEE が付いています。

システム動作: このメッセージは、定義されたローカルの通信パス (SERVER) ごとに発行され、SMC が TAPEPLEX と通信できないかぎり、スクロール不可です。

ユーザーの応答: 少なくとも 1 つの通信パスに対して報告されたエラーを修正します。

SMC0261

TAPEPLEX|STORMNGR CCCCCCCC inactive; no available communication paths

レベル: 0

説明: TAPEPLEX または STORMNGR CCCCCCCC に通信パスが定義されていないか、すべてのパスが無効な状態になっています。

システム動作: TAPEPLEX または STORMNGR への通信を試みません。

ユーザーの応答: 通信パスを追加するか、既存のローカルパス (SERVER) を有効にします。

SMC0262

ROUTE waiting for TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT, SERVER=SSSSSSSS,
UII request ID=XXXXXXXXXXXXXXXX, command=CCCCCCCC

レベル:0

説明: 指定された TAPEPLEX TTTTTTTT に対して ROUTE コマンドが発行されました。ところが、20 秒以内に応答が受信されませんでした。また SMC0262 メッセージでは、この要求で使用する SERVER、割り当てられた UII 要求 ID、およびコマンド動詞も示されます。

システム動作: SMC は応答を再び待ちます。応答が受信されない場合は、10 分間隔で後続の SMC0262 メッセージが生成されます。

ユーザーの応答: なし

SMC0300

Message | Command NNNNNN Help Text:

レベル:0

説明: Help コマンドが発行されました。メッセージまたはコマンドのヘルプテキストが表示されます。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC0301

Help for XXXXXX not found

レベル:0

説明: Help コマンドが発行されました。件名 XXXXXX が見つかりません。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 有効な件名を指定して、Help コマンドを再入力します。

SMC0302

XXXXXX is an invalid range

レベル:0

説明: HELP コマンドが発行されました。件名 XXXXXX が無効な範囲です。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 有効な件名を指定して、HELP コマンドを再入力します。

SMC5001

SMC is not {active|JES3} cannot continue

説明: ユーティリティーがアクティブな SMC サブシステムを持たないシステムで送信されているか、SMCUPJS ユーティリティーは JES3 システム以外のシステムで送信されています。

システム動作: レポート処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: SMC サブシステムを起動し、ユーティリティージョブを再送信します。

SMC5002

Utility release level n.n is incompatible with SMC release n.n

説明: ユーティリティーロードモジュールとホスト上の SMC サブシステムのリリースレベルが一致していません。

システム動作: レポート処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: SMC サブシステムと同じリリースレベルを用いて、ユーティリティーを再送信します。

SMC5003

No active Tapeplexes; {unable to determine drive characteristics|unable to continue}

説明: ユーティリティーはアクティブなライブラリのないシステムで送信されているか、SMC サブシステムがまだ割り振りまたはメッセージ要求を処理していません。SMCUUUI ユーティリティーの場合、定義された HSC ライブラリがありません。

システム動作: レポート処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: ライブラリサブシステムを起動します。RESYNC コマンドを発行して、ジョブを再送信します。

SMC5004

*** WARNING: HCD esoteric not found

説明: SMCUPJS ユーティリティーにより、JES3 SETUNIT 文で定義されているエソテリックには、該当する HCD エソテリックが存在しないことが検出されました。

システム動作: レポート処理は続行されますが、リターンコード 4 が戻されます。

ユーザーの応答: 矛盾を解明し、修正します。

SMC5005

*** WARNING: HCD esoteric does not match JES3 esoteric

説明: SMCUPJS ユーティリティーにより、1 つのエソテリックに、HCD と JES3 の定義で異なるデバイスが含まれていることが検出されました。

システム動作: レポートには、HCD エソテリックに欠けている JES3 デバイス、および JES3 エソテリックに欠けている HCD デバイスが一覧表示されます。レポート処理は続行されますが、リターンコード 4 が戻されます。

ユーザーの応答: 矛盾を解明し、修正します。

SMC5006

*** WARNING: XTYPE contains inconsistent location or drive characteristics

説明: 1 つの XTYPE に属しているドライブの位置タイプ (ライブラリ内、仮想、ライブラリ外、または不明)、位置 (ACS または VTSS)、または記録方式が一致していません。

システム動作: レポート処理は続行されますが、リターンコード 4 が戻されます。

ユーザーの応答: Device to XTYPE (デバイス、XTYPE の順に表示される) レポートを再確認して、矛盾点を解明し、修正します。

SMC5007

*** WARNING: XTYPE contains unknown or MODEL(IGNORE) devices

説明: XTYPE 内の 1 つまたは複数のドライブが UNKNOWN、MODEL(IGNORE) の一方または両方になっているにもかかわらず、同じ XTYPE 内の 1 つまたは複数のドライブが NOT UNKNOWN または MODEL(IGNORE) になっています。

システム動作: レポート処理は続行されますが、リターンコード 4 が戻されます。

ユーザーの応答: XTYPE が正しく定義されていることを確認します。

SMC5008

SMCUDBX input parameter error

説明: SMCUDBX ユーティリティに対する入力 PARM でエラーが検出されました。このメッセージに続き、エラーの詳細が記述されます。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: 表示されているエラーを修正した後、ジョブを再送信します。

SMC5009

Unable to load TMS interface routine
{SLUDRCA1|SLUDRTL|SLUDRRMM|SLUDRZAR}

説明: 入力 TMS パラメータに基づき、SMCUDBX ユーティリティが対応するテープ管理アクセスルーチンのロードを試行しましたが、ロードは失敗しました。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: ご使用のテープ管理システムに対応する適切な SLUDR* ルーチンが含まれているロードライブラリが、JOBLIB、STEPLIB、または MVS LINKLIST ライブラリを介して SMCUDBX ユーティリティで利用可能であることを確認します。

SMC5010

Error opening file DDNAME DDDDDDDDD

説明: ユーティリティが DDNAME DDDDDDDDD を開けません。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: 実行 JCL を修正し、必要な DD 文を入力します。

SMC5011

Error processing ZARA interface for subsystem SSSS

説明: ユーザーがサブシステム ID CCCC を用いて ZARA テープ管理システムからの抽出を要求しました。このメッセージに続き、エラーの詳細が記述されます。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: 表示されているエラーを修正した後、ジョブを再送信します。

SMC5012

Unexpected return code XXXX from TMS interface

説明: 予期せぬ戻りコード XXXX が TMS 抽出ルーチンから戻されました。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: TMS 抽出ルーチンに対してユーザー変更を加えた場合、ルーチンを修正します。そのほかの場合、StorageTek Software Support にお問い合わせください。

SMC5013

No VLF control record found by SLUDRTLM

説明: SMCUDBX テープ管理システムとして TLMS が指定されていますが、入力ファイルに CA-DYNAM/TLMS VLF レコードが含まれていません。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: 正しい入力ファイルが DBTMS DD 文で指定されていることを確認した後、ジョブを再送信します。

SMC5014

Error reading file DDNAME DDDDDDDD [;unterminated
{comment|continuation} line detected]

説明: ユーティリティが指定のデータセットで I/O エラーまたはシステムエラーを検出しました。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、リターンコード 8 が戻されます。

ユーザーの応答: エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

SMC5015

DDNAME DDDDDDDD is required; cannot continue

説明: 指定の DD 名は入力要求に基づいている必要があります。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: 要求された DD 文を指定したあと、ジョブを再発行します。

SMC5016

Processing complete; UUI commands processed = nn, highest RC=
nn

説明: UUI 処理が完了しました。

システム動作: なし

ユーザーの応答: なし

SMC5017

Error processing program PARMS; error description

説明: ユーティリティプログラム PARM にエラーが含まれていました。

システム動作: ユーティリティ処理が終了し、戻りコード 12 が戻されます。

ユーザーの応答: エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

SMC5018

No SRMMDATA found for SMC subsystem=SSSS; cannot continue

説明: SMCUSRM ユーティリティプログラムが開始されて、SMC メディアおよび記録方式の RMCODE 値がその名前とともに表示されましたが、SRMMDATA データが SMC サブシステム SSSS によってロードされていないか、SMCUSRM ユーティリティで見つかりませんでした。

システム動作: SMCUSRM ユーティリティは終了します。

ユーザーの応答: SMC サブシステム SSSS のログを調べてエラーの原因を究明し、SMC サブシステムを再起動します。

SMC5020

CSV parsing error; [error text]

説明: UUI IN CSV コマンドに構文エラーが含まれていました。

システム動作: CSV コマンドに続く要求は処理されません。

ユーザーの応答: エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

SMC5021

UUI command bypassed due to previous CSV error

説明: 構文エラーを含む CSV コマンドのあとに UUI 要求が発生しました。

システム動作: 要求は処理されません。

ユーザーの応答: エラーを修正したあと、ジョブを再発行します。

SMC5022

CSV command ignored due to missing CSVOUT DD

説明: CSV コマンドが処理されましたが、SMCUUUI ユーティリティに対して CSVOUT DD が指定されていません。

システム動作: CSV コマンドは無視されます。後続の要求は CSV 出力なしで処理されます。

ユーザーの応答: 必要な CSVOUT DD 文を指定したあと、ジョブを再発行します。

SMC5023

MMMMMMMM not executing from authorized library; cannot continue

説明: SMC ユーティリティモジュール MMMMMMMM は APF ライブラリ以外から実行されましたが、APF 許可を要求します。

システム動作: プログラムの実行が終了します。

ユーザーの応答: SMC リンクライブラリが APF によって承認されていることを確認します。

SMC5024

TEXTOUT command ignored due to missing TEXTOUT DD

説明: TEXTOUT コマンドが処理されましたが、SMCUUUI または SMCUSIM ユーティリティに対して TEXTOUT DD が指定されていません。

システム動作: TEXTOUT コマンドは無視されます。後続の要求は TEXTOUT 出力なしで処理されます。

ユーザーの応答: TEXTOUT DD 文を指定して、ジョブを再発行します。

SMC5025

CCCCCCCC command not allowed from UUUUUUUU utility

説明: 共通の UUI 解析プログラムが SMCUUUI と SMCUSIM の両方のユーティリティに含まれています。しかし、SMCUSIM では SMC UUI コマンドだけが使用でき、HSC または VTCS UUI コマンドは使用できないため、一部の UUI 制御文および

コマンドが SMCUSIM 環境で許可されません。たとえば、SMCUSIM ユーティリティーでは、PLEXDEST UII 制御文を使用して別の TapePlex を選択することはできません。

システム動作: コマンドは処理されません。

ユーザーの応答: ユーティリティーの入力を修正して、ジョブを再発行します。

SMC5026

Request not processed; no valid output type

説明: 出力タイプに CSV のみが指定された UII 要求が受信されましたが、機能コマンドの処理時に現在の CSV 定義がありませんでした。

システム動作: コマンドは処理されません。CSV 文が見つかった場合は、後続のコマンドが処理されます。

ユーザーの応答: UII の入力を修正して、ジョブを再発行します。

第4章

HSC コード

この章では、HSC によって出力される、次の各コードについて説明します。

- [HSC リターンコード](#)
- [HSC 異常終了理由コード](#)
- [HSC メッセージの経路コードおよび記述子コード](#)

HSC リターンコード

次の各一覧表は、各種 HSC リターンコードとその説明です。リターンコードは、発行モジュール、コンポーネント、またはユーティリティ別にグループ分けしてあります。

HSC オペレータコマンドのリターンコード

表 4-1 HSC オペレータコマンドのリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X '0000'	ORCOK	OK リターンコード
X '000A'	ORCNOSSI	SMF SSI モジュールがロードされていません
X '0004'	ORCMORE	さらに処理が必要です
X '000B'	ORCNOSLT	SSVTにスロットがありません
X '000C'	ORCNOCMD	コマンド SSI モジュールがロードされていません
X '000D'	ORCABEND	オペレータコマンドルーチンが異常終了しました。 SDUMP が取られました
X '000E'	ORCFORCE	オペレータコマンドコンポーネントがWMSG031D への 応答「TERM」で強制終了しました
X '000F'	ORCXCLSV	同時には指定できないパラメータが指定されました

HSC 初期設定または終了のリターンコード

表 4-2 HSC 初期設定または終了のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	BRCOK	操作がエラーなしで行われました
X'0004'	BRC4	リターンコード 4(致命的エラーではありません)
X'0008'	BRC8	操作でエラーが発生しました
X'0012'	BRC12	SLSBCITP 初期設定モジュールが失敗しました
X'0016'	BRC16	初期設定または終了モジュールがロードされていません
X'0508'	BRCFLOAD	いずれかの初期設定モジュールのロードエラーです
X'0509'	BRCFMODL	呼び出されたモジュールが不正なリターンコードを返しました

HSC マウントまたはマウント解除のリターンコード

表 4-3 HSC マウントまたはマウント解除のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	MRCOK	正しいリターンコードです
X'0704'	MRCSTOP	処理が停止されます
X'0708'	MRCNOACS	ローカル HCTが見つかりません (SLSMINIT)
X'070C'	MRCNOHCT	ACS エントリが見つかりません (SLSMINIT)
X'0710'	MRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'0714'	MRCRETRY	再試行
X'0718'	MRCRVFWC	間違ったセル内のボリュームを回復します
X'071C'	MRCRVFCC	ボリューム CAP セルを回復します
X'0720'	MRCVAS	ボリュームはすでに選択されています
X'0724'	MRCVNE	ボリュームがエラントではありません
X'0728'	MRCERSEL	ボリュームがエラントで、選択されています
X'072C'	MRCRTRYI	非互換のスクラッチマウントを再試行します
X'0730'	MRCUSE	制限を超えたクリーナーを使用しています
X'0734'	MRCEJECT	イジェクト応答
X'0738'	MRCKEEP	保持応答
X'073C'	MRCFSPNT	ドライブが使用済みクリーニングカートリッジのロードに失敗しました
X'0740'	MRCRTNVL	マウント解除時にLMU volserが一致しません
X'0744'	MRCLSMOF	LSMがオフラインです
X'0748'	MRCACSOE	ACSが切断されています
X'074C'	MRCVNOD	マウント解除するボリュームがドライブに存在しません
X'0750'	MRCDRVLD	ドライブのセル走査がロードされたことを表示しています
X'0754'	MRCLMUER	セル走査で LMU エラーが返されました
X'0758'	MRCVERNT	ボリュームがエラントです
X'075C'	MRCVTCSN	仮想マウントです - VTCSがアクティブではありません

HSC ユーティリティーのリターンコード

表 4-4 HSC ユーティリティーのリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	URCOK	正しいリターンコードです
X'1501'	URCUACT	ALS 終了処理時にユーティリティー機能がアクティブになっています
X'1502'	URCSCU	スクラッチ更新を処理中です
X'1503'	URCSRD	スクラッチ再分配を処理中です
X'1504'	URCAUD	AUDIT ユーティリティーを処理中です
X'1505'	URCTRM	ユーティリティーを終了中です
X'1506'	URCSUB	サブシステムがアクティブではありません
X'1507'	URCDSFAL	データスペースのRECONFIGが失敗しました
X'1508'	URCDSTRM	データスペースのRECONFIGが終了しました
X'1509'	URCDVARF	データスペースのRECONFIGのDVARがいっぱい です
X'150A'	URCDSFMM	データスペースのRECONFIGのサブファイルレ コード番号と CDSDEF および RECDEFが不一致 です
X'150B'	URCDSNNW	データスペースのRECONFIGのRECDEFがありま せん

表 4-5 AUDIT ユーティリティのリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	URCAOK	正しいリターンコードです
X'2001'	URCADUP	重複が見つかりました
X'2002'	URCAADD	ボリュームが追加されました
X'2003'	URCACHG	ボリュームが更新されました
X'2004'	URCASEL	ボリュームが選択されています(使用不能)
X'2005'	URCAEJE	カートリッジのイジェクトが失敗しました
X'2006'	URCABGNC	CAP を獲得できませんでした
X'2007'	URCAMED	ボリュームまたはMEDIAが不一致です
X'2008'	URCAUMED	MEDIAが読み取り不能です - 既存のテープ
X'2009'	URCAMEDE	MEDIAが読み取れません - 新規のテープ
X'2010'	URCAMEJE	カートリッジのイジェクトに失敗しました - MEDIA
X'2011'	URCAVOLR	ボリュームが読み取れなくなりました
X'2050'	URCETRM	ASCOMMによって、早期終了が通知されました
X'2098'	URCALER	LMUまたはLSM エラーが起きました
X'2099'	URCAIOE	I/Oエラーが検出されました

HSC CAP 処理のリターンコード

表 4-6 HSC CAP 処理のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	CRCOK	CAPがエラーなしで要求を終了させました
X'2504'	CRCLSM	LSMidが無効です
X'2508'	CRCLSMOF	LSMが手動モードです(オフライン)
X'250C'	CRCATHS	IATHSidが無効です
X'2510'	CRCATHOF	ACSが切断されています (オフライン)
X'2514'	CRCBSYCP	指定のCAPは使用中です
X'2518'	CRCBADCP	CAP ACS とボリューム、セルまたはドライブ ACS が一致していません
X'251C'	CRCRLSCP	CAPが解放されています
X'2520'	CRCIDLCP	CAPが使用されていません
X'2524'	CRCNOCAP	使用可能な (優先順位が 0 よりも大きい) CAP が ありません
X'2528'	CRCLMUER	LMU 要求が失敗しました
X'252C'	CRCVBSY	VOLSERがすでに選択されています
X'2530'	CRCVDUP	要求されたボリュームシリアル番号が重複して います
X'2534'	CRCERRNT	カートリッジがエラントです
X'2538'	CRCOPRAB	オペレータが処理を中止しました
X'253C'	CRCVRCER	ボリュームまたはセル制御エラーです
X'2540'	CRCNOSPC	ACSに使用可能なセルがありません
X'2544'	CRCDR CER	データベースサーバーエラーです
X'2548'	CRCFR CER	構成制御エラーです
X'254A'	CRCRECER	エラントボリュームの回復エラーです
X'2550'	CRCINVFN	要求された CAP 機能が無効です
X'2554'	CRCMTCAP	CAPを空にするようオペレータに要求します
X'254C'	CRCLNOCP	LSMがCAPを制御しません
X'2558'	CRCVOL	volserが無効です
X'2560'	CRCNOVOL	CAP ドアが、ボリュームのない状態で閉められ ました

表 4-6 HSC CAP 処理のリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'2564'	CRCCAPOF	CAP LSMがオフラインになっています
X'2566'	CRCCOFFP	CAPがオフライン保留になっています
X'256C'	CRCOPRRT	オペレータが要求を再試行しました
X'2570'	CRCNCNCL	要求を取り消すことができません
X'2574'	CRCTFULL	ターゲットがいっぱいです
X'2578'	CRCABEND	CAPの異常終了 - ソフトウェア障害です
X'257C'	CRCOPRDE	オペレータがボリュームを削除しました
X'2584'	CRCLSMPO	LSMの経路がオフラインです
X'2588'	CRCAUTER	非特定要求で AUTOが指定されました
X'258C'	CRCCAPER	4410にゼロ以外のCAPが指定されました
X'2590'	CRCCAUTO	CAPがAUTO モードです
X'2594'	CRCSTTER	CCAPDS と CDS 間の状況エラーです
X'2598'	CRCINVID	CAPidが無効です
X'25A0'	CRCNAUTO	CAP AUTO サービスが使用できません
X'25A4'	CRCPRFNA	このCAPに対する CAP Prefが不正です
X'25A8'	CRCANCEL	Cancel コマンドを受け取りました (x22)
X'25AC'	CRCNOACT	指定された CAP をアクティブにできませんでした。CAP
X'25B0'	CRCSTAT	すでになっている状態に CAP を変更しようとした (CAP がすでにオンになっている場合に F CAP ON)
X'25B4'	CRCAMBIG	ACS と LSMが別々にCAP を識別しません
X'25B8'	CRCRECVR	CAPが回復処理中です
X'25BC'	CRCNOTAC	メディアがドライブと非互換です
X'25C0'	CRCVREAD	LS エンター時の無効 VOLSER
X'25C4'	CRCACDNY	ユーザー出口 14により、アクセスが拒否されました
X'25C8'	CRCURMED	読み取り不可能なメディア (? が LMU から返された)
X'25CE'	CRCCAPNO	CAP が動作不能です
X'25D0'	CRCCUNAL	CAP が割り振られていません

HSC ボリュームまたはセルのリターンコード

表 4-7 HSC ボリュームまたはセルのリターンコード – パラメータリストなし

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	VR15GOOD	レジスター 15は正しいリターンコードを示します
X'40F1'	VR15BAD	レジスター 15はエラー戻りを示します
X'40F2'	VR15ACTV	レジスター 15は終了時にアクティブなVATが存在することを示します
X'40F3'	VR15NOTF	レジスター 15はVAT 待ち行列にない VATが存在することを示します
X'40F4'	VR15NOTO	レジスター 15は所有されていない VATが存在することを示します
X'40F5'	VR15SPE1	レジスター 15は無効な番号のサブプール項目が存在することを示します
X'40F6'	VR15SPE2	レジスター 15は無効な番号または順序のサブプールが存在することを示します
X'40F7'	VR15SPE3	レジスター 15は無効なサブプール項目範囲が存在することを示します
X'40F8'	VR15SPE4	レジスター 15は無効なラベルタイプが存在することを示します
X'40F9'	VR15SPE5	レジスター 15はすでに定義されているサブプールが存在することを示します
X'40FA'	VR15SPE6	レジスター 15は順序外にサブプールが存在することを示します
X'4100'	VR15ATFL	ATTACH SLSVSKCHKが失敗しました
X'4104'	VR15DOWL	VCAMのレベルが低いことを示します
X'4108'	VR15IOER	VCAMの処理中にI/Oエラーがありました

表 4-8 HSC ボリュームまたはセルのリターンコード - パラメータリスト付き

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	VRCOK	機能は正常に実行されました
X'4001'	VRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'4002'	VRCVAS	ボリュームがすでに選択されています
X'4003'	VRCOVER	ボリュームがエラントです
X'4004'	VRCVNS	ボリュームが選択されていません
X'4005'	VRCVNO	VATが呼び出し元によって所有されていません
X'4006'	VRCRNO	VARがシステムによって所有されていません
X'4007'	VRCIVC	不当なVARの変更が行われました
X'4008'	VRCVSC	ボリュームがすでにスクラッチになっています
X'4009'	VRCLNC	位置がセル内にありません
X'4010'	VRCVDP	ボリュームが重複しています
X'4011'	VRCNSC	スクラッチボリュームがありません
X'4012'	VRCAIP	監査処理中です
X'4013'	VRCNCA	使用可能なセルがありません
X'4014'	VRCCIN	セル ID を割り振れません
X'4015'	VRCCAF	セルがすでに解放されています
X'4016'	VRCILI	LSMidが無効です
X'4017'	VRCICI	セル IDが無効です
X'4018'	VRCVNE	ボリュームはエラントではありません
X'4019'	VRCIPI	パネルインデックスが無効です
X'401A'	VRCBAL	空きセルの数が不均衡です
X'4020'	VRCCVL	セルにボリュームがあります
X'4021'	VRCCNV	セルにボリュームがありません
X'4022'	VRCTRM	セル走査が終了しました
X'4023'	VRCIET	エラントレコードが無効です
X'4024'	VRCISP	スクラッチサブプールインデックスが無効です
X'4025'	VRCILB	ラベルタイプが無効です

表 4-8 HSC ボリュームまたはセルのリターンコード - パラメータリスト付き (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'4026'	VRCLWS	ラベルにサブプール修飾子がありません
X'4027'	VRCNCL	クリーニングカートリッジがありません
X'4028'	VRCSCL	スクラッチクリーナーに不当な試みが行われました
X'4029'	VRNCNM	通信を行うことができません
X'4030'	VRNSV	スクラッチボリュームではありません
X'4031'	VRCSAE	エラント回復によってボリュームが選択されました
X'4032'	VRCNAP	スクラッチ選択として承認されません
X'4033'	VRCABT	スクラッチ選択を中止します
X'4034'	VRCMVC	VSM MVCのスクラッチは不正です
X'4037'	VRCDRTST	DRテストによってスクラッチ要求が妨げられます
X'4038'	VRCIVI	ボールト ID が無効です
X'4039'	VRNSA	使用可能なスロットがありません
X'4040'	VRCIVLTN	ボールト名が無効です
X'4041'	VRCISI	スロット ID が無効です
X'4042'	VRCSIN	スロットを割り振れません
X'4043'	VRCSAF	スロットがすでに解放されています
X'4044'	VRCSNA	スロットが割り振られていません
X'4045'	VRCSAL	スロットが割り振られました
X'4046'	VRCSOR	範囲外のスロットです
X'4098'	VRCIOS	データベースのI/Oエラーです(ボリュームは選択されています)
X'4099'	VRCIOE	データベースのI/Oエラーです
X'4101'	VRCVIOE	VOLP カードイメージサブファイルの読み取り中に I/O エラーが発生しました

HSC 構成のリターンコード

表 4-9 HSC 構成のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	FRCOKEY	機能は正常に完了しました
X'0004'	FRCMORE	さらにデータがあります (FIGMGR LOOP=Y)
X'4502'	FRCIPLST	Plistが不正です
X'4504'	FRCD BIO	データベースの読み書きエラーです
X'4508'	FRCNHOST	HCT 内に一致する HOST IDがありません
X'450C'	FRCLTIV	ILLTが無効か、またはサポートされていません
X'4510'	FRCCPOOL	セルプールに使用可能な記憶域がありません
X'0000'	FRCSACT	サブシステムがアクティブです
X'4512'	FRCSIAT	サブシステムが非アクティブです
X'0000'	FRCAACT	ACSが接続されています
X'4514'	FRCAIAT	ACSが切断されています
X'0000'	FRCLACT	LSMが自動モードです
X'4516'	FRCLIAT	LSMが手動モードです
X'4518'	FRCCIAT	CAPがアクティブではありません
X'451A'	FRCCMANL	CAPが手動モードです
X'451C'	FRCCACT	CAPがアイドル状態になっていません
X'451D'	FRCCOFF	CAPがオフラインになっています
X'451E'	FRCCLEAN	ドライブのクリーニングが必要です
X'4520'	FRCALFLG	ドライブにはすでにフラグが付けられています
X'4522'	FRCAINV	ACSの識別子が無効です
X'4524'	FRCLINV	LSMの識別子が無効です
X'4526'	FRCCINV	CAPの識別子が無効です
X'4528'	FRCUINV	デバイスアドレスが無効です
X'452C'	FRCDINV	ドライブの識別子が無効です
X'452E'	FRCMINV	LSMのモードが無効です
X'452F'	FRCMAIV	ACSのモードが無効です
X'4530'	FRCLKIV	ロック トークンモードが無効です

表 4-9 HSC 構成のリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'4532'	FRCALOK	LSM ロックが使用不能です
X'4534'	FRCNLOK	LSMが前もってロックされていません
X'4536'	FRCRECFD	待ち行列レコードが見つかりました
X'453A'	FRCITOKN	トークンが正しくありません
X'453C'	FRCIDATA	データが無効です
X'453E'	FRCTNFND	データタイプが見つかりません
X'4542'	FRCRCAP	CAP を解放できませんでした
X'4544'	FRCNCAP	使用可能なCAPがありません
X'4546'	FRCHCAP	CAPがこのホストによって所有されていません
X'4548'	FRCACAP	CAP を活動化できませんでした
X'4550'	FRCABNR	CAPが活動化されましたが、回復が必要です
X'4552'	FRCNUCB	このホストで生成された UCBがありません
X'4554'	FRCNATT	SLSFLSMC を接続できませんでした
X'4556'	FRCNMODE	要求されたのは、このFIGMGR モードではありません
X'455A'	FRCPANIV	パネルが無効です
X'455C'	FRCROWIV	行が無効です
X'455E'	FRCCOLIV	列が無効です
X'4560'	FRCLMUC	LMU 構成の読み取りエラーです
X'4562'	FRCNFER	構成の一致エラーです
X'4564'	FRCNBRD	ホスト間ブロードキャストエラーです
X'4566'	FRCLMUL	LMU エラーにより LSMステイタスを変更されました
X'4568'	FRCNRLS	データベース解放が失敗しました
X'456A'	FRCVRYFL	LMURQST ステーション構成変更が失敗しました
X'456B'	FRCNRSRV	CDS 上に予約がありません
X'456C'	FRCNRECF	レコードが見つかりません
X'456D'	FRCSELECT	レコードがすでに選択されています
X'456E'	FRCNAREA	構成変更後の出力用スペースが不十分です

表 4-9 HSC 構成のリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'456F'	FRCLOGIC	構成マネージャーエラーです
X'4570'	FRCNFTW	ACSには9740 LSMが含まれています
X'4571'	FRCNF20	LSMには20 ドライブのパネルがあります
X'4572'	FRCDRVNM	CDS とメモリー内のドライブの不一致です
X'4573'	FRCDRVTY	ドライブタイプが変更されました

HSC LMU サーバーのリターンコード

表 4-10 HSC LMU サーバーのリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	LMUOKAY	機能が正常に終了しました
X'6500'	LMUESINV	移動元が無効です
X'6501'	LMUESEMP	移動元が空です
X'6502'	LMUESVNM	移動元のボリュームシリアル番号が一致しません
X'6503'	LMUESVNR	移動元のボリュームシリアル番号が読み取り不能です
X'6504'	LMUESUVL	予期しないボリュームシリアル番号が移動元にあります
X'6505'	LMUETINV	宛先が無効です
X'6506'	LMUETFUL	宛先がいっぱいです
X'6507'	LMUESTNA	移動元と宛先が同じ ATHS ではありません
X'6508'	LMUESTNL	移動元と宛先が同じ LSM ではありません
X'6509'	LMUESTNS	移動元と宛先が同じタイプではありません
X'6510'	LMUENPTP	xfer に使用できるパススルーポートがありません
X'6511'	LMUENLMU	LMU がオンラインになっていません
X'6512'	LMUELLMU	LMU との通信が失われました
X'6513'	LMUEMIHX	未着割り込みハンドラによって取り消されました
X'6514'	LMUELSME	LSM のハードウェアエラーです
X'6515'	LMUELMUE	LMU のハードウェアエラーです
X'6516'	LMUECMNT	CAP が保守モードにあります
X'6517'	LMUECDOP	CAP のドアが開いています
X'6518'	LMUEENTP	エンター要求が保留になっています
X'6519'	LMUEEJTP	イジェクト要求が保留になっています
X'6520'	LMUECCTP	CAP カタログが保留になっています
X'6521'	LMUEDLDE	ドライブロードエラーです
X'6522'	LMUEDULE	ドライブアンロードエラーです
X'6523'	LMUEDALC	ドライブ割り振りエラーです
X'6524'	LMUECRST	このホストにすでに CAP が予約されています

表 4-10 HSC LMU サーバーのリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'6525'	LMUECRSO	CAPがホストに予約されています
X'6526'	LMUECNRT	CAPがこのホストに予約されていません
X'6527'	LMUEMPND	CAP との間の移動が保留になっています
X'6528'	LMUEDEAD	LMUが停止しています
X'6529'	LMUEIOPT	無効なオプションフラグが指定されました
X'652A'	LMUECRHG	CAPがそのほかのホストグループに予約されています
X'6530'	LMUEIOPC	オプションコードが無効です
X'6531'	LMUESTBY	ステーションがスタンバイになっています
X'6532'	LMUEVUXR	VOLSERが突然読み取り可能になりました
X'6533'	LMUEECBI	ECB パラメータが無効です
X'6534'	LMUEEC2I	ECB2 パラメータが無効です
X'6535'	LMUEVTMI	VIEW 時間が無効です
X'6536'	LMUEBVOB	不良 VIEW オブジェクトがあります
X'6537'	LMUEDDSV	デバイスは VIEW をサポートしません
X'6538'	LMUECMPT	互換性レベル機能の不一致です
X'6540'	LMUESTNF	初期設定用のステーションが見つかりません
X'6541'	LMUELAF	LMU リスナーの接続に失敗しました
X'6542'	LMUETAF	LMU タイマーの接続に失敗しました
X'6543'	LMUEDAF	LMU ドライバの接続に失敗しました
X'6544'	LMUESAF	LMU ステーションシミュレーターの接続に失敗しました
X'6545'	LMUELSAF	LMU シミュレーターの接続に失敗しました
X'6546'	LMUEWAF	LMU ワーカーの接続に失敗しました
X'6547'	LMUEMNS	HSCにLMU レベルがサポートされていません
X'6548'	LMUENHCT	LVTにHCT アドレスがありません
X'6549'	LMUEORIP	オフライン要求はすでに進行中です
X'6550'	LMUENOFF	ステーションがオフラインになっていません
X'6551'	LMUENONL	ステーションがオンラインになっていません

表 4-10 HSC LMU サーバーのリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'6552'	LMUELDNE	LMUが存在しません
X'6553'	LMUENSTA	ステーションが存在しません
X'6554'	LMUENSPN	移動元と宛先が同じパネルにありません
X'6555'	LMUESOFF	ステーションがオフラインになっています
X'6558'	LMUEINVF	機能が正しくありません
X'6568'	LMUENMSG	ブロードキャストメッセージがありません
X'6574'	LMUEICIV	VOLSERに無効な文字があります
X'6575'	LMUEICIM	メッセージに無効な文字があります
X'6578'	LMUENSEQ	ステーションをオンラインに変更する際の通し番号がありません
X'6579'	LMUEVSTO	ステーションに対するオンライン構成変更がタイムアウトになりました
X'657B'	LMUEVACC	強制的にオフラインにされ、要求が取り消されました
X'657C'	LMUENVST	要求によってオンラインに変更されたステーションが見つかりません
X'657D'	LMUEBCON	TCPまたはIPの接続が失敗しました
X'6582'	LMUEMFAC	カートリッジに対して操作が行われました
X'6584'	LMUEIBID	ブロードキャスト IDが無効です
X'6586'	LMUEDNRW	ドライブが巻き戻されていません
X'6590'	LMUEUAST	ステーションを割り振れません
X'6591'	LMUEOFST	ステーションのオープンに失敗しました
X'6592'	LMUELSMO	LSMがオフラインです
X'6593'	LMUESHPF	ホスト経路グループ設定が失敗しました
X'6595'	LMUEEOTR	エンター操作が終了しました
X'6596'	LMUERDNW	解放が作動しませんでした
X'6598'	LMUEINVR	LMU から受け取った応答が無効です
X'65A0'	LMUELON	LSMがオンラインです
X'65A1'	LMUELPON	LSMがオンライン保留になっています
X'65A2'	LMUELPOF	LSMがオフライン保留になっています

表 4-10 HSC LMU サーバーのリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'65A3'	LMUELNON	LSMが作動不能です
X'65A4'	LMUELNOF	LSMがオフラインになっていません
X'65A5'	LMUELMM	LSMが保守モードです
X'65A6'	LMUEIOE	LSMのI/Oエラーです
X'65A7'	LMUECINV	取消要求が無効です
X'65A8'	LMUEKILD	要求が取り消されました
X'65A9'	LMUECRNA	取り消される要求がアクティブではありません
X'65AA'	LMUECLAT	指定した要求を取り消すのが遅すぎました
X'65AB'	LMUEFOFF	LSMがオフラインに強制変更されました
X'65AC'	LMUESMMC	メディアが一致しません
X'65AD'	LMUESMVM	メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
X'65AE'	LMUESIMD	非互換のメディアまたはドライブです
X'65AF'	LMUEMMAG	CAP マガジンが欠落しています
X'65B0'	LMUERQBE	すべての要求待ち行列項目に対応するのにバッファの大きさが十分ではありません
X'65B1'	LMUERQBR	qcount、rqueuesの要求にはバッファが必要です
X'65B2'	LMUEMNTO	保守ドアが開いています
X'65E0'	LMUEAUTO	自動操作が完了しました
X'65F1'	LMUETERM	サーバーが終了処理中です
X'65FF'	LMUEPRGD	要求が除去されました

HSC データベースサーバーのリターンコード

表 4-11 HSC データベースサーバーの戻りコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	DRCOK	操作はエラーなしで行われました
X'7004'	DRCPRMER	データベースに永続的なI/Oエラーがあります
X'7008'	DRCNODDN	ファイルのDDNAME 文がありません
X'700C'	DRCRNF	レコードが見つかりません
X'7010'	DRCLOGIC	論理エラーです - パラメータが無効です
X'7014'	DRCNTRSV	このタスクまたはこのタスクの親タスクのいずれによってもデータベースが予約されていません
X'7020'	DRCRTCNQ	CDS コピーが技法に合いません
X'7024'	DRCHACT	ホストがアクティブになっています
X'7028'	DRCHQIS	ホストが非アクティブになっています
X'702C'	DRCHNON	ホストが存在しません
X'7030'	DRCINOB	ITT ブロックがありません
X'7034'	DRCSHIO	訂正不能のCDSのI/Oエラーです
X'7038'	DRCRETIO	I/O経路が切断されました
X'703C'	DRCENBAD	DEERE からの不良 ENABLE です
X'7040'	DRCBDEYE	レコード内の目印が無効です
X'7044'	DRCHRCVH	このホストは回復されています
X'704C'	DRCABEND	ユーザー出口が異常終了しました
X'7050'	DRCALLOC	動的割り振りに失敗しました
X'7054'	DRCOPNER	オープンエラーです
X'7058'	DRCATTCH	DIOM 接続に失敗しました
X'705C'	DRCPARME	PARMLIB 項目にエラーが見つかりました
X'7060'	DRCNVS	名前付き変数サービスのエラーです
X'7064'	DRCUNALO	データベースが割り振り解除されています
X'7068'	DRCERROR	データベースがエラー状況にあります
X'7078'	DRCLNMM	長さが不一致です
X'707C'	DRCFMMM	予約

表 4-11 HSC データベースサーバーの戻りコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'7080'	DRCEOSF	サブファイルの終わりです
X'7084'	DRCSFNF	サブファイルが見つかりません
X'7088'	DRCINVLN	RECLN < 1 または > 4000
X'708C'	DRCDSTUR	すべてのCDS コピーに問題があります
X'7090'	DRCDMLT	CDS コピーが単一のCDS からのものではありません
X'7094'	DRCNRDIR	SLSDRDIRがディレクトリを再作成できませんでした
X'7098'	DRCFCORR	破壊が見つかりました。読み取りを再試行します。
X'709C'	DRCFSHSQ	シャドウ手順が同期していません
X'70A0'	DRCHSTIC	起動時に非互換のホストが見つかりました
X'70A4'	DRCRDEOF	ブロック読み取りがCDS 内にありません
X'70A8'	DRCNCBAD	新しい CDS は使用不可のデータセットです
X'70AC'	DRCNCSIZ	新しいCDSに十分なサイズがありません
X'70B0'	DRCNCIOE	新しいCDSの初期化中にI/Oエラーが発生しました
X'70B4'	DRCDXSI	CDSの現在のサイズは変更されていません。
X'7400'	DRCDUPL	レコードの追加時に重複レコードが見つかりました
C'E'	DRCENA	使用許可切り替えが始まりました
C'D'	DRCDISA	使用禁止切り替えが始まりました

HSC アドレス空間通信のリターンコード

表 4-12 HSC アドレス空間通信のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	ORCOK	機能が完了しました
X'8004'	QRCNOALS	ALSがアクティブになっていません
X'800C'	QRCINVFC	ファンクションコードが無効です
X'8010'	QRCNOLVT	PC ルーチンがLVT を見つけられませんでした
X'8014'	QRCQNOA	ASCOMMがアクティブになっていません
X'8018'	QRCINVOP	QUAB オプションが無効です
X'801C'	QRCINVTK	トークンが無効です
X'8020'	QRCEDTIS	終了専用タスクが出されました
X'8024'	QRCTABND	ASCOMM サーバータスクが異常終了しました
X'8028'	QRCXDPER	DATA またはRSP 内のXDPLST オフセットが不正です
X'8078'	QRCGMFAL	CSA へのGETMAIN 要求が失敗しました

表 4-13 HSC アドレス空間通信のファンクションコード

リターンコード値	名前	説明
1	QFCXUSER	HSC ユーザーインタフェース要求
2	QFCUNSEL	選択解除
3	QFCSVARS	名前付き変数サービス
4	QFCSVXIQ	VOLまたはCELL 照会サブプールサービス
5	QFCSVXST	ボリュームまたはセル設定スクラッチ限界値
9	QFCSLCD	ロード、呼び出しまたは削除サービス
12	QFCUINCT	カートリッジの初期設定
21	QFCUCFGR	MVS/CSC 構成の検証
24	QFCUEJCT	カートリッジイジェクト
35	QFCUAUDT	AUDIT
36	QFCUSCUP	スクラッチ更新
48	QFCXTLMS	VM テープ管理インタフェース

表 4-13 HSC アドレス空間通信のファンクションコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
49	QFCUENTR	エンターユーティリティーサーバー
64	QFCUMERG	CDS マージ
68	QFCUVOLR	ボリュームレポート
70	QFCUSCRD	スクラッチ再分配
80	QFCUMOVE	カートリッジの移動
124	QFCTOCMD	オペレータコマンド
127	QFCAVLKP	割り振りボリューム検索
130	QFCJVLKP	ジョブ処理ボリューム検索
131	QFCJTLKP	ジョブ処理テープ要求検索
132	QFCJDLKP	ジョブ処理ドライブ検索
134	QFCMRQST	マウントまたはマウント解除要求
135	QFCMEJW	マウントまたはマウント解除イジェクトウエーター
140	QFCEVLKP	JES3 ボリューム検索
150	QFCFMGR	構成マネージャー
151	QFCMVPST	マウント探索および通知
152	QFCSTRAC	メモリー間 SLSTRACE
160	QFCSTSR	VTCS QUIM サーバー要求ハンドラ

HSC 回復のリターンコード

表 4-14 回復の戻りコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	RRCOK	正しいリターンコードです
X'8504'	RRCCINIT	初期設定が中止されます
X'8508'	RRCVOLER	ボリュームがエラントです
X'850C'	RRCHOACT	ホストがアクティブになっています
X'8510'	RRCNOITT	ホスト回復のためのITT レコードがありません
X'8514'	RRCACHDI	ACSが切断されています
X'8518'	RRCLSMOF	LSMがオフラインです
X'851C'	RRCVOLDE	ボリュームが存在しません
X'8520'	RRCDBERR	データベースエラーです
X'8524'	RRCNOCAP	使用可能なCAPがありません
X'8528'	RRCSHTDO	サブシステムが終了しつつあります
X'852C'	RRCABEND	SLS ABEND を受け取りました。上位 2 バイトには、異常終了時のR15の下位 2 バイト (理由コード)が入ります
X'8530'	RRCBHOST	ホスト IDが無効です
X'8534'	RRCVOLNE	ボリュームはエラントではありません
X'8538'	RRCVOLUN	ボリュームを選択解除する必要があります
X'8540'	RRCHRCAC	ホスト回復がすでに進行中です
X'8544'	RRCLMUER	LMU エラーです
X'8548'	RRSELERR	エラントボリューム回復によって選択されました
X'854C'	RRCVOLME	ドライブでボリュームをマウントしエラントにします
X'85FC'	RRCMVSAB	MVS ABEND を受け取りました - 上位 2 バイトには異常終了フラグビットとシステム完了コードが入ります
X'8550'	RRCDRVLD	ドライブはロードされましたが、メッセージの要求がありません
X'8554'	RRCVLMSM	強制巻き戻し後のボリュームが間違っています

HSC サービスコンポーネントのリターンコード

表 4-15 サービスコンポーネントの戻りコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	SRCOK	サービスが正常に完了しました
X'0004'	SRCMORE	さらに処理が必要です
X'9000'	SEIDPGMI	PGMIまたはTMI 移動タイプ要求
X'9001'	SRCVRNF	ボリュームがCDS 内にありません
X'9002'	SRCCRNF	セルが格納セルではありません
X'9003'	SRCSEERR	FROM ボリュームが選択できませんでした
X'9004'	SRCACSI	ACS IDが無効です
X'9005'	SRCACSD	ACS IDが切断されています
X'9006'	SRCINVL	LSM IDが無効です
X'9007'	SRCLMOF	LSM IDがオフラインになっています
X'9008'	SRCLMUE	LMU エラーです
X'9009'	SRCNCEL	サービスに使用できるセルがありません
X'9010'	SRCNLMS	サービスに使用できる LSMがありません
X'9011'	SRCAUDA	対立するAUDITユーティリティがアクティブになっています
X'9012'	SRCAREC	LSM xの監査を行ってください
X'9013'	SRCNMAT	ボリュームが位置に一致しません
X'9014'	SRCEXUR	外部ラベルを読み取れません
X'9015'	SRCCEMY	セルが空です
X'9016'	SRCTPCF	「宛先」 パネルが移動元パネルと対立します
X'9017'	SRCTLOF	「宛先」 LSM がオフラインになっています
X'9018'	SRCSTUC	カートリッジがスタックしています
X'9019'	SRCLOFF	LMURQST LSM オフライン標識 VAR
X'901A'	SRCVRAC	指定された ACS 内でボリュームが見つかりません
X'901B'	SRCNSUBS	HSC サブシステムがアクティブではありません
X'901C'	SRCESNES	ESTAEが設定されていません
X'901D'	SRC SABND	サービスが異常終了しました

表 4-15 サービスコンポーネントの戻りコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'9020'	SRCBDVL	VALUELに指定された長さが短すぎて値を入れられません
X'9021'	SRCNOMA	指定された NAMEに一致するものが見つかりませんでした
X'9030'	SRCSACIL	INLENに指定された長が無効です
X'9031'	SRCSACOL	OUTLENに指定された長が無効です
X'9032'	SRCSACTB	指定の累積テーブルに一致するものが見つかりませんでした
X'9033'	SRCSACEL	無効な要素が見つかりました
X'9034'	SRCSACPL	無効なパラメータリストが見つかりました
X'9035'	SRCSACDT	無効なデータタイプが見つかりました
X'9036'	SRCSACER	SLSSACCMの論理エラーです
X'9040'	SRCMINL	最小値として指定された長さが適切ではありません
X'9041'	SRCINVC	コマンドが無効です
X'9050'	SVXINEND	リストの終わりです
X'9051'	SVXIVFUN	SVXINQ ファンクションコードが無効です
X'9052'	SVXINOMT	サブプール名に一致するものが見つかりませんでした
X'9053'	SVXINOAC	ACSに一致するものが見つかりませんでした
X'9054'	SVXINOLM	LSMに一致するものが見つかりませんでした
X'9055'	SVXINSBF	サブプールデータが見つかりませんでした
X'9056'	SVXINOSP	バッファにスペースがありません
X'9057'	SVXINCAL	SVXINQ 要求が無効です
X'9058'	SVXINMSC	MSCが見つかりません
X'9060'	SRCINVMN	モニター文字列が無効です
X'9070'	SRCNOMON	モニターサービスを使用できません
X'9071'	SRCNOSTR	使用可能な記憶域がありません
X'9080'	SRCSVINV	コンソール IDが無効です
X'9090'	SRCUXBUX	BUXCHTに非アクティブのものが存在しません
X'9091'	SCRUXNUM	ユーザー出口番号が間違っています

表 4-15 サービスコンポーネントの戻りコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'9092'	SRCUXMOD	モジュールが見つかりませんでした
X'9093'	SRCUXERR	モジュールのロードエラーです
X'9094'	SRCUXPLT	機能またはパラメータリストが間違っています
X'9095'	SRCUXSTA	要求に対する状況が無効です
X'9096'	SRCUXLOK	ロックに失敗しました
X'9097'	SRCUXLGC	論理エラーが起きました
X'9098'	SRCUXDDN	SLSUEXIT DDが欠落しています
X'9099'	SRCUXNOD	動的ロードは許可されていません
X'909A'	SRCABEND	ソフトウェア障害
X'90A0'	SRCSNPTH	パス指定で CAP ではなく SPATHが使用可能です
X'90B0'	SRCSENAV	サービスが使用不可です
X'90B9'	SRC90B9	異常終了しました - ESTAE を呼び出します
X'90FF'	SRCUNKN	SLSSMOVE で未知のエラーが起きました
X'9101'	SRCSEBAN	スクラッチ要求が試行されませんでした - サービスは起動されません
X'9102'	SRCSEBRL	スクラッチ要求が正しくありませんでした - 再試行が行われ待ち行列にロックされます
X'9103'	SRCSEBLK	スクラッチ要求が処理されませんでした - 待ち行列にロックされます
X'9104'	SRCSEBAO	サブタスクの接続が時間切れになりました
X'9105'	SRCSEBDN	デタッチ要求が試行されませんでした - サービスは起動されません
X'9106'	SRCSEBDO	サブタスクのデタッチが時間切れになりました
X'9107'	SRCSEBTS	サブタスクが中断したままです
X'9108'	SRCSEBSN	重複するかまたは同じ名前のサブタスクがあります - 接続は行われません
X'9109'	SRCSEBAT	MVS ATTACHマクロの不良リターンコードが返されました
X'9110'	SRCSEBIM	初期化と接続を行えません。最大回数
X'9120'	SRCCEVFS	FLSM レコードが指定されていません
X'9121'	SRCCEVFR	無効なFLSM レコードが指定されました

表 4-15 サービスコンポーネントの戻りコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'9122'	SRCCVILN	位置またはFLSM LSM 番号が異なります
X'9123'	SRCCVIPT	無効なパネルタイプ
X'9124'	SRCCVCNA	セルを割り振れません
X'9130'	SRCACDNY	アクセスが拒否されました
X'9131'	SRCWRTPR	書き込み禁止です

HSC ホスト通信サービスのリターンコード

表 4-16 HSC ホスト通信サービスのリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	HCSOK	機能が正常に終了しました
X'9201'	HCTENINT	サービスが初期設定されませんでした
X'9202'	HCTETRMP	終了処理がすでに進行中です
X'9203'	HCTEINVF	無効な機能が要求されました
X'9204'	HCTEINVL	指定されたメッセージデータの長が無効です
X'9205'	HCTENTRG	事前に登録されていません
X'9206'	HCTENOMS	メッセージを得られません
X'9207'	HCTESWND	通信方式の切り替えが必要です
X'9208'	HCTEINVT	メッセージタイプが無効です
X'9209'	HCTEINVH	ホスト指定タイプが無効です
X'920A'	HCTENHST	一致するホストが見つかりません
X'920B'	HCTENCMS	ホストについてのCDS メッセージがありません
X'920C'	HCTEINVM	通信方式が無効です(経路が定義されていません)
X'920D'	HCTEUNKM	未知の通信方式が指定されています
X'920E'	HCTEHMLM	ホストの通信方式の限界を超えました
X'920F'	HCTEACTV	アクティブなVTAMPATHに処理が試みられました
X'9210'	HCTEACTL	アクティブなLMUPATHに処理が試みられました
X'9211'	HCTEDALL	現在の通信方式のDEL ALLが指定されました
X'9212'	HCTEMXLP	LMUPATH 定義の最大値を超えました
X'9213'	HCTEINVA	ACSidが無効です(通信方式がLMU ではありません)
X'9214'	HCTEUNDA	ACSidが定義されていません (LMUPATH)
X'9215'	HCTENMVP	削除すべき一致する VTAMPATHがありません
X'9216'	HCTENMLP	削除すべき一致する LMUPATHがありません
X'9217'	HCTESWTE	切り替えルーチンでエラーが返されました
X'9218'	HCTEINVP	指定されたメッセージ優先順位が無効です
X'9219'	HCTEINVB	渡された制御ブロックが無効です

表 4-16 HSC ホスト通信サービスのリターンコード (続き)

リターンコード値	名前	説明
X'921A'	HCSEIMLM	通信方式の限界が無効です
X'921B'	HCSEMLM	ホスト項目の通信方式の限界を超えました
X'921C'	HCSEHNVL	LMU を介してホストを使用できません
X'921D'	HCSSENSCA	アクティブな送信対話がありません
X'921E'	HCSEISWF	「切り替え元」パラメータが無効です
X'921F'	HCSEABND	異常終了が起きました

HSC UII のリターンコード

表 4-17 統合ユーザーインタフェース (UII) のリターンコード

リターンコード値	名前	説明
X'0000'	NRCOKAY	機能は正常に完了しました
X'0004'	NRCWARN	警告 :
X'0008'	NRCERROR	コマンドの処理エラー
X'0020'	NRCFATAL	UIIの致命的または環境エラー
X'0028'	NRCTOKEN	UIIのトークン識別子が存在しません
X'0030'	NRCCANCL	UIIの要求がキャンセルされたか、HSCが非アクティブです

HSC UUI の理由コード

表 4-18 統合ユーザーインターフェースの理由コード

リターンコード値	名前	説明
X'0004'	NRCLLEN	UUI要求の長さエラー
X'0008'	NRCEXIT	UUIの出口が指定されていません
X'000C'	NRCPARSE	UUI要求の解析エラー
X'0010'	NRCREQNM	UUI要求が検出されません
X'0014'	NRCORIG	UUI要求の発信元
X'0018'	NRCAUTH	UUIに権限がありません
X'001C'	NRCUTILL	UUIユーティリティのレベルがLVTではありません
X'0020'	NRCADVM	UUIの高度管理機能
X'0024	NRCSRCE	UUIの要求元 (HSC/VTCS)
X'0028'	NRCXML	UUIのXML形式エラー
X'002C'	NRCUNSUP	UUIが機能をサポートしていません
X'0030'	NRCINVPR	UUIの無効なパラメータ値
X'0034'	NRCNOVSM	UUIのVSMが非アクティブかライブラリがありません
X'0038'	NRCCSV	UUIのCSV指定エラー
X'003C'	NRCCSVF	UUIのCSV形式エラー
X'0040'	NRCRMTDD	UUIはリモートDD (DCB) を開けません
X'0044'	NRCSRVLV	UUIのHSCがsvcレベルを要求しません

HSC 異常終了理由コード

次の各一覧表は、各種 HSC 異常終了理由コードとその説明です。理由コードは、発行モジュール、コンポーネント、またはユーティリティ別にグループ分けしてあります。

HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード

表 4-19 HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0001	データベースボリュームの読み取り要求が、オペレータコマンドのDISPLAY VOLUMEの結果として出されました。DVLRDから出されたリターンコードが無効です。 R2 = DVLRD 戻りコード
0002	SLSSPARS ルーチンによって構文エラーが検出されました。しかし、SLSOCLEXは、構文エラーの発生した地点を判別できませんでした。 R9 = ORQX R8 = SLSYKEYH
0003	HSC オペレータコマンドルーチンがESTAE 環境を確立できませんでした。コマンド処理は、ESTAE なしでは継続不能です。 R2 = ESTAE マクロからの戻りコード
0004	パラメータ IDが、SLSPARSE ルーチンによって返されました。しかし、SLSOCLEXは、そのパラメータ ID と、提供されている解析テーブル上のパラメータ項目を一致させられませんでした。 R8 = SLSYKEYH
0005	SRMMからゼロ以外のリターンコードが返されました。
0006	SLSONTABからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = SLSONTAB 戻りコード
0008	SLSONTABからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = SLSONTAB 戻りコード
000A	VSSTAからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = VSSTA 戻りコード
000C	VCSTAからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = VCSTA 戻りコード
000E	一致する ACSidを見つける前に、LCB 待ち行列の終わりに達しました。

表 4-19 HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0010	SLSONTABからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = SLSONTAB 戻りコード
0012	SLSONTABからゼロ以外のリターンコードが返されました。R2 = SLSONTAB リターンコード
0014	SLSFCONF FUNC=STATNIDからゼロ以外のリターンコードが返されました。 R2 = SLSFCONF 戻りコード
0015	デバイスアドレスをドライブ ID に変換するための構成制御要求が発行されました。 SLSFCONF FUNC=DRIVEID からのリターンコードが無効です。 R2 = SLSFCONF 戻りコード
0016	SLSFCONF FUNC=ATHSMODEからのゼロ以外のリターンコード。 R2 = SLSFCONF 戻りコード
0017	ホスト通知メッセージの書き込み要求をLMU サーバーが出しました。LMURQST BCSTWRT から出されたリターンコードが無効です。 R2 = LMURQST 戻りコード
0018	ドライブにクリーニングのフラグを付けるために、構成制御要求が出されました。 IFFLGDRIVから無効なリターンコードが返されました。 R2 = FFLGDRIV 戻りコード
0019	CAP 要求の機能が無効です。
0020	無効なLMU エラーリターンコードが返されました。
0021	PATH エラー - SPPLDEF SPPLID フィールドが破壊されました。

HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード

表 4-20 HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0075	SLSMAIMが、ASCOMM 要求を受け取りました。しかし、要求に無効なDRIVEidが含まれています。これはプログラム論理エラーです。
0076	SLSMAIMが、ASCOMM 要求を受け取りました。しかし、要求によって無効な機能が示されました。これはプログラム論理エラーです。
0077	LMU サーバー機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
0078	マウントまたはマウント解除がマウント機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0079	MAILを受け取りました。しかし、マウントもマウント解除も、またスワップも設定されていませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0080	マウントまたはマウント解除 ITT ルーチンが呼び出されたとき、ITTに指定されていたルーチンが正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。 R3 = ITTのアドレス
0081	マウントまたはマウント解除がボリュームまたはセル機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0082	マウントまたはマウント解除がセル走査を要求しました。与えられた LCCEが無効でした。これはプログラム論理エラーです。 R4 = LCCEのポインター
0083	マウントまたはマウント解除が回復機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0084	マウントまたはマウント解除がRECVOL 機能を要求しました。戻り時に、返された位置が無効でした。これはプログラム論理エラーです。 R2 = RITTのアドレス
0085	マウントまたはマウント解除がCAP 共通機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0086	マウントまたはマウント解除が解析機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。

表 4-20 HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0087	マウントまたはマウント解除が構成機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0088	マウント/マウント解除で、どのオフライン LSM にボリュームが含まれているかを示すメッセージの発行が試みられました。しかし、MFCR が VAT を指していませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0089	マウントまたはマウント解除がESTAEを確立または削除しようとしてしました。しかし、ESTAE マクロはゼロ以外のリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトに、ESTAE リターンコードが入っています。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
009E	ある ACSに対して、モジュールが高い LSMidの生成を試行し、ICOINLSMを越える LSMidを生成しました。これはプログラム論理エラーです。 R4 = LSMのLSM アドレス
009F	マウントまたはマウント解除がデータベースサーバー機能を要求しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0100	マウントまたはマウント解除がSTIMERM 機能を要求しました。戻り時に、ゼロ以外のリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトに、STIMERMのリターンコードが含まれます。これはプログラム論理エラーです。
0101	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。POST されている ECB リストのECB の1 つがないまま実行されているようです。これはプログラム論理エラーです。
0102	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。これは、CAPがオープンされていることを示すフラグを設定しないで、CAP 終了を実行しようとしてしました。これはプログラム論理エラーです。
0103	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。これは、メッセージを出そうとしてしました。しかし、メッセージを要求した要求元が正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0104	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。これは、LMU エラーメッセージを出そうとしてしました。しかし、メッセージを要求した要求元が正しくありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0105	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。スワップ要求に有効なデバイス番号が含まれていません。これはプログラム論理エラーです。
0106	マウントまたはマウント解除に論理エラーがあります。リンケージ支援ルーチンが、サポートされていない機能に対して呼び出されました。
0107	マウントまたはマウント解除がSLSMHTH タスクで受け取った異常終了コードが多過ぎます。これはプログラム論理エラーです。
0108	マウントまたはマウント解除がSVC91のSVCUPDTからゼロ以外のリターンコードを受け取りました。

表 4-20 HSC マウントまたはマウント解除の異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0109	マウントまたはマウント解除がSVOLACCから無効なリターンコードを受け取りました。
010A	仮想マウントの要求が受け取られましたが、テキストに SLSTMAIN のアドレスが含まれていませんでした。
0110	SLSMDRVRのPARMLIST.が無効です。

HSC ユーティリティーの異常終了理由コード

表 4-21 HSC ユーティリティーの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0150	SLUIOに認知されていないファンクションコードが渡されました。
0151	ユーティリティーサーバーのためのASCOMM タスクを開始できませんでした。
0152	フェーズ 2 サーバー SLSUAUDT2から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
0153	フェーズ 3 サーバー SLSUAUDT3から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
0154	フェーズ 4 サーバー SLSUAUDT4から、ASCOMM 応答域 (UADRA) 内に認知されていない応答が返されました。
0155	ユーティリティープログラムからASCOMM データ域 (UADDA またはUSUDA) 内に認知されていないファンクションコードが返されました。
0156	サブルーチン SLSUAAVLに認知されていないボリューム特性があります。
0157	SLSUALSM 接続の障害です。
0158	SLSUALSM タスクから認知されていない応答コードが返されました。
0159	このLSMに対する LSM エントリアドレスが登録されていません。
0160	SLSUAPAV サブルーチンから、認知されていないリターンコードが返されました。
0161	セルカタログでのLSM 走査 (LCCD) で、未知のリターンコードが返されました。
0162	ASCOMM データ域 (UICDA) 内に認知されていないファンクションコードが返されました。
0163	予想した戻り値記述子ブロックをキーワードテーブルから入手できませんでした。
0164	Init Carts サーバー SLSUINCTから、ASCOMM 応答域 (UICRA) 内に認知されていない応答が返されました。
0165	予想した ACS/LSM 表項目を入手できませんでした。
0166	SLUBKP10からゼロ以外のリターンコードが返されました。
0167	SLSJINTAからエラーリターンコードが返されました (初期設定がアクティブです)。
0168	SLUEJCTからSLSUEJCTに無効なCAPidが渡されました。
0169	SLSUSCRD ユーティリティーサーバーから予期しないリターンコードが返されました。
0170	SUSCUP ユーティリティーサーバーから予期しないリターンコードが返されました。
0171	ASCOMM トークンが無効です。トークンフィールドはオーバーレイされた可能性があります。
0172	ボリュームまたはセルから予期しないリターンコードが返されました。

表 4-21 HSC ユーティリティの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0174	ユーティティ解析エラーレポーターが、解析テーブルに解析エラーフラグを付けずに呼び出されました。
0176	指定のボリュームの常駐する ACSにCAPが見つかりません。
0177	SLUEJCTのフィールド UECDFUNCからSLSUEJCTのフィールド UECDA へ無効なファンクションコードが返されました。「reserve CAP」、「eject」、「release CAP」のいずれかのはずであり、これ以外はありません。
0178	UCTAから無効なACSidが返されました。
0179	論理エラーです。ファイルの終わりです。
0180	無効な応答を受け取りました。
0181	SET ユーティリティが、予期された目印と一致しない目印を持つブロックを読み取りました。 R2 = ブロック R3 = 目印 R14 = 読み取りを行うアドレス
0182	必要なキーワードが見つかりません。 R2 = キーワード R8 = SLSYKEYH (解析テーブル)
0183	データベースブロック内で一致するホストIDを検索しているときに、論理エラーが発生しました。 R14 = 問題が検出されたアドレス
0184	長過ぎるメッセージを生成するためにSLUIOが要求されました。
0185	UENTCFGA チェーンに、監査される LSM 用の正しい FLSM レコードがありません。 R8+70x = FACS チェーン R9+Cx = LSM id R5 = UCTL R8 = UENT
0186	表索引の障害です - デバイスタイプテーブルと UCBTYPE R2= UCB
0187	ACSのためのLSM レコードの数がこのACS (ACSCTLISM) 内のLSMの数と一致していません。
0188	FIGMGRから予期しないリターンコードが返されました。
0190	PGMI QDSN 要求から予期しないリターンコードが返されました。
0191	ASCOMMから予期しないリターンコードが返されました。タスクの終了が予期された時の正常リターンコード、または予期しないタスク終了のいずれかです。
0192	ASCOMM SLUMERGEから無効なパラメータタイプを受け取りました。

表 4-21 HSC ユーティリティの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0200	TIOTにSLSCNTL DD 項目が見つかりましたが、UCB アドレスフィールドに2 進数のゼロがあります。
0201	論理ルーチン OPEN で、DFSORTによる E35 ユーザー出口の最初の呼び出し時に、出力レコードが渡されなかったことがわかりました。
0202	論理ルーチン READがファイルの終わりに達しました。コード 0202は破壊されたデータセットを示します。問題判別のためにデータセットのコピーを作成して、復元または再作成してください。
0203	論理ルーチンはDELTABLK です。ソートされたと思われるデルタレコードの順序が間違っていることがわかりました。
0204	論理ルーチンはDELTABLK です。現在のデルタレコード内にある「事後」イメージテキストが、その「事後」イメージを受け取る制御データベースブロック内のスペースよりも、大きくなっています。
0205	論理ルーチンはAPPLY です。DD 名 SLSDELTAを持つソートされたデルタデータセットが空です。
0206	無効なUEVTチェーンです。UEVT チェーンが破壊されています (チェーンヘッダーがゼロか、UEVT エントリの 1 つが「UEVT」を目印として含んでいません)。
0207	無効なUEST チェーンです。UEST チェーンが破壊されています (チェーンヘッダーがゼロか、UEST エントリの 1 つが「UEST」を目印として含んでいません)。
0208	ESTAE 経路指定が正しく確立されませんでした。ESTAE マクロ発行からのリターンコードにゼロ以外の値が返されました。
0209	空きセルの検索と割り振りマップの調整の際に論理エラーが起きました。
0210	読み取り/書き込みのリターンコードがゼロでないか、ファイルの終わりです。
0211	<p>CDS のデータセットの構成またはレコードサイズのいずれか、あるいはその両方が無効です。または、CDS の特性の判別を試行中にエラーが発生しました。</p> <p>R2 = SLUALCSZ からのリターンコード</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 - TIOT に DDname が見つかりません 12 - ファイルの JFCB を読み取れません 16 - ファイルの JFCB に DSN が見つかりません 20 - ファイルの BLKSIZE が 4096 ではありませんでした 24 - ファイルのボリューム情報を取得できません 28 - ファイルの VTOC 情報を取得できません 32 - ファイルの DSORG が無効です 36 - CDS ファイルに複数のエクステンがあります 40 - UCBTYP が無効です (VM のみ)

HSC CAP 共通の異常終了理由コード

表 4-22 HSC CAP 共通の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0252	LMUがMOVE要求完了のECB通知処理に10分以上要しました。
0253	LMU サーバーでエンター処理を開始しようとしたときにエラーが起きました。情報コード内に、LMU サーバーからのリターンコードが含まれます。
0256	ボリュームまたはセルのボリューム入力機能、ボリューム更新機能、またはセル獲得機能から予期しないリターンコードが返されました。
0257	カートリッジの挿入時に、SLSCNCAPから予期しないリターンコードが返されました。
0258	オペレータからボリュームシリアル番号を入手するときに、SLSCGVOLから予期しないリターンコードが返されました。
0259	ボリュームの入力中にSLSCCVOLから予期しないリターンコードが返されました。
025A	オペレータからボリュームシリアル番号を入手した後、正しくないセル項目がCAP カタログに残されていました。
025B	エラーカートリッジにならなかった移動エラーの後で、ボリュームまたはセルを通して VAR を削除しようとしたとき、エラーが起きました。
025C	ボリュームレコードを作成しようとしたとき、スペース不足やカートリッジの重複以外のリターンコードが返されました。情報コード内に不良リターンコードが含まれます。
025D	LMU サーバーインタフェースルーチン SLSCNCAPの使用を試みたときに、予期しないリターンコードが返されました。情報コード内に不良リターンコードが含まれます。
025E	A CAP ENDが要求されましたが、1つまたは複数のCAP 制御ブロック状況フィールドが間違ってセットされました。
0260	初期設定において、対応する LSMのない ACSが見つかりました。
0261	SLSCMCAP でのエラー発生後に、ボリュームが選択解除されようとしてしました。情報コードはVVUNS RC です。 R2 = SLSCMCAP 戻りコード
0262	SLSCASETに無効なPARMLISTが渡されました。
0263	現在のCAP 操作を打ち切ろうとしているときに、予期しないリターンコードが返されました。HSCは終了処理中でした。
0266	読み込み不可能なメディアタイプでボリュームの追加または更新を試みました。読み込み不可能なメディアの入力は、事前に防ぐ必要があります。

HSC サブシステム割り振りモジュールの異常終了理由コード

表 4-23 HSC サブシステム割り振りモジュールの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0352	ボリューム検索が、データベースボリューム読み取り機能からエラー条件を受け取りました。
0353	ボリューム検索が、ボリュームまたはセルスクラッチ優先からエラー条件を受け取りました。
0367	ボリューム参照が、SLSTGVSPから予期しないリターンコードを受け取りました。

HSC ボリュームまたはセルの異常終了理由コード

表 4-24 HSC ボリュームまたはセルの理由の異常終了コード

リターンコード値	説明
0400	セル割り振りマップ (VCAM) に、認知されていないパネルタイプがあります。
0404	ESTAE を確立できません。
0405	クロック値を入手できません。
0406	VCSCN マクロによって生成された SLSVCSCN パラメータ域に、認知されていないファンクションコードがあります。
0407	データベース入出力エラー
0408	セル走査作業域 (VCSCNIWK) が、正しい形式ではありません (見出し ID フィールドが正しくありません)。
0409	LSM パステابل構築時の内部エラー
0410	HSC 終了時に、選択されたボリュームを選択解除できません。
0412	SLSVQCHK ルーチンが予期しないリターンコードを返しました。
0414	ボリュームシリアル番号が、VAT 待ち行列上にありましたが、データベースには存在しません。
0415	ボリュームまたはセル機能が、無効なボリュームまたはセルリターンコードを返しました。 R2 = 戻りコード
0416	クリーナの選択解除後にクリーナの選択カウントが負になったか、クリーナの VCAM 同期後にクリーナの低 volser が高 volser よりも大きくなりました。
0418	不当なファンクションコードで SLSVINSP が呼び出されました。
0420	構造の境界外での記憶が試みられました。

表 4-24 HSC ボリュームまたはセルの理由の異常終了コード (続き)

リターンコード値	説明
0422	無効なVCPANLST (含むまたは含まないを示すボリュームまたはセルパネルリスト)をMOVE ルーチンを受け取りました。
0424	FIGMGR からの RC が無効です。R2 にリターンコードが含まれています。
0425	ドライブの有効なクリーナメディアがありません。

HSC 構成制御の異常終了理由コード

表 4-25 HSC 構成制御の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0450	ACS 索引が無効です。
0451	LSMid (LRQSTの)が無効です。
0452	セルプール獲得に失敗しました。
0453	CAPid (LRQSTの)が無効です。
0454	CAPが別のホストに予約されています。
0455	SLSCAPAから無効なLSMidが返されました。
0456	LMU ではステーションをオフラインに構成変更できますが、HST ではできません。
0457	ドライブテーブル (FDRVT)に一致する HOST IDがありません。
0458	LSMid (HSTの)が無効です。
0459	ブロードキャストのためのLMU レジスターに障害がありました。
0460	リスナーサブタスクが制御を受け取りましたが、終了 ECB も LMU ブロードキャスト ECB も通知されていません。
0461	LMSid (LSTの)が無効です。
0462	ホスト IDがLSM ロックワードと一致しません。
0463	TCB アドレスがLSM ロックワードと一致しません。
0464	LMU ドライバから予期しないリターンコードが返されました。
0465	LSMの選択解除が失敗しました (しかし入出力エラーはありませんでした)。
0466	ITT レコードを削除できません。
0467	制御データベースの解放 (DRLSE マクロ)が失敗しました。
0468	制御データベースの入出力エラーです。
0469	LMURQST ブロードキャスト読み取り要求が失敗しました。
0470	ドライブ IDが無効です。
0471	FIGMGR Plist 内で無効データが検出されました。
0472	FIGMGR UPDATEが失敗しました。
0473	構成処理の間に、予期しない FIGMGR リターンコードが返されました。

HSC 初期設定または終了の異常終了理由コード

表 4-26 HSC 初期設定または終了の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0501	HSC 初期設定または終了ルーチンが、ESTAE 環境を確立できませんでした。ESTAE なしでは処理を続けられません。 R2 = ESTAE マクロからの戻りコード
0502	プライマリ JES 名がSSCVT チェーンの中に見つかりません。
0504	SSCVTの初期設定または終了フラグが、起動中にそのほかのプロセスによって更新されました。
0506	SSCVTの初期設定または終了フラグが、シャットダウン中にそのほかのプロセスによって更新されました。
0508	SSCVTの初期設定または終了フラグが、シャットダウン中にそのほかのプロセスによって更新されました。
0510	初期設定または終了サービスルーチンが、サブシステムの初期設定中にロードされませんでした。

HSC 導入システムコンポーネントの異常終了理由コード

表 4-27 HSC 導入システムコンポーネントの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0550	パラメータの数が無効です。指定のモジュールが、最終パラメータアドレスの高位ビットがセットされていないパラメータリストで呼び出されました。これはプログラム論理エラーです。
0551	LIBGEN - パススルーポートが無効です。処理中のLIBGENが無効です。パススルーポートの隣接 LSMがLIBGEN 内にありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0552	DSCBを読み取るためにOBTAINが出されました。ゼロ以外のリターンコードが返されました。これは重大障害レベルのエラーです。 R11 = 戻りコード
0553	無効なリターンコードが返されました。導入機能が呼び出されましたが、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R10 = 戻りコード R14 = 機能の呼び出し後のアドレス
0554	無効な IEFEB4UV リターンコードが返されました。IEFEB4UV がデバイス名を参照するために呼び出されましたが、ゼロまたは4以外のリターンコードが返されました。これは重大障害レベルのエラーです。 R11 = 戻りコード
0555	デバイスタイプが無効です (VMのみ)。SLICDATAがデバイス特性獲得のためのテーブル参照を実行しましたが、CDSを含むデバイスを見つけられませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0556	SLICDATAは、あるパネルタイプのパネルマップを見つけようとしたましたが、見つかりませんでした。
0557	SLICDATAは、ディメンションサービスからライブラリ要素に関するエラーを受け取りました。
0558	SLICDATAは、ドライブレコードを組み立てる時に、予期しないエラーが発生しました。

HSC TMS またはユーザーインタフェースの異常終了理由コード

表 4-28 HSC TMS またはユーザーインタフェースの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0600	ESTAE マクロは配置に失敗しました。
0601	SLSTLMS ファイルに対する OPENは失敗しました。
0602	回復不能なIUCV エラーが起きました。
0603	SLSTLMS ファイルに対する ALLOCは失敗しました。
0605	ユーザーインタフェースがデータベースサーバー機能を実行しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0606	ユーザーインタフェースがボリュームまたはセル機能を実行しました。戻り時に、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 無効な戻りコードを検出した命令のアドレス
0607	PGMI インタフェースの「call until EOF」形式を呼び出しましたが、PGMI 要求が完了する前に終了しました。

HSC LMU ドライバの異常終了理由コード

表 4-29 HSC LMU ドライバの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0650	構成制御要求が出されましたが、リターンコードが無効でした。理由コードの上位 2 バイトには、構成リターンコードの上位 2 バイトが含まれます。
0651	SLSLQ で、呼び出し元が、要求された SLSLQ 操作を正しく直列化しなかったことがわかりました。VIA CS 論理によって検出されました。
0652	要求待ち行列に要求があるかどうか確認するために、チェックが行われました。要求はありましたが、LQUEUE POPの実行は失敗しました。
0653	SLSLATOQがLCBLOCKを保有しているかどうかを確認するテストが行われました。保有していませんでした。
0654	ESTAE 環境が以前に確立されていますが、ESTAE 環境を取り消そうという試みが失敗しました。ドライバは終了処理を実行中でした。
0655	割り振られているはずのステーションを割り振り解除しようとしているとき、SVC 99からエラーコードが返されました。
0656	ESTAE 回復ルーチンの確立を3 回試みましたが、ESTAE サービスからリターンコード00が出されませんでした。
0657	呼び出されたエントリポイントに対応する LRT 項目に、ソースタイプ記述ビットが含まれていません。
0661	LRQは完了したと思われていましたが、アクティブ、待ち、停止待ち行列のいずれかの状態、またはLCBロックが保持されませんでした。
0663	ESTAEを確立できません。
0664	ESTAE 取り消しが失敗しました。起動時に回復ルーチンを確立したあと、ESTAE ルーチンの取り消しの失敗がわかりました。
0665	LMU 応答エラーです。LMU サーバーのアクティブ要求待ち行列に存在しない通し番号を含む応答が受け取られました。
0666	ESTAE 起動に失敗しました。ESTAE 回復ルーチンの確立を3 回試みましたが、ESTAE サービスからリターンコード00が出されませんでした。
0667	ドライバ接続に失敗しました。SLSLDRVの接続を3 回試みましたが、接続に失敗したか、またはSLSLDRVを正しく初期設定できませんでした。
0668	仮想記憶域間通知エラーです。LMU ドライバーのシミュレート書き込みルーチンが仮想記憶域間通知を出そうとしたときに、エラーが起きました。
0669	仮想記憶域間通知エラーです。LMU ドライバーのシミュレート読み取りルーチンが仮想記憶域間通知を出そうとしたときに、エラーが起きました。
0670	LMU ドライバーの待ち行列探索が、待ち行列に入れられているよりも多くの要素を走査しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列は破壊されています。
0671	LMU ドライバが、待ち行列に要素を追加しようとしたときに、エラーが起きました。その要素はすでに待ち行列にあったか、または待ち行列の見出しが破壊されています。

表 4-29 HSC LMU ドライバの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0672	LMU ドライバが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。その要素は待ち行列にありませんでした。
0673	LMU ドライバが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列の数字が最大値を超えています。
0674	STIMERMが失敗しました。LMU ドライバが、待ち行列から要素を削除しようとしたときに、エラーが起きました。待ち行列の数字が最大値を超えています。
0675	SLSFLSMMから無効なリターンコードが与えられました。 R14 = 戻りコード
0676	ユーザー異常終了が起きました。ローカル作業域のWABNDMSGに、ユーザー異常終了を起こすゼロ以外の値が存在しています。
0677	ユーザー異常終了が起きました。ローカル作業域のWABNDMSGに、ユーザー異常終了を起こすゼロ以外の値が存在しています。
0678	ユーザー異常終了が起きました。以前の異常終了または中断などのあとで、SLSLDRVを再起動したときに、UCBが再初期設定されませんでした。
0679	LMU 要求または、要求修飾子の入力が見つかりません。
067A	シミュレーションが要求されましたが、シミュレーター LINK モジュールをロードできませんでした。

HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード

表 4-30 HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0700	内部エラーです。DPVが使用可能でないのに、CDSを予約しようとしてしました。
0701	訂正不能なCDSの破壊です。データベースモジュールがCDSの破壊を検出しました。SLSDRDIRがエラーを訂正できませんでした。この理由コードは、CDS 容量割り振りが不十分な状態で、SLICREATの実行中に発生する場合があります。
0702	訂正不能なCDSの破壊です。データベースモジュールがCDSの破壊を検出しました。SLSDRDIRがCDSを再作成できましたが、破壊されたままです。
0704	内部エラーです。非所有者がデータベース予約を解放しようとしてしました。
0705	サブファイルを拡張するときに、FREE データベースブロックを見つけられませんでした。より大きなCDSを割り振る必要があります。
0707	ボリュームのVARINUSE フラグが、再書き込み処理中にオンになっていません。
0708	与えられた置換 VARに、異なるボリュームシリアル番号が含まれています。
070A	ブロックを同期化しようとしたときに、BDAM または入出力エラーが起きました。
070B	VAR 域を走査しようとしたときに、BDAM または入出力エラーが起きました。
070C	内部エラーです。DEEREPLにはバッファがありません。
070D	最後のCDS コピーにエラーがあります。システムを停止させてください。
070E	DHB への再書き込み中に入出力エラーが起きました。
070F	ホスト IDが、渡された DHB レコード内のどのホスト ID とも一致しません。
0710	割り振りに使用できる ITT ブロックがありません。これはプログラム論理エラーです。
0711	内部エラーです。ブロック番号が索引の範囲を超えています。
0712	内部エラーです。呼び出し元が無効なトークンを指定しました (ITTのメモリアドレスに一致しません)。
0713	内部エラーです。指定されたオフセットの長さが許容値を超えています。
0714	内部エラーです。DCH アイボールが無効です。
0715	内部エラーです。DCHがキャッシュされていません。
0716	内部エラーです。VAR 区域がオーバーフローしました。
0717	内部エラーです。呼び出し元が、アクティブ中のホストか、存在しないホストのいずれかを指定しました。
0718	内部エラーです。指定のホスト用にITT エクステントを獲得できませんでした(a)。現在のホストにITT エクステントがありません (b)。

表 4-30 HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
071A	内部エラーです。CDS レコードの目印が、それに対して定義されている 4 文字のサブファイル ID と一致しませんでした。
071B	内部エラーです。SCANに対して指定された OPTION フィールドが無効です。
071C	内部エラーです。内部サブルーチンのNEXTTRITT ルーチンが、OK またはEOF 以外のものを返しました。
071D	内部エラーです。SCAN 初期設定時に呼び出し元によって指定された LSMの1 つが無効です。
071E	CDSを読み取ろうとしたときに、予期しないエラーが起きました。
0720	ハートビートを接続しようとしたましたが、失敗しました。R2 = ATTACH リターンコード
0723	内部エラーです。ESTAEを確立できません。この理由コードはメッセージ 723E とともに表示されます。
0724	内部エラーです。プログラムが、ユーザー出口 SLSUX06に無効な項目タイプを渡しました。この理由コードはメッセージ 724E とともに表示されます。
0725	指定のACS でエラントレコードを見つけようという試みが失敗しました。ACSは、メッセージ 725Iに示されます。
0726	内部エラーです。呼び出し元が無効なACSを指定しました。この理由コードはメッセージ 726I とともに表示されます。
072A	ゼロ以外のリターンコードがFIGMGR 呼び出しから返りました。
072B	FLSM レコードに、相対パネルに一致するパネルタイプが見つかりませんでした。
0731	内部エラーです。DRPHYの呼び出し元が、データベース読み取りルーチンのSLSDRDSR に、無効なパラメータデータを与えました。
0732	内部エラーです。BDAM パラメータが無効です。
0733	一方のジャーナルに、以前入出力エラーがあったため、ジャーナルを切り替えられませんでした。
0735	両方のジャーナルに入出力エラーがあります。
0736	ジャーナル切り替えの後で、新しい現行ジャーナルが、リセットされていないことを示しています。
0748	呼び出し元が、ILLTERNT フィールドがDES 区域にない VARを渡しました。メッセージ 748Iが出力されます。
0749	呼び出し元が、X'00' という回復ルーチン値で、ITT レコードを書き込もうとしました。
074A	SLSDIOMがアクティブなCDS 要求により終了しました。
074B	プライマリ CDSがアクティブでないときに、CDSを予約しようとしたしました。

表 4-30 HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
074C	エラー分析中、CDSを予約しようとしたましたが、失敗しました。
074D	内部エラーです。CDS レベル HCSRQSTのエラーです。
074E	内部エラーです。無効なDCVINFOが指定されました。

HSC WTO サーバーの異常終了理由コード

表 4-31 HSC WTO サーバーの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0750	サブシステムメッセージ書き出しルーチンによって、インタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。 R2 = より詳細なエラー理由コード
0751	複数行の出力を要求しているときに、WTOからゼロ以外のリターンコードを受け取りました。これは内部エラーです。 R14 = 戻りコード

HSC ASCOMM の異常終了理由コード

表 4-32 HSC ASCOMM の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0802	ASCOMM 終了処理はすでに開始されています。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって再試行を行います。この異常終了では、ASCOMM ドライバタスクは終了しません。
0803	SLSQWRKの接続が失敗しました。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって、QMTBを解放し、再試行を行います。この異常終了では、ASCOMM ドライバタスクは終了しません。 R14 = 違反を生じたアドレス
0804	ESTAEを確立できません。ASCOMMはESTAEを確立または削除しようとしたましたが、ゼロ以外のリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトに、ESTAE リターンコードが入っています。これはプログラム論理エラーです。 R14 = 命令アドレス
0805	QXTRACT サービスがASCOMMに付加されていないタスクによって、呼び出されました。これは重大障害レベルのエラーです。
080C	QMTBのオプションが無効です。SLSQDRV ESTAE ルーチンは、ダンプをとって、QMTBを解放し、再試行を行います。この異常終了では、ASCOMM ドライバタスクは終了しません。
080E	QMTB待ち行列で無効な要素が見つかりました。このルーチンのESTAEのシステムダンプに、無効な記憶域アドレスが含まれています。
0810	呼び出し元によって指定された応答トークンを、ASCOMM 内部テーブル内に見つけられませんでした。応答を出したタスクは終了します。
0811	応答の長さが、元の要求で指定されているサイズを超えています。応答を出したタスクは終了します。
0815	呼び出し元で指定されたタスクトークンがゼロでした。応答を出したタスクは終了します。
0820	呼び出し元で指定された応答トークンがゼロでした。応答を出したタスクは終了します。
0827	リンケージ索引を割り振れませんでした。ASCOMMの初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行われません。
0829	ASCOMM ドライバの接続が失敗しました。ASCOMMの初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行われません。
0830	ASCOMM ドライバの初期設定が失敗しました。ASCOMMの初期設定は終了します。この場合、サブシステム全体の初期設定は行われません。
0833	無条件 SETLOCKの障害です。
0834	LVTを見つけられませんでした。SRBは終了します。

HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード

表 4-33 HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0900	許可されている最大値を超える保管域または作業域を割り振ろうという試みが、SLSCALLによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。 R9 = 呼び出されているモジュール R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0901	保管域または作業域として72 バイト未満の領域を割り振ろうという試みが、SLSCALLによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。 R9 = 呼び出されているモジュール R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0902	部分保管域スタックを解放しようという試みが、SLSBSADBによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
0903	部分保管域スタックを解放しようという試みが、SLSBSADSによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
0904	最大値を超える初期保管域スタックを割り振ろうという試みが、SLSMAMPによって検出されました。これはプログラム論理エラーです。
0905	ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行われましたが、指定されたパラメータが無効でした。R1がゼロ以外の値であったか、またはR0がゼロでした。これはプログラム論理エラーです。
0906	ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行われましたが、使用できる DPVがありませんでした。これはプログラム論理エラーです。
0907	ロックまたはロック解除サービスの呼び出しが行われましたが、ENQ またはDEQ 要求が出されて、無効なリターンコードが返されました。これはプログラム論理エラーです。
0908	SSAT サービスの呼び出しが行われましたが、指定された項目が無効です。これはプログラム論理エラーです。 R2 = 無効な項目
0909	SSAT SET サービスの呼び出しが行われましたが、要求元がすでにSETを処理中であることが、アクティブなENQにより示されました。これはプログラム論理エラーです。
0910	内部サブルーチン PARSK000からのリターンコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えています。 R2 = 戻りコード
0911	SLSSATSがESTAEの作成または削除を試みましたが、ESTAEがゼロ以外のリターンコードを返しました。これはプログラム論理エラーです。 R2 = 戻りコード

表 4-33 HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0912	内部サブルーチン PARSK000からのリターンコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えています。 R2 = 戻りコード
0913	ボリュームまたはセルルーチンの呼び出しで、無効なリターンコードが返されました。 R14 = ボリュームまたはセルルーチンを呼び出している区域
0914	SLSSHSRQ ルーチンへの呼び出しで、無効な機能が要求されました。
0915	SLSSHSRQ ルーチンへの呼び出しで、無効な要求または応答が指定されました。
0916	ほかのホストからの要求を扱うためのタスクが接続されました。このATTACHで、ゼロ以外のリターンコードが返されました。 R14 = 戻りコード
0917	SRIBRQ マクロが出されましたが、指定されたファンクションコードが無効です。 R10 = SRIBPLのアドレス
0918	当該モジュールに対し、ESTAEを確立しようとしているときに、エラーが起きました。 R15 = 戻りコード
0919	当該モジュールに対し、ESTAEを確立しようとしているときに、エラーが起きました。 R15 = 戻りコード
0920	STIMERM シミュレーション中にエラーが起きました。ERRETが、STIMERM マクロに指定されていませんでした。 R15 = 戻りコード
0921	TIMERM CPOOL FREE ルーチンでエラーが起きました。セルを解放できませんでした。 R15 = 戻りコード
0922	SLSSACCM 処理中にエラーが起きました。 R8 = SRCSACTB テーブル R7 = SRCSACEL 要素 R2 = 戻りコード R15 = 戻りコード
0923	SLSSUXQP 処理中にエラーが起きました。 R5 = ユーザー出口エン트리コード R8 = SACCUMのためのトークン
0924	SLSSUXCP 処理中にエラーが起きました。 R7 = ユーザー出口エン트리BUXCHB R8 = BUXCHTのためのアドレス

表 4-33 HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
0925	SLSCALLに渡されたエントリポイントのアドレスがゼロでした。 R9 = 呼び出されているモジュールがゼロを含みます。 R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0926	LSMidが無効です。
0927	モジュール ATTACH 要求のタイムアウト。 R4 = SLS1972D メッセージに先立つモジュール ATTACH 要求
0928	サブルーチンで未知のリターンコードが受け取られました。リターンコードは、SCCELLV パラメータリストのSCELBDRC フィールドに入れます。
0929	要求元は、無効な宛先の位置またはターゲットの活動を指定しました。
0930	SRMM RESOLVEのデバイスアドレスから予期しないリターンコードを受け取りました。
0931	UENT (ユーティリティ入力) 制御ブロックチェーンでエラーが検出されました。
0942	Verify Subsystem SSREQを使用して HSCのサブシステムの索引値を検索するときにSSI 要求が失敗しました。

HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード

表 4-34 HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード

リターンコード値	説明
8502	SLSRMQUE にホスト回復 RRPL が渡されましたが、それに無効な HOST ID が含まれていました。同じホスト回復で HOST ID と LVTHID が等しくありません。これは重大障害レベルのエラーです。 R9 = RRPL
8506	回復 RRPL が渡されましたが、それに無効な ACHS ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。 R9 = RRPL
850A	SLSRMQUE に回復 LSM RRPL が渡されましたが、それに無効な LSM ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。 R9 = RRPL
850E	SLSRMQUE にクリーンな CAP RRPL が渡されましたが、それに無効な CAP ID が含まれていました。これは重大障害レベルのエラーです。 R9 = RRPL
8516	ボリュームまたはセル機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
851A	構成機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
851E	CAP 共通機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。
8522	完全なボリューム RRPLがSLSRMQUEに渡されました。しかし、呼び出し元がLSMをロックしています。これはプログラム論理エラーです。 R9 = RRPL
8526	無効なRRPLが指定されました。これはプログラム論理エラーです。 R9 = RRPL
852A	LMU サーバー機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。
852E	RCVTERRAにより許可されたエラーの数を超えました。
8532	回復 ITT 回復ルーチンが呼び出されましたが、異なる ITT 回復ルーチンを指定した ITTが渡されました。これはプログラム論理エラーです。 R9 = RITT R10 = RITP

表 4-34 HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード (続き)

リターンコード値	説明
8536	<p>ホスト回復の実行を受け持つタスクが異常終了しました。これはプログラム論理エラーです。</p> <p>R9 = RRPL</p>
853A	<p>完全なボリューム RRPLがSLSRMQUEに渡されました。しかし、呼び出し元がLSMをロックしています。これはプログラム論理エラーです。</p> <p>R9 = RRPL</p>
853E	<p>データベースサーバー機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。</p>
8542	<p>無効なパラメータリストが回復機能に渡されました。これはプログラム論理エラーです。</p>
8546	<p>回復機能が要求されました。しかし、無効なリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには、リターンコードの上位 2 バイトが入ります。これはプログラム論理エラーです。</p>
854A	<p>回復機能で、無効なソースまたは宛先レコードを持つ DESが検出されました。これはプログラム論理エラーです。</p> <p>R3 = チェックされている位置 R9 = DES</p>
854E	<p>回復機能でタスクを付加できませんでした。これはプログラム論理エラーです。</p> <p>R14 = Attach 戻りコード</p>
8552	<p>回復機能が無効なLTCEを受け取りました。これはプログラム論理エラーです。</p> <p>R2 = LTCB R3 = LTCE</p>
8556	<p>CAP または LSM の回復が要求されました。しかし、その LSM を LSMid テーブル内に見つけられませんでした。</p> <p>R2 = LSMid R6 = LSMid テーブル</p>
855A	<p>CAP またはLSMの回復が要求されました。しかし、指定された ITTにゼロのルーチンタイプがありました。</p> <p>R9 = RRPL</p>

HSC ホスト通信の異常終了理由コード

表 4-35 HSC ホスト通信の異常終了理由コード

リターンコード値	説明
9200	ESTAE エラーが起きました。 R2 = ESTAE エラー戻りコード
9201	ATTACH エラーが起きました。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。SLSHINITは、初期設定にエラーリターンコードを返します。 R2 = ATTACH エラー戻りコード
9202	未知のECBが通知されました。ディスパッチされたタスクは、通知された ECBを判別できませんでした。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9203	未知のリターンコードです。SLSHSWTは、呼び出し元にエラーリターンコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9204	CDS 方式の下方切り替えが行われようとしてしました。SLSHSWTは、呼び出し元にエラーリターンコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9205	現在通信方式は未知のものです。SLSHSWTは、呼び出し元にエラーリターンコードを返します。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9206	出口作業待ち行列にエントリを追加できません。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9207	VTAM 出口作業待ち行列にエントリを追加できません。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。
9208	VTAM 出口作業待ち行列のエントリタイプは未知のものです。STAE ルーチンによってダンプが取られ、再試行が行われます。

HSC メッセージの経路コードおよび記述子コード

次のリストは、メッセージ番号の経路コードおよび記述子コードに対する相互参照リストです。

メッセージに関連する経路コードがこの表にない場合は、そのメッセージはコマンドに対する応答です。この場合、メッセージはそのコマンドが発行されたコンソールにのみルーティングされます。

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0001I		5
SLS0002I		5
SLS0003I		5
SLS0004I		5
SLS0005I		5
SLS0006I		5
SLS0007I	11	5
SLS0010I		5
SLS0011I		5
SLS0013I		5
SLS0015I	2,11	5
SLS0016I	2,11	5
SLS0017I	2,11	5
SLS0018I		5
SLS0019I	2,11	5
SLS0020I		5
SLS0021I		5
SLS0022I		5
SLS0023I		5
SLS0024I	11	5
SLS0028I	11	5

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0029I	11	5
SLS0030I		2
SLS0031D	2,3,5,11	2
SLS0032I	2,11	4
SLS0033A	9	2
SLS0034I	9,11	5
SLS0035A	3,5,11	2
SLS0036I	3,5,11	4
SLS0037I	3,5,11	4
SLS0040I		5
SLS0041I		5
SLS0042I	3,11	4
SLS0045I		5
SLS0046I		5
SLS0047I		5
SLS0048I	11	5
SLS0049I	11	5
SLS0050I		5
SLS0053I		5
SLS0054I	3,11	5
SLS0055I		5
SLS0056I		5
SLS0057I	2,11	4
SLS0059I	3,11	5
SLS0060I		5
SLS0061I		5
SLS0062I		5
SLS0063I		5

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0068I		5
SLS0069I	2,11	5
SLS0070I	3,11	5
SLS0071I	2,11	5
SLS0072I	5,11	5
SLS0075D	3,5,11	2
SLS0076I	2,11	4
SLS0077I	3,5,11	4
SLS0078I	3,5,11	4
SLS0079I	3,5,11	4
SLS0080I	3,5,11	4
SLS0081I	3,5,11	4
SLS0082I	3,5,11	4
SLS0083I	3,5,11	4
SLS0085I	3,5,11	4
SLS0086I	3,5,11	4
SLS0087I	3,5,11	4
SLS0088D	3,5,11	2
SLS0089E	3,5,11	3
SLS0090I	3,5,11	4
SLS0091I	3,5,11	4
SLS0092I	3,5,11	4
SLS0093I	3,5,11	4
SLS0094E	3,5,11	11
SLS0096I	3,5,11	4
SLS0098A	3,5,11	2
SLS0099I	3,5,11	4
SLS0100D	3,5,11	2

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0101I		5
SLS0103E	3,11	11
SLS0104D	3,5,11	2
SLS0105A	3,5,11	2
SLS0107D	3,5,11	2
SLS0108D	3,5,11	2
SLS0109D	3,5,11	2
SLS0110I	3,5,11	4
SLS0111I	3,5,11	4
SLS0112E	3,11	11
SLS0113D	3,5,11	2
SLS0114D	3,5,11	2
SLS0115I	3,5,11	4
SLS0116I	3,5,11	4
SLS0117E	3,11	11
SLS0118D	3,5,11	2
SLS0119D	3,5,11	2
SLS0120E	3,11	11
SLS0121I	3,11	4
SLS0122D	3,5,11	2
SLS0123I	3,11	4
SLS0124I	3,5,11	4
SLS0125D	3,5,11	2
SLS0127I	3,11	4
SLS0128A	3,5,11	2
SLS0129I	2,11	4
SLS0130I	3,5,11	4
SLS0131I	3,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0132I	3,5,11	4
SLS0133I	3,5,11	4
SLS0134D	3,5,11	2
SLS0135I	3,5,11	4
SLS0136D	3,5,11	2
SLS0137E	3,11	11
SLS0138D	3,5,11	2
SLS0139I	3,5,11	4
SLS0140I	3,5,11	4
SLS0141I	3,5,114	4
SLS0142I	3,5,11	4
SLS0143I	3,5,11	4
SLS0144I	3,5,11	4
SLS0145I	3,5,11	4
SLS0146I	3,5,11	4
SLS0147I	3,5,11	4
SLS0148I	3,11	4
SLS0149I	3,11	4
SLS0154A	2,11	2
SLS0250D	3,5,11	2
SLS0251E	3,5,11	3
SLS0252I	3,5,11	4
SLS0254I	3,5,11	4
SLS0255E	3,5,11	3
SLS0256I	3,5,11	4
SLS0257I	3,5,11	4
SLS0258I	3,5,11	4
SLS0259A	3,5,11	2

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0261A	3,5,11	2
SLS0262A	3,5,11	4
SLS0263D	3,5,11	2
SLS0265A	3,5,11	2
SLS0266I	3,5,11	4
SLS0267A	3,5,11	2
SLS0268I	3,5,11	4
SLS0269I	3,5,11	4
SLS0301I	11	4
SLS0303I	3,11	4
SLS0306I	3,11	4
SLS0308I	3,11	4
SLS0310I	3,11	4
SLS0313E	2,11	11
SLS0315I	2,5	4
SLS0316I	2,5	4
SLS0317I	3,5,11	4
SLS0318I	2,5	4
SLS0319I	2,5	4
SLS0320I	2,11	4
SLS0360E	2,3,11	11
SLS0381A	2,3,11	11
SLS0404I	5,11	4
SLS0410I	3,5,11	4
SLS0411I	3,5,11	4
SLS0451I	2,11	4
SLS0452I	2,11	4
SLS0453I	3,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0454I	2,11	4
SLS0455I	2,11	4
SLS0456I	3,11	4
SLS0457I	3,11	4
SLS0458I	3,11	4
SLS0460I	2	4
SLS0500I	2	4
SLS0501I	2,11	4
SLS0503I	2,11	4
SLS0504I	2,11	4
SLS0505I	2,11	4
SLS0506I	2,3,5	4
SLS0507I	2,11	4
SLS0508I	2,11	4
SLS0509I	2,11	4
SLS0510I	2,11	4
SLS0511I	2,11	4
SLS0512E	2,11	3
SLS0518D	2,11	2
SLS0519I	2,11	4
SLS0520I	2,11	4
SLS0521I	2,11	4
SLS0522I	2,11	4
SLS0523I	5,11	4
SLS0524I	5,11	4
SLS0525I	2,11	4
SLS0527I	2,3,5	4
SLS0529I	5,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0530I	2,11	4
SLS0531E	2,5,11	3
SLS0545I	2,3,5,11	4
SLS0548I	3,11	4
SLS0600I		5
SLS0601I		5
SLS0602I		5
SLS0603I		5
SLS0604I		5
SLS0605I		5
SLS0606I		5
SLS0607I		5
SLS0608I		5
SLS0609I		5
SLS0610I	11	5
SLS0611I		5
SLS0612I	11	5
SLS0613I		5
SLS0651I	3,11	4
SLS0652I	3,11	4
SLS0653I	3,11	4
SLS0655I	3,11	4
SLS0660I	3,11	4
SLS0661E	3,11	11
SLS0662I	3,11	4
SLS0663I	3,11	4
SLS0664I	3,11	4
SLS0665E	3,11	11

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0666A	3,11	2
SLS0667I	3,11	4
SLS0668I	3,11	4
SLS0669A	3,11	2
SLS0670I	3,11	4
SLS0671I	3,11	4
SLS0672E	3,11	11
SLS0673I	3,11	4
SLS0674I	2,11	4
SLS0675E	3,11	3
SLS0676I	2,11	4
SLS0677I	3,11	4
SLS0678I	3,11	4
SLS0679E	2,11	11
SLS0680I	2,11	4
SLS0681I	3,11	4
SLS0682D	3,11	2
SLS0683I	3,11	4
SLS0684I	3,11	4
SLS0685I	3,11	4
SLS0686I	3,11	4
SLS0687I	11	4
SLS0688I	3,11	4
SLS0689I	3,11	4
SLS0690E	3,11	3
SLS0691I	2,3,5,11	
SLS0696A	3,11	4
SLS0697I	3,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0698I	3,11	4
SLS0699I	3,11	4
SLS0702I	2,11	4
SLS0704E	2,11	3
SLS0707I	11	4
SLS0708I	11	4
SLS0712I	11	4
SLS0713I	11	4
SLS0714I	11	4
SLS0715I	2,11	4
SLS0717I	2,11	4
SLS0719I	2,11	4
SLS0720I	2,11	4
SLS0721I	11	4
SLS0723I	2,11	4
SLS0724I	2,11	4
SLS0725E	2,5,11	3
SLS0726I	2,11	4
SLS0730I	2,3,5,11	4
SLS0745I	5,11	4
SLS0746I	5,11	4
SLS0747I	2,5,11	4
SLS0750I	2,11	4
SLS0751I	2,11	4
SLS0752I	2,11	4
SLS0760I	2,11	4
SLS0761E	2,11	3
SLS0762E	2,11	3

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0764I	2,5,11	4
SLS0765E	2,5,11	11
SLS0766E	2,5,11	3
SLS0767E	2,5,11	3
SLS0768E	2,5,11	3
SLS0769I	2,5,11	4
SLS0770I	2,5,11	4
SLS0805I	2,11	4
SLS0810I	2,11	4
SLS0850I	2,11	4
SLS0851I	2,11	4
SLS0852I	2,11	4
SLS0853I	2,11	4
SLS0854D	3,5,11	2
SLS0856D	3,5,11	2
SLS0857I	11	4
SLS0858I	11	4
SLS0860D	3,5,11	2
SLS0863I	2,11	4
SLS0864I	3,5,11	4
SLS0865I	2,11	4
SLS0866I	2,11	4
SLS0867E	3,5,11	11
SLS0868I	3,11	4
SLS0869D	3,5,11	2
SLS0870I	3,5,11	4
SLS0871I	3,5,11	4
SLS0873I	3,5,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0900I	3,11	4
SLS0901D	3,5,11	2
SLS0902D	3,5,11	2
SLS0903D	3,5,11	2
SLS0904I	3,11	4
SLS0905D	3,5,11	2
SLS0906E	3,5,11	11
SLS0907I	3,5,11	4
SLS0908I	3,5,11	4
SLS0909D	3,5,11	2
SLS0910I	3,5,11	7
SLS0911D	3,5,11	2
SLS0912I	3,5,11	4
SLS0913I	3,5,11	4
SLS0917I	11	4
SLS0923I	3,11	4
SLS0925D	3,5,11	2
SLS0926I	3,5,11	4
SLS0927A	3,5,11	2
SLS0928A	3,5,11	2
SLS0929I	3,5,11	4
SLS0931I	3,5,11	4
SLS0934D	3,5,11	2
SLS0935D	3,5,11	2
SLS0936D	3,5,11	2
SLS0937D	3,5,11	4
SLS0950I	2,11	7
SLS0951I	2,11	7

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS0952I	2,11	7
SLS0953I	2,11	4
SLS0954D	2,11	2
SLS0955E	2,11	11
SLS0973I	5,11	7
SLS0974A	5,11	7,11
SLS1000I	11	5
SLS1001I	11	5
SLS1002I	11	5
SLS1003I	11	5
SLS1004I	11	5
SLS1005I	11	5
SLS1007I	2,3,11	5
SLS1010I		5
SLS1011I		5
SLS1012I		5
SLS1014I	11	5
SLS1015I		5
SLS1016I		5
SLS1018I		5
SLS1026I		5
SLS1027I		5
SLS1028I		5
SLS1030I		5
SLS1031I	11	5
SLS1032I	11	5
SLS1033I	11	5
SLS1034I	11	5

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1035I		5
SLS1037I	11	5
SLS1038I	11	5
SLS1039I	11	5
SLS1040I	11	5
SLS1041I	11	5
SLS1042I	11	5
SLS1050I	11	5
SLS1051I	11	5
SLS1052I	11	5
SLS1071D	2,3,11	2
SLS1072I	11	4
SLS1074I	11	5
SLS1075D	3,5,11	2
SLS1250D	3,5,11	2
SLS1300D	2,3,11	2
SLS1301I	2,3	4
SLS1317I	2,11	4
SLS1320I	1,3,5,11	2,7
SLS1403I	5,11	11
SLS1406I	5,11	11
SLS1407I	3,5,11	4
SLS1408I	3,5,11	4
SLS1409I	5,11	11
SLS1450I	11	4
SLS1500I	2,11	4
SLS1501I	2,11	4
SLS1502I	11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1505I	2,3,5,11	4
SLS1506I	2,3,5,11	4
SLS1507I	2,11	5
SLS1508I	2,11	5
SLS1509I	2,11	5
SLS1510I	2,11	5
SLS1512I	2,11	5
SLS1513I	2,3,5,11	4
SLS1515I	2,11	4
SLS1519I	2,11	5
SLS1600I	11	5
SLS1601I	11	5
SLS1602I		5
SLS1603I		5
SLS1604I		5
SLS1605I		5
SLS1606I		5
SLS1607I		5
SLS1608I		5
SLS1610I		5
SLS1611I		5
SLS1612I		5
SLS1613I		5
SLS1614I		5
SLS1615I		5
SLS1616I		5
SLS1617E		5
SLS1618I		5

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1619I		5
SLS1620I		5
SLS1625I		5
SLS1626I		5
SLS1627I		5
SLS1628I		5
SLS1629I		5
SLS1630I		5
SLS1631I		5
SLS1616I		5
SLS1650E	2,3,11	11
SLS1651I	2,3,11	4
SLS1652I	2,3,11	4
SLS1653D	2,3,11	2
SLS1654I	2,3,11	4
SLS1655I	2,3,11	4
SLS1656E	2,3,11	11
SLS1657I	2,3,11	4
SLS1658E	2,3,11	11
SLS1659E	2,3,11	11
SLS1660E	2,3,11	3
SLS1661I	2,11	4
SLS1662I	2,11	4
SLS1663I	2,3,11	11
SLS1664A	2,3,11	11
SLS1665E	2,11	4
SLS1700I	2,11	4
SLS1702I	2,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1703I	2,11	11
SLS1704I	2,11	4
SLS1705E	2,11	11
SLS1706E	2,11	11
SLS1708I	2,11	5
SLS1709I	2,11	11
SLS1710E	2,11	11
SLS1711I	2,11	11
SLS1712I	2,11	4
SLS1713I	2,11	5
SLS1714I	2,11	5
SLS1715I	11	4
SLS1717I	2,11	4
SLS1718I	2,11	4
SLS1719I	2,11	4
SLS1720E	2,11	5
SLS1721I	2,11	4
SLS1722I	2,11	4
SLS1723I	2,11	4
SLS1724I	2,11	4
SLS1725I	2,11	5
SLS1727I	2,11	11
SLS1729I	2,11	11
SLS1730I	2,11	4
SLS1731I	2,11	11
SLS1733I	2,11	11
SLS1735I	2,11	4
SLS1737E	2,11	3

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1738E	2,11	3
SLS1900I	2,11	5
SLS1901I	2,11	4
SLS1902D	2,11	4
SLS1903I	2,11	4
SLS1904E	2,11	3
SLS1905I	2,11	4
SLS1906I	2	4
SLS1950I		5
SLS1951I		5
SLS1952I		5
SLS1953I	2,11	5
SLS1954I		5
SLS1955I		5
SLS1956I		5
SLS1957I		5
SLS1958I		5
SLS1959I	5	5
SLS1960I	5	5
SLS1961I	5	5
SLS1962I	2,11	4
SLS1963I	2,11	4
SLS1964I		5
SLS1965I		4
SLS1966I	2,11	4
SLS1969I	2,11	4
SLS1970I	11	4
SLS1971I	2,11	4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS1972D	2,11	4
SLS2008I	11	5
SLS2009I	11	5
SLS2011I		5
SLS2012I		5
SLS2013I		5
SLS2014I	11	5
SLS2033I		5
SLS2034I		5
SLS2038I		5
SLS2039I		5
SLS2075I	11	2
SLS2080I	3,5,11	4
SLS2081I	3,5,11	4
SLS2082I	3,5,11	4
SLS2102D	3,5,11	2
SLS2108D	3,5,11	2
SLS2114D	3,5,11	2
SLS2124I	3,5,11	4
SLS2126I	3,5,11	2
SLS2154I	11	5
SLS2155I	11	5
SLS2169I	11	5
SLS2250I	3,11	4
SLS2251A	3,5,11	2
SLS2252A	3,5,11	2
SLS2253I	3,11	4
SLS2254A	3,5,11	2

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS2255I	3,5,11	2
SLS2256I	3,5,11	2
SLS2257I	3,5,11	4
SLS2258I	3,5,11	4
SLS2259A	3,5,11	2
SLS2260I	3,5,11	2
SLS2261I	3,5,11	2
SLS2262I	3,5,11	4
SLS2263I	3,5,11	4
SLS2264E	3,11	11
SLS2267I	3,5,11	4
SLS2276I	3,5,11	4
SLS2303I	3,11	4
SLS2305I	3,11	4
SLS2375I	20	10
SLS2412I	3,5,11	4
SLS2450E	2,11	3
SLS2459I	2,11	4
SLS2460I	2,11	4
SLS2463I	2,3,11	4
SLS2501I	2,11	4
SLS2502I	2,11	4
SLS2526I	2,11	4
SLS2528I	2,11	4
SLS2550I	3,5,11	2
SLS2559I	3,5,11	2
SLS2580E	3,5,11	2
SLS2581A	3,5,11	2

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS2610I		5
SLS2615I		5
SLS2616D		5
SLS2617I		5
SLS2618I		5
SLS2620I		5
SLS2621I		5
SLS2622I		5
SLS2623I		5
SLS2624I		5
SLS2625I	11	5
SLS2627I		5
SLS2628I		5
SLS2629I	11	5
SLS2630I		5
SLS2631I		5
SLS2632I		5
SLS2633E		4
SLS2635I		5
SLS2636A	9	2
SLS2637I		4
SLS2639I	5	4
SLS2640I		5
SLS2641I		5
SLS2642I		5
SLS2643I		5
SLS2644I		5
SLS2645I		5

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS2646I		5
SLS2647I	2,11	4
SLS2648I	2,11	4
SLS2651I	2,3,11	4
SLS2654I		5
SLS2656I		5
SLS2701E	2,11	11
SLS2702E	2,11	11
SLS2716I		4,8,9
SLS2740I	5	11
SLS2741E	2,11	11
SLS2850I	3,5,11	4
SLS2901D	3,5,11	2
SLS2911D	3,5,11	2
SLS2912I		5
SLS2914I	11	5
SLS2915I	11	5
SLS2916I	11	4
SLS2934I	3,5,11	4
SLS2962I	3,5,11	4
SLS2964E	3,5,11	11
SLS2972I	11	5
SLS2973I	11	5
SLS2974I	2,11	4
SLS2976I	2,11	4
SLS2977I	2,11	4
SLS2978A	9	2
SLS2979I		4

表 4-36 HSC メッセージの経路コードと記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS2980I		5
SLS2984D	3,5,11	2
SLS2985I		5
SLS2986I		5
SLS4266A	3,5,11	2
SLS4306I	1,3,11	2,7
SLS4308I	1,3,11	2,7
SLS4310D	1,3,11	2
SLS4451I	2,3,11	4
SLS4453I	2,3,11	4
SLS4454I	2,3,11	4
SLS4455E	2,3,11	4
SLS4650E	2,3,11	3
SLS4736E	2,11	11
SLS4737E	2,11	11
SLS4738I	2,11	11
SLS6001I	3,11	4
SLS6002I	3,11	4
SLS6004I	3,11	4
SLS6009I	11	5
SLS6010I	11	5
SLS6011I	11	5

SMC リターンコードおよび理由コード

この章では、SMC によって出力される、次の各コードについて説明します。

- SMC UUI リターンコードおよび理由コード
- SMC ASCOMM のリターンコード
- SMC 通信コンポーネントのリターンコード

SMC UUI リターンコードおよび理由コード

次のリターンコードは、外部ユーザーと TAPEPLEX または SMC との通信のために、SMC UUI コンポーネントによって設定されます。

UUI R15 処理コード

UUI 処理中、R15 には、要求の現在のステータスを識別する目的で次のいずれかの値が含まれています。

表 5-1 UUI R15 処理コード

10 進数値	16 進数値	説明
1	1	返されるデータがあります
2	2	すべてのデータが返されました (EOF)
3	3	次データ読み取りタイムアウト。追加データが使用可能になる前に次データ読み取りタイムアウトが発生しました

UUI 機能のリターンコード

NCOMRSRC フィールドには、エラーの重要度を示す次のいずれかの値 (要求が正常終了した場合は 0) が含まれます。

表 5-2 UUI 機能のリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
4	4	コマンドが警告メッセージを発行しました
8	8	コマンドがエラーメッセージを発行しました
12	X'000C'	コマンドが致命的なエラーを発行しました
16	X'000A'	異常終了が検出されました

UUI 機能の理由コード

NCOMRSRC フィールドがゼロでない場合、NCOMRSRS フィールドには次のいずれかの値が含まれます。

表 5-3 UUI 機能の理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
4	4	要求の長さエラー
8	8	出口が指定されていません
12	X'000C'	要求の解析エラー
16	X'000A'	要求が検出されません
20	X'0014'	コマンド発行源のエラー
24	X'0018'	LINKLIB が許可されていません
28	X'001C'	サーバーのリリースに互換性がありません
32	X'0020'	VTCS 拡張管理機能が必要です
36	X'0024'	要求が取り消されたか、HSC がアクティブではありません
40	X'0028'	誤った形式の XML をサーバーから受信しました
48	X'0030'	無効なパラメータ値です
52	X'0034'	VSM がサーバー上でアクティブではありません
56	X'0038'	CSV パラメータのキーワードエラー
60	X'003C'	CSV パラメータの形式エラー
64	X'0040'	リモートファイルの I/O はサポートされていません

表 5-3 UUI 機能の理由コード (続き)

10 進数値	16 進数値	説明
68	X'0044'	必要なサービスレベルにありません
72	X'0048'	ユーザー ID が承認されていません
76	X'004C'	指定された UUI タスクが見つかりません
80	X'0050'	動的再構成がアクティブです
84	X'0054'	トランザクションのタイムアウトが発生しました
92	X'005C'	サブタスクで異常終了が発生しました。
96	X'0060'	関数の処理エラー
300	X'012C'	SMC はアクティブではありません
301	X'012D'	UUI 要求のヘッダーエラー
302	X'012E'	Tapeplex がエラーのために停止しています
304	X'0130'	UUI がサーバーのリリースでサポートされていません
305	X'0131'	XAPI はリリースではサポートされていません
308	X'0134'	要求タイプが無効です
312	X'0138'	新しいトークン取得中のエラー
316	X'013C'	モジュール ロード エラー
320	X'0140'	タスク接続エラー
324	X'0144'	UUI に対してアクティブな TAPEPLEX がありません
328	X'0148'	TAPEPLEX または LVT のアドレスがありません
332	X'014C'	TAPEPLEX 名が見つかりません
336	X'0150'	TAPEPLEX が無効になっています
340	X'0154'	TAPEPLEX は MVS/CSC です
344	X'0158'	TAPEPLEX アドレスが無効です
348	X'015C'	NCSCOMM PLIST が無効です
352	X'0160'	OUTPUT の PLIST が無効です
356	X'0164'	CSV パラメータの整合性がありません
360	X'0168'	一致しない tapeplex 名です
364	X'016C'	LOCALHSC のローカル HSC がありません
368	X'0170'	Linklib は許可されていません

表 5-3 UUI 機能の理由コード (続き)

10 進数値	16 進数値	説明
372	X'0174'	リモート XML の解析エラー
373	X'0175'	要求していない XML が返されました
374	X'0176'	XML バッファ処理のエラー
376	X'0178'	XML 開始タグが見つかりません
380	X'017C'	XML 終了タグが見つかりません
384	X'0180'	SMC COMM からのエラー。HSC UUI のメッセージとコードを参照してください
388	X'0184'	ユーティリティにローカル HSC を使用
392	X'0188'	応答長が 0 です
396	X'018C'	応答長が長すぎます
400	X'0190'	要求されたサービスが非アクティブです
404	X'0194'	SMC サービスエラーが非アクティブです
420	X'01A4'	ユーティリティのリリースが SMC サブシステムと互換性がありません
424	X'01A8'	要求に対して返されたデータがありません
428	X'01AC'	UUI クライアントの早期シャットダウン

SMC ASCOMM のリターンコード

次のリターンコードは、MVS のインターおよびイントラアドレス空間通信のために、SMC ASCOMM コンポーネントによって設定されます。これらのコードは UUI 要求にも返される可能性があります。

表 5-4 SMC ASCOMM のリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
500	X'01F4'	SMC STOP コマンドが発行されたかタスクがキャンセルされました
504	X'01F8'	SMCQASP のバージョンが不正です
508	X'01FC'	最大 SMCQUEUE キューサイズです
512	X'0200'	GETMAIN ストレージがありません
516	X'0204'	データスペースストレージがありません
520	X'0208'	ASCOMM モジュールインデックスが無効です
524	X'020C'	QASTOKN 取得エラー
528	X'0210'	応答のタイムアウトが発生しました
532	X'0214'	最終 ACK のタイムアウトが発生しました
536	X'0218'	インデックス化されたモジュールが見つかりません
540	X'021C'	非同期サービスはすでに進行中であり、要求はバイパスされます
544	X'0220'	TAPEPLEX (非 SMC) ASCOMM タイムアウトが発生しました
548	X'0224'	TAPEPLEX (非 SMC) ASCOMM エラーが発生しました
552	X'0228'	TAPEPLEX (非 SMC) ASCOMM 異常終了が発生しました
560	X'0230'	ASCOMM タスクが異常終了しました

SMC 通信コンポーネントのリターンコード

次のリターンコードは各種 SMC 通信コンポーネントによって設定されます。これらのコードは UI 要求にも返される可能性があります。

次の戻りコードは、ローカルまたはリモート通信のために、SMC TAPEPLEX 通信によって設定されます。

表 5-5 SMC 通信コンポーネントのリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
600	X'0258'	TAPEPLEX のアクティブな COMMPATH がありません
604	X'025C'	TAPEPLEX が無効化されました
608	X'0260'	TAPEPLEX サブシステムは停止しています
612	X'0264'	TAPEPLEX サブシステムが無効です
616	X'0268'	TAPEPLEX サブシステムが SSCVT 上にありません
620	X'026C'	TAPEPLEX サブシステムのリリースエラー
624	X'0270'	TAPEPLEX が VLE です

次のリターンコードは、SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンによって設定されます。

表 5-6 SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンのリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
700	X'02BC'	リモートトランザクションが無効です
708	X'02C4'	TCPIP setsockopt() エラー
712	X'02C8'	TCPIP socket() エラー
716	X'02CC'	TCPIP setsockopt() エラー
720	X'02D0'	空きポートがありません (SMCCTCPP)
724	X'02D4'	TCPIP bind () エラー
728	X'02D8'	TCPIP connect () エラー
732	X'02DC'	TCPIP send () エラー
736	X'02E0'	TCPIP recv () エラー
740	X'02E4'	TCPIP タイムアウトエラー
744	X'02E8'	TCPIP listen() エラー
748	X'02EC'	TCPIP getclientid() エラー
752	X'02F0'	TCPIP accept() エラー
756	X'02F4'	TCPIP givesocket() エラー
760	X'02F8'	TCPIP takesocket() エラー
762	X'02FA'	サーバーのホスト名が無効です
763	X'02FB'	TCP/IP がアクティブではありません
764	X'02FC'	TCPIP getsockname() エラー
768	X'0300'	TCPIP NTOP/PTON エラー
772	X'0304'	TCPIP selectex() エラー
776	X'0308'	UI シャットダウン用のソケットがありません
780	X'030C'	SEND selectex() での例外 FDS
784	X'0310'	RECV selectex() での例外 FDS

次のリターンコードは、SMC CGI ルーチンまたは HTTP サーバールーチンによって設定されます。

表 5-7 SMC CGI ルーチン/HTTP サーバールーチンのリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
800	X'0320'	HTTP タスク制限を超えました
804	X'0324'	CGI モジュールが見つかりません
808	X'0328'	CGI モジュールが異常終了しました
812	X'032C'	CGI モジュールは許可されていません
816	X'0330'	CGI モジュールはサポートされていません
820	X'0334'	CGI モジュールがエラーを返しました
832	X'0340'	CGI 入力の機能エラー
836	X'0344'	CGI 出力の機能エラー
840	X'0348'	CGI サービスの機能エラー
844	X'034C'	WEB ブラウザからの要求は承認されていません
848	X'0350'	HTTP サーバーが終了しました
996	X'03E4'	不明な論理エラー

VTCS コード

この章では、VTCS によって出力される、次の各コードについて説明します。

- VTCS リターンコードおよび理由コード
- VTCS 異常終了理由コード
- VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード

VTCS リターンコードおよび理由コード

表 6-1 VTCS 戻りコードおよび理由コード

リターンコード値	説明
X'029A'	VTCS内部エラーです。
X'6A00'	無効なREQMAN 機能呼出しです。
X'6A01'	終了が要求されました。
X'6A02'	レコードがロックされ、要求が待ち行列に入れ直されました。
X'6A03'	要求待機が時間切れになりました。
X'6A04'	無効なVTD デバイス番号です。
X'6A05'	ドライブからボリュームがマウント解除されていません。
X'6A06'	余分なRQM ECB が通知されました。
X'6A07'	無効なサブプール名です。
X'6A08'	使用可能なMVC がありません。
X'6A09'	VTV の位置を確認できません。
X'6A0A'	無効なボリューム (VOLL) リストです。
X'6A0B'	無効な要求マネージャー (RQM) パラメータです。
X'6A0C'	前の要求がパージされたか、あるいは待ち行列に入れ直されました。
X'6A0D'	MVC レコードのロックが保持されていません。
X'6A0E'	VTV レコードのロックが保持されていません。
X'6A0F'	RQM ではなくターゲットが待ち行列に入れ直されました。
X'6A10'	無効な要求 (VREQ) です。
X'6A11'	MVC をマウントできませんでした。
X'6A12'	VCI 要求をデコードできませんでした。
X'6A13'	リコール中にドライブの状態が更新されました。
X'6A14'	無効なVTSSサブシステム名です。
X'6A15'	オペレータによって要求が中止されました。
X'6A16'	以前のエラーによってVTV が隔離されています。
X'6A17'	MVCの状況が変化しました。
X'6A18'	PGMI呼出しからの異常な戻りです。

表 6-1 VTCS 戻りコードおよび理由コード (続き)

リターンコード値	説明
X'6A19'	RTD デバイス番号が誤っています。
X'6A1A'	メディアタイプまたはデバイスタイプが誤っています。
X'6A1B'	VTV はすでに使用されています。
X'6A1C'	スクラッチのマウントがバイパスされました。
X'6A1E'	VTSS はオフラインです。
X'6A1F'	VTV がVTSS にありません。
X'6AFE'	REQMAN 呼出しでABEND が発生しました。
X'6AFF'	要求がすでにページされています。
X'A0A0'	VSM システムがダウンしています。
X'A0A1'	MVC カートリッジが見つかりません。
X'A0A2'	VTV が見つかりません。
X'A0A3'	VTV カートリッジがスクラッチされました。
X'A0A4'	VTV カートリッジがアンスクラッチされました。
X'A0A5'	VTV カートリッジがスクラッチ状態にありません。
X'A0A6'	VTV カートリッジがすでにスクラッチされています。
X'A0A7'	スクラッチサブプールが見つかりません。
X'A0A8'	VTD デバイスアドレスが見つかりません。
X'A0A9'	VTV が使用中です。
X'A0AA'	不正な VOLSER が指定されました。
X'A0AB'	VTSS が見つかりません。
X'A0AC'	VCI応答エラーです。
X'A0AD'	RMM APIエラーです。
X'A0AE'	RMMのVTVが非スクラッチです。

VTCS 異常終了理由コード

図 6-1 VTCS 異常終了理由コード

リターンコード値	説明
0607	PGMI の「call until EOF」オプションの使用が正しくありません
6600	接続の失敗
6601	ESTAE を確立できません
6602	SWSMAIN が未知の TURB タイプを受信しました
6603	ゼロ以外の REQMAN RC
6607	ベクトルフィールド内のベクトルパラメータのエラー
6608	ベクトルフィールド内のパラメータが未定義です
6609	ベクトルパラメータが SWSVETAB にありません
660A	ECAMVECT 機能が無効です
660B	要求されたパラメータは応答されません
660C	HSC 登録の失敗
660D	HSC ASCOMM の障害
660E	最大 AUDIT サブタスクカウントを超えました
6610	タスクテーブル項目を超えるタスク数
6612	イベント通知要求が無効です
6613	誤った VTV バージョンが検出されました
6614	LOGUTIL 処理中に内部エラーが発生しました
6661	誤った状態マネージャーの呼び出しです
6A00	無効なREQMAN 機能呼び出しです。
6A0B	無効な要求マネージャー (RQM) パラメータです
6A0D	MVC レコードのロックが保持されていません
6A0E	VTV レコードのロックが保持されていません
6A0F	再度キューに入れるターゲットが RQM ではありません
6A10	無効な要求 (VREQ) です。
6A18	PGMI呼出しからの異常な戻りです。
6A21	関数またはパラメータが間違っています

図 6-1 VTCS 異常終了理由コード

6A23	CDS 入出力エラー
6A24	ヘッダーレコードが正しくありません
6A3A	Coupling Facility での内部エラー
6A39	Coupling Facility へのアクセス中にエラーが発生しました

VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード

次のリストは、メッセージ番号の経路コードおよび記述子コードに対する相互参照リストです。

メッセージに関連する経路コードがこの表にない場合は、そのメッセージはコマンドに対する応答です。この場合、メッセージはそのコマンドが発行されたコンソールにのみルーティングされます。

表 6-2 VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
02I		
03I		
04I		
05I	2,3,5	4
06I		
07I		
08E	2,3,5	3
09I	3	4
10E		
11I	2,3,5	4
12E		
13E	2,3,5	3
14I	3,5	4
15I	2,3,5	4
16I	2,3,5	4
17E	2,3,5	3
18E	2,3,5	3
19E	2,3,5	3
20E	2,3,5	3
21E	2,3,5	3
22I		

表 6-2 VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
23I		
24I		
25E	2,3,5	3
26E	2,3,5	3
27E	2,3,5	3
28E	2,3,5	3
29E	2,3,5	3
30I	3,5	4
31I	3,5	4
32I	2,3,5	4
33I	2,3,5	4
34I	3,5	4
35I	3,5	4
36I	3,5	4
37I	3,5	4
38I	3,5	4
39I	2,3,5	4
40I	3,5	4
41I	3,5	4
42I	3,5	4
43I	3,5	4
44I	3,5	4
45I	3,5	4
46I	3,5	4
47I	3,5	4
48I	3,5	4
49I	3,5	4
50I	3,5	4

表 6-2 VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS6651E	2,3,5	11
SLS6652I	2,3,5	4
SLS6653I	3,5	4
SLS6654I	3,5	4
SLS6655I	3,5	4
SLS6656I		
SLS6657E	2,3,5	3
SLS6658E	2,3,5	3
SLS6659I	2,3,5	11
SLS6660I	2,3,5	4
SLS6661E	2,3,5	11
SLS6662E	2,3,5	11
SLS6663I	7	11
SLS6665I	3,5	4
SLS6666E	2,3,5	11
SLS6667I	3,5	4
SLS6668I	3,5	4
SLS6669E	2,3,5	11
SLS6670E	2,3,5	3
SLS6671E	2,3,5	3
SLS6672I		
SLS6673I	3,5	4
SLS6674I		
SLS6675E	2,3,5	3
SLS6676E	2,3,5	11
SLS6677I		
SLS6678E	2,3,5	11
SLS6679E	2,3,5	11

表 6-2 VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS6680E	2,3,5	11
SLS6681I	3,5	4
SLS6682I		
SLS6683I	3,5	4
SLS6684I	3,5	4
SLS6685I	3,5	4
SLS6686I	3,5	4
SLS6687I	3,5	4
SLS6688E	3,5	3
SLS6689E	3,5	3
SLS6690E	3,5	3
SLS6691I	3,5	4
SLS6692E	2,3,5	3
SLS6693I	3,5	4
SLS6694E	2,3,5	3
SLS6695E	2,3,5	11
SLS6696I	3,5	4
SLS6697I	3,5	4
SLS6698I	2,3,5	4
SLS6699E	2,3,5	11
SLS6700E	2,3,5	11
SLS6701I	2,3,5	4
SLS6702E	2,3,5	3
SLS6703I	3,5	4
SLS6704E	2,3,5	3
SLS6727I	11	7
SLS6740E	2,3,5	4
SLS6741I	2,3,5	11

表 6-2 VTCS メッセージの経路コードおよび記述子コード (続き)

メッセージ ID	経路コード	記述子コード
SLS6742I	2,3,5	4
SLS6743E	2,3,5	11
SLS6744I	2,3,5	3
SLS6745I	2,3,5	4
SLS6746E	2,3,5	11
SLS6747E	2,3,5	3

ECAM および VLE UII のリターンコード

ECAM メッセージの完了コードおよびリターンコード

SLS メッセージ (SLS6684I、SLS5079E、SLS5080E、および SLS6751I など) には、ECAM 完了コード (CC) および戻りコード (RC) が含まれます。次の表では、これらのコードについて説明します。

表 7-1 ECAM 完了コード、戻りコードとその説明

完了コード	リターンコード	説明
00	00	正常に完了しました。
00	02	要求が非同期処理のために受け付けられました。
00	100	成功、目録情報が終了しました。
00	101	成功、要求を処理中です。
00	103	成功、データを損失して完了しました。 警告: MVCからの不良なリコールの可能性あります。
無効なキー		
02	01	キーパラメータに一致するデータがありません。
無効なパラメータ – パラメータカウントが不正 – 非同期エラー		
03	00	パラメータフィールドの値が不正です。
03	03	ベクターフィールドのエラーです。
03	08	チェックサムが不正です。
03	09	ベクターフィールドの値が重複しています。
04	02	必要なパラメータカウントが正しくありません。

表 7-1 ECAM 完了コード、戻りコードとその説明 (続き)

完了コード	リターンコード	説明
04	03	変更値が指定されていません。
04	04	キー・パラメータカウントが正しくありません。
05	106	IUP の隔離が原因で RTD にアクセスできません。
05	107	RTD 要求が取り消されました。
05	108	ユーザーの処理については、743 ページの「CC=5 RC=108」を参照してください。
05	109	ユーザーの処理については、745 ページの「CC5 RC109」を参照してください。
05	111	ユーザーの処理については、745 ページの「CC5 RC111」を参照してください。
05	112	ユーザーの処理については、746 ページの「CC5 RC112」を参照してください。
05	113	ユーザーの処理については、746 ページの「CC5 RC113」を参照してください。
05	114	ユーザーの処理については、746 ページの「CC5 RC114」を参照してください。
05	115	ユーザーの処理については、747 ページの「CC5 RC115」を参照してください。
05	116	ユーザーの処理については、747 ページの「CC5 RC116」を参照してください。
05	117	ユーザーの処理については、747 ページの「CC5 RC117」を参照してください。
05	118	ユーザーの処理については、748 ページの「CC9 RC118」を参照してください。
05	158	実際のブロック ID が予期されたブロック ID に一致しません
対立するパラメータ		
07	00	このパラメータはほかのパラメータと対立しています。
リソース不足		
08	19 または 119	VTV の格納庫がいっぱいです。
08	120	バックエンド容量に空きがありません。
要求に対するサブシステムの不良な状態		
09	30	キャッシュの再初期設定により操作が中断され、失敗しました。

表 7-1 ECAM 完了コード、戻りコードとその説明 (続き)

完了コード	リターンコード	説明
09	121	VTV が使用中です。
09	122	VTV の位置 – VTV が CDS ではなくバッファににあります。 VTSSAUDIT を実行して正しい位置にしてください。
09	123	VTV が存在しません。
09	124	VTD が使用中です。
09	125	VTV の格納庫を使用できません。
09	126	VTV が破損しています。
09	127	ユーザーの処理については、 748 ページの「CC9 RC127」 を参照してください。
09	128	ユーザーの処理については、 748 ページの「CC9 RC128」 を参照してください。
09	129	ユーザーの処理については、 749 ページの「CC9 RC129」 を参照してください。
09	131	RTD に対する要求はありません。VTSS のウォームブート後に VTCS はクリーンアップを実行しています。これは情報メッセージです。
09	132	ユーザーの処理については、 749 ページの「CC9 RC132」 を参照してください。
09	133	ユーザーの処理については、 749 ページの「CC9 RC133」 を参照してください。
09	135	ユーザーの処理については、 749 ページの「CC9 RC135」 を参照してください。
09	139	VTV は VTSS によって回復中です。
09	140	VTCS が使用するために予約、VTSS が生成したメッセージではありません。
クラスタ VTSS		
09	141	NLK ポートが RTD に接続されていません(別の VTSS に接続、またはまったく接続なし)。
09	142	NLK ポートが別の VTSS に接続されていません(RTD に接続、またはまったく接続なし)。
09	143	入力されたサブシステム名が、セカンダリ VTSS の実際の名前と一致しません。
09	144	ユーザーの処理については、 750 ページの「CC9 RC144」 を参照してください。
09	145	ECART はサポートされていません。
09	146	VDID への論理パスが確立されていません。

表 7-1 ECAM 完了コード、戻りコードとその説明 (続き)

完了コード	リターンコード	説明
09	147	62000 ページの VTV はサポートされていません。
09	148	2GB または 4GB の仮想カートリッジタイプはサポートされていません。
09	149	要求は ESCON インタフェースではサポートされていません。
09	150	同期レプリケーションがタイムアウトにより失敗しました。
09	151	CLINK VDID は別の CLINK によってすでに使用されています。
09	152	CLINK VDID がすでに割り当てられている VDID と一致しません。
09	153	MVC の位置が失われました。
09	154	スタックされたマイグレーション待ち行列がいっぱいです。
09	155	マイグレーション、VTVID の重複。
09	157	ICE カードは RTD パス 0 と 1 のみをサポートします。
09	159	RTD は ALP をサポートしません
09	160	T10K-C ドライブは要求をサポートしません
09	161	RTD が ALP です
09	162	TTFB VTD はすでにマウント済みです
09	163	T10K-B ドライブタイプのパラメータが無効です
09	164	T10K-C ドライブタイプのパラメータが無効です
09	165	RTD 名が VSM6 に定義されていません
09	166	VTD がアクティブです
10	00	前提条件の値がサブシステムでの値と一致しません。
仮想テープメディアのエラー		
97	137	VTV にエラーがあります。 警告: MVC からの不良なリコールとデータチェックの可能性があり ます。
98	01	メッセージが終了していません。
98	02	自己定義型の情報が無効です。
98	03	このメッセージに対する予測されないパラメータ。
98	04	メッセージヘッダーのメッセージ・タイプが無効です。

表 7-1 ECAM 完了コード、戻りコードとその説明 (続き)

完了コード	リターンコード	説明
98	05	要求メッセージヘッダーにゼロ以外の予約フィールドがあります。
98	06	メッセージのパラメータが重複しています。
98	156	VDID パラメータは必須です。
99	03	要求を処理できません - サポート機能が機能していません。
構成または通信エラー		
254	-	VTCS から VTSS への通信に障害があります。VTCS が ECAM-T メッセージを送信するために使用できる VTD がありません。 アクション: VTSS がホストに対してオンラインか、サブシステム名が正しいか確認して、HSC をバウンスします。
255	-	VTCS から VTSS への通信に障害があります。考えられる原因: (1) VTSS 名が変更された (2) VTSS のハードウェアがダウン (3) VTSS に DAC がある。 アクション: すべてに異常がないか確認したら、HSC をバウンスします。
255	12	メッセージ SLS6698I で報告された VTD に対する EXCP が、インタフェース制御チェック以外のエラーで失敗しました。
255	16	メッセージ SLS6698I で報告された VTD に対する EXCP が、インタフェース制御チェックで失敗しました。
255	20	デバイスへのパスが存在しないため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に対する EXCP を発行できませんでした。
255	24	UCBLOOK マクロがゼロ以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に対する EXCP を発行できませんでした。
255	28	IOSCAPU マクロがゼロ以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に対する EXCP を発行できませんでした。

CC=5 RC=108

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=108

説明: ドライブの問題または現在マウントされている MVC の問題を RTD が報告しています。

システム動作: VTCS ソフトウェアは戻された ERPA コードを解釈して、適切なシステムの処理を判断します。メッセージ SLS6684I のあとに次のメッセージが表示されます。

SLS6625E RTD DDDDDD REPORTED RRRRRRRR:XXXXXXXXXX

上記の RRRRRRRR は、問題のメッセージテキストです。たとえば、次のようなテキストがあります。

- WRITE DATA CHECK
- PATH EQU CHK

■ DRIVE EQU CHK

そして XXXXXXXXXXXX は、3 バイト目に ERPA コードが格納されたセンスバイトです。3 バイト目から、VTCS は次のような、実行すべき適切なアクションを決定します。

- 別の RTD への MVC のスワップを開始する。
- RTD を保守モードにする。

スワップが開始されると、メッセージ SLS6625E の後に、スワップが発行され MVC のスワップが認識されたことを示す、次のメッセージが表示されます。

SLS6605I INITIATING SWAP OF MVC VVVVVV FROM RTD DDDDDD

ユーザーの応答：

- スワップが成功したら、StorageTek ハードウェアサポートに連絡する必要はありません。
- スワップが失敗し、次のメッセージが表示される場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡して、メッセージ SLS6625E の内容を知らせてください。

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6662E RTD DDDDDD PUT IN MAINTENANCE MODE BECAUSE OF ERROR

- スワップが開始されず、メッセージ SLS6625E の直後に次のメッセージが表示される場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、SLS6625E メッセージの内容を送信してください。

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6662E RTD DDDDDD PUT IN MAINTENANCE MODE BECAUSE OF ERROR

さらに、導入先のサポートサービスに次の操作を依頼します。

1. MVC レポートを実行して、MVC の状態を確認します。
2. 状態に B (破損) または D (データチェック)、もしくはその両方が表示されている場合、イジェクトとともに MVC をドレインします。
3. MVC からすべての VTV がドレインされたら、テープ分析ユーティリティーでカートリッジを調べて、カートリッジに問題があるかどうかを判断します。
4. カートリッジを MVC としてサービスに戻す場合は、イジェクトせずに 2 回目の MVC DRAIN を発行します。

ドレイン処理で MVC からすべての VTV をドレインできず、これらの VTV の二重コピーが存在しない場合、カートリッジを回復するには StorageTek ハードウェアサポートに送付してください。

CC5 RC109

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=109

説明: VTSS と RTD 間に通信エラーがあります。この状態の原因には、MVC が RTD にマウントされ、RTD がドライブまたはケーブルの問題で作動不能になっていることが考えられます。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: MVC を照会して、診断の目的で SYSLOG に表示してから、次のコマンドを使用して RTD をオフラインにします。

.VT Q MVC (volser)

(MVC の状態を確認)

.VT Q RTD (rtd-id)

(MVC が RTD にマウントされているかどうかを確認)

SYSLOG の表示に MVC が RTD にマウントされていないと示されている場合、次のコマンドを実行して RTD をオフラインにします。

.VT V RTD (rtd-id) OFFline

MVC が RTD にマウントされている場合、まず RTD をオンラインにしてから、**RTD から MVC をアンロードするためにオフラインにします**。次のコマンドを発行します。

.VT V RTD (rtd-id) ONline

.VT V RTD (rtd-id) OFFline

StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、RTD アドレスと MVC の情報を提示してください。

CC5 RC111

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=111

説明: 実テープカートリッジ外部の volser が内部ラベルと一致しません。これは外部ラベルの誤りが原因であるか、RTD ケーブルの問題を示している可能性があります。

システム動作: マウント要求は失敗します。

ユーザーの応答: 次の手順を実行します。

1. 次のコマンドで RTD を照会し、MVC volser を調べます。

.VT Q RTD (rtd-id)

2. RTD を表示して、HSC View コマンドで外部ラベルが MVC の予期された volser に一致するか確認します。

(HSC prefix) VIEW DR ADDRESS(rtd-id)

外部ラベルが MVC volser と一致する場合、RTD のケーブル問題の可能性がありません。

3. 内部ラベルが MVC volser に一致するか確認します。

一致しない場合、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して RTD アドレスと Query コマンドによる MVC volser の情報を提示してください。

外部ラベルが一致しない場合、カートリッジをイジェクトして分析します。

CC5 RC112

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=112

説明: RTD が内部 VTCS タイマーの 15 分以内に MVC をマウントせず、その結果、カートリッジ要求がタイムアウトになりました。このタイムアウトは、次の状況のいずれか、もしくはそのほかのタイムアウトの原因を示している可能性があります。

- MVC が別の RTD に使用されている。
- コンソールに未解決のメッセージが表示されている。
- 経路内の LSM のオフラインが原因で PTP がブロックされている。
- ドライブが問題の対象となっているか、LSM に不良なケーブルが存在する。
- LSM のドアが開いている。
- HSC COMMPATH が LMU または VTAM ではなく CDS である。
- 要求が再実行されます。

ユーザーの応答: マウントが行われ、その他にエラーが示されていない場合、通常、タイムアウトに対するサービスコールは不要です。SYSLOG を調べて、LMU のエラーやマウントの失敗などの問題の状況の調査を導入先のサポートサービスに依頼し、StorageTek ハードウェアサポートに連絡すべきかどうか判断してください。

CC5 RC113

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=113

説明: 実テープ カートリッジがマウントされていません。コマンドが最初に RTD に送信されたとき、RTD はオンラインで作動可能でしたが、マウントが完了する前に、RTD ドライブが作動不能になりました。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: MVC カートリッジをイジェクトして、マウントの障害となるような欠陥がないか目視して調べます。物理カートリッジに問題がある場合、導入先のサポートサービスに詳しい診断を依頼するか、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。

CC5 RC114

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=114

説明: 実際のテープカートリッジが MVC ではありません。これは、MVC が別のジョブによって何らかの方法で間違って再び初期化されたことを示している可能性があります。このマウントがマイグレーション要求の結果である場合には、新しいボリュームが選択され、要求が

再試行されます。リコール要求によりマウントが行われ、MVC が以前に使用され有効であると判明している場合、要求は VTV の別のコピーから再試行されます。

ECAM CC5 RC114 は、すべての再試行に失敗すると発行されます。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスに依頼して、次の項目を調べてください。

- 未使用の MVC の場合、正常に初期化されているか確認する。
- MVC の範囲が重複していないか確認する。
- テープカートリッジに対してテープ初期化ジョブが実行されたか確認する。

調査によって、MVC に関するこれらの問題が何も明らかにならなかった場合は、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

CC5 RC115

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=115

説明: リコール要求中にテープ終了の状況が発生しました。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスに依頼して、MVC の AUDIT を行います。AUDIT により、有効なテープ終了の状況で CDS が更新されます。次に、要求を再試行します。次のいずれかを行います。

- 要求が再び失敗する場合、StorageTekハードウェアサポートに連絡する。
- AUDIT が失敗した場合、イジェクトとともに MVC をドレインする。

CC5 RC116

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=116

説明: MVC の位置が正しくありません。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: 次のコマンドを発行して、MVC の MIR が無効かどうか確認します。

.VT Q MVC (volser)

MIR が無効な場合、イジェクトとともに MVC をドレインします。すべてのVTVが正常にMVCをドレインしたら、MVCMAINTを実行して、MVCに対して、およびユーザーのテープ分析ユーティリティ(例: FATAR)で分析したカートリッジに対して、INVLDMIR OFFを設定します。カートリッジを MVC としてサービスに戻す場合は、イジェクトせずに 2 回目の MVC DRAIN を発行します。

MVC からすべての VTV をドレインできず、これらの VTVの二重コピーが存在しない場合、カートリッジを回復するには StorageTekハードウェアサポートに送付してください。

CC5 RC117

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=117

説明: 実テープカートリッジが読み取り専用です。

システム動作: メッセージ SLS6687I は、MVC がマイグレーション要求によりマウントされ、カートリッジが読み取り専用状態の場合に発行されます。新しいボリュームが選択され、マイグレーション要求が再試行されます。

ユーザーの応答: カートリッジをイジェクトして、外側の書き込み保護機構を調べます。機構が書き込み保護に設定されている場合、それを解除して、ライブラリにカートリッジを再エンターします。

書き込み保護機構の設定が正しく、読み取り専用となる原因ではない場合、導入先のサポートサービスに連絡して次の操作を実行します。

- 顧客のセキュリティソフトウェアがカートリッジを保護し、HSCスターテッドタスクがMVCに書き込むために正しい権限が定義されていないか確認する。
- MVC を照会して読み取り専用状態かどうか確認する。
.VT Q MVC (volser)
- 状態に読み取り専用と表示される場合、MVCMAINT を使用して READONLY をオフにする。また、MVC がこのユーティリティで CDS にインポートされた場合にもこの問題が発生します。これらの MVC は、MVCMAINT を使用して状態をオフにするまで読み取り専用になります。

この ECAM メッセージにサービスコールは不要です。

CC9 RC118

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=118

説明: データチェックにより MVC 上の VTV の内部ラベルが読み取り中です。

システム動作: VTV の二重コピーが存在する場合、VTCS は 2 つ目のコピーから VTV を回復します。回復されない場合、要求は失敗します。

ユーザーの応答: これはメディアの問題の可能性があります。MVC を照会して、MVC でデータチェックが行われているか確認します。

.VT Q MVC (volser)

導入先のサポートサービスにご連絡ください。MVC でデータチェックが行われている場合、イジェクトとともに MVC をドレインします。すべての VTV が MVC から正常にドレインされたら、テープ分析ユーティリティ (例: FATAR) を使用してカートリッジを検査して分析し、カートリッジに問題がないか判断します。次に、カートリッジを MVC としてサービスに戻す場合は、イジェクトせずに 2 回目の MVCDRAIN を発行します。ドレイン処理で MVC からすべての VTV をドレインできず、これらの VTV の二重コピーが存在しない場合、カートリッジを回復するには StorageTek ハードウェアサポートに送付してください。

導入先のサポートサービスが CC5 RC118 の原因はメディアの問題ではないと判断した場合、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。

CC9 RC127

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=127

説明: RTD が使用中、つまり別の要求を処理しています。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: VTCS ロックを照会して、現在停止中のホストによってロックが保有されていないか確認します。

.VT Q LOCKS

ロックを保有するホストが停止している場合、導入先のサポートサービスにご連絡ください。サポートサービスは HSC Recover コマンドを発行する必要があります。

(HSC Prefix) RECOVER host-id

ロックの保有の問題ではない場合、もしくは HSC Recover コマンドにより問題が解決されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートにご連絡ください。

CC9 RC128

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=128

説明: VTCS がオフラインまたは VTSS に対して作動不能な RTD にマウントしようとしています。これは、RTD に関する VTSS と VTCS 間の非同期の状態を示しています。そのため、VTSS は RTD を自身に対して内部でオフラインにし、VTCS がそれを認識していません。

システム動作: 要求は失敗します。

ユーザーの応答: 次のコマンドを使用して RTD をオフラインにします。

.VT VRTD (rtd-id) OFFline

次に、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。

CC9 RC129

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=129

説明: RTD が構成されていません。通常、これは VTSS の実装時に発生し、VTSS ハードウェア構成と VTCS ソフトウェア構成、または HSC LIBGEN と VTCS CONFIG の構成の不一致を示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスに連絡して、LIBGEN の RTD に対して最近変更が行われたか、Reset で VTCS CONFIG が行われたか確認します。すべてのソフトウェア構成が正しい場合は、StorageTek ハードウェアサポートにご連絡ください。サポートサービスは、ハードウェア診断を実行する前に、VTSS 操作パネルが顧客の VTCS 構成と一致しているか確認する必要があります。

CC9 RC132

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=132

説明: インタフェースが別の RTD に割り当てられています。これは、VTSS ハードウェア構成と VTCS ソフトウェア構成の不一致、または RTD ケーブルの問題の可能性がありま

システム動作: なし

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスに連絡して、RTD に最近変更が行われたか、RESET で VTCS CONFIG が行われたか確認します。VTCS 構成が正しいか確認します。正しい場合は、StorageTek ハードウェアサポートまでご連絡ください。サポートサービスは、ハードウェア診断を実行する前に、VTSS 操作パネルが VTCS 構成と一致しているか確認する必要があります。

CC9 RC133

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=133

説明: インタフェースが制御デバイスモードに設定されているため、VTCS は要求に対応できません。このエラーは、VTSS のインストール時に発生します。これは、インタフェースが VTCS では Nearlink インタフェースであると認識され、VTSS ではホストインタフェースであると認識されていることを示しています。これは不良な ICE カードを示すエラーメッセージではありませんが、ICE カードは CSE が修正するまで使用できません。壊れているため修正する必要があります。

システム動作: なし

ユーザーの応答: StorageTek のハードウェアサポートに連絡してください。

CC9 RC135

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=135

説明: RTD がオンラインです。操作パネルからは構成を変更できません。この状態は、StorageTek CSE が RTD の定義を取り除く際に、VSM を再構成している時のみに発生します。VTSS から RTD を除去するには、次の処理を行います。

- RESET して VTCS CONFIG を発行します。
- VTCS を停止して再起動 (バウンス) し、内部の VTSS テーブルから RTD を解放します。
- VTSS から RTD を除去できるように、VTCS を再停止します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスは、計画された活動としてこれを開始した可能性があります。Oracle CSE が導入先にいるため、サービスコールは不要です。

CC9 RC144

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=144

説明: このメッセージは VSM4 のみに関係します。この CIP が制御しているほかのポート上の RTD でチャネルプロセッサが使用されています (CIP 上の一対の RTD は VTCS ソフトウェアで制御されます)。この ECAM メッセージは、VTCS の構成が Reset なしで実行されたか、VTCS ソフトウェアの問題の可能性を示します。

システム動作: なし

ユーザーの応答: 導入先のサポートサービスに連絡して、PTF L1H11I6 がメッセージを発行したホスト上にあるか確認します。ホストにある場合は、VTCS 構成が正しいか確認します。構成が正しい場合、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、VTSS 操作パネルが VTCS 構成に一致するか確認する必要があります。ハードウェア構成が正しい場合、CSE は問題を詳しく診断するために、StorageTek ソフトウェアサポートに委任します。

VLE UII リターンコード

次の表では、UII コマンドへの応答として VLE によって特別に生成される可能性のあるリターンコードについて説明します。

表 7-2 VLE UII リターンコード

リターンコード	理由コード	説明
5	108	VTSS、VLE のいずれかから一般的なエラー状態が報告されています。これは ECAM 応答に対応します。
5	109	通信の障害が発生しています。これは ECAM 応答に対応します。
5	111	別の VMVC がデバイスにマウントされています。これは ECAM 応答に対応します。
5	113	DEVICEID 接続にマウントされている VMVC は存在しません。これは ECAM 応答に対応します。
5	115	VMVC ファイルシステムがほぼいっぱいになっています。これは ECAM 応答に対応します。
5	116	要求された VTV コピーが VMVC 上に存在しません。これは ECAM 応答に対応します。
8	119	VTSS の目録がいっぱいになっています。これは ECAM 応答に対応します。
8	120	VTSS は容量不足により VTV を格納できません。これは ECAM 応答に対応します。
9	121	VTSS はターゲット VTV をビジーとして報告しています。これは ECAM 応答に対応します。
9	122	VTSS はターゲット VTV がすでに存在していると報告しています。これは ECAM 応答に対応します。
9	123	VTSS は、ターゲット VTV が存在しないか見つからないと報告しています。これは ECAM 応答に対応します。
9	126	VTSS は、ターゲット VTV が破壊されていると報告しています。これは ECAM 応答に対応します。
9	128	VTSS は VLE に、処理に必要なデバイスがオフラインになっているか動作不能になっていると報告しました。
9	132	RTDNO= パラメータと、VTSS から VLE への接続を起動したデバイスとの間で不一致が検出されました。
9	139	VTSS はターゲット VTV を回復済みとして報告しています。これは ECAM 応答に対応します。
10	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
11	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。

表 7-2 VLE UII リターンコード (続き)

リターンコード	理由コード	説明
11	3	VMVC が別のデバイスにマウントされています。
12	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
12	6	現在マウントされている VMVC の volser が VOLUME パラメータと一致しません。
13	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
13	9	指定された TIMESTMP パラメータが、マイグレーションが要求されている VTV のコピーと一致しません。
13	10	COPYFROM= のどの場所からも VTV のコピーを取得できません。
14	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
15	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
15	7	PREVVTV パラメータで識別された VTV が見つかりませんでした。
16	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
16	8	ディスクプールが VLE に認識されていないのに、DISKPOOL パラメータが指定されています。
17	xxx	コマンドに関連する一般的なエラー。
17	7	削除対象の VTV コピーが VMVC 上に存在しません。
17	9	指定された TIMESTMP パラメータが、削除が要求されている VTV のコピーと一致しません。
30	1	DEVICEID 接続の値が不明です。
30	2	デバイスはすでに、VMVC に関連する別のタイプの処理を実行しています。
30	4	VMVC の volser が VLE に認識されていません。
30	5	VMVC が、DEVICEID 接続とは別のサーバーに接続されています。
xx	93	VLE 複合内のノード間で通信を実行しているときに通信タイムアウトが発生しました。
xx	94	API プロトコル違反。これは、前回の MOUNT_VMVC コマンドのバージョンと互換性のないバージョンのコマンドを発行しようとしたことを意味します。
xx	95	COPYFROM パラメータに指定されたソース VLE 名が、ソース VLE の構成内で見つかりません。
xx	96	COPTFROM パラメータに指定されたソース VLE がコマンド実行用の接続を拒否したか、そのソース VLE と通信を行えませんでした。

表 7-2 VLE UII リターンコード (続き)

リターンコード	理由コード	説明
xxx	97	この処理をサポートするために必要な複合内の VLE ノードが、オフラインになっています。
xxx	98	パラメータまたはコマンドの一般的な問題。
xxx	99	コマンド実行中の特殊でない一般的な失敗。

